

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>トンネルを設置し、構外へ排水する設計とする。</p> <p>地下水は建屋基礎下に設置している集水管により、建屋最下層にある湧水サンブに集水する設計とする。また、地下水水位を考慮しても防護対象設備が設置されている建屋へ地下水が流入しない設計とする。</p> <p>【別添資料1（2-9-別1-76～79、82～92、415～449、450～540）（2-9-別1 補-520～546）】</p> <p>10.6.2.3 主要設備</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰</p> <p>廃棄物処理建屋で発生する溢水が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋堰を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>原子炉周辺建屋堰の設計においては、基準地震動による地震力に対して溢水の伝播を防止する機能が十分に保持できる設計とする。</p> <p>堰の配置図を第1.8.3図に示す。</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉</p> <p>廃棄物処理建屋、燃料取替用水ビット及び復水ビットで発生する溢水、屋外タンクからの溢水等が原子炉周辺建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、原子炉周辺建屋水密扉を原子炉周辺建屋に設置する。</p> <p>原子炉周辺建屋水密扉の設計においては、基準地震動による地震力に対して浸水を防止する機能が十分に保持できる設計とする。また、溢水により発生する水圧に対して水密性を有する設計とする。</p> <p>(3) 制御建屋水密扉</p> <p>屋外タンクからの溢水等が制御建屋へ伝播することを防止し、防護対象設備が安全機能を損なうことのない設計とするため、制御建屋水密扉を制御建屋に設置する。</p> <p>制御建屋水密扉の設計においては、基準地震動による地震力に対して浸水を防止する機能が十分に保持できる設計とする。また、溢水により発生する水圧に対して水密性を有する設計とする。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>水密扉の配置図を第1.8.4図に示す。</p> <p>10.6.2.4 主要仕様 主要設備の仕様を第10.6.2.1表に示す。</p> <p>10.6.2.5 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p> <p>第10.6.2.1表 浸水防護設備の設備仕様</p> <p>(1) 原子炉周辺建屋堰 種類 堰 材料 炭素鋼又は鉄筋コンクリート 個数 7</p> <p>(2) 原子炉周辺建屋水密扉 種類 片開扉 材料 炭素鋼又はステンレス鋼 個数 17</p> <p>(3) 制御建屋水密扉 種類 片開扉 材料 炭素鋼又はステンレス鋼 個数 4</p>	<p>10.6.2.3 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p>	<p>10.6.2.3 試験検査 浸水防護設備は、健全性及び性能を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に、定期的に試験又は検査を実施する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">大飯3号炉及び4号炉 内部溢水の影響評価について</p>	<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について</p>	<p style="text-align: right;">別添資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 内部溢水の影響評価について</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">目次</p> <p>1 原子炉施設の安全確保</p> <p>1.1 溢水源の想定</p> <p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>1.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>1.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価</p> <p>1.4.1 想定破損による溢水</p> <p>1.4.1.1 想定破損による溢水源</p> <p>1.4.1.2 想定破損による溢水影響評価</p> <p>1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>1.4.2 放水による溢水</p> <p>1.4.2.1 放水による溢水源</p> <p>1.4.2.2 放水による溢水影響評価</p> <p>1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>1.4.3 地震による溢水</p> <p>1.4.3.1 地震による溢水源</p> <p>1.4.3.2 地震による溢水影響評価</p> <p>1.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>1.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>1.4.4 その他の溢水</p>	<p style="text-align: center;">目次</p> <p>1 評価の概要</p> <p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>2 溢水源の想定</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.4 防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>3.4.1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.2 被水の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>4 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>4.1 溢水防護区画の設定</p> <p>4.2 滞留面積の算出</p> <p>4.3 溢水経路</p> <p>5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>5.1 想定破損による溢水源</p> <p>5.2 想定破損による没水影響評価</p> <p>5.3 想定破損による被水影響評価</p> <p>5.4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水源</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>6.3 消火水の放水による被水影響評価</p>	<p style="text-align: center;">目次</p> <p>1 評価の概要</p> <p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>2 溢水源の想定</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.4 防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>3.4.1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.2 被水の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>3.4.4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>4 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>4.1 溢水防護区画の設定</p> <p>4.2 滞留面積の算出</p> <p>4.3 溢水経路</p> <p>5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>5.1 想定破損による溢水源</p> <p>5.2 想定破損による没水影響評価</p> <p>5.3 想定破損による被水影響評価</p> <p>5.4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水源</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>6.3 消火水の放水による被水影響評価</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
2 使用済燃料ピットの安全確保 2.1 溢水源の想定 2.2 防護対象設備の設定 2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定 2.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価 2.4.1 想定破損による溢水 2.4.1.1 想定破損による溢水源 2.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 2.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 2.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 2.4.2 放水による溢水 2.4.2.1 放水による溢水源 2.4.2.2 放水による溢水影響評価 2.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.3 地震による溢水 2.4.3.1 地震による溢水源 2.4.3.2 地震による溢水影響評価 2.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価 2.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価 2.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 2.4.4 使用済燃料ピットのスロッシングによる水位低下の評価 2.4.5 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認 3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価 4 海水ポンプエリアの溢水影響評価 5 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価 6 経年劣化事象の検討 7 溢水影響評価の判定	7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 7.1 地震起因による溢水源 7.2 地震起因による没水影響評価 7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件 7.2.2 地震起因による没水影響評価 7.3 地震起因による被水影響評価 7.4 地震起因による蒸気影響評価 8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価 8.1 解析評価 8.2 スロッシングによる溢水量(解析結果) 8.3 使用済燃料プール等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認 9 タービン建屋からの溢水影響評価 9.1 評価条件 9.2 評価に用いる各項目の算出 9.2.1 タービン建屋における溢水源 9.2.2 タービン建屋における溢水量 9.2.3 タービン建屋における溢水経路 9.3 評価結果 9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果 9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容 10 原子炉建屋付属棟(廃棄物処理エリア(管理区域))からの溢水影響評価 11 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価 12 1号炉制御建屋からの溢水影響評価 13 屋外タンクからの溢水影響評価 14 地下水による影響評価 15 放射性物質を含む液体の漏えいの防止	7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価 7.1 地震起因による溢水源 7.2 地震起因による没水影響評価 7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件 7.2.2 地震起因による没水影響評価 7.3 地震起因による被水影響評価 7.4 地震起因による蒸気影響評価 8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価 8.1 解析評価 8.2 スロッシングによる溢水量(解析結果) 8.3 使用済燃料ピット等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認 9 タービン建屋からの溢水影響評価 9.1 評価条件 9.2 評価に用いる各項目の算出 9.2.1 タービン建屋における溢水源 9.2.2 タービン建屋における溢水量 9.2.3 タービン建屋における溢水経路 9.2.4 タービン建屋の空間容積 9.3 評価結果 9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果 9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容 10 電気建屋からの溢水影響評価 11 出入管理建屋からの溢水影響評価 12 屋外タンクからの溢水影響評価 13 地下水による影響評価 14 放射性物質を含む液体の漏えいの防止 15 経年劣化事象の検討 16 溢水影響評価の判定	記載方針の相違 泊はタービン建屋内で発生する溢水量とタービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積とを比較することで行っていることから、空間容積の算出方法について記載している。(大飯と同様) 記載方針の相違 最新版審査実績の反映として、大飯の記載項目を反映した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料</p> <p>1.1 溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>1.2-1 重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統</p> <p>1.2-2 防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p> <p>1.3-1 溢水防護区画の設定</p> <p>1.3-2 溢水経路と溢水経路概念図</p> <p>1.3-3 溢水影響評価で止水を期待できる設備</p> <p>1.4.1-1 想定破損による溢水源</p> <p>1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(没水影響評価)</p> <p>1.4.1-3 想定破損による溢水影響評価(被水影響評価)</p> <p>1.4.1-4 想定破損による溢水影響評価(蒸気影響評価)</p> <p>1.4.2-1 消火活動に係る時間設定の考え方</p> <p>1.4.2-2 消火活動に係る放水による溢水影響評価</p> <p>1.4.2-3 消火活動に係る放水による溢水経路図（代表）</p> <p>1.4.3-1 地震時の溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>1.4.3-2 耐震B、Cクラスの機器の耐震強度評価方法及び評価結果</p> <p>1.4.3-3 地震に起因する溢水影響評価結果及び溢水経路図</p> <p>1.4.4 その他の溢水に対する確認について</p> <p>2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価</p> <p>3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p> <p>4 海水ポンプエリアの溢水影響評価</p> <p>5.1 タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>5.2 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>5.3 湧水サンプルからの溢水影響評価</p> <p>6 経年劣化事象の検討</p> <p>参考 原子力発電所の内部溢水影響評価ガイドへの適合確認</p>	<p>添付資料 1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源</p> <p>添付資料 2 溢水源となりうる機器のリスト</p> <p>添付資料 3 想定する溢水量一覧</p> <p>添付資料 4 防護対象設備一覧</p> <p>添付資料 5 機能喪失高さの考え方</p> <p>添付資料 6 溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>添付資料 7 溢水防護区画図</p> <p>添付資料 8 滞留面積の算出について</p> <p>添付資料 9 溢水影響評価において止水を期待できる設備</p> <p>添付資料 10 溢水伝播経路図（平面図）</p> <p>添付資料 12 開口部等からの流出流量の評価</p> <p>添付資料 13 溢水源となる対象系統について</p> <p>添付資料 14 高エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>添付資料 15 低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>添付資料 16 減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 17 系統別溢水量算出結果</p> <p>添付資料 18 想定破損による没水影響評価結果</p> <p>添付資料 20 想定破損による被水影響評価結果</p> <p>添付資料 22 想定破損による蒸気影響評価結果</p> <p>添付資料 24 消火水の放水による溢水影響評価対象区画</p> <p>添付資料 25 消火水の放水における放水量について</p> <p>添付資料 26 消火水の放水による溢水影響評価結果</p> <p>添付資料 27 地震に起因する溢水源リスト</p> <p>添付資料 28 地震起因による没水影響評価結果</p> <p>添付資料 29 耐震B、Cクラス機器の耐震評価</p> <p>添付資料 30 タービン建屋における溢水経路図</p> <p>添付資料 31 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路図</p> <p>添付資料 32 補助ボイラー建屋における溢水経路図</p> <p>添付資料 33 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所</p> <p>添付資料 34 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況</p> <p>添付資料 11 溢水伝播フロー図</p> <p>添付資料 19 想定破損による没水影響評価結果から必要となる設備対策について</p> <p>添付資料 21 想定破損による被水影響評価結果から必要となる</p>	<p>添付資料 1 発生要因及び評価項目ごとに想定する溢水源</p> <p>添付資料 2 溢水源となりうる機器のリスト</p> <p>添付資料 3 想定する溢水量一覧</p> <p>添付資料 4 防護対象設備一覧</p> <p>添付資料 5 機能喪失高さの考え方</p> <p>添付資料 6 溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>添付資料 7 溢水防護区画図</p> <p>添付資料 8 滞留面積の算出について</p> <p>添付資料 9 溢水影響評価において止水を期待できる設備</p> <p>添付資料 10 溢水伝播経路図（平面図）</p> <p>添付資料 11 開口部等からの流出流量の評価</p> <p>添付資料 12 溢水源となる対象系統について</p> <p>添付資料 13 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて</p> <p>添付資料 14 低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>添付資料 15 減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 16 系統別溢水量算出結果</p> <p>添付資料 17 想定破損による没水影響評価結果</p> <p>添付資料 18 被水影響評価結果</p> <p>添付資料 19 想定破損による蒸気影響評価結果</p> <p>添付資料 20 消火水の放水による溢水影響評価対象区画</p> <p>添付資料 21 消火水の放水における放水量について</p> <p>添付資料 22 消火水の放水による溢水影響評価結果</p> <p>添付資料 23 地震に起因する溢水源リスト</p> <p>添付資料 24 地震起因による没水影響評価結果</p> <p>添付資料 25 耐震B、Cクラス機器の耐震評価</p> <p>添付資料 26 タービン建屋における溢水経路について</p> <p>添付資料 27 電気建屋における溢水経路図</p> <p>添付資料 28 出入管理建屋における溢水経路図</p> <p>添付資料 29 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備の設置場所</p> <p>添付資料 30 「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」への適合状況</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>添付資料及び補足説明資料の差異</p> <p>説明については、各資料の相違理由欄にて説明する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>設備対策について</p> <p>添付資料 23 想定破損による蒸気影響評価結果から必要となる設備対策について</p> <p>補足説明資料 27 内部溢水影響評価における評価の保守性について</p> <p>補足説明資料 7 保有水量・系統別溢水量算出要領</p> <p>補足説明資料 25 内部溢水により想定される事象の確認及び解析確認結果</p> <p>補足説明資料 37 気体廃棄物処理設備エリア排気放射線モニタの内部溢水に対する防護について</p> <p>補足説明資料 2 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について</p> <p>補足説明資料 3 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足</p> <p>補足説明資料 16 止水を期待する設備の止水性能等について</p> <p>補足説明資料 17 溢水防護対策の主要な施工対象範囲</p> <p>補足説明資料 9 運転員のアクセス性</p> <p>補足説明資料 8 想定破損評価における隔離時間の妥当性について</p> <p>補足説明資料 36 漏えい検知性について</p> <p>補足説明資料 34 貫通クラック等微小漏えい時の影響について</p> <p>補足説明資料 6 防滴仕様の被水評価における妥当性について</p> <p>補足説明資料 4 原子炉建屋原子炉棟（二次格納施設）内防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>補足説明資料 5 耐蒸気仕様の確認について</p>	<p>補足説明資料 1 内部溢水影響評価における評価の保守性について</p> <p>補足説明資料 2 保有水量・系統別溢水量算出要領</p> <p>補足説明資料 3 内部溢水により想定される事象の確認及び解析確認結果</p> <p>補足説明資料 4 防護対象設備の選定について</p> <p>補足説明資料 5 タービントリップ機能を有するMS-3設備の内部溢水に対する対応について</p> <p>補足説明資料 6 溢水影響評価上の防護対象設備の配置について</p> <p>補足説明資料 7 溢水影響評価の対象外とした設備に関する補足</p> <p>補足説明資料 8 止水を期待する設備の止水性能等について</p> <p>補足説明資料 9 溢水防護対策の主要な施工対象範囲</p> <p>補足説明資料 10 A、B、C充てんポンプの没水影響評価</p> <p>補足説明資料 11 運転員のアクセス性</p> <p>補足説明資料 12 想定破損評価における隔離時間の妥当性について</p> <p>補足説明資料 13 漏えい検知性について</p> <p>補足説明資料 14 地震時溢水評価における隔離時間の妥当性について</p> <p>補足説明資料 15 貫通クラック等微小漏えい時の影響について</p> <p>補足説明資料 16 防滴仕様の被水評価における妥当性について</p> <p>補足説明資料 17 想定破損による溢水影響評価（蒸気影響評価）</p> <p>補足説明資料 18 原子炉格納容器及び主蒸気管室内防護対象設備の溢水影響について</p> <p>補足説明資料 19 GOTHICコードについて</p> <p>補足説明資料 20 蒸気拡散解析による蒸気影響評価結果</p> <p>補足説明資料 21 蒸気漏えいの自動検知及び遠隔隔離について</p> <p>補足説明資料 22 防護対象設備の耐蒸気性能について</p> <p>補足説明資料 23 配管破損箇所と防護対象設備との位置関係による影響について</p> <p>補足説明資料 24 補助蒸気系統の耐震強度評価及び貫通クラックの大きさについて</p> <p>補足説明資料 25 補助蒸気系隔離時のドレンの処置について</p> <p>補足説明資料 26 抽出配管の漏えい時の放射線影響について</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>添付資料及び補足説明資料の差異説明については、各資料の相違理由欄にて説明する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	補足説明資料 20 耐震B、Cクラス機器の補強工事の実施内容について	補足説明資料 27 耐震B、Cクラス機器の補強工事の実施内容について	<p>記載方針の相違</p> <p>添付資料及び補足説明資料の差異説明については、各資料の相違理由欄にて説明する。</p>
	補足説明資料 22 溢水影響評価における耐震B、Cクラス機器の抽出方法について	補足説明資料 28 溢水影響評価における耐震B、Cクラス機器の抽出方法について	
	補足説明資料 24 内部溢水評価における耐震壁等の確認について	補足説明資料 29 内部溢水評価における耐震壁等の確認について	
	補足説明資料 19 定ピッチスパン法に基づく配管の耐震評価	補足説明資料 30 標準支持間隔法に基づく配管の耐震評価	
	補足説明資料 30 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について	補足説明資料 31 ほう酸水等薬品の漏えいによる影響について	
	補足説明資料 23 使用済燃料プール等のスロッシング評価における保守性について	補足説明資料 32 使用済燃料ピット等のスロッシング評価における保守性について	
	補足説明資料 21 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要	補足説明資料 33 スロッシング評価に用いた汎用熱流体解析コードの概要	
		補足説明資料 34 循環水ポンプ建屋における溢水影響評価について	
	補足説明資料 11 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について	補足説明資料 35 タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について	
	補足説明資料 31 屋外タンクからの溢水影響評価について	補足説明資料 36 屋外タンクからの溢水影響評価について	
	補足説明資料 33 その他の漏えい事象に対する確認について	補足説明資料 37 その他の漏えい事象に対する確認について	
	補足説明資料 28 別のハザードからの溢水影響について	補足説明資料 38 別のハザードからの溢水影響について	
	補足説明資料 29 過去の不具合事例への対応について	補足説明資料 39 過去の不具合事例への対応について	
	補足説明資料 35 溢水発生後の復旧について	補足説明資料 40 溢水発生後の復旧について	
	補足説明資料 26 内部溢水影響評価における確認内容について	補足説明資料 41 内部溢水影響評価における確認内容について	
		補足説明資料 42 内部溢水影響評価における継続的な管理	
	補足説明資料 15 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価	補足説明資料 43 防護対象設備における機能喪失高さの裕度が小さい場合のゆらぎ影響評価	
		補足説明資料 44 経年劣化事象の検討	
	補足説明資料 13 溢水伝播フロー図について	補足説明資料 45 溢水伝播経路図及び溢水影響評価結果整理表について	
	補足説明資料 38 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について	補足説明資料 46 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について	
	補足説明資料 1 防護区画内の溢水源となりうる系統		
	補足説明資料 10 スロッシング後の使用済燃料プール冷却機能維持のための現場操作		
	補足説明資料 12 循環水系及びタービン補機冷却海水系におけるインターロックの追加について		
	補足説明資料 14 内部溢水影響評価における判定表		
	補足説明資料 18 配管の耐震評価の考え方		
	補足説明資料 32 ハッチ開放時における溢水影響について		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>「大飯3号炉及び4号炉の内部溢水影響評価」の概要</p> <p>大飯3号炉及び4号炉については、溢水影響を考慮した設計を実施している。具体的には系統の独立した区画への分散配置、区画の入口堰、機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプルへの集積及び排水が可能な設計としている。</p> <p>今回、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下、「溢水ガイド」という。）にしたがい、発電用原子炉施設（以下、「原子炉施設」という。）内に設置された機器及び配管の想定破損、火災時の消火水の放水、地震による機器の破損（使用済燃料ピットのスロッシング含む。）により発生する溢水により設計基準対象施設が安全機能を損なうことのないよう防護措置その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>主な系統及び略語 (省略)</p> <p>1 評価の概要</p> <p>女川原子力発電所2号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施している。具体的には、独立した区画への分散配置、区画の入口堰及び機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプルに集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九条（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのないように防護措置、その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>1 評価の概要</p> <p>泊発電所3号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施している。具体的には、独立した区画への分散配置、区画の入口堰及び機器の基礎高さ等の考慮、各建屋最下層に設置されたサンプルに集積し排水が可能な設計としている。</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九条（溢水による損傷の防止等）」の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なうことのないように防護措置、その他適切な措置が講じられていることを確認するものである。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
<p>溢水防護に関する基本方針</p> <p>原子炉施設内における溢水による損傷を防止するために、以下のような措置を講じる設計とする。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(3) 地震による機器の破損等により生じる溢水（使用済燃料ピットのスロッシングを含む。）により、原子炉施設の安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(4) その他の溢水については、地下水の流入、竜巻による飛来物の衝突による屋外タンクの破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グラウンド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p>	<p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とするために、溢水が発生した場合でも、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料プールにおいては、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <p>・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備</p>	<p>1.1 溢水防護に関する基本方針</p> <p>安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とするために、溢水が発生した場合でも、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに使用済燃料ピットにおいては、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能を維持できる設計とする。ここで、これらの機能を維持するために必要な設備を、以下「防護対象設備」という。設置許可基準規則第九条及び第十二条並びに「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」（以下「溢水ガイド」という。）の要求事項を踏まえ、以下の設備を防護対象設備とする。</p> <p>・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

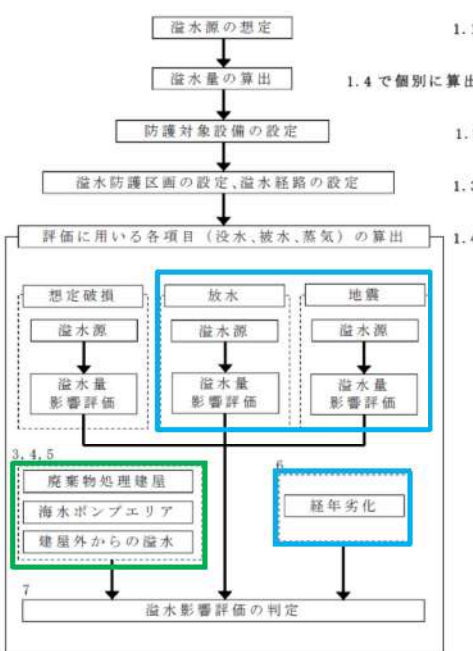
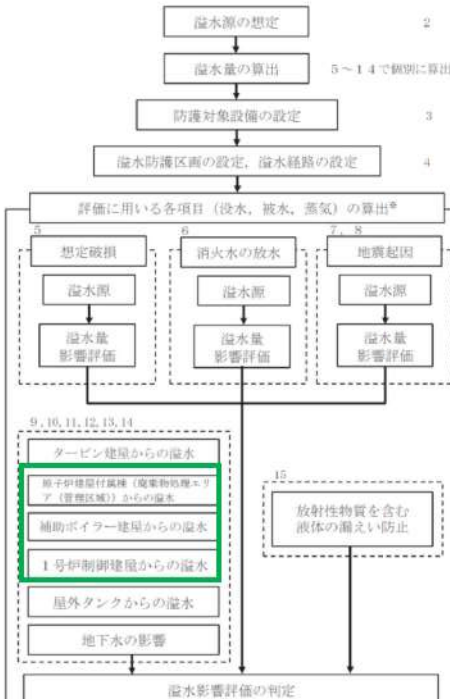
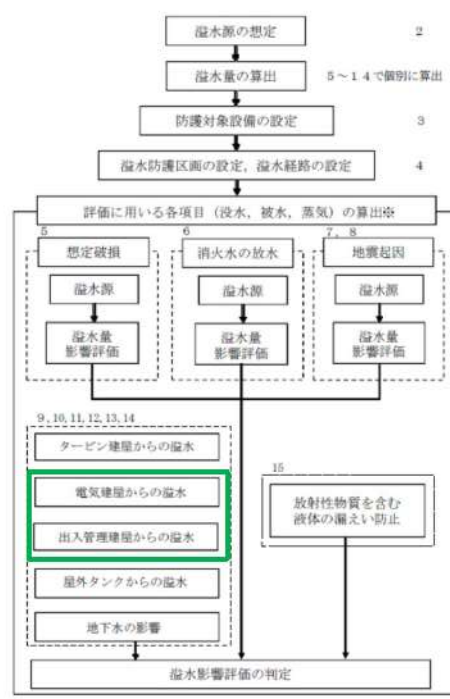
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備</p> <p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)、消火系統等の作動又は使用済燃料プール等のスロッシング、その他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計(多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計)とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により生じる溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置を踏まえて最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>溢水防護を考慮した設計にあたり、基本設計方針を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、使用済燃料プールの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。</p> <p>a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。</p>	<p>・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備</p> <p>発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損(地震起因を含む。)、消火系統等の作動又は使用済燃料ピット等のスロッシング、その他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計(多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計)とする。</p> <p>地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により生じる溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置を踏まえて最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>また、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建屋内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。</p> <p>溢水防護を考慮した設計にあたり、基本設計方針を以下のとおりとする。</p> <p>(1) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、使用済燃料ピットの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。</p> <p>a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 発電用原子炉施設内での溢水事象(地震に起因するものを含む。)を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、機器の多重性、多様性、各系統相互の離隔距離の確保、障壁等の設置により、同時に複数区分の安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」(以下、「安全評価指針」という。)に基づき発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心が損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。なお、安全解析にあたっては、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故を収束させるために必要な設備の単一故障を考慮する。</p> <p>(2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。</p> <p>a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、廃液処理設備の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。</p> <p>b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。</p> <p>c. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝を設置し、漏えいした放射性液体を床ドレンに確実に導く設計とする。</p>	<p>b. 発電用原子炉施設内での溢水事象(地震に起因するものを含む。)を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、機器の多重性、多様性、各系統相互の離隔距離の確保、障壁等の設置により、同時に複数区分の安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」(以下、「安全評価指針」という。)に基づき発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心が損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。なお、安全解析にあたっては、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故を収束させるために必要な設備の単一故障を考慮する。</p> <p>(2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。</p> <p>a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、放射性廃棄物の処理施設及び貯蔵施設の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。</p> <p>b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊は放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝、床ドレンからの排水に期待していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1 原子炉施設の安全確保</p> <p>溢水ガイドにしたがい、以下のフローにて溢水影響評価を行った。</p>  <p>1.1 溢水源の想定</p> <p>1.4 で個別に算出</p> <p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>1.3 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>1.4 評価に用いる各項目（浸水、被水、蒸気）の算出</p> <p>想定破損、放水、地費</p> <p>浸水源、浸水量影響評価</p> <p>3, 4, 5 廃棄物処理建屋、海水ポンプエリア、建屋外からの溢水</p> <p>6 経年劣化</p> <p>7 溢水影響評価の判定</p>	<p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>以下のフローにて溢水影響評価を行う。</p>  <p>2 溢水源の想定</p> <p>5～14で個別に算出</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>4 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>評価に用いる各項目（浸水、被水、蒸気）の算出*</p> <p>5 想定破損、6 消防水の放水、7, 8 地震起因</p> <p>浸水源、浸水量影響評価</p> <p>9, 10, 11, 12, 13, 14 タービン建屋からの溢水、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水、補助ボイラー建屋からの溢水、1号伊弉諾建屋からの溢水、屋外タンクからの溢水、地下水の影響</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えい防止</p> <p>溢水影響評価の判定</p> <p>※ 5～8は防護対象設備が設置されているエリアに対する評価を、9～14は防護対象設備が設置されているエリア外及び建屋外からの評価をそれぞれ示す。</p>	<p>1.2 溢水影響評価フロー</p> <p>以下のフローにて溢水影響評価を行う。</p>  <p>2 溢水源の想定</p> <p>5～14で個別に算出</p> <p>3 防護対象設備の設定</p> <p>4 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>評価に用いる各項目（浸水、被水、蒸気）の算出※</p> <p>5 想定破損、6 消防水の放水、7, 8 地震起因</p> <p>浸水源、浸水量影響評価</p> <p>9, 10, 11, 12, 13, 14 タービン建屋からの溢水、電気建屋からの溢水、出入管理棟からの溢水、屋外タンクからの溢水、地下水の影響</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えい防止</p> <p>溢水影響評価の判定</p> <p>※ 5～8は防護対象設備が設置されているエリアに対する評価を、9～14は防護対象設備が設置されているエリア外及び建屋外からの評価をそれぞれ示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>・女川審査実績の反映</p> <p>記載表現の相違</p> <p>建屋名称の相違</p>
<p>図1-1 溢水影響評価の全体（原子炉施設の安全確保）</p>	<p>図1-1 溢水影響評価フロー</p>	<p>図1-1 溢水影響評価フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.1 溢水源の想定</p> <p>溢水ガイドに記載のとおり、溢水の発生要因別に以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>溢水源となりうる機器の抽出フローを図1.1-1、2に示す。なお、放水による溢水は、消火栓、スプリンクラーからの放水とする。</p>	<p>2 溢水源の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水(以下「想定破損による溢水」という。)</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態(火災含む)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水(以下「消火水の放水による溢水」という。)</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水(以下「地震起因による溢水」という。)</p> <p>(4) その他の要因(地下水、地震以外の自然現象、機器の誤作動等)により生じる溢水(以下「その他の溢水」という。)</p> <p>防護対象設備の設置建屋内において流体を内包する配管及び容器を、溢水源となりうる設備として配管計装線図(P&ID)より抽出した。ここで抽出された設備が想定破損時及び地震時の評価において破損する場合、それぞれの評価での溢水源となる。想定破損による溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。地震時の評価においては、使用済燃料プール等のスロッシングについても溢水源として想定した。</p> <p>火災時における溢水源としては、自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、消火栓からの放水を考慮する。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから(インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない)、溢水源として考慮しない。</p> <p>その他の溢水については、地下水、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>溢水源となりうる設備の抽出フローを図 2-1に、溢水源の全体像を図 2-2 に、発生要因及び評価項目毎に想定する溢</p>	<p>2 溢水源の想定</p> <p>溢水源としては、発生要因別に分類した以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水(以下「想定破損による溢水」という。)</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態(火災含む)の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水(以下「消火水の放水による溢水」という。)</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水(以下「地震起因による溢水」という。)</p> <p>(4) その他の要因(地下水、地震以外の自然現象、機器の誤作動等)により生じる溢水(以下「その他の溢水」という。)</p> <p>防護対象設備の設置建屋内において流体を内包する配管及び容器を、溢水源となりうる設備として系統図より抽出した。ここで抽出された設備が想定破損時及び地震時の評価において破損する場合、それぞれの評価での溢水源となる。想定破損による溢水源の想定に当たっては、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定した。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定した。地震時の評価においては、使用済燃料ピット等のスロッシングについても溢水源として想定した。</p> <p>火災時における溢水源としては、自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから、消火栓からの放水を考慮する。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから(インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない)、溢水源として考慮しない。</p> <p>その他の溢水については、地下水、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。</p> <p>溢水源となりうる設備の抽出フローを図 2-1に、溢水源の全体像を図 2-2 に、発生要因及び評価項目毎に想定する溢</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

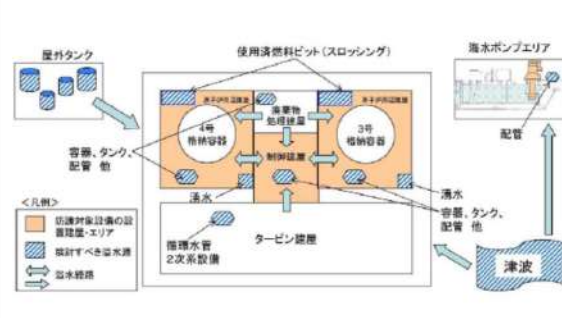
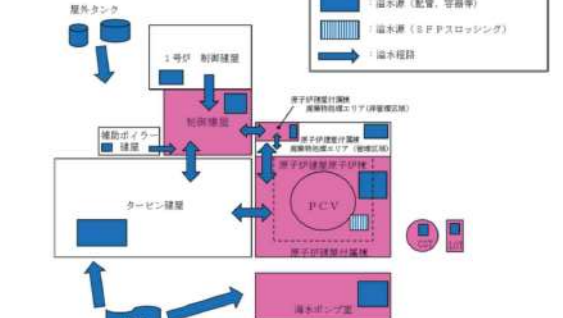
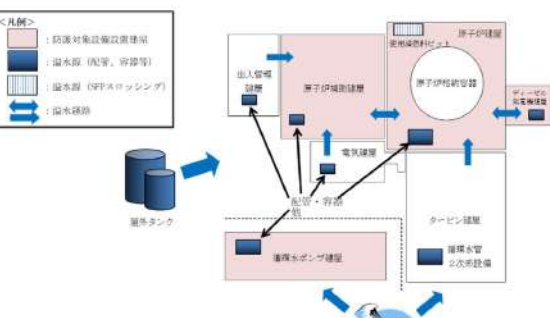
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p> <p>図 1.1-1 想定破損による溢水源となりうる機器の抽出のフロー</p> <p>図 1.1-2 地震起因による溢水源となりうる機器の抽出のフロー</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>水源を添付資料1に、溢水源となりうる機器のリストを添付資料2に、想定する溢水量一覧を添付資料3に示す。</p> <p>図2-1 溢水源となりうる設備の抽出フロー</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>水源を添付資料1に、溢水源となりうる機器のリストを添付資料2に、想定する溢水量一覧を添付資料3に示す。</p> <p>図 2-1 溢水源となりうる設備の抽出フロー</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
<p>溢水源の候補は原子炉周辺建屋、制御建屋、海水ポンプエリア、廃棄物処理建屋、タービン建屋及び屋外にある。 このうち、廃棄物処理建屋から原子炉周辺建屋への流入経路は止水されていることを確認し、「3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価」に検討内容と結果を記載した。 海水ポンプエリアについては「4 海水ポンプエリアの溢水影響</p>	<p>溢水源は原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）、1号及び2号炉制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンク（CST）エリア、軽油タンク（LOT）エリア、タービン建屋、補助ボイラー建屋及び屋外にある。</p>	<p>溢水源は原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋、タービン建屋、出入管理建屋、電気建屋及び屋外にある。</p>	<p>記載表現の相違 建屋名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>評価」に記載した。</p> <p>また、タービン建屋（循環水管、津波）、屋外タンク、湧水（原子炉周辺建屋）については「5 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価」に記載した。</p>  <p>図1.1-2 溢水源の全体像</p>	 <p>図2-2 溢水源の全体像</p>	 <p>図2-2 溢水源の全体像</p>	<p>相違理由</p>
<p>（添付資料1.1）溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p>			
<p>1.2 防護対象設備の設定</p> <p>溢水ガイドは、(1)重要度の特に高い安全機能を有する系統がその安全機能を適切に維持するために必要な設備並びに(2)使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を適切に維持するために必要な設備を防護対象設備とすることを求めている。また、防護対象設備は重要度の特に高い安全機能を有する設備が内部溢水により原子炉に外乱が生じ、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合に、それを達成するために必要な設備についても抽出する。</p> <p>以下に、それぞれに対応する防護対象設備の選定方法を示す。</p> <p>なお、検討する防護対象設備が設置されている建屋及びエリアは原子炉周辺建屋、制御建屋及び海水ポンプエリア</p>	<p>3 防護対象設備の設定</p> <p>設置許可基準規則第九条において、「発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない」と規定されている。</p> <p>上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」と解されている。</p> <p>また、溢水ガイドにおいては、「重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備」及び「「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備」を防護対象設備として選定している。さらに設置許可基準規則第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。</p> <p>上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する。</p>	<p>3 防護対象設備の設定</p> <p>設置許可基準規則第九条において、「発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない」と規定されている。</p> <p>上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、「発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できることをいう。さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること」と解されている。</p> <p>また、溢水ガイドにおいては、「重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備」及び「「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備」を防護対象設備として選定している。さらに設置許可基準規則第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。</p> <p>上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>である。</p> <p>(1) 重要度の特に高い安全機能を有する系統 原子炉停止、高温停止、低温停止及びその維持に必要な以下の機能、系統を抽出し、これらの機能を達成するために必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>①原子炉停止：原子炉停止系 ②ほう酸添加：原子炉停止系（化学体積制御系のほう酸注入機能等） ③崩壊熱除去：補助給水系、主蒸気系、余熱除去系 ④1次系減圧：1次冷却系の減圧機能 ⑤上記系統の関連系：原子炉補機冷却系、制御用空気系、換気空調系、非常用電源系、冷水系、電気盤</p> <p>⑥その他 上記系統に加え、原子炉施設の安全評価に関する審査指針に基づき、運転時の異常な過度変化又は設計基準事故を対象として、溢水により発生し得る原子炉の外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱に対処する設備を抽出する。抽出に当たっては溢水事象となり得る運転時の異常な過度変化及び設計基準事故も評価対象とする。</p> <p>原子炉外乱としては、以下の溢水により発生し得る原子炉外乱及び溢水の原因となり得る原子炉外乱を考慮する。地震に対しては溢水だけでなく、地震に起因する原子炉外乱（主給水流量喪失、外部電源喪失等）も考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定破損による溢水（単一機器の破損を想定） ・消火水の放水による溢水（単一の溢水源を想定） ・地震起因による溢水（耐震B、Cクラスの機器の破損を想定） <p>なお、原子炉格納容器内に設置される重要度の特に高い安全機能を有する設備は、原子炉冷却材喪失（以下、「LOCA」という。）を考慮した耐環境仕様としているため、これ以降の検討から除外した。</p>	<p>3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全施設のうち、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに使用済燃料プールにおいてはプール冷却機能及びプールへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針(以下「重要度分類審査指針」という。)における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、重要度分類審査指針及び設置許可基準規則第十二条より、表 3-1 のとおり抽出する。</p>	<p>3.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出</p> <p>溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全施設のうち、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに使用済燃料ピットにおいてはピット冷却機能及びピットへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針(以下「重要度分類審査指針」という。)における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。</p> <p>その上で、「重要度の特に高い安全機能を有する系統」として、重要度分類審査指針及び設置許可基準規則第十二条より、表 3-1 のとおり抽出する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統</p> <p>使用済燃料ピットを保安規定で定められた水温（6.5℃以下）に維持する必要があるため、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>また、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能の維持に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ピットの給水機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p>	<p>また使用済燃料プールについて、「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統」を表3-2のとおり抽出する。</p> <p>なお、安全施設の全体像は、重要度分類審査指針における分類でクラス1, 2, 3に該当する構築物、系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性について表3-3に示す。また、クラス1, 2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮するものの、溢水により損傷した場合であっても代替手段があること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、各構築物・系統又は機器について溢水影響評価上の扱いを整理した結果についても表3-3にて示す。</p>	<p>また使用済燃料ピットについて、「ピット冷却」及び「ピットへの給水」機能を有する系統」を表3-2のとおり抽出する。</p> <p>なお、安全施設の全体像は、重要度分類審査指針における分類でクラス1, 2, 3に該当する構築物、系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性について表3-3に示す。また、クラス1, 2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮するものの、溢水により損傷した場合であっても代替手段があること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、各構築物・系統又は機器について溢水影響評価上の扱いを整理した結果についても表3-3にて示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
<p>(3) 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定について</p> <p>防護対象設備として選定した設備のうち、溢水影響評価を行う設備のスクリーニングの考え方について、図1.2-1に溢水影響評価対象の選定フローを、表1.2-1に溢水影響評価の対象外とする理由についてまとめた。</p> <p>防護対象設備としては、LOCAのような溢水事象そのものによって安全解析上の事故や異常な過渡変化が発生した場合に、プラントを安全停止させるために必要な設備は、防護対象設備として抽出し、溢水の影響を受けても必要な安全機能を損なわないものを除き評価対象とした。</p> <p>なお、防護対象設備リストにはプラント停止の対処設備を明確にするために該当する系統の容器（タンク）、熱交換器、フィルタ等の主要な静的機器についても記載したが、これらの設備は溢水影響を受けないため、機能</p>	<p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.1で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.2で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無(設備の種類別、耐環境仕様等)を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定した。評価対象選定フロー及びスクリーニング理由を、それぞれ図3-1及び表3-4に示す。なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を単に“防護対象設備”と読み替えることとする。抽出した防護対象設備を添付資料4に、防護対象設備の機能喪失高さ(溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ)の考え方について添付資料5に、溢水影響評価</p>	<p>3.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出</p> <p>3.1で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。</p> <p>3.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定</p> <p>3.2で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無(設備の種類別、耐環境仕様等)を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定した。評価対象選定フロー及びスクリーニング理由を、それぞれ図3-1及び表3-4に示す。なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を単に“防護対象設備”と読み替えることとする。抽出した防護対象設備を添付資料4に、防護対象設備の機能喪失高さ(溢水の影響を受けて、溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ)の考え方について添付資料5に、溢水影響評価</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																									
<p>喪失高さは「-」と記載した。</p>	<p>対象外とした設備を添付資料6にそれぞれ示す。</p> <p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果（1/3）</p> <table border="1" data-bbox="689 323 1254 1139"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界維持機能</td> <td>ほう酸水注入系</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>制御棒及び制御棒駆動系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能</td> <td>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）</td> <td rowspan="6">MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能</td> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能</td> <td>主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td rowspan="4">MS-1</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>残留熱除去系（低圧注水モード）</td> <td rowspan="3">MS-1</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系（低圧注水モード）</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を動作させる機能</td> <td>自動減圧系</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1	高圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）	原子炉隔離時冷却系	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1	高圧炉心スプレイ系	原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系	MS-1	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	低圧炉心スプレイ系	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1	低圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系（低圧注水モード）	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を動作させる機能	自動減圧系	MS-1	<p>対象外とした設備を添付資料6にそれぞれ示す。</p> <p>表3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="1276 323 1841 1139"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界維持機能</td> <td>原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）</td> <td rowspan="2">MS-1</td> </tr> <tr> <td>（化学体積制御設備のほう酸注入機能）</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能</td> <td>加圧器安全弁（開機能）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</td> <td>二次系からの除熱機能</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>二次系への補給水機能</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉内高圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉内低圧時における注水機能</td> <td>非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 アニュウス空気浄化設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（交流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用所内電源系（直流）</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室空調装置</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>制御用圧縮空気設備</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1	未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1	（化学体積制御設備のほう酸注入機能）	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	加圧器安全弁（開機能）	MS-1	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	二次系からの除熱機能	MS-1	二次系への補給水機能	MS-1	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための		原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1	原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	原子炉格納容器スプレイ設備 アニュウス空気浄化設備	MS-1	格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能			非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1	非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1	非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調装置	MS-1	圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																										
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																										
未臨界維持機能	ほう酸水注入系	PS-1																																																																																																										
	制御棒及び制御棒駆動系	MS-1																																																																																																										
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	主蒸気逃がし安全弁（安全弁機能）	MS-1																																																																																																										
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）	MS-1																																																																																																										
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																											
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																											
	残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）																																																																																																											
	原子炉隔離時冷却系																																																																																																											
	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）																																																																																																											
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系	MS-1																																																																																																										
	高圧炉心スプレイ系																																																																																																											
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	主蒸気逃がし安全弁（逃がし弁機能、自動減圧系）	MS-1																																																																																																										
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系	MS-1																																																																																																										
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																											
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																											
	主蒸気逃がし安全弁（自動減圧系）																																																																																																											
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	残留熱除去系（低圧注水モード）	MS-1																																																																																																										
	低圧炉心スプレイ系																																																																																																											
	高圧炉心スプレイ系（低圧注水モード）																																																																																																											
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を動作させる機能	自動減圧系	MS-1																																																																																																										
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																										
原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1																																																																																																										
未臨界維持機能	原子炉停止系（制御棒及び直接関連系）	MS-1																																																																																																										
	（化学体積制御設備のほう酸注入機能）																																																																																																											
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	加圧器安全弁（開機能）	MS-1																																																																																																										
原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	二次系からの除熱機能	MS-1																																																																																																										
	二次系への補給水機能	MS-1																																																																																																										
	事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための																																																																																																											
原子炉内高圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）	MS-1																																																																																																										
原子炉内低圧時における注水機能	非常用炉心冷却設備（蓄圧注入系・低圧注入系）	MS-1																																																																																																										
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	原子炉格納容器スプレイ設備 アニュウス空気浄化設備	MS-1																																																																																																										
格納容器の冷却機能	原子炉格納容器スプレイ設備	MS-1																																																																																																										
格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																																												
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（交流）	MS-1																																																																																																										
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用所内電源系（直流）	MS-1																																																																																																										
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電機	MS-1																																																																																																										
非常用の直流電源機能	直流電源設備	MS-1																																																																																																										
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																										
補機冷却機能	原子炉補機冷却水設備	MS-1																																																																																																										
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水設備	MS-1																																																																																																										
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調装置	MS-1																																																																																																										
圧縮空気供給機能	制御用圧縮空気設備	MS-1																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																														
	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(2/3)</p> <table border="1" data-bbox="719 252 1225 943"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> <td>非常用ガス処理系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器の冷却機能</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> <td>非常用直流電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の交流電源機能</td> <td>非常用ディーゼル発電機(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の直流電源機能</td> <td>蓄電池(非常用)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>非常用の計測制御用直流電源機能</td> <td>計測制御用電源設備</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>補機冷却機能</td> <td>原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>冷却用海水供給機能</td> <td>原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> <td>中央制御室換気空調系</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気供給機能</td> <td>主蒸気速がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>圧動領域モニタ^{※1} 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び試験位置</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="719 1031 1225 1418"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>原子炉水位(広帯域)^{※1}</td> <td rowspan="2">MS-2</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(燃料域)^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>原子炉圧力^{※1}</td> <td rowspan="4">MS-2</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ^{※1}</td> <td rowspan="8">MS-2</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(広帯域)^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位(燃料域)^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力^{※1}</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度^{※1}</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気水素濃度^{※1}</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気酸素濃度^{※1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直検関連系</td> <td>気体廃棄物処理設備エアリフ排気放射線モニタ^{※1}</td> <td>MS-3</td> </tr> <tr> <td>計測制御電源室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系</td> <td>MS-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載 ※2 「緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能」に属する設備であるが、設計基準事故の放射性気体廃棄物処理施設の破損時において期待していることから「事故時のプラント操作のための情報の把握機能」に分類。詳細な評価は補足説明資料 37 にて実施した。</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1	格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1	格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1	非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1	非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1	非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)	MS-1	非常用の直流電源機能	蓄電池(非常用)	MS-1	非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1	補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1	冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1	圧縮空気供給機能	主蒸気速がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	圧動領域モニタ ^{※1} 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び試験位置	MS-2	機能	対象系統・機器	重要度分類	事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位(広帯域) ^{※1}	MS-2	原子炉水位(燃料域) ^{※1}	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	原子炉圧力 ^{※1}	MS-2	ドライウェル圧力 ^{※1}	圧力抑制室圧力 ^{※1}	サブプレッションプール水温度 ^{※1}	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	格納容器内雰囲気放射線モニタ ^{※1}	MS-2	原子炉水位(広帯域) ^{※1}	原子炉水位(燃料域) ^{※1}	原子炉圧力 ^{※1}	ドライウェル圧力 ^{※1}	圧力抑制室圧力 ^{※1}	サブプレッションプール水温度 ^{※1}	格納容器内雰囲気水素濃度 ^{※1}	格納容器内雰囲気酸素濃度 ^{※1}	直検関連系	気体廃棄物処理設備エアリフ排気放射線モニタ ^{※1}	MS-3	計測制御電源室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系	MS-1	<p>表 3-1 設置許可基準規則第十二条の要求を踏まえた防護対象系統の抽出結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1279 260 1839 954"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ (隔離弁)</td> <td>PS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能</td> <td>原子炉格納容器隔離弁</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能</td> <td>安全保護系 (原子炉保護設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系 (工学的安全施設作動設備)</td> <td>MS-1</td> </tr> <tr> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> <td>原子炉トリップ遮断器の状態 ほう酸濃度(サンプリング分析)^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> <td>1次冷却材圧力^{※1} 1次冷却材高温側/低温側温度(広域)^{※1} 加圧器水位^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> <td>格納容器圧力^{※1} 格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ/高レンジ)^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>ほう酸タンク水位^{※1} 蒸気発生器水位(広域、狭域)^{※1} 主蒸気ライン圧力^{※1} 補助給水ライン流量^{※1} 補助給水ピット水位^{※1} 燃料取替水ピット水位^{※1} 格納容器再循環サンプル水位(広域、狭域)^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ (隔離弁)	PS-1	原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1	原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	安全保護系 (原子炉保護設備)	MS-1	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系 (工学的安全施設作動設備)	MS-1	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態 ほう酸濃度(サンプリング分析) ^{※1}	MS-2	事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力 ^{※1} 1次冷却材高温側/低温側温度(広域) ^{※1} 加圧器水位 ^{※1}	MS-2	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力 ^{※1} 格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ/高レンジ) ^{※1}	MS-2	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位 ^{※1} 蒸気発生器水位(広域、狭域) ^{※1} 主蒸気ライン圧力 ^{※1} 補助給水ライン流量 ^{※1} 補助給水ピット水位 ^{※1} 燃料取替水ピット水位 ^{※1} 格納容器再循環サンプル水位(広域、狭域) ^{※1}	MS-2	
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																															
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出した場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系	MS-1																																																																																																															
格納容器の冷却機能	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	MS-1																																																																																																															
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系	MS-1																																																																																																															
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用交流電源設備	MS-1																																																																																																															
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用直流電源設備	MS-1																																																																																																															
非常用の交流電源機能	非常用ディーゼル発電機(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)	MS-1																																																																																																															
非常用の直流電源機能	蓄電池(非常用)	MS-1																																																																																																															
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備	MS-1																																																																																																															
補機冷却機能	原子炉補機冷却水系 高圧炉心スプレイ補機冷却水系	MS-1																																																																																																															
冷却用海水供給機能	原子炉補機冷却海水系 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系	MS-1																																																																																																															
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気空調系	MS-1																																																																																																															
圧縮空気供給機能	主蒸気速がし安全弁の駆動用圧縮空気源 主蒸気隔離弁の駆動用圧縮空気源	MS-1																																																																																																															
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁	PS-1																																																																																																															
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																															
原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	原子炉保護系の安全保護回路	MS-1																																																																																																															
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路 ・主蒸気隔離の安全保護回路 ・原子炉格納容器隔離の安全保護回路 ・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	MS-1																																																																																																															
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	圧動領域モニタ ^{※1} 原子炉スクラム用電磁接触器の状態及び試験位置	MS-2																																																																																																															
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																															
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位(広帯域) ^{※1}	MS-2																																																																																																															
	原子炉水位(燃料域) ^{※1}																																																																																																																
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	原子炉圧力 ^{※1}	MS-2																																																																																																															
	ドライウェル圧力 ^{※1}																																																																																																																
	圧力抑制室圧力 ^{※1}																																																																																																																
	サブプレッションプール水温度 ^{※1}																																																																																																																
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	格納容器内雰囲気放射線モニタ ^{※1}	MS-2																																																																																																															
	原子炉水位(広帯域) ^{※1}																																																																																																																
	原子炉水位(燃料域) ^{※1}																																																																																																																
	原子炉圧力 ^{※1}																																																																																																																
	ドライウェル圧力 ^{※1}																																																																																																																
	圧力抑制室圧力 ^{※1}																																																																																																																
	サブプレッションプール水温度 ^{※1}																																																																																																																
	格納容器内雰囲気水素濃度 ^{※1}																																																																																																																
格納容器内雰囲気酸素濃度 ^{※1}																																																																																																																	
直検関連系	気体廃棄物処理設備エアリフ排気放射線モニタ ^{※1}	MS-3																																																																																																															
	計測制御電源室換気空調系 原子炉補機室換気空調系 換気空調補機非常用冷却水系	MS-1																																																																																																															
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																															
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ (隔離弁)	PS-1																																																																																																															
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器隔離弁	MS-1																																																																																																															
原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能	安全保護系 (原子炉保護設備)	MS-1																																																																																																															
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	安全保護系 (工学的安全施設作動設備)	MS-1																																																																																																															
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	原子炉トリップ遮断器の状態 ほう酸濃度(サンプリング分析) ^{※1}	MS-2																																																																																																															
事故時の炉心冷却状態の把握機能	1次冷却材圧力 ^{※1} 1次冷却材高温側/低温側温度(広域) ^{※1} 加圧器水位 ^{※1}	MS-2																																																																																																															
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	格納容器圧力 ^{※1} 格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ/高レンジ) ^{※1}	MS-2																																																																																																															
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	ほう酸タンク水位 ^{※1} 蒸気発生器水位(広域、狭域) ^{※1} 主蒸気ライン圧力 ^{※1} 補助給水ライン流量 ^{※1} 補助給水ピット水位 ^{※1} 燃料取替水ピット水位 ^{※1} 格納容器再循環サンプル水位(広域、狭域) ^{※1}	MS-2																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																													
	<p>表 3-2 「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="685 260 1258 443"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール冷却機能</td> <td>燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度^{※1}</td> <td>PS-3</td> </tr> <tr> <td>プール給水機能</td> <td>燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位^{※1}</td> <td>MS-2 MS-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・機器	重要度分類	プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度 ^{※1}	PS-3	プール給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位 ^{※1}	MS-2 MS-3	<p>表 3-2 「ピット冷却」及び「ピットへの給水」機能を有する系統の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="1272 260 1845 443"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>対象系統・設備</th> <th>重要度分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピット冷却機能</td> <td>使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度^{※1}</td> <td>PS-2 PS-3</td> </tr> <tr> <td>ピット給水機能</td> <td>燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位^{※1}</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 計装設備については計装ループ全体を示すため要素名を記載</p>	機能	対象系統・設備	重要度分類	ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度 ^{※1}	PS-2 PS-3	ピット給水機能	燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位 ^{※1}	MS-2																																																																																												
機能	対象系統・機器	重要度分類																																																																																																														
プール冷却機能	燃料プール冷却浄化系 残留熱除去系 使用済燃料プール水温度 ^{※1}	PS-3																																																																																																														
プール給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 使用済燃料プール水位 ^{※1}	MS-2 MS-3																																																																																																														
機能	対象系統・設備	重要度分類																																																																																																														
ピット冷却機能	使用済燃料ピット 使用済燃料ピット水浄化冷却設備 使用済燃料ピット温度 ^{※1}	PS-2 PS-3																																																																																																														
ピット給水機能	燃料取替用水ピット 燃料取替用水ポンプ 使用済燃料ピット水補給ライン 使用済燃料ピット水位 ^{※1}	MS-2																																																																																																														
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (1/17)</p> <table border="1" data-bbox="685 630 1236 1228"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="17">PS-1</td> <td rowspan="17">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="17">1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td rowspan="17">PS-1</td> <td rowspan="17">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="17">2) 過剰反応度の増加防止機能</td> <td>制御棒カップリング</td> <td>制御棒カップリング</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動機構カップリング</td> <td>制御棒駆動機構カップリング</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> <tr> <td>炉心形状の維持機能</td> <td>炉心形状の維持機能</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	対象系統・機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	2) 過剰反応度の増加防止機能	制御棒カップリング	制御棒カップリング	制御棒駆動機構カップリング	制御棒駆動機構カップリング	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (1/13)</p> <table border="1" data-bbox="1272 630 1845 1260"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>対象系統・機器</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">PS-1</td> <td rowspan="13">その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="13">1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ機能</td> <td>(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな</td> </tr> </tbody> </table>	分類	定義	機能	対象系統・機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな	
分類	定義	機能	対象系統・機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																																												
PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	2) 過剰反応度の増加防止機能	制御棒カップリング	制御棒カップリング																																																																																																									
制御棒駆動機構カップリング	制御棒駆動機構カップリング																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
炉心形状の維持機能	炉心形状の維持機能																																																																																																															
分類	定義	機能				対象系統・機器	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																																									
PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって、(a)炉心の著しい損傷、又は(b)燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器又は原子炉格納容器内機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												
			原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	(原子炉冷却材圧力バウンダリ機能としては、左記機器は静的機器であるため、漏水による影響を受けな																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(2/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉が停止系の制御系による系(制御棒及び制御棒駆動系(スクラム機能))</td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>2) 未臨界維持機能</td> <td>原子炉が停止系(制御棒による系、ほう酸水注入系)</td> <td>未臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能</td> <td>過がし安全弁(安全弁としての機能)</td> <td>原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統(残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイ系、過がし安全弁(手動過がし機能)、自動減圧系(手動過がし機能))</td> <td>残留熱除去系(ポンプ、熱交換器、原子炉停止時冷却モードとなる配管及び弁) 直接関連系(残留熱除去系) 熱交換器バイパス配管及び弁</td> <td>原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉が停止系の制御系による系(制御棒及び制御棒駆動系(スクラム機能))	原子炉の緊急停止機能	2) 未臨界維持機能	原子炉が停止系(制御棒による系、ほう酸水注入系)	未臨界維持機能	3) 原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁(安全弁としての機能)	原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統(残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイ系、過がし安全弁(手動過がし機能)、自動減圧系(手動過がし機能))	残留熱除去系(ポンプ、熱交換器、原子炉停止時冷却モードとなる配管及び弁) 直接関連系(残留熱除去系) 熱交換器バイパス配管及び弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (2/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-1</td> <td rowspan="3">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉の緊急停止機能</td> <td>原子炉が停止系の制御系による系(制御棒、制御棒駆動系(スクラム機能)、スクラムバイロット弁、スクラム弁、アキュムレータ、遮断管、配管、弁)</td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> </tr> <tr> <td>2) 未臨界維持機能</td> <td>原子炉が停止系(制御棒による系、ほう酸水注入系)</td> <td>未臨界維持機能</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能</td> <td>過がし安全弁(安全弁としての機能)</td> <td>原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉が停止系の制御系による系(制御棒、制御棒駆動系(スクラム機能)、スクラムバイロット弁、スクラム弁、アキュムレータ、遮断管、配管、弁)	原子炉の緊急停止機能	2) 未臨界維持機能	原子炉が停止系(制御棒による系、ほう酸水注入系)	未臨界維持機能	3) 原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁(安全弁としての機能)	原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																													
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																														
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉が停止系の制御系による系(制御棒及び制御棒駆動系(スクラム機能))	原子炉の緊急停止機能																																													
		2) 未臨界維持機能	原子炉が停止系(制御棒による系、ほう酸水注入系)	未臨界維持機能																																													
		3) 原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁(安全弁としての機能)	原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能																																													
		4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統(残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイ系、過がし安全弁(手動過がし機能)、自動減圧系(手動過がし機能))	残留熱除去系(ポンプ、熱交換器、原子炉停止時冷却モードとなる配管及び弁) 直接関連系(残留熱除去系) 熱交換器バイパス配管及び弁	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能																																												
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																													
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																														
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の影響を防止する構築物、系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉が停止系の制御系による系(制御棒、制御棒駆動系(スクラム機能)、スクラムバイロット弁、スクラム弁、アキュムレータ、遮断管、配管、弁)	原子炉の緊急停止機能																																													
		2) 未臨界維持機能	原子炉が停止系(制御棒による系、ほう酸水注入系)	未臨界維持機能																																													
		3) 原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能	過がし安全弁(安全弁としての機能)	原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧防止機能																																													

※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを()内に整理。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(3/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）</td> <td rowspan="4"> ・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能 </td> </tr> <tr> <td>タービンへの蒸気供給配管、弁</td> <td rowspan="3"> 直接関連系（原子炉隔離時冷却系） ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込配管、弁 </td> </tr> <tr> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションチェンバ内のストレーナ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>高圧炉心スプレイス（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ）</td> <td rowspan="4"> ・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能 </td> </tr> <tr> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションチェンバ内のストレーナ</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（高圧炉心スプレイス系） 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込配管、弁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>主蒸気過しが安全弁（手動過しが機能）</td> <td rowspan="2"> ・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器から主蒸気過しが安全弁までの主蒸気配管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">4) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過しが安全弁までの配管、弁）</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）	・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	タービンへの蒸気供給配管、弁	直接関連系（原子炉隔離時冷却系） ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込配管、弁	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	サブプレッションチェンバ内のストレーナ	MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ）	・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	ポンプミニマムフローラインの配管、弁	サブプレッションチェンバ内のストレーナ	直接関連系（高圧炉心スプレイス系） 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込配管、弁	MS-1	3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	主蒸気過しが安全弁（手動過しが機能）	・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉圧力容器から主蒸気過しが安全弁までの主蒸気配管	MS-1	4) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過しが安全弁までの配管、弁）	圧縮空気供給機能	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(3/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>余熱除去設備 ・余熱除去ポンプ ・余熱除去冷却器 ・配管及び弁（余熱除去運転モードのルートとなる範囲）</td> <td rowspan="4"> 原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能 </td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵系（貯蔵タンク） ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁</td> </tr> <tr> <td>補助給水設備 ・タービン補助給水ポンプ ・補助給水ビット ・配管及び弁（補助給水ビットから補助給水ポンプを経て主給水配管との合流部までの範囲）</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁 ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）</td> <td rowspan="4"> 原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能 </td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）</td> <td rowspan="2"> 原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能 </td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">4) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）</td> <td rowspan="2"> 原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能 </td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	余熱除去設備 ・余熱除去ポンプ ・余熱除去冷却器 ・配管及び弁（余熱除去運転モードのルートとなる範囲）	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能	復水貯蔵系（貯蔵タンク） ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁	補助給水設備 ・タービン補助給水ポンプ ・補助給水ビット ・配管及び弁（補助給水ビットから補助給水ポンプを経て主給水配管との合流部までの範囲）	高圧炉心スプレイス ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁 ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁	MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	MS-1	3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	MS-1	4) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																											
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																												
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	原子炉隔離時冷却系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁）	・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能																																																																											
			タービンへの蒸気供給配管、弁		直接関連系（原子炉隔離時冷却系） ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込配管、弁																																																																										
			ポンプミニマムフローラインの配管、弁																																																																												
			サブプレッションチェンバ内のストレーナ																																																																												
MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス（ポンプ、サブプレッションチェンバ、タービン、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバレーブ）	・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能																																																																											
			ポンプミニマムフローラインの配管、弁																																																																												
			サブプレッションチェンバ内のストレーナ																																																																												
			直接関連系（高圧炉心スプレイス系） 復水貯蔵タンク ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込弁 ポンプの復水貯蔵タンクからの汲込配管、弁																																																																												
MS-1	3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	主蒸気過しが安全弁（手動過しが機能）	・原子炉停止後における除熱のための単熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能																																																																											
			原子炉圧力容器から主蒸気過しが安全弁までの主蒸気配管																																																																												
MS-1	4) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	駆動用蒸気源（アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気過しが安全弁までの配管、弁）	圧縮空気供給機能																																																																											
			発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																								
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																												
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	余熱除去設備 ・余熱除去ポンプ ・余熱除去冷却器 ・配管及び弁（余熱除去運転モードのルートとなる範囲）	原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能																																																																											
			復水貯蔵系（貯蔵タンク） ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁																																																																												
			補助給水設備 ・タービン補助給水ポンプ ・補助給水ビット ・配管及び弁（補助給水ビットから補助給水ポンプを経て主給水配管との合流部までの範囲）																																																																												
			高圧炉心スプレイス ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁 ・ポンプミニマムフローライン配管及び弁																																																																												
MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能																																																																											
			高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）																																																																												
			高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）																																																																												
			高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）																																																																												
MS-1	3) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能																																																																											
			高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）																																																																												
MS-1	4) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過剰の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）	原子炉停止後における除熱のための二次系の補助機能																																																																											
			高圧炉心スプレイス ・高圧炉心スプレイスポンプ ・高圧炉心スプレイス配管及び弁 ・高圧炉心スプレイス弁 ・高圧炉心スプレイス弁（自動過しが機能）																																																																												

*1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(4/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 原子炉停止後の除熱機能</td> <td>残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））</td> <td>自動減圧系（手動過がし機能）</td> <td>・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能</td> </tr> <tr> <td>5) 炉心冷却機能</td> <td>直接関連系（自動減圧系（手動過がし機能）） 駆動用蒸気源（アキユムレータ、アキユムレータから主蒸気過がし配管、弁） 圧縮空気供給機能</td> <td>原子炉圧力容積から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">5) 炉心冷却機能</td> <td>残留熱除去系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧注水モード）</td> <td rowspan="4">・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（残留熱除去系（低圧注水モード））</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧注水モード）</td> <td>サブプレッションチェンバ内のストレートナ</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（低圧炉心スプレイス系）</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧炉心スプレイス系）</td> <td>サブプレッションチェンバ内のストレートナ</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（高圧炉心スプレイス系）</td> <td>高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバージャ）</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁（高圧炉心スプレイス系）</td> <td>サブプレッションチェンバ内のストレートナ</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））	自動減圧系（手動過がし機能）	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能	5) 炉心冷却機能	直接関連系（自動減圧系（手動過がし機能）） 駆動用蒸気源（アキユムレータ、アキユムレータから主蒸気過がし配管、弁） 圧縮空気供給機能	原子炉圧力容積から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管		MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	残留熱除去系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧注水モード）	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	直接関連系（残留熱除去系（低圧注水モード））	ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧注水モード）	サブプレッションチェンバ内のストレートナ	直接関連系（低圧炉心スプレイス系）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧炉心スプレイス系）	サブプレッションチェンバ内のストレートナ	直接関連系（高圧炉心スプレイス系）	高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバージャ）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁（高圧炉心スプレイス系）	サブプレッションチェンバ内のストレートナ	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (4/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">5) 炉心冷却機能</td> <td>非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系）</td> <td>原子炉隔離時冷却系 ・原子炉隔離時冷却系 ・残留熱除去系 ・残留熱除去系（低圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード）</td> <td>・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能</td> </tr> <tr> <td>5) 炉心冷却機能</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、漏水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系）	原子炉隔離時冷却系 ・原子炉隔離時冷却系 ・残留熱除去系 ・残留熱除去系（低圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード）	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能	5) 炉心冷却機能	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器		<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																								
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統（残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系（手動過がし機能）、自動減圧系（手動過がし機能））	自動減圧系（手動過がし機能）	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能																																																						
			5) 炉心冷却機能	直接関連系（自動減圧系（手動過がし機能）） 駆動用蒸気源（アキユムレータ、アキユムレータから主蒸気過がし配管、弁） 圧縮空気供給機能	原子炉圧力容積から主蒸気過がし安全弁までの主蒸気配管																																																						
MS-1	2) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	残留熱除去系（低圧注水モード）（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバから注水先までの配管、弁（熱交換器バイパスライン含む）、注水ヘッド）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧注水モード）	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能																																																						
			直接関連系（残留熱除去系（低圧注水モード））	ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧注水モード）		サブプレッションチェンバ内のストレートナ																																																					
			直接関連系（低圧炉心スプレイス系）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁（低圧炉心スプレイス系）		サブプレッションチェンバ内のストレートナ																																																					
			直接関連系（高圧炉心スプレイス系）	高圧炉心スプレイス系（ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイス先までの配管、弁、スプレイスバージャ）		ポンプミニマムフローラインの配管、弁（高圧炉心スプレイス系）	サブプレッションチェンバ内のストレートナ																																																				
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																								
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系（低圧炉心スプレイス系、高圧炉心スプレイス系、自動減圧系）	原子炉隔離時冷却系 ・原子炉隔離時冷却系 ・残留熱除去系 ・残留熱除去系（低圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード） ・残留熱除去系（高圧注水モード）	・原子炉停止後における除熱のための残留熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力過がし機能																																																						
			5) 炉心冷却機能	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過量の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(5/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公表への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">5) 炉心冷却機能</td> <td colspan="2">自動減圧系（主蒸気逃がし安全弁）</td> <td>・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（自動減圧系（主蒸気逃がし安全弁））</td> <td>原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管</td> </tr> <tr> <td colspan="2">駆動用蒸気源（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、ホ）</td> <td>圧縮空気供給機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、所長用エアロック、機器搬出入用ハッチ）</td> <td>（真空破壊弁及び原子炉格納容器排気隔離弁については、放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td rowspan="4">4) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td colspan="2">直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">7) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公表への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">5) 炉心冷却機能</td> <td colspan="2">直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接関連系（原子炉格納容器）</td> <td>原子炉格納容器（原子炉格納容器）</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器			MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公表への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	自動減圧系（主蒸気逃がし安全弁）		・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	直接関連系（自動減圧系（主蒸気逃がし安全弁））		原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管	駆動用蒸気源（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、ホ）		圧縮空気供給機能	原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、所長用エアロック、機器搬出入用ハッチ）		（真空破壊弁及び原子炉格納容器排気隔離弁については、放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）		6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	4) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）		7) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公表への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (5/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">2) 安全上必要なその他の系統及び機器</td> <td rowspan="4">2) 安全上必要なその他の系統及び機器</td> <td colspan="2">安全保護系</td> <td>原子炉停止系 ・原子炉トリップの安全保護装置 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能</td> <td>原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">安全保護系</td> <td>原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能</td> <td>原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">安全保護系</td> <td>原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能</td> <td>原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">安全保護系</td> <td>原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能</td> <td>原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">3) 安全上必要なその他の系統及び機器</td> <td rowspan="4">3) 安全上必要なその他の系統及び機器</td> <td colspan="2">非常用炉内冷却系</td> <td>非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器</td> <td>非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用炉内冷却系</td> <td>非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器</td> <td>非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用炉内冷却系</td> <td>非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器</td> <td>非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用炉内冷却系</td> <td>非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器</td> <td>非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">4) 安全上必要なその他の系統及び機器</td> <td rowspan="4">4) 安全上必要なその他の系統及び機器</td> <td colspan="2">非常用炉内冷却系</td> <td>非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器</td> <td>非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用炉内冷却系</td> <td>非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器</td> <td>非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用炉内冷却系</td> <td>非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器</td> <td>非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常用炉内冷却系</td> <td>非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器</td> <td>非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			MS-1	2) 安全上必要なその他の系統及び機器	2) 安全上必要なその他の系統及び機器	安全保護系		原子炉停止系 ・原子炉トリップの安全保護装置 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能	原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能	安全保護系		原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能	原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能	安全保護系		原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能	原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能	安全保護系		原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能	原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能		3) 安全上必要なその他の系統及び機器	3) 安全上必要なその他の系統及び機器	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能		4) 安全上必要なその他の系統及び機器	4) 安全上必要なその他の系統及び機器	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																																																														
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																																																																																
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公表への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	自動減圧系（主蒸気逃がし安全弁）		・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能																																																																																																																														
			直接関連系（自動減圧系（主蒸気逃がし安全弁））		原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管																																																																																																																														
			駆動用蒸気源（アキムレータ、アキムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、ホ）		圧縮空気供給機能																																																																																																																														
			原子炉格納容器（格納容器本体、貫通部、所長用エアロック、機器搬出入用ハッチ）		（真空破壊弁及び原子炉格納容器排気隔離弁については、放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮蔽及び放出低減機能として考慮、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けない）																																																																																																																														
	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	4) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）																																																																																																																														
			直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）																																																																																																																														
			直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）																																																																																																																														
			直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）																																																																																																																														
	7) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力パウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公表への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）																																																																																																																														
			直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）																																																																																																																														
			直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）																																																																																																																														
			直接関連系（原子炉格納容器）		原子炉格納容器（原子炉格納容器）																																																																																																																														
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査方針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																																																													
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																																																															
MS-1	2) 安全上必要なその他の系統及び機器	2) 安全上必要なその他の系統及び機器	安全保護系		原子炉停止系 ・原子炉トリップの安全保護装置 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能	原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能																																																																																																																													
			安全保護系		原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能	原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能																																																																																																																													
			安全保護系		原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能	原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能																																																																																																																													
			安全保護系		原子炉停止系 ・原子炉停止系への原子炉停止信号の発生機能	原子炉停止系に対する自動信号 保用として作動させるものを除く）の発生機能																																																																																																																													
	3) 安全上必要なその他の系統及び機器	3) 安全上必要なその他の系統及び機器	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																																																													
			非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																																																													
			非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																																																													
			非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																																																													
	4) 安全上必要なその他の系統及び機器	4) 安全上必要なその他の系統及び機器	非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																																																													
			非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																																																													
			非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																																																													
			非常用炉内冷却系		非常用炉内冷却系 ・データバッキング機能 ・監視機能 ・制御機能から制御室までの高圧配管及び機器	非常用炉内冷却系機能 ・非常用炉内冷却系から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(6/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ）までの配管、弁、スプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））</td> <td>格納容器の冷却機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード））</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁）</td> <td>格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（非常用ガス処理系）</td> <td>乾燥装置（乾燥機能部分）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）</td> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）</td> <td>残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>遮断設備（原子炉遮断室、一次遮断室、二次遮断室）</td> <td>（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮断及び放出低減機能）として、左記機器は静的機器であるため、破損による影響を受けにくい。</td> </tr> <tr> <td>原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路・主蒸気隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ）までの配管、弁、スプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））	格納容器の冷却機能	直接関連系（残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード））	ポンプミニマムフローラインの配管、弁		2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁）	格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	直接関連系（非常用ガス処理系）	乾燥装置（乾燥機能部分）		2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）	格納容器内の可燃性ガス制御機能	直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）	残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）		2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	遮断設備（原子炉遮断室、一次遮断室、二次遮断室）	（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮断及び放出低減機能）として、左記機器は静的機器であるため、破損による影響を受けにくい。	原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路	原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能		2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路・主蒸気隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (6/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2) 安全上特に重要な関連機能</td> <td>非常用炉内冷却系、排熱及びその遮へい、換気設備・原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁、スプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ）</td> <td>格納容器の冷却機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（非常用炉内冷却系）</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁）</td> <td>格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（非常用ガス処理系）</td> <td>乾燥装置（乾燥機能部分）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）</td> <td>格納容器内の可燃性ガス制御機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）</td> <td>残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>遮断設備（原子炉遮断室、一次遮断室、二次遮断室）</td> <td>（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮断及び放出低減機能）として、左記機器は静的機器であるため、破損による影響を受けにくい。</td> </tr> <tr> <td>原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路</td> <td>原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路・主蒸気隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路</td> <td>工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用炉内冷却系、排熱及びその遮へい、換気設備・原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁、スプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ）	格納容器の冷却機能	直接関連系（非常用炉内冷却系）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁		2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁）	格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	直接関連系（非常用ガス処理系）	乾燥装置（乾燥機能部分）		2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）	格納容器内の可燃性ガス制御機能	直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）	残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）		2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	遮断設備（原子炉遮断室、一次遮断室、二次遮断室）	（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮断及び放出低減機能）として、左記機器は静的機器であるため、破損による影響を受けにくい。	原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路	原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能		2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路・主蒸気隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	<p>相違理由</p> <p>MS-1 1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器 2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</p> <p>PS-2 1) その他 2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																					
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																																						
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	6) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）（ポンプ、熱交換器、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバからスプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ）までの配管、弁、スプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ））	格納容器の冷却機能																																																																																					
			直接関連系（残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード））	ポンプミニマムフローラインの配管、弁																																																																																					
	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁）	格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能																																																																																					
			直接関連系（非常用ガス処理系）	乾燥装置（乾燥機能部分）																																																																																					
	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）	格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																					
			直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）	残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）																																																																																					
	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	遮断設備（原子炉遮断室、一次遮断室、二次遮断室）	（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮断及び放出低減機能）として、左記機器は静的機器であるため、破損による影響を受けにくい。																																																																																					
			原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路	原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能																																																																																					
	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路・主蒸気隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能																																																																																					
			発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																																						
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用炉内冷却系、排熱及びその遮へい、換気設備・原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁、スプレイ管（ドライウェル及びサブプレッションチェンバ）	格納容器の冷却機能																																																																																					
			直接関連系（非常用炉内冷却系）	ポンプミニマムフローラインの配管、弁																																																																																					
	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	非常用ガス処理系（乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉棟屋頂から排気筒までの配管、弁）	格納容器内又は放射線物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能																																																																																					
			直接関連系（非常用ガス処理系）	乾燥装置（乾燥機能部分）																																																																																					
	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	可燃性ガス濃度制御系（再結合装置、格納容器から再結合装置までの配管、弁、再結合装置から格納容器までの配管、弁）	格納容器内の可燃性ガス制御機能																																																																																					
			直接関連系（可燃性ガス濃度制御系）	残留熱除去系（再結合装置への冷却水供給をつかさどる部分）																																																																																					
	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	遮断設備（原子炉遮断室、一次遮断室、二次遮断室）	（放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮断及び放出低減機能）として、左記機器は静的機器であるため、破損による影響を受けにくい。																																																																																					
			原子炉保護系への作動信号の発生機構・原子炉保護系の安全保護回路	原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能																																																																																					
	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	7) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	工学的安全施設への作動信号の発生機構・非常用炉心冷却系作動の安全保護回路・主蒸気隔離の安全保護回路・原子炉格納容器隔離の安全保護回路・非常用ガス処理系作動の安全保護回路	工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(7/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">②安全上特に重要な関連機能</td> <td>非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び電路)</td> <td rowspan="2"> ・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能 </td> </tr> <tr> <td> 燃料系(ディスタングからディーゼル機関まで) 駆動用空気系(空気のためディーゼル機関まで) 直接関連系(非常用交流電源設備) 換気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系(軽油タンクからディスタングまで) 軽油タンク </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用所内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系(いずれも、MS-1関連のもの)</td> <td> (安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室運転は静的機能であるため、溢水による影響を受けない) 原子炉制御室非常用換気空調機能 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>中央制御室及び中央制御室運転</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>中央制御室換気空調系(放射線防護機能及び有毒ガス防護機能)(再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排風機、ダクト及びダンパ)</td> <td>原子炉制御室非常用換気空調機能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉補給冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁等)1関連)</td> <td rowspan="2">補給冷却機能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系(原子炉補給冷却水系) サージタンク</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>高圧炉心スプレイ補給冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系(高圧炉心スプレイ補給冷却水系) サージタンク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-1	①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	②安全上特に重要な関連機能	非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び電路)	・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	燃料系(ディスタングからディーゼル機関まで) 駆動用空気系(空気のためディーゼル機関まで) 直接関連系(非常用交流電源設備) 換気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系(軽油タンクからディスタングまで) 軽油タンク				非常用所内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系(いずれも、MS-1関連のもの)	(安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室運転は静的機能であるため、溢水による影響を受けない) 原子炉制御室非常用換気空調機能				中央制御室及び中央制御室運転					中央制御室換気空調系(放射線防護機能及び有毒ガス防護機能)(再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排風機、ダクト及びダンパ)	原子炉制御室非常用換気空調機能				原子炉補給冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁等)1関連)	補給冷却機能				直接関連系(原子炉補給冷却水系) サージタンク				高圧炉心スプレイ補給冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)					直接関連系(高圧炉心スプレイ補給冷却水系) サージタンク		<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(7/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-1</td> <td rowspan="2">①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">②安全上特に重要な関連機能</td> <td>1) その設備又は設備により発生する事故によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、部分的な放射性物質の放出のおそれがある構築物、系統及び機器</td> <td> ① 原子炉炉心圧力バウンダリに直接接続されていないものであつて、放射線物質を貯蔵する機器 ② 燃料を安全に取り扱う機器 </td> <td> 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリ)の大きいもの、放射性燃料ピット、使用済み燃料貯蔵ラックを含まない ガスバーンタンク 使用済み燃料ピット、使用済み燃料貯蔵ラックを含まない 放射性廃棄物貯蔵ラック </td> <td> (放射性物質を貯蔵する機能としては、左記設備は静的機能であるため、溢水による影響が及びない) 使用済み燃料ピットはピット冷却機能を有するため防護対象設備として扱われない </td> </tr> <tr> <td>2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであつて、その故障により、炉心冷却が阻まれる可能性の高い構築物、系統及び機器</td> <td> ③ 燃料を安全に取り扱う機器 </td> <td> 燃料集積トレーン 燃料集積器 使用済み燃料ピットトレーン 高圧補給系 </td> <td> (燃料を安全に取り扱う機能としては、左記設備はフェイルセーフ設計又は静荷機器のため溢水による影響が及びない) </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-2</td> <td rowspan="2">①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">②安全上特に重要な関連機能</td> <td>1) 安全弁及び過し弁の吹き止まり機能</td> <td> 加圧型安全弁、加圧型安全弁、加圧型安全弁、過し弁の吹き止まり機能に関する部分 </td> <td> 加圧型安全弁、吹き止まり機能 加圧型安全弁、吹き止まり機能 </td> <td> (安全弁の吹き止まり機能は、内部からの電気が給電電圧を必要とせず、溢水による影響が及びない) 過し弁の吹き止まり機能は、フェイルセーフ設計のため溢水による影響を受けない </td> </tr> <tr> <td>2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであつて、その故障により、炉心冷却が阻まれる可能性の高い構築物、系統及び機器</td> <td> 1) 燃料プール水の補給機能 2) 放射性物質の貯蔵機能 </td> <td> 使用済み燃料ピット補給水系 放射性物質貯蔵施設 </td> <td> 燃料プール水の補給機能として、溢水の影響が及びない (放射性物質貯蔵施設としては、放射性物質貯蔵施設は静的機能であるため、溢水による影響が及びない) </td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			MS-1	①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	②安全上特に重要な関連機能	1) その設備又は設備により発生する事故によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、部分的な放射性物質の放出のおそれがある構築物、系統及び機器	① 原子炉炉心圧力バウンダリに直接接続されていないものであつて、放射線物質を貯蔵する機器 ② 燃料を安全に取り扱う機器	放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリ)の大きいもの、放射性燃料ピット、使用済み燃料貯蔵ラックを含まない ガスバーンタンク 使用済み燃料ピット、使用済み燃料貯蔵ラックを含まない 放射性廃棄物貯蔵ラック	(放射性物質を貯蔵する機能としては、左記設備は静的機能であるため、溢水による影響が及びない) 使用済み燃料ピットはピット冷却機能を有するため防護対象設備として扱われない	2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであつて、その故障により、炉心冷却が阻まれる可能性の高い構築物、系統及び機器	③ 燃料を安全に取り扱う機器	燃料集積トレーン 燃料集積器 使用済み燃料ピットトレーン 高圧補給系	(燃料を安全に取り扱う機能としては、左記設備はフェイルセーフ設計又は静荷機器のため溢水による影響が及びない)	MS-2	①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	②安全上特に重要な関連機能	1) 安全弁及び過し弁の吹き止まり機能	加圧型安全弁、加圧型安全弁、加圧型安全弁、過し弁の吹き止まり機能に関する部分	加圧型安全弁、吹き止まり機能 加圧型安全弁、吹き止まり機能	(安全弁の吹き止まり機能は、内部からの電気が給電電圧を必要とせず、溢水による影響が及びない) 過し弁の吹き止まり機能は、フェイルセーフ設計のため溢水による影響を受けない	2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであつて、その故障により、炉心冷却が阻まれる可能性の高い構築物、系統及び機器	1) 燃料プール水の補給機能 2) 放射性物質の貯蔵機能	使用済み燃料ピット補給水系 放射性物質貯蔵施設	燃料プール水の補給機能として、溢水の影響が及びない (放射性物質貯蔵施設としては、放射性物質貯蔵施設は静的機能であるため、溢水による影響が及びない)	<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを()内に整理。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																					
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																																						
MS-1	①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	②安全上特に重要な関連機能	非常用交流電源設備(ディーゼル機関、発電機、発電機から非常用負荷までの配電設備及び電路)	・非常用の交流電源機能 ・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																					
			燃料系(ディスタングからディーゼル機関まで) 駆動用空気系(空気のためディーゼル機関まで) 直接関連系(非常用交流電源設備) 換気系 冷却水系 潤滑油系 燃料移送系(軽油タンクからディスタングまで) 軽油タンク																																																																																						
			非常用所内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補給冷却水系、直流通電系(いずれも、MS-1関連のもの)	(安全上特に重要な関連機能として、中央制御室は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出。中央制御室運転は静的機能であるため、溢水による影響を受けない) 原子炉制御室非常用換気空調機能																																																																																					
			中央制御室及び中央制御室運転																																																																																						
			中央制御室換気空調系(放射線防護機能及び有毒ガス防護機能)(再循環送風機、再循環フィルタ装置、空気調和装置、送風機、排風機、ダクト及びダンパ)	原子炉制御室非常用換気空調機能																																																																																					
			原子炉補給冷却水系(ポンプ、熱交換器、非常用系負荷冷却ライン配置、弁等)1関連)	補給冷却機能																																																																																					
			直接関連系(原子炉補給冷却水系) サージタンク																																																																																						
			高圧炉心スプレイ補給冷却水系(ポンプ、熱交換器、配管、弁)																																																																																						
			直接関連系(高圧炉心スプレイ補給冷却水系) サージタンク																																																																																						
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																																			
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																					
MS-1	①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	②安全上特に重要な関連機能	1) その設備又は設備により発生する事故によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが、部分的な放射性物質の放出のおそれがある構築物、系統及び機器	① 原子炉炉心圧力バウンダリに直接接続されていないものであつて、放射線物質を貯蔵する機器 ② 燃料を安全に取り扱う機器	放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリ)の大きいもの、放射性燃料ピット、使用済み燃料貯蔵ラックを含まない ガスバーンタンク 使用済み燃料ピット、使用済み燃料貯蔵ラックを含まない 放射性廃棄物貯蔵ラック	(放射性物質を貯蔵する機能としては、左記設備は静的機能であるため、溢水による影響が及びない) 使用済み燃料ピットはピット冷却機能を有するため防護対象設備として扱われない																																																																																			
			2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであつて、その故障により、炉心冷却が阻まれる可能性の高い構築物、系統及び機器	③ 燃料を安全に取り扱う機器	燃料集積トレーン 燃料集積器 使用済み燃料ピットトレーン 高圧補給系	(燃料を安全に取り扱う機能としては、左記設備はフェイルセーフ設計又は静荷機器のため溢水による影響が及びない)																																																																																			
MS-2	①安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	②安全上特に重要な関連機能	1) 安全弁及び過し弁の吹き止まり機能	加圧型安全弁、加圧型安全弁、加圧型安全弁、過し弁の吹き止まり機能に関する部分	加圧型安全弁、吹き止まり機能 加圧型安全弁、吹き止まり機能	(安全弁の吹き止まり機能は、内部からの電気が給電電圧を必要とせず、溢水による影響が及びない) 過し弁の吹き止まり機能は、フェイルセーフ設計のため溢水による影響を受けない																																																																																			
			2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであつて、その故障により、炉心冷却が阻まれる可能性の高い構築物、系統及び機器	1) 燃料プール水の補給機能 2) 放射性物質の貯蔵機能	使用済み燃料ピット補給水系 放射性物質貯蔵施設	燃料プール水の補給機能として、溢水の影響が及びない (放射性物質貯蔵施設としては、放射性物質貯蔵施設は静的機能であるため、溢水による影響が及びない)																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																					
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(8/17)</p> <table border="1" data-bbox="685 258 1243 667"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能※1</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-1</td> <td rowspan="4">2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="4">2) 安全上特に重要な関連機能</td> <td rowspan="4">非常用所内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補機冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）</td> <td colspan="2">原子炉補機冷却水系統（ポンプ、配管、弁、ストレーナ（MS-1関連））</td> <td rowspan="4">冷却用海水供給機能</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（原子炉補機冷却水系統）</td> <td>ストレーナ（異物除去機能をつかさどる部分）</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ補機冷却水系統（ポンプ、配管、弁、ストレーナ）</td> <td>取水路（屋外トレンチ含む）</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（高圧炉心スプレイ補機冷却水系統）</td> <td>主機能をつかさどる部分）</td> </tr> <tr> <td colspan="4">非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））</td> <td colspan="2">非常用直流電源設備</td> <td rowspan="2">非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計測制御用電源設備（蓄電池から非常用計測制御装置までの配電設備及び電路（MS-1関連））</td> <td colspan="2">非常用の計測制御用直流電源機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能※1	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用所内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補機冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）	原子炉補機冷却水系統（ポンプ、配管、弁、ストレーナ（MS-1関連））		冷却用海水供給機能	直接関連系（原子炉補機冷却水系統）	ストレーナ（異物除去機能をつかさどる部分）	高圧炉心スプレイ補機冷却水系統（ポンプ、配管、弁、ストレーナ）	取水路（屋外トレンチ含む）	直接関連系（高圧炉心スプレイ補機冷却水系統）	主機能をつかさどる部分）	非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））				非常用直流電源設備		非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	計測制御用電源設備（蓄電池から非常用計測制御装置までの配電設備及び電路（MS-1関連））				非常用の計測制御用直流電源機能		<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (8/13)</p> <table border="1" data-bbox="1272 258 1845 1018"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能※1</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td rowspan="3">事故時監視計測の一部</td> <td colspan="2">原子炉トリップ/制御/監視</td> <td rowspan="3">制御室/原子炉停止/監視/把握機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・1次冷却系圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態の監視機能</td> <td rowspan="3">加圧器過がし弁(行電閉)機能、加圧器過がし弁元弁</td> <td rowspan="3">加圧器過がし弁(行電閉)機能</td> <td colspan="2">原子炉トリップ/制御/監視</td> <td rowspan="3">制御室/原子炉停止/監視/把握機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・1次冷却系圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の超早期事象となるもの PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)</td> <td rowspan="3">計測監視/異常検知</td> <td colspan="2">原子炉トリップ/制御/監視</td> <td rowspan="3">制御室/原子炉停止/監視/把握機能</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・1次冷却系圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能※1	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計測の一部	原子炉トリップ/制御/監視		制御室/原子炉停止/監視/把握機能	・1次冷却系圧力		・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)		MS-2	2) 異常状態の監視機能	加圧器過がし弁(行電閉)機能、加圧器過がし弁元弁	加圧器過がし弁(行電閉)機能	原子炉トリップ/制御/監視		制御室/原子炉停止/監視/把握機能	・1次冷却系圧力		・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)		PS-3	1) 異常状態の超早期事象となるもの PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)	計測監視/異常検知	原子炉トリップ/制御/監視		制御室/原子炉停止/監視/把握機能	・1次冷却系圧力		・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能※1																																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																				
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物、系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用所内電源系、制御室及びその連へい、非常用換気空調系、非常用補機冷却水系、直流電源系（いずれも、MS-1関連のもの）	原子炉補機冷却水系統（ポンプ、配管、弁、ストレーナ（MS-1関連））		冷却用海水供給機能																																																																																		
				直接関連系（原子炉補機冷却水系統）	ストレーナ（異物除去機能をつかさどる部分）																																																																																			
				高圧炉心スプレイ補機冷却水系統（ポンプ、配管、弁、ストレーナ）	取水路（屋外トレンチ含む）																																																																																			
				直接関連系（高圧炉心スプレイ補機冷却水系統）	主機能をつかさどる部分）																																																																																			
非常用直流電源設備（蓄電池、蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路（MS-1関連））				非常用直流電源設備		非常用の直流電源機能 ・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能																																																																																		
計測制御用電源設備（蓄電池から非常用計測制御装置までの配電設備及び電路（MS-1関連））				非常用の計測制御用直流電源機能																																																																																				
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能※1																																																																																		
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																				
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計測の一部	原子炉トリップ/制御/監視		制御室/原子炉停止/監視/把握機能																																																																																		
				・1次冷却系圧力																																																																																				
				・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)																																																																																				
MS-2	2) 異常状態の監視機能	加圧器過がし弁(行電閉)機能、加圧器過がし弁元弁	加圧器過がし弁(行電閉)機能	原子炉トリップ/制御/監視		制御室/原子炉停止/監視/把握機能																																																																																		
				・1次冷却系圧力																																																																																				
				・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)																																																																																				
PS-3	1) 異常状態の超早期事象となるもの PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)	計測監視/異常検知	原子炉トリップ/制御/監視		制御室/原子炉停止/監視/把握機能																																																																																		
				・1次冷却系圧力																																																																																				
				・1次冷却系(高圧)圧力監視装置 (圧力)																																																																																				

※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の格付け（ ）内に整理。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																							
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(9/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">PS-2</td> <td rowspan="3">1) その損傷又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破壊を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射線物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されるもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。)</td> <td rowspan="2">主要気系、原子炉冷却材圧力バウンダリ系 (いずれも、格納容器隔離弁のみのみ)</td> <td colspan="2">原子炉冷却材圧力バウンダリ系 (原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分)</td> <td rowspan="2">(原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射線物質を貯蔵する機能</td> <td colspan="2">放射線物質貯蔵系 (活性廃式希ガスホールトアップ装置)</td> <td rowspan="2">(放射線物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>3) 燃料を安全に取り扱う機能</td> <td colspan="2">燃料取扱設備</td> <td colspan="2">燃料取扱設備 (燃料取扱設備)</td> <td rowspan="2">(燃料を安全に取り扱う機能としては、左記機器はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2) 通常運転時及び運転時の変化する過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能</td> <td colspan="2">過がし安全弁 (吹き止まり機能)</td> <td colspan="2">主要気過がし安全弁 (吹き止まり機能)</td> <td rowspan="2">(安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電源供給や電気信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-2	1) その損傷又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破壊を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射線物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されるもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。)	主要気系、原子炉冷却材圧力バウンダリ系 (いずれも、格納容器隔離弁のみのみ)	原子炉冷却材圧力バウンダリ系 (原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分)		(原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器であるため、溢水による影響を受けない)	2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射線物質を貯蔵する機能	放射線物質貯蔵系 (活性廃式希ガスホールトアップ装置)		(放射線物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	3) 燃料を安全に取り扱う機能	燃料取扱設備		燃料取扱設備 (燃料取扱設備)		(燃料を安全に取り扱う機能としては、左記機器はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない)	2) 通常運転時及び運転時の変化する過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器	1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能	過がし安全弁 (吹き止まり機能)		主要気過がし安全弁 (吹き止まり機能)		(安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電源供給や電気信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない)	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (9/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統又は機器</td> <td rowspan="2">2) 原子炉冷却材の循環機能</td> <td rowspan="2">1次冷却ポンプ及びセーフシステム</td> <td colspan="2">1次冷却ポンプ</td> <td rowspan="2">(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント内には可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">放射線物質貯蔵機能 (放射線インベントリの小さいもの)</td> <td rowspan="2">(放射線物質の貯蔵機能としては、左記機器が静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PS-3</td> <td rowspan="3">4) 電源供給機能 (炉内用を除く。)</td> <td rowspan="3">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統又は機器</td> <td rowspan="3">主要気系、循環系、冷却系、保安系</td> <td colspan="2">主要気系 (主蒸気系)</td> <td rowspan="3">(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント内には可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">循環系 (冷却系)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">保安系 (保安系)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統又は機器	2) 原子炉冷却材の循環機能	1次冷却ポンプ及びセーフシステム	1次冷却ポンプ		(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント内には可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	放射線物質貯蔵機能 (放射線インベントリの小さいもの)		(放射線物質の貯蔵機能としては、左記機器が静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	PS-3	4) 電源供給機能 (炉内用を除く。)	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統又は機器	主要気系、循環系、冷却系、保安系	主要気系 (主蒸気系)		(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント内には可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	循環系 (冷却系)		保安系 (保安系)		<p>注1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを()内に整理。</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																				
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																						
PS-2	1) その損傷又は故障により発生する事象によって、炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破壊を直ちに引き起こすおそれはないが、敷地外への過度の放射線物質の放出のおそれのある構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されるもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。)	主要気系、原子炉冷却材圧力バウンダリ系 (いずれも、格納容器隔離弁のみのみ)	原子炉冷却材圧力バウンダリ系 (原子炉冷却材圧力バウンダリ以外の部分)		(原子炉冷却材を内蔵する機能としては、左記機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																																				
		2) 原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射線物質を貯蔵する機能		放射線物質貯蔵系 (活性廃式希ガスホールトアップ装置)			(放射線物質を貯蔵する機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																																			
		3) 燃料を安全に取り扱う機能	燃料取扱設備		燃料取扱設備 (燃料取扱設備)			(燃料を安全に取り扱う機能としては、左記機器はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない)																																																																		
2) 通常運転時及び運転時の変化する過渡変化時に作動を要求されるものであって、その故障により、炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物、系統及び機器	1) 安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能	過がし安全弁 (吹き止まり機能)		主要気過がし安全弁 (吹き止まり機能)		(安全弁及び過がし弁の吹き止まり機能として、安全弁機能は外部からの電源供給や電気信号を必要とせず、溢水による影響を受けない。過がし弁機能はフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない)																																																																				
		発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針					泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能*																																																																	
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																						
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統又は機器	2) 原子炉冷却材の循環機能	1次冷却ポンプ及びセーフシステム	1次冷却ポンプ		(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント内には可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																																				
				放射線物質貯蔵機能 (放射線インベントリの小さいもの)			(放射線物質の貯蔵機能としては、左記機器が静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																																			
PS-3	4) 電源供給機能 (炉内用を除く。)	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統又は機器	主要気系、循環系、冷却系、保安系	主要気系 (主蒸気系)		(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント内には可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																																				
				循環系 (冷却系)																																																																						
				保安系 (保安系)																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(10/17)</p> <table border="1" data-bbox="685 248 1232 938"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">PS-2</td> <td rowspan="3">1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようにする構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 燃料プール水の補給機能</td> <td>核種除去系 (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバ内のストレーナから燃料プールまでの配管、弁)</td> <td>(燃料プール水の補給機能として、溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系 (残留熱除去系)</td> <td>ポンプミニマムフローラインの配管、弁、サブプレッションチェンバ内のストレーナ</td> </tr> <tr> <td>2) 放射性物質放出の防止機能</td> <td>放射性気体廃棄物処理系の隔離弁、排気装置 (非常用ガス処理系、排気管の支持機能以外)</td> <td>放射性物質放出の防止機能として、放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けにくい</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="3">1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>燃料集合体露下事故時放射性物質放出を低減する系</td> <td>原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉格納ドーム付)</td> <td>(放射性物質放出の防止機能として、左記建屋は静的機器であるため、溢水による影響を受けにくい)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>直接関連系 (原子炉建屋、原子炉格納ドーム付)</td> <td>原子炉建屋排気隔離弁</td> <td>(放射性物質放出の防止機能として考慮)</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系 (乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉格納ドームから排気までの配管、弁)</td> <td>乾燥装置 (乾燥機組部分)</td> <td>(非常用ガス処理系としてMS-1で抽出済み)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>直接関連系 (非常用ガス処理系)</td> <td>中性子室 (起動領域モニタ)</td> <td>事故時の原子炉の停止状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>原子炉水位 (燃料棒)</td> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>原子炉水位 (燃料棒)</td> <td>事故時の炉心冷却状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>原子炉圧力</td> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>圧力制限室圧力</td> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>ドライウェル圧力</td> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>サブプレッションプール水流量</td> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>格納容器内空間気放射線モニタ</td> <td>事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-2	1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようにする構築物、系統及び機器	1) 燃料プール水の補給機能	核種除去系 (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバ内のストレーナから燃料プールまでの配管、弁)	(燃料プール水の補給機能として、溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)	直接関連系 (残留熱除去系)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁、サブプレッションチェンバ内のストレーナ	2) 放射性物質放出の防止機能	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁、排気装置 (非常用ガス処理系、排気管の支持機能以外)	放射性物質放出の防止機能として、放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けにくい	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	燃料集合体露下事故時放射性物質放出を低減する系	原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉格納ドーム付)	(放射性物質放出の防止機能として、左記建屋は静的機器であるため、溢水による影響を受けにくい)	2) 事故時のプラント状態の把握機能	直接関連系 (原子炉建屋、原子炉格納ドーム付)	原子炉建屋排気隔離弁	(放射性物質放出の防止機能として考慮)	非常用ガス処理系 (乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉格納ドームから排気までの配管、弁)	乾燥装置 (乾燥機組部分)	(非常用ガス処理系としてMS-1で抽出済み)	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	直接関連系 (非常用ガス処理系)	中性子室 (起動領域モニタ)	事故時の原子炉の停止状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	原子炉水位 (燃料棒)	事故時の炉心冷却状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	原子炉水位 (燃料棒)	事故時の炉心冷却状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	原子炉圧力	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	圧力制限室圧力	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	ドライウェル圧力	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	サブプレッションプール水流量	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	格納容器内空間気放射線モニタ	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(10/13)</p> <table border="1" data-bbox="1272 248 1841 916"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">4) 電源供給機能 (非常用を除く)</td> <td rowspan="2">主電源系 (強制給排水系、送電機、送電機、送電機、送電機、送電機)</td> <td>電気系統 (電気系統)</td> <td>(生活機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>5) プラント制御機能 (非常用を除く)</td> <td>原子炉制御系、原子炉制御系、プロセス制御</td> <td>原子炉制御系の一部 原子炉制御系の一部 プロセス制御の一部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) 電源供給機能 (非常用を除く)	主電源系 (強制給排水系、送電機、送電機、送電機、送電機、送電機)	電気系統 (電気系統)	(生活機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	5) プラント制御機能 (非常用を除く)	原子炉制御系、原子炉制御系、プロセス制御	原子炉制御系の一部 原子炉制御系の一部 プロセス制御の一部	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																					
分類	定義	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																						
PS-2	1) PS-2 の構築物、系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようにする構築物、系統及び機器	1) 燃料プール水の補給機能	核種除去系 (ポンプ、サブプレッションチェンバ、サブプレッションチェンバ内のストレーナから燃料プールまでの配管、弁)	(燃料プール水の補給機能として、溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)																																																																																					
			直接関連系 (残留熱除去系)	ポンプミニマムフローラインの配管、弁、サブプレッションチェンバ内のストレーナ																																																																																					
		2) 放射性物質放出の防止機能	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁、排気装置 (非常用ガス処理系、排気管の支持機能以外)	放射性物質放出の防止機能として、放射性気体廃棄物処理系隔離弁は主要気隔離弁により代替が可能であり、それ以外は静的機器であるため、溢水による影響を受けにくい																																																																																					
2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	燃料集合体露下事故時放射性物質放出を低減する系	原子炉建屋 (原子炉建屋原子炉格納ドーム付)	(放射性物質放出の防止機能として、左記建屋は静的機器であるため、溢水による影響を受けにくい)																																																																																					
		2) 事故時のプラント状態の把握機能	直接関連系 (原子炉建屋、原子炉格納ドーム付)	原子炉建屋排気隔離弁	(放射性物質放出の防止機能として考慮)																																																																																				
			非常用ガス処理系 (乾燥装置、排風機、フィルタ装置、原子炉建屋原子炉格納ドームから排気までの配管、弁)	乾燥装置 (乾燥機組部分)	(非常用ガス処理系としてMS-1で抽出済み)																																																																																				
2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	直接関連系 (非常用ガス処理系)	中性子室 (起動領域モニタ)	事故時の原子炉の停止状態の把握機能																																																																																					
		2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	原子炉水位 (燃料棒)	事故時の炉心冷却状態の把握機能																																																																																					
2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	原子炉水位 (燃料棒)	事故時の炉心冷却状態の把握機能																																																																																					
			2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	原子炉圧力	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能																																																																																				
2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	圧力制限室圧力	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能																																																																																					
			2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	ドライウェル圧力	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能																																																																																				
2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	サブプレッションプール水流量	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能																																																																																					
			2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	格納容器内空間気放射線モニタ	事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能																																																																																				
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																			
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																																																					
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1 及び PS-2 以外の構築物、系統及び機器	4) 電源供給機能 (非常用を除く)	主電源系 (強制給排水系、送電機、送電機、送電機、送電機、送電機)	電気系統 (電気系統)	(生活機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																																																				
				5) プラント制御機能 (非常用を除く)	原子炉制御系、原子炉制御系、プロセス制御	原子炉制御系の一部 原子炉制御系の一部 プロセス制御の一部																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (11/17)</p> <table border="1" data-bbox="685 252 1256 670"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-2</td> <td rowspan="3">2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器</td> <td>1) 事故時のプラント状態の把握機能</td> <td>事故時監視計器の一部</td> <td> [低圧停止への移行] ・原子炉圧力 ・原子炉水位 (広帯域) [ドライウェルスプレイ] ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料床) ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室圧力 [サブプレッションチェンバ冷却] ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料床) ・サブプレッションチェンバ水温度 [可燃性ガス濃度制御系起動] ・格納容器内常置気水素濃度 ・格納容器内常置気酸素濃度 (対象外) </td> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> </tr> <tr> <td>2) 異常状態の緩和機能</td> <td>3階には対象機能なし</td> <td>(対象外)</td> <td>(対象外)</td> </tr> <tr> <td>3) 制御室外からの安全停止機能</td> <td>制御室外原子炉停止装置 (安全停止に関連するもの)</td> <td>中央制御室外原子炉停止装置</td> <td>(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	[低圧停止への移行] ・原子炉圧力 ・原子炉水位 (広帯域) [ドライウェルスプレイ] ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料床) ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室圧力 [サブプレッションチェンバ冷却] ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料床) ・サブプレッションチェンバ水温度 [可燃性ガス濃度制御系起動] ・格納容器内常置気水素濃度 ・格納容器内常置気酸素濃度 (対象外)	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	2) 異常状態の緩和機能	3階には対象機能なし	(対象外)	(対象外)	3) 制御室外からの安全停止機能	制御室外原子炉停止装置 (安全停止に関連するもの)	中央制御室外原子炉停止装置	(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (11/13)</p> <table border="1" data-bbox="1270 252 1843 877"> <thead> <tr> <th colspan="4">制御室外原子炉停止装置の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th>泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-2</td> <td rowspan="2">1) 異常状態の起因事象となつて、PS-1 及び PS-2 及びその関連の系統及び機器</td> <td rowspan="2">6) プラント運転補助機能</td> <td>補給空気供給装置 制動用圧縮空気設備 (MS-1 以外)</td> <td> 補給空気供給装置 ・制御空気供給装置 (MS-1以外) 制御用圧縮空気設備 (MS-1以外) 原子炉冷却材供給装置 (MS-1以外) ・配管及び弁 制御空気供給装置 ・制御空気供給装置 ・熱交換器 ・配管及び弁 補給空気供給装置 ・配管及び弁 ・2次冷却水タンク </td> <td>(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射防止機能</td> <td>放射防止装置</td> <td>放射防止装置及び内筒</td> <td>(左記機器は放射防止機能であるため、溢水による影響評価がな)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">2) 原子炉冷却材中放射線外照射防止機能を通常運転に支障のない程度に低く抑える構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">2) 原子炉冷却材の浄化機能</td> <td>化学体積制御装置の浄化装置 (MS-1以外)</td> <td> 化学体積制御装置の浄化装置 ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) </td> <td>(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材の浄化機能</td> <td>化学体積制御装置の浄化装置 (MS-1以外)</td> <td> 化学体積制御装置の浄化装置 ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) </td> <td>(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> </tbody> </table>	制御室外原子炉停止装置の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器		PS-2	1) 異常状態の起因事象となつて、PS-1 及び PS-2 及びその関連の系統及び機器	6) プラント運転補助機能	補給空気供給装置 制動用圧縮空気設備 (MS-1 以外)	補給空気供給装置 ・制御空気供給装置 (MS-1以外) 制御用圧縮空気設備 (MS-1以外) 原子炉冷却材供給装置 (MS-1以外) ・配管及び弁 制御空気供給装置 ・制御空気供給装置 ・熱交換器 ・配管及び弁 補給空気供給装置 ・配管及び弁 ・2次冷却水タンク	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射防止機能	放射防止装置	放射防止装置及び内筒	(左記機器は放射防止機能であるため、溢水による影響評価がな)	PS-3	2) 原子炉冷却材中放射線外照射防止機能を通常運転に支障のない程度に低く抑える構築物、系統及び機器	2) 原子炉冷却材の浄化機能	化学体積制御装置の浄化装置 (MS-1以外)	化学体積制御装置の浄化装置 ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外)	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	2) 原子炉冷却材の浄化機能	化学体積制御装置の浄化装置 (MS-1以外)	化学体積制御装置の浄化装置 ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外)	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				女川原子力発電所2号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																								
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																									
MS-2	2) 異常状態への対応上特に重要な構築物、系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	[低圧停止への移行] ・原子炉圧力 ・原子炉水位 (広帯域) [ドライウェルスプレイ] ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料床) ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室圧力 [サブプレッションチェンバ冷却] ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料床) ・サブプレッションチェンバ水温度 [可燃性ガス濃度制御系起動] ・格納容器内常置気水素濃度 ・格納容器内常置気酸素濃度 (対象外)	事故時のプラント操作のための情報の把握機能																																																								
		2) 異常状態の緩和機能	3階には対象機能なし	(対象外)	(対象外)																																																								
		3) 制御室外からの安全停止機能	制御室外原子炉停止装置 (安全停止に関連するもの)	中央制御室外原子炉停止装置	(制御室外からの安全停止機能として、左記機器は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出)																																																								
制御室外原子炉停止装置の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉	重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																								
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																									
PS-2	1) 異常状態の起因事象となつて、PS-1 及び PS-2 及びその関連の系統及び機器	6) プラント運転補助機能	補給空気供給装置 制動用圧縮空気設備 (MS-1 以外)	補給空気供給装置 ・制御空気供給装置 (MS-1以外) 制御用圧縮空気設備 (MS-1以外) 原子炉冷却材供給装置 (MS-1以外) ・配管及び弁 制御空気供給装置 ・制御空気供給装置 ・熱交換器 ・配管及び弁 補給空気供給装置 ・配管及び弁 ・2次冷却水タンク	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																								
			1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放射防止機能	放射防止装置	放射防止装置及び内筒	(左記機器は放射防止機能であるため、溢水による影響評価がな)																																																							
PS-3	2) 原子炉冷却材中放射線外照射防止機能を通常運転に支障のない程度に低く抑える構築物、系統及び機器	2) 原子炉冷却材の浄化機能	化学体積制御装置の浄化装置 (MS-1以外)	化学体積制御装置の浄化装置 ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外)	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																								
			2) 原子炉冷却材の浄化機能	化学体積制御装置の浄化装置 (MS-1以外)	化学体積制御装置の浄化装置 ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外) ・浄化装置 (MS-1以外)	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止は可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																							
<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを () 内に整理。</p>																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(12/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能※1</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">PS-3</td> <td rowspan="4">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td>1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)</td> <td>原子炉冷却材圧力バウナンドリから除外される許容等の小口径配管、弁 計装配管、弁 計装配管、弁</td> <td>(原子炉冷却材保持機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>2) 原子炉冷却材再循環機能</td> <td>原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (99内)、ジェットポンプ (99内)</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>3) 放射性物質の貯蔵機能</td> <td>サブプレッショングループ排水系、排水貯蔵タンク、放射性廃棄物処理施設 (放射能インベントリの小さいもの)</td> <td>(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>4) 電源供給機能 (非常用を除く)</td> <td>タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能※1	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)	原子炉冷却材圧力バウナンドリから除外される許容等の小口径配管、弁 計装配管、弁 計装配管、弁	(原子炉冷却材保持機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	2) 原子炉冷却材再循環機能	原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (99内)、ジェットポンプ (99内)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	3) 放射性物質の貯蔵機能	サブプレッショングループ排水系、排水貯蔵タンク、放射性廃棄物処理施設 (放射能インベントリの小さいもの)	(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	4) 電源供給機能 (非常用を除く)	タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (12/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th>重要度が特に高い安全機能※1</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th>構築物、系統又は機器</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MS-3</td> <td rowspan="4">D 運転時の異常な設備及び故障、MS-1、MS-2とあいまって、事象連鎖の可能性がある機器</td> <td>1) 原子炉圧力の上昇の抑制機能</td> <td>加工超過防止弁、自動調整弁</td> <td>加工超過防止弁、自動調整弁</td> <td>(原子炉圧力の上昇の抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>2) 出力上昇の抑制機能</td> <td>タービンラッシュ防止系、降圧弁付流量調整弁、タービンラッシュ防止インターロック</td> <td>タービンラッシュ防止インターロック、降圧弁付流量調整弁、タービンラッシュ防止インターロック</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>3) 原子炉冷却材の補給機能</td> <td>化学体積補給装置の充てん系、1次冷却系補給装置</td> <td>化学体積補給装置の充てん系、1次冷却系補給装置</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)</td> </tr> <tr> <td>4) 電源供給機能 (非常用を除く)</td> <td>タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所</td> <td>タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能※1	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器			MS-3	D 運転時の異常な設備及び故障、MS-1、MS-2とあいまって、事象連鎖の可能性がある機器	1) 原子炉圧力の上昇の抑制機能	加工超過防止弁、自動調整弁	加工超過防止弁、自動調整弁	(原子炉圧力の上昇の抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)	2) 出力上昇の抑制機能	タービンラッシュ防止系、降圧弁付流量調整弁、タービンラッシュ防止インターロック	タービンラッシュ防止インターロック、降圧弁付流量調整弁、タービンラッシュ防止インターロック	(当該機能が喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	3) 原子炉冷却材の補給機能	化学体積補給装置の充てん系、1次冷却系補給装置	化学体積補給装置の充てん系、1次冷却系補給装置	(当該機能が喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)	4) 電源供給機能 (非常用を除く)	タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所	タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	<p>相違理由</p> <p>(注) 赤字中の「運転時の異常な設備及び故障」のうち「高気圧発生への過剰給水」の解析において「タービントリップ」に影響緩和のための安全機能として期待しているが、溢水防護上、原子炉の高圧停止及び低圧停止を達成し、維持するために必要な機能には該当しない。(補足説明資料)</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能※1																																																							
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																								
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	1) 原子炉冷却材保持機能 (PS-1、PS-2以外のもの)	原子炉冷却材圧力バウナンドリから除外される許容等の小口径配管、弁 計装配管、弁 計装配管、弁	(原子炉冷却材保持機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																							
		2) 原子炉冷却材再循環機能	原子炉再循環ポンプ、配管、弁、ライザー管 (99内)、ジェットポンプ (99内)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																							
		3) 放射性物質の貯蔵機能	サブプレッショングループ排水系、排水貯蔵タンク、放射性廃棄物処理施設 (放射能インベントリの小さいもの)	(放射性物質の貯蔵機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																							
		4) 電源供給機能 (非常用を除く)	タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																							
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針				泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能※1																																																					
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	構築物、系統又は機器																																																							
MS-3	D 運転時の異常な設備及び故障、MS-1、MS-2とあいまって、事象連鎖の可能性がある機器	1) 原子炉圧力の上昇の抑制機能	加工超過防止弁、自動調整弁	加工超過防止弁、自動調整弁	(原子炉圧力の上昇の抑制機能としては、左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																																																						
		2) 出力上昇の抑制機能	タービンラッシュ防止系、降圧弁付流量調整弁、タービンラッシュ防止インターロック	タービンラッシュ防止インターロック、降圧弁付流量調整弁、タービンラッシュ防止インターロック	(当該機能が喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																						
		3) 原子炉冷却材の補給機能	化学体積補給装置の充てん系、1次冷却系補給装置	化学体積補給装置の充てん系、1次冷却系補給装置	(当該機能が喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、溢水による影響評価の対象から除外する)																																																						
		4) 電源供給機能 (非常用を除く)	タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所	タービン、発電機及びその附属装置、復水系 (復水器を含む)、給排水系、送電機、変圧器、開閉所	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																																						

※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱いを()内に整理。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																							
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(13/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">4) 電源供給機能（非常用を除く。）</td> <td rowspan="2">タービン、発電機及びその励磁装置。復水系（復水器を含む）、給水系、凝縮水系、送電線、変圧器、開閉所</td> <td>給水系（電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管/弁）</td> <td rowspan="2">〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（給水ポンプ、配管/弁）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">0) プラント計画・制御機能（安全保護機能を除く。）</td> <td>原子炉制御系</td> <td rowspan="2">〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕</td> </tr> <tr> <td>運転監視補助装置（制御棒駆動ミニマイザ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">6) プラント運転補助機能</td> <td rowspan="2">所内ボイラ設備、計装用圧縮空気系</td> <td>補助ボイラ設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管/弁）</td> <td rowspan="2">〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み〕</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（補助ボイラ設備）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>電気設備（変圧器）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>加熱蒸気系及び復水戻り系（ポンプ、配管/弁）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計装用圧縮空気系（空圧圧縮機、中間冷却器、配管、弁）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直接関連系（復水器加熱）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計装用圧縮空気系（計装用圧縮空気系）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	PS-3	4) 電源供給機能（非常用を除く。）	タービン、発電機及びその励磁装置。復水系（復水器を含む）、給水系、凝縮水系、送電線、変圧器、開閉所	給水系（電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管/弁）	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕	直接関連系（給水ポンプ、配管/弁）	PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	0) プラント計画・制御機能（安全保護機能を除く。）	原子炉制御系	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕	運転監視補助装置（制御棒駆動ミニマイザ）	PS-3	6) プラント運転補助機能	所内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	補助ボイラ設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管/弁）	〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み〕	直接関連系（補助ボイラ設備）				電気設備（変圧器）					加熱蒸気系及び復水戻り系（ポンプ、配管/弁）					計装用圧縮空気系（空圧圧縮機、中間冷却器、配管、弁）					直接関連系（復水器加熱）					計装用圧縮空気系（計装用圧縮空気系）		<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(13/13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MS-3</td> <td rowspan="2">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td>原子炉発電所緊急時対策用電源</td> <td rowspan="2">〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、施設内による影響評価の対象から除外される〕</td> </tr> <tr> <td>原子力発電所緊急時対策用電源の一部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-3</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>原子炉制御の一部</td> <td rowspan="2">〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、施設内による影響評価の対象から除外される〕</td> </tr> <tr> <td>プロセス制御の一部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-3</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>消火設備</td> <td rowspan="2">〔左記機能は他の消火設備より代替が可能である〕</td> </tr> <tr> <td>消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-3</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>消火設備</td> <td rowspan="2">〔消火ポンプは他の消火設備より代替可能であり、火災検出設備については復旧より対応が可能である。安全解析については詳細評価で対応するため溢水による影響を低減〕</td> </tr> <tr> <td>消火設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-3</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>安全監視設備</td> <td rowspan="2">〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕</td> </tr> <tr> <td>安全監視設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-3</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>安全監視設備</td> <td rowspan="2">〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕</td> </tr> <tr> <td>安全監視設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MS-3</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>非常用照明</td> <td rowspan="2">〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕</td> </tr> <tr> <td>非常用照明</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子炉発電所緊急時対策用電源	〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、施設内による影響評価の対象から除外される〕	原子力発電所緊急時対策用電源の一部	MS-3			原子炉制御の一部	〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、施設内による影響評価の対象から除外される〕	プロセス制御の一部	MS-3			消火設備	〔左記機能は他の消火設備より代替が可能である〕	消火設備	MS-3			消火設備	〔消火ポンプは他の消火設備より代替可能であり、火災検出設備については復旧より対応が可能である。安全解析については詳細評価で対応するため溢水による影響を低減〕	消火設備	MS-3			安全監視設備	〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕	安全監視設備	MS-3			安全監視設備	〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕	安全監視設備	MS-3			非常用照明	〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕	非常用照明	<p>相違理由</p>
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																																						
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																																																							
PS-3	4) 電源供給機能（非常用を除く。）	タービン、発電機及びその励磁装置。復水系（復水器を含む）、給水系、凝縮水系、送電線、変圧器、開閉所	給水系（電動機駆動原子炉給水ポンプ、タービン駆動原子炉給水ポンプ、給水加熱器、配管/弁）	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕																																																																																																						
			直接関連系（給水ポンプ、配管/弁）																																																																																																							
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構築物、系統及び機器	0) プラント計画・制御機能（安全保護機能を除く。）	原子炉制御系	〔当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している〕																																																																																																						
			運転監視補助装置（制御棒駆動ミニマイザ）																																																																																																							
PS-3	6) プラント運転補助機能	所内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	補助ボイラ設備（補助ボイラー、給水タンク、給水ポンプ、配管/弁）	〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み〕																																																																																																						
			直接関連系（補助ボイラ設備）																																																																																																							
			電気設備（変圧器）																																																																																																							
			加熱蒸気系及び復水戻り系（ポンプ、配管/弁）																																																																																																							
			計装用圧縮空気系（空圧圧縮機、中間冷却器、配管、弁）																																																																																																							
			直接関連系（復水器加熱）																																																																																																							
			計装用圧縮空気系（計装用圧縮空気系）																																																																																																							
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		泊発電所3号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																																																																						
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																																																							
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子炉発電所緊急時対策用電源	〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、施設内による影響評価の対象から除外される〕																																																																																																						
			原子力発電所緊急時対策用電源の一部																																																																																																							
MS-3			原子炉制御の一部	〔左記機能が機能喪失した場合においても、プラント停止が可能であるため、施設内による影響評価の対象から除外される〕																																																																																																						
			プロセス制御の一部																																																																																																							
MS-3			消火設備	〔左記機能は他の消火設備より代替が可能である〕																																																																																																						
			消火設備																																																																																																							
MS-3			消火設備	〔消火ポンプは他の消火設備より代替可能であり、火災検出設備については復旧より対応が可能である。安全解析については詳細評価で対応するため溢水による影響を低減〕																																																																																																						
			消火設備																																																																																																							
MS-3			安全監視設備	〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕																																																																																																						
			安全監視設備																																																																																																							
MS-3			安全監視設備	〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕																																																																																																						
			安全監視設備																																																																																																							
MS-3			非常用照明	〔左記機能は計装機能のため溢水による影響を低減〕																																																																																																						
			非常用照明																																																																																																							
<p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器について、溢水影響評価上の扱い（ ）内に整理。</p>																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																									
	<p>表3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(14/17)</p> <table border="1" data-bbox="685 252 1258 774"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構造物、系統又は機器</th> <th>構造物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PS-3</td> <td rowspan="2">1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構造物、系統及び機器 6) プラント運転補助機能</td> <td rowspan="2">西内ボイラ設備、計装用圧縮空気系</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接配管系 (タービン補機冷却水系) サージタンク タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直接配管系 (復水補給水 復水貯蔵タンク)</td> <td>原子炉補機冷却水系 (DS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接配管系 (タービン補機冷却水系) サージタンク</td> <td rowspan="2">(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>燃料被覆管 上/下部検 タイロッド</td> <td>(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2) 原子炉冷却剂中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構造物、系統及び機器</td> <td>2) 原子炉冷却剂の浄化機能</td> <td>原子炉冷却剂浄化系、復水浄化系 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)</td> <td>原子炉冷却剂浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)</td> <td>(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)</td> </tr> </tbody> </table>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構造物、系統又は機器	構造物、系統又は機器	PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構造物、系統及び機器 6) プラント運転補助機能	西内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	原子炉補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接配管系 (タービン補機冷却水系) サージタンク タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直接配管系 (復水補給水 復水貯蔵タンク)	原子炉補機冷却水系 (DS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接配管系 (タービン補機冷却水系) サージタンク	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	燃料被覆管 上/下部検 タイロッド	(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)		2) 原子炉冷却剂中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構造物、系統及び機器	2) 原子炉冷却剂の浄化機能	原子炉冷却剂浄化系、復水浄化系 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)	原子炉冷却剂浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																							
分類	定義	機能	構造物、系統又は機器	構造物、系統又は機器																								
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって、PS-1及びPS-2以外の構造物、系統及び機器 6) プラント運転補助機能	西内ボイラ設備、計装用圧縮空気系	原子炉補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接配管系 (タービン補機冷却水系) サージタンク タービン補機冷却海水系 (タービン補機冷却海水ポンプ、配管/弁、ストレーナ) 復水補給水系 (復水移送ポンプ、配管/弁) 直接配管系 (復水補給水 復水貯蔵タンク)	原子炉補機冷却水系 (DS-1 関連以外) (配管/弁) タービン補機冷却水系 (タービン補機冷却水ポンプ、熱交換器、配管/弁) 直接配管系 (タービン補機冷却水系) サージタンク	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																							
				燃料被覆管 上/下部検 タイロッド		(左記機器は静的機器であるため、溢水による影響を受けない)																						
	2) 原子炉冷却剂中放射線物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構造物、系統及び機器	2) 原子炉冷却剂の浄化機能	原子炉冷却剂浄化系、復水浄化系 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)	原子炉冷却剂浄化系 (再生熱交換器、非再生熱交換器、ポンプ、ろ過脱塩装置、配管、弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置、復水脱塩装置、配管、弁)	(左記機器が機能喪失した場合においても、プラント停止することで対応可能である。なお、プラントを停止するための機能は溢水影響評価上の防護対象設備として抽出済み)																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																									
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(15/17)</p> <table border="1" data-bbox="685 252 1256 1072"> <thead> <tr> <th colspan="2">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能*</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th>構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">MS-3</td> <td rowspan="5">1) 運転時の異常な過渡変化があっても、MS-1、MS-2とあいまって、事象を緩和する構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="2">1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能</td> <td>逃がし安全弁(逃がし弁機能)、タービンバイパス弁</td> <td> 主蒸気逃がし安全弁(逃がし弁機能) 原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管 直接関連系(主蒸気逃がし安全弁(逃がし弁機能)) 駆動用蒸気源(アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁) タービンバイパス弁 </td> <td>(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機能は自動減圧系により代替が可能である)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管</td> <td>直接関連系(タービンバイパス系)</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td>2) 出力上昇の抑制機能</td> <td>原子炉再循環流量制御系(ポンプトリップ機能)</td> <td>制御棒引抜監視装置(制御棒引抜阻止インターロック)</td> <td>選択制御棒挿入機構</td> <td>(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3) 原子炉冷却材の補給機能</td> <td rowspan="2">制御棒駆動水圧系、原子炉隔離時冷却系</td> <td>制御棒駆動水圧系(冷却材の補給)(ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁)</td> <td> 直接関連系(制御棒駆動水圧系(冷却材の補給)) ポンプ起動シグナルタ ポンプミニマムフローラインの配管、弁 </td> <td>(原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である)</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系(冷却材の補給)(ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁)</td> <td> タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管 </td> <td>(原子炉隔離時冷却系としてMS-1で排出済み)</td> </tr> <tr> <td>4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能</td> <td>原子炉再循環ポンプM/Gセット</td> <td>DRRには対象機能なし(ADRKのみ)</td> <td></td> <td>(対象外)</td> </tr> <tr> <td>5) タービントリップ</td> <td>DRRには対象機能なし</td> <td>(対象外)</td> <td></td> <td>(対象外)</td> </tr> </tbody> </table>		発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器	MS-3	1) 運転時の異常な過渡変化があっても、MS-1、MS-2とあいまって、事象を緩和する構築物、系統及び機器	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	逃がし安全弁(逃がし弁機能)、タービンバイパス弁	主蒸気逃がし安全弁(逃がし弁機能) 原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管 直接関連系(主蒸気逃がし安全弁(逃がし弁機能)) 駆動用蒸気源(アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁) タービンバイパス弁	(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機能は自動減圧系により代替が可能である)	原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管	直接関連系(タービンバイパス系)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	2) 出力上昇の抑制機能	原子炉再循環流量制御系(ポンプトリップ機能)	制御棒引抜監視装置(制御棒引抜阻止インターロック)	選択制御棒挿入機構	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)	3) 原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系、原子炉隔離時冷却系	制御棒駆動水圧系(冷却材の補給)(ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁)	直接関連系(制御棒駆動水圧系(冷却材の補給)) ポンプ起動シグナルタ ポンプミニマムフローラインの配管、弁	(原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である)	原子炉隔離時冷却系(冷却材の補給)(ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁)	タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	(原子炉隔離時冷却系としてMS-1で排出済み)	4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	原子炉再循環ポンプM/Gセット	DRRには対象機能なし(ADRKのみ)		(対象外)	5) タービントリップ	DRRには対象機能なし	(対象外)		(対象外)	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針		女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能*																																								
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																									
MS-3	1) 運転時の異常な過渡変化があっても、MS-1、MS-2とあいまって、事象を緩和する構築物、系統及び機器	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	逃がし安全弁(逃がし弁機能)、タービンバイパス弁	主蒸気逃がし安全弁(逃がし弁機能) 原子炉圧力容器から主蒸気逃がし安全弁までの主蒸気配管 直接関連系(主蒸気逃がし安全弁(逃がし弁機能)) 駆動用蒸気源(アキュムレータ、アキュムレータから主蒸気逃がし安全弁までの配管、弁) タービンバイパス弁	(原子炉圧力の上昇の緩和機能としては、左記機能は自動減圧系により代替が可能である)																																							
			原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管	直接関連系(タービンバイパス系)	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																							
		2) 出力上昇の抑制機能	原子炉再循環流量制御系(ポンプトリップ機能)	制御棒引抜監視装置(制御棒引抜阻止インターロック)	選択制御棒挿入機構	(当該機能が喪失した場合においても、安全解析上問題のないことを確認している)																																						
		3) 原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系、原子炉隔離時冷却系	制御棒駆動水圧系(冷却材の補給)(ポンプ、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管、弁)	直接関連系(制御棒駆動水圧系(冷却材の補給)) ポンプ起動シグナルタ ポンプミニマムフローラインの配管、弁	(原子炉冷却材の補給機能としては、非常用炉心冷却系により代替が可能である)																																						
				原子炉隔離時冷却系(冷却材の補給)(ポンプ、タービン、復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンクから注水先までの配管、弁)	タービンへの蒸気供給配管、弁 ポンプミニマムフローラインの配管、弁 潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管	(原子炉隔離時冷却系としてMS-1で排出済み)																																						
4) 原子炉冷却材の再循環流量低下の緩和機能	原子炉再循環ポンプM/Gセット	DRRには対象機能なし(ADRKのみ)		(対象外)																																								
5) タービントリップ	DRRには対象機能なし	(対象外)		(対象外)																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
	<p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(16/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">MS-3</td> <td rowspan="5">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="5">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td rowspan="5">原子力発電所緊急時対策所、試験採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明</td> <td>緊急時対策所</td> <td>(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ溢水漏がない緊急時対策棟内に設置されるため、溢水の影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（緊急時対策所）</td> <td>空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び部材 遮断設備</td> </tr> <tr> <td>放射線採取系（原子炉冷却放射線物質濃度サンプリング分析、原子炉格納容器内雰囲気放射線物質濃度サンプリング分析）</td> <td>(原子炉冷却放射線物質濃度については、原子炉冷却材浄化機能により代替が可能であり、原子炉格納容器内雰囲気放射線物質濃度については、事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である)</td> </tr> <tr> <td>通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）</td> <td>(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)</td> </tr> <tr> <td>放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタ）</td> <td>(気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>放射線監視設備（上記以外）</td> <td>(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事故時監視計器の一部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3-3 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(17/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th rowspan="2">重要度が特に高い安全機能^{※1}</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>定義</th> <th>機能</th> <th colspan="2">構築物、系統又は機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">MS-3</td> <td rowspan="5">2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器</td> <td rowspan="5">1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能</td> <td rowspan="5">原子力発電所緊急時対策所、試験採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明</td> <td>消火系（水消火設備、ガス消火設備）</td> <td>(左記機器は他の消火設備により代替が可能である)</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>(消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（消火系）</td> <td>消火水槽、消火水タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）</td> </tr> <tr> <td>安全避難通路</td> <td>(左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない)</td> </tr> <tr> <td>直接関連系（安全避難通路）</td> <td>安全避難用扉</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用照明</td> <td>(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 安全施設のうち重要度が特に高い安全機能に該当しない構築物、系統又は機器については、溢水影響評価上の扱いを（ ）内に整理。</p>	発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試験採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所	(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ溢水漏がない緊急時対策棟内に設置されるため、溢水の影響を受けない)	直接関連系（緊急時対策所）	空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び部材 遮断設備	放射線採取系（原子炉冷却放射線物質濃度サンプリング分析、原子炉格納容器内雰囲気放射線物質濃度サンプリング分析）	(原子炉冷却放射線物質濃度については、原子炉冷却材浄化機能により代替が可能であり、原子炉格納容器内雰囲気放射線物質濃度については、事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である)	通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)	放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタ）	(気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)				放射線監視設備（上記以外）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)				事故時監視計器の一部		発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}	分類	定義	機能	構築物、系統又は機器		MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試験採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	消火系（水消火設備、ガス消火設備）	(左記機器は他の消火設備により代替が可能である)	消火ポンプ	(消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない)	直接関連系（消火系）	消火水槽、消火水タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）	安全避難通路	(左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない)	直接関連系（安全避難通路）	安全避難用扉				非常用照明	(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である)		
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																															
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																	
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試験採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所	(緊急時対策所及びその直接関連系の機器については、水密化されかつ溢水漏がない緊急時対策棟内に設置されるため、溢水の影響を受けない)																																																															
				直接関連系（緊急時対策所）	空調系 データ収集装置 通信連絡設備 資料及び部材 遮断設備																																																															
				放射線採取系（原子炉冷却放射線物質濃度サンプリング分析、原子炉格納容器内雰囲気放射線物質濃度サンプリング分析）	(原子炉冷却放射線物質濃度については、原子炉冷却材浄化機能により代替が可能であり、原子炉格納容器内雰囲気放射線物質濃度については、事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替が可能である)																																																															
				通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能にて代替可能である)																																																															
				放射線監視設備（気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタ）	(気体廃棄物処理設備エア排気放射線モニタは事故時のプラント操作のための情報の把握機能として考慮)																																																															
			放射線監視設備（上記以外）	(左記機器は事故時のプラント操作のための情報の把握機能により代替可能である)																																																																
			事故時監視計器の一部																																																																	
発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針			女川原子力発電所2号炉		重要度が特に高い安全機能 ^{※1}																																																															
分類	定義	機能	構築物、系統又は機器																																																																	
MS-3	2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試験採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	消火系（水消火設備、ガス消火設備）	(左記機器は他の消火設備により代替が可能である)																																																															
				消火ポンプ	(消火ポンプは他の消火設備により代替が可能であり、火災検出装置については復旧により対応が可能である。それ以外については静的機器であるため溢水による影響を受けない)																																																															
				直接関連系（消火系）	消火水槽、消火水タンク 火災検出装置（受信機含む） 防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持担保するために必要なもの）																																																															
				安全避難通路	(左記機器は静的機器のため溢水による影響を受けない)																																																															
				直接関連系（安全避難通路）	安全避難用扉																																																															
			非常用照明	(左記機器は懐中電灯等の可搬型照明により代替が可能である)																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>防護対象設備のうち溢水影響評価の対象</p>	<p>防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
<p>図 1.2-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>図 3-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	<p>図 3-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>表 1.2-1 溢水影響評価の対象外とする理由</p> <table border="1" data-bbox="100 284 665 879"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①フェイルポジションで安全機能に影響しない設備</td> <td>フェイルアズイズでも安全機能に影響しない電動弁、フェイルポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁等、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は溢水影響がないと評価した。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉格納容器内の設備</td> <td>原子炉格納容器内に設置される設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度、圧力及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないものは溢水影響がないと評価した。</td> </tr> <tr> <td>③水の影響を受けない設備</td> <td>容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、静的機器は溢水影響がないと評価した。</td> </tr> <tr> <td>④他の設備で代替できる設備</td> <td>他の設備により機能が代替できる設備は機能喪失しても安全機能に影響しない。具体的には、補助給水隔離弁が機能喪失しても上流側に設置されている補助給水流量調節弁は補助給水隔離弁と別区画にあり隔離機能を有する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>（添付資料 1.2-1）重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統 （添付資料 1.2-2）防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p>	各ステップの項目	理由	①フェイルポジションで安全機能に影響しない設備	フェイルアズイズでも安全機能に影響しない電動弁、フェイルポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁等、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は溢水影響がないと評価した。	②原子炉格納容器内の設備	原子炉格納容器内に設置される設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度、圧力及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないものは溢水影響がないと評価した。	③水の影響を受けない設備	容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、静的機器は溢水影響がないと評価した。	④他の設備で代替できる設備	他の設備により機能が代替できる設備は機能喪失しても安全機能に影響しない。具体的には、補助給水隔離弁が機能喪失しても上流側に設置されている補助給水流量調節弁は補助給水隔離弁と別区画にあり隔離機能を有する。	<p>表 3-4 溢水影響評価の対象外とする理由</p> <table border="1" data-bbox="689 209 1254 1201"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 溢水により機能喪失しない</td> <td>容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。</td> </tr> <tr> <td>② PCV 内耐環境仕様設備</td> <td>PCV 内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカ試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。</td> </tr> <tr> <td>③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない</td> <td>状態監視のみの現場指示計、フェイル・アズ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。</td> </tr> <tr> <td>④ 他の設備で代替できる</td> <td>他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。</td> </tr> </tbody> </table>	各ステップの項目	理由	① 溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。	② PCV 内耐環境仕様設備	PCV 内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカ試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。	③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アズ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。	④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。	<p>表 3-4 溢水影響評価の対象外とする理由</p> <table border="1" data-bbox="1279 209 1843 1201"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①溢水により機能喪失しない</td> <td>容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉格納容器内耐環境仕様設備</td> <td>原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカ試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。</td> </tr> <tr> <td>③動作機能の喪失により安全機能に影響しない</td> <td>状態監視のみの現場指示計、フェイル・アズ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。</td> </tr> <tr> <td>④ 他の設備で代替できる</td> <td>他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。</td> </tr> </tbody> </table>	各ステップの項目	理由	①溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。	②原子炉格納容器内耐環境仕様設備	原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカ試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。	③動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アズ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。	④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
	各ステップの項目	理由																															
	①フェイルポジションで安全機能に影響しない設備	フェイルアズイズでも安全機能に影響しない電動弁、フェイルポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁等、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は溢水影響がないと評価した。																															
	②原子炉格納容器内の設備	原子炉格納容器内に設置される設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度、圧力及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないものは溢水影響がないと評価した。																															
	③水の影響を受けない設備	容器、熱交換器、フィルタ、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、静的機器は溢水影響がないと評価した。																															
④他の設備で代替できる設備	他の設備により機能が代替できる設備は機能喪失しても安全機能に影響しない。具体的には、補助給水隔離弁が機能喪失しても上流側に設置されている補助給水流量調節弁は補助給水隔離弁と別区画にあり隔離機能を有する。																																
各ステップの項目	理由																																
① 溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。																																
② PCV 内耐環境仕様設備	PCV 内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカ試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。																																
③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アズ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。																																
④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。																																
各ステップの項目	理由																																
①溢水により機能喪失しない	容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないと評価した。																																
②原子炉格納容器内耐環境仕様設備	原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、原子炉冷却材喪失（LOCA）時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様としているため、溢水影響はないと評価した。 なお、対象設備が耐環境仕様であることの確認は、メーカ試験等で行った事故時の環境条件を模擬した試験結果を確認することにより行った。																																
③動作機能の喪失により安全機能に影響しない	状態監視のみの現場指示計、フェイル・アズ・イズでも安全機能に影響しない電動弁、あるいはフェイル・ポジションでも安全機能に影響しない空気作動弁など、動作機能喪失によっても安全機能へ影響しない設備は、溢水影響がないと評価した。																																
④ 他の設備で代替できる	他の設備により機能が代替できる設備は、機能喪失しても安全機能に影響しない。																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 4 防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とするとともに、使用済燃料プールのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、使用済燃料プールの冷却機能及び使用済燃料プールへの給水機能等が維持できる設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>3. 4. 1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作(自動又は手動)又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知シ</p>	<p>3. 4 防護対象設備を防護するための設計方針</p> <p>想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とするとともに、使用済燃料ピットのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、使用済燃料ピットの冷却機能及び使用済燃料ピットへの給水機能等が維持できる設計とする。</p> <p>また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。</p> <p>3. 4. 1 没水の影響に対する設計方針</p> <p>防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか若しくは組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なうことのない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 漏えい検知システム等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作(自動又は手動)又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。</p> <p>b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外又は想定溢水量を低減することにより溢水による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。</p> <p>e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知器</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では評価ガイドに従い、高エネルギー配管(補助蒸気系統、蒸気発生器ブローダウン系統(主蒸気管室以外)及び主蒸気系統(主蒸気管室以外))の応力評価を実施し、応力評価の結果により、発生応力S_nが許容応力S_aの0.4倍を超え0.8倍以下であれば破損形態を低エネルギー配管相当である貫通クラックとして想定し、発生応力S_nが許容応力S_aの0.4倍以下であれば、破損は想定していない。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>島根2号炉審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>システムや床ドレンファンネルからの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。</p> <p>b. 溢水防護対象設備周囲に堰を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する堰については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>3. 4. 2 被水の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画において固定式消火設備等の水</p>	<p>による早期検知や床目皿からの排水等により、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。</p> <p>b. 溢水防護対象設備周囲に堰を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する堰については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>3. 4. 2 被水の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画においてガス消火設備等による</p>	<p>設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>3. 4. 3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動S_sによる地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 蒸気の漏えいを検知し、中央制御室からの遠隔隔離（自動又は手動）を行うための自動検知遠隔隔離システムを設置し、</p>	<p>水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響が発生しない設計とする。また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有する機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。</p> <p>3. 4. 3 蒸気の影響に対する設計方針</p> <p>溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策</p> <p>a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。</p> <p>流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。</p> <p>b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、破損形状を特定することにより蒸気放出による影響を軽減する設計とする。</p> <p>c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響が発生しない設計とする。</p> <p>d. 蒸気<small>の漏えいを検知し、中央制御室からの遠隔隔離（自動又は手動）を行うための配管漏えい検知システムを設置し、</small></p>	<p>相違理由</p> <p>設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>漏えい蒸気を早期隔離することで蒸気影響を緩和する設計とする。</p> <p>また、自動検知遠隔隔離システムだけでは溢水防護対象設備の健全性が確保されない場合には、破損想定箇所に防護カバーを設置することで漏えい蒸気量を抑制して、溢水防護区画内雰囲気温度への影響を軽減する設計とする。</p> <p>e. 主蒸気管破断事故時等には、建屋内外の差圧によるブローアウトパネルの開放により、溢水防護区画内において蒸気影響を軽減する設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。</p>	<p>漏えい蒸気を早期隔離することで蒸気影響を緩和する設計とする。</p> <p>(2) 溢水防護対象設備に対する対策</p> <p>a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替えを行う。</p> <p>b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3では、評価ガイドの要求に従って全周破断を想定した蒸気影響評価を実施し影響がないことを確認していることから、蒸気影響緩和を目的とした「防護カバー」は設置不要。 ・女川は原子炉建屋原子炉棟の蒸気影響評価において、ブローアウトパネルが速やかに開放し、建屋内圧が著しく上昇することはないことを前提条件としている。一方、泊の主蒸気管室における蒸気影響評価では、ブローアウトパネルが設定圧力で速やかに動作しないことも考慮し、主蒸気管室が設計耐圧まで上昇する前提としていることから、泊のブローアウトパネルは溢水影響を軽減するための設備には該当しない。
<p>1.4.4 その他の溢水</p> <p>その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システム等により早期に検知し、防護対象設備の安全機能が損なわれない程度の溢水に抑える設計となっていることを確認した。</p> <p>(添付資料1.4.4) その他漏えい事象に関する確認について</p>	<p>3. 4. 4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えいに対して、漏えい検知システムや床ドレンファンネルからの排水等により早期に検知し、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>3. 4. 4 その他の溢水に対する設計方針</p> <p>地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建屋内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p> <p>機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えいに対して、漏えい検知器による早期検知や床目皿からの排水等により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。</p>	<p>【大阪】 泊及び女川に対応する記載を比較するため、項目の記載順を入れ替えた。</p> <p>【女川】【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 島根2号炉審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離されている区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準第12条で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統について系統図から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（弁は配管図、機器は機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。また、溢水防護区画については設計図書（障壁、堰、又はその組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については図面等で図示されていることを確認した。</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋において、床面開口部（機器ハッチ、階段等）及び溢水影響評価において期待することのできる設備（水密扉、堰等）の抽出を行い、溢水経路を設定した。溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいを想定して設定した。</p>	<p>4 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>4.1 溢水防護区画の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離されている区画、並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準規則第十二条（安全施設）で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統及び使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能を有する系統について、系統図（P&ID）から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（配管施工図や機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。溢水防護区画については設計図書（壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については、図面等で図示されていることを確認した。溢水防護区画図について、添付資料7に示す。</p> <p>4.2 滞留面積の算出</p> <p>4.1にて設定した各区画について、溢水が発生した場合に滞留可能な床面をその面積として算出した。算出に当たっては、当該区画内に設置されている各機器により占有されている領域等を考慮し、保守的な有効面積を算出した。詳細については、添付資料8に示す。</p> <p>4.3 溢水経路の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋において、床開口部（機器ハッチ、階段等）及び溢水影響評価において期待することのできる設備（水密扉や堰等）の抽出を行い、溢水経路を設定した。溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいを想定して設定した。また、評価対象区画からの定量的な溢水流出を確認できる開口部等については、その効果を考慮した。</p> <p>溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。</p> <p>なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響</p>	<p>4 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>4.1 溢水防護区画の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって、他の区画と分離されている区画、並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準規則第十二条（安全施設）で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統及び使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統について、系統図から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（配管施工図や機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。溢水防護区画については設計図書（壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については、図面等で図示されていることを確認した。溢水防護区画図について、添付資料7に示す。</p> <p>4.2 滞留面積の算出</p> <p>4.1にて設定した各区画について、溢水が発生した場合に滞留可能な床面をその面積として算出した。算出に当たっては、当該区画内に設置されている各機器により占有されている領域等を考慮し、保守的な有効面積を算出した。詳細については、添付資料8に示す。</p> <p>4.3 溢水経路の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋において、床開口部（機器ハッチ、階段等）及び溢水影響評価において期待することのできる設備（水密扉や堰等）の抽出を行い、溢水経路を設定した。溢水経路の設定に当たっては、溢水防護区画内漏えいと溢水防護区画外漏えいを想定して設定した。また、評価対象区画からの定量的な溢水流出を確認できる開口部については、その効果を考慮した。</p> <p>溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。</p> <p>なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>記載方針の相違 ・女川は床ドレン、機器ハッチからも定量的な溢水流出を考慮しているのに対し、泊は床開口部以外には定量的な溢水流出に期待していないことから、「等」は記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。</p> <p>火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮した。</p> <p>また、定期検査作業に伴う防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合については、重大事故等対処施設の利用も含めた対応も考慮し、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする（別添2参照）。</p> <p>溢水影響評価において止水を期待できる設備について、添付資料9に示す。溢水防護区画図上に溢水の伝播経路を考慮した溢水伝播経路図を添付資料10に示し、各区画の接続状況や滞留面積等をブロック図上に整理した溢水伝播フロー図を添付資料11に示す。また、開口部等からの流出流量の評価について、添付資料12に示す。</p> <p>(1) 溢水防護区画内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう、当該区画から他区画への流出がないように保守的に溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。</p>	<p>響を与えないことを確認した。</p> <p>貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動S_sによる地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。</p> <p>火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮した。</p> <p>また、定期検査作業に伴う防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合については、重大事故等対処施設の利用も含めた対応も考慮し、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする（別添2参照）。</p> <p>溢水影響評価において止水を期待できる設備について、添付資料9に示す。溢水防護区画図上に溢水の伝播経路を考慮した溢水伝播経路図を添付資料10に示し、各区画の接続状況や滞留面積等をブロック図上に整理した溢水伝播フロー図を添付資料11に示す。また、開口部等からの流出流量の評価について、添付資料12に示す。</p> <p>(1) 溢水防護区画内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護区画内の水位が最も高くなるよう、当該溢水区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され、他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。ただし、消火水の放水による溢水評価において、同一区画に目皿が複数ある場合は、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮し、溢水水位を評価した。</p>	<p>響を与えないことを確認した。</p> <p>貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとした。</p> <p>火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮した。</p> <p>また、定期事業者検査作業に伴う防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合を想定しても、溢水防護対象設備が必要な安全機能を損なわないことを確認する。</p> <p>溢水影響評価において止水を期待できる設備について、添付資料9に示す。溢水防護区画図上に溢水の伝播経路を考慮した溢水伝播経路図を添付資料10に示し、開口部等からの流出流量の評価について、添付資料11に示す。</p> <p>(1) 溢水防護区画内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護区画内の水位が最も高くなるよう、当該溢水区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され、他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合として、別添2に止水要求のあるハッチ開放時の運用について記載しており、ハッチの止水機能が喪失した場合でも防護対象設備の安全機能が喪失しないよう、SA施設の利用を含めた対応を考慮した運用としている。</p> <p>・一方泊の溢水評価では、ハッチの止水には期待しておらず、定期事業者検査中であってもハッチの開閉状態が評価に影響することは無く、定期検査作業時にハッチを溢水経路としないための運用は定める必要がない。（先行PWRと同様）</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・PWRでは、地震・想定破損・消火水の評価ケースごとに溢水伝播経路図を作成することで溢水経路を特定し、没水影響評価結果整理表にて没水評価を実施していることから、溢水伝播フロー図は作成しない。（PWR共通）</p> <p>（詳細は補足説明資料45で説明）</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は同一区画内に複数の目皿がある場合においても、評価の保守性を大きくとる観点から目皿による溢水の流出は考慮していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 床面開口部及び床面貫通部 溢水防護区画床面に床面開口部又は床面貫通部が設置されている場合であっても床面開口部又は床面貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は溢水防護区画から他の区画への流出を考慮する。</p> <p>c. 壁貫通部 溢水防護区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉 溢水防護区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備 溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように保守的に溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン 溢水防護区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合は、水位差による流入量を考慮する。 ただし、溢水防護区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮する。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部 溢水防護区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとする。 ただし、開口部又は貫通部に流出防止対策を施している場合は、溢水防護区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部 溢水防護区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であっても、隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮する。</p>	<p>b. 床面開口部及び床貫通部 評価対象区画床面に床開口部又は床貫通部が設置されている場合であっても、床面開口部又は床貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は、評価対象区画から他の区画への流出を考慮した。</p> <p>c. 壁貫通部 評価対象区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン 評価対象区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合は、水位差による流入量を考慮した。 ただし、評価対象区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮した。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部 評価対象区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとした。 ただし、開口部又は貫通部に流出防止処置を施している場合は、評価対象区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部 評価対象区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合は、その貫通部からの流入を考慮した。 ただし、境界壁の貫通部に流出防止処置を施している場合は、評価対象区画への流入は考慮しない。</p>	<p>b. 床面開口部及び床貫通部 評価対象区画床面に床開口部又は床貫通部が設置されている場合であっても、床面開口部又は床貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は、評価対象区画から他の区画への流出を考慮した。</p> <p>c. 壁貫通部 評価対象区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン 評価対象区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合は、水位差による流入量を考慮した。 ただし、評価対象区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮した。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部 評価対象区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとした。 ただし、開口部又は貫通部に流出防止処置を施している場合は、評価対象区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部 評価対象区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合は、その貫通部からの流入を考慮した。 ただし、境界壁の貫通部に流出防止処置を施している場合は、評価対象区画への流入は考慮しない。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 大阪は溢水防護区画と記載しているが、泊及び女川はガイドの記載を踏襲し、評価対象区画としている。（以下同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 扉 溢水防護区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮する。 ただし、水密扉については、水圧による水密性を確保でき、その水位に耐えられる強度を有しており、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰 溢水が発生している区画に堰が設置され、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとする。</p> <p>f. 排水設備 溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを經由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p> <p>(添付資料1.3-1) 溢水防護区画の設定 (添付資料1.3-2) 溢水経路と溢水経路概念図 (添付資料1.3-3) 溢水影響評価で止水を期待できる設備</p>	<p>d. 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮した。 ただし、水密扉については、水圧に対し水密性が確保でき、その水圧に耐えられる強度を有しているため、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰 溢水が発生している区画に堰が設置されており、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとした。</p> <p>f. 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは開口部を經由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>d. 扉 評価対象区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮した。 ただし、水密扉については、水圧に対し水密性が確保でき、その水圧に耐えられる強度を有しているため、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰 溢水が発生している区画に堰が設置されており、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとした。</p> <p>f. 排水設備 評価対象区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは開口部を經由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
<p>1.4 評価に用いる各項目の溢水影響評価</p> <p>1.4.1 想定破損による溢水</p> <p>1.4.1.1 想定破損による溢水源</p> <p>大阪3号炉及び4号炉における原子炉周辺建屋、制御建屋の流体を内包する配管を検討対象とし、建屋内の系統図から抽出し、溢水ガイド付録Aにしたがい、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分類した。結果を表1.4.1.1-1及び表1.4.1.1-2に示す。</p>	<p>5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>5.1 想定破損による溢水源</p> <p>(1) 破損を想定する配管の分類</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋内の水系配管（油系統配管含む）について、高エネルギー配管^{*1}と低エネルギー配管^{*2}の分類フローに基づき、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分類した。分類した結果を添付資料13に示す。溢水ガイドの記載のとおり、高エネルギー配管は完全全周破断、低エネルギー配管は貫通クラックを想定し、溢水影響を評価（没水評価及び蒸気評価）した。</p> <p>なお、一部の配管について、溢水ガイド附属書A「流体を内包する配管の破損による溢水の詳細評価手法につい</p>	<p>5 想定破損評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>5.1 想定破損による溢水源</p> <p>(1) 破損を想定する配管の分類</p> <p>防護対象設備が設置されている建屋内の水系配管（油系統配管含む）について、高エネルギー配管^{*1}と低エネルギー配管^{*2}の分類フローに基づき、高エネルギー配管と低エネルギー配管に分類した。分類した結果を添付資料12に示す。溢水ガイドの記載のとおり、高エネルギー配管は完全全周破断、低エネルギー配管は貫通クラックを想定し、溢水影響を評価（没水評価及び蒸気評価）した。</p> <p>なお、一部の配管について、溢水ガイド附属書A「流体を内包する配管の破損による溢水の詳細評価手法につい</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.1.1-1 溢水源の配管リスト抽出フロー</p> <p>図 1.4.1.1-2 配管の想定破損形状</p> <p>図 1.4.1.1-2 配管の想定破損形状</p>	<p>て」の規定^{※3}を適用した。</p> <p>※1 「高エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水、蒸気については配管径に関係なく影響を評価した。なお、高エネルギー配管として運転している割合が当該システムの運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。</p> <p>※2 「低エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。（ただし静水頭圧の配管は除く）</p> <p>※3 溢水ガイド附属書Aでは、配管の発生応力S_nが許容応力S_aに対する条件を満足すれば、以下の想定が可能であることを規定している（以下、摘要）。</p> <p>【高エネルギー配管（ターミナルエンドを除く）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 想定破損なし $0.4S_a < S_n \leq 0.8S_a \Rightarrow$ 貫通クラック <p>【低エネルギー配管】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 想定破損なし 	<p>て」の規定^{※3}を適用した。</p> <p>※1 「高エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gage]を超える配管。ただし、被水、蒸気については配管径に関係なく影響を評価した。なお、高エネルギー配管として運転している割合が当該システムの運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。</p> <p>※2 「低エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gage]以下の配管。（ただし静水頭圧の配管は除く）</p> <p>※3 溢水ガイド附属書Aでは、配管の発生応力S_nが許容応力S_aに対する条件を満足すれば、以下の想定が可能であることを規定している（以下、摘要）。</p> <p>【高エネルギー配管（ターミナルエンドを除く）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 想定破損なし $0.4S_a < S_n \leq 0.8S_a \Rightarrow$ 貫通クラック <p>【低エネルギー配管】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管 <ul style="list-style-type: none"> (a) クラス2, 3又は非安全系配管 <ul style="list-style-type: none"> $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 想定破損なし 	<p>相違理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>1.4.1.2 想定破損による溢水影響評価</p> <p>1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>(1) 高エネルギー配管の破損形状の評価</p> <p>破損の想定はターミナルエンドと一般部（ターミナルエンド以外）について実施した。</p> <p>大阪3号炉及び4号炉における高エネルギー配管の破損の形状については、溢水ガイド附属書Aの高エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、ターミナルエンドは完全全周破断、ターミナルエンド以外（一般部）は、許容応力の0.8倍又は、0.4倍に応じた破損形状とする旨の記載にしたがって評価している。</p> <p>応力評価は、配管仕様（内圧、自重、地震等）から標準支持間隔法により選定した代表配管ブロックについて3次元はりモデル解析で行う。また、代表とならなかった配管ブロックについても標準支持間隔法により、相対的な発生応力の確認を行う。標準支持間隔法では、評価対象となる配管系統が敷設される「建屋、階高、配管仕様」ごとに、「内圧」、「自重」、「地震動(1/3)Sa」により生じる一次応力が評価基準値以下となる標準支持間隔を算出し、対象配管ブロックの支持間隔と標準支持間隔を比較することで、単純支持はりのモデルによる二次応力評価とあわせて、発生応力（一次+二次応力が許容応力の0.8倍又は0.4倍以内であることを確認する。</p> <p>高エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1.4.1.2.1-1に示す。</p> <p>表 1.4.1.1-1 配管破損を想定する高エネルギー配管の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="208 1082 593 1484"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>溢水評価における対象範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">化学体積制御系</td> <td>封水注入配管</td> </tr> <tr> <td>充てん配管</td> </tr> <tr> <td>抽出配管</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主蒸気系</td> <td>主蒸気管</td> </tr> <tr> <td>主蒸気過がし弁</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁バイパス配管</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ドレン配管</td> </tr> <tr> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動用蒸気配管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td>主給水管</td> </tr> <tr> <td>主給水バイパス配管</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器・ブローダウン系</td> <td>蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部〜アングル弁）</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> <td>補助給水配管</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>補助蒸気供給配管</td> </tr> </tbody> </table>	系統名	溢水評価における対象範囲	化学体積制御系	封水注入配管	充てん配管	抽出配管	主蒸気系	主蒸気管	主蒸気過がし弁	主蒸気隔離弁バイパス配管	主蒸気ドレン配管	タービン動補助給水ポンプ駆動用蒸気配管	主給水系	主給水管	主給水バイパス配管	蒸気発生器・ブローダウン系	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部〜アングル弁）	補助給水系	補助給水配管	補助蒸気系	補助蒸気供給配管	<p>(2) 高エネルギー配管の破損計上の想定</p> <p>原則として、高エネルギー配管は「完全全周破断」を想定する。</p> <p>ただし、蒸気評価において、区画番号:R-1F-5, R-1F-12, R-B1F-1, R-B2F-1, R-B2F-5, R-B3F-2, C-1F-1及びC-1F-3に設置されている加熱蒸気系の配管、区画番号:R-B1F-1, R-B2F-1に設置されている加熱蒸気復水戻り系配管については、配管の発生応力Snを許容応力Saに対して、条件 $(Sn \leq 0.4Sa)$ に満足するように対策を講ずることとし、想定破損除外を適用した。</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について、添付資料14に示す。</p> <p>なお、想定破損の除外を適用するに当たっては、評価対象範囲内にターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p> <p>(3) 低エネルギー配管の破損形状の想定</p> <p>原則として、低エネルギー配管は「貫通クラック」を想定する。</p> <p>ただし、区画番号:R-2F-1-1に設置されている換気空調補機常用冷却水系配管、区画番号:R-B3F-3, R-B3F-6及びR-B3F-7に設置されている残留熱除去系配管、区画番号:R-B3F-4に設置されている低圧炉心スプレイ系配管、区画番号:R-B3F-5に設置されている高圧炉心スプレイ系配管、区画番号:R-B3F-2に設置されている原子炉隔離時冷却系配管については、配管の発生応力Snが許容応力Saに対する条件 $(Sn \leq 0.4Sa)$ を満足することが確認できたことから、想定破損除外を適用した。低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果について、添付資料15に示す。</p>	<p>(2) 高エネルギー配管の破損形状の想定</p> <p>原則として、高エネルギー配管は「完全全周破断」を想定する。</p> <p>ただし、没水評価及び蒸気評価において、区画番号:3RB-F-N2に設置されている蒸気発生器ブローダウン系統配管の一部（主蒸気管室外）及び主蒸気系統（主蒸気管室外）については、配管の発生応力Snを許容応力Saに対して、条件 $(Sn \leq 0.4Sa)$ を満足することが確認できたことから、想定破損除外を適用した。</p> <p>また、蒸気評価において、区画番号:3AB-D-N1, 3AB-D-2, 3RB-D-1, 3RB-D-2, 3RB-D-3, 3AB-H-1, 3AB-H-N4, 3AB-F-1, 3AB-F-N7, 3RB-E-2, 3RB-E-1, 3RB-F-N2に設置されている補助蒸気系統配管については、配管の発生応力Snを許容応力Saに対して、条件 $(0.4Sa < Sn \leq 0.8Sa)$ を満足することが確認できたことから、破損形状は貫通クラックを想定した。</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について、添付資料13に示す。</p> <p>なお、想定破損の除外を適用するに当たっては、評価対象範囲内にターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p> <p>(3) 低エネルギー配管の破損形状の想定</p> <p>原則として、低エネルギー配管は「貫通クラック」を想定する。</p> <p>ただし、防護対象設備が設置される原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋（海水ポンプ室及び海水ストレナ室）に設置されている低エネルギー配管については、配管の発生応力Snが許容応力Saに対する条件 $(Sn \leq 0.4Sa)$ を満足することが確認できたことから、想定破損除外を適用した。低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果について、添付資料14に示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>記載表現の相違 区画番号・系統名称の相違</p> <p>記載方針の相違 泊は蒸気発生器ブローダウン系統配管の一部（主蒸気管室外）及び主蒸気系統（主蒸気管室外）については没水評価でも想定破損除外を適用しているため、没水評価及び蒸気評価と記載している。</p> <p>設計方針の相違 泊では評価ガイドに従い、高エネルギー配管である補助蒸気系統の応力評価を実施し、応力評価の結果により破損形態を低エネルギー配管相当である貫通クラックとして想定している。</p> <p>記載方針の相違 ・泊は防護対象設備が設置される建屋に設置されている低エネルギー配管は応力評価による想定破損除外を適用していることから、女川のような区画番号ではなく建屋名称を記載している。</p>
系統名	溢水評価における対象範囲																							
化学体積制御系	封水注入配管																							
	充てん配管																							
	抽出配管																							
主蒸気系	主蒸気管																							
	主蒸気過がし弁																							
	主蒸気隔離弁バイパス配管																							
	主蒸気ドレン配管																							
	タービン動補助給水ポンプ駆動用蒸気配管																							
主給水系	主給水管																							
	主給水バイパス配管																							
蒸気発生器・ブローダウン系	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部〜アングル弁）																							
補助給水系	補助給水配管																							
補助蒸気系	補助蒸気供給配管																							

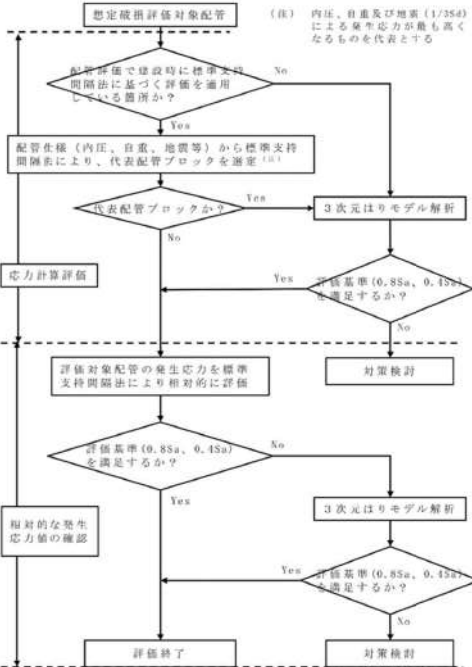
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

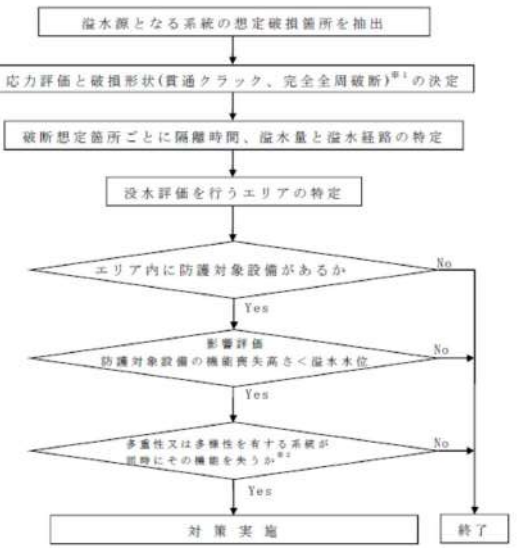
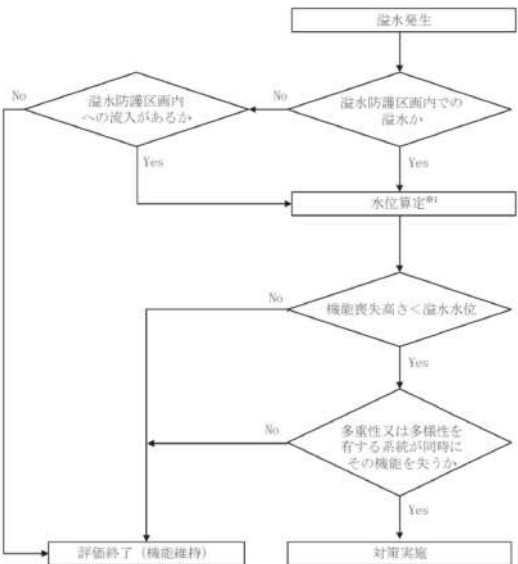
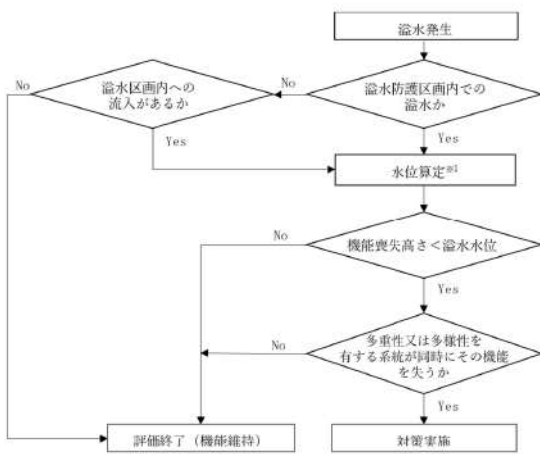
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.1.2.1-1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p> <p>(2) 低エネルギー配管の破損形状の評価 大阪3号炉及び4号炉における低エネルギー配管の破損の形状については、溢水ガイド附属書Aの低エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、許容応力の0.4倍を超える場合は貫通クラックを想定する旨の記載にしたがって評価している。 応力評価は、配管仕様（内圧、自重、地震等）から標準支持間隔法により選定した代表配管ブロックについて3次元はりモデル解析で行う。また、代表とならなかった配管ブロックについても標準支持間隔法により、相対的な発生応力の確認を行う。 標準支持間隔法では、評価対象となる配管系統が敷設される「建屋、階高、配管仕様」ごとに、「内圧」、「自重」、「地震動(1/3)Sd」により生じる一次応力が評価基準値以下となる標準支持間隔を算出し、対象配管ブロックの支持間隔と標準支持間隔を比較することで、単純支持はりのモデルによる二次応力評価とあわせて、発生応力（一次+二次応力）が許容応力の0.8倍又は0.4倍以内であることを確認する。 低エネルギー配管の破損形状の評価フローは、図1.4.1.2.1-1と同じである。</p>			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<p>表 1.4.1.1-2 配管破損を想定する低エネルギー配管の油出結果</p> <table border="1" data-bbox="219 255 542 614"> <thead> <tr> <th>系統名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉補機冷却系</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ系</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td></tr> <tr><td>冷水系</td></tr> <tr><td>I次系洗浄水系</td></tr> <tr><td>I次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td></tr> <tr><td>I次系放射性ドレン系（床ドレン）</td></tr> <tr><td>原水消火水系</td></tr> <tr><td>I次系補給水系</td></tr> <tr><td>余熱除去系</td></tr> <tr><td>燃料取替用水系</td></tr> <tr><td>燃料ピット冷却浄化系</td></tr> <tr><td>安全注入系</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系</td></tr> <tr><td>固体廃棄物処理系</td></tr> <tr><td>補助給水系（低温配管該当部分）</td></tr> </tbody> </table> <p>（添付資料 1.4.1-1）想定破損による溢水源</p>  <p>図 1.4.1.2.1-1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	系統名	原子炉補機冷却系	格納容器スプレイ系	化学体積制御系	冷水系	I次系洗浄水系	I次系放射性ドレン系（機器ドレン）	I次系放射性ドレン系（床ドレン）	原水消火水系	I次系補給水系	余熱除去系	燃料取替用水系	燃料ピット冷却浄化系	安全注入系	液体廃棄物処理系	固体廃棄物処理系	補助給水系（低温配管該当部分）			
系統名																				
原子炉補機冷却系																				
格納容器スプレイ系																				
化学体積制御系																				
冷水系																				
I次系洗浄水系																				
I次系放射性ドレン系（機器ドレン）																				
I次系放射性ドレン系（床ドレン）																				
原水消火水系																				
I次系補給水系																				
余熱除去系																				
燃料取替用水系																				
燃料ピット冷却浄化系																				
安全注入系																				
液体廃棄物処理系																				
固体廃棄物処理系																				
補助給水系（低温配管該当部分）																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価フロー 高エネルギー配管、低エネルギー配管の溢水量に基づき、溢水経路上のエリアの没水評価を実施する。(図1.4.1.2.1-2)</p>  <p>※1 ターミナルエンドは完全全周破断 ※2 原子炉外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を収束できるよう必要に応じて対策を実施する。</p> <p>図1.4.1.2.1-2 想定破損による没水影響評価フロー</p>	<p>(4) 減肉等による破損の評価について (2) 及び(3) 項の評価結果により想定破損除外を行う箇所については、減肉、腐食、又は疲労による破損を別途想定し、非破壊検査によって当該部分の損傷状態を定期的実施管理することにより、減肉による破損の想定を除外した。 減肉等による破損の評価結果について、添付資料16に示す。</p> <p>5.2 想定破損による没水影響評価 (1) 想定破損による没水影響評価フロー 高エネルギー配管、低エネルギー配管の溢水量に基づき、溢水経路上のエリアの没水評価を実施した。評価に用いる溢水量は、区画内にある溢水源のうち、最も溢水量が大きくなる系統を溢水源として設定した。 図5-1に想定破損による没水影響評価フローを示す。</p>  <p>※1 評価に用いる溢水量は、区画内にある溢水源のうち、最も溢水量が大きくなる系統を溢水源として設定した。</p> <p>図5-1 想定破損による没水影響評価フロー</p>	<p>(4) 減肉等による破損の評価について (2) 及び(3) 項の評価結果により想定破損除外を行う箇所については、減肉、腐食、又は疲労による破損を別途想定し、非破壊検査によって当該部分の損傷状態を定期的実施管理することにより、減肉による破損の想定を除外した。 減肉等による破損の評価結果について、添付資料15に示す。</p> <p>5. 2 想定破損による没水影響評価 (1) 想定破損による没水影響評価フロー 高エネルギー配管、低エネルギー配管の溢水量に基づき、溢水経路上のエリアの没水評価を実施した。評価に用いる溢水量は、区画内にある溢水源のうち、最も溢水量が大きくなる系統を溢水源として設定した。 図5-1に想定破損による没水影響評価フローを示す。</p>  <p>※1 評価に用いる溢水量は、区画内にある溢水源のうち、最も溢水量が大きくなる系統を溢水源として設定した。</p> <p>図5-1 想定破損による没水影響評価フロー</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																								
<p>(4) 高エネルギー配管の没水影響評価</p> <p>溢水源となりうる系統ごとに系統上の想定破損箇所に対して溢水経路図を作成し、フロアごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により没水影響を評価した。</p> <p>溢水量については、応力評価の結果により想定した破損形状による溢水を想定し、異常の検知、事象の判断及び漏えい箇所の特定並びに漏えい箇所の隔離等により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作を含む。）に保守性を考慮して設定し、溢水量を算出したところ、溢水源に基づいて評価した評価対象区画における最高水位が、防護対象設備の機能喪失高さを超えないことを確認した。評価結果を表1.4.1.2.1-1、表1.4.1.2.1-2に示す。</p> <p>また、中央制御室には運転員が常駐しており、中央制御室からの運転操作が可能であり、現場確認が必要な設備へのアクセス通路にあっては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p>	<p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価結果</p> <p>溢水源となりうる系統毎に系統上の想定破損箇所に対して溢水伝播フロー図を作成し、区画毎に溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により没水影響を評価した。</p> <p>高エネルギー配管の没水評価では、完全全周破断による溢水を想定し、隔離による漏えい停止に必要な時間から溢水量を算定した。想定する破損箇所は溢水評価上最も保守的となる位置での破損を想定し、設置レベル等に係わらず、評価対象となるすべての区画に対して同じ値を用いて評価を実施した。</p> <p>低エネルギー配管の没水評価では、貫通クラックによる溢水を想定し、隔離による漏えい停止に必要な時間から溢水量を算定した。想定する破損箇所は溢水評価上最も保守的となる位置での破損を想定し、設置レベル等に係わらず、評価対象となるすべての区画に対して同じ値を用いて評価を実施した。算定した溢水量に対し、以下の判定基準を満足するために、一部必要となる設備対策を実施することで、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>a. 溢水水位<防護対象設備の機能喪失高さ</p> <p>b. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。</p> <p>系統別溢水量算出結果を添付資料17に示す。また、想定破損による没水影響評価結果について、添付資料18に、評価結果から必要となる設備対策について、添付資料19にそれぞれ示す。</p>	<p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価結果</p> <p>溢水源となりうる系統ごとに系統上の想定破損箇所に対して溢水経路図を作成し、区画ごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により没水影響を評価した。</p> <p>高エネルギー配管の没水評価では、完全全周破断による溢水を想定し、隔離による漏えい停止に必要な時間から溢水量を算定した。想定する破損箇所は溢水評価上最も保守的となる位置での破損を想定し、設置レベル等にかかわらず、評価対象となるすべての区画に対して同じ値を用いて評価を実施した。算定した溢水量に対し、以下の判定基準を満足するために、一部必要となる設備対策を実施することで、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>a. 溢水水位<防護対象設備の機能喪失高さ</p> <p>b. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。</p> <p>系統別溢水量算出結果を添付資料16に示す。また、想定破損による没水影響評価結果について、添付資料17に示す。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊（PWR）は溢水経路図を作成し溢水伝播経路を確認している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は没水影響評価結果から必要となる設備対策は無いことから、女川の添付資料19に該当する資料は作成していない。なお、溢水影響評価において止水に期待する設備については添付資料9に示している。</p>																																																																																																																																								
<p>表 1.4.1.2.1-1 大飯3号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>想定破損</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①破断水位 (米上[m])</th> <th>②機能喪失高さ (米上[m])</th> <th>差</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">対水注入配管</td> <td rowspan="5">11分</td> <td rowspan="5">対水注入定常圧監視で検知に0分、判断及び特定に10分、1号で隔離</td> <td>17.1</td> <td>3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ</td> <td>0.024</td> <td>0.47</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)</td> <td>0.024</td> <td>0.48</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)</td> <td>0.024</td> <td>0.48</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>0.038</td> <td>0.71</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>3C 冷却水ポンプ</td> <td>1.074</td> <td>0.31</td> <td>①>②</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">107分</td> <td rowspan="5">3号機</td> <td>17.1</td> <td>3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ</td> <td>0.048</td> <td>0.47</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)</td> <td>0.048</td> <td>0.48</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)</td> <td>0.048</td> <td>0.48</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>0.077</td> <td>0.71</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>3C 冷却水ポンプ</td> <td>1.149</td> <td>0.31</td> <td>①>②</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">化学処理系</td> <td rowspan="5">107分</td> <td rowspan="5">3号機</td> <td>17.1</td> <td>3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ</td> <td>0.048</td> <td>0.47</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)</td> <td>0.048</td> <td>0.48</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)</td> <td>0.048</td> <td>0.48</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>0.077</td> <td>0.71</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>3C 冷却水ポンプ</td> <td>1.149</td> <td>0.31</td> <td>①>②</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">19分</td> <td rowspan="5">3号機</td> <td>17.1</td> <td>3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ</td> <td>0.023</td> <td>0.47</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)</td> <td>0.023</td> <td>0.48</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17.1</td> <td>3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)</td> <td>0.023</td> <td>0.48</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ</td> <td>0.031</td> <td>0.71</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>3C 冷却水ポンプ</td> <td>0.037</td> <td>0.31</td> <td>①>②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>①、②破断水位が防護対象設備の機能喪失高さを超えないこと、①>②は満たされており同時に機能喪失しないこと。</p>	系統	想定破損	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①破断水位 (米上[m])	②機能喪失高さ (米上[m])	差	判定	対水注入配管	11分	対水注入定常圧監視で検知に0分、判断及び特定に10分、1号で隔離	17.1	3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ	0.024	0.47	①>②	A	17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)	0.024	0.48	①>②	A	17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)	0.024	0.48	①>②	A	10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.038	0.71	①>②	A	10.0	3C 冷却水ポンプ	1.074	0.31	①>②	B	107分	3号機	17.1	3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ	0.048	0.47	①>②	A	17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)	0.048	0.48	①>②	A	17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)	0.048	0.48	①>②	A	10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.077	0.71	①>②	A	10.0	3C 冷却水ポンプ	1.149	0.31	①>②	B	化学処理系	107分	3号機	17.1	3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ	0.048	0.47	①>②	A	17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)	0.048	0.48	①>②	A	17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)	0.048	0.48	①>②	A	10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.077	0.71	①>②	A	10.0	3C 冷却水ポンプ	1.149	0.31	①>②	B	19分	3号機	17.1	3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ	0.023	0.47	①>②	A	17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)	0.023	0.48	①>②	A	17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)	0.023	0.48	①>②	A	10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.031	0.71	①>②	A	10.0	3C 冷却水ポンプ	0.037	0.31	①>②	A
系統	想定破損	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①破断水位 (米上[m])	②機能喪失高さ (米上[m])	差	判定																																																																																																																																			
対水注入配管	11分	対水注入定常圧監視で検知に0分、判断及び特定に10分、1号で隔離	17.1	3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ	0.024	0.47	①>②	A																																																																																																																																			
			17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)	0.024	0.48	①>②	A																																																																																																																																			
			17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)	0.024	0.48	①>②	A																																																																																																																																			
			10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.038	0.71	①>②	A																																																																																																																																			
			10.0	3C 冷却水ポンプ	1.074	0.31	①>②	B																																																																																																																																			
	107分	3号機	17.1	3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ	0.048	0.47	①>②	A																																																																																																																																			
			17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)	0.048	0.48	①>②	A																																																																																																																																			
			17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)	0.048	0.48	①>②	A																																																																																																																																			
			10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.077	0.71	①>②	A																																																																																																																																			
			10.0	3C 冷却水ポンプ	1.149	0.31	①>②	B																																																																																																																																			
化学処理系	107分	3号機	17.1	3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ	0.048	0.47	①>②	A																																																																																																																																			
			17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)	0.048	0.48	①>②	A																																																																																																																																			
			17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)	0.048	0.48	①>②	A																																																																																																																																			
			10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.077	0.71	①>②	A																																																																																																																																			
			10.0	3C 冷却水ポンプ	1.149	0.31	①>②	B																																																																																																																																			
	19分	3号機	17.1	3A, 3B 燃料貯蔵用ポンプ	0.023	0.47	①>②	A																																																																																																																																			
			17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054, B)	0.023	0.48	①>②	A																																																																																																																																			
			17.1	3A, 3B よう素排気蒸気注入ライン第2止め弁 (3V-CP-054, B)	0.023	0.48	①>②	A																																																																																																																																			
			10.0	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	0.031	0.71	①>②	A																																																																																																																																			
			10.0	3C 冷却水ポンプ	0.037	0.31	①>②	A																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																											
<p>表 1.4.1.2.1-1 大飯3号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L. [m])</th> <th>②機器喪失高さ (R.L. [m])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主蒸気系</td> <td>主蒸気管 （圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。）</td> <td>主蒸気ライン 圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)</td> <td>1.049</td> <td>6.74</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>主蒸気バイパス （主蒸気管分岐 ～隔離弁）</td> <td>給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)</td> <td>1.701</td> <td>6.74</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 没水水位が防護対象設備の機器喪失高さを上回らないこと。 5. トランシエントは発生しており時刻に隔離喪失しないこと。</p>								系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L. [m])	②機器喪失高さ (R.L. [m])	影響 評価	判定	主蒸気系	主蒸気管 （圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。）	主蒸気ライン 圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.049	6.74	①×②	A	主蒸気バイパス （主蒸気管分岐 ～隔離弁）	給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.701	6.74	①×②	A							<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>									
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L. [m])	②機器喪失高さ (R.L. [m])	影響 評価	判定																																									
主蒸気系	主蒸気管 （圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。）	主蒸気ライン 圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.049	6.74	①×②	A																																									
	主蒸気バイパス （主蒸気管分岐 ～隔離弁）	給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.701	6.74	①×②	A																																									
<p>表 1.4.1.2.1-1 大飯3号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L. [m])</th> <th>②機器喪失高さ (R.L. [m])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td>主給水管 （貫通部～逆止 弁）</td> <td>主蒸気ライン 圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)</td> <td>1.900</td> <td>6.74</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>主給水バイパス 配管 （脱離弁～逆 止弁）</td> <td>高圧発生器水 位低による開 子がトリップ で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止操 作に7分で隔離。</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)</td> <td>2.597</td> <td>6.74</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 没水水位が防護対象設備の機器喪失高さを上回らないこと。 5. トランシエントは発生しており時刻に隔離喪失しないこと。</p>								系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L. [m])	②機器喪失高さ (R.L. [m])	影響 評価	判定	主給水系	主給水管 （貫通部～逆止 弁）	主蒸気ライン 圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.900	6.74	①×②	A	主給水バイパス 配管 （脱離弁～逆 止弁）	高圧発生器水 位低による開 子がトリップ で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止操 作に7分で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	2.597	6.74	①×②	A																
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L. [m])	②機器喪失高さ (R.L. [m])	影響 評価	判定																																									
主給水系	主給水管 （貫通部～逆止 弁）	主蒸気ライン 圧力伝導管で 検知に2分、 切断及び特定 に10分、2分 で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.900	6.74	①×②	A																																									
	主給水バイパス 配管 （脱離弁～逆 止弁）	高圧発生器水 位低による開 子がトリップ で検知に10 分、切断及び 特定に10分、 ポンプ停止操 作に7分で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	2.597	6.74	①×②	A																																									
<p>表 1.4.1.2.1-1 大飯3号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その4</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L. [m])</th> <th>②機器喪失高さ (R.L. [m])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">蒸気発生器 ローレン ドレン</td> <td>蒸気発生器 ドレン配管 （貫通部 ～隔離弁）</td> <td>給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)</td> <td>1.046</td> <td>6.74</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>補助給水配管 （主給水管分岐 ～逆止弁）</td> <td>給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)</td> <td>1.700</td> <td>6.74</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補助蒸気系</td> <td>補助蒸気配管</td> <td>蒸気センサで 検知に10分、 自動隔離のた め切断及び隔 離喪失なし。</td> <td>17.1 15.8</td> <td>2A, 2B, 燃料冷却器用水ポンプ 3A1, 3A2, 3B1, 3B2 パワージェンラ （29-46-132, 133, 134）</td> <td>0.004 0.013</td> <td>0.47 0.06</td> <td>①×②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 没水水位が防護対象設備の機器喪失高さを上回らないこと。 5. トランシエントは発生しており時刻に隔離喪失しないこと。</p>								系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L. [m])	②機器喪失高さ (R.L. [m])	影響 評価	判定	蒸気発生器 ローレン ドレン	蒸気発生器 ドレン配管 （貫通部 ～隔離弁）	給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.046	6.74	①×②	A	補助給水配管 （主給水管分岐 ～逆止弁）	給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.700	6.74	①×②	A	補助蒸気系	補助蒸気配管	蒸気センサで 検知に10分、 自動隔離のた め切断及び隔 離喪失なし。	17.1 15.8	2A, 2B, 燃料冷却器用水ポンプ 3A1, 3A2, 3B1, 3B2 パワージェンラ （29-46-132, 133, 134）	0.004 0.013	0.47 0.06	①×②	A							
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L. [m])	②機器喪失高さ (R.L. [m])	影響 評価	判定																																									
蒸気発生器 ローレン ドレン	蒸気発生器 ドレン配管 （貫通部 ～隔離弁）	給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.046	6.74	①×②	A																																									
	補助給水配管 （主給水管分岐 ～逆止弁）	給水と蒸気流 量の不一致警 報で検知に9 分、切断及び 特定に10分、 原子炉トリッ プ操作及び状 況確認に5分、 2分で隔離。	33.6 (26.0)	3タービン動機給水 ポンプ駆動弁A,B (29-46-070A,B)	1.700	6.74	①×②	A																																									
補助蒸気系	補助蒸気配管	蒸気センサで 検知に10分、 自動隔離のた め切断及び隔 離喪失なし。	17.1 15.8	2A, 2B, 燃料冷却器用水ポンプ 3A1, 3A2, 3B1, 3B2 パワージェンラ （29-46-132, 133, 134）	0.004 0.013	0.47 0.06	①×②	A																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																																																									
<p>表 1.4.1.2.1-2 大阪4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L.[m])</th> <th>②機軸喪失高さ (R.L.[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">化学系 燃料 循環 系</td> <td rowspan="5">取水注入配管</td> <td>11分</td> <td>17.1</td> <td>4A. 燃料冷却器取水ポンプ</td> <td>0.923</td> <td>0.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>対水注入流量 制御等で検知 に9分、判断 及び特定に10 分、1分で隔 断。</td> <td>17.1</td> <td>4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)</td> <td>0.923</td> <td>0.52</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ</td> <td>0.942</td> <td>0.72</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>4C 売電ポンプ</td> <td>0.829</td> <td>0.29</td> <td>①②</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>4B 高圧注入ポンプ</td> <td>0.101</td> <td>0.50</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>17.1</td> <td>4A. 燃料冷却器取水ポンプ</td> <td>0.948</td> <td>0.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">蒸気発生 器 配管 系</td> <td rowspan="5">蒸気発生器/売 電ポンプ出口 配管 (ミニマムフロ ーライン)</td> <td>サンプル水位高 警報で検知に 17分、隔離 に10分、判断 及び特定に10 分、1分で隔 断。</td> <td>17.1</td> <td>4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)</td> <td>0.948</td> <td>0.52</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ</td> <td>0.906</td> <td>0.72</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>4C 売電ポンプ</td> <td>1.447</td> <td>0.29</td> <td>①②</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>4B 高圧注入ポンプ</td> <td>0.289</td> <td>0.50</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>17.1</td> <td>4A. 燃料冷却器取水ポンプ</td> <td>0.923</td> <td>0.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">排出配管/蒸気 発生器入口</td> <td rowspan="4">蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)</td> <td>17.1</td> <td>4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)</td> <td>0.923</td> <td>0.52</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ</td> <td>0.940</td> <td>0.72</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>4C 売電ポンプ</td> <td>0.940</td> <td>0.29</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>4B 高圧注入ポンプ</td> <td>0.101</td> <td>0.50</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 没水水位が防護対象設備の機軸喪失高さより低いこと。 2. トランジエントで取り除かれたり隔離されたりしないこと。</p>				系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機軸喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定	化学系 燃料 循環 系	取水注入配管	11分	17.1	4A. 燃料冷却器取水ポンプ	0.923	0.47	①②	A	対水注入流量 制御等で検知 に9分、判断 及び特定に10 分、1分で隔 断。	17.1	4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)	0.923	0.52	①②	A	10.0	4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ	0.942	0.72	①②	A	10.0	4C 売電ポンプ	0.829	0.29	①②	B	3.0	4B 高圧注入ポンプ	0.101	0.50	①②	A	10分	17.1	4A. 燃料冷却器取水ポンプ	0.948	0.47	①②	A	蒸気発生 器 配管 系	蒸気発生器/売 電ポンプ出口 配管 (ミニマムフロ ーライン)	サンプル水位高 警報で検知に 17分、隔離 に10分、判断 及び特定に10 分、1分で隔 断。	17.1	4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)	0.948	0.52	①②	A	10.0	4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ	0.906	0.72	①②	A	10.0	4C 売電ポンプ	1.447	0.29	①②	B	3.0	4B 高圧注入ポンプ	0.289	0.50	①②	A	10分	17.1	4A. 燃料冷却器取水ポンプ	0.923	0.47	①②	A	排出配管/蒸気 発生器入口	蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)	17.1	4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)	0.923	0.52	①②	A	10.0	4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ	0.940	0.72	①②	A	10.0	4C 売電ポンプ	0.940	0.29	①②	A	3.0	4B 高圧注入ポンプ	0.101	0.50	①②	A	<p>表 1.4.1.2.1-2 大阪4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L.[m])</th> <th>②機軸喪失高さ (R.L.[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要配管</td> <td rowspan="2">蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)</td> <td>17分</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)</td> <td>1.049</td> <td>0.70</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17分</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)</td> <td>1.013</td> <td>0.70</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 没水水位が防護対象設備の機軸喪失高さより低いこと。 2. トランジエントで取り除かれたり隔離されたりしないこと。</p>				系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機軸喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定	主要配管	蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)	17分	33.6 (26.0)	4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)	1.049	0.70	①②	A	17分	33.6 (26.0)	4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)	1.013	0.70	①②	A	<p>表 1.4.1.2.1-2 大阪4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①没水水位 (R.L.[m])</th> <th>②機軸喪失高さ (R.L.[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td rowspan="2">蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)</td> <td>17分</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)</td> <td>1.106</td> <td>0.70</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>17分</td> <td>33.6 (26.0)</td> <td>4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)</td> <td>2.027</td> <td>0.70</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 没水水位が防護対象設備の機軸喪失高さより低いこと。 2. トランジエントで取り除かれたり隔離されたりしないこと。</p>				系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機軸喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定	主給水系	蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)	17分	33.6 (26.0)	4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)	1.106	0.70	①②	A	17分	33.6 (26.0)	4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)	2.027	0.70	①②	A	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>			
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機軸喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定																																																																																																																																																																							
化学系 燃料 循環 系	取水注入配管	11分	17.1	4A. 燃料冷却器取水ポンプ	0.923	0.47	①②	A																																																																																																																																																																							
		対水注入流量 制御等で検知 に9分、判断 及び特定に10 分、1分で隔 断。	17.1	4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)	0.923	0.52	①②	A																																																																																																																																																																							
		10.0	4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ	0.942	0.72	①②	A																																																																																																																																																																								
		10.0	4C 売電ポンプ	0.829	0.29	①②	B																																																																																																																																																																								
		3.0	4B 高圧注入ポンプ	0.101	0.50	①②	A																																																																																																																																																																								
	10分	17.1	4A. 燃料冷却器取水ポンプ	0.948	0.47	①②	A																																																																																																																																																																								
	蒸気発生 器 配管 系	蒸気発生器/売 電ポンプ出口 配管 (ミニマムフロ ーライン)	サンプル水位高 警報で検知に 17分、隔離 に10分、判断 及び特定に10 分、1分で隔 断。	17.1	4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)	0.948	0.52	①②	A																																																																																																																																																																						
			10.0	4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ	0.906	0.72	①②	A																																																																																																																																																																							
			10.0	4C 売電ポンプ	1.447	0.29	①②	B																																																																																																																																																																							
			3.0	4B 高圧注入ポンプ	0.289	0.50	①②	A																																																																																																																																																																							
10分			17.1	4A. 燃料冷却器取水ポンプ	0.923	0.47	①②	A																																																																																																																																																																							
排出配管/蒸気 発生器入口	蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)	17.1	4A. 4B よう冷却水高圧注入ライン第2 止め弁 (4F-CP-006A,B)	0.923	0.52	①②	A																																																																																																																																																																								
		10.0	4A. 4B 使用済燃料ヒートポンプ	0.940	0.72	①②	A																																																																																																																																																																								
		10.0	4C 売電ポンプ	0.940	0.29	①②	A																																																																																																																																																																								
		3.0	4B 高圧注入ポンプ	0.101	0.50	①②	A																																																																																																																																																																								
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機軸喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定																																																																																																																																																																							
主要配管	蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)	17分	33.6 (26.0)	4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)	1.049	0.70	①②	A																																																																																																																																																																							
		17分	33.6 (26.0)	4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)	1.013	0.70	①②	A																																																																																																																																																																							
系統名	想定範囲	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①没水水位 (R.L.[m])	②機軸喪失高さ (R.L.[m])	影響評価	判定																																																																																																																																																																							
主給水系	蒸気発生器 出口で検知に 9分、判断及 び特定に10分、 1分で隔離。 (蒸気発生器 出口)	17分	33.6 (26.0)	4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)	1.106	0.70	①②	A																																																																																																																																																																							
		17分	33.6 (26.0)	4タービン動機防給水 ポンプ駆動弁A,B (4F-4B-010A,B)	2.027	0.70	①②	A																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p>表 1.4.1.2.1-2 大阪4号炉 高エネルギー配管の没水影響評価 その4</p> <table border="1" data-bbox="112 319 672 654"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定破損</th> <th>漏洩時間</th> <th>E.L. + [A]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①配水水位 (床+ [a])</th> <th>②機室奥水位S (床+ [A])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高エネルギー配管 （高エネルギー配管）</td> <td>17分 給水と蒸気発生量の 差の乖離で検知に9 分、相対及び 検知に10分、 原子炉トリップ 動作及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。</td> <td>23.8 ②A.0</td> <td></td> <td>4タービン動機給水 ポンプ駆動弁A.B (4F-40F-37/4).E</td> <td>1.604</td> <td>8.75</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>補助給水配管 （主給水管分岐 ～送水弁）</td> <td>17分 給水と蒸気発生 量の乖離で検知に9 分、相対及び 検知に10分、 原子炉トリップ 動作及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。</td> <td>23.8 ②A.0</td> <td></td> <td>4タービン動機給水 ポンプ駆動弁A.B (4F-40F-37/4).E</td> <td>1.606</td> <td>8.75</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気供給 配管</td> <td>8分 蒸気センサで 検知に5分、 自動隔離のた り検知及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。</td> <td>17.1</td> <td></td> <td>4A.4B 燃料冷却用蒸気ポンプ</td> <td>8.004</td> <td>8.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>24.1</td> <td></td> <td>4A.4B 中央制御室循環ファン</td> <td>8.012</td> <td>8.26</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>* ①配水水位は設備設置位置（機室奥水位）を基準とした値であり、②機室奥水位は機室奥水位を示す。</small></p> <p>(5) 低エネルギー配管の没水影響評価</p> <p>低エネルギー配管は、対象配管の最大支持間隔における発生応力が評価基準値以内にあり、破損の想定を要する低エネルギー配管はなく、没水は発生しないことを確認した。</p> <p>(添付資料 1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(没水影響評価))</p> <p>1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>被水影響評価については、防護対象設備に対して、想定破損の有無によらずに溢水源となる配管からの飛散による被水、天井面の開口部又は貫通部（密封処理等の流出防止対策がなされているものを除く）からの被水影響を検討した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されている。そこで、本評価では被水源との距離によらず防護対象設備と同じ区画内にある溢水源を検討対象とすることとし、対象の有無を現場ウォークダウンにより確認し、以下の①～⑤の項目を確認した。ここで、溢水防護区画において被水による影響を評価するための区画を評価対象区画という。</p>	系統名	想定破損	漏洩時間	E.L. + [A]	防護対象設備	①配水水位 (床+ [a])	②機室奥水位S (床+ [A])	影響 評価	判定	高エネルギー配管 （高エネルギー配管）	17分 給水と蒸気発生量の 差の乖離で検知に9 分、相対及び 検知に10分、 原子炉トリップ 動作及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。	23.8 ②A.0		4タービン動機給水 ポンプ駆動弁A.B (4F-40F-37/4).E	1.604	8.75	①②	A	補助給水配管 （主給水管分岐 ～送水弁）	17分 給水と蒸気発生 量の乖離で検知に9 分、相対及び 検知に10分、 原子炉トリップ 動作及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。	23.8 ②A.0		4タービン動機給水 ポンプ駆動弁A.B (4F-40F-37/4).E	1.606	8.75	①②	A	補助蒸気供給 配管	8分 蒸気センサで 検知に5分、 自動隔離のた り検知及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。	17.1		4A.4B 燃料冷却用蒸気ポンプ	8.004	8.47	①②	A			24.1		4A.4B 中央制御室循環ファン	8.012	8.26	①②	A	<p>5. 3 想定破損による被水影響評価</p> <p>(1) 想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>評価対象区画内の通過配管の想定破損による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>図5-2に想定破損による被水影響評価フローを示す。</p>	<p>5. 3 想定破損による被水影響評価</p> <p>(1) 想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>評価対象区画内の通過配管の想定破損による直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>飛散距離については、溢水ガイドでは管内圧力、重力を考慮した弾道計算モデルが示されているが、本評価では被水源との距離によらず、被水影響のある防護対象設備を検討対象とした。</p> <p>図5-2に想定破損による被水影響評価フローを示す。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
系統名	想定破損	漏洩時間	E.L. + [A]	防護対象設備	①配水水位 (床+ [a])	②機室奥水位S (床+ [A])	影響 評価	判定																																								
高エネルギー配管 （高エネルギー配管）	17分 給水と蒸気発生量の 差の乖離で検知に9 分、相対及び 検知に10分、 原子炉トリップ 動作及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。	23.8 ②A.0		4タービン動機給水 ポンプ駆動弁A.B (4F-40F-37/4).E	1.604	8.75	①②	A																																								
補助給水配管 （主給水管分岐 ～送水弁）	17分 給水と蒸気発生 量の乖離で検知に9 分、相対及び 検知に10分、 原子炉トリップ 動作及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。	23.8 ②A.0		4タービン動機給水 ポンプ駆動弁A.B (4F-40F-37/4).E	1.606	8.75	①②	A																																								
補助蒸気供給 配管	8分 蒸気センサで 検知に5分、 自動隔離のた り検知及び状況 監視に5分、 2分で閉鎖。	17.1		4A.4B 燃料冷却用蒸気ポンプ	8.004	8.47	①②	A																																								
		24.1		4A.4B 中央制御室循環ファン	8.012	8.26	①②	A																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>設計方針の相違 泊では、溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い、被水源（開口部を含む）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④）、防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し、最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 泊はフローの1番目の被水源の確認項目に、流体を内包する機器、開口部を含めているが、大阪はそれぞれ個別に記載している。（女川審査実績の反映）</p>
<p>※1 蒸気を内包する場合は蒸気影響の項で評価する。 ※2 原子炉外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を取束できるよう必要に応じて対策を実施する。</p> <p>図1.4.1.2.2-1 被水影響評価フロー</p> <p>①評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。 ②評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないこと。 ③評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていること。 ④評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合であっても、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。 ⑤上記①～④を満足しない場合は、防護対象設備が防滴仕様で</p>	<p>図5-2 想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価結果 被水影響評価は以下の観点で確認を行い、一部必要となる被水防護対策（保護カバーの設置、コーキング処理等）を実施することにより、被水により防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>a. 防護対象設備が設置されている評価対象区画内に被水源を有しているか。 なお、被水源の確認に際しては流出防止処置が施されていない天井面の開口部や貫通部の有無も確認する。</p> <p>b. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。</p> <p>c. 防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有しているか。</p> <p>想定破損による被水影響評価結果について、添付資料20に示す。また、評価結果から必要となる設備対策について、添付資料21に示す。</p>	<p>図5-2 想定破損による被水影響評価フロー</p> <p>(2) 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価結果 被水影響評価は以下の観点で確認を行い、一部必要となる被水防護対策（保護カバーの設置、コーキング処理等）を実施することにより、被水により防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>a. 防護対象設備が設置されている評価対象区画内に被水源を有しているか。 なお、被水源の確認に際しては流出防止処置が施されていない天井面の開口部や貫通部の有無も確認する。</p> <p>b. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。</p> <p>c. 防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」における第二特性数字4以上相当の保護等級を有しているか。</p> <p>想定破損による被水影響評価結果について、添付資料18に示す。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>記載方針の相違 泊は被水影響評価結果から必要となる設備対策は無いことから、女川の添付資料21に該当する資料は作成していない。なお、防護対象設備の防滴仕様等の詳細については補足説明資料16に示している。</p>	

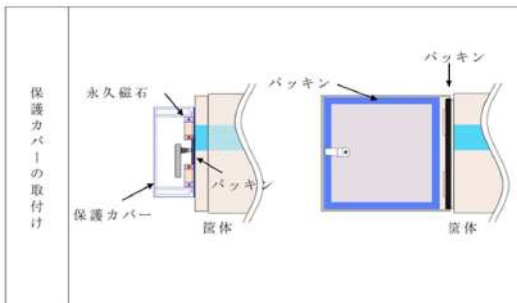
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p>あること。</p> <p>⑥上記①～⑤を満足しない場合は、被水防護対策を実施した。</p> <p>ただし、多重性又は多様性を有し各々が別区画に設置している防護対象設備で、同時にその機能を損なわない場合は機能が維持されるものとし、タンク、熱交換器、フィルタ等被水しても機能喪失しない静的機器についても機能が維持されるものとする。</p> <p>なお、溢水ガイドで要求している「中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路にあつては、必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても接近の可能性が失われないことを確認する。」については、（補足資料）「15運転員のアクセス性(温度、放射線、薬品、漂流物)」にて評価する。以上の評価から被水防護対策が必要なものについては、保護カバーの設置等、必要な対策を行う。評価フローを図1.4.1.2.2-1に示す。</p> <p>評価結果のうち一部を表1.4.1.2.2-1,2に示す。被水防護対策は、図1.4.1.2.2-2に示すように、保護カバーの取付け、シール材による止水等を行っている。</p> <p>（添付資料1.4.1-3）想定破損による溢水影響評価(被水影響評価)</p> <p>（図1.4.1.2.2-1 被水影響評価フロー）</p> <p>表 1.4.1.2.2-1 大阪3号炉 被水影響評価結果（一部抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="141 1110 665 1457"> <thead> <tr> <th>防護対象</th> <th>溢水源</th> <th>判定</th> <th>判定理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱</td> <td>スプリンクラー</td> <td>○</td> <td>被水防護対策</td> </tr> <tr> <td>3 原子炉トリップ遮断 器盤(3RTS)</td> <td>なし</td> <td>○</td> <td>天井面に開口部 又は、貫通部がない。</td> </tr> <tr> <td>3A ディーゼル発電機制 御盤(3DGC-A)</td> <td>なし</td> <td>○</td> <td>天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。</td> </tr> <tr> <td>3A, 3B 制御用空気格納 容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)</td> <td>スプリンクラー</td> <td>○</td> <td>トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	溢水源	判定	判定理由	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱	スプリンクラー	○	被水防護対策	3 原子炉トリップ遮断 器盤(3RTS)	なし	○	天井面に開口部 又は、貫通部がない。	3A ディーゼル発電機制 御盤(3DGC-A)	なし	○	天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。	3A, 3B 制御用空気格納 容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)	スプリンクラー	○	トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】 記載箇所の相違 大阪の図1.4.1.2.2-1は横並びのため前頁に記載箇所を移動した。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
防護対象	溢水源	判定	判定理由																				
3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱	スプリンクラー	○	被水防護対策																				
3 原子炉トリップ遮断 器盤(3RTS)	なし	○	天井面に開口部 又は、貫通部がない。																				
3A ディーゼル発電機制 御盤(3DGC-A)	なし	○	天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。																				
3A, 3B 制御用空気格納 容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)	スプリンクラー	○	トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。																				

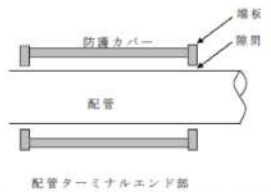
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p>表 1.4.1.2.2-2 大阪4号炉 被水影響評価結果（一部抜粋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防護対象</th> <th>溢水源</th> <th>判定</th> <th>判定理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱</td> <td>スプリンクラー</td> <td>○</td> <td>被水防護対策</td> </tr> <tr> <td>4 原子炉トリップ遮断 装置(ARTS)</td> <td>なし</td> <td>○</td> <td>天井面に開口部 又は、貫通部がない。</td> </tr> <tr> <td>4A ディーゼル発電機制 御盤(4DG-A)</td> <td>なし</td> <td>○</td> <td>天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。</td> </tr> <tr> <td>4A, 4B 制御用空気格納 容器隔離弁 (4V-1A-508A, B)</td> <td>スプリンクラー</td> <td>○</td> <td>トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	溢水源	判定	判定理由	4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱	スプリンクラー	○	被水防護対策	4 原子炉トリップ遮断 装置(ARTS)	なし	○	天井面に開口部 又は、貫通部がない。	4A ディーゼル発電機制 御盤(4DG-A)	なし	○	天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。	4A, 4B 制御用空気格納 容器隔離弁 (4V-1A-508A, B)	スプリンクラー	○	トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
防護対象	溢水源	判定	判定理由																				
4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ 現場操作箱	スプリンクラー	○	被水防護対策																				
4 原子炉トリップ遮断 装置(ARTS)	なし	○	天井面に開口部 又は、貫通部がない。																				
4A ディーゼル発電機制 御盤(4DG-A)	なし	○	天井面の開口部 又は貫通部には 密封処理。																				
4A, 4B 制御用空気格納 容器隔離弁 (4V-1A-508A, B)	スプリンクラー	○	トレン分離され ており複数系統 が同時に機能喪 失しない。																				
 <p>保護カバーの取付け</p> <p>電線管 (1)機器、計器との取り合い (2)電線管相互の接続 (3)P. BOX</p> <p>シール材による止水</p> <p>図1.4.1.2.2-2 被水防護対策概略図（例）</p>																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>溢水源となる配管のうち、蒸気を内包する配管に対し、系統ごとにすべての想定破損箇所（貫通クラック又は完全全周破断。ただし、ターミナルエンドは完全全周破断）のエリアにおいて、防護対象設備があれば、蒸気影響評価を実施した。なお、系統隔離により蒸気量を制限しているものについては、漏えい検知及び隔離手段に応じた隔離時間を設定し、環境温度を算出した。</p> <p>蒸気影響評価の結果、対策が必要なものは以下の対策を実施する。</p> <p>①隔離弁の設置等により蒸気流出量を制限する。</p> <p>②破断配管からの蒸気流出量を制限し、防護区画の環境影響を軽減する。具体的には破損想定箇所に防護カバーを設置する。（防護カバーは2重管の形状をしており、破断時に防護カバーと配管の隙間を狭く制限することで蒸気流出量を制限する。）</p> <p>③耐環境性がある計器に取り替える。</p> <p>以上による評価結果のうち、防護区画の環境温度が最も高くなった結果を表1.4.1.2.3-1,2に示す。</p>  <p>図1.4.1.2.3-1配管ターミナルエンド部の防護カバーの構造例</p>	<p>5. 4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>(1) 想定破損による蒸気影響評価フロー</p> <p>機器の破損に起因する蒸気による防護対象設備への影響について、蒸気の発生源の有無、伝播、防護対象設備の耐環境仕様等の観点から、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【東海第二】</p> <p>まとめ資料 p.9 条-別添 1-109 より抜粋</p> <p>このとき、熱流体解析コードを用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施し、防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。また、破損想定箇所の近傍に防護対象設備が設置されている場合は、漏えい蒸気の直接噴出による防護対象設備への影響も考慮するとともに、溢水を起因とする運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故に対処するために必要な機器の単一故障も考慮する。</p> </div> <p>図5-3に想定破損による蒸気影響評価フローを示す。</p>	<p>5. 4 想定破損による蒸気影響評価</p> <p>(1) 想定破損による蒸気影響評価フロー</p> <p>機器の破損に起因する蒸気による防護対象設備への影響について、蒸気の発生源の有無、伝播、防護対象設備の耐環境仕様等の観点から、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>このとき、熱流体解析コードを用い、実機を模擬した空調条件や解析区画を設定して解析を実施し、防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。また、破損想定箇所の近傍に防護対象設備が設置されている場合は、漏えい蒸気の直接噴出による防護対象設備への影響も考慮するとともに、溢水を起因とする運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故に対処するために必要な機器の単一故障も考慮する。</p> <p>図5-3に想定破損による蒸気影響評価フローを示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では熱流体解析コードを用いた蒸気伝播解析を実施し、溢水防護対象設備に対する蒸気影響を評価している。また、直接噴出による防護対象設備への影響も考慮している。（先行PWRと同様、記載は東海第二と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

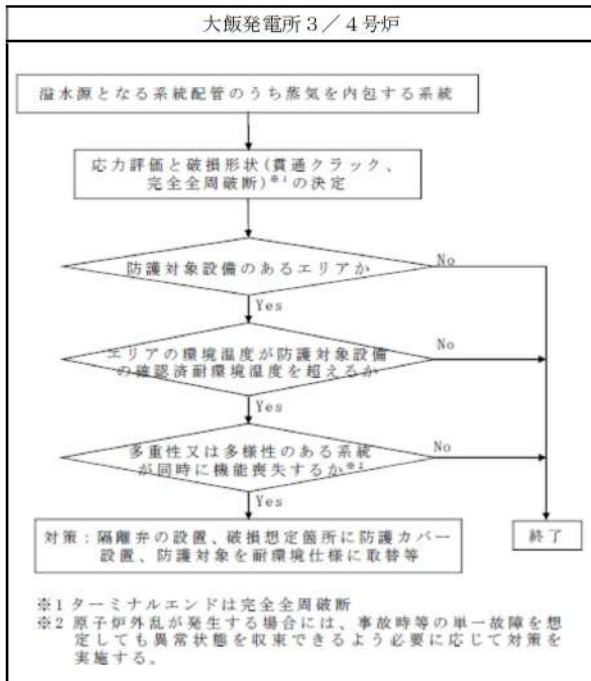


図 1.4.1.2.3-2 蒸気影響評価フロー

表1.4.1.2.3-1 大阪3号炉 蒸気影響評価の結果

系統	想定範囲	防護対象設備	隔離	最大温度	影響評価	判定 ^{※1}
化学体積削減系	抽出配管/非再沸器入口	3 充てん格納容器隔離弁 (3V-CS-157)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○
補助蒸気系	補助蒸気配管	3A 中央制御室空調ファン他	自動	102	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○
蒸気発生器ブローダウンシステム	蒸気発生器ブローダウンシステム配管	3A 新機用空気供給母管圧力 (3PT-1800)他	遠隔手動	95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○

※1 耐蒸気性能試験及び直接噴射による影響評価にて、すべての防護対象設備について120℃の耐蒸気性能を有することを確認している。

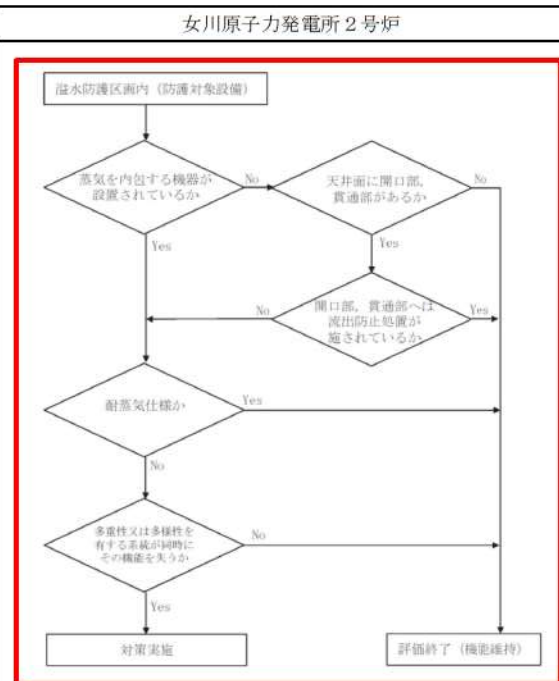


図5-3 想定破損による蒸気影響評価フロー

(2) 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価結果

蒸気影響評価は以下の観点で確認を行い、想定破損の除外を適用すること、一部必要となる設備対策を実施することにより、蒸気により防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。

a. 防護対象区画内に蒸気を内包する設備がないか。

b. 防護対象区画の天井面に開口部又は貫通部がないか。

c. 防護対象設備が耐蒸気仕様を有しているか。

d. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。

想定破損による蒸気影響評価結果について、添付資料22に示す。また、評価結果から必要となる設備対策について、添付資料23に示す。

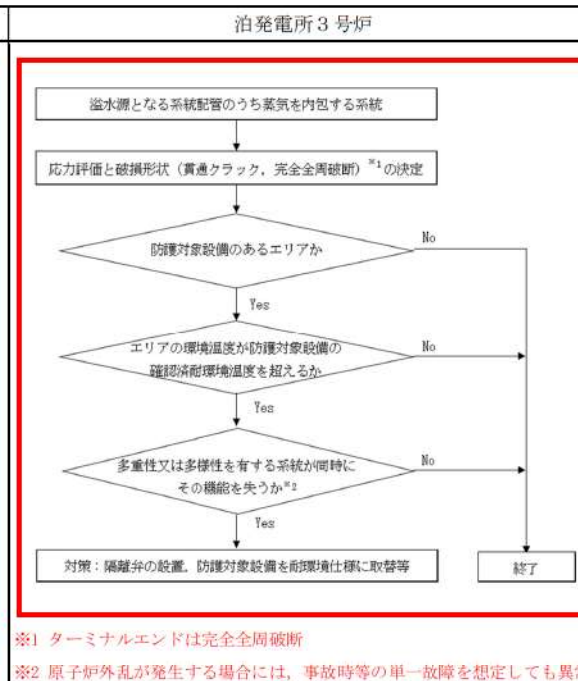


図5-3 想定破損による蒸気影響評価フロー

(2) 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価結果

蒸気影響評価は以下の観点で確認を行い、想定破損の除外を適用すること、一部必要となる設備対策を実施することにより、蒸気により防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。

a. 防護対象区画内に蒸気を内包する設備がないか。

b. 防護対象区画の環境温度が防護対象設備の確認済耐環境温度を超えないか。

c. 防護対象設備が耐蒸気仕様を有しているか。

d. 当該設備の機能喪失により多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないか。

想定破損による蒸気影響評価結果について、添付資料19に示す。

相違理由

設計方針の相違

- ・泊では蒸気伝播解析により防護対象設備が設置される区画の環境温度を確認し、防護対象設備の耐環境温度を超えないことを確認しているため、女川とは評価フローが異なる。（大阪と同様）

【大阪】
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

設計方針の相違

- ・泊では蒸気伝播解析により防護対象設備が設置される区画の環境温度を確認し、防護対象設備の耐環境温度を超えないことを確認している。（大阪と同様）

記載方針の相違

泊は蒸気影響評価結果から必要となる設備対策は無いことから、女川の添付資料22に該当する資料は作成していない。

【大阪】
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>表1.4.1.2.3-2 大飯4号炉 蒸気影響評価の結果</p> <table border="1" data-bbox="212 255 645 678"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>想定範囲</th> <th>防護対象設備</th> <th>保護温度</th> <th>影響評価</th> <th>判定※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>抽出配管/非再生弁入口</td> <td>4充てん格納容器隔離弁(4V-CS-157)他</td> <td>連隔手動 95</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>4A 中央制御室空調ファン他</td> <td>自動 95</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器プロダウンスンプル系</td> <td>蒸気発生器プロダウンスンプル配管</td> <td>4A 制御用空気供給母管圧力(APT-1800)他</td> <td>連隔手動 95</td> <td>蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 耐蒸気性能試験及び直接噴射による影響評価にて、すべての防護対象設備について120℃の耐蒸気性能を有することを確認している。</p> <p>(添付資料1.4.1-4) 想定破損による溢水影響評価(蒸気影響評価)</p> <p>1.4.2 放水による溢水</p> <p>1.4.2.1 放水による溢水原因</p> <p>溢水ガイドに記載のとおり発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水及びスプリンクラーからの放水による溢水を想定した。</p> <p>消火活動における溢水量については、防護対象設備が設置されているすべての建屋（原子炉周辺建屋及び制御建屋）において、消火活動が連続して実施される時間及びスプリンクラーの放水時間を次のとおり見込んで算出した。</p>	系統	想定範囲	防護対象設備	保護温度	影響評価	判定※1	化学体積制御系	抽出配管/非再生弁入口	4充てん格納容器隔離弁(4V-CS-157)他	連隔手動 95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○	補助蒸気系	補助蒸気供給配管	4A 中央制御室空調ファン他	自動 95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○	蒸気発生器プロダウンスンプル系	蒸気発生器プロダウンスンプル配管	4A 制御用空気供給母管圧力(APT-1800)他	連隔手動 95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○	<p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水原因</p> <p>女川原子力発電所2号炉には、自動作動するスプリンクラーが設置されていないことから、火災発生時に消火栓による消火活動を行う区画における放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから、溢水原因として考慮しない。</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水による溢水を想定した。</p>	<p>6 消火水の放水評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>6.1 消火水の放水による溢水原因</p> <p>泊発電所3号炉には、自動作動するスプリンクラーが設置されていないことから、火災発生時に消火栓による消火活動を行う区画における放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。</p> <p>格納容器スプレイについては、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから、溢水原因として考慮しない。</p> <p>6.2 消火水の放水による没水影響評価</p> <p>発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水による溢水を想定した。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 大飯はスプリンクラーが設置されているが、泊及び女川には設置されていない。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
系統	想定範囲	防護対象設備	保護温度	影響評価	判定※1																						
化学体積制御系	抽出配管/非再生弁入口	4充てん格納容器隔離弁(4V-CS-157)他	連隔手動 95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																						
補助蒸気系	補助蒸気供給配管	4A 中央制御室空調ファン他	自動 95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																						
蒸気発生器プロダウンスンプル系	蒸気発生器プロダウンスンプル配管	4A 制御用空気供給母管圧力(APT-1800)他	連隔手動 95	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できる。	○																						

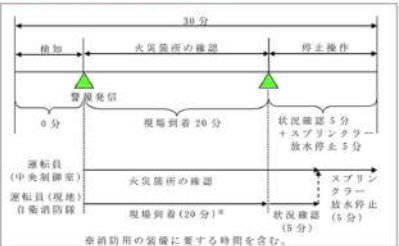
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火栓からの放水、スプリンクラーからの放水及び格納容器スプレイ系からの放水があるが、格納容器スプレイ系については原子炉格納容器内のみで生じ、防護対象設備は耐環境性があることから格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。なお、格納容器スプレイ系の作動回路は、チャンネルの単一故障を想定してもその機能を失うことがなく、かつ、誤信号発生による誤動作を防止する設計とする。</p> <p>具体的には、原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御室盤上の操作スイッチ2個を同時に操作することによる手動作動とする設計とする。</p> <p>(1) 消火栓からの放水による溢水</p> <p>原則として3時間の消火活動を想定して溢水量を算出するが、火災源が小さいエリアについては、日本電気協会電気指針「原子力発電所の火災防護指針（JEA64607-2010）」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を考慮し、消火活動における溢水量を以下のとおり評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 260/min×0.5時間=7.8m³ ・ 260/min×1.0時間=15.6m³ ・ 260/min×1.5時間=23.4m³ ・ 260/min×2.0時間=31.2m³ ・ 260/min×3.0時間=46.8m³ <p>消火活動における消火栓からのホース引き回し経路から、扉の開放が想定される場合には、隣接エリアについても滞留エリアとして考慮した。</p> <p>流水経路については放水がある当該フロア及び下階等影響の及ぶエリアを考慮した。</p>	<p>消火水の放水による溢水影響評価対象区画を添付資料24に示す。火災が発生した区画（以下「溢水発生区画」という。）に存在する防護対象設備は、保守的に火災に伴う放水の影響により機能喪失しているものと想定した。ただし、火災発生箇所からの離隔距離が十分大きい場合や、同一区画内で火災が発生しても影響がないような対策がとられている場合はその限りではないものとした。</p> <p>消火活動における溢水量については、3時間の放水により想定される溢水量を、消防法施行令に基づく必要水量及び実放水試験の結果を踏まえ屋内は54m³、屋外は141m³とそれぞれ設定した。</p> <p>溢水量算出の考え方について、添付資料25に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-6-1より抜粋</p> <p>6.1 溢水量の算定</p> <p>(2) 放水時間</p> <p>消火活動における消火水の放水時間は、評価ガイドに従い原則3時間に設定した。ただし、火災源が小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEA64607-2010）」解説-4-5(1)（表4-3 火災荷重と等価時間について）に従い、放水時間を設定した。</p> <p>(3) 溢水量</p> <p>溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水量（屋内消火栓）= 15.6 [m³/h] × 放水時間 ・ 溢水量（屋外消火栓）= 42.0 [m³/h] × 放水時間 </div> <p>溢水経路については放水がある当該フロア及び下階など影響の及ぶエリアを考慮した。</p>	<p>消火水の放水による溢水影響評価対象区画を添付資料20に示す。</p> <p>消火活動における消火水の放水時間は、評価ガイドに従い原則3時間に設定した。ただし、火災源が小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEA64607-2010）」解説-4-5(1)（表4-3 火災荷重と等価時間について）に従い、放水時間を設定した。溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢水量（屋内消火栓）= 150L/min × 2 箇所 × 放水時間 ・ 溢水量（屋外消火栓）= 390L/min × 2 箇所 × 放水時間 <p>溢水量算出の考え方について、添付資料21に示す。</p> <p>溢水経路については放水がある当該フロア及び下階など影響の及ぶエリアを考慮した。</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊では消火活動時に防護対象設備へ配慮して放水する運用であること、消火水放水に対しても被水防護対策を実施していることから、消火水の放水により防護対象設備が機能喪失することは想定していない。（大阪と同様）</p> <p>【島根審査実績の反映】</p> <p>泊と同様に可燃物量を考慮して放水時間を設定している島根2号炉の記載を踏襲した。</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火水の放水時間について、女川は一律3時間の放水を想定しているのに対し、泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては可燃物量を考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定している。（先行PWR、島根2号炉と同様）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>消火活動による放水量をもとに放水による溢水影響を各防護区画について評価した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>各建屋、各フロアで管理区域、非管理区域ごとに、当該エリアで機能喪失高さが最も低い防護対象設備を選定し、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した。</p> <p>(2) スプリンクラーからの放水による溢水</p> <p>a. 溢水量の設定</p> <p>溢水量については、火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いるとともに、火災発生時の中央制御室での警報発信後からスプリンクラーの放水停止に要する時間(30分)までを放水時間として設定し以下のとおり評価した。</p> $720^{\#}/\text{min} \times 30\text{min} = 21,600$ $= 21.6\text{m}^3$ <p>※今回、原則として火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いる。ただし、詳細評価を実施する場合には、現場での消火設備の設置状況に応じた評価を行う。</p> <p>b. 放水時間の設定</p> <p>(a) 火災発生時の対応に要する時間</p>  <p>図1.4.2.2.1-1 火災発生時の対応に要する時間</p> <p>(b) 時間評価における保守性について</p> <p>時間評価における保守性については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、(1)現場到着時間の設定について、現場到着までの時間が長くなるように、中央制御室からの移動距離が長いE.L.+26.0mエリアを選定し評価を実施した。さらに、(2)スプリンクラーの放水時間について、運転員は現場到着後に火災状況をすぐに確認でき、現場より中央制御室の運転員に予作動弁閉止（閉止時間約1分）を依頼して、放水の停止を行うので溢水量の低減は可能であるが、余裕を見てスプリンクラーの放水停止までの時間を10分と設定</p>	<p>各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域毎に、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>消火水の放水による没水影響評価結果を添付資料26に示す。</p> <p>なお、火災そのものによる防護対象設備への影響に関しては設置許可基準規則第八条「火災による損傷の防止」に関する審査にて評価することとし、ここでは放水による溢水影響を評価した。</p>	<p>各建屋、各フロアで管理区域/非管理区域ごとに、消火活動による溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、評価を実施した結果、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>消火水の放水による没水影響評価結果を添付資料22に示す。</p> <p>なお、火災そのものによる防護対象設備への影響に関しては設置許可基準規則第八条「火災による損傷の防止」に関する審査にて評価することとし、ここでは放水による溢水影響を評価した。</p>	<p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> 大阪はスプリンクラーが設置されているが、泊及び女川には設置されていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>した。</p> <p>また、溢水防護区画外のスプリンクラーが動作し、溢水防護区画に消火水が流入する可能性も考慮した。</p> <p>なお、複数区画でのスプリンクラーからの同時放水が想定されるのは、耐震B、Cクラスの機器の地震随伴火災、及び高エネルギー配管破損による誤動作であるが、以下の設計により、複数区画でのスプリンクラーからの同時放水は想定しない。</p> <p>○地震時に火災源になるおそれがあるB、Cクラス機器（油内包機器及び電気盤）について、火災の発生防止対策を講じる設計としている。具体的には、油内包機器について、基準地震動Ssによる地震力に対して、当該機器が損壊し内包している油が外部へ漏えいしないことを確認し、その結果、損壊する機器に対しては、損壊しないような改良、もしくはガス式消火装置を設置する設計としている。電気盤については、火災の発生に備えて、ハロンガス消火装置、又は盤内にエアロゾル消火装置を設置し、早期に自動消火できる設計としている。</p> <p>○高エネルギー配管破損時の誤動作を防止するため、スプリンクラーヘッドの開放温度は、高エネルギー配管破損時の室内温度の評価値を上回る設計としている。</p> <p>（添付資料1.4.2-1）消火活動に係る時間設定の考え方 （添付資料1.4.2-2）消火活動に係る放水による溢水影響評価 （添付資料1.4.2-3）消火活動に係る放水による溢水経路図（代表）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【伊方3号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-添16-1より抜粋 1. 被水影響評価の基本方針 評価ガイドに従い、配管の破損による漏えいにより、防護対象設備の被水による影響を評価し、被水によって安全機能が損なわれるおそれのある設備については、防護措置を実施する。 なお、消火手段として消火水の放水による水消火が第1手段となっている溢水防護区画の防護対象設備については、消火水の放水による被水影響についても評価し、被水によって安全機能が損なわれるおそれのある設備については、防護措置を実施する。</p> </div>	<p>6. 3 消火水の放水による被水影響評価</p> <p>消火水の放水に伴う被水影響は事象として想定し得るが、消火水の放水による溢水の伝播経路は、想定破損による溢水の伝播経路に包含されており、想定破損による被水影響評価に包含される。</p>	<p>6. 3 消火水の放水による被水影響評価</p> <p>消火手段として消火水の放水による水消火を実施する評価対象区画の防護対象設備については、消火水の放水による被水影響についても評価し、被水によって安全機能が損なわれるおそれのある設備については、防護措置を実施する。</p>	<p>設計方針の相違</p> <p>女川は消火水放水に伴う被水は想定破損の評価に崩落されるとしているのに対し、泊では、消火水を放水するエリアの被水影響を確認し、必要に応じて被水防護対策を実施している。（伊方3号炉と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.3 地震による溢水</p> <p>1.4.3.1 地震による溢水源</p> <p>溢水ガイドにしたがい、流体を内包する機器（配管及び容器）を溢水源の検討対象とした。</p> <p>1.4.3.2 地震による溢水影響評価</p> <p>1.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水ガイドにしたがい、耐震Sクラスの機器については、基準地震動S_sによる地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラスの機器のうち、耐震Sクラスの機器と同様に基準地震動S_sによる地震力に対して耐震強度評価により耐震性が確保されるもの（水位制限によるものを含む。）又は耐震対策工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>一方、溢水源と想定する場合の機器の破損による溢水量は、漏えい検知による停止や配管ルートに基づく流出範囲の限定には期待せず、配管については完全全周破断により系統の全保有水量が流出、容器については容器内保有水の全量が流出するものとした。</p> <p>基準地震動S_sにおける溢水源とする機器の抽出フローを図1.4.3.2.1-1に示す。</p>	<p>7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>7.1 地震起因による溢水源</p> <p>地震に起因する溢水は、地震により破損する機器（配管、容器等）及び使用済燃料プール等のスロッシングを溢水源として考慮した。なお、使用済燃料プール等のスロッシングによる溢水量については、「8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価」に算出結果を示す。</p> <p>また、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>7.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>7.2.1 地震起因による没水影響評価の前提条件</p> <p>地震起因による没水影響評価において、基準地震動S_sによる地震力が作用した際のプラント状態を、以下のとおり想定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉は、「地震加速度大」によってスクラムしている ・常用電源の喪失（外部電源喪失） ・耐震 B、C クラス設備の機能喪失 <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動S_sによる地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラス機器のうち、耐震Sクラス機器と同様に基準地震動S_sによる地震力によって耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保が確認されたもの、又は補強工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>地震時に溢水源とする機器の抽出フローを図7-1に示す。</p> <p>地震に起因する溢水源リストを添付資料27に示す。</p>	<p>7 地震時評価に用いる各項目の算出及び溢水影響評価</p> <p>7.1 地震起因による溢水源</p> <p>地震に起因する溢水は、地震により破損する機器（配管、容器等）及び使用済燃料ピット等のスロッシングを溢水源として考慮した。なお、使用済燃料ピット等のスロッシングによる溢水量については、「8. 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価」に算出結果を示す。</p> <p>また、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>7.2 地震起因による没水影響評価</p> <p>7.2.1 地震起因による没水影響評価</p> <p>耐震Sクラス機器については、基準地震動による地震力によって破損は生じないことから地震による溢水源としない。また、耐震B、Cクラス機器のうち、耐震Sクラス機器と同様に基準地震動による地震力によって耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保が確認されたもの、又は補強工事により耐震性を確保するものについては溢水源としない。</p> <p>地震時に溢水源とする機器の抽出フローを図7-1に示す。</p> <p>地震に起因する溢水源リストを添付資料23に示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は基準地震動によるプラント状態を前提条件とした没水評価の判定は行っていないことから、前提条件は記載していない。</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																													
<p>図1.4.3.2.1-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p> <p>(添付資料 1.4.3-1) 地震時の溢水源(原子炉周辺建屋、制御建屋)</p> <p>これにより、原子炉周辺建屋及び制御建屋に設置されている耐震B、Cクラスの配管及び容器のうち、溢水源として想定する機器について、その溢水量とともに表1.4.3.2.1-1に示す。</p> <p>表 1.4.3.2.1-1 大阪3号炉及び4号炉地震時の溢水源</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配管及び容器</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂タンク</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td>冷却材混床式脱塩塔</td> <td rowspan="4">48.07^{※1}</td> </tr> <tr> <td>冷却材陽イオン脱塩塔</td> </tr> <tr> <td>冷却材脱塩塔入口フィルタ</td> </tr> <tr> <td>冷却材フィルタ</td> </tr> <tr> <td>1次系薬品タンク</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48.32</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料</td> <td rowspan="2">41.12^{※2}</td> </tr> <tr> <td>ビットスロッシング</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>89.44</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 系統の全保有水量が漏えいするものとした。 ※2 「2使用済燃料ビットの安全確保」に記載</p> <p>原子炉周辺建屋及び制御建屋の溢水量を表1.4.3.2.1-2のとおり算出した。</p> <p>表 1.4.3.2.1-2 地震時の溢水量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">溢水量 (m³)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">原子炉周辺建屋</th> <th rowspan="2">制御建屋</th> </tr> <tr> <th>大阪3号炉</th> <th>大阪4号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89.44</td> <td>89.44</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	配管及び容器	溢水量 (m ³)	樹脂タンク	0.23	冷却材混床式脱塩塔	48.07 ^{※1}	冷却材陽イオン脱塩塔	冷却材脱塩塔入口フィルタ	冷却材フィルタ	1次系薬品タンク	0.02	合計	48.32	使用済燃料	41.12 ^{※2}	ビットスロッシング	総計	89.44	溢水量 (m ³)			原子炉周辺建屋		制御建屋	大阪3号炉	大阪4号炉	89.44	89.44	0	<p>図7-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p> <p>※1 耐震評価を実施しないものは溢水源として扱う。 ※2 使用済燃料プール等のスロッシングによる溢水を除く</p>	<p>図7-1 地震時に溢水源とする機器の抽出フロー</p> <p>※1 耐震評価を実施しないものは溢水源として扱う。 ※2 使用済燃料ビット等のスロッシングによる溢水を除く</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
配管及び容器	溢水量 (m ³)																															
樹脂タンク	0.23																															
冷却材混床式脱塩塔	48.07 ^{※1}																															
冷却材陽イオン脱塩塔																																
冷却材脱塩塔入口フィルタ																																
冷却材フィルタ																																
1次系薬品タンク	0.02																															
合計	48.32																															
使用済燃料	41.12 ^{※2}																															
ビットスロッシング																																
総計	89.44																															
溢水量 (m ³)																																
原子炉周辺建屋		制御建屋																														
大阪3号炉	大阪4号炉																															
89.44	89.44	0																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
<p>評価対象の防護対象設備のある区画内で溢水が発生し、溢水が流出していく「溢水防護区画内漏えい」と評価対象の防護対象設備のある区画外で溢水が発生し、溢水が流入してくる「溢水防護区画外漏えい」を想定した溢水経路を設定した。</p> <p>影響評価に用いる溢水水位の算出は、溢水経路上の溢水防護区画のすべてに対して行い、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した（表1.4.3.2.1-3、表1.4.3.2.1-4）。</p> <p>表1.4.3.2.1-3 大阪3号炉 地震による没水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>① 溢水水位 (床上[m])</th> <th>防護対象設備</th> <th>②機能喪失高さ (床上[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉周辺建屋</td> <td>39.0</td> <td>0.003</td> <td>3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III, IV (3LT-1200, 1201)</td> <td>1.09</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>33.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>26.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">17.1</td> <td rowspan="2">0.096</td> <td>3A, 3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)</td> <td rowspan="2">0.55</td> <td rowspan="2">①<②</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>3A, 3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>0.154</td> <td>3A, 3B 燃料取扱用水ポンプ*</td> <td>0.47</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3.5</td> <td>0.498</td> <td>3C 充てんポンプ</td> <td>0.31</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ*</td> <td>0.71</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3A 高圧注入ポンプ</td> <td>0.60</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※使用済燃料ピットの安全確保</p> <p>表1.4.3.2.1-4 大阪4号炉 地震による没水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>① 溢水水位 (床上[m])</th> <th>防護対象設備</th> <th>②機能喪失高さ (床上[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉周辺建屋</td> <td>39.0</td> <td>0.004</td> <td>4 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III, IV (4LT-1200, 1201)</td> <td>0.99</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>33.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>26.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>防護対象無し</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">17.1</td> <td rowspan="2">0.095</td> <td>4A, 4B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)</td> <td rowspan="2">0.52</td> <td rowspan="2">①<②</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4A, 4B 燃料取扱用水ポンプ*</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>0.170</td> <td>4C 充てんポンプ</td> <td>0.29</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ*</td> <td>0.72</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.5</td> <td rowspan="2">0.516</td> <td>4A 高圧注入ポンプ (対策前)</td> <td>0.50</td> <td>①>②</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>4A 高圧注入ポンプ (対策後)</td> <td>0.80**</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの安全確保 ※2 4A 高圧注入ポンプに対し、0.500m の覆の対策を実施する。</p>	建屋	E.L. + [m]	① 溢水水位 (床上[m])	防護対象設備	②機能喪失高さ (床上[m])	影響評価	判定	原子炉周辺建屋	39.0	0.003	3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III, IV (3LT-1200, 1201)	1.09	①<②	○	33.6	-	-	-	防護対象無し	○	26.0	-	-	-	防護対象無し	○	17.1	0.096	3A, 3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	0.55	①<②	○	3A, 3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)	10.0	0.154	3A, 3B 燃料取扱用水ポンプ*	0.47	①<②	○	3.5	0.498	3C 充てんポンプ	0.31	①<②	○			3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ*	0.71	①<②	○			3A 高圧注入ポンプ	0.60	①<②	○	建屋	E.L. + [m]	① 溢水水位 (床上[m])	防護対象設備	②機能喪失高さ (床上[m])	影響評価	判定	原子炉周辺建屋	39.0	0.004	4 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III, IV (4LT-1200, 1201)	0.99	①<②	○	33.6	-	-	-	防護対象無し	○	26.0	-	-	-	防護対象無し	○	17.1	0.095	4A, 4B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)	0.52	①<②	○	4A, 4B 燃料取扱用水ポンプ*	10.0	0.170	4C 充てんポンプ	0.29	①<②	○			4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ*	0.72	①<②	○	3.5	0.516	4A 高圧注入ポンプ (対策前)	0.50	①>②	×	4A 高圧注入ポンプ (対策後)	0.80**	①<②	○	<p>7. 2. 2 地震起因による没水影響評価</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価した。また、地震による設備の破損が複数個所で同時に発生する可能性を考慮し、隔離による漏えい停止には期待できないものとして、建屋内の各区画において設備が破損した場合の溢水量を算定し、溢水が発生した区画からの伝播（上階から下階への伝播）を考慮し、溢水経路を設定し、溢水経路上の評価対象区画のすべてに対して影響評価に用いる溢水水位の算出を行った。</p> <p>【伊方3号炉】 まとめ資料 9条-別添1-13より抜粋 3.3.3 地震破損等による溢水量の算定 (省略) ただし、漏えいを検出する機能が設置され、自動又は手動操作によって、漏えいを停止させることができる場合は、この機能を考慮し、漏えい停止までの適切な時間を考慮して溢水量を算定する。 (省略) 地震破損等による漏えい検知においては、基準地震動による耐震性を有しない検知システムには期待できないことから、以下に示す地震発生後の現場パトロールによる漏えい検知も手段として考慮する。 (省略)</p>	<p>7. 2. 2 地震起因による没水影響評価</p> <p>溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価した。また、地震による設備の破損が複数個所で同時に発生する可能性を考慮し、建屋内の各区画において設備が破損した場合の溢水量を算定し、溢水が発生した区画からの伝播（上階から下階への伝播）を考慮し、溢水経路を設定し、溢水経路上の評価対象区画のすべてに対して影響評価に用いる溢水水位の算出を行った。</p> <p>手動操作によって漏えいを停止させることができる場合は、この機能を考慮し、漏えい停止までの適切な時間を考慮して溢水量を算定する。</p> <p>地震破損による漏えい検知においては、基準地震動による耐震性を有しない検知システムには期待できないことから、地震発生後の現場パトロールによる漏えい検知を手段として考慮する。</p> <p>以上を踏まえ、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した。</p> <p>地震起因による没水影響評価結果を添付資料28に示す。また、耐震B, Cクラス機器の耐震評価について、添付資料29に示す。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 ・泊発電所3号炉では、地震発生後に運転員によるパトロールを実施し、溢水源となりうる機器からの漏えいが確認された場合には手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定し、溢水量を算出している。 (伊方3号炉と同様)</p> <p>【伊方3号炉】 設計方針の相違 伊方3号炉は地震時に自動隔離により隔離する系統があるが、泊は自動隔離に期待する系統はない。</p> <p>【伊方3号炉】 記載方針の相違 伊方3号炉は抜粋箇所の後段に現場パトロールによる漏えい検知・隔離までの時間設定について記載しているが、泊は補足説明資料14に記載し、伊方の当該記載との比較を行っている。</p>
建屋	E.L. + [m]	① 溢水水位 (床上[m])	防護対象設備	②機能喪失高さ (床上[m])	影響評価	判定																																																																																																													
原子炉周辺建屋	39.0	0.003	3 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III, IV (3LT-1200, 1201)	1.09	①<②	○																																																																																																													
	33.6	-	-	-	防護対象無し	○																																																																																																													
	26.0	-	-	-	防護対象無し	○																																																																																																													
	17.1	0.096	3A, 3B よう薬除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	0.55	①<②	○																																																																																																													
			3A, 3B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)																																																																																																																
	10.0	0.154	3A, 3B 燃料取扱用水ポンプ*	0.47	①<②	○																																																																																																													
3.5	0.498	3C 充てんポンプ	0.31	①<②	○																																																																																																														
		3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ*	0.71	①<②	○																																																																																																														
		3A 高圧注入ポンプ	0.60	①<②	○																																																																																																														
建屋	E.L. + [m]	① 溢水水位 (床上[m])	防護対象設備	②機能喪失高さ (床上[m])	影響評価	判定																																																																																																													
原子炉周辺建屋	39.0	0.004	4 原子炉補機冷却水サージタンク水位 III, IV (4LT-1200, 1201)	0.99	①<②	○																																																																																																													
	33.6	-	-	-	防護対象無し	○																																																																																																													
	26.0	-	-	-	防護対象無し	○																																																																																																													
	17.1	0.095	4A, 4B よう薬除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)	0.52	①<②	○																																																																																																													
			4A, 4B 燃料取扱用水ポンプ*																																																																																																																
	10.0	0.170	4C 充てんポンプ	0.29	①<②	○																																																																																																													
			4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ*	0.72	①<②	○																																																																																																													
	3.5	0.516	4A 高圧注入ポンプ (対策前)	0.50	①>②	×																																																																																																													
			4A 高圧注入ポンプ (対策後)	0.80**	①<②	○																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>被水については溢水源から溢水量を特定せずに評価するため、地震による被水影響評価は想定破損による被水影響評価と同じである。</p>	<p>7. 3 地震起因による被水影響評価</p> <p>地震起因による被水影響評価については、以下の理由により評価不要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護対象設備が設置されている区画・エリアにおいて、地震時溢水源となるものは、①使用済燃料プール等のスロッシングによる溢水、②原子炉補機冷却水系防食剤添加タンク(A)、(B)、③高圧炉心スプレイ補機冷却水系防食剤添加タンクである。 ・地震時溢水源の内、①については、区画番号:R-3F-1における想定破損による被水影響評価結果に含まれる。 ・地震時溢水源②、③については、通常時系統とは隔離されており静水頭であること、また、タンク容量がそれぞれ200L、5Lと小さく、想定破損による被水評価に含まれる。 	<p>7. 3 地震起因による被水影響評価</p> <p>評価対象区画内における地震起因による耐震B、Cクラス機器からの直接の被水、天井面の開口部又は貫通部からの被水を考慮し、防護対象設備の機能維持の可否を評価した。</p> <p>耐震B、Cクラス機器が設置される評価対象区画については、地震起因による機器の破損による被水影響についても評価し、被水によって安全機能が損なわれるおそれのある設備については、防護措置を実施する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊では、地震起因による耐震B、Cクラス機器からの被水影響を確認し、必要に応じて被水防護対策を実施している。被水影響評価のフローは想定破損と同様である。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
<p>1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統については、溢水ガイドに基づく評価フロー(図 1.4.3.2.3-1)にしたがい、蒸気影響評価を実施する。蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統は、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する。(表 1.4.3.2.3-1)。</p> <p>※1 原子炉外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を収束できるよう必要に応じて対策を実施する。</p> <p>図 1.4.3.2.3-1 蒸気影響評価フロー</p>	<p>7. 4 地震起因による蒸気影響評価</p> <p>高エネルギー流体を内包する機器のうち、基準地震動Ssによって破損が生じる可能性のある機器について破損を想定し、その発生蒸気による影響を評価する。</p> <p>ただし、本評価は、複数系統・複数箇所の同時破損を考慮する点が「5.4 想定破損による蒸気影響評価」と異なるのみで、蒸気の発生区域や影響範囲は想定破損時の評価と同様である。したがって、地震時の蒸気影響評価は想定破損による蒸気影響評価に含まれる。</p> <p>なお、蒸気流出の可能性のある耐震B、Cクラス機器のうち、蒸気を内包する系統(加熱蒸気系)については、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保を確認する、若しくは補強工事を実施することにより耐震性を確保するため破損が発生せず、蒸気影響はない。</p>	<p>7. 4 地震起因による蒸気影響評価</p> <p>蒸気流出の可能性のある耐震B、Cクラス機器のうち、蒸気を内包する系統については、基準地震動による地震力に対して耐震評価を実施してバウンダリ機能の確保を確認する、若しくは補強工事を実施することにより耐震性を確保するため破損が発生せず、蒸気影響はない。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊は地震起因により蒸気流出する可能性がある耐震B、Cクラス機器については、すべて基準地震動に対する耐震性を確認しており、蒸気影響がないことを確認している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>表1.4.3.2.3-1 地震による蒸気影響評価対象系統</p> <table border="1" data-bbox="212 220 577 646"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>漏水評価における対象範囲</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">化学体積調整系</td> <td>貯水注入配管</td> <td>蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。</td> </tr> <tr> <td>充てん配管</td> <td>蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。</td> </tr> <tr> <td>抽出配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主蒸気系</td> <td>主蒸気管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気過がし弁</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気調整弁バイパス配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ドレン配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主給水系</td> <td>タービン動機給水ポンプ駆動用蒸気配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主給水管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蒸気発生器ブローダウン系</td> <td>主給水バイパス配管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル非）</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補助給水系</td> <td>補助給水管</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>—*</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 蒸気影響評価フローにしたがい、応力評価（基準地震動 Sa による耐震評価）で破損する可能性がないことを確認するため、蒸気影響評価対象外とする。</p> <p>4 海水ポンプエリアの溢水影響評価</p> <p>海水ポンプエリアの防護対象設備は海水ポンプである。海水ポンプエリアの溢水影響評価については、地震時の溢水及び放水による溢水においては、排水ルートが機能しないと仮定して評価する。</p> <p>溢水影響評価として、海水ポンプエリアにある低エネルギー配管の想定破損による溢水、消火栓からの放水による溢水及び地震時のCクラス配管からの溢水を想定し、防護対象設備の機能喪失高さまで到達しないことを確認する。</p> <p>4.1 海水ポンプエリアの溢水源と溢水量</p> <p>海水ポンプエリアの流体を内包する耐震Cクラス（Bクラスはない）の溢水源と溢水量を表4.1-1に記載する。</p> <table border="1" data-bbox="212 1177 577 1276"> <caption>表 4.1-1 海水ポンプエリアの溢水源と溢水量</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡水系</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置系</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>173</td> </tr> </tbody> </table> <p>4.2 海水ポンプエリアの想定破損による溢水影響評価</p> <p>4.2.1 海水ポンプエリアの想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>海水ポンプエリアにある低エネルギー配管の想定破損による溢水を考慮した。配管破損形状は、貫通クラックとして1</p>	系統名	漏水評価における対象範囲	備考	化学体積調整系	貯水注入配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。	充てん配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。	抽出配管	—*	主蒸気系	主蒸気管	—*	主蒸気過がし弁	—*	主蒸気調整弁バイパス配管	—*	主蒸気ドレン配管	—*	主給水系	タービン動機給水ポンプ駆動用蒸気配管	—*	主給水管	—*	蒸気発生器ブローダウン系	主給水バイパス配管	—*	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル非）	—*	補助給水系	補助給水管	—*	補助蒸気供給配管	—*		溢水量 (m ³)	淡水系	169	海水電解装置系	4	合計	173			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の海水ポンプ室は循環水ポンプ建屋内に設置されていることから、防護対象設備が設置される建屋における設計方針に包絡されている。</p>
系統名	漏水評価における対象範囲	備考																																											
化学体積調整系	貯水注入配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。																																											
	充てん配管	蒸気を内包しないため、蒸気影響評価対象外。																																											
	抽出配管	—*																																											
主蒸気系	主蒸気管	—*																																											
	主蒸気過がし弁	—*																																											
	主蒸気調整弁バイパス配管	—*																																											
	主蒸気ドレン配管	—*																																											
主給水系	タービン動機給水ポンプ駆動用蒸気配管	—*																																											
	主給水管	—*																																											
蒸気発生器ブローダウン系	主給水バイパス配管	—*																																											
	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～アングル非）	—*																																											
補助給水系	補助給水管	—*																																											
	補助蒸気供給配管	—*																																											
	溢水量 (m ³)																																												
淡水系	169																																												
海水電解装置系	4																																												
合計	173																																												

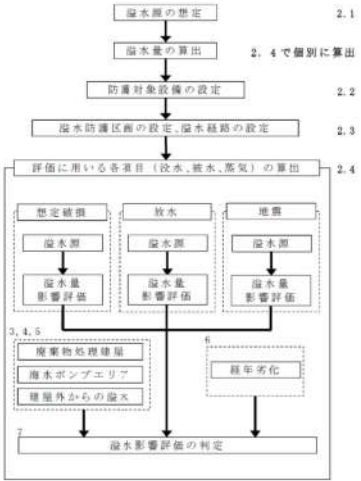
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>系統における単一の破損を想定し、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定して溢水流量を算出した。</p> <p>算出した溢水流量（20m³/h）と海水ポンプエリアの床面に設置されている海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水流量（115m³/h）を比較した結果、海水ポンプエリア浸水防止蓋からの排水流量の方が大きいことから、海水ポンプの機能喪失高さ（E.L.+4.65m）まで水位が上昇しないことを確認した。</p> <p>4.3 海水ポンプエリアの放水による溢水影響評価</p> <p>4.3.1 海水ポンプエリアの放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>消火栓からの溢水量を下記のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・700/min×3時間=126m³ <p>地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量を173m³として評価を実施するため、放水による没水影響評価は、地震による没水影響評価で包絡されることを確認した。</p> <p>4.4 海水ポンプエリアの地震による溢水影響評価</p> <p>4.4.1 海水ポンプエリアの地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>全機器の破損を想定した溢水量(173m³)が流出したと仮定し、溢水水位を算出した。</p> <p>海水ポンプエリアの床面積：240m²</p> <p>以上より、海水ポンプエリアの溢水水位を以下とおり評価した。</p> <p>海水ポンプエリアの溢水水位：約0.73m(=173m³/240m²)</p> <p>さらに、表4.4.1-1のとおり機能喪失高さに至らないことを確認した。</p> <p>表 4.4.1-1 海水ポンプエリアの没水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="174 1193 645 1267"> <thead> <tr> <th></th> <th>溢水水位</th> <th>機能喪失高さ</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水ポンプ</td> <td>E.L.+3.23m*</td> <td>E.L.+4.65m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※海水ポンプエリアの床面：E.L.+2.50m</p> <p>なお、3、4号炉海水ポンプ室前面の入力津波高さT.P.+6.3mに対し、海水ポンプエリア床面はT.P.+2.5mであるが、床面貫通部には海水ポンプエリア浸水防止蓋を設置しているため、津波による流入はない。</p> <p>（添付資料4）海水ポンプエリアの溢水影響評価</p>		溢水水位	機能喪失高さ	判定	海水ポンプ	E.L.+3.23m*	E.L.+4.65m	○			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>
	溢水水位	機能喪失高さ	判定								
海水ポンプ	E.L.+3.23m*	E.L.+4.65m	○								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2 使用済燃料ピットの安全確保</p> <p>使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統の防護対象設備については、原子炉施設の溢水影響評価において、想定する機器の破損により生じる溢水、消火水系からの放水による溢水及び地震時の機器の破損による溢水に対して機能喪失しないことを確認する。</p> <p>なお、使用済燃料ピットの検討においては、防護対象設備が使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統に限られているものの、「原子炉施設の安全確保」であげた溢水源、溢水量、溢水経路等に影響を受ける可能性があるため、検討は「原子炉施設の安全確保」を含んだ全範囲について行う。</p> <p>ただし、検討内容及び結果が「原子炉施設の安全確保」と同じになる箇所は、内容が同様である旨を記載する。</p>  <p>図 2-1 溢水影響評価の全体（使用済燃料ピットの安全確保）</p> <p>2.1 溢水源の想定</p> <p>2.4で個別に算出</p> <p>2.2 防護対象設備の設定</p> <p>2.3 溢水防護区画の設定、溢水経路の設定</p> <p>2.4 評価に用いる各項目（浸水、放水、蒸気）の算出</p> <p>3.4.5 想定破損</p> <p>4 放水</p> <p>5 地震</p> <p>3.4.5 廃棄物処理棟屋</p> <p>3.4.5 廃水ポンプエリア</p> <p>3.4.5 建屋外からの浸水</p> <p>6 経年劣化</p> <p>7 溢水影響評価の判定</p> <p>2.1 溢水源の想定</p> <p>「1.1 溢水源の想定」と同じである。溢水ガイドに記載のとおり、溢水の発生要因別に以下の溢水について影響を評価した。</p> <p>(1) 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水</p> <p>(2) 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水</p> <p>(3) 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水 （添付資料1.1） 溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p>			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・大阪は「1. 原子炉施設の安全確保」と「2使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.2 防護対象設備の設定</p> <p>「1.2 防護対象設備の設定」と同じである。使用済燃料ピットを保安規定で定められた水温（65℃以下）に維持する必要があるため、使用済燃料ピットの冷却機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>また、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能に必要な水位が確保されるように、使用済燃料ピットへの給水機能の維持に必要な設備を防護対象設備として選定した。</p> <p>（添付資料1.2-1）重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統 （添付資料1.2-2）防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p> <p>2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定</p> <p>防護対象設備が設置されている、壁、扉及び堰又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離されている区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路を溢水防護区画として設定した。すべての防護対象設備が対象となっていることを確認するために、設置許可基準第12条で要求される重要度の特に高い安全機能を有する系統並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統について系統図から設備（機器）を抽出するとともに、それらの機器の配置状況を示す図書（弁は配管図、機器は機器配置図等）から溢水防護区画を設定した。また、溢水防護区画については設計図書（障壁、堰又はその組み合わせ）を用いて設定し、この中でアクセス通路については図面等で図示されていることを確認した。</p> <p>（1） 溢水防護区画内漏えいの溢水経路</p> <p>溢水防護区画内漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護区画内の水位が最も高くなるよう、当該区画から他区画への流出がないように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン</p> <p>床ドレン配管が設置され他の区画とつながっている場合であっても、他の区画への流出は想定しない。</p> <p>b. 床面開口部及び床面貫通部</p> <p>溢水防護区画床面に床面開口部又は床面貫通部が設置されている場合であっても床面開口部又は床面貫通部から他の区画への流出は考慮しない。ただし、明らかに流出が期待できることを定量的に確認できる場合は溢水防護区画から他の区画への流出を考慮する。</p>			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・大阪は「1.原子炉施設の安全確保」と「2使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>

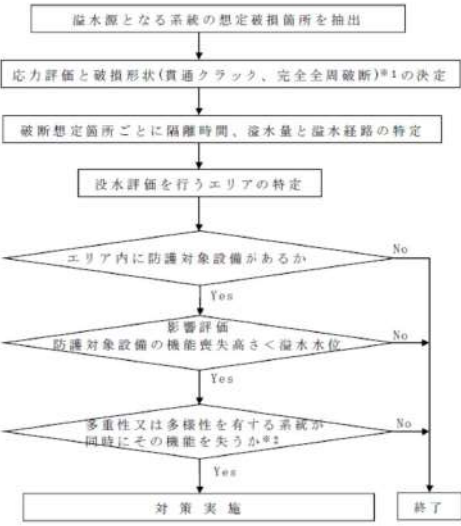
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>e. 壁貫通部 溢水防護区画の境界壁の貫通部が溢水による水位より低い位置にある場合であっても、その貫通部からの流出は考慮しない。</p> <p>d. 扉 溢水防護区画に扉が設置されている場合であっても、当該扉から隣室への流出は考慮しない。</p> <p>e. 排水設備 溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該区画の排水は考慮しない。</p> <p>(2) 溢水防護区画外漏えいの溢水経路 溢水防護区画外漏えいでの溢水経路の評価を行う場合、防護対象設備の存在する溢水防護区画の水位が最も高くなるように溢水経路を設定した。</p> <p>a. 床ドレン 溢水防護区画の床ドレン配管が他の区画とつながっている場合は、水位差による流入量を考慮する。 ただし、溢水防護区画内に設置されているドレン配管に逆止弁を設置している場合は、その効果を考慮する。</p> <p>b. 天井面開口部及び貫通部 溢水防護区画の天井面に開口部又は貫通部がある場合は、上部の区画で発生した溢水量の全量が流入するものとする。 ただし、開口部又は貫通部に流出防止対策を施している場合は、溢水防護区画への流入は考慮しない。</p> <p>c. 壁貫通部 溢水防護区画の境界壁に貫通部が設置されている場合であって、隣の区画の溢水による水位が貫通部より高い位置にある場合は、隣室との水位差によって発生する流入量を考慮する。</p> <p>d. 扉 溢水防護区画に扉が設置されている場合は、水位差による流入量を考慮する。 ただし、水密扉については、水圧による水密性を確保でき、その水圧に耐えられる強度を有しており、流入を考慮しない。</p> <p>e. 堰 溢水が発生している区画に堰が設置され、他に流出経路が存在しない場合は、当該区画で発生した溢水は堰の高さまで蓄積されるものとする。</p> <p>f. 排水設備 溢水防護区画に排水設備が設置されている場合であっても、当該</p>			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・大阪は「1. 原子炉施設の安全確保」と「2使用済燃料ビットの安全確保」に分けて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>区画の排水は考慮しない。</p> <p>(3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。 (添付資料1.3-1) 溢水防護区画の設定 (添付資料1.3-2) 溢水経路と溢水経路概念図 (添付資料1.3-3) 溢水影響評価で止水を期待できる設備</p> <p>2.4 評価に用いる各項目の溢水評価 2.4.1 想定破損による溢水 2.4.1.1 想定破損による溢水源 「1.4.1.1 想定破損による溢水源」と同じである。 (添付資料1.4.1-1) 想定破損による溢水源 2.4.1.2 想定破損による溢水影響評価 2.4.1.2.1 想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価 想定破損による没水評価フローを含め、「1.4.1.2.1 想定破損による溢水影響のうち没水影響評価」と同じである。</p>  <p>※1 ターミナルエンドは完全全周破断 ※2 原子が外乱が発生する場合には、事故時等の単一故障を想定しても異常状態を収束できるよう必要に応じて対策を実施する。</p> <p>図 2.4.1.2.1-1 想定破損による没水評価フロー</p>			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・大阪は「1. 原子炉施設の安全確保」と「2使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																												
<p>(1) 高エネルギー配管の浸水影響評価</p> <p>溢水源となりうる系統ごとに系統上の想定破損箇所に対して溢水経路図を作成し、フロアごとに溢水水位と防護対象設備の機能喪失高さの比較により浸水影響を評価した。</p> <p>系統隔離により溢水量を制限しているものについては、検知及び隔離手段に応じた隔離時間を設定し溢水量を算出したところ、溢水源に基づいて評価した溢水防護区画における最高水位が、防護対象設備の機能喪失高さを超えないことを確認した。評価結果を表2.4.1.2.1-1、表2.4.1.2.1-2に示す。</p> <p>また、中央制御室には運転員が常駐しており中央制御室からの運転操作が可能であり、現場確認が必要な設備へのアクセス通路にあっては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>表 2.4.1.2.1-1 大阪3号炉 高エネルギー配管の浸水影響評価 その1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定破損箇所</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①浸水水位 (E.L.+[m])</th> <th>②機能喪失高さ (E.L.+[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">水中体積</td> <td rowspan="4">再沸器入口配管</td> <td>11分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.923</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>16.9</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.909</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>07分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.948</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>07分</td> <td>16.9</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.937</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水中体積</td> <td rowspan="4">再沸器入口配管</td> <td>19分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.923</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>19分</td> <td>16.9</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.937</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>19分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.923</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>19分</td> <td>16.9</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.937</td> <td>6.71</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：破損部位の想定破損箇所は破損高さとして設定している。注2：11分は破損部位の想定破損高さとして設定している。</p> <p>表 2.4.1.2.1-2 大阪3号炉 高エネルギー配管の浸水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定破損箇所</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①浸水水位 (E.L.+[m])</th> <th>②機能喪失高さ (E.L.+[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中体積</td> <td>燃料油循環ポンプ配管</td> <td>19分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.904</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：破損部位の想定破損箇所は破損高さとして設定している。注2：11分は破損部位の想定破損高さとして設定している。</p> <p>表 2.4.1.2.1-2 大阪4号炉 高エネルギー配管の浸水影響評価 その1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定破損箇所</th> <th>隔離時間</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>①浸水水位 (E.L.+[m])</th> <th>②機能喪失高さ (E.L.+[m])</th> <th>影響評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">水中体積</td> <td rowspan="4">再沸器入口配管</td> <td>11分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.923</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>16.9</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.902</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>07分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.949</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>07分</td> <td>16.9</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.938</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水中体積</td> <td rowspan="4">再沸器入口配管</td> <td>19分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.923</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>19分</td> <td>16.9</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.938</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>19分</td> <td>17.1</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.923</td> <td>6.47</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> <tr> <td>19分</td> <td>16.9</td> <td>34. 燃料油循環ポンプ</td> <td>6.940</td> <td>6.72</td> <td>①②</td> <td>+</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：破損部位の想定破損箇所は破損高さとして設定している。注2：11分は破損部位の想定破損高さとして設定している。</p>	系統名	想定破損箇所	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機能喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定	水中体積	再沸器入口配管	11分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+	10分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.909	6.71	①②	+	07分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.948	6.47	①②	+	07分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.937	6.71	①②	+	水中体積	再沸器入口配管	19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+	19分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.937	6.71	①②	+	19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+	19分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.937	6.71	①②	+	系統名	想定破損箇所	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機能喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定	水中体積	燃料油循環ポンプ配管	19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.904	6.47	①②	+	系統名	想定破損箇所	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機能喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定	水中体積	再沸器入口配管	11分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+	10分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.902	6.72	①②	+	07分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.949	6.47	①②	+	07分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.938	6.72	①②	+	水中体積	再沸器入口配管	19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+	19分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.938	6.72	①②	+	19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+	19分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.940	6.72	①②	+			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・大阪は「1. 原子炉施設の安全確保」と「2. 使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>
系統名	想定破損箇所	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機能喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定																																																																																																																																																							
水中体積	再沸器入口配管	11分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
		10分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.909	6.71	①②	+																																																																																																																																																							
		07分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.948	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
		07分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.937	6.71	①②	+																																																																																																																																																							
水中体積	再沸器入口配管	19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
		19分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.937	6.71	①②	+																																																																																																																																																							
		19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
		19分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.937	6.71	①②	+																																																																																																																																																							
系統名	想定破損箇所	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機能喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定																																																																																																																																																							
水中体積	燃料油循環ポンプ配管	19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.904	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
系統名	想定破損箇所	隔離時間	E.L. + [m]	防護対象設備	①浸水水位 (E.L.+[m])	②機能喪失高さ (E.L.+[m])	影響評価	判定																																																																																																																																																							
水中体積	再沸器入口配管	11分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
		10分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.902	6.72	①②	+																																																																																																																																																							
		07分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.949	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
		07分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.938	6.72	①②	+																																																																																																																																																							
水中体積	再沸器入口配管	19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
		19分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.938	6.72	①②	+																																																																																																																																																							
		19分	17.1	34. 燃料油循環ポンプ	6.923	6.47	①②	+																																																																																																																																																							
		19分	16.9	34. 燃料油循環ポンプ	6.940	6.72	①②	+																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

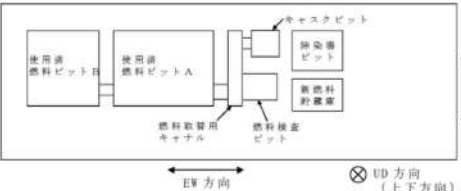
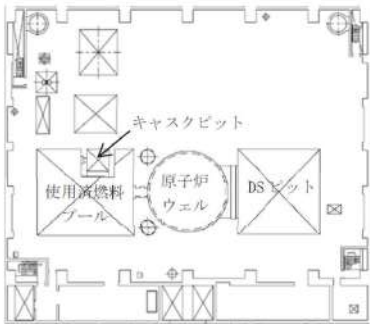
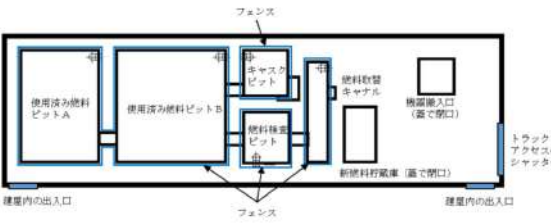
大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																	
<p>表 2.4.1.2.1-2 大阪4号炉 低エネルギー配管の没水影響評価 その2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>想定範囲</th> <th>漏洩時間 (min)</th> <th>影響対象設備</th> <th>①没水水位 (床面上[m])</th> <th>②機能喪失 高さ(床面上[m])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精製水系統</td> <td>自動逆流防止 配管</td> <td>3分</td> <td>温度センサー 17.1</td> <td>0.004</td> <td>0.47</td> <td>①②</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 没水時の影響評価は、設備の構造や設置位置などにより、異なる評価結果となる可能性がある。</p>								系統名	想定範囲	漏洩時間 (min)	影響対象設備	①没水水位 (床面上[m])	②機能喪失 高さ(床面上[m])	影響 評価	判定	精製水系統	自動逆流防止 配管	3分	温度センサー 17.1	0.004	0.47	①②	A
系統名	想定範囲	漏洩時間 (min)	影響対象設備	①没水水位 (床面上[m])	②機能喪失 高さ(床面上[m])	影響 評価	判定																
精製水系統	自動逆流防止 配管	3分	温度センサー 17.1	0.004	0.47	①②	A																
<p>(2) 低エネルギー配管の没水影響評価</p> <p>低エネルギー配管は、対象配管の最大支持間隔における発生応力が、評価基準値以内にあり、破損の想定を要する低エネルギー配管系統はなく、没水は発生しないことを確認した。</p> <p>(添付資料1.4.1-2 想定破損による溢水影響評価(没水影響評価))</p> <p>2.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価 「1.4.1.2.2 想定破損による溢水影響評価のうち被水影響評価」と同じである。 (添付資料1.4.1-3) 想定破損による溢水影響評価(被水影響評価)</p> <p>2.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 「1.4.1.2.3 想定破損による溢水影響評価のうち蒸気影響評価」と同じである。 (添付資料1.4.1-4) 想定破損による溢水影響評価(蒸気影響評価)</p> <p>2.4.2 放水による溢水</p> <p>2.4.2.1 放水による溢水源 「1.4.2.1 放水による溢水源」と同じである。</p> <p>2.4.2.2 放水による溢水影響評価</p> <p>2.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価 「1.4.2.2.1 放水による溢水影響評価のうち没水影響評価」と同じである。 (添付資料1.4.2-1) 消火活動に係る時間設定の考え方 (添付資料1.4.2-2) 消火活動に係る放水による溢水影響評価 (添付資料1.4.2-3) 消火活動に係る放水による溢水経路図(代表)</p>																							
						<p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・大阪は「1. 原子炉施設の安全確保」と「2使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

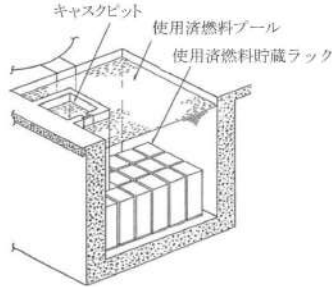
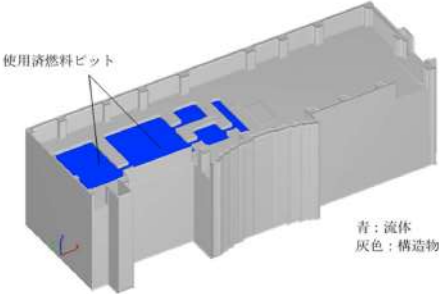
第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p>2.4.3 地震による溢水</p> <p>2.4.3.1 地震による溢水源</p> <p>「1.4.3.1 地震による溢水源」と同じである。</p> <p>（添付資料1.4.3-1）地震時の溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>2.4.3.2 地震による溢水影響評価</p> <p>2.4.3.2.1 地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>評価対象の防護対象設備のある区画内で溢水が発生し、溢水が流出していく「溢水防護区画内漏えい」と評価対象の防護対象設備のある区画外で溢水が発生し、溢水が流入してくる「溢水防護区画外漏えい」を想定した溢水経路を設定した。</p> <p>影響評価に用いる溢水水位の算出は、溢水経路上の溢水防護区画に対して行い、溢水量から算出される溢水水位と、防護対象設備の機能喪失高さを比較することで、防護対象設備が機能喪失に至らないことを確認した（表2.4.3.2.1-1、表2.4.3.2.1-2）。</p> <p>表 2.4.3.2.1-1 大阪3号炉 地震による没水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="215 770 602 946"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + ① 溢水水位 [m]</th> <th>① 溢水水位 (床+ [m])</th> <th>防護対象設備</th> <th>② 機能喪失 高さ (床+ [m])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉 周辺 建屋</td> <td>17.1</td> <td>0.096</td> <td>3A, 3B 燃料取替 用水ポンプ</td> <td>0.47</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>0.154</td> <td>3A, 3B 使用済燃料 ピットポンプ</td> <td>0.71</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.4.3.2.1-2 大阪4号炉 地震による没水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="215 983 602 1158"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>E.L. + [m]</th> <th>① 溢水水位 (床+ [m])</th> <th>防護対象設備</th> <th>② 機能喪失 高さ (床+ [m])</th> <th>影響 評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉 周辺 建屋</td> <td>17.1</td> <td>0.095</td> <td>4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ</td> <td>0.47</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>0.170</td> <td>4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ</td> <td>0.72</td> <td>①<②</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>（添付資料1.4.3-2）附属B、Cクラス機器の耐震強度評価方法及び評価結果 （添付資料1.4.3-3）地震に起因する溢水影響評価結果及び溢水経路図</p> <p>2.4.3.2.2 地震による溢水影響評価のうち被水影響評価</p> <p>被水については溢水源から溢水量を特定せずに評価するため、地震による被水影響の検討は想定破損による被水影響評価と同じである。</p> <p>2.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価</p> <p>「1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価」と同じである。</p>	建屋	E.L. + ① 溢水水位 [m]	① 溢水水位 (床+ [m])	防護対象設備	② 機能喪失 高さ (床+ [m])	影響 評価	判定	原子炉 周辺 建屋	17.1	0.096	3A, 3B 燃料取替 用水ポンプ	0.47	①<②	○	10.0	0.154	3A, 3B 使用済燃料 ピットポンプ	0.71	①<②	○	建屋	E.L. + [m]	① 溢水水位 (床+ [m])	防護対象設備	② 機能喪失 高さ (床+ [m])	影響 評価	判定	原子炉 周辺 建屋	17.1	0.095	4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ	0.47	①<②	○	10.0	0.170	4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ	0.72	①<②	○			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・大阪は「1.原子炉施設の安全確保」と「2使用済燃料ピットの安全確保」に分けて記載している。</p>
建屋	E.L. + ① 溢水水位 [m]	① 溢水水位 (床+ [m])	防護対象設備	② 機能喪失 高さ (床+ [m])	影響 評価	判定																																					
原子炉 周辺 建屋	17.1	0.096	3A, 3B 燃料取替 用水ポンプ	0.47	①<②	○																																					
	10.0	0.154	3A, 3B 使用済燃料 ピットポンプ	0.71	①<②	○																																					
建屋	E.L. + [m]	① 溢水水位 (床+ [m])	防護対象設備	② 機能喪失 高さ (床+ [m])	影響 評価	判定																																					
原子炉 周辺 建屋	17.1	0.095	4A, 4B 燃料取替 用水ポンプ	0.47	①<②	○																																					
	10.0	0.170	4A, 4B 使用済燃料 ピットポンプ	0.72	①<②	○																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.4.4 使用済燃料ピットのスロッシングによる水位低下の評価</p> <p>基準地震動Ssによって発生する使用済燃料ピットからのスロッシングによる溢水量と機器の破損による溢水量を合計したものに對し、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能を有する系統の防護対象設備が没水により機能喪失しないことを確認する。また、溢水後の水位に對し、使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温65℃以下）及び遮蔽機能に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体をモデル化範囲とし、スロッシングによる溢水量を評価するために、使用済燃料ピットだけでなく、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態で、初期水位を使用済燃料ピット水位高警報設定値（H.W.L.）とした3次元流動解析により溢水量を算出し、さらにそれら溢水量が使用済燃料ピットのみから流出したものととして保守的な評価を行う。</p> <p>使用済燃料ピット周辺の概要を図2.4.4-1に示す。</p>  <p>図2.4.4-1 使用済燃料ピット周辺の概要図</p>	<p>8 使用済燃料プール等のスロッシング後の機能維持評価</p> <p>使用済燃料プールの冷却及び給水系統の防護対象設備については、これまでの溢水影響評価において、機能喪失しないことを確認している。</p> <p>ここでは、基準地震動Ssにおけるスロッシングによる使用済燃料プール等からの溢水量がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位を求め、プール冷却（保安規定で定めた水温65℃以下）機能及び使用済燃料の遮蔽機能維持に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>なお、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>8.1 解析評価</p> <p>基準地震動Ssに対する使用済燃料プール、原子炉ウエル及び蒸気乾燥器気水分離器ピット（以下「DSピット」という。）のスロッシングによる溢水量を推定するため、3次元流動解析を実施した。</p> <p>使用済燃料プール、原子炉ウエル及びDSピットが設置される原子炉建屋3階の機器配置図を図8-1、使用済燃料プールの概要図を図8-2に示す。</p>  <p>図8-1 原子炉建屋3階の機器配置図</p>	<p>8 使用済燃料ピット等のスロッシング後の機能維持評価</p> <p>使用済燃料ピットの冷却及び給水系統の防護対象設備については、これまでの溢水影響評価において、機能喪失しないことを確認している。</p> <p>ここでは、基準地震動におけるスロッシングによる使用済燃料ピット等からの溢水量がピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位を求め、ピット冷却（保安規定で定めた水温65℃以下）機能及び使用済燃料の遮蔽機能維持に必要な水位が確保されていることを確認する。</p> <p>なお、以下の評価は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い、耐震評価等の変更が生じる可能性がある。</p> <p>8.1 解析評価</p> <p>基準地震動に対する使用済燃料ピット、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピット（以下「使用済燃料ピット等」という）のスロッシングによる溢水量を推定するため、3次元流動解析を実施した。</p> <p>使用済燃料ピット等が設置される原子炉建屋（T.P.33.1m）の使用済燃料ピット周辺の機器配置図を図8-1、使用済燃料ピットの概要図を図8-2に示す。</p>  <p>図8-1 使用済燃料ピット周辺の機器配置図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 泊は「表8-1 解析条件」に解析方法を記載しているが、モデル化範囲、水張状態、初期水位の設定方法は女川と同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>評価用地震動は、基準地震動Ssによる原子炉周辺建屋（E.L. +33.6m）の応答を用い、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向）を基本として、溢水量が多くなる地震動を地震波の継続時間の観点からSs-1を、ピットの水の固有周期における応答加速度的観点から、Ss-1、Ss-10を評価対象として選定した上で、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量を評価する。なお、水平2方向と鉛直方向の地震力の組合せ（EW方向、NS方向及びUD方向）については、別途影響確認を行う。</p>	 <p>図8-2 使用済燃料プールの概略図</p> <p>キャスクピット 使用済燃料プール 使用済燃料貯蔵ラック</p> <p>(1) 評価用地震動 基準地震動のうち、使用済燃料プール及び原子炉ウエルDSピットの固有周期での応答が最も大きいSs-D1を用いて評価を実施した。</p> <p>使用済燃料プール及び原子炉ウエルDSピットが存在する標高近傍の水平方向床応答スペクトルを図8-3、評価用地震動として選定したSs-D1の時刻歴加速度波形を図8-4に示す。</p>	 <p>図8-2 使用済燃料ピット等の概略図</p> <p>使用済燃料ピット</p> <p>青：流体 灰色：構造物</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ピットのスロッシング評価については、現時点で確定している基準地震動のうち、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量が最大となるSs3-2（金ヶ崎地震動）を用いた評価結果を示す。 ・以下の破線部分¹は、基準振動確定後に評価を実施し、今後追加となる基準地震動によるスロッシング量がSs3-2によるスロッシング量を上回る場合には、記載の見直しを行う。 </div> <p>(1) 評価用地震動 応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動（以下「応答スペクトルベース」という）、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動及び震源を特定せず策定する基準地震動（以下「断層モデルベース等」という）を用いて評価を実施した。</p> <p>使用済燃料ピット等が存在する標高近傍の水平方向床応答スペクトルを図8-3、時刻歴加速度波形の一例として¹基準地震動Ss3-2（金ヶ崎地震動）の時刻歴加速度波形を図8-4に示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 泊の使用済燃料ピットの固有周期において応答が大きいと考えられる地震動が複数あることから、現時点で確定している基準地震動については、代表ケースを選定せずすべての地震動について解析を実施している。</p> <p>記載方針の相違 泊は上記のとおり現時点で確定している基準地震動についてはすべての地震動について解析を実施しているため、評価に用いた時刻歴加速度波形は一例としてSs3-2のものを記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図8-3 水平方向の床応答スペクトル</p>	<div data-bbox="1294 220 1848 300" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】 下図については基準地震動確定後に最新版を反映する。</p> </div> <p>図8-3 水平方向の床応答スペクトル</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	
<p>（添付資料2「使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」）</p>	
<p>2.2 解析条件</p> <p>解析条件は表1に示す通りである。なお、解析モデル諸元を表2、表3に、解析モデル図を図2、図3に示す。</p>	
<p>表1 モデル化範囲 解析条件（1/2）</p>	
モデル化範囲	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）
境界条件	<ul style="list-style-type: none"> シャッター位置からは水が流出するものとする。 上部は開放とする。他は壁による境界を設定。
初期水位	<ul style="list-style-type: none"> E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)
評価用地震動	<ul style="list-style-type: none"> 応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Ss及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss(以下、断層モデルベース等)による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6mの応答を使用する。 応答スペクトルベース(1波)、断層モデルベース等(18波)に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ(EW方向及びUD方向、NS方向及びUD方向)を基本として、時刻歴により評価する。
<p>表1 モデル化範囲 解析条件（2/2）</p>	
解析コード	<ul style="list-style-type: none"> FLOW-3D Ver.9.2.1(流体解析ソフトウェア 参考参照) 自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。(2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。

女川原子力発電所2号炉	
<p>図8-4 評価用地震動(Ss-D1)の時刻歴加速度波形</p>	
<p>(2) 解析条件</p> <p>溢水量を算出するための解析条件を表8-1に示す。また、解析モデル諸元を表8-2～表8-4に、解析モデル図を図8-5～図8-8に示す。</p>	
<p>表8-1 解析条件</p>	
モデル化範囲	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料プール、原子炉ウエル、DSピット
境界条件	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ(燃料取替床の床面高さ+0.1m)以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算
初期水位	<ul style="list-style-type: none"> 通常水位(N.W.L)、0.P.+32.895m(オーバーフロー水位)
評価用地震動	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋0.P.+22.5mの応答を使用 基準地震動 Ss(Ss-D1:応答スペクトルに基づく地震動)に対し、NS方向とUD方向、EW方向とUD方向の時刻歴を用いる。
解析コード	<ul style="list-style-type: none"> Fluent Ver.14.5(汎用流体解析コード) 自由表面(及び2流体界面)の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNGタンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析などが挙げられる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシールドヘッドは考慮しない。 キャスクピット内プールは中実構造とする。 プール周囲に設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。

泊発電所3号炉	
<p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <p>下図については基準地震動確定後の評価結果により必要に応じて見直しを行う。</p>	
<p>図8-4 基準地震動Ss3-2の時刻歴加速度波形</p>	
<p>(2) 解析条件</p> <p>溢水量を算出するための解析条件を表8-1に示す。また、解析モデル諸元を表8-2及び表8-3に、解析モデル図を図8-5～図8-7に示す。</p>	
<p>表8-1 解析条件</p>	
モデル化範囲	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体
境界条件	<ul style="list-style-type: none"> シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 上部は大気開放条件とする。 その他のモデル化範囲外周は境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 蓋で閉鎖している床面開口部(新燃料貯蔵庫、機器種入口)からの流出は考慮しない。また、排水ドレイン口は全閉とする。
初期水位	<ul style="list-style-type: none"> T.P.32.73m(使用済燃料ピット高水位レベル)
評価用地震動	<ul style="list-style-type: none"> 以下の基準地震動による燃料取扱棟(T.P.33.1a)の応答時刻歴を使用する。応答スペクトルベース：Ss=1 断層モデルベース等：Ss2-1、Ss2-2、Ss2-3、Ss2-4 Ss3-1a30_x、Ss3-1a30_y(栗原地山地震動) Ss3-2a30_ew、Ss3-2a30_ns(金ヶ崎地震動) Ss3-3a30_ew、Ss3-3a30_ns(一関東地震動) 特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向(NS+UD及びEW+UD)を組合せ、時刻歴により評価を行う。 断層モデルベース等に対しては、水平2方向(NS及びEW)と鉛直方向(UD)を組合せ、時刻歴により評価を行う。
解析コード	<ul style="list-style-type: none"> FLOW-3D Ver9.2.1(自由表面挙動解析に優れる3次元流動解析ソフト) 使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水がすべて揺動するとした。 ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 使用済燃料ピットA、使用済燃料ピットB、燃料取替用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態とする。
その他	

相違理由

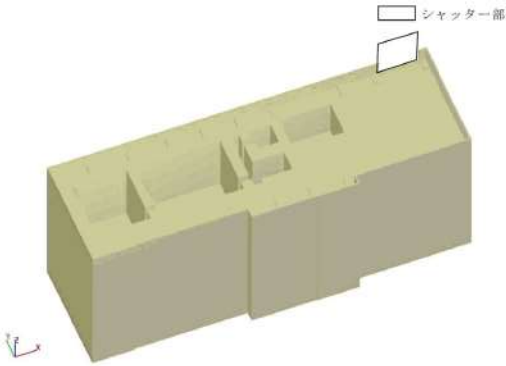
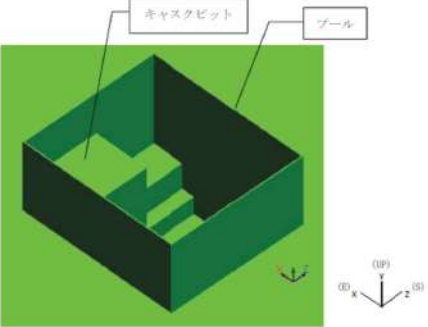
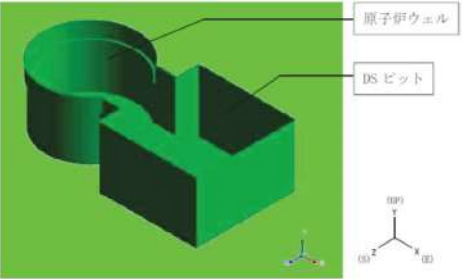
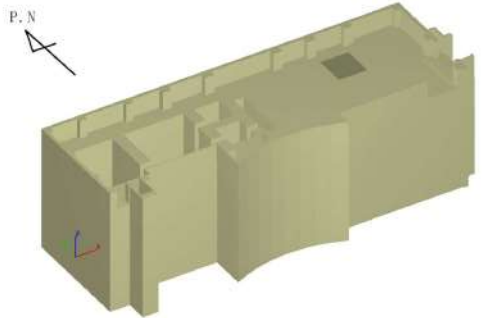
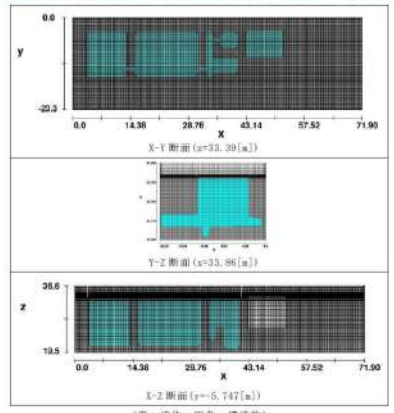
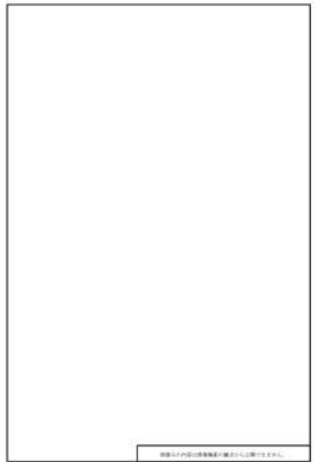

【大阪】
 大阪との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載を貼り付けた。
設計方針の相違
 【モデル化範囲、境界条件及びその他】(大阪と同様)
 女川は使用済燃料プールのみをモデル化しているのに対し、泊は使用済燃料ピットのあるフロア全体をモデル化範囲とし、エリアの外壁からの溢水の跳ね返りを考慮しているが、泊では初期条件として使用済燃料ピットに接続されるすべてのピットに水張りされた条件としており、さらに、溢水量は、ピットからの溢水量が最大到達時のピーク値を用いることにより保守的な評価としている。
 【初期水位】(大阪と同様)
 プラント設計の相違により、設定値が異なる。
 【評価用地震動】(大阪と同様)
 泊では断層モデルベース等の地震動についても評価を行っており、断層モデルベース等は特定の方向性を有する地震動であることから、水平2方向+鉛直方向の同時入力により解析を実施している。なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動については、女川と同様の評価手法としている。
 【解析コード】(大阪と同様)
 使用している解析コードが異なるが、共にVOF法を用いた解析コードであり、同様の検証を行っ

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

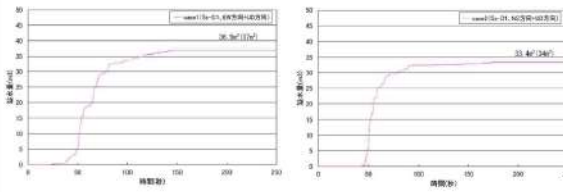

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>表2 解析領域とメッシュ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EW方向 0.0~71.9 [m]</td> <td rowspan="3">240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000</td> </tr> <tr> <td>NS方向 -23.3~ 0.0 [m]</td> </tr> <tr> <td>UD方向 19.5~36.6 [m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3 物性値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">水 (SI 単位系)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.001 [Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>1,000 [kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>	解析領域	メッシュ数	EW方向 0.0~71.9 [m]	240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000	NS方向 -23.3~ 0.0 [m]	UD方向 19.5~36.6 [m]	水 (SI 単位系)		粘性係数	0.001 [Pa・s]	密度	1,000 [kg/m ³]	<p>表8-2 使用済燃料プールの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>総メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS方向 0~92.4[m]</td> <td rowspan="3">5,730,000</td> </tr> <tr> <td>EW方向 0~94.235[m]</td> </tr> <tr> <td>UD方向 0~26.92[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>表8-3 原子炉ウェル及びDSピットの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>総メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS方向^{※1} -46.2~46.2[m]</td> <td rowspan="3">5,890,000</td> </tr> <tr> <td>EW方向^{※1} -45.89~59.27[m]</td> </tr> <tr> <td>UD方向^{※2} 4.2~26.92[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 水平方向の原点は、原子炉ウェルの中心点を0[m]とした。 ※2 UD方向の原点は、使用済燃料プールの底面を0[m]とした。</p> <p>表8-4 物性値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.00067 [Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>990 [kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>	解析領域	総メッシュ数	NS方向 0~92.4[m]	5,730,000	EW方向 0~94.235[m]	UD方向 0~26.92[m]	解析領域	総メッシュ数	NS方向 ^{※1} -46.2~46.2[m]	5,890,000	EW方向 ^{※1} -45.89~59.27[m]	UD方向 ^{※2} 4.2~26.92[m]	水		粘性係数	0.00067 [Pa・s]	密度	990 [kg/m ³]	<p>表8-2 使用済燃料ピットの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X方向 -0.5~58.9[m]</td> <td rowspan="3">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>Y方向 -20.5~2.8[m]</td> </tr> <tr> <td>Z方向 19.9~36.1[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>[Redacted] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>表8-3 物性値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">水 (SI 単位系)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.001 [Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>1,000 [kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table> <p>図8-5 使用済燃料ピット等の解析領域（赤線）</p>	解析領域	メッシュ数	X方向 -0.5~58.9[m]	[Redacted]	Y方向 -20.5~2.8[m]	Z方向 19.9~36.1[m]	水 (SI 単位系)		粘性係数	0.001 [Pa・s]	密度	1,000 [kg/m ³]	<p>ている。</p> <p>【大阪】 大阪との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載を貼り付けた。</p> <p>記載方針の相違 泊は使用済燃料ピットのあるフロア全体をモデル化範囲としていることから、解析領域を図で示している。</p>
解析領域	メッシュ数																																												
EW方向 0.0~71.9 [m]	240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000																																												
NS方向 -23.3~ 0.0 [m]																																													
UD方向 19.5~36.6 [m]																																													
水 (SI 単位系)																																													
粘性係数	0.001 [Pa・s]																																												
密度	1,000 [kg/m ³]																																												
解析領域	総メッシュ数																																												
NS方向 0~92.4[m]	5,730,000																																												
EW方向 0~94.235[m]																																													
UD方向 0~26.92[m]																																													
解析領域	総メッシュ数																																												
NS方向 ^{※1} -46.2~46.2[m]	5,890,000																																												
EW方向 ^{※1} -45.89~59.27[m]																																													
UD方向 ^{※2} 4.2~26.92[m]																																													
水																																													
粘性係数	0.00067 [Pa・s]																																												
密度	990 [kg/m ³]																																												
解析領域	メッシュ数																																												
X方向 -0.5~58.9[m]	[Redacted]																																												
Y方向 -20.5~2.8[m]																																													
Z方向 19.9~36.1[m]																																													
水 (SI 単位系)																																													
粘性係数	0.001 [Pa・s]																																												
密度	1,000 [kg/m ³]																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図2 解析モデルの概要図</p>	 <p>図8-5 使用済燃料プールの解析モデル図</p>  <p>図8-6 原子炉ウェル及びDSビットの解析モデル図</p>	 <p>図8-6 使用済燃料ビットの解析モデル図</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <p>女川は原子炉ウェル及びDSビットを使用済燃料プールとは別にモデル化し解析を実施しているのに対し、泊は使用済燃料ビット等を一体としてモデル化し解析を実施している。（大阪と同様）</p>
 <p>図3 2次元メッシュ図</p> <p>※メッシュ設定は、図に示すように気液界面及び建屋構造物不連続部を密に設定している。</p>		 <p>図8-7 使用済燃料ビットの3次元メッシュ図</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大阪】</p> <p>大阪との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ビットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載（青破線枠内）を貼り付けた。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
<p>基準地震動Ssにおける使用済燃料ピットのスロッシングによる最大到達溢水時の溢水量を表2.4.4-1に、使用済燃料ピット水位を表2.4.4-2に示す。</p> <p>表2.4.4-1 スロッシングによる溢水量</p> <table border="1" data-bbox="123 933 672 1005"> <tr> <td>基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向</td> <td>41.12m³</td> </tr> <tr> <td>基準地震動 Ss NS 方向、UD 方向</td> <td>5.48m³</td> </tr> </table> <p>表2.4.4-2 溢水時の使用済燃料ピット水位</p> <table border="1" data-bbox="174 1093 667 1292"> <tr> <td>初期ピット水位</td> <td>11.91m</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L.W.L)</td> <td>(E.L.+33.06m)</td> </tr> <tr> <td>地震後のピット水位</td> <td>11.76m</td> </tr> <tr> <td>基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向</td> <td>(E.L.+32.91m)</td> </tr> <tr> <td>地震後のピット水位</td> <td>11.89m</td> </tr> <tr> <td>基準地震動 Ss NS 方向、UD 方向</td> <td>(E.L.+33.04m)</td> </tr> </table> <p>※1 ピット水位 (EW 方向、UD 方向) = 11.76m = 11.91m (初期ピット水位) - 41.12m³ (溢水量) / 290.08m² (ピットの面積)</p> <p>※2 ピット水位 (EW 方向、UD 方向) = 11.89m = 11.91m (初期ピット水位) - 5.48m³ (溢水量) / 290.08m² (ピットの面積)</p>	基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向	41.12m ³	基準地震動 Ss NS 方向、UD 方向	5.48m ³	初期ピット水位	11.91m	使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L.W.L)	(E.L.+33.06m)	地震後のピット水位	11.76m	基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向	(E.L.+32.91m)	地震後のピット水位	11.89m	基準地震動 Ss NS 方向、UD 方向	(E.L.+33.04m)	<p>8.2 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <p>基準地震動Ssに対する使用済燃料プール及び原子炉ウェル・DSピットのスロッシングによる溢水量を表8-5に示す。また、スロッシングによる溢水量の時間変化を図8-9及び図8-10に示す。</p> <p>地震起因による溢水影響評価に用いる溢水量は、使用済燃料プールの溢水量の多いEW+UD方向の解析結果にさらに10%の余裕を見込んだ上で、小数第1位を切り上げ処理し、41m³とした。また、同様に、定検時に水が張られる原子炉ウェル・DSピットも含めたスロッシングによる溢水量は107m³とした。</p> <p>表8-5 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <table border="1" data-bbox="698 933 1258 1053"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価ケース</th> <th colspan="2">解析結果[m³]</th> <th rowspan="2">評価に用いる溢水量[m³]</th> </tr> <tr> <th>使用済燃料プール</th> <th>原子炉ウェル及びDSピット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">Ss-D1</td> <td>Case1: EW+UD 方向</td> <td>37</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>Case2: NS+UD 方向</td> <td>34</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 原子炉ウェル・DSピットも含めた溢水量</p>  <p>図8-9 溢水量の時間変化（使用済燃料プール）</p>	評価ケース	解析結果[m ³]		評価に用いる溢水量[m ³]	使用済燃料プール	原子炉ウェル及びDSピット	Ss-D1	Case1: EW+UD 方向	37	60	Case2: NS+UD 方向	34	61	<p>8.2 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スロッシングによる溢水量（解析結果）については、現時点で確定している基準地震動のうち、溢水量が最大となる Ss3-2（金ヶ崎地震動）を用いた評価結果を示す。 ・以下の破線固部分は、基準振動確定後に評価を実施し、今後追加となる基準地震動によるスロッシング量が Ss3-2 のスロッシング量を上回る場合には、記載の見直しを行う。 </div> <p>基準地震動のうち、使用済燃料ピット等のスロッシングによる溢水量が最大となった「基準地震動Ss3-2」における溢水量（ピーク値）を表8-5に示す。また、スロッシングによる溢水量の時間変化を図8-8に示す。</p> <p>地震起因による溢水影響評価に用いる溢水量は、水平2方向（EW及びNS）及び鉛直方向（UD）の組合せによる解析結果にさらに10%の余裕を見込んだ上で、小数第1位を切り上げ処理し、35m³とした。</p> <p>表8-5 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <table border="1" data-bbox="1288 933 1848 1045"> <thead> <tr> <th>評価ケース</th> <th>解析結果 [m³]</th> <th>評価に用いる溢水量 [m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ss3-2 EW+NS+UD 方向</td> <td>31.30</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図8-8 溢水量の時間変化（使用済燃料ピット）</p>	評価ケース	解析結果 [m ³]	評価に用いる溢水量 [m ³]	Ss3-2 EW+NS+UD 方向	31.30	35	<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の使用済燃料ピットの固有周期において応答が大きいと考えられる地震動が複数あることから、現時点で確定している基準地震動については、代表ケースを選定せずすべての地震動について解析を実施している。 ・また、泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大阪と同様） ・評価に用いる地震動は、女川は特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動（Ss-1）、泊は特定の方向性を有する断層モデルベース等の地震動（Ss3-2）という相違がある。泊で用いるSs3-2は、EW方向及びNS方向それぞれに観測された地震波があるため、これらと鉛直方向との組合せにより、3方向同時入力により解析を実施している。なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動（Ss-1）については、女川と同様の評価手法にて評価を実施しており、Ss3-2による溢水量を超えないことを確認している。（補足説明資料32で説明）
基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向	41.12m ³																																					
基準地震動 Ss NS 方向、UD 方向	5.48m ³																																					
初期ピット水位	11.91m																																					
使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L.W.L)	(E.L.+33.06m)																																					
地震後のピット水位	11.76m																																					
基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向	(E.L.+32.91m)																																					
地震後のピット水位	11.89m																																					
基準地震動 Ss NS 方向、UD 方向	(E.L.+33.04m)																																					
評価ケース	解析結果[m ³]		評価に用いる溢水量[m ³]																																			
	使用済燃料プール	原子炉ウェル及びDSピット																																				
Ss-D1	Case1: EW+UD 方向	37	60																																			
	Case2: NS+UD 方向	34	61																																			
評価ケース	解析結果 [m ³]	評価に用いる溢水量 [m ³]																																				
Ss3-2 EW+NS+UD 方向	31.30	35																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
<p>2.4.5 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認</p> <p>使用済燃料ピットの最大到達溢水時の溢水量が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出したと仮定した場合の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温65℃）の維持に必要な水位が確保されていることを確認した結果を表2.4.5-1に示す。</p> <p>また、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な防護対象設備が没水により機能喪失しないことを確認した結果を表2.4.5-2に示す。</p> <p>表 2.4.5-1 溢水時における使用済燃料ピットの冷却機能の維持の確認結果</p> <table border="1" data-bbox="143 1054 636 1177"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>地震後のピット水位 [m]</th> <th>冷却機能の維持に必要な水位^{※1} [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向</td> <td>11.76^{※2} (E.L. +32.91)</td> <td>10.99 (E.L. +32.14)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温 65℃）の維持に必要な水位を、使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベルとした。</p> <p>※2 ピット水位(EW 方向、UD 方向)=11.76m =11.91m(初期ピット水位) - 41.12m3(溢水量) / 290.08m2(ピットの面積)</p>	方向	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果	基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向	11.76 ^{※2} (E.L. +32.91)	10.99 (E.L. +32.14)	○	<p>8. 3 使用済燃料プール等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>(1) スロッシングによる使用済燃料プール水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料プール等からのスロッシングによる溢水がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位及びプール冷却並びに遮蔽に必要な水位を表8-6に示す。使用済燃料プール単独でのスロッシング影響を考慮した場合の方が、使用済燃料プール水位がより低下するため、以下では使用済燃料プール単独のスロッシングによる影響を評価した。</p> <p>表8-6 スロッシング発生後の使用済燃料プール水位及び必要水位</p> <table border="1" data-bbox="748 1098 1218 1321"> <tbody> <tr> <td>初期プール水位 (m)</td> <td>11.515 (0.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位^{※1} (m) (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合)</td> <td>11.245 (0.P.+32.625)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位^{※2} (m) (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合)</td> <td>11.255 (0.P.+32.635)</td> </tr> <tr> <td>プール冷却に必要な水位^{※3} (m)</td> <td>11.515 (0.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位^{※4} (m)</td> <td>7.958 (0.P.+29.338)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 初期プール水位からの水位低下量 (0.27m) は、溢水量 (41m³) を使用済燃料プールの面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※2 初期プール水位からの水位低下量 (0.26m) は、溢水量 (197m³) を使用済燃料プール・原子炉ウエル・DSピットの合計面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※3 保安規定で定められている、水温 (65℃以下) が保たれるために必要な水位として、保守的にオーバーフロー水位を設定した。</p> <p>※4 使用済燃料を考慮した、使用済燃料プール水面の設計基準線量率 (≦0.05 mSv/h) を満足する水位。</p>	初期プール水位 (m)	11.515 (0.P.+32.895)	スロッシング発生後のプール水位 ^{※1} (m) (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合)	11.245 (0.P.+32.625)	スロッシング発生後のプール水位 ^{※2} (m) (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合)	11.255 (0.P.+32.635)	プール冷却に必要な水位 ^{※3} (m)	11.515 (0.P.+32.895)	遮蔽に必要な水位 ^{※4} (m)	7.958 (0.P.+29.338)	<p>8. 3 使用済燃料ピット等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>(1) スロッシングによる使用済燃料ピット水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料ピット等からのスロッシングによる溢水量（ピーク値）が使用済燃料ピットの低水位警報レベルからピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位及びピット冷却並びに遮蔽に必要な水位を表8-6に示す。使用済燃料ピット単独でのスロッシング影響を考慮した場合の方が、使用済燃料ピット水位がより低下するため、以下では使用済燃料ピット単独のスロッシングによる影響を評価した。</p> <div data-bbox="1285 890 1845 1011" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <p>下表の「破線部分」については基準地震動確定後の評価結果により必要に応じて見直しを行う。</p> </div> <p>表8-6 スロッシング発生後の使用済燃料ピット水位及び必要水位</p> <table border="1" data-bbox="1285 1134 1845 1251"> <tbody> <tr> <td>初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}</td> <td>32.58</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]</td> <td>32.36</td> </tr> <tr> <td>ピット冷却に必要な水位^{※2} T.P. [m]</td> <td>31.62</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位^{※3} T.P. [m]</td> <td>29.74</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの低水位警報レベル</p> <p>※2 使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温 65℃）の維持に必要な水位（使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベル）</p> <p>※3 使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能（水面の設計基準線量率≦0.01mSv/h）に必要な水位</p>	初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}	32.58	スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]	32.36	ピット冷却に必要な水位 ^{※2} T.P. [m]	31.62	遮蔽に必要な水位 ^{※3} T.P. [m]	29.74	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大阪と同様） ・また、解析の初期条件としては使用済燃料ピットの高水位レベルとして評価を行っているが、スロッシング発生後のピット水位の評価では、保守的に低水位警報レベルから水位低下するものとして評価を実施している。（大阪と同様）
方向	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果																										
基準地震動 Ss EW 方向、UD 方向	11.76 ^{※2} (E.L. +32.91)	10.99 (E.L. +32.14)	○																										
初期プール水位 (m)	11.515 (0.P.+32.895)																												
スロッシング発生後のプール水位 ^{※1} (m) (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合)	11.245 (0.P.+32.625)																												
スロッシング発生後のプール水位 ^{※2} (m) (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合)	11.255 (0.P.+32.635)																												
プール冷却に必要な水位 ^{※3} (m)	11.515 (0.P.+32.895)																												
遮蔽に必要な水位 ^{※4} (m)	7.958 (0.P.+29.338)																												
初期ピット水位 T.P. [m] ^{※1}	32.58																												
スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]	32.36																												
ピット冷却に必要な水位 ^{※2} T.P. [m]	31.62																												
遮蔽に必要な水位 ^{※3} T.P. [m]	29.74																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																					
<p>表 2.4.5-2 溢水時における使用済燃料ピットへの冷却機能及び給水機能維持の確認結果</p> <table border="1" data-bbox="136 268 642 638"> <thead> <tr> <th>対象機器</th> <th>設置場所</th> <th>溢水水位 [m]</th> <th>機能喪失高さ [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピットポンプ</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋 E.L.+10.0m</td> <td>3号炉 0.154</td> <td>3号炉 0.71</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.170</td> <td>4号炉 0.72</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピットポンプ現場操作盤</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋 E.L.+10.0m</td> <td>3号炉 0.154</td> <td>3号炉 1.20</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.170</td> <td>4号炉 1.20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ポンプ</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋 E.L.+17.1m</td> <td>3号炉 0.096</td> <td>3号炉 0.47</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.095</td> <td>4号炉 0.47</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ポンプ現場操作箱</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋 E.L.+17.1m</td> <td>3号炉 0.096</td> <td>3号炉 1.20</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.095</td> <td>4号炉 1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「表 2.4.3.2.1-1 大阪3号炉 地震による没水影響評価」及び「表 2.4.3.2.1-2 大阪4号炉 地震による没水影響評価」より。</p> <p>使用済燃料ピットの最大到達溢水時の溢水量が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L.）からピット外に流出したと仮定した場合の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した結果を表2.4.5-3に示す。</p> <p>表 2.4.5-3 溢水時における使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能の確認結果</p> <table border="1" data-bbox="136 1061 642 1189"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>地震後のピット水位 [m]</th> <th>遮蔽に必要な水位^{※1} [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準地震動 S_s EW方向、UD方向 (E.L.+32.91)</td> <td>11.76^{※2}</td> <td>9.24 (E.L.+30.39)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの水面の設計基準値（≦0.02mSv/h）を満足するために必要な水位 ※2 ピット水位（EW方向、UD方向）=11.76m =11.91m(初期ピット水位)−41.12m3(溢水量)／290.08m2(ピットの面積)</p> <p>（添付資料2）使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価</p>	対象機器	設置場所	溢水水位 [m]	機能喪失高さ [m]	評価結果	使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋 E.L.+10.0m	3号炉 0.154	3号炉 0.71	○	4号炉 0.170	4号炉 0.72	使用済燃料ピットポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋 E.L.+10.0m	3号炉 0.154	3号炉 1.20	○	4号炉 0.170	4号炉 1.20	燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋 E.L.+17.1m	3号炉 0.096	3号炉 0.47	○	4号炉 0.095	4号炉 0.47	燃料取替用水ポンプ現場操作箱	原子炉 周辺建屋 E.L.+17.1m	3号炉 0.096	3号炉 1.20	○	4号炉 0.095	4号炉 1.20	方向	地震後のピット水位 [m]	遮蔽に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果	基準地震動 S _s EW方向、UD方向 (E.L.+32.91)	11.76 ^{※2}	9.24 (E.L.+30.39)	○	<p>(2) プール冷却に必要な水位の確保について</p> <p>地震起因による溢水影響評価において、残留熱除去系による使用済燃料プールへの冷却機能・給水機能が維持されることを確認しているが、表8-6より、地震後の使用済燃料プール水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕と、系統切替操作にかかる時間を評価し、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回らないことを、以下のとおり確認した。</p> <p>使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕については、有効性評価で想定している、原子炉停止後に最短時間(原子炉停止後10日)で取り出された全炉心分の燃料と、過去に取り出された貯蔵燃料が、使用済燃料貯蔵ラックに最大数保管されていることを想定し、また地震に伴うスロッシングによる溢水量41(m³)を使用済燃料プールの初期保有水量から差し引いた状態にて算出した。使用済燃料プール水温度が65℃に到達するまでの時間余裕を表8-7にまとめる。なお、初期水温は40℃と想定した。また、残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間を表8-8示す。</p> <p>以上により、使用済燃料プール水温度上昇に対する時間余裕の中で、残留熱除去系によるプールへの給水が完了し、またプール冷却機能も維持されていることから、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回ることはない。</p> <p>表8-7 使用済燃料プール水温度と時間余裕</p> <table border="1" data-bbox="723 1002 1249 1056"> <thead> <tr> <th>使用済燃料プール水</th> <th>65℃到達時間(h)</th> <th>100℃到達時間(h) (参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>表8-8 残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間</p> <table border="1" data-bbox="723 1169 1249 1313"> <thead> <tr> <th>現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)</th> <th>50(分)^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水流量</td> <td>300 (m³/h) ^{※2}</td> </tr> <tr> <td>給水完了時間</td> <td>2時間^{※3}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 残留熱除去系への系統切替手順は運転手順書にて定められている。また現場所要時間（漏えい箇所の特定、系統切替操作）が50分程度であること及び系統切替操作時の運転員によるアクセス性について問題ないことを確認している（補足説明資料10参照）。 ※2 運転手順書にて定める、残留熱除去系ポンプ1台の運転時流量 ※3 現場所要時間（漏えい箇所の特定、系統切替操作）及び給水時間に余裕を考慮し設定</p>	使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)		5	13	現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分) ^{※1}	給水流量	300 (m ³ /h) ^{※2}	給水完了時間	2時間 ^{※3}	<p>(2) ピット冷却に必要な水位の確保について</p> <p>表8-6より、使用済燃料ピットの冷却に必要な水位が確保されていることを確認した。</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 ・泊では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても使用済燃料ピットの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。 <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>	
対象機器	設置場所	溢水水位 [m]	機能喪失高さ [m]	評価結果																																																				
使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋 E.L.+10.0m	3号炉 0.154	3号炉 0.71	○																																																				
		4号炉 0.170	4号炉 0.72																																																					
使用済燃料ピットポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋 E.L.+10.0m	3号炉 0.154	3号炉 1.20	○																																																				
		4号炉 0.170	4号炉 1.20																																																					
燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋 E.L.+17.1m	3号炉 0.096	3号炉 0.47	○																																																				
		4号炉 0.095	4号炉 0.47																																																					
燃料取替用水ポンプ現場操作箱	原子炉 周辺建屋 E.L.+17.1m	3号炉 0.096	3号炉 1.20	○																																																				
		4号炉 0.095	4号炉 1.20																																																					
方向	地震後のピット水位 [m]	遮蔽に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果																																																					
基準地震動 S _s EW方向、UD方向 (E.L.+32.91)	11.76 ^{※2}	9.24 (E.L.+30.39)	○																																																					
使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)																																																						
	5	13																																																						
現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分) ^{※1}																																																							
給水流量	300 (m ³ /h) ^{※2}																																																							
給水完了時間	2時間 ^{※3}																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
<p>5. 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価 タービン建屋（循環水管、津波）、屋外タンク及び湧水（原子炉周辺建屋）からの溢水が、防護対象設備の設置されている建屋（原子炉周辺建屋及び制御建屋）に及ぼす影響を確認した。</p> <p>5.1 タービン建屋からの溢水影響評価 5.1.1 タービン建屋の溢水源と溢水量 循環水管の伸縮継手部及び2次系機器を溢水源とする。 循環水管の伸縮継手部からの溢水については、伸縮継手部の全円周状の破損を考慮する。算出した溢水流量は以下のとおり。</p> <p>表5.1.1-1 循環水管の伸縮継手部の溢水流量</p> <table border="1" data-bbox="114 821 683 901"> <thead> <tr> <th>内径(mm)D</th> <th>継手幅(mm)w</th> <th>溢水流量(m³/h)Q/ユニット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,200</td> <td>150</td> <td>102,112</td> </tr> </tbody> </table> <p>循環水ポンプ停止までの時間については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮する。想定した時間は以下のとおり。なお、中央制御室における遠隔停止機能が喪失した場合も考慮し、現地停止操作等の時間を②、③に含めている。</p> <p>表5.1.1-2 循環水ポンプ停止までの時間</p> <table border="1" data-bbox="163 1141 642 1300"> <tbody> <tr> <td>①地震発生事象確認</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>②地震発生による異常の認知時間</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>③循環水ポンプ停止</td> <td>6分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26分</td> </tr> </tbody> </table> <p>算出した溢水流量及び想定したポンプ停止までの時間から溢水量を算出した結果は以下のとおり。 (溢水流量) × (隔離までの時間) = (溢水量) 102,112(m³/h) × 26/60(h) = 約44,300(m³)</p>	内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット	4,200	150	102,112	①地震発生事象確認	10分	②地震発生による異常の認知時間	10分	③循環水ポンプ停止	6分	合計	26分	<p>(3) 遮蔽に必要な水位の確保について 表8-6より、使用済燃料プールの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p> <p>9. タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>9. 1 評価条件 溢水源となりうる機器が存在するタービン建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋及び制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。なお、タービン建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。また、タービン建屋管理区域内に循環水系配管が設置されていることを考慮し、タービン建屋における事象進展を以下のとおり想定した。</p> <p>(1) 地震により循環水系配管の伸縮継手部及び耐震B、Cクラス機器が破損し、溢水が発生する。 (2) 耐震B、Cクラス機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水系配管の伸縮継手部からの溢水は循環水ポンプ停止まで継続する。 (3) 地震に伴い、津波が来襲することを考慮する。</p>	<p>(3) 遮蔽に必要な水位の確保について 表8-6より、使用済燃料ビッドの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p> <p>9. タービン建屋からの溢水影響評価</p> <div data-bbox="1294 598 1848 758" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】 タービン建屋からの溢水評価については、循環水管の伸縮継手破損部からの津波流入を考慮していることから、以下の破線囲部分は基準津波確定後の評価結果を反映する。</p> </div> <p>9. 1 評価条件 溢水源となりうる機器が存在するタービン建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。 なお、タービン建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。また、タービン建屋内に循環水管が設置されていることを考慮し、タービン建屋における事象進展は以下のとおり想定した。</p> <p>(1) 地震により循環水管の伸縮継手部及び耐震Cクラス機器が破損し、溢水が発生する。 (2) 耐震Cクラス機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水管の伸縮継手部からの溢水は循環水ポンプ停止まで継続する。 (3) 地震に伴い、津波が来襲することを考慮する。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 ・タービン建屋における溢水評価方針は大阪と同様であり、大阪が記載している溢水量算出等の詳細については、補足説明資料35に記載している。</p> <p>設計方針の相違 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。</p> <p>設計方針の相違 泊のタービン建屋内にある機器・配管はすべてCクラス機器である。</p>
内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット															
4,200	150	102,112															
①地震発生事象確認	10分																
②地震発生による異常の認知時間	10分																
③循環水ポンプ停止	6分																
合計	26分																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>表5.1.1-3 循環水管の伸縮継手部の溢水量</p> <table border="1" data-bbox="114 204 680 284"> <tr> <td></td> <td>溢水量(m³)</td> </tr> <tr> <td>地震による破損</td> <td>約 44,300×2ユニット=約 88,600</td> </tr> </table> <p>2次系機器の保有水量を算出した主な機器は以下のとおり。 容器：復水器、主油タンク、低圧給水加熱器、高圧給水加熱器 脱気器タンク、タービン建屋周辺タンク等 配管：給水管、復水管、海水管、飲料水配管、消火水配管等</p> <p>表5.1.1-4 2次系機器の保有水量</p> <table border="1" data-bbox="114 560 680 683"> <tr> <th colspan="2">保有水量</th> <th rowspan="2">保有水量合計(m³)※3</th> </tr> <tr> <th>配管(m³)※1</th> <th>容器(m³)※2</th> </tr> <tr> <td>約 3,260</td> <td>約 8,380</td> <td>約 11,700m³</td> </tr> </table> <p>※1 配管：約1,630m³×2ユニット=3,260m³ ※2 容器：タービン建屋内機器+タービン建屋周辺タンク =タービン建屋内機器（約2,940m³×2ユニット） +タービン建屋周辺タンク（約2,500m³） =約5,880m³+約2,500m³≈約8,380m³ ※3 保有水量合計：3,260m³+8,380m³<11,700m³</p> <p>次に循環水ポンプ停止から津波襲来前までの溢水量を考慮する。潮位平均満潮位及び潮位のばらつきを考慮した水位（E.L.+0.49m）とタービン建屋内の溢水水位（E.L.+8.4m）を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p> <p>さらに津波襲来時の溢水量を考慮する。</p> <p>津波襲来時の取水側水位（E.L.+6.9m：「津波に対する施設評価」による）及び放水ピット水位（E.L.+8.3m：「津波に対する施設評価」による）とタービン建屋内の溢水水位（E.L.+8.4m）を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p> <p>なお、敷地高さはE.L.+9.7mであり、津波襲来による敷地への流入はない。</p>		溢水量(m ³)	地震による破損	約 44,300×2ユニット=約 88,600	保有水量		保有水量合計(m ³)※3	配管(m ³)※1	容器(m ³)※2	約 3,260	約 8,380	約 11,700m ³	<p>9.2 評価に用いる各項目の算出</p> <p>9.2.1 タービン建屋における溢水源 配管計装線図（P&ID）を用いて、タービン建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>9.2.2 タービン建屋における溢水量 以下のとおり、管理区域エリア、非管理区域エリア各々について地震に起因する機器の破損に伴う溢水量を算出した。算出結果を添付資料17に示す。</p> <p>(1) 管理区域エリア 管理区域エリアにおいて、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、6,843m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。 b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. 給水系の溢水量算出は、①配管破断⇒②原子炉水位低(L2)⇒③主蒸気 隔離弁「閉」⇒④復水器ホットウェル水位低下⇒⑤低圧復水ポンプトリップ⇒⑥高圧復水ポンプトリップ⇒⑦原子炉給水ポンプトリップとし、③から⑦までの漏えい量は復水器ホットウェル水位の変化量（NWL～LLWL）とした。また、①から③までの漏えい時間は60秒と想定した。</p> <p>d. ヒータードレン系については地震スクラム⇒主蒸気隔離弁「閉」⇒タービントリップ⇒ドレン発生停止とした。</p> <p>e. 循環水系については、今回追加設置するインターロックによる自動隔離を考慮し、復水器入口の伸縮継手部の全周破損に伴う漏えい開始20秒後に復水器室にて漏えいを検知し、循環水ポンプトリップ⇒漏えい検知の30秒後に循環水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。</p>	<p>9.2 評価に用いる各項目の算出</p> <p>9.2.1 タービン建屋における溢水源 系統図及び機器配置図を用いて、タービン建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>9.2.2 タービン建屋における溢水量 以下のとおり、タービン建屋における地震に起因する機器の破損に伴う溢水量を算出した。算出結果を添付資料16に示す。</p> <p>地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、 m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。 b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. 循環水管については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮し、循環水ポンプ出口の伸縮継手部の全周破損に伴う漏えい開始から26分後に循環水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。</p> <p>設計方針の相違 泊のタービン建屋内の耐震Cクラス機器のうち、隔離による漏えい停止に期待している系統は循環水系のみであることから、女川の給水系及びヒータードレン系に対応する系統はない。</p> <p>設計方針の相違 ・女川は循環水系からの溢水に対して、インターロックによる自動隔離を考慮して溢水量を算出している。 ・一方泊では、運転員による手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定している。（大阪と同様、大阪との比較結果は補足説明資料35にて説明する）</p>
	溢水量(m ³)														
地震による破損	約 44,300×2ユニット=約 88,600														
保有水量		保有水量合計(m ³)※3													
配管(m ³)※1	容器(m ³)※2														
約 3,260	約 8,380	約 11,700m ³													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.1.2 タービン建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>5.1.2.1 タービン建屋の想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>想定破損は単一機器の破損を想定するが、地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p> <p>5.1.3 タービン建屋の放水による溢水影響評価</p> <p>5.1.3.1 タービン建屋の放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p>	<p>なお、津波による影響に関しては、津波来襲前に復水器水室出入口弁を全閉することにより、津波がタービン建屋内に浸入しないため、影響はない。</p> <p>(2) 非管理区域エリア</p> <p>非管理区域エリアにおいて、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、824m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. タービン補機冷却海水系については、今回追加設置するインターロックによる自動隔離を考慮し、配管破損に伴う漏えい開始30秒後にタービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室にて漏えいを検知し、タービン補機冷却海水ポンプトリップ⇒漏えい検知の30秒後にタービン補機冷却海水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。なお、津波による影響に関しては、津波来襲前にタービン補機冷却海水ポンプ吐出弁を全閉することにより、津波がタービン建屋内に浸入しないため、影響はない。</p>	<p>d. 循環水ポンプ停止後のタービン建屋内の溢水水位が外洋水位より高いことから、循環水ポンプ停止から津波襲来前までの外部からの海水流入はない。</p> <p>e. 津波来襲時の取水ピット及び放水ピットの水位とタービン建屋内の溢水水位を比較し、ピット水位が高い場合は水位差により伸縮継手破損部からの津波の流入を考慮する。溢水量は、取水ピット及び放水ピット各々の水位波形から、ピット水位がタービン建屋内の溢水水位よりも高い状態のときの流入量を時刻歴で積算し、両ピットからの溢水量を合算する。</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は保守的に溢水量を算出するため、サイフォン効果による伸縮継手破損部からの海水流入を考慮している。（大阪と同様）</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は循環水管伸縮継手破損部からの津波の流入を考慮している。</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>5.1.4 タービン建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>5.1.4.1 タービン建屋の地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水を保有するためのタービン建屋の空間容積は、E.L.+9.7m（タービン建屋からの流出高さ）以下のタービン建屋体積から、欠損部体積を差し引き算出する。具体的には、タービン建屋体積は、柱スパン寸法から算出し、欠損部体積は、建屋構造物の体積、機器及び配管とし、複雑な形状のものは、保守的に最大寸法から体積を算出した。</p> <p>欠損部体積を算出した主な設備は以下のとおり。</p> <p>建屋構造物：柱基礎、壁、復水器基礎、タービン架台脚部、循環水管基礎等</p> <p>機器：ポンプ、タンク、盤等</p> <p>配管：循環水管、復水管等</p> <p>表5.1.1.4-1 タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ユニット</th> <th>地下体積(m³)</th> <th>欠損部体積(m³)</th> <th>空間容積(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>約109,200</td> <td>約43,000</td> <td>約66,200</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>約76,800</td> <td>約25,500</td> <td>約51,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計約117,500m³</p> <p>2次系機器の破損による溢水量と循環水管の伸縮継手部からの溢水量を加算した場合においても、タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積より小さいことから、タービン建屋内に貯水可能であり、建屋外へ流出することがないことを確認した。</p> <p>100,300m³ < 117,500m³ (溢水量) (タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積)</p> <p>(添付資料5.1) タービン建屋からの溢水影響評価</p>	ユニット	地下体積(m³)	欠損部体積(m³)	空間容積(m³)	3号炉	約109,200	約43,000	約66,200	4号炉	約76,800	約25,500	約51,300	<p>9.2.3 タービン建屋における溢水経路</p> <p>タービン建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、床ハッチ、開口部等を経由し、最終的には最地下階に貯留される。タービン建屋における溢水経路図を添付資料30に示す。</p> <p>9.3 評価結果</p> <p>9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>(1) 管理区域エリア</p> <p>管理区域エリアにおける没水水位は、最地下階（復水器室、共通エリア）で2.2mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋付属棟及び制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、タービン建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、タービン建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-1に管理区域エリアにおける評価結果を示す。</p> <p>表-9-1 管理区域エリアにおける評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区画</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>基準床レベル</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復水器室 共通エリア</td> <td>O.P. +0.8m</td> <td>6,003^{※1}</td> <td>2,761.9</td> <td>2.2^{※2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 復水器廻りの棚込部の容積、840m³を考慮した値 ※2 床面のコンクリート増し打ち分の最大値、55mmを考慮した値</p>	区画		溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)	名称	基準床レベル	①	②	①/②	復水器室 共通エリア	O.P. +0.8m	6,003 ^{※1}	2,761.9	2.2 ^{※2}	<p>9.2.3 タービン建屋における溢水経路</p> <p>タービン建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、グレーチングが設置された開口部等を経由し、最終的には最地下階に貯留される。タービン建屋における溢水経路を添付資料26に示す。</p> <p>9.2.4 タービン建屋の空間容積</p> <p>溢水を保有するためのタービン建屋の空間容積は、T.P.10.3m（タービン建屋からの流出高さ）以下のタービン建屋体積から、欠損部体積を差し引き算出した。その結果、タービン建屋の空間容積は61,500m³となった。</p> <p>9.3 評価結果</p> <p>9.3.1 タービン建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>タービン建屋における溢水量の合計は、[] m³となり、タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積より小さいことから、タービン建屋内に貯水可能である。また、原子炉建屋との境界（貫通部等）に対しては溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、タービン建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-1にタービン建屋における評価結果を示す。</p> <p>表9-1 タービン建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>溢水量 (m³)</th> <th>空間容積 (m³)</th> <th>判定</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>①<②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[]</td> <td>61,500</td> <td>[]</td> </tr> </tbody> </table>	溢水量 (m³)	空間容積 (m³)	判定	①	②	①<②	[]	61,500	[]	<p>相違理由</p> <p>記載方針の相違</p> <p>タービン建屋の床面はグレーチング構造となっている箇所が多数あり、溢水はグレーチング開口を経由し最地下階に滞留するため、当該記載をしている。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊はタービン建屋内で発生する溢水量とタービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積とを比較することで評価を行っていることから、空間容積の算出方法について記載している。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は空間容積の算出に係る具体的な説明は補足説明資料35に記載している。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>女川はタービン建屋の没水水位を算出しているのに対し、泊はタービン建屋内で発生する溢水量とタービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積とを比較することで評価を行っている。(大阪と同様)</p>
ユニット	地下体積(m³)	欠損部体積(m³)	空間容積(m³)																																				
3号炉	約109,200	約43,000	約66,200																																				
4号炉	約76,800	約25,500	約51,300																																				
区画		溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)																																			
名称	基準床レベル	①	②	①/②																																			
復水器室 共通エリア	O.P. +0.8m	6,003 ^{※1}	2,761.9	2.2 ^{※2}																																			
溢水量 (m³)	空間容積 (m³)	判定																																					
①	②	①<②																																					
[]	61,500	[]																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
	<p>(2) 非管理区域エリア</p> <p>非管理区域エリアにおける没水水位は、最地下階（タービン補機冷却水系熱交換器室・ポンプ室）で2.1mとなり、溢水経路上にある、制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、非管理区域エリアにおける没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、非管理区域からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-2に非管理区域エリアにおける評価結果を示す。</p> <p>表9-2 非管理区域エリアにおける評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="719 528 1218 639"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画 名称</th> <th rowspan="2">基準レベル</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室</td> <td>0.P. -0.2m</td> <td>824</td> <td>410.9</td> <td>2.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>(1) タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <p>タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備について表9-3に整理する。</p> <p>表9-3 タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="703 963 1243 1291"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>T/B 連絡通路扉(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路扉(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">制御建屋</td> <td>1F</td> <td>T/B 連絡通路扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>T/B 連絡通路扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>T/B 連絡通路扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">タービン建屋</td> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>T/B B1F エリア</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>T/B B2F エリア</td> <td>止水壁</td> <td>既設(改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 循環水系における対策内容</p> <p>循環水系における対策内容を図9-1 に示す。なお、今回追加するインターロックは、誤動作を防止するために、地震スクラム信号と復水器室漏えい検知信号のand 条件を設定することから、本インターロック動作時には、既にスクラムしており、安</p>	区画 名称	基準レベル	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)	①	②	①/②	タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室	0.P. -0.2m	824	410.9	2.1	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	1F	T/B 連絡通路扉(東側)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路扉(西側)	水密扉	新設	1	制御建屋	1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1	B1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1	B2F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1	タービン建屋	1F	大物搬入用	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1	B1F	T/B B1F エリア	堰	新設	1	B2F	T/B B2F エリア	止水壁	既設(改造)	1	<p>9.3.2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>(1) タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <p>タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備について表9-2に整理する。</p> <p>表9-2 タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1285 963 1854 1019"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>T.P. 2.3m</td> <td>ドレンライン逆止弁</td> <td>逆止弁</td> <td>新設</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>記載方針の相違</p> <p>泊では、循環水管からの溢水に対しては、運転員による手動操作により漏えい停止を実施することから、女川のような循環水系における対策内容の記載はしていない。（大阪と同様）</p>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	T.P. 2.3m	ドレンライン逆止弁	逆止弁	新設	4	<p>記載方針の相違</p> <p>泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊では、循環水管からの溢水に対しては、運転員による手動操作により漏えい停止を実施することから、女川のような循環水系における対策内容の記載はしていない。（大阪と同様）</p>
区画 名称	基準レベル			溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)																																																																														
		①	②	①/②																																																																																
タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室	0.P. -0.2m	824	410.9	2.1																																																																																
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																															
原子炉建屋	1F	T/B 連絡通路扉(東側)	水密扉	新設	1																																																																															
		T/B 連絡通路扉(西側)	水密扉	新設	1																																																																															
制御建屋	1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1																																																																															
	B1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1																																																																															
	B2F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1																																																																															
タービン建屋	1F	大物搬入用	堰	新設	1																																																																															
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																															
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																															
	B1F	T/B B1F エリア	堰	新設	1																																																																															
	B2F	T/B B2F エリア	止水壁	既設(改造)	1																																																																															
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																															
原子炉建屋	T.P. 2.3m	ドレンライン逆止弁	逆止弁	新設	4																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>全解析への影響はないが、仮に誤動作した場合を想定し、以下のとおり検討を行った。</p> <p>本インターロックが誤動作した場合には、復水器の真空度が低下して、タービントリップのインターロックが作動し、一時的にタービンバイパス弁は作動するものの短時間で閉止する。この状況は「負荷の喪失（発電機負荷遮断、タービンバイパス弁不作動）」の解析結果に包絡する（原子炉圧力の上昇が緩慢であることから厳しい結果にはならない）ことから、安全解析への影響はない。</p>  <p>図9-1 循環水系における対策内容</p>		
<p>3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p> <p>3.1 評価目的</p> <p>廃棄物処理建屋内には防護対象設備はないが、想定破損による溢水、放水による溢水及び地震起因による溢水が隣接する原子炉周辺建屋へ影響しないことを確認する。</p> <p>3.2 廃棄物処理建屋の溢水源</p> <p>系統図を用いて廃棄物処理建屋内に存在する溢水源となる機器及び配管を抽出した。</p> <p>3.3 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>3.3.1 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>廃棄物処理建屋にある高エネルギー配管及び低エネルギー配管の想定破損による溢水を考慮した。</p> <p>配管破損形状は、高エネルギー配管については完全全周破断とし、低エネルギー配管については貫通クラックとして、</p>	<p>10 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））及び制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行う。</p> <p>なお、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行う。</p>	<p>10 電気建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する電気建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋及び原子炉補助建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、電気建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>女川と泊で対象となる建屋は異なるが、どちらも防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に対する評価であることから比較対象とした。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>1 系統における単一の破損を想定した。</p> <p>また、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定し溢水流量を算出するとともに、事象を検知し漏えい停止までの漏えい量を考慮して溢水量を算出した結果、消火水系の溢水量が最大であることから、貫通クラックが発生した場合について、溢水影響を評価したが、地震による没水影響評価では溢水量をE.L.+26.0mで117.7m³、E.L.+17.5mで164.3m³として評価を実施するため、想定破損による没水影響評価は、地震による没水影響評価に包絡されることを確認した。</p> <p>系統ごとの溢水量を表3.3.1-1に記載する。</p> <p>表 3.3.1-1 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="212 582 593 877"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消火水系</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>47.3</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理系</td> <td>43.7</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>47.6</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>1次系温水、飲料水系</td> <td>32.2</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>51.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>3.4 廃棄物処理建屋の放水による溢水影響評価</p> <p>3.4.1 廃棄物処理建屋の放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>消火栓からの溢水量を下記のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・260/min×3.0時間=46.8m³ <p>また、スプリンクラーからの放水による溢水量を以下のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・720^g/min×30min=21,600=21.6m³ <p>※ 今回、原則として火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いる。ただし、詳細評価を実施する場合には、現場での消火設備の設置状況に応じた評価を行う。</p> <p>放水による没水影響を評価したが、地震による没水影響評価では溢水量をE.L.+26.0mで117.7m³、E.L.+17.5mで164.3m³として評価を実施するため、放水による没水影響評価は、地震による没水影響評価で包絡されることを確認した。</p>	系統	溢水量 (m ³)	消火水系	97.5	化学体積制御系	47.3	廃棄物処理系	43.7	1次系補給水系	47.6	1次系洗浄水系	31.3	1次系温水、飲料水系	32.2	補助蒸気系	51.5	<p>(2) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水源</p> <p>配管計装線図（P&ID）を用いて、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>(3) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水量</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。算出結果を添付資料17に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は3,557m³となった。</p> <p>(a) 手動隔離は期待しない。</p> <p>(b) 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>(4) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、床ハッチ、開口部等を経由し、最終的には最地下階である地下3階及び地下中3階に貯留される。原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路図を添付資料31に示す。</p> <p>(5) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響評価結果</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における没水水位は、地下3階エリアでは3.7m（満水）、地下中3階エリアでは1.6mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））及び制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水による影響がないことを確認した。</p>	<p>(2) 電気建屋における溢水源</p> <p>系統図及び機器配置図を用いて、電気建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>(3) 電気建屋における溢水量</p> <p>電気建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。算出結果を添付資料16に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は500m³となった。</p> <p>(a) 隔離操作により漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて漏水量を設定する。</p> <p>(b) 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>(4) 電気建屋における溢水経路</p> <p>電気建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、開口部等を経由し、最終的には最地下階であるT.P.2.3mに貯留される。電気建屋における溢水経路図を添付資料27に示す。</p> <p>(5) 電気建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>電気建屋における没水水位は、最地下階であるT.P.2.3mでは7.7m（満水）、T.P.7.1mでは0.01mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋及び原子炉補助建屋との境界（貫通部等）に対しては、電気建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、電気建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p>	<p>相違理由</p> <p>記載方針の相違 評価結果の相違 設計方針の相違</p> <p>泊は地震起因の溢水評価にて運転員の隔離操作による漏えい停止を考慮した評価としている。（補足説明資料14「地震時溢水評価の隔離時間の妥当性について」で説明）</p> <p>記載方針の相違 ・泊の電気建屋には床ハッチは設置されていないことから記載していない。</p> <p>記載方針の相違 評価結果の相違</p>
系統	溢水量 (m ³)																		
消火水系	97.5																		
化学体積制御系	47.3																		
廃棄物処理系	43.7																		
1次系補給水系	47.6																		
1次系洗浄水系	31.3																		
1次系温水、飲料水系	32.2																		
補助蒸気系	51.5																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>3.5 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>3.5.1 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水ガイドにしたがい、流体を内包する機器（配管及び容器）を溢水源の対象とした。</p> <p>廃棄物処理建屋E.L. +26.0m、E.L. +17.5m、E.L. +10.0m、E.L. +4.9mの各フロアにおいて、地震時の溢水量低減対策を考慮し、機器（配管及び容器）からの漏えい量を溢水量として算出した。（表3.5.1-1）溢水は、上層階から機器ハッチや階段を経由し、廃棄物処理建屋のE.L. +4.9m及び防護対象設備が設置されていない制御建屋のE.L. +7.0mに滞留する。</p> <p>機器（配管及び容器）から漏えいした溢水量がすべて流出したと仮定し、廃棄物処理建屋の各フロアの機器ハッチ及び階段堰から下層階へ流出することなく各フロアに滞留すると想定した場合の溢水水位を算出した結果、防護対象設備を設置している原子炉周辺建屋に溢水が伝播しないことを確認した。（表3.5.1-2）</p> <p>表 3.5.1-1 廃棄物処理建屋の地震による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="206 858 568 1013"> <thead> <tr> <th>E.L. + (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.0</td> <td>117.7</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>164.3</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>1,841.0</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>1,875.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3.5.1-2 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="147 1050 647 1278"> <thead> <tr> <th>E.L. + (m)</th> <th>フロア滞留面積 (m²)</th> <th>溢水量 (m³) / 水位 (m)</th> <th>貯水可能量* (m³) / 堰高さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.0</td> <td>1,115.4</td> <td>117.7 / 0.106</td> <td>278.8 / 0.25</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>930.5</td> <td>164.3 / 0.177</td> <td>279.1 / 0.30</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>-</td> <td>1,841.0 / -</td> <td>当該フロアに水密扉が設置されているので原子炉周辺建屋に伝播しない。</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>-</td> <td>1,875.3 / -</td> <td>伝播経路なし。</td> </tr> </tbody> </table> <p>* E.L. +26.0m、E.L. +17.5mまでの貯水可能量は、原子炉周辺建屋との通路部に設置した堰高さにより算出</p> <p>3.6 廃棄物処理建屋の溢水影響評価のまとめ</p> <p>想定破損、地震及び放水による溢水量をフロアごとに評価し、廃棄物処理建屋から原子炉周辺建屋への溢水の流出がないことを確認した。</p>	E.L. + (m)	溢水量 (m ³)	26.0	117.7	17.5	164.3	10.0	1,841.0	4.9	1,875.3	E.L. + (m)	フロア滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	貯水可能量* (m ³) / 堰高さ (m)	26.0	1,115.4	117.7 / 0.106	278.8 / 0.25	17.5	930.5	164.3 / 0.177	279.1 / 0.30	10.0	-	1,841.0 / -	当該フロアに水密扉が設置されているので原子炉周辺建屋に伝播しない。	4.9	-	1,875.3 / -	伝播経路なし。	<p>表10-1に原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における評価結果を示す。</p> <p>表10-1 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="703 347 1245 443"> <thead> <tr> <th colspan="2">区画</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>基準床レベル</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下3階エリア</td> <td>0.P. -8.1m</td> <td>2,701</td> <td>730</td> <td>3.7(満水)</td> </tr> <tr> <td>地下中3階エリア</td> <td>0.P. -3.3m</td> <td>856</td> <td>556</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表10-2に整理する。</p> <p>表10-2 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="719 730 1234 976"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））</td> <td rowspan="2">B3F</td> <td>2T-1 トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RF 制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1F</td> <td>1F 共通エリア</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア（大物搬入用）</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH 熱交換器・ポンプ室</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路扉（東側）</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区画		溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)	名称	基準床レベル	①	②	①/②	地下3階エリア	0.P. -8.1m	2,701	730	3.7(満水)	地下中3階エリア	0.P. -3.3m	856	556	1.6	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））	B3F	2T-1 トレンチ	水密扉	新設	1	RF 制御室扉	水密扉	新設	1	1F	1F 共通エリア	水密扉	新設	1	1F 共通エリア（大物搬入用）	水密扉	新設	1	HWH 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路扉（東側）	水密扉	新設	1	<p>表 10-1 に電気建屋における評価結果を示す。</p> <p>表10-1 電気建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="1339 320 1809 443"> <thead> <tr> <th>フロア</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>溢水水位 (m)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>①</td> <td>②</td> <td>①/②</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T.P. 2.3m</td> <td>500</td> <td>64</td> <td>7.7 (満水)</td> </tr> <tr> <td>T.P. 7.1m</td> <td>4</td> <td>685</td> <td>0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 電気建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>電気建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表10-2に整理する。</p> <p>表10-2 電気建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1288 730 1854 842"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>T.P. 2.3m</td> <td>水密扉 No.02（A-C階段室⇔電気建屋）</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>T.P. 4.05m</td> <td>水密扉 No.03（原子炉補給冷却ポンプエリア⇔電気建屋）</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	フロア	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	溢水水位 (m)		①	②	①/②	T.P. 2.3m	500	64	7.7 (満水)	T.P. 7.1m	4	685	0.01	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P. 2.3m	水密扉 No.02（A-C階段室⇔電気建屋）	水密扉	新設	1	原子炉建屋	T.P. 4.05m	水密扉 No.03（原子炉補給冷却ポンプエリア⇔電気建屋）	水密扉	新設	1	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
E.L. + (m)	溢水量 (m ³)																																																																																																																							
26.0	117.7																																																																																																																							
17.5	164.3																																																																																																																							
10.0	1,841.0																																																																																																																							
4.9	1,875.3																																																																																																																							
E.L. + (m)	フロア滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	貯水可能量* (m ³) / 堰高さ (m)																																																																																																																					
26.0	1,115.4	117.7 / 0.106	278.8 / 0.25																																																																																																																					
17.5	930.5	164.3 / 0.177	279.1 / 0.30																																																																																																																					
10.0	-	1,841.0 / -	当該フロアに水密扉が設置されているので原子炉周辺建屋に伝播しない。																																																																																																																					
4.9	-	1,875.3 / -	伝播経路なし。																																																																																																																					
区画		溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)																																																																																																																				
名称	基準床レベル	①	②	①/②																																																																																																																				
地下3階エリア	0.P. -8.1m	2,701	730	3.7(満水)																																																																																																																				
地下中3階エリア	0.P. -3.3m	856	556	1.6																																																																																																																				
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																																																																			
原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））	B3F	2T-1 トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																			
		RF 制御室扉	水密扉	新設	1																																																																																																																			
	1F	1F 共通エリア	水密扉	新設	1																																																																																																																			
		1F 共通エリア（大物搬入用）	水密扉	新設	1																																																																																																																			
		HWH 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1																																																																																																																			
		T/B 連絡通路扉（東側）	水密扉	新設	1																																																																																																																			
フロア	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	溢水水位 (m)																																																																																																																					
	①	②	①/②																																																																																																																					
T.P. 2.3m	500	64	7.7 (満水)																																																																																																																					
T.P. 7.1m	4	685	0.01																																																																																																																					
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																																																																			
原子炉補助建屋	T.P. 2.3m	水密扉 No.02（A-C階段室⇔電気建屋）	水密扉	新設	1																																																																																																																			
原子炉建屋	T.P. 4.05m	水密扉 No.03（原子炉補給冷却ポンプエリア⇔電気建屋）	水密扉	新設	1																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>また、中央制御室には運転員が常駐しており中央制御室からの運転操作が可能であり、現場確認が必要な設備へのアクセス通路にあつては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>(添付資料3) 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p>	<p>11 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する補助ボイラー建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、補助ボイラー建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p> <p>(2) 補助ボイラー建屋における溢水源</p> <p>配管計装線図 (P&ID) を用いて、補助ボイラー建屋に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>(3) 補助ボイラー建屋における溢水量</p> <p>補助ボイラー建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。溢水量算出結果を添付資料17に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は、319m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p>	<p>11 出入管理建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する出入管理建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉補助建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、出入管理建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p> <p>(2) 出入管理建屋における溢水源</p> <p>系統図及び機器配置図を用いて、出入管理建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>(3) 出入管理建屋における溢水量</p> <p>出入管理建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。溢水量算出結果を添付資料16に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は690m³となった。</p> <p>a. 隔離操作により漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて漏水量を設定する。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>女川と泊で対象となる建屋は異なるが、どちらも防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に対する評価であることから比較対象とした。</p> <p>記載方針の相違 評価結果の相違 設計方針の相違</p> <p>泊は運転員の隔離操作による漏えい停止を考慮した評価としている。(補足説明資料14「地震時溢水評価の隔離時間の妥当性について」で説明)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<p>(4) 補助ボイラー建屋における溢水経路 補助ボイラー建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段を経由し、最終的には最地下階である地下1階及び地上1階に貯留される。補助ボイラー建屋における溢水経路図を添付資料32に示す。</p> <p>(5) 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価結果 補助ボイラー建屋における没水水位は、地上1階エリアで0.3mとなり、溢水経路上にある、制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、補助ボイラー建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、補助ボイラー建屋からの溢水による影響がないことを確認した。 表11-1に補助ボイラー建屋における評価結果を示す。</p> <p>表11-1 補助ボイラー建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="703 735 1234 802"> <thead> <tr> <th colspan="2">区画</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>基準床レベル</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地上1階エリア</td> <td>0.P. +15.0m</td> <td>57^{※1}</td> <td>237</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 地震に起因する機器の破損に伴う溢水量319m³から地下1階の貯留量262m³を除いた値</p> <p>(6) 補助ボイラー建屋からの溢水影響を防止する対策内容 補助ボイラー建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表11-2に整理する。</p> <p>表11-2 補助ボイラー建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="703 1142 1234 1209"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御建屋</td> <td>1F</td> <td>補助ボイラー建屋連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区画		溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)	名称	基準床レベル	①	②	①/②	地上1階エリア	0.P. +15.0m	57 ^{※1}	237	0.3	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	制御建屋	1F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1	<p>(4) 出入管理建屋における溢水経路 出入管理建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室を経由し、最終的には最地下階であるT.P.6.3mに貯留される。出入管理建屋における溢水経路図を添付資料28に示す。</p> <p>(5) 出入管理建屋からの溢水影響評価結果 出入管理建屋における没水水位は、T.P.6.3mで2.9m（満水）、T.P.10.3mで0.4mとなり、溢水経路上にある、原子炉補助建屋との境界（貫通部等）に対しては、出入管理建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、出入管理建屋からの溢水による影響がないことを確認した。 表11-1に出入管理建屋における評価結果を示す。</p> <p>表11-1 出入管理建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="1323 735 1816 874"> <thead> <tr> <th>フロア</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>溢水水位 (m)</th> </tr> <tr> <td></td> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T.P.6.3m</td> <td>690</td> <td>128</td> <td>2.9（満水）</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>319</td> <td>863</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 出入管理建屋からの溢水影響を防止する対策内容 出入管理建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表11-2に整理する。</p> <p>表11-2 出入管理建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1290 1129 1854 1257"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉補助建屋</td> <td>T.P.6.3m</td> <td>水密扉No.73（原子炉補助建屋⇔出入管理建屋）</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>水密扉No.78（原子炉補助建屋⇔出入管理建屋）</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	フロア	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	溢水水位 (m)		①	②	①/②	T.P.6.3m	690	128	2.9（満水）	T.P.10.3m	319	863	0.4	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P.6.3m	水密扉No.73（原子炉補助建屋⇔出入管理建屋）	水密扉	新設	1	T.P.10.3m	水密扉No.78（原子炉補助建屋⇔出入管理建屋）	水密扉	新設	1	<p>記載方針の相違 評価結果の相違</p>
区画		溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)																																																											
名称	基準床レベル	①	②	①/②																																																											
地上1階エリア	0.P. +15.0m	57 ^{※1}	237	0.3																																																											
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																										
制御建屋	1F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1																																																										
フロア	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	溢水水位 (m)																																																												
	①	②	①/②																																																												
T.P.6.3m	690	128	2.9（満水）																																																												
T.P.10.3m	319	863	0.4																																																												
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																										
原子炉補助建屋	T.P.6.3m	水密扉No.73（原子炉補助建屋⇔出入管理建屋）	水密扉	新設	1																																																										
	T.P.10.3m	水密扉No.78（原子炉補助建屋⇔出入管理建屋）	水密扉	新設	1																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>12 1号炉制御建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する1号炉制御建屋において溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している2号炉制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>(2) 評価の前提条件</p> <p>a. 1号炉制御建屋における溢水量の評価、溢水経路の評価は実施せず、地下階はすべて水没することを想定した。</p> <p>b. 地上部（グラウンドレベルより上）の各階における溢水量については、4mの水没を想定した。</p> <p>(3) 1号炉制御建屋からの溢水影響評価</p> <p>2号炉制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、1号炉制御建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、1号炉制御建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表12-1 に想定した各階における没水水位を示す。</p> <p>表12-1 1号炉制御建屋における没水水位の想定</p> <table border="1" data-bbox="790 922 1180 1086"> <thead> <tr> <th>階層</th> <th>設置床レベル (m)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3階</td> <td>0.P. +23.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>0.P. +19.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>0.P. +15.0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地下1階</td> <td>0.P. +10.5</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>地下2階</td> <td>0.P. +5.0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>地下3階</td> <td>0.P. +1.5</td> <td>17.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 1号炉制御建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>1号炉制御建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表12-2に整理する。</p> <p>表12-2 1号炉制御建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="741 1353 1245 1485"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2号炉制御建屋</td> <td>3F</td> <td>1号MCR境界</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	階層	設置床レベル (m)	没水水位 (m)	3階	0.P. +23.5	4	2階	0.P. +19.5	4	1階	0.P. +15.0	4	地下1階	0.P. +10.5	8.5	地下2階	0.P. +5.0	14	地下3階	0.P. +1.5	17.5	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	2号炉制御建屋	3F	1号MCR境界	水密扉	新設	1	2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1	1F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	2	B2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1		<p>記載方針の相違</p> <p>泊には該当する建屋がない。</p>
階層	設置床レベル (m)	没水水位 (m)																																																	
3階	0.P. +23.5	4																																																	
2階	0.P. +19.5	4																																																	
1階	0.P. +15.0	4																																																	
地下1階	0.P. +10.5	8.5																																																	
地下2階	0.P. +5.0	14																																																	
地下3階	0.P. +1.5	17.5																																																	
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																														
2号炉制御建屋	3F	1号MCR境界	水密扉	新設	1																																														
	2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1																																														
	1F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	2																																														
	B2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.2 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>屋外タンク自体は防護対象設備ではないが、地震に起因する破損によって溢水源となりうる屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に流入しないことを確認する。</p> <p>なお、想定破損による溢水、放水による溢水については、地震起因による溢水に包絡される。</p> <p>5.2.1 溢水源の抽出</p> <p>発電所敷地内の溢水源となりうるすべての屋外タンクを、図5.2.1-1に示す。このうち、溢水影響のある溢水源について抽出する。地震起因による溢水源としたタンクの抽出フローを図5.2.1-2に示す。</p> <div data-bbox="114 687 667 1201" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p>図5.2.1-1 溢水源となりうる屋外タンク</p> <div data-bbox="114 1225 678 1257" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p>13 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>屋外タンク（屋外にあり溢水源となりうる設備を含む）自体は防護対象ではないが、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋（廃棄物処理エリア（管理区域）を除く）、制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンク(CST)エリア及び軽油タンク(LOT)エリアに及ぼす影響を確認する。</p> <p>(2) 屋外タンクの抽出</p> <p>女川原子力発電所にある溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置を図13-1に、タンク容量を表13-1に示す。</p> <p>なお、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるタンク（軽油タンク及び復水貯蔵タンク）は抽出対象から除外する。</p> <div data-bbox="741 695 1245 1082" style="text-align: center;"> </div> <p>図13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置図</p>	<p>12 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>屋外タンク（屋外にあり溢水源となりうる設備を含む）自体は防護対象ではないが、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に及ぼす影響を確認する。</p> <p>(2) 屋外タンクの抽出</p> <p>泊発電所にある溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置を図12-1に、タンク容量を表12-1に示す。</p> <div data-bbox="1290 762 1854 1082" style="text-align: center;"> </div> <p>図12-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置図</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 泊では、A、B-2次系純水タンク、A、B-ろ過水タンク及び3A、3B-ろ過水タンクの本体は耐震性が確保されているが、接続配管は耐震性が確保されていないことから、完全全周破断を想定しタンク保有水量の全量を溢水量として考慮している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉					相違理由
表5.2.2-1 溢水の影響のあるタンク（区分D、区分E）							表13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの容量（1/2）							表12-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの容量					
No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	No.	タンク名称	基数	容量 (m ³)	評価に用いる容量 (m ³)		
2	1次系純水タンク	2号炉	1基	424	E	424	1	No.1 純水タンク	1	0.F. +15.1	1,000	1,000	1	A-2次系純水タンク	1	1,600	1,600		
7	主復水タンク	2号炉	1基	1,150	E	1,150	2	No.2 純水タンク	1	0.F. +15.4	2,000	2,000	2	B-2次系純水タンク	1	1,600	1,600		
12	ヒドラジン原液タンク	2号炉	1基	12	E	12	3	1,2号ろ過水タンク	1	0.F. +15.1	2,000	2,000	3	3A-ろ過水タンク	1	1,600	1,600		
23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	100	D/E	100	4	再生純水タンク	1	0.F. +15.1	1,000	0 ※1	4	3B-ろ過水タンク	1	1,600	1,600		
24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	30	D/E	30	5	No.1 サプレッション プール水貯蔵タンク	1	0.F. +15.3	2,000	0 ※1	5	A-ろ過水タンク	1	1,600	1,600		
27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	138.2	D/E	276.4	6	No.2 サプレッション プール水貯蔵タンク	1	0.F. +15.3	1,000	0 ※1	6	B-ろ過水タンク	1	1,600	1,600		
28	構内排水設備	3号炉 4号炉	1基	48	E	48	7	3号純水タンク	1	0.F. +15.1	1,000	1,000	7	1号及び2号炉 補助ボイラー燃料タンク	1	600	450※		
29	構内排水B 次亜塩素酸 ソーダ貯槽(予備)	3号炉 4号炉	1基	36	E	36	8	3号ろ過水タンク	1	0.F. +15.1	2,000	2,000	8	3号炉 補助ボイラー燃料タンク	1	735	410※		
30	構内排水B 塩酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	9,10	原水タンク	2	0.F. +70.04	4,000	8,000	9	1号炉 タービン油計量タンク	1	70	70		
31	構内排水B 苛性ソーダ 貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	11-1	1号復水浄化系復水脱 塩装置硫酸貯槽	1	0.F. +16.1	5.4	5.4	10	3号炉 タービン油計量タンク	1	110	0※		
32	純水装置硫酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	8.9	E	8.9	11-2	1号復水浄化系復水脱 塩装置苛性ソーダ貯槽	1	0.F. +16.2	20	20	合計			10,530			
33	純水装置苛性ソーダ貯 槽	3号炉 4号炉	1基	41	E	41	12	1号差圧調整槽	1	0.F. +15.0	2.2	2.2	※評価に用いる容量は、発電所の所則類に反映し、運用容量を超過しないように管理する。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）						
39	タービン建屋海水電解 装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	3.5	D/E	3.5	13-1	2号復水浄化系復水脱 塩装置苛性ソーダ貯槽	1	0.F. +16.0	32	0 ※1							
40	1、2アニオン排水タン ク	1号炉 2号炉	1基	121	E	121	13-2	2号復水浄化系復水脱 塩装置硫酸貯槽	1	0.F. +16.6	7.5	0 ※1							
41	1、2カチオン排水タン ク	1号炉 2号炉	2基	105	E	210	13-3	2号硫酸計量槽	1	0.F. +15.8	0.3	0 ※1							
溢水量合計						約 2,480	14	2号バック入り差圧調 整装置	1	0.F. +15.4	1	1							
【区分の考え方】																			
(1) 溢水影響がないもの																			
①地震による溢水源としないタンク(区分A)																			
・基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保するもの又は耐震対策工事により、耐震性を確保するもの。																			
②地震により破損するが、評価対象外とするタンク(区分B)																			
・漏えいの際に気化又は固化する物質を内包しているタンク																			
・地形等を踏まえ防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播しないタンク																			
③空運用を行うタンク（区分C）																			
・プラントの運用にて空としているタンク																			
・溢水影響を防止するために、空運用を行うタンク																			
(2) 溢水影響を評価するもの																			
④4号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク(区分D)																			
⑤3号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク(区分E)																			
⑥タービン建屋に溢水が伝播するタンク（区分D及び区分E）																			

【大阪】
 記載方針の相違
 女川審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
<p>・防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水は、タービン建屋に流入する。タービン建屋に流入するタンクは、④⑤項の区分D及び区分Eである。</p> <p>図 5.2.1-2 屋外タンクの抽出フロー</p> <p>5.2.2 溢水影響評価</p> <p>溢水の影響のあるタンクとして抽出した区分D、区分Eのタンクから地震起因により発生した溢水は、屋外トレンチを経由してタービン建屋に流入するもの又は直接タービン建屋に流入するものである。そのタンクの容量を表5.2.2-1に示す。</p> <p>なお、区分Dのタンクはすべて3号側へ伝播することから、区分Eにも分類される。よって、区分Eの合計がタービン建屋に伝播する溢水量(2,480m³)である。</p> <p>タービン建屋に伝播する溢水は、「5.1タービン建屋</p>	<p>表13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク容量(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>基数</th> <th>設置高さ(m)</th> <th>容量(m³)</th> <th>評価に用いる容量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>22-1</td><td>No.1 高架水槽</td><td>1</td><td>O.P. +34.7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>22-2</td><td>No.2 高架水槽</td><td>1</td><td>O.P. +34.7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>23-1</td><td>上水高架水槽</td><td>1</td><td>-</td><td>9.2</td><td>9.2</td></tr> <tr><td>23-2</td><td>雑用水高架水槽</td><td>1</td><td>-</td><td>13.7</td><td>13.7</td></tr> <tr><td>24-1</td><td>高架水槽(飲料用)</td><td>1</td><td>O.P. +34.8</td><td>1.2</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>24-2</td><td>高架水槽(雑用)</td><td>1</td><td>O.P. +34.8</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>24-3</td><td>水蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.01</td><td>1.01</td></tr> <tr><td>24-4</td><td>水蓄熱槽(PAI-3)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-5</td><td>水蓄熱槽(PAI-4)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-6</td><td>高架水槽(飲料水)</td><td>1</td><td>O.P. +36.55</td><td>1.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>24-7</td><td>高架水槽(雑用水)</td><td>1</td><td>O.P. +36.55</td><td>2.2</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>24-8</td><td>水蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-9</td><td>水蓄熱槽(PAI-2)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-10</td><td>水蓄熱槽(PAI-3)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>25</td><td>主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽</td><td>2</td><td>O.P. +15.613</td><td>3.4</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>26</td><td>水蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +14.95</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>27</td><td>受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +15.3</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>28-1</td><td>上水受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>37</td><td>37</td></tr> <tr><td>28-2</td><td>雑用水受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>55</td><td>55</td></tr> <tr><td>28-3</td><td>受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>0.5</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>29</td><td>燃料小出槽</td><td>1</td><td>O.P. +58.592</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>30</td><td>給水タンク</td><td>1</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>31</td><td>配水池</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>300</td><td>300</td></tr> <tr><td>32-1</td><td>ろ過タンク(浄水)</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>32-2</td><td>ろ過タンク(浄水)</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>33</td><td>消火水タンク</td><td>1</td><td>O.P. +14.8</td><td>230</td><td>230</td></tr> <tr><td colspan="4">合計容量(m³)</td><td>17,540</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価に用いる容量は、発電所の所定値に反映し、運用容量を超過しないように管理する。なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p> <p>(3) 評価の前提条件</p> <p>a. 敷地内に広がった溢水は雨水排水路からの流出や地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>b. タンクから漏えいした溢水は敷地全体に均一に広がるものとする。</p>	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	22-1	No.1 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8	22-2	No.2 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8	23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2	23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7	24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P. +34.8	1.2	1.2	24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P. +34.8	2.0	2.0	24-3	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.01	1.01	24-4	水蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-5	水蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-6	高架水槽(飲料水)	1	O.P. +36.55	1.5	1.5	24-7	高架水槽(雑用水)	1	O.P. +36.55	2.2	2.2	24-8	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-9	水蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-10	水蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P. +15.613	3.4	6.8	26	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +14.95	1.49	1.49	27	受水槽	1	O.P. +15.3	6	6	28-1	上水受水槽	1	O.P. +62.9	37	37	28-2	雑用水受水槽	1	O.P. +62.9	55	55	28-3	受水槽	1	O.P. +62.9	0.5	0.5	29	燃料小出槽	1	O.P. +58.592	0.95	0.95	30	給水タンク	1	-	2	2	31	配水池	1	O.P. +69.7	300	300	32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	6	6	32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	4	4	33	消火水タンク	1	O.P. +14.8	230	230	合計容量(m ³)				17,540		<p>(3) 評価の前提条件</p> <p>a. 敷地内に広がった溢水は雨水排水路からの流出や地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>b. タンクから漏えいした溢水は敷地全体に均一に広がるものとする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)																																																																																																																																																																						
22-1	No.1 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8																																																																																																																																																																						
22-2	No.2 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8																																																																																																																																																																						
23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2																																																																																																																																																																						
23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7																																																																																																																																																																						
24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P. +34.8	1.2	1.2																																																																																																																																																																						
24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P. +34.8	2.0	2.0																																																																																																																																																																						
24-3	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.01	1.01																																																																																																																																																																						
24-4	水蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																						
24-5	水蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																						
24-6	高架水槽(飲料水)	1	O.P. +36.55	1.5	1.5																																																																																																																																																																						
24-7	高架水槽(雑用水)	1	O.P. +36.55	2.2	2.2																																																																																																																																																																						
24-8	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																						
24-9	水蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																						
24-10	水蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																						
25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P. +15.613	3.4	6.8																																																																																																																																																																						
26	水蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +14.95	1.49	1.49																																																																																																																																																																						
27	受水槽	1	O.P. +15.3	6	6																																																																																																																																																																						
28-1	上水受水槽	1	O.P. +62.9	37	37																																																																																																																																																																						
28-2	雑用水受水槽	1	O.P. +62.9	55	55																																																																																																																																																																						
28-3	受水槽	1	O.P. +62.9	0.5	0.5																																																																																																																																																																						
29	燃料小出槽	1	O.P. +58.592	0.95	0.95																																																																																																																																																																						
30	給水タンク	1	-	2	2																																																																																																																																																																						
31	配水池	1	O.P. +69.7	300	300																																																																																																																																																																						
32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	6	6																																																																																																																																																																						
32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	4	4																																																																																																																																																																						
33	消火水タンク	1	O.P. +14.8	230	230																																																																																																																																																																						
合計容量(m ³)				17,540																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

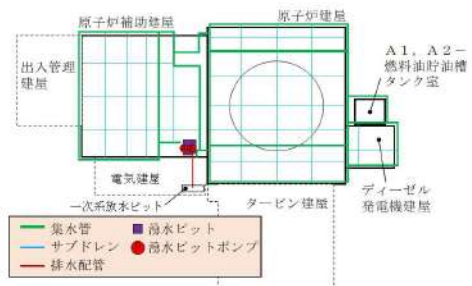
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
<p>からの溢水影響評価」において評価を実施している。</p> <p>さらに、タービン建屋に流入しない想定とした評価の場合、3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水を評価する。</p> <p>敷地は、中央道路から海へ向かって勾配があり排水される設計であるが、保守的に一時的に滞留するものとする。3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水量は、区分Eより溢水量合計2,480m³であり表5.2.2-2に示すとおり、溢水水位はE.L.+10.5mとなるが、防護対象設備が設置されている建屋は、E.L.+11.4mまでの流入防止対策(水密扉の設置)を実施しており、溢水は流入しない。</p> <p>表 5.2.2-2 3号原子炉周辺建屋周りの溢水影響評価</p> <table border="1" data-bbox="152 635 651 730"> <thead> <tr> <th>3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積</th> <th>溢水量合計</th> <th>溢水水位</th> <th>防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,300m²</td> <td>2,480m³</td> <td>E.L.+10.5m[※]</td> <td>E.L.+11.4m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水水位 E.L.+10.5m=E.L.+9.7m+約0.8m(=2,480m³/3,300m²)</p> <p>5.2.3 鯨谷タンクエリアについて</p> <p>原子炉施設西方の鯨谷タンクエリア（約E.L.+80.0m）に設置されているタンク群については、各タンクの水位を下げた運用する。その諸元を表1に示す。</p> <p>また地震時については、淡水タンク下部及び飲料水タンク下部に接続されている配管すべてが地震により破損すると仮定し、評価した。</p> <p>淡水タンクから生じた溢水は、鯨谷タンクエリア内に設置する立坑及び排水トンネルを通じて構外へ排水することから原子炉施設側へ伝播しないことを確認した。</p> <p>表 5.2.3-1 鯨谷タンクエリアに設置されている屋外タンク</p> <table border="1" data-bbox="152 1193 651 1385"> <thead> <tr> <th>タンク名称</th> <th>No.1淡水タンク</th> <th>No.2,3淡水タンク</th> <th>2次系純水タンク</th> <th>C-2次系純水タンク</th> <th>飲料水タンク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユニット</td> <td>1、2号炉</td> <td>1、2号炉</td> <td>1、2号炉</td> <td>3、4号炉</td> <td>1、2号炉</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>1基</td> <td>2基</td> <td>2基</td> <td>1基</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>設置高さ(m)</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+72.5</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+72.5</td> </tr> <tr> <td>容量(m³)</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>3,000</td> <td>7,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>内径(mm)</td> <td>34,870</td> <td>34,870</td> <td>19,380</td> <td>29,050</td> <td>9,670</td> </tr> <tr> <td>高さ(mm)</td> <td>12,180</td> <td>12,180</td> <td>10,660</td> <td>12,180</td> <td>7,620</td> </tr> <tr> <td>高さ(mm)</td> <td>(鋼板高さ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運用水位[※]</td> <td>0</td> <td>8,380</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>(mm)</td> <td>[0m³]</td> <td>[8,000m³]</td> <td>[0m³]</td> <td>[0m³]</td> <td>[50m³]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※運用水位については、発電所の所則類に反映し、運用水位を超過しないように管理する。</p>	3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積	溢水量合計	溢水水位	防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ	評価	3,300m ²	2,480m ³	E.L.+10.5m [※]	E.L.+11.4m	○	タンク名称	No.1淡水タンク	No.2,3淡水タンク	2次系純水タンク	C-2次系純水タンク	飲料水タンク	ユニット	1、2号炉	1、2号炉	1、2号炉	3、4号炉	1、2号炉	基数	1基	2基	2基	1基	1基	設置高さ(m)	E.L.+81.0	E.L.+81.0	E.L.+72.5	E.L.+81.0	E.L.+72.5	容量(m ³)	10,000	10,000	3,000	7,500	500	内径(mm)	34,870	34,870	19,380	29,050	9,670	高さ(mm)	12,180	12,180	10,660	12,180	7,620	高さ(mm)	(鋼板高さ)					運用水位 [※]	0	8,380	0	0	680	(mm)	[0m ³]	[8,000m ³]	[0m ³]	[0m ³]	[50m ³]	<p>(4) 屋外タンクによる溢水影響評価</p> <p>屋外の溢水影響評価に影響を及ぼす大型の水源（1000m³以上の大型タンク）については、最高使用圧力が静水頭であり、想定破損による評価が除外できる。このため、屋外タンクによる溢水影響評価においては、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて、複数同時破損を想定した溢水影響評価を実施した。</p> <p>その結果、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、制御建屋、海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリアに影響を及ぼさないことを確認した。</p> <p>なお、軽油タンクエリアについては、軽油タンクの地下化工事に伴い、水密構造とすることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表13-2に屋外タンクによる溢水影響評価結果を示す。</p> <p>表13-2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="698 938 1270 1082"> <thead> <tr> <th></th> <th>カーブ高さ(m)</th> <th>溢水量(m³)</th> <th>敷地面積(m²)</th> <th>敷地浸水深^{※1}(m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>0.33^{※1}</td> <td rowspan="4">17,540</td> <td rowspan="4">115,000</td> <td rowspan="4">0.16</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>制御建屋</td> <td>0.33^{※1}</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>0.20^{※2}(0.60^{※3})</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク</td> <td>0.20^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋外壁扉の下端レベルから敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※2 海水ポンプ室ピット上端から敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※3 海水ポンプ室浸水防止壁上端から敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※4 敷地レベル0.P.+14.8mからの浸水深</p>		カーブ高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋	0.33 ^{※1}	17,540	115,000	0.16	○	制御建屋	0.33 ^{※1}	海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})	復水貯蔵タンク	0.20 ^{※1}	<p>(4) 屋外タンクによる溢水影響評価</p> <p>屋外の溢水影響評価に影響を及ぼす大型の水源（1000m³以上の大型タンク）については、最高使用圧力が静水頭であり、想定破損による評価が除外できる。このため、屋外タンクによる溢水影響評価においては、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて、複数同時破損を想定した溢水影響評価を実施した。</p> <p>その結果、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に影響を及ぼさないことを確認した。なお、原子炉建屋及び原子炉補助建屋には、屋外に接する開口は無いことから、それぞれ隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口高さが最大浸水深を上回ることを確認した。</p> <p>A1、A2-燃料油貯槽タンク室及びB1、B2-燃料油貯槽タンク室については、タンク室内に設置されている非常用ディーゼル発電機燃料油貯槽及び燃料油配管は静的機器であることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表12-2に屋外タンクによる溢水影響評価結果を示す。</p> <p>表12-2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1288 927 1859 1145"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>建屋開口高さ(m)</th> <th>溢水量(m³)</th> <th>敷地面積(m²)</th> <th>敷地浸水深^{※1}(m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋 (タービン建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> <td rowspan="2">10,530</td> <td rowspan="2">116,800</td> <td rowspan="2">0.10</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋入口高さから敷地レベルT.P.10.0mを引いた値 ※2 敷地レベルT.P.10.0mからの浸水深</p>	建屋	建屋開口高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋 (タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	116,800	0.10	○	ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}	原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}					循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}					<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊の原子炉建屋、原子炉補助建屋及びディーゼル発電機建屋には、屋外から直接出入するための出入口は無いため、隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口を水位測定箇所として評価を実施している。 泊の燃料油貯槽タンク室は、女川の軽油タンクエリアのような水密構造ではないが、仮に室内に溢水が流出した場合でも溢水影響は無いことを確認している。
3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積	溢水量合計	溢水水位	防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ	評価																																																																																																																	
3,300m ²	2,480m ³	E.L.+10.5m [※]	E.L.+11.4m	○																																																																																																																	
タンク名称	No.1淡水タンク	No.2,3淡水タンク	2次系純水タンク	C-2次系純水タンク	飲料水タンク																																																																																																																
ユニット	1、2号炉	1、2号炉	1、2号炉	3、4号炉	1、2号炉																																																																																																																
基数	1基	2基	2基	1基	1基																																																																																																																
設置高さ(m)	E.L.+81.0	E.L.+81.0	E.L.+72.5	E.L.+81.0	E.L.+72.5																																																																																																																
容量(m ³)	10,000	10,000	3,000	7,500	500																																																																																																																
内径(mm)	34,870	34,870	19,380	29,050	9,670																																																																																																																
高さ(mm)	12,180	12,180	10,660	12,180	7,620																																																																																																																
高さ(mm)	(鋼板高さ)																																																																																																																				
運用水位 [※]	0	8,380	0	0	680																																																																																																																
(mm)	[0m ³]	[8,000m ³]	[0m ³]	[0m ³]	[50m ³]																																																																																																																
	カーブ高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価																																																																																																																
原子炉建屋	0.33 ^{※1}	17,540	115,000	0.16	○																																																																																																																
制御建屋	0.33 ^{※1}																																																																																																																				
海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})																																																																																																																				
復水貯蔵タンク	0.20 ^{※1}																																																																																																																				
建屋	建屋開口高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価																																																																																																																
原子炉建屋 (タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	116,800	0.10	○																																																																																																																
ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}																																																																																																																				
原子炉補助建屋 (出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}																																																																																																																				
循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.2.4 まとめ</p> <p>屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に溢水が流入しないことを確認した。</p> <p>なお、万一これらタンクの溢水が防護対象設備が設置されている建屋に到達したとしても流入防止対策（水密性を有する貫通部のシール充てん、水密扉の設置）を実施しており、溢水は流入しない。</p> <p>（添付資料5.2）屋外タンクからの溢水影響評価</p>			<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
<p>5.3 湧水サンプからの溢水影響評価</p> <p>原子炉周辺建屋周辺の地下水は、導水管により原子炉周辺建屋内の湧水サンプに集められる。湧水サンプには、耐震性を有する2台のポンプを設置しており、海水管を経由して海へ排水することが可能である。</p> <p>なお、湧水サンプ室は非常に剛性の高い基礎盤の一部であり、基準地震動Ssに対しても湧水サンプ室を構成する壁は弾性範囲にある。</p> <p>また、安全上重要な機器が設置されている原子炉周辺建屋壁においても、グランドレベル以下についても湧水サンプと同様に弾性範囲にあることから、湧水が浸水することはない。</p> <p>（添付資料5.3）湧水サンプからの溢水影響評価</p>	<p>14 地下水による影響評価</p> <p>(1) 通常時の地下水の排水</p> <p>原子炉建屋周辺の地下水は、以下のとおり排水される。（図14-1参照）</p> <p>a. 建屋底面に接する地盤からの湧水は、基礎底面下のサブドレンにより建屋周辺の集水管に集水し、集水管の流末に設置されている揚水井戸から揚水ポンプ（揚水井戸1箇所）に揚水ポンプが2台設置されている）により縦排水管を通して屋外排水溝に排水される。</p> <p>b. 建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、集水管の流末に設置されている揚水井戸から揚水ポンプにより縦排水管を通して屋外排水溝に排水される。</p> <div data-bbox="745 981 1220 1212" data-label="Diagram"> </div> <p>図14-1 地下水位低下設備の概要</p>	<p>13 地下水による影響評価</p> <p>(1) 通常時の地下水の排水</p> <p>原子炉建屋周辺の地下水は、以下のとおり排水される（図13-1、図13-2参照）。</p> <p>a. 建屋底面に接する地盤からの湧水は、基礎底面下の集水管及びサブドレンに集水し、集水管の流末に設置されている湧水ビットから湧水ビットポンプ（湧水ビット1箇所）に湧水ビットポンプが2台設置されている）により排水配管を通して一次系放水ビットに排水される。</p> <p>b. 建屋周辺の地盤からの湧水は、基礎底面下の集水管のうち、外郭に設置された集水管に集水し、集水管の流末に設置されている湧水ビットから湧水ビットポンプにより排水管を通して一次系放水ビットに排水される。</p> <div data-bbox="1344 1013 1803 1212" data-label="Diagram"> </div> <p>図13-1 地下水排水設備の概要</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>設備名称の相違 泊の地下水排水設備と女川の地下水水位低下設備は、共に基礎底面下から集水した地下水をポンプにより排水する設計である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 揚水ポンプ停止時における地下水による影響</p> <p>以下に示す理由により、揚水ポンプ停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定した場合でも、地下水が防護対象設備を設置している区画へ流入することはない。</p> <p>a. 地下外壁にはアスファルト防水を施しており、更に防水層の上に保護板を設置し、防水層が切れないように配慮している。</p> <p>b. 安全上重要な機器が設置されている原子炉建屋、制御建屋の地下外壁については、地震時に想定される残留ひび割れの評価結果から、「原子炉施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準値【0.2mm未満】を満足することを確認している。</p> <p>なお、地下水水位低下設備については、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p>	 <p>図13-2 地下水排水設備の配置</p> <p>(2) 湧水ビッドポンプ停止時における地下水による影響</p> <p>以下に示す理由により、湧水ビッドポンプ停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定した場合でも、地下水が防護対象設備を設置している区画へ流入することはない。</p> <p>a. 地下外壁にはアスファルト防水を施しており、さらに防水層の上に保護板を設置し、防水層が切れないように配慮している。</p> <p>b. 安全上重要な機器が設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋の地下外壁については、地震時に想定される残留ひび割れの評価結果から、「原子炉施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準値【0.2mm未満】を満足することを確認する。</p> <p>なお、地下水排水設備については、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p> <p>(3) 燃料油貯油槽タンク室について</p> <p>A1, A2-燃料油貯油槽タンク室及びB1, B2-燃料油貯油槽タンク室については、タンク室内に設置されている非常用ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料油配管は静的機器であることから、地下水の流入による溢水影響がないと評価した。</p>	<p>記載表現の相違 基準地震動の確定後にひび割れ幅の評価結果も確定するため、記載を適正化している。</p> <p>設計方針の相違 泊の燃料油貯油槽タンク室は静的機器である防護対象設備のみを内包しており、仮に室内に地下水が流入した場合でも溢水影響は無いことを確認している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																					
	<p>15 放射性物質を含む液体の漏えいの防止</p> <p>管理区域内で発生した溢水は、建屋の最地下階に貯留されるため、貯留される地下階の範囲及び溢水の伝播経路となる範囲について、前章までの溢水影響評価結果を基に、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体が、管理区域外に伝播しないことを確認した。</p> <p>表15-1に放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備について整理する。また、その設置場所について添付資料33に示す。</p> <p>なお、使用済燃料プール、原子炉ウエル及びDSピットのスロッシングによる溢水を考慮しても、発生する溢水量は区画番号：R-3F-1において考慮している最大溢水量（原子炉補機冷却水系の想定破損による溢水量：265m³）以下であり、想定破損による溢水影響評価に基づき、原子炉建屋原子炉棟の溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、発生した溢水が管理区域外へ伝播しないことを確認した。</p> <p>表15-1 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="725 863 1272 1182"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>R/B 大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉棟</td> <td>R/B 大物搬入用小扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋付属棟</td> <td>1F</td> <td>H01 熱交換器・ポンプ室</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））</td> <td rowspan="3">1F</td> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア大物搬入用扉 制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>入退城エリア【管理区域ヘルメット置場】</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー建屋連絡階段</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	1F	R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1	原子炉棟	R/B 大物搬入用小扉	水密扉	新設	1	原子炉建屋付属棟	1F	H01 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1	原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））	1F	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F 共通エリア	水密扉	新設	1	1F 共通エリア大物搬入用扉 制御室扉	水密扉	新設	1	制御建屋	1F	入退城エリア【管理区域ヘルメット置場】	水密扉	新設	1	補助ボイラー建屋連絡階段	水密扉	新設	1	<p>14 放射性物質を含む液体の漏えいの防止</p> <p>管理区域内で発生した溢水は、建屋の最地下階に貯留されるため、貯留される地下階の範囲及び溢水の伝播経路となる範囲について、前章までの溢水影響評価結果を基に、溢水防護措置（止水板の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体が、管理区域外に伝播しないことを確認した。</p> <p>表14-1に放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備について整理する。また、その設置場所について添付資料29に示す。</p> <p>なお、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水も考慮し、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体の最大溢水量（地震起因による溢水量：56m³）を想定し、原子炉建屋及び原子炉補助建屋の溢水防護措置（止水板の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、発生した溢水が管理区域外へ伝播しないことを確認した。</p> <p>表14-1 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1292 863 1856 1147"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋</td> <td>3FL T.P. 33.1m</td> <td>33.1m（区画境界②）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3FL T.P. 33.1m</td> <td>33.1m（区画境界③）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3FL T.P. 33.1m</td> <td>33.1m（区画境界④）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉補助建屋</td> <td>B1FL T.P. 2.8m</td> <td>止水板 2.8-A</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1FL T.P. 10.3m</td> <td>管理区域出入り口堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3FL T.P. 33.1m</td> <td>33.5m（区画境界）堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	3FL T.P. 33.1m	33.1m（区画境界②）堰	堰	既設	1	3FL T.P. 33.1m	33.1m（区画境界③）堰	堰	既設	1	3FL T.P. 33.1m	33.1m（区画境界④）堰	堰	既設	1	原子炉補助建屋	B1FL T.P. 2.8m	止水板 2.8-A	止水板	新設	1	1FL T.P. 10.3m	管理区域出入り口堰	堰	既設	1	3FL T.P. 33.1m	33.5m（区画境界）堰	堰	既設	1	<p>相違理由</p> <p>記載方針の相違 溢水防護措置として、女川は水密扉を記載しているのに対し、泊は止水に期待している水密扉が無いことから、止水板を記載している。</p> <p>記載方針の相違 評価結果の相違により、溢水量が最大となる事象が女川は想定破損、泊は地震起因による溢水となっている。</p>
設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数																																																																																			
原子炉建屋	1F	R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																			
原子炉棟		R/B 大物搬入用小扉	水密扉	新設	1																																																																																			
原子炉建屋付属棟	1F	H01 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1																																																																																			
原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））	1F	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																			
		1F 共通エリア	水密扉	新設	1																																																																																			
		1F 共通エリア大物搬入用扉 制御室扉	水密扉	新設	1																																																																																			
制御建屋	1F	入退城エリア【管理区域ヘルメット置場】	水密扉	新設	1																																																																																			
		補助ボイラー建屋連絡階段	水密扉	新設	1																																																																																			
設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数																																																																																			
原子炉建屋	3FL T.P. 33.1m	33.1m（区画境界②）堰	堰	既設	1																																																																																			
	3FL T.P. 33.1m	33.1m（区画境界③）堰	堰	既設	1																																																																																			
	3FL T.P. 33.1m	33.1m（区画境界④）堰	堰	既設	1																																																																																			
原子炉補助建屋	B1FL T.P. 2.8m	止水板 2.8-A	止水板	新設	1																																																																																			
	1FL T.P. 10.3m	管理区域出入り口堰	堰	既設	1																																																																																			
	3FL T.P. 33.1m	33.5m（区画境界）堰	堰	既設	1																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>6 経年劣化事象の検討</p> <p>原子力発電所で使用されている設備については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保全に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>このように、経年劣化事象は適切に把握されており、評価対象箇所に経年劣化がある場合は、取替等による経年劣化事象の解消又は劣化事象に応じた評価の実施が可能である。</p> <p>（添付資料6）経年劣化事象の検討</p>		<p>15 経年劣化事象の検討</p> <p>原子力発電所で使用されている設備については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保全に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>このように、経年劣化事象は適切に把握されており、評価対象箇所に経年劣化がある場合は、取替等による経年劣化事象の解消又は劣化事象に応じた評価の実施が可能である。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊は最新PWRの審査実績の反映として、大阪と同様に経年劣化事象について記載している。</p>
<p>7 溢水影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、原子炉施設の安全機能並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能が失われないことを確認した。</p>		<p>16 溢水影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、原子炉施設の安全機能並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能が失われないことを確認した。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊は最新PWRの審査実績の反映として、大阪と同様に評価の判定について記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉	相違理由																									
	添付資料1		添付資料1																										
	表1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源		表1 発生要因及び評価項目ごとに想定する溢水源																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定破損</th> <th>消火水の放水</th> <th>地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1</td> <td>▶ 消火栓からの放水</td> <td>▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td>▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1</td> <td>▶ 消火栓からの放水</td> <td>▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td>▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統</td> </tr> </tbody> </table>	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統	/	▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統	<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定破損</th> <th>消火水の放水</th> <th>地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1</td> <td>▶ 消火栓からの放水</td> <td>▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td>▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1</td> <td>▶ 消火栓からの放水</td> <td>▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td>▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※2.3</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※2.3</td> </tr> </tbody> </table>	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※2.3	/	▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※2.3	<p>※1 油系統も考慮する。</p>	<p>※1 油系統も考慮する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊は、溢水影響評価ガイドの記載を踏まえた蒸気影響評価における高エネルギー配管の取り扱いについて、注記に記載している。</p>
想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																											
▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング																											
▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング																											
▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統	/	▶ 基準地震動 Ss に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統																											
想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																											
▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング																											
▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング																											
▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※2.3	/	▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※2.3																											
			<p>※2 呼び径25A(1B)を超える配管であって、運転温度が95℃を超えるか、又は、運転圧力が1.9MPaを超える配管 但し、蒸気の影響については配管径に関係なく評価する</p> <p>※3 蒸気評価の対象となる溢水源の考え方は没水・被水評価と同じであるが、蒸気を内包する配管として高エネルギー配管を対象とする</p>																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																						
<p style="text-align: right;">添付資料 1.1</p> <p>溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋） 原子炉周辺建屋、制御建屋における溢水源となりうる機器は以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="165 512 631 1190"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>機器名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">3号炉原子炉周辺建屋</td><td>E.L.+42.0m</td><td>3号原子炉補機冷却水サージタンク 配管</td></tr> <tr><td>E.L.+39.0m</td><td>3号樹脂タンク 配管</td></tr> <tr><td>E.L.+33.6m</td><td>3号使用済燃料ピット 配管</td></tr> <tr><td rowspan="7">E.L.+26.0m</td><td>3号冷却材復床式脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号冷却材陽イオン脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号冷却材脱塩塔入口フィルタ</td></tr> <tr><td>3号冷却材フィルタ</td></tr> <tr><td>3号封水注入フィルタ</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピット脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピットフィルタ</td></tr> <tr><td rowspan="5">E.L.+18.5m</td><td>3号ブロワーウインタク</td></tr> <tr><td>3号格納容器冷却ユニット</td></tr> <tr><td>3号復水ピット 配管</td></tr> <tr><td>3号燃料取替用水ピット 配管</td></tr> <tr><td>3号封水冷却器</td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L.+17.1m</td><td>3号体積制御タンク</td></tr> <tr><td>3号1次系薬品タンク</td></tr> <tr><td>3号ほう酸補給タンク</td></tr> <tr><td>3号非再生冷却器</td></tr> <tr><td>3号試料冷却器</td></tr> <tr><td>3号ブロワーウインタク 試料冷却器</td></tr> <tr><td>3号安全補機室冷却ユニット</td></tr> <tr><td>3号ほう酸除去薬品タンク</td></tr> <tr><td>3号pH調整剤タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料取替用水ポンプ 配管</td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L.+10.0m</td><td>3号使用済燃料ピット冷却器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸タンク</td></tr> <tr><td>3号格納容器スプレイ冷却器</td></tr> <tr><td>3号安全熱除去冷却器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸フィルタ</td></tr> <tr><td>3号シンリタ冷却水タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水冷却器</td></tr> <tr><td>3号清水加熱器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸ポンプ</td></tr> <tr><td>3号冷却材ポンプ</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピットポンプ</td></tr> <tr><td>3号電動補助給水ポンプ</td></tr> <tr><td>3号温水循環ポンプ</td></tr> <tr><td>3号燃料非冷却水ポンプ 配管</td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	機器名称	3号炉原子炉周辺建屋	E.L.+42.0m	3号原子炉補機冷却水サージタンク 配管	E.L.+39.0m	3号樹脂タンク 配管	E.L.+33.6m	3号使用済燃料ピット 配管	E.L.+26.0m	3号冷却材復床式脱塩塔	3号冷却材陽イオン脱塩塔	3号冷却材脱塩塔入口フィルタ	3号冷却材フィルタ	3号封水注入フィルタ	3号使用済燃料ピット脱塩塔	3号使用済燃料ピットフィルタ	E.L.+18.5m	3号ブロワーウインタク	3号格納容器冷却ユニット	3号復水ピット 配管	3号燃料取替用水ピット 配管	3号封水冷却器	E.L.+17.1m	3号体積制御タンク	3号1次系薬品タンク	3号ほう酸補給タンク	3号非再生冷却器	3号試料冷却器	3号ブロワーウインタク 試料冷却器	3号安全補機室冷却ユニット	3号ほう酸除去薬品タンク	3号pH調整剤タンク	3号燃料取替用水ポンプ 配管	E.L.+10.0m	3号使用済燃料ピット冷却器	3号ほう酸タンク	3号格納容器スプレイ冷却器	3号安全熱除去冷却器	3号ほう酸フィルタ	3号シンリタ冷却水タンク	3号燃料非冷却水タンク	3号燃料非冷却水冷却器	3号清水加熱器	3号ほう酸ポンプ	3号冷却材ポンプ	3号使用済燃料ピットポンプ	3号電動補助給水ポンプ	3号温水循環ポンプ	3号燃料非冷却水ポンプ 配管	<p style="text-align: right;">添付資料 2</p> <p>2. 1 溢水源となりうる機器のリスト 原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）、制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンクエリア、軽油タンクエリア、タービン建屋及び補助ボイラー建屋に設置される流体を内包する容器（タンク、熱交換器、空調ユニット等）及び配管を抽出した結果を表1~5に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋) (1/5)</p> <table border="1" data-bbox="698 518 1270 1219"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉棟</td><td rowspan="10">B2F</td><td>内</td><td>R/Cバロメトリックコンデンサ</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/C真空タンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/C潤滑油冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>復水ポンプモータ軸受冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>復水ポンプメカニカルシール冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプメカニカルシール冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプ軸受冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUWポンプ冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/A LCW サンプ冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>F/MWポンプ軸受冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td rowspan="10">B2F</td><td>内</td><td>R/A(A)室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/Cポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>F/MWポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW再生熱交換器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW非再生熱交換器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>HPCSポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>C/D サクションフィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>制御棟駆動水フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td rowspan="10">B1F</td><td>内</td><td>C/D スクラム排出容器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>DC-MCC 2A 室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUWプリコートタンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">MB1F</td><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>残留熱除去系熱交換器</td><td>S</td></tr> <tr><td rowspan="1">IF</td><td>内</td><td>CUWろ過脱塩器</td><td>B</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			原子炉棟	B2F	内	R/Cバロメトリックコンデンサ	S	内	R/C真空タンク	S	内	R/C潤滑油冷却器	S	内	復水ポンプモータ軸受冷却器	S	内	復水ポンプメカニカルシール冷却器	S	内	LPCSポンプメカニカルシール冷却器	S	内	LPCSポンプ軸受冷却器	S	内	CUWポンプ冷却器	B	内	R/A LCW サンプ冷却器	B	内	F/MWポンプ軸受冷却器	B	B2F	内	R/A(A)室空調機	S	内	R/Cポンプ室空調機	S	内	F/MWポンプ室空調機	S	内	配管	-	内	CUW再生熱交換器	B	内	CUW非再生熱交換器	B	内	LPCSポンプ室空調機	S	内	HPCSポンプ室空調機	S	内	C/D サクションフィルタ	B	内	制御棟駆動水フィルタ	B	B1F	内	C/D スクラム排出容器	B	内	DC-MCC 2A 室空調機	S	内	CUWプリコートタンク	B	内	配管	-	MB1F	内	配管	-	内	残留熱除去系熱交換器	S	IF	内	CUWろ過脱塩器	B	<p style="text-align: right;">添付資料 2</p> <p>2. 1 溢水源となりうる機器のリスト 原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、タービン建屋、出入管理建屋、電気建屋及び循環水ポンプ建屋に設置される流体を内包する容器（タンク、熱交換器、空調ユニット等）及び配管を抽出した結果を表1~4に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 溢水源となりうる機器リスト（原子炉建屋）</p> <table border="1" data-bbox="1288 518 1859 1147"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉建屋</td><td rowspan="10">T.P. 2. 3m</td><td>外</td><td>原子炉補機冷却水冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>兼液混合タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="10">T.P. 10. 3m</td><td>内</td><td>ガス圧箱装置</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃ガス除湿装置</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピット冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピットポンプ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系補給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="6">T.P. 17. 8m</td><td>外</td><td>燃料油サービスタンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>非再生冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>サンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>ブロワーウインタク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系純水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P. 24. 8m</td><td>内</td><td>格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>燃料取替用水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ブロワーウインタクサンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td rowspan="2">T.P. 33. 1m</td><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>外</td><td>飲料水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P. 43. 6m</td><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>外</td><td>原子炉補機冷却水サージタンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷水膨張タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			原子炉建屋	T.P. 2. 3m	外	原子炉補機冷却水冷却器	S	外	原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	S	外	兼液混合タンク	C	外	空調用冷凍機	C	外	空調用冷水ポンプ	C	外	配管	-	T.P. 10. 3m	内	ガス圧箱装置	B	内	廃ガス除湿装置	B	内	使用済燃料ピット冷却器	B	内	使用済燃料ピットポンプ	B	内	1次系補給水ポンプ	C	内	配管	-	T.P. 17. 8m	外	燃料油サービスタンク	S	内	非再生冷却器	B	内	サンプル冷却器	C	内	ブロワーウインタク	C	内	1次系純水タンク	C	内・外	配管	-	T.P. 24. 8m	内	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器	C	内	燃料取替用水加熱器	B	内	ブロワーウインタクサンプル冷却器	C	T.P. 33. 1m	内	配管	-	外	飲料水タンク	C	T.P. 43. 6m	外	配管	-	外	原子炉補機冷却水サージタンク	S	外	空調用冷水膨張タンク	C	外	配管	-	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 建屋の違いによる 記載表現の相違</p>
建屋	フロア	機器名称																																																																																																																																																																																																																																																							
3号炉原子炉周辺建屋	E.L.+42.0m	3号原子炉補機冷却水サージタンク 配管																																																																																																																																																																																																																																																							
	E.L.+39.0m	3号樹脂タンク 配管																																																																																																																																																																																																																																																							
	E.L.+33.6m	3号使用済燃料ピット 配管																																																																																																																																																																																																																																																							
	E.L.+26.0m	3号冷却材復床式脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																							
		3号冷却材陽イオン脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																							
		3号冷却材脱塩塔入口フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																							
		3号冷却材フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																							
		3号封水注入フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																							
		3号使用済燃料ピット脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																							
		3号使用済燃料ピットフィルタ																																																																																																																																																																																																																																																							
E.L.+18.5m	3号ブロワーウインタク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号格納容器冷却ユニット																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号復水ピット 配管																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号燃料取替用水ピット 配管																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号封水冷却器																																																																																																																																																																																																																																																								
E.L.+17.1m	3号体積制御タンク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号1次系薬品タンク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号ほう酸補給タンク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号非再生冷却器																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号試料冷却器																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号ブロワーウインタク 試料冷却器																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号安全補機室冷却ユニット																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号ほう酸除去薬品タンク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号pH調整剤タンク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号燃料取替用水ポンプ 配管																																																																																																																																																																																																																																																								
E.L.+10.0m	3号使用済燃料ピット冷却器																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号ほう酸タンク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号格納容器スプレイ冷却器																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号安全熱除去冷却器																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号ほう酸フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号シンリタ冷却水タンク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号燃料非冷却水タンク																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号燃料非冷却水冷却器																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号清水加熱器																																																																																																																																																																																																																																																								
	3号ほう酸ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																								
3号冷却材ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																									
3号使用済燃料ピットポンプ																																																																																																																																																																																																																																																									
3号電動補助給水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																									
3号温水循環ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																									
3号燃料非冷却水ポンプ 配管																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																																																																																																																																																																					
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉棟	B2F	内	R/Cバロメトリックコンデンサ	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	R/C真空タンク	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	R/C潤滑油冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	復水ポンプモータ軸受冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	復水ポンプメカニカルシール冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	LPCSポンプメカニカルシール冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	LPCSポンプ軸受冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	CUWポンプ冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	R/A LCW サンプ冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	F/MWポンプ軸受冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
	B2F	内	R/A(A)室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	R/Cポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	F/MWポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	CUW再生熱交換器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	CUW非再生熱交換器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	LPCSポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	HPCSポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	C/D サクションフィルタ	B																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	制御棟駆動水フィルタ	B																																																																																																																																																																																																																																																					
B1F	内	C/D スクラム排出容器	B																																																																																																																																																																																																																																																						
	内	DC-MCC 2A 室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																						
	内	CUWプリコートタンク	B																																																																																																																																																																																																																																																						
	内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																						
	MB1F	内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	残留熱除去系熱交換器	S																																																																																																																																																																																																																																																					
	IF	内	CUWろ過脱塩器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																																																																																																																																																																				
	建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉建屋	T.P. 2. 3m	外	原子炉補機冷却水冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																				
外			原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	S																																																																																																																																																																																																																																																					
外			兼液混合タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
外			空調用冷凍機	C																																																																																																																																																																																																																																																					
外			空調用冷水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
外			配管	-																																																																																																																																																																																																																																																					
T.P. 10. 3m			内	ガス圧箱装置	B																																																																																																																																																																																																																																																				
			内	廃ガス除湿装置	B																																																																																																																																																																																																																																																				
			内	使用済燃料ピット冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																				
			内	使用済燃料ピットポンプ	B																																																																																																																																																																																																																																																				
		内	1次系補給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																					
		T.P. 17. 8m	外	燃料油サービスタンク	S																																																																																																																																																																																																																																																				
			内	非再生冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																				
			内	サンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																				
			内	ブロワーウインタク	C																																																																																																																																																																																																																																																				
内			1次系純水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																					
内・外			配管	-																																																																																																																																																																																																																																																					
T.P. 24. 8m		内	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																					
		内	燃料取替用水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																					
	内	ブロワーウインタクサンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																						
T.P. 33. 1m	内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																						
	外	飲料水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																						
T.P. 43. 6m	外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																						
	外	原子炉補機冷却水サージタンク	S																																																																																																																																																																																																																																																						
	外	空調用冷水膨張タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																						
外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉		相違理由	
建屋	フロア	機器名称	表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(2/5)					設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス
			建屋	フロア	区分						
3号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +3.5m	3号清水冷却器	原子炉棟	1F	内	燃料プール冷却浄化系熱交換器	B				
		3号潤滑油冷却器				R/A MS トンネル室空調機		B			
		3号全熱除去ポンプ				GD 自動交換機制御室ファンコイルユニット		B			
		3号高圧注入ポンプ				ISI 及びPCV L/T室ファンコイルユニット		B			
		3号格納容器スプレイポンプ				FFC ボンパ室空調機		S			
		3号タービン動補給水ポンプ				FFC フリコートタンク		B			
		配管				内		配管	-		
		4号原子炉補機冷却水サージタンク				MEF		内	配管	-	
		配管				2F		内	ほう酸水注入系貯蔵タンク	S	
		4号樹脂タンク						内	ほう酸水注入系ゲストタンク	C	
		配管						内	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器	B	
		4号使用済燃料ピット						内	CMS サンプリングラック除湿機・冷却器	S	
		配管						内	CMS 室空調機	S	
		4号冷却材湿床式脱塩塔						内	SGTS 室空調機	S	
		4号冷却材陽イオン脱塩塔						内	FCS 室空調機	S	
4号冷却材脱塩塔入口フィルタ	内	HPCW サージタンク	S								
4号冷却材フィルタ	内	配管	-								
4号封水注入フィルタ	MEF	内	配管	-							
4号使用済燃料ピット脱塩塔	3F	内	燃料交換機制御室空調機	C							
4号使用済燃料ピットフィルタ		内	燃料交換機制御室給気加熱コイル	C							
4号ブローダウンタンク		内	炉内漏水系サージタンク	C							
4号格納容器冷却ユニット		内	RCW サージタンク	S							
4号復水ピット		内	配管	-							
配管		MEF	内	HPCW サージタンク	B						
4号燃料取替用水ピット		付属棟	RCF	外	RCW 熱交換器	S					
配管				外	RCW 防食剤添加タンク(A)	C					
4号封水冷却器				外	RCW 防食剤添加タンク(B)	C					
4号体積制御タンク				外	RCW ボンパ(A)室空調機	S					
4号1次系薬品タンク				外	RCW ボンパ(B)室空調機	S					
4号ほう酸補給タンク				外	RSW ストレーナ	S					
4号ほう酸再生冷却器				外	HPCW 防食剤添加タンク	C					
4号試料冷却器				外	HPCW 熱交換器	S					
4号ブローダウン試料冷却器				外	配管	-					
4号安全補機室冷却ユニット	RCF			外	PLR 電源装置室空調機	C					
4号よう薬除去薬品タンク	外			PLR-VVVF 冷却器	C						
4号pH調整剤タンク	外			IA・SA圧縮機室空調機	C						
4号燃料取替用水ポンプ											
配管											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉		相違理由	
建屋	フロア	機器名称	表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(3/5)					設置場所	管理区域	機器名称	耐震 クラス
			建屋	フロア	区分						
4号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +10.0m	4号使用済燃料ピット冷却器	付属棟	B2F	外	IA中間冷却器	C	IA中間冷却器	C		
		4号ほう酸タンク				IA空気圧縮機				C	
4号格納容器スプレイ冷却器		IA後部冷却器				C					
4号全熱除去冷却器		SA空気圧縮機				C					
4号ほう酸フィルタ		SA中間冷却器				C					
4号シリンドラ冷却水タンク		SA後部冷却器				C					
4号燃料弁冷却水タンク		外 配管				-					
4号燃料弁冷却水冷却器		外 DG潤滑油冷却器				S					
4号清水加熱器		外 DG潤滑油加熱器				S					
4号ほう酸ポンプ		外 DG清水冷却器				S					
4号ろてんポンプ		外 DG清水加熱器				S					
4号使用済燃料ピットポンプ		外 配管				-					
4号電動補助給水ポンプ		外 DG機関付空気冷却器(R側)				S					
4号温水循環ポンプ		外 DG機関付空気冷却器(L側)				S					
4号燃料弁冷却水ポンプ	外 HPCSDG 機関付空気冷却器	S									
E.L. +3.5m	E.L. +3.5m	4号清水冷却器	IF	外	DG清水膨張タンク	S	DG潤滑油サブタンク	S			
		4号潤滑油冷却器			DG燃料油ドレンタンク	C					
		4号全熱除去ポンプ			DG機関付動弁注油タンク	S					
		4号高圧注入ポンプ			HPCSDG 潤滑油冷却器	S					
		4号格納容器スプレイポンプ			外 HPCSDG 潤滑油加熱器	S					
		4号タービン動補助給水ポンプ			外 HPCSDG 発電機軸受潤滑油冷却器	S					
		配管			外 HPCSDG 清水冷却器	S					
		4号空調用冷水膨張タンク			外 HPCSDG 清水加熱器	S					
		配管			外 HPCSDG 清水膨張タンク	S					
		安全補機開閉器室空調ユニット			外 HPCSDG 潤滑油補給タンク	C					
		3号中央制御室空調ユニット			外 HPCSDG 燃料油ドレンタンク	C					
		4号中央制御室空調ユニット			外 所内温水系防食剤添加タンク	C					
		放射線管理室冷却ユニット			外 所内温水系温水熱交換器	C					
		出入管理室温水タンク			外 所内温水系バックアップ熱交換器	C					
出入管理室温水ポンプ	外 配管	-									
配管	外 T/B 給気冷却加熱コイル	C									
E.L. +40.5m E.L. +38.6m E.L. +26.1m E.L. +10.0m E.L. +7.0m	E.L. +40.5m E.L. +38.6m E.L. +26.1m E.L. +10.0m E.L. +7.0m	3号空調用冷凍機	2F	外	送風機室空調機	C	R/A 給気冷却加熱コイル	C			
		4号空調用冷凍機			外 RW/A 給気冷却加熱コイル	C					
		3号空調用冷水ポンプ			外 HECW 冷凍機	S					
		4号空調用冷水ポンプ			外 HECW 防食剤添加タンク	S					
		配管			外 HECW サージタンク	S					
		3号原子炉補機冷却水冷却器									
		4号原子炉補機冷却水冷却器									
		3号原子炉補機冷却水ポンプ									
		4号原子炉補機冷却水ポンプ									
		配管									

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由
表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(4/5)							
設置場所		管理区域	機器名称			耐震 クラス	
建屋	フロア	区分					
付属棟	2F	外	原子炉補機(A)室給気冷却コイル			S	
		外	原子炉補機(B)室給気冷却コイル			S	
		外	原子炉補機(A)室給気加熱コイル			C	
		外	原子炉補機(B)室給気加熱コイル			C	
		外	原子炉補機(HPCS)室給気加熱コイル			C	
		外	DG 燃料デイトンク			S	
		外	HPCS DG 燃料デイトンク			S	
		外	配管			-	
		外	配管			-	
		付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	RCF	内	HCW 収集タンク(A)		
内	HCW 収集タンク(B)					B	
内	HCW 収集タンク(C)					B	
内	濃縮廃液貯蔵タンク(A)					B	
内	濃縮廃液貯蔵タンク(B)					B	
内	濃縮廃液貯蔵タンク(C)					B	
内	CONW シール水タンク					B	
内	配管					-	
内	配管					-	
内	HCW 調整タンク					B	
内	HCW サンプルタンク(A)				B		
内	HCW サンプルタンク(B)				B		
内	SD 収集タンク(A)				C		
内	SD 収集タンク(B)				C		
内	浄化系沈降分離槽(A)				B		
内	浄化系沈降分離槽(B)				B		
内	使用済樹脂貯蔵槽(A)				B		
内	使用済樹脂貯蔵槽(B)				B		
内	復水回収装置コンデンサ				C		
内	復水回収装置フラッシュタンク				C		
内	LCW 収集槽(A)				B		
内	LCW 収集槽(B)				B		
内	LCW サンプル槽(A)				B		
内	LCW サンプル槽(B)				B		
内	配管				-		
内	配管				-		
内	HCW 蒸発濃縮装置加熱器(A)				B		
内	HCW 蒸発濃縮装置加熱器(B)				B		
内	配管				-		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋) (5/5)																																																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="698 213 770 240">設置場所</th> <th colspan="2" data-bbox="777 213 904 240">管理区域</th> <th data-bbox="911 213 1211 240">機器名称</th> <th data-bbox="1218 213 1270 240">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th data-bbox="698 245 770 264">建屋</th> <th data-bbox="777 245 848 264">フロア</th> <th data-bbox="855 245 904 264">区分</th> <th colspan="2" data-bbox="911 245 1211 264"></th> <th data-bbox="1218 245 1270 264"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="698 269 770 448" rowspan="14">付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)</td> <td data-bbox="777 269 848 288" rowspan="14">B1F</td> <td data-bbox="855 269 904 288">内</td> <td data-bbox="911 269 1211 288">HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)</td> <td data-bbox="1218 269 1270 288">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 293 904 312">内</td> <td data-bbox="911 293 1211 312">HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)</td> <td data-bbox="1218 293 1270 312">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 317 904 336">内</td> <td data-bbox="911 317 1211 336">HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)</td> <td data-bbox="1218 317 1270 336">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 341 904 360">内</td> <td data-bbox="911 341 1211 360">HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)</td> <td data-bbox="1218 341 1270 360">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 365 904 384">内</td> <td data-bbox="911 365 1211 384">HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)</td> <td data-bbox="1218 365 1270 384">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 389 904 408">内</td> <td data-bbox="911 389 1211 408">HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)</td> <td data-bbox="1218 389 1270 408">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 413 904 432">内</td> <td data-bbox="911 413 1211 432">中和苛性タンク</td> <td data-bbox="1218 413 1270 432">C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 437 904 456">内</td> <td data-bbox="911 437 1211 456">中和硫酸タンク</td> <td data-bbox="1218 437 1270 456">C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 461 904 480">内</td> <td data-bbox="911 461 1211 480">配管</td> <td data-bbox="1218 461 1270 480">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 485 904 504">内</td> <td data-bbox="911 485 1211 504">LCW ろ過器(A)</td> <td data-bbox="1218 485 1270 504">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 509 904 528">内</td> <td data-bbox="911 509 1211 528">LCW ろ過器(B)</td> <td data-bbox="1218 509 1270 528">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 533 904 552">内</td> <td data-bbox="911 533 1211 552">LCW 脱塩器(A)</td> <td data-bbox="1218 533 1270 552">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 557 904 576">内</td> <td data-bbox="911 557 1211 576">LCW 脱塩器(B)</td> <td data-bbox="1218 557 1270 576">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 580 904 600">内</td> <td data-bbox="911 580 1211 600">HCW 脱塩器</td> <td data-bbox="1218 580 1270 600">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 604 904 624">外</td> <td data-bbox="911 604 1211 624">RCW 制御室給気冷却コイル</td> <td data-bbox="1218 604 1270 624">C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 628 904 647">内</td> <td data-bbox="911 628 1211 647">混合槽室空調機</td> <td data-bbox="1218 628 1270 647">C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 652 904 671">外</td> <td data-bbox="911 652 1211 671">廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク</td> <td data-bbox="1218 652 1270 671">C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 676 904 695">外</td> <td data-bbox="911 676 1211 695">RCW 制御室給気加熱コイル</td> <td data-bbox="1218 676 1270 695">C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 700 904 719">内・外</td> <td data-bbox="911 700 1211 719">配管</td> <td data-bbox="1218 700 1270 719">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="698 724 770 743" rowspan="2">2F</td> <td data-bbox="777 724 848 743">内</td> <td data-bbox="855 724 904 743"></td> <td data-bbox="911 724 1211 743">排風機室空調機</td> <td data-bbox="1218 724 1270 743">C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 748 904 767">内</td> <td data-bbox="911 748 1211 767">配管</td> <td data-bbox="1218 748 1270 767">-</td> </tr> </tbody> </table>								設置場所		管理区域		機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	区分				付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	B1F	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)	B	内	中和苛性タンク	C	内	中和硫酸タンク	C	内	配管	-	内	LCW ろ過器(A)	B	内	LCW ろ過器(B)	B	内	LCW 脱塩器(A)	B	内	LCW 脱塩器(B)	B	内	HCW 脱塩器	B	外	RCW 制御室給気冷却コイル	C	内	混合槽室空調機	C	外	廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク	C	外	RCW 制御室給気加熱コイル	C	内・外	配管	-	2F	内		排風機室空調機	C	内	配管	-
設置場所		管理区域		機器名称	耐震 クラス																																																																																	
建屋	フロア	区分																																																																																				
付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	B1F	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)	B																																																																																		
		内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)	B																																																																																		
		内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)	B																																																																																		
		内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)	B																																																																																		
		内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)	B																																																																																		
		内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)	B																																																																																		
		内	中和苛性タンク	C																																																																																		
		内	中和硫酸タンク	C																																																																																		
		内	配管	-																																																																																		
		内	LCW ろ過器(A)	B																																																																																		
		内	LCW ろ過器(B)	B																																																																																		
		内	LCW 脱塩器(A)	B																																																																																		
		内	LCW 脱塩器(B)	B																																																																																		
		内	HCW 脱塩器	B																																																																																		
外	RCW 制御室給気冷却コイル	C																																																																																				
内	混合槽室空調機	C																																																																																				
外	廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク	C																																																																																				
外	RCW 制御室給気加熱コイル	C																																																																																				
内・外	配管	-																																																																																				
2F	内		排風機室空調機	C																																																																																		
	内	配管	-																																																																																			

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																												
	<p>表2 溢水源となりうる機器リスト（制御建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">管理区域 区分</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">制御建屋</td> <td rowspan="8">B2F</td> <td>外</td> <td>常用電気品室給気冷却加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>中央制御室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>計測制御(A)室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>計測制御(B)室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>中央制御室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>計測制御電源室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>MR2F</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1F</td> <td>外</td> <td>入退域エリア(クリーン)空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>脱衣エリアファンコイルユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>下足エリアファンコイルユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内・外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2F</td> <td>外</td> <td>女性用更衣室エリアファンコイルユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>女性用脱衣手洗いエリアファンコイルユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内・外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	制御建屋	B2F	外	常用電気品室給気冷却加熱コイル	C	外	中央制御室給気冷却コイル	S	外	計測制御(A)室給気冷却コイル	S	外	計測制御(B)室給気冷却コイル	S	外	中央制御室給気加熱コイル	C	外	計測制御電源室給気加熱コイル	C	外	配管	—	外	配管	—	MR2F	外	配管	—	B1F	外	配管	—	1F	外	入退域エリア(クリーン)空調機	C	内	脱衣エリアファンコイルユニット	C	内	下足エリアファンコイルユニット	C	内・外	配管	—	2F	外	女性用更衣室エリアファンコイルユニット	C	内	女性用脱衣手洗いエリアファンコイルユニット	C	内・外	配管	—	<p>表2 溢水源となりうる機器リスト（原子炉補助建屋）(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">管理区域 区分</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">原子炉補助建屋</td> <td rowspan="10">T.P.-1.7m</td> <td>内</td> <td>洗浄排水タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>洗浄排水ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>洗浄排水フィルタ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>補助蒸気復水モータ冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>補助蒸気ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>補助蒸気ドレンポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>冷却材貯蔵タンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>廃液蒸留水タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>廃液蒸留水ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">T.P.2.8m</td> <td>内</td> <td>洗浄排水蒸留水タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>洗浄排水蒸留水ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>酸液ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>酸液ドレンポンプ</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>ほう酸回収装置給水ポンプ</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>廃液給水ポンプ</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>酸液ドレンタンクが性ソーダ計量タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>安全補機室冷却ユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">T.P.10.3m</td> <td>内</td> <td>よう素除去薬品タンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>封水冷却器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>ほう酸回収装置</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>薬液注入装置</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>余熱除去冷却器</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>格納容器スプレイ冷却器</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>pH調整剤貯蔵タンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">T.P.17.8m</td> <td>内</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>ほう酸注入タンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>ほう酸タンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>ほう酸フィルタ</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>冷却材混床式脱塩塔</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	原子炉補助建屋	T.P.-1.7m	内	洗浄排水タンク	C	内	洗浄排水ポンプ	C	内	洗浄排水フィルタ	C	内	補助蒸気復水モータ冷却器	C	内	補助蒸気ドレンタンク	C	内	補助蒸気ドレンポンプ	C	内	配管	—	内	冷却材貯蔵タンク	B	内	廃液蒸留水タンク	C	内	廃液蒸留水ポンプ	C	T.P.2.8m	内	洗浄排水蒸留水タンク	C	内	洗浄排水蒸留水ポンプ	C	内	酸液ドレンタンク	B	内	酸液ドレンポンプ	B	内	使用済樹脂貯蔵タンク	B	内	ほう酸回収装置給水ポンプ	B	内	廃液給水ポンプ	B	内	酸液ドレンタンクが性ソーダ計量タンク	C	内	安全補機室冷却ユニット	C	内	配管	—	T.P.10.3m	内	よう素除去薬品タンク	S	内	封水冷却器	B	内	ほう酸回収装置	B	内	薬液注入装置	B	内	余熱除去冷却器	S	内	格納容器スプレイ冷却器	S	内	pH調整剤貯蔵タンク	S	T.P.17.8m	内	配管	—	内	ほう酸注入タンク	S	内	ほう酸タンク	S	内	ほう酸フィルタ	S	内	冷却材混床式脱塩塔	B	
設置場所		管理区域 区分	機器名称				耐震 クラス																																																																																																																																																																								
建屋	フロア																																																																																																																																																																														
制御建屋	B2F	外	常用電気品室給気冷却加熱コイル	C																																																																																																																																																																											
		外	中央制御室給気冷却コイル	S																																																																																																																																																																											
		外	計測制御(A)室給気冷却コイル	S																																																																																																																																																																											
		外	計測制御(B)室給気冷却コイル	S																																																																																																																																																																											
		外	中央制御室給気加熱コイル	C																																																																																																																																																																											
		外	計測制御電源室給気加熱コイル	C																																																																																																																																																																											
		外	配管	—																																																																																																																																																																											
		外	配管	—																																																																																																																																																																											
	MR2F	外	配管	—																																																																																																																																																																											
	B1F	外	配管	—																																																																																																																																																																											
1F	外	入退域エリア(クリーン)空調機	C																																																																																																																																																																												
	内	脱衣エリアファンコイルユニット	C																																																																																																																																																																												
	内	下足エリアファンコイルユニット	C																																																																																																																																																																												
	内・外	配管	—																																																																																																																																																																												
2F	外	女性用更衣室エリアファンコイルユニット	C																																																																																																																																																																												
	内	女性用脱衣手洗いエリアファンコイルユニット	C																																																																																																																																																																												
	内・外	配管	—																																																																																																																																																																												
設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス																																																																																																																																																																											
建屋	フロア																																																																																																																																																																														
原子炉補助建屋	T.P.-1.7m	内	洗浄排水タンク	C																																																																																																																																																																											
		内	洗浄排水ポンプ	C																																																																																																																																																																											
		内	洗浄排水フィルタ	C																																																																																																																																																																											
		内	補助蒸気復水モータ冷却器	C																																																																																																																																																																											
		内	補助蒸気ドレンタンク	C																																																																																																																																																																											
		内	補助蒸気ドレンポンプ	C																																																																																																																																																																											
		内	配管	—																																																																																																																																																																											
		内	冷却材貯蔵タンク	B																																																																																																																																																																											
		内	廃液蒸留水タンク	C																																																																																																																																																																											
		内	廃液蒸留水ポンプ	C																																																																																																																																																																											
	T.P.2.8m	内	洗浄排水蒸留水タンク	C																																																																																																																																																																											
		内	洗浄排水蒸留水ポンプ	C																																																																																																																																																																											
		内	酸液ドレンタンク	B																																																																																																																																																																											
		内	酸液ドレンポンプ	B																																																																																																																																																																											
		内	使用済樹脂貯蔵タンク	B																																																																																																																																																																											
		内	ほう酸回収装置給水ポンプ	B																																																																																																																																																																											
		内	廃液給水ポンプ	B																																																																																																																																																																											
		内	酸液ドレンタンクが性ソーダ計量タンク	C																																																																																																																																																																											
		内	安全補機室冷却ユニット	C																																																																																																																																																																											
		内	配管	—																																																																																																																																																																											
T.P.10.3m	内	よう素除去薬品タンク	S																																																																																																																																																																												
	内	封水冷却器	B																																																																																																																																																																												
	内	ほう酸回収装置	B																																																																																																																																																																												
	内	薬液注入装置	B																																																																																																																																																																												
	内	余熱除去冷却器	S																																																																																																																																																																												
	内	格納容器スプレイ冷却器	S																																																																																																																																																																												
	内	pH調整剤貯蔵タンク	S																																																																																																																																																																												
T.P.17.8m	内	配管	—																																																																																																																																																																												
	内	ほう酸注入タンク	S																																																																																																																																																																												
	内	ほう酸タンク	S																																																																																																																																																																												
	内	ほう酸フィルタ	S																																																																																																																																																																												
内	冷却材混床式脱塩塔	B																																																																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																										
		<p>表2 溢水源となりうる機器リスト（原子炉補助建屋）（2/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉補助建屋</td><td rowspan="15">T.P. 17.8m</td><td>内</td><td>冷却材陽イオン脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>冷却材脱塩塔入口フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>冷却材フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>体積制御タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ほう酸回収装置混床式脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系薬品タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>洗浄排水濃縮廃液タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>洗浄排水濃縮廃液ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>濃縮廃液タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>濃縮廃液ポンプ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃液フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃液蒸留水脱塩塔</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピット脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピットフィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="7">T.P. 24.8m</td><td>内</td><td>廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃液蒸発装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>洗浄排水蒸発装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>安全補機閉閉器室給気ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>中央制御室給気ユニット</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>試料採取室給気ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>出入管理室冷却ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>ほう酸補給タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">T.P. 33.1m</td><td>内</td><td>樹脂タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>外</td><td>1次系中性ソーダタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td rowspan="2">T.P. 2.8m ~ 24.8m</td><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>セメント固化装置</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分		原子炉補助建屋	T.P. 17.8m	内	冷却材陽イオン脱塩塔	B	内	冷却材脱塩塔入口フィルタ	B	内	冷却材フィルタ	B	内	体積制御タンク	B	内	ほう酸回収装置混床式脱塩塔	B	内	ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔	B	内	ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	B	内	1次系薬品タンク	B	内	洗浄排水濃縮廃液タンク	C	内	洗浄排水濃縮廃液ポンプ	C	内	濃縮廃液タンク	B	内	濃縮廃液ポンプ	B	内	廃液フィルタ	B	内	廃液蒸留水脱塩塔	C	内	使用済燃料ピット脱塩塔	B	内	使用済燃料ピットフィルタ	B	内	配管	-	T.P. 24.8m	内	廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク	C	内	廃液蒸発装置	C	内	洗浄排水蒸発装置	C	内	洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	C	外	安全補機閉閉器室給気ユニット	C	外	中央制御室給気ユニット	S	外	試料採取室給気ユニット	C	外	出入管理室冷却ユニット	C	内	ほう酸補給タンク	C	内・外	配管	-	T.P. 33.1m	内	樹脂タンク	B	外	1次系中性ソーダタンク	C	T.P. 2.8m ~ 24.8m	内・外	配管	-	内	セメント固化装置	-	
設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																										
建屋	フロア	区分																																																																																																											
原子炉補助建屋	T.P. 17.8m	内	冷却材陽イオン脱塩塔	B																																																																																																									
		内	冷却材脱塩塔入口フィルタ	B																																																																																																									
		内	冷却材フィルタ	B																																																																																																									
		内	体積制御タンク	B																																																																																																									
		内	ほう酸回収装置混床式脱塩塔	B																																																																																																									
		内	ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔	B																																																																																																									
		内	ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	B																																																																																																									
		内	1次系薬品タンク	B																																																																																																									
		内	洗浄排水濃縮廃液タンク	C																																																																																																									
		内	洗浄排水濃縮廃液ポンプ	C																																																																																																									
		内	濃縮廃液タンク	B																																																																																																									
		内	濃縮廃液ポンプ	B																																																																																																									
		内	廃液フィルタ	B																																																																																																									
		内	廃液蒸留水脱塩塔	C																																																																																																									
		内	使用済燃料ピット脱塩塔	B																																																																																																									
	内	使用済燃料ピットフィルタ	B																																																																																																										
	内	配管	-																																																																																																										
	T.P. 24.8m	内	廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク	C																																																																																																									
		内	廃液蒸発装置	C																																																																																																									
		内	洗浄排水蒸発装置	C																																																																																																									
内		洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	C																																																																																																										
外		安全補機閉閉器室給気ユニット	C																																																																																																										
外		中央制御室給気ユニット	S																																																																																																										
外		試料採取室給気ユニット	C																																																																																																										
外	出入管理室冷却ユニット	C																																																																																																											
内	ほう酸補給タンク	C																																																																																																											
内・外	配管	-																																																																																																											
T.P. 33.1m	内	樹脂タンク	B																																																																																																										
	外	1次系中性ソーダタンク	C																																																																																																										
T.P. 2.8m ~ 24.8m	内・外	配管	-																																																																																																										
	内	セメント固化装置	-																																																																																																										
	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト（海水ポンプ室、復水貯蔵タンクエリア及び軽油タンクエリア）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>海水ポンプ室</td><td>-</td><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>復水貯蔵タンクエリア</td><td>-</td><td>内</td><td>復水貯蔵タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>外</td><td>軽油タンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>外</td><td>配管</td><td>S</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分		海水ポンプ室	-	外	配管	-	復水貯蔵タンクエリア	-	内	復水貯蔵タンク	B	軽油タンクエリア	-	外	軽油タンク	S	軽油タンクエリア	-	外	配管	S																																																																																
設置場所	管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																										
建屋	フロア	区分																																																																																																											
海水ポンプ室	-	外	配管	-																																																																																																									
復水貯蔵タンクエリア	-	内	復水貯蔵タンク	B																																																																																																									
軽油タンクエリア	-	外	軽油タンク	S																																																																																																									
軽油タンクエリア	-	外	配管	S																																																																																																									

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																									
	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th></th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">タービン建屋</td><td rowspan="19">B2F</td><td>内 CF 逆洗受タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 主復水器(ホットウェル側)</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 低圧第1給水加熱器ドレン冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 高圧第1給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 起動用真空ポンプウォータージェネレータ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 起動用真空ポンプシール水冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 主復水器(本器)</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 復水回収タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 OG系排ガス排露水クーラ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 RFP-T油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 高圧油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 油清浄機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 RFP-T油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 RFP-T補助油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 高圧油圧ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 TCW防食剤添加タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 TCW熱交換器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="19">B1F</td><td>内 グランド蒸気復水器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 排ガス復水器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 排ガス予熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 高圧第2給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 湿分離ドレンタンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 復水器器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 主タービン油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 RFP-RFP油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 RFP-T油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 主油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 油補給タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 HCCW防食剤添加タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 換気空調補機常用冷却水系冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 冷凍機室空調機</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">1F</td><td>内 蒸気式空気抽出器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 RFP第3給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 RFP第4給水加熱器</td><td>B</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア		クラス	タービン建屋	B2F	内 CF 逆洗受タンク	B	内 主復水器(ホットウェル側)	B	内 低圧第1給水加熱器ドレン冷却器	B	内 高圧第1給水加熱器	B	内 起動用真空ポンプウォータージェネレータ	B	内 起動用真空ポンプシール水冷却器	B	内 主復水器(本器)	B	内 復水回収タンク	B	内 OG系排ガス排露水クーラ	B	内 活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機	C	内 RFP-T油冷却器	C	内 高圧油冷却器	C	内 油清浄機	C	内 RFP-T油タンク	C	内 RFP-T補助油タンク	C	内 高圧油圧ユニット	C	外 TCW防食剤添加タンク	C	外 TCW熱交換器	C	内・外 配管	-	B1F	内 グランド蒸気復水器	B	内 排ガス復水器	B	内 排ガス予熱器	B	内 高圧第2給水加熱器	B	内 湿分離ドレンタンク	B	内 復水器器	B	内 主タービン油冷却器	C	内 RFP-RFP油冷却器	C	内 RFP-T油冷却器	C	内 主油タンク	C	内 油補給タンク	C	外 HCCW防食剤添加タンク	C	外 換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機	C	外 換気空調補機常用冷却水系冷凍機	C	外 冷凍機室空調機	C	内・外 配管	-	1F	内 蒸気式空気抽出器	B	内 RFP第3給水加熱器	B	内 RFP第4給水加熱器	B	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th></th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="42">タービン建屋</td><td rowspan="19">B2F</td><td>外 復水回収タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 復水器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 海水ブースタポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 復水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 タービンフロウダウンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 温水排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 海水ビット排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 定常淡水ビット排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="23">B1F</td><td>外 復水ブースタポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 タービン動主給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 タービン動主給水ポンプ油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 タービン動主給水ポンプ油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 電動主給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 給水ブースタポンプ(タービン動用)</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 給水ブースタポンプ(電動用)</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 主油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 油清浄機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 油清浄機ドレンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 スチームコンバータ給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 スチームコンバータ給水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 スチームコンバータドレンクーラ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 スチームコンバータドレンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 スチームコンバータ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 所内用空気圧縮機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 所内用空気除湿装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 所内用空気冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 SGブロー復水冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 湿分離器ドレンポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 復水器真空ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 低圧給水加熱器ドレンポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 軸受冷却水冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 軸受冷却水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 アンモニア原液タンク</td><td>C</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア		クラス	タービン建屋	B2F	外 復水回収タンク	C	外 復水器	C	外 海水ブースタポンプ	C	外 復水ポンプ	C	外 タービンフロウダウンタンク	C	外 温水排水ポンプ	C	外 海水ビット排水ポンプ	C	外 定常淡水ビット排水ポンプ	C	外 配管	-	B1F	外 復水ブースタポンプ	C	外 タービン動主給水ポンプ	C	外 タービン動主給水ポンプ油タンク	C	外 タービン動主給水ポンプ油冷却器	C	外 電動主給水ポンプ	C	外 給水ブースタポンプ(タービン動用)	C	外 給水ブースタポンプ(電動用)	C	外 主油タンク	C	外 油清浄機	C	外 油清浄機ドレンタンク	C	外 油冷却器	C	外 スチームコンバータ給水ポンプ	C	外 スチームコンバータ給水タンク	C	外 スチームコンバータドレンクーラ	C	外 スチームコンバータドレンタンク	C	外 スチームコンバータ	C	外 所内用空気圧縮機	C	外 所内用空気除湿装置	C	外 所内用空気冷却器	C	外 SGブロー復水冷却器	C	外 湿分離器ドレンポンプ	C	外 復水器真空ポンプ	C	外 低圧給水加熱器ドレンポンプ	C	外 軸受冷却水冷却器	C	外 軸受冷却水ポンプ	C	外 アンモニア原液タンク	C	
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																																																																																																																									
建屋	フロア		クラス																																																																																																																																																																									
タービン建屋	B2F	内 CF 逆洗受タンク	B																																																																																																																																																																									
		内 主復水器(ホットウェル側)	B																																																																																																																																																																									
		内 低圧第1給水加熱器ドレン冷却器	B																																																																																																																																																																									
		内 高圧第1給水加熱器	B																																																																																																																																																																									
		内 起動用真空ポンプウォータージェネレータ	B																																																																																																																																																																									
		内 起動用真空ポンプシール水冷却器	B																																																																																																																																																																									
		内 主復水器(本器)	B																																																																																																																																																																									
		内 復水回収タンク	B																																																																																																																																																																									
		内 OG系排ガス排露水クーラ	B																																																																																																																																																																									
		内 活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機	C																																																																																																																																																																									
		内 RFP-T油冷却器	C																																																																																																																																																																									
		内 高圧油冷却器	C																																																																																																																																																																									
		内 油清浄機	C																																																																																																																																																																									
		内 RFP-T油タンク	C																																																																																																																																																																									
		内 RFP-T補助油タンク	C																																																																																																																																																																									
		内 高圧油圧ユニット	C																																																																																																																																																																									
		外 TCW防食剤添加タンク	C																																																																																																																																																																									
		外 TCW熱交換器	C																																																																																																																																																																									
		内・外 配管	-																																																																																																																																																																									
	B1F	内 グランド蒸気復水器	B																																																																																																																																																																									
内 排ガス復水器		B																																																																																																																																																																										
内 排ガス予熱器		B																																																																																																																																																																										
内 高圧第2給水加熱器		B																																																																																																																																																																										
内 湿分離ドレンタンク		B																																																																																																																																																																										
内 復水器器		B																																																																																																																																																																										
内 主タービン油冷却器		C																																																																																																																																																																										
内 RFP-RFP油冷却器		C																																																																																																																																																																										
内 RFP-T油冷却器		C																																																																																																																																																																										
内 主油タンク		C																																																																																																																																																																										
内 油補給タンク		C																																																																																																																																																																										
外 HCCW防食剤添加タンク		C																																																																																																																																																																										
外 換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機		C																																																																																																																																																																										
外 換気空調補機常用冷却水系冷凍機		C																																																																																																																																																																										
外 冷凍機室空調機		C																																																																																																																																																																										
内・外 配管		-																																																																																																																																																																										
1F		内 蒸気式空気抽出器	B																																																																																																																																																																									
		内 RFP第3給水加熱器	B																																																																																																																																																																									
		内 RFP第4給水加熱器	B																																																																																																																																																																									
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																																																																																																																									
建屋	フロア		クラス																																																																																																																																																																									
タービン建屋	B2F	外 復水回収タンク	C																																																																																																																																																																									
		外 復水器	C																																																																																																																																																																									
		外 海水ブースタポンプ	C																																																																																																																																																																									
		外 復水ポンプ	C																																																																																																																																																																									
		外 タービンフロウダウンタンク	C																																																																																																																																																																									
		外 温水排水ポンプ	C																																																																																																																																																																									
		外 海水ビット排水ポンプ	C																																																																																																																																																																									
		外 定常淡水ビット排水ポンプ	C																																																																																																																																																																									
		外 配管	-																																																																																																																																																																									
		B1F	外 復水ブースタポンプ	C																																																																																																																																																																								
			外 タービン動主給水ポンプ	C																																																																																																																																																																								
			外 タービン動主給水ポンプ油タンク	C																																																																																																																																																																								
			外 タービン動主給水ポンプ油冷却器	C																																																																																																																																																																								
			外 電動主給水ポンプ	C																																																																																																																																																																								
			外 給水ブースタポンプ(タービン動用)	C																																																																																																																																																																								
			外 給水ブースタポンプ(電動用)	C																																																																																																																																																																								
			外 主油タンク	C																																																																																																																																																																								
			外 油清浄機	C																																																																																																																																																																								
			外 油清浄機ドレンタンク	C																																																																																																																																																																								
	外 油冷却器		C																																																																																																																																																																									
	外 スチームコンバータ給水ポンプ		C																																																																																																																																																																									
	外 スチームコンバータ給水タンク		C																																																																																																																																																																									
	外 スチームコンバータドレンクーラ		C																																																																																																																																																																									
	外 スチームコンバータドレンタンク		C																																																																																																																																																																									
	外 スチームコンバータ		C																																																																																																																																																																									
	外 所内用空気圧縮機		C																																																																																																																																																																									
	外 所内用空気除湿装置		C																																																																																																																																																																									
	外 所内用空気冷却器		C																																																																																																																																																																									
	外 SGブロー復水冷却器		C																																																																																																																																																																									
	外 湿分離器ドレンポンプ		C																																																																																																																																																																									
	外 復水器真空ポンプ		C																																																																																																																																																																									
	外 低圧給水加熱器ドレンポンプ		C																																																																																																																																																																									
	外 軸受冷却水冷却器	C																																																																																																																																																																										
	外 軸受冷却水ポンプ	C																																																																																																																																																																										
	外 アンモニア原液タンク	C																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																							
	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>前項クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">タービン建屋</td> <td rowspan="18">1F</td> <td>内 低圧第1給水加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内 凝分分離加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内 復水脱塩塔</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内 樹脂ストレーナ</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内 固定子巻線冷却水装置貯水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 固定子巻線冷却水装置冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 復水器室空調機(B)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 空気抽出器室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 SCR 室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 相分離母線冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 発電機水素ガス冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 低圧第1給水加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内 低圧第2給水加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内 復水器室空調機(A)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>内 グランド蒸気発生器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内 TCW サージタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内 配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	前項クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	1F	内 低圧第1給水加熱器ドレンタンク	B	内 凝分分離加熱器	B	内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク	B	内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク	B	内 復水脱塩塔	B	内 樹脂ストレーナ	B	内 固定子巻線冷却水装置貯水槽	C	内 固定子巻線冷却水装置冷却器	C	内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔	C	内 復水器室空調機(B)	C	内 空気抽出器室空調機	C	内 SCR 室空調機	C	内 相分離母線冷却器	C	内 発電機水素ガス冷却器	C	内 低圧第1給水加熱器	B	内 低圧第2給水加熱器	B	内 復水器室空調機(A)	C	内 配管	-	2F	内 グランド蒸気発生器	B		内 TCW サージタンク	C		内 配管	-	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>前項クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="42">タービン建屋</td> <td rowspan="18">B1F</td> <td>外 ヒドラジン原液タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 ヒドラジタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 アンモニアタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 2次系補給水ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 カチオン再生塔</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 混合樹脂受入槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 樹脂補給ホッパ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 アニオン再生塔</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 スクラバ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外 第6高圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 高圧油供給装置</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 脱気器再循環ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 低圧給水加熱器ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 SGブロー熱回収フラッシュタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 凝分分離器ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="18">1F</td> <td>外 復水器水室空気抜きポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 復水脱塩塔</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 復水器過器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 レジンキャッチャ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 レジントラップ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 樹脂混合用空気貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 制御用空気貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 塩酸貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 塩酸計量槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 塩酸スクラバ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 苛性ソーダ計量槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 苛性ソーダ貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 ジャッキングオイルポンプユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2F</td> <td>外 第3低圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外 第4低圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	前項クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	B1F	外 ヒドラジン原液タンク	C	外 ヒドラジタンク	C	外 アンモニアタンク	C	外 2次系補給水ポンプ	C	外 カチオン再生塔	C	外 混合樹脂受入槽	C	外 樹脂補給ホッパ	C	外 アニオン再生塔	C	外 スクラバ	C	外 配管	-	外 第6高圧給水加熱器	C	外 高圧油供給装置	C	外 脱気器再循環ポンプ	C	外 低圧給水加熱器ドレンタンク	C	外 SGブロー熱回収フラッシュタンク	C	外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1	C	外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2	C	外 凝分分離器ドレンタンク	C	1F	外 復水器水室空気抜きポンプ	C	外 復水脱塩塔	C	外 復水器過器	C	外 レジンキャッチャ	C	外 レジントラップ	C	外 樹脂混合用空気貯槽	C	外 制御用空気貯槽	C	外 塩酸貯槽	C	外 塩酸計量槽	C	外 塩酸スクラバ	C	外 苛性ソーダ計量槽	C	外 苛性ソーダ貯槽	C	外 ジャッキングオイルポンプユニット	C	外 配管	-	2F	外 第3低圧給水加熱器	C	外 第4低圧給水加熱器	C	
設置場所	管理区域	機器名称	前項クラス																																																																																																																																							
建屋	フロア	区分																																																																																																																																								
タービン建屋	1F	内 低圧第1給水加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																							
		内 凝分分離加熱器	B																																																																																																																																							
		内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																							
		内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																							
		内 復水脱塩塔	B																																																																																																																																							
		内 樹脂ストレーナ	B																																																																																																																																							
		内 固定子巻線冷却水装置貯水槽	C																																																																																																																																							
		内 固定子巻線冷却水装置冷却器	C																																																																																																																																							
		内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔	C																																																																																																																																							
		内 復水器室空調機(B)	C																																																																																																																																							
		内 空気抽出器室空調機	C																																																																																																																																							
		内 SCR 室空調機	C																																																																																																																																							
		内 相分離母線冷却器	C																																																																																																																																							
		内 発電機水素ガス冷却器	C																																																																																																																																							
		内 低圧第1給水加熱器	B																																																																																																																																							
		内 低圧第2給水加熱器	B																																																																																																																																							
		内 復水器室空調機(A)	C																																																																																																																																							
		内 配管	-																																																																																																																																							
	2F	内 グランド蒸気発生器	B																																																																																																																																							
		内 TCW サージタンク	C																																																																																																																																							
	内 配管	-																																																																																																																																								
設置場所	管理区域	機器名称	前項クラス																																																																																																																																							
建屋	フロア	区分																																																																																																																																								
タービン建屋	B1F	外 ヒドラジン原液タンク	C																																																																																																																																							
		外 ヒドラジタンク	C																																																																																																																																							
		外 アンモニアタンク	C																																																																																																																																							
		外 2次系補給水ポンプ	C																																																																																																																																							
		外 カチオン再生塔	C																																																																																																																																							
		外 混合樹脂受入槽	C																																																																																																																																							
		外 樹脂補給ホッパ	C																																																																																																																																							
		外 アニオン再生塔	C																																																																																																																																							
		外 スクラバ	C																																																																																																																																							
		外 配管	-																																																																																																																																							
		外 第6高圧給水加熱器	C																																																																																																																																							
		外 高圧油供給装置	C																																																																																																																																							
		外 脱気器再循環ポンプ	C																																																																																																																																							
		外 低圧給水加熱器ドレンタンク	C																																																																																																																																							
		外 SGブロー熱回収フラッシュタンク	C																																																																																																																																							
		外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1	C																																																																																																																																							
		外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2	C																																																																																																																																							
		外 凝分分離器ドレンタンク	C																																																																																																																																							
	1F	外 復水器水室空気抜きポンプ	C																																																																																																																																							
		外 復水脱塩塔	C																																																																																																																																							
		外 復水器過器	C																																																																																																																																							
		外 レジンキャッチャ	C																																																																																																																																							
		外 レジントラップ	C																																																																																																																																							
		外 樹脂混合用空気貯槽	C																																																																																																																																							
		外 制御用空気貯槽	C																																																																																																																																							
		外 塩酸貯槽	C																																																																																																																																							
		外 塩酸計量槽	C																																																																																																																																							
		外 塩酸スクラバ	C																																																																																																																																							
		外 苛性ソーダ計量槽	C																																																																																																																																							
		外 苛性ソーダ貯槽	C																																																																																																																																							
		外 ジャッキングオイルポンプユニット	C																																																																																																																																							
		外 配管	-																																																																																																																																							
		2F	外 第3低圧給水加熱器	C																																																																																																																																						
			外 第4低圧給水加熱器	C																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p>表3 溢水源となりうる機器リスト（タービン建屋）(3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">管理区域 区分</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">タービン建屋</td> <td rowspan="3">2F</td> <td>外</td> <td>湿分分離加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>軸受冷却水スタンドパイプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3F</td> <td>外</td> <td>脱気器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>循環水管伸縮継手</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>外</td> <td>屋外タンク</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	タービン建屋	2F	外	湿分分離加熱器	C	外	配管	—	外	軸受冷却水スタンドパイプ	C	3F	外	脱気器	C	外	配管	—	外	循環水管伸縮継手	C	—	外	屋外タンク	—																																																																			
設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス																																																																																																	
建屋	フロア																																																																																																				
タービン建屋	2F	外	湿分分離加熱器	C																																																																																																	
		外	配管	—																																																																																																	
		外	軸受冷却水スタンドパイプ	C																																																																																																	
	3F	外	脱気器	C																																																																																																	
		外	配管	—																																																																																																	
		外	循環水管伸縮継手	C																																																																																																	
—	外	屋外タンク	—																																																																																																		
	<p>表5 溢水源となりうる機器リスト(補助ボイラー建屋)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">管理区域 区分</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">補助ボイラー建屋</td> <td rowspan="4">01F</td> <td>外</td> <td>加圧貯水槽兼呼水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>消火水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>呼水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>排水ピット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1F</td> <td>外</td> <td>補助ボイラードレン冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気発生器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラーブロー水冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー給水サンプリングクーラ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">2F</td> <td>外</td> <td>グラント蒸気発生器ドレンクーラ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気だめ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー給水ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー脱気器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気ドラム</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>補助ボイラー建屋給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	補助ボイラー建屋	01F	外	加圧貯水槽兼呼水槽	C	外	消火水槽	C	外	呼水槽	C	外	排水ピット	C	1F	外	補助ボイラードレン冷却器	C	外	補助ボイラー蒸気発生器	C	外	補助ボイラーブロー水冷却器	C	外	補助ボイラー給水サンプリングクーラ	C	外	配管	—	2F	外	グラント蒸気発生器ドレンクーラ	C	外	補助ボイラー蒸気だめ	C	外	補助ボイラー給水ドレンタンク	C	外	補助ボイラー脱気器	C	外	補助ボイラー蒸気ドラム	C	外	補助ボイラー建屋給気加熱コイル	C	外	配管	—	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト（ディーゼル発電機建屋，出入管理建屋，電気建屋，循環水ポンプ建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">管理区域 区分</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震 クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>—</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>出入管理建屋</td> <td>—</td> <td>内・外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電気建屋</td> <td>—</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">循環水ポンプ建屋</td> <td>T.P.10, 3m以下</td> <td>外</td> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレナ</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>T.P.10, 3m</td> <td>外</td> <td>海水電解装置</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>外</td> <td>海水淡水化設備</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	建屋	フロア	ディーゼル発電機建屋	—	外	配管	—	出入管理建屋	—	内・外	配管	—	電気建屋	—	外	配管	—	循環水ポンプ建屋	T.P.10, 3m以下	外	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレナ	S	T.P.10, 3m	外	海水電解装置	C	—	外	海水淡水化設備	C	—	外	配管	—	
設置場所		管理区域 区分	機器名称				耐震 クラス																																																																																														
建屋	フロア																																																																																																				
補助ボイラー建屋	01F	外	加圧貯水槽兼呼水槽	C																																																																																																	
		外	消火水槽	C																																																																																																	
		外	呼水槽	C																																																																																																	
		外	排水ピット	C																																																																																																	
	1F	外	補助ボイラードレン冷却器	C																																																																																																	
		外	補助ボイラー蒸気発生器	C																																																																																																	
		外	補助ボイラーブロー水冷却器	C																																																																																																	
		外	補助ボイラー給水サンプリングクーラ	C																																																																																																	
	外	配管	—																																																																																																		
	2F	外	グラント蒸気発生器ドレンクーラ	C																																																																																																	
外		補助ボイラー蒸気だめ	C																																																																																																		
外		補助ボイラー給水ドレンタンク	C																																																																																																		
外		補助ボイラー脱気器	C																																																																																																		
外		補助ボイラー蒸気ドラム	C																																																																																																		
外		補助ボイラー建屋給気加熱コイル	C																																																																																																		
外	配管	—																																																																																																			
設置場所		管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス																																																																																																	
建屋	フロア																																																																																																				
ディーゼル発電機建屋	—	外	配管	—																																																																																																	
出入管理建屋	—	内・外	配管	—																																																																																																	
電気建屋	—	外	配管	—																																																																																																	
循環水ポンプ建屋	T.P.10, 3m以下	外	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレナ	S																																																																																																	
	T.P.10, 3m	外	海水電解装置	C																																																																																																	
	—	外	海水淡水化設備	C																																																																																																	
	—	外	配管	—																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<p style="text-align: center;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">表1 想定する溢水量一覧</p> <table border="1" data-bbox="730 316 1238 1361"> <thead> <tr> <th data-bbox="730 1246 1115 1361"></th> <th data-bbox="730 935 1115 1241">想定破損</th> <th data-bbox="730 624 1115 930">消火水の放水</th> <th data-bbox="730 316 1115 619">地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="730 1310 1115 1361">没水</td> <td data-bbox="730 935 1115 1241"> 機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 </td> <td data-bbox="730 624 1115 930"> 火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 実放水量の確認結果（264.90/min）に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3 時間=54m³の放水を考慮 </td> <td data-bbox="730 316 1115 619"> 破数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水を溢水量として算定 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋毎に算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="730 1241 1115 1310">被水</td> <td data-bbox="730 935 1115 1241"> 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="730 624 1115 930"> 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="730 316 1115 619"> 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="730 1241 1115 1310">蒸気</td> <td data-bbox="730 935 1115 1241"> 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="730 624 1115 930"> 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="730 316 1115 619"> 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価） </td> </tr> </tbody> </table>		想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	没水	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出	火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 実放水量の確認結果（264.90/min）に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3 時間=54m ³ の放水を考慮	破数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水を溢水量として算定 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋毎に算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	被水	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	蒸気	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	<p style="text-align: center;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">表1 想定する溢水量一覧</p> <table border="1" data-bbox="1290 316 1843 1361"> <thead> <tr> <th data-bbox="1290 1246 1675 1361"></th> <th data-bbox="1290 935 1675 1241">想定破損</th> <th data-bbox="1290 624 1675 930">消火水の放水</th> <th data-bbox="1290 316 1675 619">地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1290 1310 1675 1361">没水</td> <td data-bbox="1290 935 1675 1241"> 機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 </td> <td data-bbox="1290 624 1675 930"> 消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一部の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JESG4607-2010）」解説-4-5（I）（表4-3 火災荷重と等価時間について）に従い、放水時間を設定 実放水量の確認結果（251.7L/min）に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="1290 316 1675 619"> 破数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水を溢水量として算定 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋ごとに算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1290 1241 1675 1310">被水</td> <td data-bbox="1290 935 1675 1241"> 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="1290 624 1675 930"> 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="1290 316 1675 619"> 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1290 1241 1675 1310">蒸気</td> <td data-bbox="1290 935 1675 1241"> 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="1290 624 1675 930"> 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価） </td> <td data-bbox="1290 316 1675 619"> 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価） </td> </tr> </tbody> </table>		想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	没水	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出	消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一部の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JESG4607-2010）」解説-4-5（I）（表4-3 火災荷重と等価時間について）に従い、放水時間を設定 実放水量の確認結果（251.7L/min）に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	破数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水を溢水量として算定 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋ごとに算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	被水	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	蒸気	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p><u>設計方針の相違</u> 消火水の放水時間について、女川は一律3時間の放水を想定しているのに対し、泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては可燃物量を考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定している。（先行PWR、島根2号炉と同様）</p> <p><u>設計方針の相違</u> 泊発電所3号炉では、地震発生後に運転員によるパトロールを実施し、溢水源となりうる機器からの漏えいが確認された場合には手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定し、溢水量を算出している。（伊方3号炉と同様）</p> <p><u>設計方針の相違</u> 泊では蒸気が発生する高エネルギー配管については、基準地震動に対して、耐震性を確保しているため、地震起因の破損により蒸気は発生しない。（大阪と同様）</p>
	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																																
没水	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出	火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 実放水量の確認結果（264.90/min）に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3 時間=54m ³ の放水を考慮	破数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水を溢水量として算定 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋毎に算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価） 溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）																																
被水	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）																																
蒸気	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）																																
	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																																
没水	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出	消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一部の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JESG4607-2010）」解説-4-5（I）（表4-3 火災荷重と等価時間について）に従い、放水時間を設定 実放水量の確認結果（251.7L/min）に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 ・《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	破数（系統&箇所）同時破損を考慮 破損する系統の保有水を溢水量として算定 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建屋ごとに算定 溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）																																
被水	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）	溢水量に依存しない （溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価）																																
蒸気	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）	溢水量は算定せず （伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐震境仕様の有無により評価）																																

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(1/9)						表1 防護対象設備一覧（3/27）						表1 防護対象設備一覧（3/35）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上 [m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1[m]	個別設定高さ *2[m]	設定箇所	安全機能
補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ入口圧力伝達器 (331-P001B)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	1.125 [※]	④	化学体積制御系統	体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.67	1.02	基本	②
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ出口圧力伝達器 (331-P001C)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	1.140 [※]	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁A (3LCV-121D)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001D)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	1.125 [※]	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁B (3LCV-121E)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001E)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁C (3LCV-121F)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001F)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁D (3LCV-121G)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
補助給水系	3復水ビット水位III, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001G)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁E (3LCV-121H)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
補助給水系	3復水ビット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001H)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁F (3LCV-121I)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001I)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁G (3LCV-121J)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001J)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁H (3LCV-121K)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001K)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁I (3LCV-121L)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001L)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁J (3LCV-121M)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001M)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁K (3LCV-121N)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3充てんポンプ入口燃料取扱 替用水ビット側補給弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001N)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁L (3LCV-121O)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001O)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁M (3LCV-121P)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001P)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁N (3LCV-121Q)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001Q)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁O (3LCV-121R)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001R)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁P (3LCV-121S)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001S)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁Q (3LCV-121T)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001T)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁R (3LCV-121U)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001U)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁S (3LCV-121V)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3-1次冷却材ポンプ封本戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001V)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁T (3LCV-121W)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②
化学体積制御系統	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉隔離時冷却系	原子炉ポンプ駆動用タービン入口流量圧力伝達器 (331-P001W)	3-33F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.300	④	化学体積制御系統	充てんポンプ入口燃料取扱替用水 ビット側入口弁U (3LCV-121X)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.56	0.91	基本	②

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）						表1 防護対象設備一覧（4/27）						表1 防護対象設備一覧（4/35）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個別測定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能
化学体積制御系	3A, 3B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	汚染除去系	3A 3B 封水注入フィルタ (31-1900B)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.420	②④⑤⑥	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ(RSP1B)	3AB-L-5	原子炉補助 建屋	0.75	0.83	基本	③④
化学体積制御系	3封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	汚染除去系	3B 3封水注入フィルタ (31-1900B)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.560	②④⑤⑥	余熱除去系	A-余熱除去ポンプミニ フロー弁(3FCY-601)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	2.95	3.25	基本	③④
化学体積制御系	3体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	汚染除去系	3A 3B 封水注入フィルタ (31-1900B)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.380	②④⑤⑥	余熱除去系	B-余熱除去ポンプミニ フロー弁(3FCY-611)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	2.95	3.23	基本	③④
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク水位 (3LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	汚染除去系	3B 3封水注入フィルタ (31-1900B)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.180	②④⑤⑥	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051A)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	1.03	1.01	個別	③④
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	汚染除去系	3A 3B ほう酸タンク水位 (3LT-206, 208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.190	②④⑤⑥	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.70	1.78	個別	④
化学体積制御系	3ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	10.217	②④⑤⑥	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	0.70	1.75	個別	④
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	汚染除去系	3B ほう酸タンク (3LT-208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	11.202	②④⑤⑥	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.70	1.77	個別	④
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作 箱(31B-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.500	②④⑤⑥	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051A)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	1.03	1.00	個別	③④
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量 計(3FT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.60	1.10	汚染除去系	3B ほう酸タンク (3LT-208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	11.203	②④⑤⑥	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.70	1.78	個別	④
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプミニマ ムフローライン止め弁 (3FCY-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.96	0.86	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.370	②④⑤⑥	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	0.40	0.44	基本	⑥
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	汚染除去系	3B ほう酸タンク (3LT-208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	1.100	②④⑤⑥	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.70	1.78	個別	④
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機制御 盤(31AC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.610	②④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051A)	3AB-K-21	原子炉補助 建屋	0.70	1.78	個別	④
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.70	0.60	汚染除去系	3B ほう酸タンク (3LT-208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.610	②④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	0.70	1.78	個別	④
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器 (31AH1A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.500	②④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051A)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	2.90	4.08	基本	③⑤
制御用空気系	3A, 3B制御用空気ため 系(31AT1A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	汚染除去系	3B ほう酸タンク (3LT-208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.520	②④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRSP側 入口弁(3V-601-051B)	3AB-K-13	原子炉補助 建屋	2.90	3.85	個別	④⑤
制御用空気系	3A-C, 3B-C制御用空気母管連 給弁(3V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.80	0.70	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.370	②④	制御用 空気系統	A-制御用空気圧縮機(31AE1A)	3RB-H-02	原子炉建屋	0.40	0.44	基本	⑥
制御用空気系	3A, 3B制御用空気主蒸気逃が し弁等供給ライン止め弁 (3V-1A-505A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.77	0.67	汚染除去系	3B ほう酸タンク (3LT-208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.390	②④								
制御用空気系	3A, 3B 制御用空気格納容器隔 離弁(3V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.99	0.89	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	1.900	②④								
制御用空気系	3A, 3B制御用空気供給母管圧 力(3PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.05	0.95	汚染除去系	3B ほう酸タンク (3LT-208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	1.000	②④								
原子炉補機 冷却系	3A, 3B余熱除去冷却器冷却水 止め弁(3V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.72	1.72	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	9.370	②④								
原子炉補機 冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク水位III, IV (3LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	40.09	1.09	汚染除去系	3B ほう酸タンク (3LT-208)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	2.370	②④								
原子炉補機 冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	汚染除去系	3A ほう酸タンク (3LT-206)	B-17-11	原子炉建屋 原子炉棟	2.370	②④								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由			
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)				表1 防護対象設備一覧（5/27）				表1 防護対象設備一覧（5/35）							
系統	設備	設置建屋	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	設置建屋	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ +1[m]	個別設定高さ +2[m]	設定箇所	安全機能
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	-	-	④⑤	制御用空気系統	B-制御用空気圧縮機(31A1B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.40	0.45	基本	⑤
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.10	2.10	-	④⑤	制御用空気系統	A-制御用空気Cヘッダ供給弁(3V-1A-501A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑤
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱(3LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	-	④⑤	制御用空気系統	B-制御用空気Cヘッダ供給弁(3V-1A-501B)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥
原子炉補機冷却系	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁(3V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.29	2.29	-	④⑤	制御用空気系統	A-制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁(3V-1A-505A)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.78	基本	④
原子炉補機冷却系	3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁(3V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.28	2.28	-	④⑤	制御用空気系統	B-制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁(3V-1A-505B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.77	基本	④
原子炉補機冷却系	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁(3号機側)(34V-CC-600, 601)	原子炉周辺建屋	17.1	18.09	0.99	-	④⑤	制御用空気系統	A-制御用空気ヘッダ圧力(Ⅲ)(3PT-1800)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑥
原子炉補機冷却系	3A, 3B格納容器スプレィ冷却器冷却水止め弁(3V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.89	1.89	-	④⑤	制御用空気系統	B-制御用空気ヘッダ圧力(Ⅳ)(3PT-1810)	3RB-F-2	原子炉建屋	1.03	1.01	個別	④
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁(3V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.41	5.31	-	④⑤	関連設備	A-制御用空気圧縮機(31APA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	④
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁(3V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.42	5.32	-	④⑤	関連設備	B-制御用空気圧縮機(31APB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	④
原子炉補機冷却系	3-CEDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁(3V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.12	5.02	-	④⑤	関連設備	A-制御用空気圧縮機容量調節弁(31AWPA)	2RB-H-N2	原子炉建屋	0.80	0.79	個別	⑥
原子炉補機冷却系	3 CEDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁(3V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	-	④⑤	関連設備	B-制御用空気圧縮機容量調節弁(31AWPB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.80	0.80	基本	④
原子炉補機冷却系	3A-D, 3B-C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁(3V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.22	4.12	-	④⑤	制御用空気系統	A-制御用空気C/V外側隔離弁(3V-1A-510A)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本	⑤⑥
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁(3V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	21.12	4.02	-	④⑤								
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁(3V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.70	2.70	-	④⑤								
原子炉補機冷却系	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ(3S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	-	④⑤								
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	-	④⑤								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由						
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(4/9)						表1 防護対象設備一覧（6/27）						表1 防護対象設備一覧（6/35）												
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1 (m)	個別測定高さ #2 (m)	設定箇所	安全機能	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1 (m)	個別測定高さ #2 (m)	設定箇所	安全機能			
原子炉補機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプエリア	2.5	6.50	4.00	圧入機水注入系	圧入機水注入系(3)標準機作機 (320-3000)	3-2F-3-1	原子炉建屋	1.005			⑤	制御用空気系統	B-1制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-1A-510B)	3RB-K-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本	⑤⑥			
電気盤	3主盤（原子炉盤）(3MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉格納容器隔離弁	3号炉ドレンライン第二隔離弁 (321-3000)	3-41F-3-1	原子炉建屋	6.070			⑤	原子炉補機冷却水系統	A-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIA)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑤			
電気盤	3原子炉補助盤 (3RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	原子炉格納容器隔離弁	3号炉ドレンライン第二隔離弁 (321-3000)	3-41F-3-1	原子炉建屋	11.224			⑤	原子炉補機冷却水系統	B-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIB)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑤			
電気盤	3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3RPF-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉格納容器隔離弁	3号炉ドレンライン第二隔離弁 (321-3000)	3-41F-3-1	原子炉建屋	3.963			⑤	原子炉補機冷却水系統	C-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIC)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.88	基本	⑤			
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.95	0.15	原子炉格納容器隔離弁	3号炉ドレンライン第二隔離弁 (321-3000)	3-41F-3-1	原子炉建屋	6.963			⑤	原子炉補機冷却水系統	D-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPID)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	⑤			
電気盤	3安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (3SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	22.00	0.20	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000A)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.660			⑤	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水戻り母管A側連絡弁 (3V-CC-044A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	1.30	2.65	基本	⑤			
電気盤	3所内盤 (3HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000B)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.660			⑤	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水戻り母管B側連絡弁 (3V-CC-044B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	1.30	2.66	基本	⑤			
電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS (3PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.87	0.07	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000C)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本	⑤			
電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.14	0.04	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000D)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本	⑤			
電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ソレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000E)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤											
電気盤	3A, 3Bドロップ盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000F)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤											
電気盤	3A, 3B直流電圧電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000G)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤											
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000H)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤											
電気盤	3A, 3B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000I)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤											
電気盤	3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000J)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤											
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	非常用ゾナ隔離弁	非常用ゾナ隔離弁(機体) (340-3000K)	3-2F-1-2	原子炉建屋	6.145			⑤											
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	非常用ゾナ隔離弁	3号炉ドレンライン出口隔離弁 (322-3000A)	3-2F-1	原子炉建屋	1.245			⑤											
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	非常用ゾナ隔離弁	3号炉ドレンライン出口隔離弁 (322-3000B)	3-2F-1	原子炉建屋	1.230			⑤											
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電圧電盤 (1)~(3) (3IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	非常用ゾナ隔離弁	3号炉ドレンライン出口隔離弁 (322-3000C)	3-2F-1	原子炉建屋	1.230			⑤											
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (3IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	非常用ゾナ隔離弁	3号炉ドレンライン出口隔離弁 (322-3000D)	3-2F-1	原子炉建屋	1.230			⑤											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5/9）						表1 防護対象設備一覧（7/27）						表1 防護対象設備一覧（7/35）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上 [m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 [m]	個別測定高さ *2 [m]	設定箇所	安全機能
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切替盤 (3ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	保安用ガス処理系	空気を乾燥装置(A)電気ヒータ入口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.905	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	A-余熱除去冷却器補機冷却水 出口弁 (3V-CC-117A)	3AB-K-1	原子炉補助 建屋	0.60	1.28	基本	③④
電気盤	3AC, 3BD計装用後備分電盤 (3IBD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	保安用ガス処理系	空気を乾燥装置(B)電気ヒータ入口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.945	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	B-余熱除去冷却器補機冷却水 出口弁 (3V-CC-117B)	3AB-K-1	原子炉補助 建屋	0.60	1.29	基本	③④
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ (3GCC-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.24	0.24	保安用ガス処理系	フィード装置チャコールニアフィタ入口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.275	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	A-格納容器スプレイ冷却器 補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	0.60	1.27	基本	⑤
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関	原子炉 周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.91	0.41	保安用ガス処理系	フィード装置チャコールニアフィタ入口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.265	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	B-格納容器スプレイ冷却器 補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)	3AB-K-4	原子炉補助 建屋	0.60	1.30	基本	⑤
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機	原子炉 周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.84	0.34	保安用ガス処理系	フィード装置チャコールニアフィタ入口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.905	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	A-使用済燃料ビット冷却器 補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑤
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤 (3DGC-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.10	0.10	保安用ガス処理系	フィード装置チャコールニアフィタ入口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.905	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	B-使用済燃料ビット冷却器 補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑤
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	保安用ガス処理系	フィード装置チャコールニアフィタ出口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.265	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	A-使用済燃料ビット冷却器 補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑤
格納容器スプレイ系	3よう素除去薬品タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	保安用ガス処理系	フィード装置チャコールニアフィタ出口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.265	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	B-使用済燃料ビット冷却器 補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑤
格納容器スプレイ系	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (3PT-950, 951, 952, 953)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.08	4.98	保安用ガス処理系	フィード装置チャコールニアフィタ出口扉扉 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	1.975	⑤	原子炉 補機冷却 水系統	BA, 3D及C/D用スプレイ補機冷却水 戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)	3AB-K-1	原子炉補助 建屋	0.62	1.02	基本	⑤
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	可燃性ガス濃度制御系(A)	PC5 3号炉 200-1 (13B-20000)	3-2F-4	原子炉建屋 作業棟	0.900	⑤	*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：没水により機能喪失する床面からの高さ							
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱 (3LB-18, 19)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	可燃性ガス濃度制御系(B)	PC2 2号炉 200-1 (13B-20000)	3-2F-2	原子炉建屋 作業棟	0.975	⑤	①緊急時停止機能 ②未燃界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能						
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.95	1.95	可燃性ガス濃度制御系(C)	可燃性ガス濃度制御系内総合制御盤(C) (電気ヒータ) (13B-30000)	3-2F-2-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.145	⑤								
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプリング側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	12.08	2.08	可燃性ガス濃度制御系(D)	可燃性ガス濃度制御系内総合制御盤(D) (13B-30000)	3-2F-2-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	⑤								
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.97	1.87	可燃性ガス濃度制御系(E)	PC5 A系入口隔離弁 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.440	⑤								
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.65	0.55	可燃性ガス濃度制御系(F)	PC5 A系入口17号調整弁 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.900	⑤								
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.65	0.55	可燃性ガス濃度制御系(G)	PC5 A系再循環調整弁 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.900	⑤								
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.00	0.50	可燃性ガス濃度制御系(H)	PC5 A系入口7号調整弁 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	⑤								
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプ現場操作箱 (3LB-12, 13)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	可燃性ガス濃度制御系(I)	PC5 A系再循環調整弁 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	⑤								
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (3V-SI-002A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.93	1.93	可燃性ガス濃度制御系(J)	PC5 A系入口7号調整弁 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	⑤								
安全注入系	3A, 3B高压注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)	原子炉 周辺建屋	6.6	7.38	0.78	可燃性ガス濃度制御系(K)	PC5 A系入口7号調整弁 (13B-20000)	3-2F-1-4	原子炉建屋 原子炉棟	0.115	⑤								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)				表1 防護対象設備一覧 (8/27)				表1 防護対象設備一覧 (8/35)					
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. +[m]	機能喪失高さ [※] E.L. +[m]	床高[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個別設定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能
安全注入系	3A, 3B 38MPa 注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (3V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
安全注入系	3A, 3B 38MPa 注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (3V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.82	1.82	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
安全注入系	3A, 3B 38MPa 注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (3V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.93	1.93	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
安全注入系	3A 38MPa 注入流量 (I), 3B 38MPa 注入流量 (II) (3PT-962, 963)	原子炉周辺建屋	10.0	11.10	1.10	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
安全注入系	3 燃料取替用水ピット水位 I, II, III, IV (3LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.18	1.08	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
安全注入系、燃料取替用水系	3 燃料取替用水ピット	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
燃料取替用水系	3A, 3B 燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (3LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	10.71	0.71	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気遮りし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.37	11.37	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D 主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D 付属バルブ)	原子炉周辺建屋	29.0	29.52	0.52	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.54	0.54	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D 空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-103, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20	可動性・原子炉制御系 (A)	PCV 主蒸気 (A) A11 減速器後逆戻り弁 (T49-0706A)	3-2F-2	原子炉建屋	0.115	0.115	基本	⑥

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(7/9)						表1 防護対象設備一覧（9/27）						表1 防護対象設備一覧（9/35）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ +1 (a)	個別設定高さ +2 (a)	設定箇所	安全機能
冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21	可動性・ガス濃度制御系	PC3 非正常運転異常検知器 (14B-PT000)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.100	①	原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水入口C/V外側隔離弁 (3F-CC-422)	3B0-E-1	原子炉建屋	1.38	1.45	基本	⑤
冷水系	3A、3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32	1.22	可動性・ガス濃度制御系	PC2 プロセス (2) 入口圧力監視器 (14B-PT000)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.100	①	原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水出口C/V外側隔離弁 (3F-CC-430)	3B0-E-1	原子炉建屋	0.88	0.90	基本	⑤
冷水系	34C、34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48	可動性・ガス濃度制御系	PC2 プロセス (2) 入口圧力監視器 (14B-PT000)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.100	①	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水入口止め弁 (3V-CC-501)	3B0-E-1	原子炉建屋	1.12	1.27	基本	⑥
換気空調系	3換気空調盤 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	可動性・ガス濃度制御系	PC2 プロセス (2) 入口圧力監視器 (14B-PT000)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.100	①	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水入口C/V外側隔離弁 (3F-CC-503)	3B0-E-1	原子炉建屋	1.12	1.28	基本	⑤
換気空調系	3A、3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-1)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	原子炉補機冷却水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V外側隔離弁 (3F-CC-528)	3B0-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	⑤
換気空調系	3A、3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-2)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	関連設備	A-充電器盤 (3CPA)	3AB-F-36	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
換気空調系	3A、3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-1)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	関連設備	B-充電器盤 (3CPB)	3AB-F-31	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
換気空調系	3A、3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-2)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	関連設備	運転コンソール (3MCB)	3AB-F-38	原子炉補助建屋	0.20	0.20	基本	⑥
換気空調系	3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) 非正常運転監視器 (14B-TR000-3)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	関連設備	共通要因故障対策印字操作盤 (3CMFLP)						
換気空調系	3A、3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) 非正常運転監視器 (14B-TR000-3)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	関連設備	A-共通要因故障対策印字操作盤 (3CMFPA)	3AB-F-38	原子炉補助建屋	0.37	0.33	個別	⑥
換気空調系	3A、3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-1)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②水漏れ検知機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④制御室外からの安全停止機能 ⑤ヒット給水機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット給水機能							
換気空調系	3A、3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-2)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①								
換気空調系	3A、3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-1)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②水漏れ検知機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④制御室外からの安全停止機能 ⑤ヒット給水機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット給水機能							
換気空調系	3A、3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-2)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①								
換気空調系	34A、34B安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) 非正常運転監視器 (14B-TR000-3)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②水漏れ検知機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④制御室外からの安全停止機能 ⑤ヒット給水機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット給水機能							
換気空調系	34C、34D安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-3)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①								
換気空調系	34A、34B、34C、34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LB-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-1)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②水漏れ検知機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④制御室外からの安全停止機能 ⑤ヒット給水機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット給水機能							
換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA、B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) プロセス温度監視器 (14B-TR000-2)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①								
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) 非正常運転監視器 (14B-TR000-3)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②水漏れ検知機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④制御室外からの安全停止機能 ⑤ヒット給水機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット給水機能							
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) 非正常運転監視器 (14B-TR000-3)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①								
換気空調系	3A、3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) 非正常運転監視器 (14B-TR000-3)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①	*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②水漏れ検知機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④制御室外からの安全停止機能 ⑤ヒット給水機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット給水機能							
換気空調系	3A、3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.40	0.30	可動性・ガス濃度制御系	PC3 結合器 (2) 非正常運転監視器 (14B-TR000-3)	3-2P-2-4	原子炉建屋	0.140	①								

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由					
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)						表1 防護対象設備一覧（10/27）						表1 防護対象設備一覧（10/35）											
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]			系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ 基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定 箇所	安全 機能	系統	設備	区画番号	設置建屋	設置高さ 基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定 箇所	安全 機能	
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱 (3LB-90, 91)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-102-0	原子炉格納 容器内	0.300	0.300	個別	⑥	関連設備	B-共通要因故障対策操作盤 (3CMPB)	3AB-F-N8	原子炉補助 建屋	0.37	0.33	個別	⑥		
換気空調系	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B (3D-VS-431A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.65	4.55	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	1.300	1.300	個別	⑥	関連設備	A-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPA)							⑤	
換気空調系	3制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4) (3TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.50	1.40	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	0.430	0.430	個別	⑥	関連設備	B-中央制御室外原子炉停止盤 (3EPB)							⑤	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉 周辺建屋	17.1	17.43	0.33	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	1.900	1.900	個別	⑥	関連設備	A-換気空調系集中現場盤 (3LYPA)							⑥	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱 (3LB-86, 87)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	1.000	1.000	個別	⑥	関連設備	B-換気空調系集中現場盤 (3LYPB)							⑥	
換気空調系	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B (3D-VS-411A, B)	原子炉 周辺建屋	21.3	23.30	2.00	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	0.370	0.370	個別	⑥	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンA) (3EFA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2) (3TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.40	1.40	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	2.100	2.100	個別	⑥	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンB) (3EFB)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
換気空調系	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼルクモ機室給気ファン	原子炉 周辺建屋	33.6	33.91	0.31	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	2.200	2.200	個別	⑥	関連設備	A-1次冷却材ポンプ母線計測盤(3BB1A)	3KB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
換気空調系	3A1-A2, 3B1-B2ディーゼルクモ機室給気ファン現場操作箱 (3LB-84, 85)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.82	1.22	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	2.400	2.400	個別	⑥	関連設備	B-1次冷却材ポンプ母線計測盤(3BB1B)	3KB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
換気空調系	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2 (3D-VS-401A, B, 403A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	13.59	3.59	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-20-0-4	原子炉格納 容器内	0.040	0.040	個別	⑥	関連設備	C-1次冷却材ポンプ母線計測盤(3BB1C)	3KB-H-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
換気空調系	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4) (3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.18	1.18	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-402-0	原子炉格納 容器内	0.000	0.000	個別	⑥	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (3RTI)	3KB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥		
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン	原子炉 周辺建屋	17.1	17.93	0.83	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-402-0	原子炉格納 容器内	0.500	0.500	個別	⑥	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (3RTII)	3KB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥		
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱 (3LB-82, 83)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-402-0	原子炉格納 容器内	0.040	0.040	個別	⑥										
換気空調系	3A, 3B安全補機室温度(1), (2) (3TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.28	1.28	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-402-0	原子炉格納 容器内	0.900	0.900	個別	⑥										
換気空調系	3A, 3B安全補機室排気ダンパ (3D-VS-105A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.61	5.51	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-102-0	原子炉格納 容器内	0.900	0.900	個別	⑥										
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉 周辺建屋	10.0	10.59	0.59	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-102-0	原子炉格納 容器内	1.000	1.000	個別	⑥										
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (3LB-77, 78)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-102-0	原子炉格納 容器内	0.900	0.900	個別	⑥										
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉 周辺建屋	10.0	10.46	0.46	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-102-0	原子炉格納 容器内	2.100	2.100	個別	⑥										
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計 (3TC-2601, 2611)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.70	0.70	原子炉格納 容器内	原子炉格納 容器内	0-102-0	原子炉格納 容器内	0.100	0.100	個別	⑥										



枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)							表1 防護対象設備一覧（11/27）							表1 防護対象設備一覧（11/35）								
系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ [※]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^③ *1[m]	個別測定高さ ^④ *2[m]	設定箇所	安全機能	相違理由	
			E.L. + [m]	床 上 [m]	E.L. + [m]	床 上 [m]																
換気空調系	3号炉酸タンク室温度(1),(2),(3),(4) (3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.29	1.29		原子炉格納容器内設置設備						原子炉トリップ遮断器盤(チャンネルⅢ) (SRTIⅢ)	3B3-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.90	0.60		原子炉格納容器内設置設備						原子炉トリップ遮断器盤(チャンネルⅣ) (SRTIⅣ)	3B3-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (3LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20		原子炉格納容器内設置設備						原子炉安全保護盤(チャンネルⅠ) (3PI)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.66	0.36		原子炉格納容器内設置設備						原子炉安全保護盤(チャンネルⅡ) (3PII)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (3HCD-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.76	1.46		原子炉格納容器内設置設備						原子炉安全保護盤(チャンネルⅢ) (3PII)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (3HCD-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.67	0.37		原子炉格納容器内設置設備						原子炉安全保護盤(チャンネルⅣ) (3PIV)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (3HCD-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.29	1.99		原子炉格納容器内設置設備						安全系FDPプロセッサ盤 (SSPMA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (3FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.44	1.34		原子炉格納容器内設置設備						安全系FDPプロセッサ盤 (SSPMB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.90	1.60		原子炉格納容器内設置設備						安全系FDPプロセッサ盤 (SSPMA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.05	0.05	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.49	1.19		原子炉格納容器内設置設備						安全系マルチプレクサ (トレンA) (3SMCA)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (3HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.45	2.15		原子炉格納容器内設置設備						安全系マルチプレクサ (トレンB) (3SMCB)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	⑤			
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン (3VSFA, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.47	0.57		原子炉格納容器内設置設備															
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (3LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20		原子炉格納容器内設置設備															
換気空調系	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ (3D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.37	0.47		原子炉格納容器内設置設備															
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ (3D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.24	2.14		原子炉格納容器内設置設備															
換気空調系	3A, 3Bアニュラス全量排気弁 (3V-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.97	2.07		原子炉格納容器内設置設備															
換気空調系	3A, 3Bアニュラス少量排気弁 (3V-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.25	2.35		原子炉格納容器内設置設備															

※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。

- ※1：図面に上記機能喪失する区画からの高さ（図上高さ0.00mを考慮）
- ※2：安全機能
- ※3：緊急停止機能
- ※4：非常停止機能
- ※5：非常停止機能
- ※6：非常停止機能
- ※7：非常停止機能
- ※8：非常停止機能
- ※9：非常停止機能
- ※10：非常停止機能
- ※11：非常停止機能
- ※12：非常停止機能
- ※13：非常停止機能
- ※14：非常停止機能
- ※15：非常停止機能
- ※16：非常停止機能
- ※17：非常停止機能
- ※18：非常停止機能
- ※19：非常停止機能
- ※20：非常停止機能
- ※21：非常停止機能
- ※22：非常停止機能
- ※23：非常停止機能
- ※24：非常停止機能
- ※25：非常停止機能
- ※26：非常停止機能
- ※27：非常停止機能
- ※28：非常停止機能
- ※29：非常停止機能
- ※30：非常停止機能
- ※31：非常停止機能
- ※32：非常停止機能
- ※33：非常停止機能
- ※34：非常停止機能
- ※35：非常停止機能
- ※36：非常停止機能
- ※37：非常停止機能
- ※38：非常停止機能
- ※39：非常停止機能
- ※40：非常停止機能
- ※41：非常停止機能
- ※42：非常停止機能
- ※43：非常停止機能
- ※44：非常停止機能
- ※45：非常停止機能
- ※46：非常停止機能
- ※47：非常停止機能
- ※48：非常停止機能
- ※49：非常停止機能
- ※50：非常停止機能
- ※51：非常停止機能
- ※52：非常停止機能
- ※53：非常停止機能
- ※54：非常停止機能
- ※55：非常停止機能
- ※56：非常停止機能
- ※57：非常停止機能
- ※58：非常停止機能
- ※59：非常停止機能
- ※60：非常停止機能
- ※61：非常停止機能
- ※62：非常停止機能
- ※63：非常停止機能
- ※64：非常停止機能
- ※65：非常停止機能
- ※66：非常停止機能
- ※67：非常停止機能
- ※68：非常停止機能
- ※69：非常停止機能
- ※70：非常停止機能
- ※71：非常停止機能
- ※72：非常停止機能
- ※73：非常停止機能
- ※74：非常停止機能
- ※75：非常停止機能
- ※76：非常停止機能
- ※77：非常停止機能
- ※78：非常停止機能
- ※79：非常停止機能
- ※80：非常停止機能
- ※81：非常停止機能
- ※82：非常停止機能
- ※83：非常停止機能
- ※84：非常停止機能
- ※85：非常停止機能
- ※86：非常停止機能
- ※87：非常停止機能
- ※88：非常停止機能
- ※89：非常停止機能
- ※90：非常停止機能
- ※91：非常停止機能
- ※92：非常停止機能
- ※93：非常停止機能
- ※94：非常停止機能
- ※95：非常停止機能
- ※96：非常停止機能
- ※97：非常停止機能
- ※98：非常停止機能
- ※99：非常停止機能
- ※100：非常停止機能

- *1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ
- *2：没水により機能喪失する床面からの高さ
- ①緊急停止機能
- ②非常停止機能
- ③原子炉停止後の除熱機能
- ④炉心冷却機能
- ⑤放射性物質の閉じ込め機能
- ⑥安全上特に重要な関連機能
- ⑦事故時のプラント状態の把握機能
- ⑧制御室外からの安全停止機能
- ⑨ピット冷却機能
- ⑩ピット給水機能

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(1/9)				表1 防護対象設備一覧（12/27）				表1 防護対象設備一覧（12/35）					
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定箇所	安全機能
補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(A) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(B) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.75	1.15	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(C) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(D) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助 給水量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(E) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(F) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
補助給水系	4復水ビット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(G) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4A, 4B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.65	0.65	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(H) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.29	0.29	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(I) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSG)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(J) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4C充てんポンプ速度制御補助 盤 (4CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(K) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ 現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(L) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補給弁A, B (4LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.19	1.19	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(M) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.62	0.62	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(N) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (4LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(O) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(P) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4体積制御タンク出口第1止め 弁 (4LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.26	1.16	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(Q) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4体積制御タンク出口第2止め 弁 (4LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.27	1.17	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(R) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (4V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.57	4.47	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(S) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4充てんライン格納容器隔離 弁 (4V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(T) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.00	4.90	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(U) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥
化学体積制 御系	4封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	燃料ポンプ-冷却停止系	燃料ポンプ-冷却停止系ポンプ(V) (141-0001B)	F-12-3	原子炉補 助建屋	0.04	0.04	個別	⑥

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）							表1 防護対象設備一覧（13/27）							表1 防護対象設備一覧（13/35）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]			系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1[m]	個別測定高さ *2[m]	設定 箇所	安全 機能	相違理由
化学体積制御系	4A, 4B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(1)	E-2P-1-1	原子炉補機 付建屋	0.000	①②③④	関連設備	B1-計装用交流分電盤 (31DPB1)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.21	0.20	個別	⑥	
化学体積制御系	4封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(2)	E-2P-0-1	原子炉補機 付建屋	0.000	①②③④⑤	関連設備	B2-計装用交流分電盤 (31DPB2)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.21	0.21	基本	⑥	
化学体積制御系	4体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(3)	C-42P-1	制御建屋	0.000	③	関連設備	C1-計装用交流分電盤 (31DFC1)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.21	0.22	基本	⑥	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク水位 (4LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.18	1.08	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(4)	C-42P-2	制御建屋	0.000	③	関連設備	C2-計装用交流分電盤 (31DFC2)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.21	0.22	基本	⑥	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(5)	E-2P-2-1	原子炉補機 付建屋	0.100	②	関連設備	D1-計装用交流分電盤 (31DDP1)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.21	0.20	個別	⑥	
化学体積制御系	4ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(6)	E-2P-2-2	原子炉補機 付建屋	0.100	②	関連設備	D2-計装用交流分電盤 (31DDP2)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.21	0.20	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(7)	E-2P-2-3	原子炉補機 付建屋	0.100	②	関連設備	A-計装用交流電源切替器盤 (31SPA)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.34	0.35	基本	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ現場操作箱 (4LB-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(8)	E-2P-2-4	原子炉補機 付建屋	0.100	②	関連設備	B-計装用交流電源切替器盤 (31SPB)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.34	0.33	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ出口流量 (4FT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.61	1.11	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(9)	E-2P-2-5	原子炉補機 付建屋	0.100	②	関連設備	C-計装用交流電源切替器盤 (31SPC)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.34	0.35	基本	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプミニマム フローライン止め弁 (4FCV-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.98	0.88	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(10)	E-2P-2-6	原子炉補機 付建屋	0.100	②	関連設備	D-計装用交流電源切替器盤 (31SPD)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.34	0.33	個別	⑥	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(11)	E-2P-2-7	原子炉補機 付建屋	0.100	②	関連設備	A-補助建屋直流分電盤(31DPA)	3AB-H-N6	原子炉補助 建屋	0.22	0.23	基本	⑥	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機制御盤 (41AC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(12)	E-2P-2-8	原子炉補機 付建屋	0.100	②	関連設備	B-補助建屋直流分電盤(31DPB)	3AB-H-N1	原子炉補助 建屋	0.22	0.22	基本	⑥	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.72	0.62	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(13)	E-2P-2-9	原子炉補機 付建屋	0.100	②									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気乾燥器 (41AHA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(14)	E-2P-2-10	原子炉補機 付建屋	0.100	②									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気だめ (41ATA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(15)	E-2P-2-11	原子炉補機 付建屋	0.100	②									
制御用空気系	4A-C, 4B-C制御用空気母管連絡弁 (4V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.78	0.68	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(16)	E-2P-2-12	原子炉補機 付建屋	0.060	②									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気格納容器隔離弁 (4V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.88	0.78	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(17)	E-2P-2-13	原子炉補機 付建屋	0.100	②									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気供給母管圧力 (4PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.20	1.10	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(18)	E-2P-2-14	原子炉補機 付建屋	0.100	②									
原子炉補機冷却系	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水止め弁 (4V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.69	1.69	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(19)	E-2P-2-15	原子炉補機 付建屋	0.100	②									
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク水位III, IV (4LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	39.99	0.99	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(20)	E-2P-2-16	原子炉補機 付建屋	0.100	②									
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	-	電気空調系	原子炉補機(3)冷却水ケーシング(21)	E-2P-2-17	原子炉補機 付建屋	0.100	②									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)						表1 防護対象設備一覧（14/27）						表1 防護対象設備一覧（14/35）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m] 床[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L.[m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1[m]	個別設定高さ *2[m]	設定箇所	安全機能
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	-	原子炉補機(1) 冷却機(1)	9-02-1	原子炉補機(1) 冷却機(1)	9.140	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	フレイド分電盤トレナ1 (SSDA1)	3AB-H-56	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	④	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.08	2.08	原子炉補機(1) 冷却機(2)	9-02-13	原子炉補機(1) 冷却機(2)	9.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	フレイド分電盤トレナ2 (SSDA2)	3AB-H-56	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱 (4LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉補機(1) 冷却機(3)	9-02-13-1	原子炉補機(1) 冷却機(3)	9.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	フレイド分電盤トレナ3 (SSDA3)	3AB-H-56	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁 (4V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.33	2.33	原子炉補機(1) 冷却機(4)	9-02-11	原子炉補機(1) 冷却機(4)	9.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	フレイド分電盤トレナ4 (SSDA4)	3AB-H-56	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁 (4V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.33	2.33	原子炉補機(1) 冷却機(5)	9-02-11	原子炉補機(1) 冷却機(5)	9.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	フレイド分電盤トレナB1 (SSDB1)	3AB-H-51	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁(4号機側) (4V-CC-605, 606)	原子炉周辺建屋	17.1	17.97	0.87	原子炉補機(1) 冷却機(6)	9-02-11	原子炉補機(1) 冷却機(6)	9.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	フレイド分電盤トレナB2 (SSDB2)	3AB-H-51	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	④	
原子炉補機冷却系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁 (4V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.85	1.85	原子炉補機(1) 冷却機(7)	9-02-8	原子炉補機(1) 冷却機(7)	9.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	フレイド分電盤トレナB3 (SSDB3)	3AB-H-51	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (4V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	5.30	原子炉補機(1) 冷却機(8)	9-02-8	原子炉補機(1) 冷却機(8)	9.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	フレイド分電盤トレナB4 (SSDB4)	3AB-H-51	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁 (4V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	5.30	原子炉補機(1) 冷却機(9)	9-02-13	原子炉補機(1) 冷却機(9)	9.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	A-直流コントロールセンタ (SDCA)	3AB-H-56	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (4V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.11	5.01	原子炉補機(1) 冷却機(10)	9-02-13-1	原子炉補機(1) 冷却機(10)	9.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	B-直流コントロールセンタ (SDCB)	3AB-H-51	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	④	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁 (4V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	原子炉補機(1) 冷却機(11)	9-02-14	原子炉補機(1) 冷却機(11)	9.090	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	A1-原子炉コントロールセンタ (SRCC-A1)	3AB-H-56	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4A・D, 4B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (4V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.20	5.10	原子炉補機(1) 冷却機(12)	9-02-14	原子炉補機(1) 冷却機(12)	9.090	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	関連設備	A2-原子炉コントロールセンタ (SRCC-A2)	3AB-H-56	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁 (4V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	4.98	原子炉補機(1) 冷却機(13)	9-02-8	原子炉補機(1) 冷却機(13)	9.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁 (4V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.69	2.69	原子炉補機(1) 冷却機(14)	9-02-14	原子炉補機(1) 冷却機(14)	1.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									
原子炉補機冷却系	4海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D海水ストレーナ (4S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	原子炉補機(1) 冷却機(15)	9-02-8	原子炉補機(1) 冷却機(15)	9.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉補機(1) 冷却機(16)	9-02-7	原子炉補機(1) 冷却機(16)	9.135	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由							
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（15/27）						表1 防護対象設備一覧（15/35）													
系統	設備	設置建屋	機能喪失高さ [※]			機能 ^①	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ			機能 ^①	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ			機能 ^①	安全機能		
			E.L. + [m]	E.L. + [m]	床上 [m]						*1 (m)	個別高さ *2 (m)	設定箇所						*1 (m)	個別高さ *2 (m)	設定箇所				
原子炉補機冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-25, 27, 28, 29)	海水ポンプブユリア	2.5	6.40	3.90	④	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却機 (A) (113-0001)	8-2F-7	原子炉補機冷却機	0.10	0.10	個別	④	原子炉補機冷却系	B1-原子炉コントロールセンター (3RCC-B1)	3AB-1F-N1	原子炉補機冷却機	0.10	0.10	個別	④			
電気盤	4主盤 (原子炉盤) (4MCR)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	④	電気盤	原子炉補機冷却機 (B) (113-0002)	8-2F-7	原子炉補機冷却機	0.10	0.10	個別	④	原子炉補機冷却系	B2-原子炉コントロールセンター (3RCC-B2)	3AB-1F-N1	原子炉補機冷却機	0.10	0.10	個別	④			
電気盤	4原子炉補助盤 (4RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	④	電気盤	4BCP3 安全電源装置 (A) (113-0003)	8-2F-14	原子炉補機冷却機	0.06	0.06	個別	④	原子炉補機冷却系	A1-バワーコントロールセンター (3PCC-A1)	3AB-1F-N6	原子炉補助盤	0.06	0.06	個別	④			
電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPP-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	④	電気盤	原子炉補機冷却機 (C) (113-0004)	8-2F-7	原子炉補機冷却機	0.06	0.06	個別	④	原子炉補機冷却系	A2-バワーコントロールセンター (3PCC-A2)	3AB-1F-N6	原子炉補助盤	0.06	0.06	個別	④			
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	④	電気盤	4BCP3 安全電源装置 (B) (113-0005)	8-2F-14	原子炉補機冷却機	0.06	0.06	個別	④	原子炉補機冷却系	B1-バワーコントロールセンター (3PCC-B1)	3AB-1F-N1	原子炉補助盤	0.06	0.06	個別	④			
電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	④	電気盤	中央制御室監視機 (A) (110-0014)	C-82F-1	制御室	0.110		④	④	原子炉補機冷却系	B2-バワーコントロールセンター (3PCC-B2)	3AB-1F-N1	原子炉補助盤	0.06	0.06	個別	④			
電気盤	4所内盤 (4HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	④	電気盤	中央制御室監視機 (B) (110-0015)	C-82F-2	制御室	0.100		④	④	原子炉補機冷却系	A-6.6kVメタラ (3MC-A)	3AB-1F-N6	原子炉補助盤	0.15	0.15	個別	④			
電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.86	0.06	④	電気盤	中央制御室監視機 (C) (110-0016)	C-82F-2	制御室	0.100		④	④	原子炉補機冷却系	B-6.6kVメタラ (3MC-B)	3AB-1F-N1	原子炉補助盤	0.15	0.15	個別	④			
電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05	④	電気盤	中央制御室監視機 (D) (110-0017)	C-82F-1	制御室	0.090		④	④	原子炉補機冷却系	A-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SMP1A)	3AB-1F-N6	原子炉補助盤	0.20	1.50	個別	④			
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4 フレノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	④	電気盤	中央制御室監視機 (E) (110-0018)	C-82F-1	制御室	1.425		④	④	原子炉補機冷却系	B-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SMP1B)	3AB-1F-N6	原子炉補助盤	0.20	1.50	個別	④			
電気盤	4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	④	電気盤	中央制御室監視機 (F) (110-0019)	C-82F-1	制御室	2.962		④	④	原子炉補機冷却系	C-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SMP1C)	3AB-1F-N6	原子炉補助盤	0.20	1.50	個別	④			
電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4IMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	④	電気盤	中央制御室監視機 (G) (110-0020)	C-82F-1	制御室	2.962		④	④											
電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	④	電気盤	中央制御室監視機 (H) (110-0021)	C-82F-1	制御室	1.110		④	④											
電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	④	電気盤	中央制御室監視機 (I) (110-0022)	C-82F-1	制御室	1.110		④	④											
電気盤	4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	④	電気盤	中央制御室監視機 (J) (110-0023)	C-82F-1	制御室	3.902		④	④											
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクランプスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	④	電気盤	中央制御室監視機 (K) (110-0024)	C-82F-2	制御室	3.703		④	④											
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2バワーセンター (4PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	④	電気盤	中央制御室監視機 (L) (110-0025)	C-82F-1	制御室	2.960		④	④											
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンター (4RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	④	電気盤	中央制御室監視機 (M) (110-0026)	C-82F-1	制御室	2.960		④	④											
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3) (4IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	④	電気盤	中央制御室監視機 (N) (110-0027)	C-82F-1	制御室	2.960		④	④											
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	④	電気盤	中央制御室監視機 (O) (110-0028)	C-82F-1	制御室	2.960		④	④											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(5/9)					表1 防護対象設備一覧（16/27）					表1 防護対象設備一覧（16/35）									
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個別測定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能	
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤 (4ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	電気注入手系	計装用電源 (A) 送電機 (A) (731-0003A)	C-82-4	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	D-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SRP10)	3SRP-B- No2	補機水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑤
電気盤	4AC, 4BD計装用低備分電盤 (4IBD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気注入手系	計装用電源 (A) 送電機 (A) (731-0003A)	C-82-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	A-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口止め弁 (3V-SW-671A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	0.70	0.76	基本	⑧
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンタ (4GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	電気注入手系	計装用電源 (A) 送電機 (A) (731-0003A)	C-82-4	制御建屋	0.700	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	B-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口止め弁 (3V-SW-671B)	3RB-K-N4	原子炉建屋	0.70	0.75	基本	⑧
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関 (本体10.0)	原子炉周辺建屋	3.5	3.91	0.41	電気注入手系	計装用電源 (A) 送電機 (A) (731-0003A)	C-82-4	制御建屋	0.700	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	C-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口止め弁 (3V-SW-671C)	3RB-K-N1	原子炉建屋	0.70	0.76	基本	⑤
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機 (本体10.0)	原子炉周辺建屋	3.5	3.83	0.33	電気注入手系	計装用電源 (A) 送電機 (A) (731-0003A)	C-82-4	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	D-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口止め弁 (3V-SW-671D)	3RB-K-N1	原子炉建屋	0.70	0.75	基本	⑧
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤 (4DGC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	電気注入手系	計装用電源 (A) 送電機 (A) (731-0003A)	C-82-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	A-ディーゼル発電機 (3DGE2A)	N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.30	0.38	基本	⑧
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイス冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気注入手系	計装用電源 (A) 送電機 (A) (731-0003A)	C-82-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	B-ディーゼル発電機 (3DGE2B)	N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.30	0.37	基本	⑧
格納容器スプレイス	4よう素除去薬品タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気注入手系	計装用電源 (A) 送電機 (A) (731-0003A)	C-82-4	制御建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑧
格納容器スプレイス	4格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (4PT-950, 951, 952, 953)	原子炉周辺建屋	17.1	22.09	4.99	原子炉補機冷却海水系 (A)	原子炉補機冷却海水ポンプ (A) (731-0003A)	B-80F-11	原子炉建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑧
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.33	0.83	原子炉補機冷却海水系 (A)	原子炉補機冷却海水ポンプ (B) (731-0003B)	B-80F-11	原子炉建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	※1: 保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2: 浸水により機能喪失する床面からの高さ						
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスポンプ身進操作箱 (4LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	①緊急時停止機能 ②事故時プラント状態の把握機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能						
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (4V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.91	1.91	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統	⑥安全上重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能						
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスポンプ再循環サンプル側入口格納容器隔離弁 (4V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.06	2.06	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統							
格納容器スプレイス	4A, 4B格納容器スプレイスヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (4V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.96	1.86	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統							
格納容器スプレイス	4A, 4B 4よう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (4V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.64	0.54	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統							
格納容器スプレイス	4A, 4B 4よう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.62	0.52	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統							
安全注入手系	4A, 4B 高圧注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.700	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統							
安全注入手系	4A, 4B 高圧注入ポンプ現場操作箱 (4LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.700	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統							
安全注入手系	4A, 4B 高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (4V-SI-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.94	1.94	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	0.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統							
安全注入手系	4A, 4B 高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (4V-SI-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	原子炉補機冷却海水系 (A)	※1: 放射線スイッチ (B) (731-0003B-1)	B-80F-11	原子炉建屋	2.300	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉補機冷却海水系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由			
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)						表1 防護対象設備一覧（17/27）						表1 防護対象設備一覧（17/35）									
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. +[m]	機能喪失高さ [※] E.L. +[m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	検引測 定高さ *2 (m)	設定 箇所	安全 機能	相違理由	
安全注入系	4A, 4B 48 高压注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (4V-SI-016A, B)	原子炉 周辺建屋	6.6	7.38	0.78	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301A)	3B-1P-1	原子炉建屋 原子炉	6.118 [※]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用 格納容器 取水系	A-蓄電池(3BATA)	3AB-H-N7	原子炉補助 建屋	0.57	0.57	基本	⑤		
安全注入系	4A, 4B 48 高压注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-SI-093A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.83	1.83	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301B)	3B-1P-1	原子炉建屋 原子炉	6.118 [※]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用 格納容器 取水系	B-蓄電池(3BATH)	3AB-H-N3	原子炉補助 建屋	0.57	0.57	基本	⑤		
安全注入系	4A, 4B 48 余熱除去ポンプRWSビット及び再循環サンプ側入口弁 (4V-SI-096A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.99	1.99	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301C)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.275	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	A-ディーゼル発電機 コントロールセンタ (3GCC-A)	3EB-H-N11	原子炉建屋	0.10	0.10	個別	⑤		
安全注入系	4A 48 高压注入流量 (I), 4B 48 高压注入流量 (II) (4PT-962, 963)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.08	1.08	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301D)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.290	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	B-ディーゼル発電機 コントロールセンタ (3GCC-B)	3EB-H-N10	原子炉建屋	0.10	0.10	個別	⑤		
安全注入系	4 燃料取替用水ビット水位 I, II, III, IV (4LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.10	1.00	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301E)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.320	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	A-ディーゼル発電機制御盤 (3EGHA)	3EB-H-N11	原子炉建屋	0.07	0.07	個別	⑤		
安全注入系、燃料取替用水系	4 燃料取替用水ビット	原子炉 周辺建屋	18.5	-	-	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301F)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.340	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	B-ディーゼル発電機制御盤 (3EGHB)	3EB-H-N10	原子炉建屋	0.07	0.07	個別	⑤		
燃料取替用水系	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	17.1	17.57	0.47	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301G)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.380	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	A-格納容器スプレイポンプ システム (3CPP1A)	3AB-L-7	原子炉補助 建屋	0.63	0.83	基本	⑤		
燃料取替用水系	4A, 4B 燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (4LB-33, 34)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.30	1.20	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301H)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.380	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	B-格納容器スプレイポンプ システム (3CPP1B)	3AB-L-4	原子炉補助 建屋	0.63	0.82	基本	⑤		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビット冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301I)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	A-格納容器スプレイポンプ システム (3CPP1A)	3AB-L-7	原子炉補助 建屋	0.63	0.83	基本	⑤		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビット	原子炉 周辺建屋	33.6	-	-	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301J)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	B-格納容器スプレイポンプ システム (3CPP1B)	3AB-L-4	原子炉補助 建屋	0.63	0.82	基本	⑤		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビットポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.72	0.72	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301K)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.995	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系	A-格納容器スプレイ冷却器 システム (3F-CP-013A)	3EB-E-2	原子炉建屋	1.12	1.29	基本	⑤		
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B 使用済燃料ビットポンプ現場操作箱 (4LB-24, 25)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301L)	3B-1P-2	原子炉建屋 原子炉	6.942	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系									
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気逃がし弁 (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉 周辺建屋	26.0	37.33	11.33	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301M)	3B-2P-1	原子炉建屋 原子炉	6.642	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系									
主蒸気系	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気圧力 (4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉 周辺建屋	29.0	30.00	1.00	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301N)	3B-2P-1	原子炉建屋 原子炉	6.545	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系									
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D)	原子炉 周辺建屋	33.6	36.78	3.18	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301O)	3B-2P-1	原子炉建屋 原子炉	6.545	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系									
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D 主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D 付属パネル)	原子炉 周辺建屋	29.0	29.40	0.40	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301P)	3B-1P-1	原子炉建屋 原子炉	6.680	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系									
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301Q)	3B-1P-1	原子炉建屋 原子炉	6.535	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系									
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D 空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.55	0.55	原子炉格納容器取水系(A)	原子炉格納容器取水ポンプ (742-0301R)	3B-1P-1	原子炉建屋 原子炉	6.535	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	格納容器 取水系									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(7/9)						表1 防護対象設備一覧（18/27）						表1 防護対象設備一覧（18/35）							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ +1(m)	個別調定高さ +2(m)	設定箇所	安全機能
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ現場操作箱 (4LB-103, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20	原子炉格納容器本系(3)	貯水用(3A)冷却水貯留槽(3A) (74C-9003B)	3-01-11	原子炉格納容器本系	0.530	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	B-格納容器スプレイ冷却器	3B0-E-2	原子炉建屋	1.12	1.44	基本	⑤
冷水系	4空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (4V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.14	1.14	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-4	原子炉格納容器本系	0.713	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	スプレイ系統						
冷水系	4A, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (4TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-4	原子炉格納容器本系	0.723	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	よう素除去薬品タンク注入	3AB-II-1	原子炉補助建屋	0.52	0.42	個別	⑤
冷水系	34A, 34B安全補機閉閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2798, 2799)	制御建屋	26.1	27.65	1.55	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	Aライン止め弁 (3V-CP-054A)						
換気空調系	4換気空調機 (4VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	Bライン止め弁 (3V-CP-054B)	3AB-II-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.30	1.20	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	よう素除去薬品タンク注入	3AB-II-1	原子炉補助建屋	0.52	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン現場操作箱 (4LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	Aライン止め弁 (3V-CP-054A)						
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン出口ダンパ (4D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.30	4.20	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	Bライン止め弁 (3V-CP-054B)	3AB-II-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン出口流量 (4FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.40	1.30	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	よう素除去薬品タンク注入	3AB-II-1	原子炉補助建屋	0.52	0.42	個別	⑤
換気空調系	4中央制御室温度(1), (2) (4TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.20	1.40	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	Bライン止め弁 (3V-CP-054B)	3AB-II-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.36	0.26	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(1) (3PT-590)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.15	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン現場操作箱 (4LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(II) (3PT-591)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.14	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン入口ダンパ (4D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	28.00	1.90	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(III) (3PT-592)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン流量調節ダンパ (4HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(IV) (3PT-593)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ダンパ流量設定 (4HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.40	1.30	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(V) (3PT-594)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.14	基本	⑤⑦
換気空調系	34A, 34B安全補機閉閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(VI) (3PT-595)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(VII) (3PT-596)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン現場操作箱 (34LB-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(VIII) (3PT-597)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	4安全系電気盤室給気止めダンパA, B (4D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.21	3.11	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(IX) (3PT-598)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパA (4D-VS-536)	制御建屋	28.7	31.07	2.37	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(X) (3PT-599)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパB (4D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(XI) (3PT-600)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦
換気空調系	4A, 4B安全補機閉閉器室温度 (4TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.23	1.43	原子炉格納容器本系(3)	3000系機器(3)冷却水圧力調整弁 (74C-9003B)	3-02-14	原子炉格納容器本系	0.360	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	原子炉格納容器本系(3)	格納容器圧力(XII) (3PT-601)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	⑤⑦

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由								
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)				表1 防護対象設備一覧（20/27）				表1 防護対象設備一覧（20/35）												
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	相違理由		
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室温度調節計 (4TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	換気空調機非常用冷却水ポンプ (3)	3B-SI-002	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ第2ミニブローヤ (3V-SI-015A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④	
換気空調系	4ほう酸タンク室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.30	1.30	換気空調機非常用冷却水ポンプ (3)	3B-SI-003	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ第1ミニブローヤ (3V-SI-014B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④	
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.93	0.63	中央制御室制御盤 (3L1)	C-02-1	制御建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ第2ミニブローヤ (3V-SI-015B)	3AB-K-12	原子炉補助建屋	0.72	0.73	基本	②④	
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (4LR-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	中央制御室電子盤 (3E1)	C-02-1	制御建屋	0.20	0.20	0.00	高圧注入系統	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020A)	3AB-X-21	原子炉補助建屋	0.93	1.01	個別	②④	
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (4D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.65	0.35	中央制御室電子盤 (3E1)	C-02-2	制御建屋	0.20	0.20	0.00	高圧注入系統	B-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁 (3V-SI-020B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.93	1.00	個別	②④	
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (4HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.79	1.49	中央制御室外原子炉停止装置盤 (3E2)	C-02-6-1	制御建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	ほう酸注入タンク入口弁A (3V-SI-032A)	3AB-P-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④	
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (4HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.68	0.38	換気機AC(A)	3-B-V-101 P 4-02 (3E3-F101)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	ほう酸注入タンク入口弁B (3V-SI-032B)	3AB-P-23	原子炉補助建屋	0.89	0.98	基本	②④	
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (4HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.28	1.98	換気機AC(A)	3-B-V-102 MEC 3E-1 (3E3-F102)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A (3V-SI-036A)	3AB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	⑤	
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (4FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	換気機AC(A)	3-B-V-103 MEC 3E-3 (3E3-F103)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B (3V-SI-036B)	3AB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.09	基本	②④⑤	
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.91	1.61	換気機AC(A)	3-B-V-104 MEC 3E-4 (3E3-F104)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁 (3V-SI-051)	3AB-E-2	原子炉建屋	0.60	1.10	基本	①⑤	
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.51	1.21	換気機AC(A)	3-B-V-105 MEC 3E-5 (3E3-F105)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	A-安全注入ポンプ再循環サンプ吸入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-081A)	3AB-J-2	原子炉建屋	2.90	3.86	基本	①⑤	
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (4HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.31	2.01	換気機AC(A)	3-B-V-106 MEC 3E-6 (3E3-F106)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	高圧注入系統	B-安全注入ポンプ再循環サンプ吸入口C/V外側隔離弁 (3V-SI-081B)	3AB-J-1	原子炉建屋	2.90	4.07	個別	①⑤	
換気空調系	4A, 4Bアンユラス空気浄化ファン (4VSEPA, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.46	0.56	換気機AC(A)	3-B-V-107 高圧電圧制御盤 (3E4-F107)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00	燃料取替用水系統	A-燃料取替用水ポンプ (GRPP1A)	3AB-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	③	
換気空調系	4A, 4Bアンユラス空気浄化ファン現場操作箱 (4LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	換気機AC(B)	3-B-V-108 P 4-03 (3E4-F108)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00									
換気空調系	4A, 4Bアンユラス排気ダンパ (4D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.35	0.45	換気機AC(B)	3-B-V-109 MEC 3E-1 (3E4-F109)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00									
換気空調系	4A, 4Bアンユラス戻りダンパ (4D-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.21	2.11	換気機AC(B)	3-B-V-110 MEC 3E-2 (3E4-F110)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00									
換気空調系	4A, 4Bアンユラス全量排気弁 (4V-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.98	2.08	換気機AC(B)	3-B-V-111 MEC 3E-3 (3E4-F111)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00									
換気空調系	4A, 4Bアンユラス少量排気弁 (4V-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.27	2.37	換気機AC(B)	3-B-V-112 MEC 3E-4 (3E4-F112)	原子炉補助建屋	0.00	0.00	0.00									

※ 没水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (21/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種類</th> <th>E.L.^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護用AC(B)</td><td>圧力 480V 電圧 20-3 (324-F103)</td><td>B-81P-12</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)</td><td>圧力 480V 電圧 20-4 (324-F111)</td><td>B-81P-12</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>㉞</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)</td><td>圧力 480V 電圧 20-5 (324-F112)</td><td>B-1P-16-1</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)</td><td>圧力 480V 電圧 20-1 (324-F102)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)</td><td>圧力 480V 電圧 20-2 (324-F104)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)</td><td>圧力 480V 交流電圧制御装置20 (324-F704)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.075</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)</td><td>圧力 480V 交流電圧制御装置20 (324-F704)</td><td>D9-FP-2-2</td><td>重要物管理付 （非常停止機）</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)PCD</td><td>A. 8kV オメガP 6-09 (322-F105)</td><td>B-81P-9</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)PCD</td><td>30CV 駆動力配電装置(30V) (323-F105)</td><td>B-81P-9</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)PCD</td><td>圧力 480V 電圧 20 (324-F112)</td><td>B-1P-15-1</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.000</td><td>㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)PCD</td><td>高圧炉心、スプレイ系(200V交流分電盤) (347-F053)</td><td>B-81P-9</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.145</td><td>㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用AC(B)PCD</td><td>30CV交流分電盤(30V)非常停止機 (347-F053)</td><td>B-81P-9</td><td>原子炉建屋 付機器</td><td>0.075</td><td>㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>安全保護系(電源)</td><td>特殊電圧電圧制御用停止型無停電電源装置2A (346-F003A)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.100</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>安全保護系(電源)</td><td>特殊電圧電圧制御用停止型無停電電源装置2B (346-F003B)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>安全保護系(電源)</td><td>直流120V 特殊電圧交流分電盤2A-1 (346-F051)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.145</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>安全保護系(電源)</td><td>直流120V 特殊電圧交流分電盤2A-1 (346-F052)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.145</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>安全保護系(電源)</td><td>中央制御室用電圧制御装置2A (347-F003A)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>安全保護系(電源)</td><td>中央制御室用電圧制御装置2B (347-F003B)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>安全保護系(電源)</td><td>中央制御室120V交流分電盤2A (347-F051)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>安全保護系(電源)</td><td>中央制御室120V交流分電盤2B (347-F052)</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用DC(A)</td><td>120V 2線電圧 1-1</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用DC(A)</td><td>120V 2線電圧 1-1</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保護用DC(A)</td><td>120V 2線電圧 1-1</td><td>C-81P-4</td><td>制御建屋</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：炉心より機能喪失する床面からの高さ（E.L.高さ0.075mを考慮） ※2：安全機能 ① 緊急停止機能 ② 非常停止機能 ③ 非常停止機能 ④ 原子炉建屋付機器 ⑤ 非常停止機能 ⑥ 非常停止機能 ⑦ 非常停止機能 ⑧ 非常停止機能 ⑨ 非常停止機能 ⑩ 非常停止機能 ⑪ 非常停止機能 ⑫ 非常停止機能 ⑬ 非常停止機能 ⑭ 非常停止機能 ⑮ 非常停止機能 ⑯ 非常停止機能 ⑰ 非常停止機能 ⑱ 非常停止機能 ⑲ 非常停止機能 ⑳ 非常停止機能 ㉑ 非常停止機能 ㉒ 非常停止機能 ㉓ 非常停止機能 ㉔ 非常停止機能 ㉕ 非常停止機能 ㉖ 非常停止機能 ㉗ 非常停止機能 ㉘ 非常停止機能 ㉙ 非常停止機能 ㉚ 非常停止機能 ㉛ 非常停止機能 ㉜ 非常停止機能 ㉝ 非常停止機能 ㉞ 非常停止機能 ㉟ 非常停止機能 ㊱ 非常停止機能 ㊲ 非常停止機能 ㊳ 非常停止機能 ㊴ 非常停止機能 ㊵ 非常停止機能 ㊶ 非常停止機能 ㊷ 非常停止機能 ㊸ 非常停止機能 ㊹ 非常停止機能 ㊺ 非常停止機能 ㊻ 非常停止機能 ㊼ 非常停止機能 ㊽ 非常停止機能 ㊾ 非常停止機能 ㊿ 非常停止機能</p>	系統	設備	区画番号	設置種類	E.L. ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-3 (324-F103)	B-81P-12	原子炉建屋 付機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-4 (324-F111)	B-81P-12	原子炉建屋 付機器	0.000	㉞	保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-5 (324-F112)	B-1P-16-1	原子炉建屋 付機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-1 (324-F102)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-2 (324-F104)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)	圧力 480V 交流電圧制御装置20 (324-F704)	C-81P-4	制御建屋	0.075	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)	圧力 480V 交流電圧制御装置20 (324-F704)	D9-FP-2-2	重要物管理付 （非常停止機）	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)PCD	A. 8kV オメガP 6-09 (322-F105)	B-81P-9	原子炉建屋 付機器	0.000	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)PCD	30CV 駆動力配電装置(30V) (323-F105)	B-81P-9	原子炉建屋 付機器	0.000	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)PCD	圧力 480V 電圧 20 (324-F112)	B-1P-15-1	原子炉建屋 付機器	0.000	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)PCD	高圧炉心、スプレイ系(200V交流分電盤) (347-F053)	B-81P-9	原子炉建屋 付機器	0.145	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用AC(B)PCD	30CV交流分電盤(30V)非常停止機 (347-F053)	B-81P-9	原子炉建屋 付機器	0.075	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	安全保護系(電源)	特殊電圧電圧制御用停止型無停電電源装置2A (346-F003A)	C-81P-4	制御建屋	0.100	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	安全保護系(電源)	特殊電圧電圧制御用停止型無停電電源装置2B (346-F003B)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	安全保護系(電源)	直流120V 特殊電圧交流分電盤2A-1 (346-F051)	C-81P-4	制御建屋	0.145	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	安全保護系(電源)	直流120V 特殊電圧交流分電盤2A-1 (346-F052)	C-81P-4	制御建屋	0.145	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	安全保護系(電源)	中央制御室用電圧制御装置2A (347-F003A)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	安全保護系(電源)	中央制御室用電圧制御装置2B (347-F003B)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	安全保護系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2A (347-F051)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	安全保護系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2B (347-F052)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用DC(A)	120V 2線電圧 1-1	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用DC(A)	120V 2線電圧 1-1	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保護用DC(A)	120V 2線電圧 1-1	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (21/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種類</th> <th>基本設定高さ*1(m)</th> <th>個別測定高さ*2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>燃料取替用水系統</td><td>B-燃料取替用水ポンプ (38FP1B)</td><td>38B-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>0.51</td><td>0.53</td><td>基本</td><td>㉞</td></tr> <tr><td>燃料取替用水系統</td><td>燃料取替用水ピット水位 (I) (3LT-1400)</td><td>38B-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>1.04</td><td>基本</td><td>②④⑦</td></tr> <tr><td>燃料取替用水系統</td><td>燃料取替用水ピット水位 (II) (3LT-1401)</td><td>38B-D-1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>1.04</td><td>基本</td><td>②④⑦</td></tr> <tr><td>主給水系統</td><td>A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.39</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主給水系統</td><td>B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.40</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主給水系統</td><td>C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>1.30</td><td>2.40</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気過し弁 (CPCV-3610)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.25</td><td>基本</td><td>③③</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気過し弁 (CPCV-3620)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.24</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気過し弁 (CPCV-3630)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.62</td><td>9.27</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>9.00</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>9.00</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>8.30</td><td>8.65</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528A)</td><td>38B-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.60</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> </tbody> </table> <p>*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②木脇昇維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置種類	基本設定高さ*1(m)	個別測定高さ*2(m)	設定箇所	安全機能	燃料取替用水系統	B-燃料取替用水ポンプ (38FP1B)	38B-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	㉞	燃料取替用水系統	燃料取替用水ピット水位 (I) (3LT-1400)	38B-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②④⑦	燃料取替用水系統	燃料取替用水ピット水位 (II) (3LT-1401)	38B-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②④⑦	主給水系統	A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)	38B-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.39	基本	③⑤	主給水系統	B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)	38B-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	③⑤	主給水系統	C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)	38B-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	③⑤	主蒸気系統	A-主蒸気過し弁 (CPCV-3610)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.25	基本	③③	主蒸気系統	B-主蒸気過し弁 (CPCV-3620)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.24	基本	③⑤	主蒸気系統	C-主蒸気過し弁 (CPCV-3630)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.27	基本	③⑤	主蒸気系統	A-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	③⑤	主蒸気系統	B-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	③⑤	主蒸気系統	C-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.30	8.65	基本	③⑤	主蒸気系統	A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528A)	38B-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.60	基本	③⑤	
系統	設備	区画番号	設置種類	E.L. ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-3 (324-F103)	B-81P-12	原子炉建屋 付機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-4 (324-F111)	B-81P-12	原子炉建屋 付機器	0.000	㉞																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-5 (324-F112)	B-1P-16-1	原子炉建屋 付機器	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-1 (324-F102)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)	圧力 480V 電圧 20-2 (324-F104)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)	圧力 480V 交流電圧制御装置20 (324-F704)	C-81P-4	制御建屋	0.075	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)	圧力 480V 交流電圧制御装置20 (324-F704)	D9-FP-2-2	重要物管理付 （非常停止機）	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)PCD	A. 8kV オメガP 6-09 (322-F105)	B-81P-9	原子炉建屋 付機器	0.000	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)PCD	30CV 駆動力配電装置(30V) (323-F105)	B-81P-9	原子炉建屋 付機器	0.000	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)PCD	圧力 480V 電圧 20 (324-F112)	B-1P-15-1	原子炉建屋 付機器	0.000	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)PCD	高圧炉心、スプレイ系(200V交流分電盤) (347-F053)	B-81P-9	原子炉建屋 付機器	0.145	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用AC(B)PCD	30CV交流分電盤(30V)非常停止機 (347-F053)	B-81P-9	原子炉建屋 付機器	0.075	㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
安全保護系(電源)	特殊電圧電圧制御用停止型無停電電源装置2A (346-F003A)	C-81P-4	制御建屋	0.100	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
安全保護系(電源)	特殊電圧電圧制御用停止型無停電電源装置2B (346-F003B)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
安全保護系(電源)	直流120V 特殊電圧交流分電盤2A-1 (346-F051)	C-81P-4	制御建屋	0.145	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
安全保護系(電源)	直流120V 特殊電圧交流分電盤2A-1 (346-F052)	C-81P-4	制御建屋	0.145	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
安全保護系(電源)	中央制御室用電圧制御装置2A (347-F003A)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
安全保護系(電源)	中央制御室用電圧制御装置2B (347-F003B)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
安全保護系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2A (347-F051)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
安全保護系(電源)	中央制御室120V交流分電盤2B (347-F052)	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用DC(A)	120V 2線電圧 1-1	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用DC(A)	120V 2線電圧 1-1	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保護用DC(A)	120V 2線電圧 1-1	C-81P-4	制御建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
系統	設備	区画番号	設置種類	基本設定高さ*1(m)	個別測定高さ*2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取替用水系統	B-燃料取替用水ポンプ (38FP1B)	38B-D-1	原子炉建屋	0.51	0.53	基本	㉞																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取替用水系統	燃料取替用水ピット水位 (I) (3LT-1400)	38B-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②④⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取替用水系統	燃料取替用水ピット水位 (II) (3LT-1401)	38B-D-1	原子炉建屋	1.03	1.04	基本	②④⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系統	A-主給水隔離弁 (3V-FW-538A)	38B-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.39	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系統	B-主給水隔離弁 (3V-FW-538B)	38B-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主給水系統	C-主給水隔離弁 (3V-FW-538C)	38B-D-N51	原子炉建屋	1.30	2.40	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気過し弁 (CPCV-3610)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.25	基本	③③																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気過し弁 (CPCV-3620)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.24	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	C-主蒸気過し弁 (CPCV-3630)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.62	9.27	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.30	9.00	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	C-主蒸気過し弁 (付属バネル) (-)	38B-D-N51	原子炉建屋	8.30	8.65	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528A)	38B-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.60	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>表1 防護対象設備一覧 (22/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種類</th> <th>E.L.^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高圧変電所(パワーセンタ)2 (342-700A)</td><td>C-017-3</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高圧変電所 (342-700A)</td><td>C-017-3</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)</td><td>C-017-3</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)</td><td>C-017-3</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高圧分電盤①-1 (342-705A)</td><td>C-017-3</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(A)</td><td>120V 高圧電線分岐盤 (342-711A)</td><td>29-27-2-2</td><td>保安用設備(1) (非常用電源)</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高圧変電所(パワーセンタ)2 (342-700A)</td><td>C-017-4</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高圧変電所 (342-700A)</td><td>C-017-4</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)</td><td>C-017-4</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)</td><td>C-017-4</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高圧分電盤①-1 (342-705A)</td><td>C-017-4</td><td>新設置</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(B)</td><td>120V 高圧電線分岐盤 (342-711A)</td><td>29-27-2-2</td><td>保安用設備(1) (非常用電源)</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用DC(BPCS)</td><td>120V 制御電池 (1)</td><td>B-027-4</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>保安用DC(BPCS)</td><td>120V 制御電池 (342-703A)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>保安用DC(BPCS)</td><td>120V 高圧主母線盤(B)7(C) (342-703A)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>保安用DC(BPCS)</td><td>120V 高圧主母線盤(B)7(C) (342-703A)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>保安用DC(BPCS)</td><td>120V 高圧分電盤 (342-709A)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>保安用DC(BPCS)</td><td>120V 高圧電線分岐盤 (342-719A)</td><td>B-017-9</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (A)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)1号機(1) (321-7275A)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (B)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)2号機(1)調整装置 (321-7275A)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (B)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)3号機(1)調整装置 (321-7275A)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (B)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)4号機(1)調整装置 (321-7275A)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電機 (B)</td><td>保安用ディーゼル発電機(1)5号機(1)調整装置 (321-7275A)</td><td>B-117-13</td><td>原子炉建屋 行機機</td><td>0.00</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：洪水により機能喪失する床面からの高さ（※3表3.0.025aを参照） ※2：安全機能 ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置種類	E.L. ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	保安用DC(A)	120V 高圧変電所(パワーセンタ)2 (342-700A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高圧変電所 (342-700A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高圧分電盤①-1 (342-705A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(A)	120V 高圧電線分岐盤 (342-711A)	29-27-2-2	保安用設備(1) (非常用電源)	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高圧変電所(パワーセンタ)2 (342-700A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高圧変電所 (342-700A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高圧分電盤①-1 (342-705A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(B)	120V 高圧電線分岐盤 (342-711A)	29-27-2-2	保安用設備(1) (非常用電源)	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用DC(BPCS)	120V 制御電池 (1)	B-027-4	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥	保安用DC(BPCS)	120V 制御電池 (342-703A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥	保安用DC(BPCS)	120V 高圧主母線盤(B)7(C) (342-703A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥	保安用DC(BPCS)	120V 高圧主母線盤(B)7(C) (342-703A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥	保安用DC(BPCS)	120V 高圧分電盤 (342-709A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥	保安用DC(BPCS)	120V 高圧電線分岐盤 (342-719A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥	保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)1号機(1) (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用ディーゼル発電機 (B)	保安用ディーゼル発電機(1)2号機(1)調整装置 (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用ディーゼル発電機 (B)	保安用ディーゼル発電機(1)3号機(1)調整装置 (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用ディーゼル発電機 (B)	保安用ディーゼル発電機(1)4号機(1)調整装置 (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	保安用ディーゼル発電機 (B)	保安用ディーゼル発電機(1)5号機(1)調整装置 (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<p>表1 防護対象設備一覧 (22/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置種類</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>個別測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-5288)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.57</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528C)</td><td>3RB-D-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.58</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)</td><td>3RB-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)</td><td>3RB-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)</td><td>3RB-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.80</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系統</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)</td><td>3RB-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> </tbody> </table> <p>*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置種類	基本設定高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	主蒸気系統	B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-5288)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.57	基本	③⑤	主蒸気系統	C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.58	基本	③⑤	主蒸気系統	A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気系統	B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気系統	C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.80	個別	③⑦	主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	
系統	設備	区画番号	設置種類	E.L. ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高圧変電所(パワーセンタ)2 (342-700A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高圧変電所 (342-700A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高圧分電盤①-1 (342-705A)	C-017-3	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(A)	120V 高圧電線分岐盤 (342-711A)	29-27-2-2	保安用設備(1) (非常用電源)	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高圧変電所(パワーセンタ)2 (342-700A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高圧変電所 (342-700A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高圧主母線盤(A)9(C) (342-700A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高圧分電盤①-1 (342-705A)	C-017-4	新設置	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(B)	120V 高圧電線分岐盤 (342-711A)	29-27-2-2	保安用設備(1) (非常用電源)	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BPCS)	120V 制御電池 (1)	B-027-4	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BPCS)	120V 制御電池 (342-703A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BPCS)	120V 高圧主母線盤(B)7(C) (342-703A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BPCS)	120V 高圧主母線盤(B)7(C) (342-703A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BPCS)	120V 高圧分電盤 (342-709A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用DC(BPCS)	120V 高圧電線分岐盤 (342-719A)	B-017-9	原子炉建屋 行機機	0.00	③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (A)	保安用ディーゼル発電機(1)1号機(1) (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (B)	保安用ディーゼル発電機(1)2号機(1)調整装置 (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (B)	保安用ディーゼル発電機(1)3号機(1)調整装置 (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (B)	保安用ディーゼル発電機(1)4号機(1)調整装置 (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
保安用ディーゼル発電機 (B)	保安用ディーゼル発電機(1)5号機(1)調整装置 (321-7275A)	B-117-13	原子炉建屋 行機機	0.00	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																														
系統	設備	区画番号	設置種類	基本設定高さ #1(m)	個別測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-5288)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.57	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528C)	3RB-D-N51	原子炉建屋	7.12	7.58	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (-)	3RB-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.80	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												
主蒸気系統	B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)	3RB-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>動員測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>潤滑油加熱器 (344-303)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 (344-304)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>1.240</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル機関 (344-305)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.960</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>排水加熱器ポンプ (344-306)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.930</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>潤滑油ドレインポンプ (344-308)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.940</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>燃料移送ポンプ (344-326)</td><td>107-2</td><td>電機ビル付</td><td>0.440</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>オイルパン監視スイッチ (344-41310)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.970</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>潤滑油供給アンペア監視スイッチ (344-41312)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.140</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>燃料デシントク監視 (344-41320)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.140</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>機関油温度デシジョンスイッチ (344-41325)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.900</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>燃料ハンドルの停止デシジョンスイッチ (344-41341)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.970</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>機関付排水ポンプ停止力スイッチ (344-41342)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.400</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>機関付排水ポンプ停止力スイッチ (344-41343)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.400</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-41344)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>1.400</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-41345)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>1.400</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>保安用D/G(D/G) 遠隔操出器 (344-50340)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.140</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>3FC36系-1運転中 (344-50430)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.740</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>3FC36系-2運転中 (344-50431)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.740</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>3FC36系-1停止中 (344-50432)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.230</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>3FC36系-2停止中 (344-50433)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.230</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>機関油10ディーゼル油圧水漏れスイッチ (344-50440)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>0.450</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>保安用ディーゼル発電設備 (BPS)</td><td>潤滑油ドレインポンプ入口漏れスイッチ (344-50440)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋付属機</td><td>1.400</td><td>0.000</td><td></td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：図表により機能喪失する床面からの高さ（※1上高さ0.000mを基準）</p> <p>※2：保安機能 ① 緊急停止機能 ② 保護停止機能 ③ 異常停止機能 ④ 原子炉停止後の除熱機能 ⑤ 自動停止機能 ⑥ 停止機能 ⑦ 停止機能 ⑧ 異常検知機能 ⑨ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑩ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑪ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑫ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑬ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑭ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑮ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑯ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑰ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑱ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑲ 燃料供給ポンプ停止機能 ⑳ 燃料供給ポンプ停止機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	動員測定高さ #2(m)	設定箇所	機能	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	潤滑油加熱器 (344-303)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.940	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 (344-304)	0-07-13	原子炉建屋付属機	1.240	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	高圧炉心スプレイ系ディーゼル機関 (344-305)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.960	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	排水加熱器ポンプ (344-306)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.930	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	潤滑油ドレインポンプ (344-308)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.940	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	燃料移送ポンプ (344-326)	107-2	電機ビル付	0.440	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	オイルパン監視スイッチ (344-41310)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.970	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	潤滑油供給アンペア監視スイッチ (344-41312)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.140	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	燃料デシントク監視 (344-41320)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.140	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関油温度デシジョンスイッチ (344-41325)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.900	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	燃料ハンドルの停止デシジョンスイッチ (344-41341)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.970	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関付排水ポンプ停止力スイッチ (344-41342)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.400	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関付排水ポンプ停止力スイッチ (344-41343)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.400	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-41344)	0-07-13	原子炉建屋付属機	1.400	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-41345)	0-07-13	原子炉建屋付属機	1.400	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	保安用D/G(D/G) 遠隔操出器 (344-50340)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.140	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	3FC36系-1運転中 (344-50430)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.740	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	3FC36系-2運転中 (344-50431)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.740	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	3FC36系-1停止中 (344-50432)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.230	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	3FC36系-2停止中 (344-50433)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.230	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関油10ディーゼル油圧水漏れスイッチ (344-50440)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.450	0.000		①	保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	潤滑油ドレインポンプ入口漏れスイッチ (344-50440)	0-07-13	原子炉建屋付属機	1.400	0.000		①	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ #1(m)</th> <th>動員測定高さ #2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(2)(3TS-2750)</td><td>3DG-II-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.67</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(3)(3TS-2753)</td><td>3DG-II-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.41</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(4)(3TS-2754)</td><td>3DG-II-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.42</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3YSF40A)</td><td>3RB-II-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.55</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3YSF40B)</td><td>3RB-II-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.54</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(SHC-2670)</td><td>3RB-II-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.53</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(SHC-2680)</td><td>3RB-II-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.54</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2670)</td><td>3RB-II-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.44</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2680)</td><td>3RB-II-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.45</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2671)</td><td>3RB-II-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.39</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2672)</td><td>3RB-II-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2681)</td><td>3RB-II-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：図表により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②本臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④中心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧外部からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	動員測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(2)(3TS-2750)	3DG-II-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥	換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(3)(3TS-2753)	3DG-II-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥	換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(4)(3TS-2754)	3DG-II-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3YSF40A)	3RB-II-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3YSF40B)	3RB-II-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(SHC-2670)	3RB-II-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(SHC-2680)	3RB-II-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2670)	3RB-II-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	③	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2680)	3RB-II-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	③	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2671)	3RB-II-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③	換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2672)	3RB-II-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2681)	3RB-II-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	動員測定高さ #2(m)	設定箇所	機能																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	潤滑油加熱器 (344-303)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.940	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 (344-304)	0-07-13	原子炉建屋付属機	1.240	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	高圧炉心スプレイ系ディーゼル機関 (344-305)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.960	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	排水加熱器ポンプ (344-306)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.930	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	潤滑油ドレインポンプ (344-308)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.940	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	燃料移送ポンプ (344-326)	107-2	電機ビル付	0.440	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	オイルパン監視スイッチ (344-41310)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.970	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	潤滑油供給アンペア監視スイッチ (344-41312)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.140	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	燃料デシントク監視 (344-41320)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.140	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関油温度デシジョンスイッチ (344-41325)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.900	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	燃料ハンドルの停止デシジョンスイッチ (344-41341)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.970	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関付排水ポンプ停止力スイッチ (344-41342)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.400	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関付排水ポンプ停止力スイッチ (344-41343)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.400	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-41344)	0-07-13	原子炉建屋付属機	1.400	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-41345)	0-07-13	原子炉建屋付属機	1.400	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	保安用D/G(D/G) 遠隔操出器 (344-50340)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.140	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	3FC36系-1運転中 (344-50430)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.740	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	3FC36系-2運転中 (344-50431)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.740	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	3FC36系-1停止中 (344-50432)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.230	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	3FC36系-2停止中 (344-50433)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.230	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	機関油10ディーゼル油圧水漏れスイッチ (344-50440)	0-07-13	原子炉建屋付属機	0.450	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保安用ディーゼル発電設備 (BPS)	潤滑油ドレインポンプ入口漏れスイッチ (344-50440)	0-07-13	原子炉建屋付属機	1.400	0.000		①																																																																																																																																																																																																																																																																																												
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(m)	動員測定高さ #2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(2)(3TS-2750)	3DG-II-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(3)(3TS-2753)	3DG-II-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	B-ディーゼル発電機室内空気温度(4)(3TS-2754)	3DG-II-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3YSF40A)	3RB-II-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン(3YSF40B)	3RB-II-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(SHC-2670)	3RB-II-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ(SHC-2680)	3RB-II-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2670)	3RB-II-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2680)	3RB-II-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2671)	3RB-II-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2672)	3RB-II-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1)(3TS-2681)	3RB-II-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																														
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/27)</p> <table border="1" data-bbox="698 252 1270 590"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置地層</th> <th>上L¹⁾(m)</th> <th>機能²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入口監視系(1749-50-4733)</td><td>9-12-9</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>3.244</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4734)</td><td>9-12-9</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>3.506</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(B)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4735)</td><td>9-12-9</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>3.258</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(B)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4736)</td><td>9-12-9</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>3.494</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4737)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>1.976</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4738)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>1.975</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4739)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>4.434</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4740)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>4.434</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(B)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4741)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>4.434</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(B)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4742)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>1.971</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(B)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4743)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>1.971</td><td>①</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(B)</td><td>格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4744)</td><td>9-12-10</td><td>原子炉建屋 原子炉格納箱</td><td>4.434</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1：床面より機能喪失する床面からの高さ（※2高さ4.955mを考慮） ※2：①緊急時停止機能 ②水漏れ維持機能 ③異常停止機能 ④原子炉格納箱内監視機能 ⑤移動防止機能 ⑥位置検出機能 ⑦冷却水供給機能 ⑧冷却水供給機能 ⑨冷却水供給機能 ⑩冷却水供給機能 ⑪冷却水供給機能 ⑫冷却水供給機能 ⑬冷却水供給機能 ⑭冷却水供給機能 ⑮冷却水供給機能 ⑯冷却水供給機能 ⑰冷却水供給機能 ⑱冷却水供給機能 ⑲冷却水供給機能 ⑳冷却水供給機能 ※3：設計図書に於て設計予定の空室 ※4：設計図書に於て設計予定の空室</p>	系統	設備	区画番号	設置地層	上L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入口監視系(1749-50-4733)	9-12-9	原子炉建屋 原子炉格納箱	3.244	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4734)	9-12-9	原子炉建屋 原子炉格納箱	3.506	①	原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4735)	9-12-9	原子炉建屋 原子炉格納箱	3.258	①	原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4736)	9-12-9	原子炉建屋 原子炉格納箱	3.494	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4737)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	1.976	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4738)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	1.975	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4739)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	4.434	①	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4740)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	4.434	①	原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4741)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	4.434	①	原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4742)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	1.971	①	原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4743)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	1.971	①	原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4744)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	4.434	①	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/35)</p> <table border="1" data-bbox="1288 252 1859 869"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置地層</th> <th>基本設定高さ *1(m)</th> <th>個別測定高さ *2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2682)</td><td>3RB-H-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.41</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42A)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42B)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2701)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.64</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2711)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.63</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3BC-2701)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.76</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3BC-2711)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.75</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)</td><td>3RB-H-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)</td><td>3RB-H-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.40</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>A-安全補機閉閉器室給気ファン(3VSP27A)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系統</td><td>B-安全補機閉閉器室給気ファン(3VSP27B)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*1：保守的に機能喪失すると想定した床面からの高さ *2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②水漏れ維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット冷却機能 ⑩ヒット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置地層	基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2682)	3RB-H-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3BC-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3BC-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系統	A-安全補機閉閉器室給気ファン(3VSP27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	換気空調系統	B-安全補機閉閉器室給気ファン(3VSP27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	
系統	設備	区画番号	設置地層	上L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入口監視系(1749-50-4733)	9-12-9	原子炉建屋 原子炉格納箱	3.244	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4734)	9-12-9	原子炉建屋 原子炉格納箱	3.506	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4735)	9-12-9	原子炉建屋 原子炉格納箱	3.258	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)9号シャトル入り監視系(1749-50-4736)	9-12-9	原子炉建屋 原子炉格納箱	3.494	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4737)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	1.976	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4738)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	1.975	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4739)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	4.434	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4740)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	4.434	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4741)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	4.434	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4742)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	1.971	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4743)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	1.971	①																																																																																																																																																																																												
原子炉格納箱監視系(B)	格納箱内監視系モータ系(31)5号シャトル入り監視系(1749-50-4744)	9-12-10	原子炉建屋 原子炉格納箱	4.434	①																																																																																																																																																																																												
系統	設備	区画番号	設置地層	基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2682)	3RB-H-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室給気ファン(3VSP42B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3BCD-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3BC-2701)	3RB-H-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3BC-2711)	3RB-H-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	A-安全補機閉閉器室給気ファン(3VSP27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																										
換気空調系統	B-安全補機閉閉器室給気ファン(3VSP27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
		表1 防護対象設備一覧 (28/35)																																																																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ *1(m)</th> <th>個別測定高さ *2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-安全系計装盤室室内空気温度(3TS-2790)</td> <td>3AB-F-N13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-安全系計装盤室室内空気温度(3TS-2791)</td> <td>3AB-F-N2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-蓄電池室排気ファン(3YSF31A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.52</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-蓄電池室排気ファン(3YSF31B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.51</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室循環ファン(3YSF20A)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.17</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室循環ファン(3YSF20B)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.18</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室給気ファン(3YSF21A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室給気ファン(3YSF21B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.13</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-VS-603A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-VS-603B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-VS-604A)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-VS-604B)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室循環風量調節ダンパ(3HCD-2836)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊦</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	A-安全系計装盤室室内空気温度(3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊦	換気空調系統	B-安全系計装盤室室内空気温度(3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊦	換気空調系統	A-蓄電池室排気ファン(3YSF31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊦	換気空調系統	B-蓄電池室排気ファン(3YSF31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊦	換気空調系統	A-中央制御室循環ファン(3YSF20A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊦	換気空調系統	B-中央制御室循環ファン(3YSF20B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊦	換気空調系統	A-中央制御室給気ファン(3YSF21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊦	換気空調系統	B-中央制御室給気ファン(3YSF21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊦	換気空調系統	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊦	換気空調系統	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊦	換気空調系統	A-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-VS-604A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊦	換気空調系統	B-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-VS-604B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊦	換気空調系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ(3HCD-2836)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊦	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																												
換気空調系統	A-安全系計装盤室室内空気温度(3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊦																																																																																																												
換気空調系統	B-安全系計装盤室室内空気温度(3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊦																																																																																																												
換気空調系統	A-蓄電池室排気ファン(3YSF31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊦																																																																																																												
換気空調系統	B-蓄電池室排気ファン(3YSF31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊦																																																																																																												
換気空調系統	A-中央制御室循環ファン(3YSF20A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊦																																																																																																												
換気空調系統	B-中央制御室循環ファン(3YSF20B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊦																																																																																																												
換気空調系統	A-中央制御室給気ファン(3YSF21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊦																																																																																																												
換気空調系統	B-中央制御室給気ファン(3YSF21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊦																																																																																																												
換気空調系統	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊦																																																																																																												
換気空調系統	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ(3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊦																																																																																																												
換気空調系統	A-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-VS-604A)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊦																																																																																																												
換気空調系統	B-中央制御室循環ファン入口ダンパ(3D-VS-604B)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊦																																																																																																												
換気空調系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ(3HCD-2836)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊦																																																																																																												
		<p>*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0"> <tr> <td>①緊急停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②本館専従機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ビット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ビット給水機能</td> </tr> </table>	①緊急停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②本館専従機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ビット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ビット給水機能																																																																																																							
①緊急停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																																		
②本館専従機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																																		
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																																		
④炉心冷却機能	⑨ビット冷却機能																																																																																																																		
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ビット給水機能																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																								
		表1 防護対象設備一覧 (29/35)																																																																																																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ *1 (m)</th> <th>個々の設定高さ *2 (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室循環風量調節ダンパ(SHCD-2837)</td> <td>3AB-D-N52</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器(SHC-2836)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器(SHC-2837)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>中央制御室内空気温度(2)(3TS-2846)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>中央制御室内空気温度(3)(3TS-2847)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン(SVSP22A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン(SVSP22B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量(CFS-2867)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量(CFS-2868)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(SD-YS-602A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.36</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(SD-YS-602B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.36</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(SHCD-2825)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> </tbody> </table>						系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個々の設定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-中央制御室循環風量調節ダンパ(SHCD-2837)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	⑤	換気空調系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器(SHC-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑤	換気空調系統	B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器(SHC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑤	換気空調系統	中央制御室内空気温度(2)(3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑤	換気空調系統	中央制御室内空気温度(3)(3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑤	換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン(SVSP22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑤	換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン(SVSP22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑤	換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量(CFS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑤	換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量(CFS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑤	換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(SD-YS-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	⑤	換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(SD-YS-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	⑤	換気空調系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(SHCD-2825)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑤	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個々の設定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																									
換気空調系統	B-中央制御室循環風量調節ダンパ(SHCD-2837)	3AB-D-N52	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	⑤																																																																																																									
換気空調系統	A-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器(SHC-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑤																																																																																																									
換気空調系統	B-中央制御室循環風量調節ダンパ流量設定器(SHC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑤																																																																																																									
換気空調系統	中央制御室内空気温度(2)(3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑤																																																																																																									
換気空調系統	中央制御室内空気温度(3)(3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	⑤																																																																																																									
換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン(SVSP22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑤																																																																																																									
換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン(SVSP22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	⑤																																																																																																									
換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量(CFS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑤																																																																																																									
換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン出口空気流量(CFS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	⑤																																																																																																									
換気空調系統	A-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(SD-YS-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	⑤																																																																																																									
換気空調系統	B-中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ(SD-YS-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	⑤																																																																																																									
換気空調系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(SHCD-2825)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑤																																																																																																									
		*1：保守的に機能喪失すると反定した床面からの高さ																																																																																																														
		*2：設本により機能喪失する床面からの高さ																																																																																																														
		<table border="0"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のフロント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ビット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ビット給水機能</td> </tr> </table>						①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のフロント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ビット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ビット給水機能																																																																																															
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																															
②未臨界維持機能	⑦事故時のフロント状態の把握機能																																																																																																															
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																															
④炉心冷却機能	⑨ビット冷却機能																																																																																																															
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ビット給水機能																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (30/35)</p> <table border="1" data-bbox="1288 252 1861 874"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ*1(m)</th> <th>個別測定高さ*2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2824)</td> <td>3AB-0-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2823)</td> <td>3AB-0-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2824)</td> <td>3AB-0-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2850)</td> <td>3AB-0-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>4.62</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2851)</td> <td>3AB-0-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>5.00</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2850)</td> <td>3AB-0-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2851)</td> <td>3AB-0-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>試料採取室排気隔離ダンパ(SD-VS-653)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.29</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>試料採取室排気風量制御ダンパ(SFCD-2905)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.61</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-原子炉補機冷却本サーージタンク室電気ヒータ(SVSE3A)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-原子炉補機冷却本サーージタンク室電気ヒータ(SVSE3B)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ(SVSE2A)</td> <td>3AB-0-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.53</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：溢水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ヒット冷却機能 ⑩ヒット排水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ*1(m)	個別測定高さ*2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2824)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑥	換気空調系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2823)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑥	換気空調系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2824)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑥	換気空調系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2850)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	⑥	換気空調系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2851)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	⑥	換気空調系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2850)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥	換気空調系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2851)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥	換気空調系統	試料採取室排気隔離ダンパ(SD-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	⑥	換気空調系統	試料採取室排気風量制御ダンパ(SFCD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	⑥	換気空調系統	A-原子炉補機冷却本サーージタンク室電気ヒータ(SVSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑥	換気空調系統	B-原子炉補機冷却本サーージタンク室電気ヒータ(SVSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑥	換気空調系統	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ(SVSE2A)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	⑥	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ*1(m)	個別測定高さ*2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																																				
換気空調系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2824)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系統	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2823)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系統	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2824)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2850)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ(SBCD-2851)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系統	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2850)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系統	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器(SBC-2851)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	⑥																																																																																																				
換気空調系統	試料採取室排気隔離ダンパ(SD-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系統	試料採取室排気風量制御ダンパ(SFCD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系統	A-原子炉補機冷却本サーージタンク室電気ヒータ(SVSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系統	B-原子炉補機冷却本サーージタンク室電気ヒータ(SVSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	⑥																																																																																																				
換気空調系統	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ(SVSE2A)	3AB-0-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	⑥																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (31/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ *1 (m)</th> <th>個別別定高さ *2 (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.51</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.80</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.79</td> <td>個別</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子伊建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子伊建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子伊建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子伊建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：設水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のアラート状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④中心冷却機能</td> <td>⑨ヒット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ヒット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個別別定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.57	2.58	基本	⑤	換気空調系統	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.50	2.51	基本	⑤	換気空調系統	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.57	2.58	基本	⑤	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)	3RB-H-N2	原子伊建屋	2.80	2.80	基本	④	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-H-N3	原子伊建屋	2.80	2.79	個別	④	換気空調系統	A-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子伊建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系統	A-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子伊建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系統	B-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子伊建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系統	B-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子伊建屋	1.42	1.41	個別	⑥	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のアラート状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④中心冷却機能	⑨ヒット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒット給水機能	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個別別定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
換気空調系統	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.57	2.58	基本	⑤																																																																																						
換気空調系統	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.50	2.51	基本	⑤																																																																																						
換気空調系統	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.57	2.58	基本	⑤																																																																																						
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)	3RB-H-N2	原子伊建屋	2.80	2.80	基本	④																																																																																						
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-H-N3	原子伊建屋	2.80	2.79	個別	④																																																																																						
換気空調系統	A-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子伊建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系統	A-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子伊建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系統	B-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子伊建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
換気空調系統	B-原子伊補機冷却水サーージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子伊建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のアラート状態の把握機能																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																												
④中心冷却機能	⑨ヒット冷却機能																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																
		表1 防護対象設備一覧 (32/35)																																																																																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ *1 (m)</th> <th>類別別 定高さ *2 (m)</th> <th>設定 箇所</th> <th>安全 機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージ タンク室電気ヒータ(VSE3A) 出口空気温度(2)(STS-2973)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.58</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージ タンク室電気ヒータ(VSE3B) 出口空気温度(2)(STS-2983)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.57</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2930)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2931)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2934)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2935)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2950)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2951)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2954)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2955)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調 系統</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VSE2A)出口空気温度 (2)(STS-2939)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.53</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table>						系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	類別別 定高さ *2 (m)	設定 箇所	安全 機能	換気空調 系統	A-原子炉補機冷却水サージ タンク室電気ヒータ(VSE3A) 出口空気温度(2)(STS-2973)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	⑥	換気空調 系統	B-原子炉補機冷却水サージ タンク室電気ヒータ(VSE3B) 出口空気温度(2)(STS-2983)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	⑥	換気空調 系統	A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調 系統	A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調 系統	B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調 系統	B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調 系統	C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調 系統	C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調 系統	D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調 系統	D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調 系統	A-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VSE2A)出口空気温度 (2)(STS-2939)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.65	2.53	個別	⑥	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	類別別 定高さ *2 (m)	設定 箇所	安全 機能																																																																																																	
換気空調 系統	A-原子炉補機冷却水サージ タンク室電気ヒータ(VSE3A) 出口空気温度(2)(STS-2973)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	B-原子炉補機冷却水サージ タンク室電気ヒータ(VSE3B) 出口空気温度(2)(STS-2983)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	A-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	B-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	C-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(1)(STS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	D-非管理区域空調機器室室内 空気温度(2)(STS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																																	
換気空調 系統	A-非管理区域空調機器室電気 ヒータ(VSE2A)出口空気温度 (2)(STS-2939)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	2.65	2.53	個別	⑥																																																																																																	
		*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ																																																																																																						
		*2：浸水により機能喪失する床面からの高さ																																																																																																						
		<table border="0"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ヒット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ヒット給水機能</td> </tr> </table>						①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ヒット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒット給水機能																																																																																							
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																							
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																							
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																							
④炉心冷却機能	⑨ヒット冷却機能																																																																																																							
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ヒット給水機能																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (33/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ *1(m)</th> <th>個別測定高さ *2(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2B)出口空気温度(2)(3TS-2937)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.65</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2C)出口空気温度(2)(3TS-2953)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.48</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2D)出口空気温度(2)(3TS-2957)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.64</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5)(3TS-2910)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子伊建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6)(3TS-2911)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子伊建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.39</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5)(3TS-2920)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子伊建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6)(3TS-2921)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子伊建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ(YVSE1A)出口空気温度(2)(3TS-2913)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系統</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ(YVSE1B)出口空気温度(2)(3TS-2923)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系統</td> <td>A-空調用冷水ポンプ(SCP1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：保守的に機能喪失すると想定した床面からの高さ *2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②本臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定箇所	安全機能	換気空調系統	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2B)出口空気温度(2)(3TS-2937)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.72	2.65	個別	⑥	換気空調系統	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2C)出口空気温度(2)(3TS-2953)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.65	2.48	個別	⑥	換気空調系統	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2D)出口空気温度(2)(3TS-2957)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.72	2.64	個別	⑥	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5)(3TS-2910)	3RB-H-N2	原子伊建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6)(3TS-2911)	3RB-H-N2	原子伊建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5)(3TS-2920)	3RB-H-N3	原子伊建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6)(3TS-2921)	3RB-H-N3	原子伊建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ(YVSE1A)出口空気温度(2)(3TS-2913)	3RB-H-N2	原子伊建屋	2.89	2.82	個別	⑥	換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ(YVSE1B)出口空気温度(2)(3TS-2923)	3RB-H-N3	原子伊建屋	2.89	2.82	個別	⑥	空調用冷水系統	A-空調用冷水ポンプ(SCP1A)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.43	2.45	基本	⑥	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②本臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1(m)	個別測定高さ *2(m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
換気空調系統	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2B)出口空気温度(2)(3TS-2937)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.72	2.65	個別	⑥																																																																																														
換気空調系統	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2C)出口空気温度(2)(3TS-2953)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.65	2.48	個別	⑥																																																																																														
換気空調系統	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ(YVSE2D)出口空気温度(2)(3TS-2957)	3AB-D-N1	原子伊補助建屋	2.72	2.64	個別	⑥																																																																																														
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5)(3TS-2910)	3RB-H-N2	原子伊建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																														
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6)(3TS-2911)	3RB-H-N2	原子伊建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																														
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5)(3TS-2920)	3RB-H-N3	原子伊建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																														
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6)(3TS-2921)	3RB-H-N3	原子伊建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																														
換気空調系統	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ(YVSE1A)出口空気温度(2)(3TS-2913)	3RB-H-N2	原子伊建屋	2.89	2.82	個別	⑥																																																																																														
換気空調系統	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ(YVSE1B)出口空気温度(2)(3TS-2923)	3RB-H-N3	原子伊建屋	2.89	2.82	個別	⑥																																																																																														
空調用冷水系統	A-空調用冷水ポンプ(SCP1A)	3RB-K-N4	原子伊建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																																														
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																				
②本臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室からの安全停止機能																																																																																																				
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (34/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ *1 (m)</th> <th>個別測定高さ *2 (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>B-空調用冷水ポンプ(3CP1B)</td> <td>3B-B-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>C-空調用冷水ポンプ(3CP1C)</td> <td>3B-B-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>D-空調用冷水ポンプ(3CP1D)</td> <td>3B-B-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>A-空調用冷凍機(3CE1A)</td> <td>3B-B-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>B-空調用冷凍機(3CE1B)</td> <td>3B-B-N4</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>C-空調用冷凍機(3CE1C)</td> <td>3B-B-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>D-空調用冷凍機(3CE1D)</td> <td>3B-B-N1</td> <td>原子伊建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>A-安全補機閉閉器室給気 ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助 建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.96</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>B-安全補機閉閉器室給気 ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子伊補助 建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.97</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：設本により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個別測定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能	空調用 冷水 系統	B-空調用冷水ポンプ(3CP1B)	3B-B-N4	原子伊建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用 冷水 系統	C-空調用冷水ポンプ(3CP1C)	3B-B-N1	原子伊建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用 冷水 系統	D-空調用冷水ポンプ(3CP1D)	3B-B-N1	原子伊建屋	2.43	2.45	基本	⑥	空調用 冷水 系統	A-空調用冷凍機(3CE1A)	3B-B-N4	原子伊建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用 冷水 系統	B-空調用冷凍機(3CE1B)	3B-B-N4	原子伊建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用 冷水 系統	C-空調用冷凍機(3CE1C)	3B-B-N1	原子伊建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用 冷水 系統	D-空調用冷凍機(3CE1D)	3B-B-N1	原子伊建屋	2.05	2.27	基本	⑥	空調用 冷水 系統	A-安全補機閉閉器室給気 ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子伊補助 建屋	1.20	1.96	基本	⑥	空調用 冷水 系統	B-安全補機閉閉器室給気 ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子伊補助 建屋	1.20	1.97	基本	⑥	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ *1 (m)	個別測定高さ *2 (m)	設定箇所	安全機能																																																																												
空調用 冷水 系統	B-空調用冷水ポンプ(3CP1B)	3B-B-N4	原子伊建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																												
空調用 冷水 系統	C-空調用冷水ポンプ(3CP1C)	3B-B-N1	原子伊建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																												
空調用 冷水 系統	D-空調用冷水ポンプ(3CP1D)	3B-B-N1	原子伊建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																												
空調用 冷水 系統	A-空調用冷凍機(3CE1A)	3B-B-N4	原子伊建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																												
空調用 冷水 系統	B-空調用冷凍機(3CE1B)	3B-B-N4	原子伊建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																												
空調用 冷水 系統	C-空調用冷凍機(3CE1C)	3B-B-N1	原子伊建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																												
空調用 冷水 系統	D-空調用冷凍機(3CE1D)	3B-B-N1	原子伊建屋	2.05	2.27	基本	⑥																																																																												
空調用 冷水 系統	A-安全補機閉閉器室給気 ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子伊補助 建屋	1.20	1.96	基本	⑥																																																																												
空調用 冷水 系統	B-安全補機閉閉器室給気 ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子伊補助 建屋	1.20	1.97	基本	⑥																																																																												

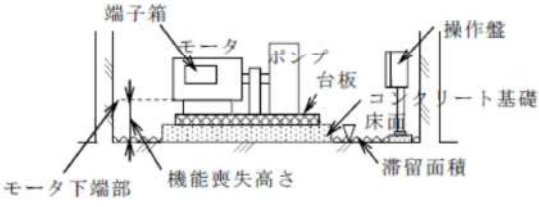
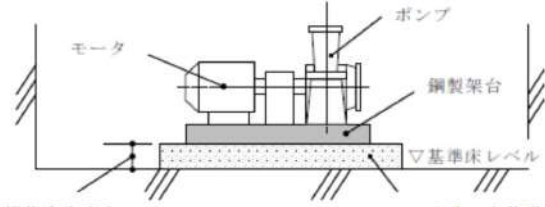
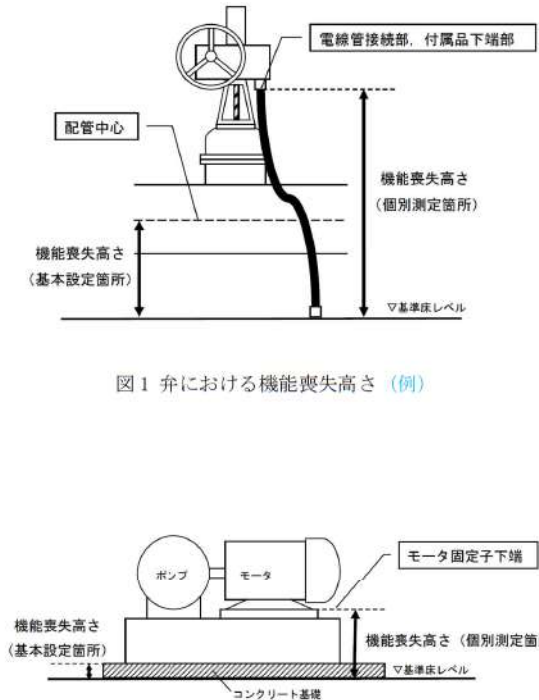

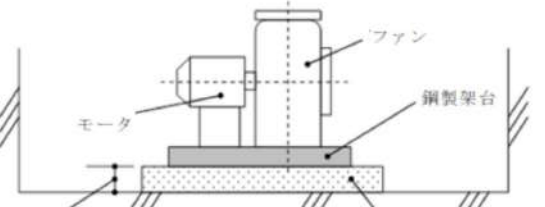
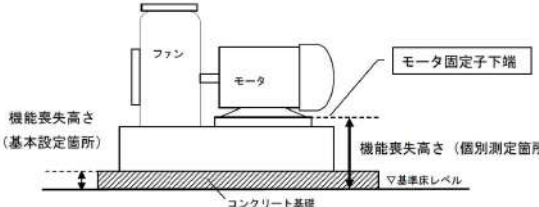
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
		表1 防護対象設備一覧 (35/35)																																																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ #1(a)</th> <th>個別測定高さ #2(a)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁(3TCV-2827)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁(3TCV-2828)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助 建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.55</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.86</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>空調用 冷水 系統</td> <td>空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.98</td> <td>基本</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-空調用冷凍機盤(GVCPA)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-空調用冷凍機盤(GVCPB)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.22</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C-空調用冷凍機盤(GVCP)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D-空調用冷凍機盤(GVCP)</td> <td>3RB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>⑤</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(a)	個別測定高さ #2(a)	設定箇所	安全機能	空調用 冷水 系統	A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁(3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.20	1.77	基本	④	空調用 冷水 系統	B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁(3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.20	1.77	基本	⑤	空調用 冷水 系統	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	④	空調用 冷水 系統	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	④	空調用 冷水 系統	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	④	空調用 冷水 系統	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	④	関連設備	A-空調用冷凍機盤(GVCPA)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑤	関連設備	B-空調用冷凍機盤(GVCPB)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	⑤	関連設備	C-空調用冷凍機盤(GVCP)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑤	関連設備	D-空調用冷凍機盤(GVCP)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑤	
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ #1(a)	個別測定高さ #2(a)	設定箇所	安全機能																																																																																				
空調用 冷水 系統	A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁(3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.20	1.77	基本	④																																																																																				
空調用 冷水 系統	B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁(3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助 建屋	1.20	1.77	基本	⑤																																																																																				
空調用 冷水 系統	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	④																																																																																				
空調用 冷水 系統	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	④																																																																																				
空調用 冷水 系統	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	④																																																																																				
空調用 冷水 系統	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	④																																																																																				
関連設備	A-空調用冷凍機盤(GVCPA)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑤																																																																																				
関連設備	B-空調用冷凍機盤(GVCPB)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	⑤																																																																																				
関連設備	C-空調用冷凍機盤(GVCP)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑤																																																																																				
関連設備	D-空調用冷凍機盤(GVCP)	3RB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	⑤																																																																																				
		<p>*1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ *2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																															
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																										
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																										
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																										
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																										
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																										

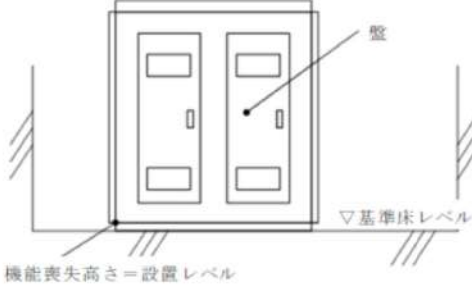
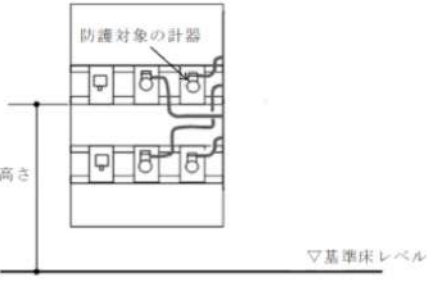
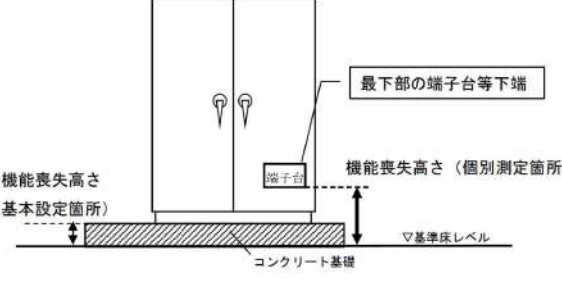
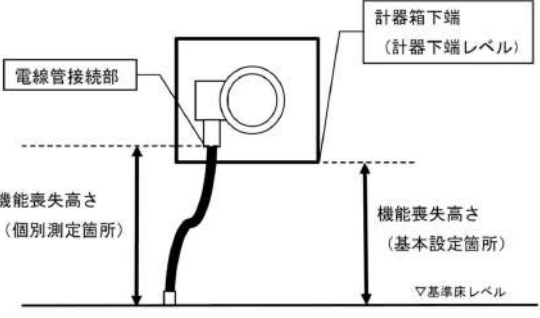
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
添付資料 1.2-2	添付資料 5	添付資料 5																																															
機能喪失高さの考え方	機能喪失高さの考え方	機能喪失高さの考え方	設計方針の相違																																														
弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。	弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。	弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。	・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「実力高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、実力高さで没水してしまう機器については「評価高さ（個別測定箇所）」を適用している。																																														
3. 機能喪失高さ 各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。		機能喪失高さは、防護対象設備の機能喪失部位の高さに余裕を考慮した評価高さ（以下「基本設定箇所」という）を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である個別測定した高さである実力高さ（以下「個別設定箇所」）に見直す。	・上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである柏崎6,7号炉及び島根2号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。																																														
表1 各設備の機能喪失高さの考え方	表1 機能喪失高さ設定の考え方	表1 機能喪失高さ設定の考え方	【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ (操作盤含む)</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>電気盤類 (操作盤含む)</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、レバ断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下部に示す）</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下部の低い方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別測定箇所	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	電気盤類 (操作盤含む)	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、レバ断器等）の最下部	計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下部に示す）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下部の低い方	【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映
機器	機能喪失高さ																																																
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																
ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																																																
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																																																
機器	機能喪失高さ																																																
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																
計器関係	計器下端レベル																																																
機器	機能喪失高さ																																																
	基本設定箇所*	個別測定箇所																																															
弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																															
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部																																															
ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																															
電気盤類 (操作盤含む)	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、レバ断器等）の最下部																																															
計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下部に示す）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下部の低い方																																															



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ（例）</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。（図2～図5についても同様）</p>
 <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ（例）</p>	


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>機能喪失高さ＝設置レベル</p> <p>▽基準床レベル</p> <p>図4 電気盤における機能喪失高さ</p>  <p>計器の機能喪失高さ</p> <p>▽基準床レベル</p> <p>図5 計器における機能喪失高さ</p>	 <p>最下部の端子台等下端</p> <p>機能喪失高さ (個別測定箇所)</p> <p>端子台</p> <p>機能喪失高さ (基本設定箇所)</p> <p>▽基準床レベル</p> <p>コンクリート基礎</p> <p>図4 電気盤における機能喪失高さ (例)</p>  <p>計器箱下端 (計器下端レベル)</p> <p>電線管接続部</p> <p>機能喪失高さ (個別測定箇所)</p> <p>機能喪失高さ (基本設定箇所)</p> <p>▽基準床レベル</p> <p>図5 計器における機能喪失高さ (例)</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p style="text-align: center;">機能喪失高さの確認手順</p> <p>機能喪失高さの「個別測定箇所」は、没水した際に機能喪失に至る部位のうち最も低所にある部位を現地調査により確認する。なお、現場確認時に使用した計測機器は、JIS 適合品等、十分な精度を有するものである。</p> <p style="text-align: center;">機能喪失高さの現場確認の様子（例）</p>  <p style="text-align: center;">別紙1-図1 弁類（制御用空気Cヘッド供給弁）</p>  <p style="text-align: center;">別紙1-図2 ポンプ類（電動補助給水ポンプ）</p>	<p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では機能喪失高さは保守的に機能喪失すると仮定した部位（設置レベル等）を基本とするが、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である個別測定した高さを用いて評価する方針としていることから、機能喪失高さの確認手順について記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1328 552 1805 576">別紙1-図3 電気盤類（パワーコントロールセンタ）</p>  <p data-bbox="1299 1134 1834 1158">別紙1-図4 計装類（原子炉補機冷却水サージタンク水位）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

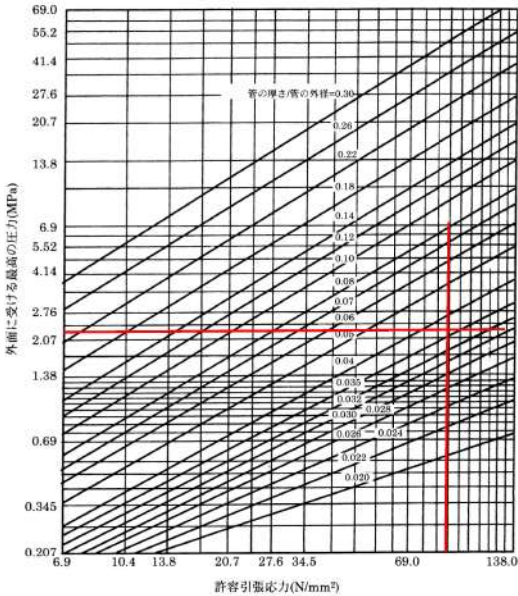
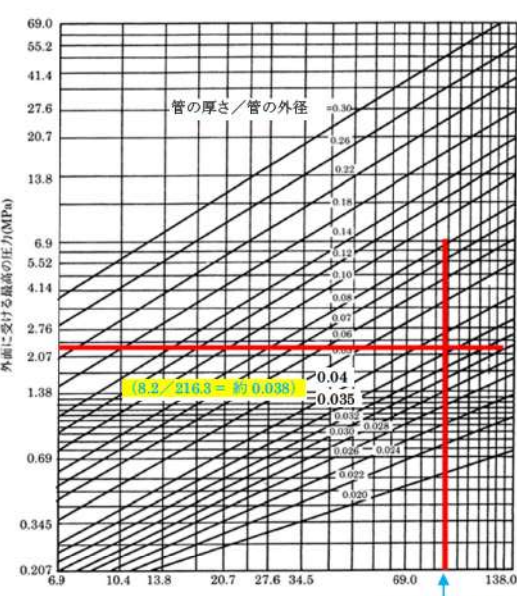
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>機能喪失高さの確認結果（例）</p> <div data-bbox="1361 204 1787 788" style="border: 2px solid black; height: 366px; margin-bottom: 10px;"></div> <p>別紙1-図5 ポンプ類（電動補助給水ポンプ）</p> <div data-bbox="1361 861 1787 1388" style="border: 2px solid black; height: 330px;"></div> <p>別紙1-図6 電気盤類（パワーコントロールセンタ）</p> <div data-bbox="1285 1439 1845 1465" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3 mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa 以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1 参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370 口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3 mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa 以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1 参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p>	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊は、配管の材質から許容引張応力（93MPa）が決まり、管の厚さ／管の外径（8.2／216.3＝約0.038）の直線と許容引張応力（93MPa）が交わる点のy軸の値が健全性を確保できる最高の外圧（2MPa以上）となることを読み取り易くするための情報を記載している。</p>
<p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器</p> <p>容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	<p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器</p> <p>容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1223 1251"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1102 824 1251">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 799 824 1098">機器</th> <th data-bbox="703 256 824 794">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 1102 824 1251">R-B1F-1</td> <td data-bbox="703 799 824 1098">CRDアキムレータ CRD窒素容器</td> <td data-bbox="703 256 824 794">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1102 824 1251">R-1F-13, R-1F-16</td> <td data-bbox="703 799 824 1098">清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ</td> <td data-bbox="703 256 824 794">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、区画及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1102 824 1251">R-B1F-7, R-B1F-11</td> <td data-bbox="703 799 824 1098">清水冷却器 潤滑油冷却器</td> <td data-bbox="703 256 824 794">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B1F-1	CRDアキムレータ CRD窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、区画及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1285 248 1854 1150"> <thead> <tr> <th data-bbox="1285 1038 1464 1150">評価エリア番号</th> <th data-bbox="1285 839 1464 1034">機器</th> <th data-bbox="1285 248 1464 834">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-F-23</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">ほう殿注入タンク</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-F-1</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">よう薬部作業品タンク</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-A-52</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">原子炉機械冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-A-52</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">空調用冷水膨張タンク</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-W-55 3BB-W-56</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">A/B-原子炉機械冷却水 冷却器</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-W-52 3BB-W-53</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">C/D-原子炉機械冷却水 冷却器</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-F-24</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">体積調整タンク</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-F-19</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">ほう殿タンク</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-F-12</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">排水冷却器</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-W-19</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">B-余熱発生冷却器</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-W-20</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">A-余熱発生冷却器</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1285 1038 1464 1150">3BB-W-12</td> <td data-bbox="1285 839 1464 1034">B-熱交換器エアレイ冷却器</td> <td data-bbox="1285 248 1464 834">○</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	3BB-F-23	ほう殿注入タンク	○	3BB-F-1	よう薬部作業品タンク	○	3BB-A-52	原子炉機械冷却水サージタンク	○	3BB-A-52	空調用冷水膨張タンク	○	3BB-W-55 3BB-W-56	A/B-原子炉機械冷却水 冷却器	○	3BB-W-52 3BB-W-53	C/D-原子炉機械冷却水 冷却器	○	3BB-F-24	体積調整タンク	○	3BB-F-19	ほう殿タンク	○	3BB-F-12	排水冷却器	○	3BB-W-19	B-余熱発生冷却器	○	3BB-W-20	A-余熱発生冷却器	○	3BB-W-12	B-熱交換器エアレイ冷却器	○	<p>記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 (次頁以降同様)</p>
防護区画番号	機器	評価																																																				
R-B1F-1	CRDアキムレータ CRD窒素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																				
R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、区画及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。																																																				
R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																				
評価エリア番号	機器	評価																																																				
3BB-F-23	ほう殿注入タンク	○																																																				
3BB-F-1	よう薬部作業品タンク	○																																																				
3BB-A-52	原子炉機械冷却水サージタンク	○																																																				
3BB-A-52	空調用冷水膨張タンク	○																																																				
3BB-W-55 3BB-W-56	A/B-原子炉機械冷却水 冷却器	○																																																				
3BB-W-52 3BB-W-53	C/D-原子炉機械冷却水 冷却器	○																																																				
3BB-F-24	体積調整タンク	○																																																				
3BB-F-19	ほう殿タンク	○																																																				
3BB-F-12	排水冷却器	○																																																				
3BB-W-19	B-余熱発生冷却器	○																																																				
3BB-W-20	A-余熱発生冷却器	○																																																				
3BB-W-12	B-熱交換器エアレイ冷却器	○																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 264 853 762">防護区画番号</th> <th data-bbox="696 762 853 1038">機器</th> <th data-bbox="696 1038 853 1492">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="853 264 1070 762">R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19</td> <td data-bbox="853 762 1070 1038">燃料デライタンク</td> <td data-bbox="853 1038 1070 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のアイタンク前面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1070 264 1167 762">-(軽油タンクピット内)</td> <td data-bbox="1070 762 1167 1038">軽油タンク</td> <td data-bbox="1070 1038 1167 1492">○ピット内には溢水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部にはハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 264 1279 762">R-2F-2-2, R-2F-2-3</td> <td data-bbox="1167 762 1279 1038">FCS 再結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器</td> <td data-bbox="1167 1038 1279 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 264 1346 762">R-3F-1</td> <td data-bbox="1279 762 1346 1038">スキマサージタンク</td> <td data-bbox="1279 1038 1346 1492">○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。 ○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 264 1413 762">R-1F-4</td> <td data-bbox="1346 762 1413 1038">燃料プール浄化系熱交換器</td> <td data-bbox="1346 1038 1413 1492">○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料デライタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のアイタンク前面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部にはハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-2-2, R-2F-2-3	FCS 再結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。 ○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-4	燃料プール浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 248 1391 1185">評価エリア番号</th> <th data-bbox="1352 1185 1391 1278">機器</th> <th data-bbox="1352 1278 1391 1492">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1391 248 1435 1185">3AB-E-22</td> <td data-bbox="1391 1185 1435 1278">A-格納容器スプレッド冷却器</td> <td data-bbox="1391 1278 1435 1492">溢水により高い位置に設置している。○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1435 248 1480 1185">3RB-H-6</td> <td data-bbox="1435 1185 1480 1278">A/B-1使用済燃料ピット冷却器</td> <td data-bbox="1435 1278 1480 1492">タンク周縁部であるベント管より溢水が投入し及ぼす影響を認めない。○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1480 248 1525 1185">3RB-D-1</td> <td data-bbox="1480 1185 1525 1278">燃料取替用水加熱器</td> <td data-bbox="1480 1278 1525 1492">同一区画内に溢水源となりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることか、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1525 248 1570 1185">3RB-F-N7</td> <td data-bbox="1525 1185 1570 1278">A/B-ディーゼル発電機</td> <td data-bbox="1525 1278 1570 1492">常時高圧圧縮されていることから、溢水により機械的損傷が生じることが無い。○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1570 248 1615 1185">3RB-F-59</td> <td data-bbox="1570 1185 1615 1278">燃料油サービスタンク</td> <td data-bbox="1570 1278 1615 1492">コンクリートに埋め込まれているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1615 248 1659 1185">C/A内</td> <td data-bbox="1615 1185 1659 1278">再生熱交換器</td> <td data-bbox="1615 1278 1659 1492">溢水により機能喪失する可能性がある。○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 248 1704 1185">C/A内</td> <td data-bbox="1659 1185 1704 1278">置圧タンク</td> <td data-bbox="1659 1278 1704 1492">溢水により機能喪失する可能性がある。○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1704 248 1749 1185">屋外</td> <td data-bbox="1704 1185 1749 1278">燃料油貯油槽</td> <td data-bbox="1704 1278 1749 1492">溢水により機能喪失する可能性がある。○</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	3AB-E-22	A-格納容器スプレッド冷却器	溢水により高い位置に設置している。○	3RB-H-6	A/B-1使用済燃料ピット冷却器	タンク周縁部であるベント管より溢水が投入し及ぼす影響を認めない。○	3RB-D-1	燃料取替用水加熱器	同一区画内に溢水源となりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることか、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。○	3RB-F-N7	A/B-ディーゼル発電機	常時高圧圧縮されていることから、溢水により機械的損傷が生じることが無い。○	3RB-F-59	燃料油サービスタンク	コンクリートに埋め込まれているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。○	C/A内	再生熱交換器	溢水により機能喪失する可能性がある。○	C/A内	置圧タンク	溢水により機能喪失する可能性がある。○	屋外	燃料油貯油槽	溢水により機能喪失する可能性がある。○	
防護区画番号	機器	評価																																														
R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料デライタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のアイタンク前面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																														
-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水源となりうる機器・配管はなく、また、ピット上部にはハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																														
R-2F-2-2, R-2F-2-3	FCS 再結合器 FCS 冷却器 FCS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度制御系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																														
R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの埋込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。 ○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																														
R-1F-4	燃料プール浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																														
評価エリア番号	機器	評価																																														
3AB-E-22	A-格納容器スプレッド冷却器	溢水により高い位置に設置している。○																																														
3RB-H-6	A/B-1使用済燃料ピット冷却器	タンク周縁部であるベント管より溢水が投入し及ぼす影響を認めない。○																																														
3RB-D-1	燃料取替用水加熱器	同一区画内に溢水源となりうる機器・配管はなく、浸入防止措置を講じていることか、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。○																																														
3RB-F-N7	A/B-ディーゼル発電機	常時高圧圧縮されていることから、溢水により機械的損傷が生じることが無い。○																																														
3RB-F-59	燃料油サービスタンク	コンクリートに埋め込まれているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることが無い。○																																														
C/A内	再生熱交換器	溢水により機能喪失する可能性がある。○																																														
C/A内	置圧タンク	溢水により機能喪失する可能性がある。○																																														
屋外	燃料油貯油槽	溢水により機能喪失する可能性がある。○																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 853 974 885">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 890 974 1173">機器</th> <th data-bbox="703 1177 974 1340">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 853 974 885">R-3F-1</td> <td data-bbox="703 890 974 1173">換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク</td> <td data-bbox="703 1177 974 1340"> ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり 上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放 箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。 また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="981 853 1265 885">R-1F-15</td> <td data-bbox="981 890 1265 1173">清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ</td> <td data-bbox="981 1177 1265 1340"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり 上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放 箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。 また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。	R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
防護区画番号	機器	評価										
R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであり 上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放 箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。 また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。										
R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(4/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 268 741 1353">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 863 741 1193">機器</th> <th data-bbox="703 268 741 858">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="748 1193 981 1353">R-2F-3</td> <td data-bbox="748 863 981 1193">高圧炉心スプレイレイ補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="748 268 981 858"> ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 1193 1137 1353">R-B3F-13</td> <td data-bbox="987 863 1137 1193">高圧炉心スプレイレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="987 268 1137 858"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区画の高圧炉心スプレイレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1144 1193 1249 1353">R-M3F-3-1</td> <td data-bbox="1144 863 1249 1193">原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</td> <td data-bbox="1144 268 1249 858"> ○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-3	高圧炉心スプレイレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-B3F-13	高圧炉心スプレイレイ補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区画の高圧炉心スプレイレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。	R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。		
防護区画番号	機器	評価													
R-2F-3	高圧炉心スプレイレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													
R-B3F-13	高圧炉心スプレイレイ補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区画の高圧炉心スプレイレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。													
R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる要因も無いことを確認した。													

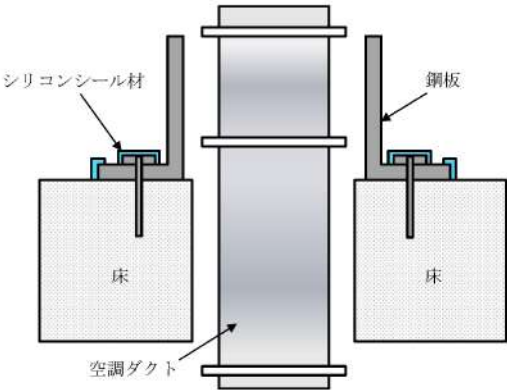
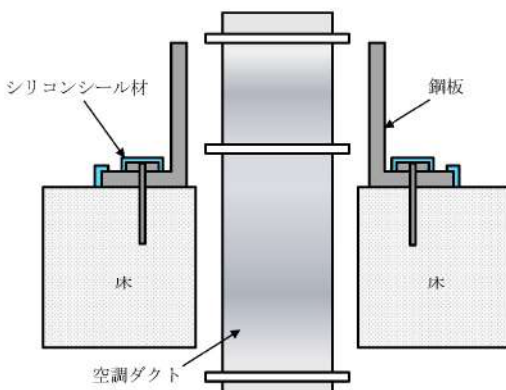
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(5/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1212 896 1380">防護区画番号 -(PCV内)</th> <th data-bbox="703 869 896 1204">機器</th> <th data-bbox="703 255 896 861">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 1212 896 1380"></td> <td data-bbox="703 869 896 1204">主蒸気逃し安全弁遮し弁機能用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ</td> <td data-bbox="703 255 896 861">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="902 1212 1008 1380">R-B1F-3-2</td> <td data-bbox="902 869 1008 1204">主蒸気第二隔離弁用アキユムレータ</td> <td data-bbox="902 255 1008 861">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1014 1212 1265 1380">R-3F-1</td> <td data-bbox="1014 869 1265 1204">原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="1014 255 1265 861">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価		主蒸気逃し安全弁遮し弁機能用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-B1F-3-2	主蒸気第二隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	原子炉補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価													
	主蒸気逃し安全弁遮し弁機能用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-B1F-3-2	主蒸気第二隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-3F-1	原子炉補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(6/6)															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="707 280 860 411">防護区画番号</th> <th data-bbox="707 418 860 778">機器</th> <th data-bbox="707 785 860 1487">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="707 280 860 411">R-B3F-11, R-B3F-14</td> <td data-bbox="707 418 860 778">原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="707 785 860 1487"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 280 1003 411">R-1F-1, R-1F-11</td> <td data-bbox="869 418 1003 778">残留熱除去系熱交換器</td> <td data-bbox="869 785 1003 1487"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1012 280 1263 411">R-2F-3-1</td> <td data-bbox="1012 418 1263 778">ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキウムレータ</td> <td data-bbox="1012 785 1263 1487"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキウムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
防護区画番号	機器	評価													
R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキウムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について 耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響 LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレーが動作し、スプレー水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレー水に対しても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>(2)没水影響 LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレーにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時にドライウェル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレーの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレー水はドライウェル内に一樣に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレー時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレー水は、原子炉格納容器内のドライウェル下部に溜まった後、ドライウェル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。 高圧炉心スプレー系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。 原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa[gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレーの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレー水は原子炉格納容器内に一樣に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレー時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレー水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。 原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレーにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ピット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。 原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水的全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P.15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P.15.1m以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違 プラント設計の相違により、C/V内の温度・圧力条件が異なる。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p> <p>記載方針の相違 PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水に機能喪失しない評価としていることに相違はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。 原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1.に述べた環境試験により確認している。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境（図3、図4参照）を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p> <div data-bbox="707 584 1261 1010" style="border: 1px solid black; height: 267px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</p> <div data-bbox="707 1070 1261 1385" style="border: 1px solid black; height: 197px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</p> <div data-bbox="707 1445 1261 1485" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での原子炉冷却材喪失事故時の環境条件（図3参照）で行っている。</p> <p>図4に試験条件の代表例を示す。</p> <div data-bbox="1319 807 1827 1145" style="border: 1px solid black; height: 212px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">図3 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</p> <div data-bbox="1290 1249 1854 1278" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとDWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊はC/V内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとDWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊はC/V内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

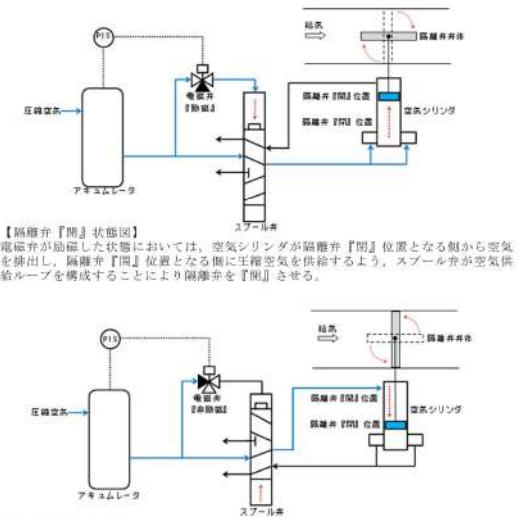
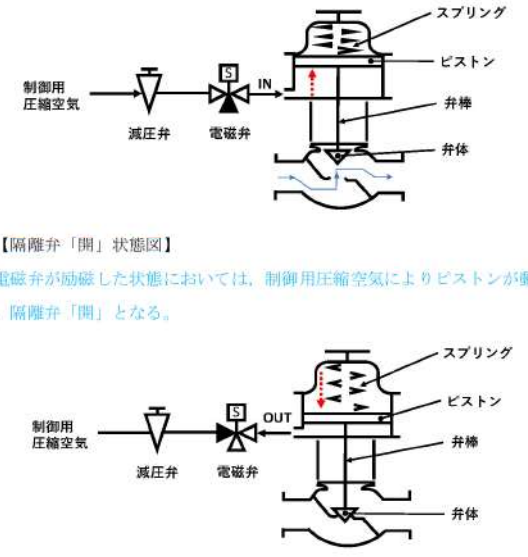
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料6）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="134 462 672 590"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大飯3号炉、及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ 流量</td> <td>63.7 [L/min/m²]</td> <td>13.8 [L/min/m²]</td> <td>12.5 [L/min/m²]</td> <td>6.1 [L/min/m²]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ 時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p> <div data-bbox="168 861 645 1181" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p>図1 耐環境性試験プロファイル</p> <div data-bbox="212 1244 683 1284" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大飯3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ 流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]	スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <div data-bbox="705 215 1265 805" style="border: 1px solid black; height: 370px; width: 100%;"></div> <p>図5 耐環境仕様品の試験条件（代表例）</p> <div data-bbox="705 901 1265 941" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <div data-bbox="1288 207 1859 813" style="border: 2px solid black; height: 380px; width: 100%;"></div> <p>図4 耐環境仕様品の試験条件（代表例）</p> <div data-bbox="1310 901 1870 941" style="border: 2px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません</p> </div>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映</p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大飯3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ 流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]														
スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(A0)と電磁石によるもの(S0)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p>a. 電磁弁(S0)への影響</p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した（電磁石が非励磁になった）場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p> <div data-bbox="728 938 1232 1308"> <p>弁「開」状態図 電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下られて、弁体はシート部より離れる。このときバネは伸ばされ、常に弁「閉」側にバネ力が加わった状態となる。</p> <p>弁「閉」状態図 電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から解放され、バネが縮みバネ力にて弁体がシート部に密着する。</p> </div> <p>図6 移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(A0V)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>設計方針(設備)の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p>設計方針(設備)の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁『開』位置となる側から空気を排出し、隔離弁『開』位置となる側に圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『開』させる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁『閉』位置となる側に圧縮空気を供給し、隔離弁『閉』位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『閉』させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であるため、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁「開」となる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁「閉」となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は具体的な弁を代表例としてあげるのでなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>隔離弁の構造の相違により、記載方針が異なる。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>隔離弁の構造の相違により、記載方針が異なる。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は具体的な弁を代表例としてあげるのでなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁動作は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="772 906 1198 1385" data-label="Diagram"> <p>図8は、原子炉格納容器と原子炉格納容器パウンダリを結ぶ系統の構成を示しています。原子炉格納容器とパウンダリの間には、逆止弁（M0）と要求機能を代替する設備が設置されています。また、原子炉格納容器には放射性物質の閉じ込め機能（隔離弁）が示されています。</p> </div> <p>図8 系統構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁動作は可能である。</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。スクリーニング基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>設計方針（設備）の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>記載方針の相違</p> <p>図4に示したとおり隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では本スクリーニング基準により溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋) 大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)					
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由**			
1次冷却系	3原子炉容器		×	③	AC	F48-F001	バーge用空気供給側隔離弁	③	1次冷却系統	3FCV-452A,B	加圧器逃がし弁	⑤			
	3A,3B,3C,3D加圧発生器		×	③	AC	F48-F002	D/Wバーge用入口隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-064A,B	加圧器逃がし弁元弁	⑤			
	3A,3B,3C,3D-1次冷却材ポンプ		×	①	AC	F48-F003	S/Wバーge用入口隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-066, 068,067	加圧器安全弁	①			
	3加圧器		×	②	AC	F48-F004	S/Wバーge用入口隔離弁	③	1次冷却系統	3LCV-451,452	抽出ライン第1(2)止め弁	②			
	3A,3B,3C加圧器安全弁	3V-RC-055,056,057	×	①	AC	F48-F004A	格納容器外真空逃がし遮断隔離弁(A)	①	1次冷却系統	3LT-451, 452,453,454	加圧器水位	②			
	3A,3B加圧器逃がし弁	3PCV-452A,B	×	②	AC	F48-F004B	格納容器外真空逃がし遮断隔離弁(B)	①	1次冷却系統	3FT-451, 452,453,454	加圧器圧力	②			
	3A,3B加圧器逃がし弁前弁	3V-RC-054A,B	×	①	AC	F48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁(A)	③	1次冷却系統	3PT-410,430	1次冷却材圧力	②			
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-977	×	②	AC	F48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁(B)	③	1次冷却系統	3TE-411A, 413A,415A,421A, 423A,425A,431A, 433A,435A,441A, 443A,445A	1次冷却材高温側温度(狭域)	②			
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-978	×	①	AC	F48-F010	補給用空素ガス供給側第二隔離弁	③		1次冷却系統	3TE-411B, 421B,431B,441B		1次冷却材低温側温度(狭域)	②	
	3加圧器逃がしタンク空素供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-984	×	①	AC	F48-F011	D/W補給用空素ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系統		3TE-410,420,430	1次冷却材高温側温度(広域)	②		
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-995	×	①	AC	F48-F012	S/W補給用空素ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系統	3TE-417,427,437	1次冷却材低温側温度(広域)	②			
	3A,3B加圧器スプレイ弁	3PCV-451A,B	×	①	AC	F48-F016	バーge用空素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系統	3FT-412, 413,414,415, 422,423,424,425, 432,433,434,435	1次冷却材流量	③			
	3-1次冷却材圧力	3PT-429,430	×	②	AC	F48-F019	D/Wベント用出口隔離弁	③		1次冷却系統	3V-RC-077		加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②	
	3加圧器水位	3LT-451,452,453,454	×	②	AC	F48-F020	ベント用SGT系側隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③			
	3A,B,C,D-バーge1次冷却材高温側・低温側温度(広域)	3TE-410,415,420,425, 430,435,440,445	×	②	AC	F48-F021	ベント用HVAC側隔離弁	③		1次冷却系統	3V-RC-084		加圧器逃がしタンク空素供給ラインC/V外側隔離弁	③	
	3A,B,C,D-バーge1次冷却材高温側・低温側温度(狭域)	3TE-411A,411B,411C,411D, 421A,421B,421C,421D, 431A,431B,431C,431D, 441A,441B,441C,441D	×	②	AC	F48-F022	S/Wベント用出口隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-089	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	⑤			
	3加圧器圧力	3PT-451,452,453,454	×	②	AC	F48-F024	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	③		1次冷却系統	3V-RC-099		加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	⑤	
	3A,B,C,D-バーge1次冷却材流量	3FT-412,413,414,415, 422,423,424,425, 432,433,434,435, 442,443,444,445	×	②	AC	F48-F043	P/CV耐圧強化ベント用空素配管隔離弁	③	1次冷却系統	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク空素供給ラインC/V外側隔離弁	③			
	1次冷却材ポンプ回転数	3SP-418A,428A, 438B,448A	×	②	AC	F48-F043	P/CV耐圧強化ベント用空素配管隔離弁	③		1次冷却系統	3V-RC-084		加圧器逃がしタンク空素供給ラインC/V外側隔離弁	③	
	化学体積制御系	3A,3Bほう酸ポンプ		○	—	AC	F48-F768	事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②原子炉格納容器内貯留域仕様の設備 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					
3A,3B,3C充てんポンプ			○	—	AC	F48-F769	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③							
3体積制御タンク			×**	②	AC	F48-F7001	バーge用空素供給流量	③							
3再生熱交換器			×	②	AC	F48-PT019	圧力制御室圧力	③							
3A,3Bほう酸タンク			×**	②	AC	F48-S0-F042A	真空破壊弁(A)計装用空気配管隔離弁	③							
3ほう酸フィルタ			×**	②	AC	F48-S0-F042B	真空破壊弁(B)計装用空気配管隔離弁	③							
3排水冷却器			×**	②	AC	F48-S0-F042C	真空破壊弁(C)計装用空気配管隔離弁	③							
3A,3B排水注入フィルタ			×**	②	AC	F48-S0-F042D	真空破壊弁(D)計装用空気配管隔離弁	③							
3排水ストレーザ			×**	②	AC	F48-S0-F042E	真空破壊弁(E)計装用空気配管隔離弁	③							
3体積制御タンク出口第1止め弁		3LCV-121B	○	—											
3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C	○	—												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)					
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由*		
化学体積制御系	緊急口へ酸注入ライン補給弁	3V-CS-573	○	—	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)	AC	F48-SO-F02F	真空破断管 (F) 計装用空気配管隔離弁	③	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)	化学体積制御系統	3FCV-138	充てん流量制御弁	③
	3充てんポンプ入口燃料取扱用排水ピット横断管弁A,B	3LV-121D,E	○	—		AC	F48-SO-F108	LSO15 D/W冠水位計装配管 (H) 側隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	③
	3充てんライン格納容器隔離弁	3V-CS-167	○	—		AC	F48-SO-F110	LSO15 D/W冠水位計装配管 (L) 側隔離弁	③		化学体積制御系統	3CST1	体積制御タンク	①
	3充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—		AC	F48-SO-F121	露点サンプリング入口第一隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-191	充てんライン止め弁	③
	3充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①		AC	F48-SO-F122	露点サンプリング入口第二隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-188	加圧器補助スプレイ弁	②
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3FCV-140	×	①		AC	F48-SO-F125	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③		化学体積制御系統	3CSH1	再生熱交換器	①
	3抽出ライン第1止め弁	3LV-451	×	②		AC	F48-SO-F124	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③		化学体積制御系統	3CST5A,B	ほう酸タンク	①
	3抽出ライン第2止め弁	3LV-452	×	②		AC	F48-SO-F124	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③		化学体積制御系統	3CSF4	ほう酸フィルタ	①
	3A,3B,3C抽出オリフィス出口格納容器側隔離弁	3V-CS-004A,B,C	×	②		AC	F48-SO-F129	漏えい検出系放射線モニタ入り第二隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-455A,B	ほう酸タンク出口弁	③
	3加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-169	×	②		AC	F48-SO-F127	漏えい検出系放射線モニタ入り第二隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-408A,B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	③
	余熱抽出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②		AC	F48-SO-F128	漏えい検出系放射線モニタ入り第二隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-478A,B	ほう酸ポンプ出口循環ライン切替弁	③
	余熱抽出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②		AC	F48-SO-F129	漏えい検出系放射線モニタ入り第二隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-474A,B	ほう酸フィルタ出口A (B) ほう酸タンク戻り弁	③
	3抽出ライン格納容器側第二隔離弁	3V-CS-007	×	①		AC	F48-SO-F130	漏えい検出系放射線モニタ入り第一隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-408A,B	ほう酸ポンプ入口切替弁	③
	3充てんライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-161	×	①		AC	F48-SO-F172	T48-LSO25 D/W水位計装配管 (H) 側隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-004A,B,C	抽出オリフィス出口C/V内側隔離弁	②
	3Bループ末でんライン止め弁	3V-CS-163	×	①		AC	F48-SO-F174	T48-LSO25 D/W水位計装配管 (H) 側隔離弁	③		化学体積制御系統	3V-CS-008	抽出ライン格納容器外側隔離弁	③
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-177	×	①		OMS	023-0001A	校正ガスボンベサポート	①		化学体積制御系統	3CSH4	封水冷却器	①
	3A,3B,3C,3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン格納容器側隔離弁	3V-CS-190A,B,C,D	×	①		OMS	023-0001B	校正ガスボンベサポート	①		化学体積制御系統	3V-CS-234A,B,C	1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	③
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器側第二隔離弁	3V-CS-310	×	②		CRD	C12	制御棒駆動機構	④		化学体積制御系統	3V-CS-254	1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V内側隔離弁	②
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器側第二隔離弁	3V-CS-312	○	—		CRD	C12	制御棒駆動機構	④		化学体積制御系統	3V-CS-242A,B,C	1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁	③
	3A,3B,3C,3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	3V-CS-208A,B,C,D	×	②		CRD	C12-0001-120	方向制御弁	④					
	3A,3Bほう酸タンク水位	3LT-206,208	○	—		CRD	C12-0001-123	方向制御弁	④					
	3C充てんポンプ速度制御弁	3CC	○	—		CRD	C12-0001-125	アキュムレータ	①					
	3D充てんポンプ速度制御弁	3CC4C	○	—		CRD	C12-0001-126	スタック入り弁	③					
	3A,3B,3C,3D充てんポンプ現場操作箱	3LT-3,6,7,8	○	—		CRD	C12-0001-128	薬液容器	①					
3A,3Bほう酸ポンプ現場操作箱	3LE-9,10	○	—	CRD	C12-0001-128	薬液容器	①							
安全注入系	3A,3B高圧注入ポンプ		○	—	CRD	C12-0001-132	制御棒駆動用圧縮ラプチュアディスク	①						
	3A,3B,3C,3D高圧タンク		×	③	CRD	C12-0001-135	方向制御弁フィルタ	④						
	3A,3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3V-S1-015A,B	○	—	CRD	C12-0001-139	スタックパイロット弁	①						
	3A,3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3V-S1-016A,B	○	—	CRD	C12-L08129	HCUアキュムレータレベルスイッチ	③						
	3A,3B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプリング入口格納容器側隔離弁	3V-S1-093A,B	○	—	CRD	C12-P131	HCUアキュムレータ圧力指示計	③						
	3A,3B高圧注入ポンプ燃料取扱用排水ピット側入口弁	3V-S1-002A,B	○	—	CRD	C12-PS130	HCUアキュムレータ圧力スイッチ	④						
	3A,3B高圧注入ポンプRWSピット及び再循環サンプリング側入口弁	3V-S1-096A,B	○	—										
	3A,3B高圧注入ライン格納容器側隔離弁	3V-S1-092A,B	×	①										
	3A,3B高圧注入ライン格納容器出口連弁	3V-S1-093A,B	×	②										

※1 評価対象外とした理由
 ①漏水により機能を喪失しない
 ②PV内耐環境仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①漏水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内耐環境仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの取方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}	
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ高圧側注入ライン止め弁	3V-S1-067A, B	×	②	CIW	G31-F002	C/UW入口ライン第一隔離弁	②	高圧注入系統	3SIT2	ほう酸注入タンク	①	
	3A, 3B, 3C, 3D蓄圧タンク出口弁	3V-S1-132A, B, C, D	×	②	DG	R43-A001A	前水膨張タンク (A)	①	高圧注入系統	3V-S1-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3格納容器再循環サンプ水位 (広域)・広域	3LT-470, 971, 972, 973	×	②	DG	R43-B001B	前水膨張タンク (B)	①	高圧注入系統	3V-S1-062A, B	高温側高圧注入 (B) ライン止め弁	②	
	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱	3LI-12, 13	○	—	DG	R43-A100A	潤滑油サンプタンク (A)	①	高圧注入系統	3V-S1-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③	
	3A高圧注入流量 (I), 3B高圧注入流量 (II)	3PT-902, 963	○	—	DG	R43-A100B	潤滑油サンプタンク (B)	①	高圧注入系統	3V-S1-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1 (2) 止め弁	③	
余熱除去系	3B燃料取替用ホット水位 I, II, III, IV	3LI-1400, 1401, 1392, 1402	○	—	DG	R43-A101A	機関付動弁注油タンク (A)	①	高圧注入系統	3CT2, 3	格納容器再循環サンプ	①	
	3A, 3B余熱除去ポンプ		○	—	DG	R43-A101B	機関付動弁注油タンク (B)	①	高圧注入系統	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②	
	3A, 3B余熱除去冷却器		× ^{※1}	③	DG	R43-A200A	軽油タンク (A)	①	高圧注入系統	3LT-621, 631	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	②	
	3A, 3B余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁	3PV-601, 611	○	—	DG	R43-A200B	軽油タンク (B)	①	高圧注入系統	3SIT1A, B, C	蓄圧タンク	①	
	3A, 3B余熱除去冷却器出口流量設定弁	3BV-603, 613	×	①	DG	R43-A200C	軽油タンク (C)	①	高圧注入系統	3V-S1-132A, B, C	蓄圧タンク出口弁	②	
	3A, 3B余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	3PV-604, 614	×	①	DG	R43-A200D	軽油タンク (D)	①	高圧注入系統	3V-S1-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
	3A, 3B余熱除去ポンプB, Cループ高電圧入口止め弁	3PV-420, 430	×	②	DG	R43-A200E	軽油タンク (E)	①	高圧注入系統	3V-S1-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A, 3B余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-RI-002A, B	×	②	DG	R43-A200F	軽油タンク (F)	①	高圧注入系統	3V-S1-104	蓄圧タンク監視供給ライン C/V 内側隔離弁	③	
	3A, 3B余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-RI-043A, B	×	①	DG	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	高圧注入系統	3V-S1-104	安全注入逆止弁デストライン C/V 内側隔離弁	③	
	3A, 3B余熱除去冷却器出口連絡弁	3V-RI-047A, B	×	②	DG	R43-A201B	燃料デایتンク (B)	①	高圧注入系統	3V-S1-105	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	③	
格納容器スプレイ系	3B, 3Cループ高電圧低圧注入ライン止め弁	3V-RI-048A, B	×	②	DG	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	高圧注入系統	3V-S1-108	安全注入逆止弁デストライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3PT-601, 611	○	—	DG	R43-A201B	燃料デایتンク (B)	①	余熱除去系統	3EH1A, B	余熱除去冷却器	①	
	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱	3LI-14, 15	○	—	DG	R43-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系統	3BCV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	③	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ		○	—	DG	R43-A300B	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系統	3PCV-604, 614	余熱除去 (B) ライン流量制御弁	③	
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器		× ^{※1}	③	DG	R43-B001A	前水冷却器 (A)	①	余熱除去系統	3PCV-410, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用ホット水位 (狭域) 入口止め弁	3V-CI-001A, B	○	—	DG	R43-B001B	前水冷却器 (B)	①	余熱除去系統	3V-EH-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ入口格納容器隔離弁	3V-CI-002A, B	○	—	DG	R43-B003A-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	余熱除去系統	3V-EH-023A, B	余熱除去 (A) ライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	3V-CI-024A, B	○	—	DG	R43-B003A-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	余熱除去系統	3V-EH-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV	3PT-950, 951, 952, 953	○	—	DG	R43-B003B-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	余熱除去系統	3V-EH-034A, B	高温側低圧注入ライン止め弁	②	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱	3LI-18, 19	○	—	DG	R43-B003B-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	主給水系統	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②	
主蒸気及び主給水系、補助給水系	3タービン補助給水ポンプ		○	—	DG	R43-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①	主給水系統	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②	
	3A, 3B電動補助給水ポンプ		○	—	DG	R43-D100A	潤滑油フィルタ (A)	①					
	3戻水ビット		× ^{※1}	③	DG	R43-D100B	潤滑油フィルタ (B)	①					
	3タービン補助給水ポンプ駆動弁A, B	3V-MS-670A, B	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	3V-FW-674A, B, C, D	×	④									

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐腐蝕仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内部環境仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}	
主蒸気及び 主給水系、 補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン流量調節弁	3V-FW-557A, B, C, D	×	①	06	R43-1200A	燃料移送ポンプ吸入ストレーナ（A）	①	主蒸気系統	3HCV-2010, 3020, 3030	主蒸気バイパス隔離弁	③	
	3種水ピット電動補助給水ポンプ阻止弁	3V-FW-580	×	①	06	R43-1200B	燃料移送ポンプ吸入ストレーナ（B）	①	主蒸気系統	3V-MS-521A, B, C, 522A, B, C, 523A, B, C, 524A, B, C, 525A, B, C	主蒸気安全弁	①	
	3種水ピットタービン駆動補助給水ポンプ阻止弁	3V-FW-581	×	①	06	R43-1201A	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（A）	①					
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン流量調節弁	3HV-3715, 3725, 3735, 3745	×	①	06	R43-1201B	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（B）	①	主蒸気系統	3V-MS-575A, B	タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気B（C）主蒸気ライン弁	③	
	3A, 3Bタービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	3V-MS-575A, B	×	①	06	R43-1202A-1	燃料油フィルタ（A）-1	①	主蒸気系統	3V-MS-510A, B, C	主蒸気逃がし弁弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	3V-FW-520A, B, C, D	×	①	06	R43-1202A-2	燃料油フィルタ（A）-2	①	主蒸気系統	3V-MS-501	非常用タービングラウンド蒸気弁	③	
	3種水ピット水位計Ⅲ,Ⅳ	3LT-3760, 3761	○	—	06	R43-1202B-1	燃料油フィルタ（B）-1	①	主蒸気系統	3V-MS-601A, B, C	主蒸気隔離弁上流ドレンライン隔離弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量	3FT-3716, 3726, 3736, 3746	○	—	06	R43-1202B-2	燃料油フィルタ（B）-2	①	補助給水系統	3FW-P	補助給水ピット	①	
	3A, B, C, D蒸気発生器圧力検出器	3LT-384, 474, 484, 494	×	②	06	R43-1300A	始動用空気ストレーナ（A）	①	原子炉	3CPT1	よう素除去薬品タンク	①	
	3A, B, C, D蒸気発生器圧力検出器	3LT-381, 482, 493, 471, 472, 473, 481, 482, 483, 491, 492, 493	×	②	06	R43-1300B	始動用空気ストレーナ（B）	①	原子炉	3CP1A, B	格納容器スプレイ冷却器	①	
	3タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気A, B	3TF-A, B	○	—	06	R43-1301A	始動用空気ストレーナ（A）	①	原子炉	3CP1A, B	格納容器スプレイ冷却器	①	
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁	3V-MS-520A, B, C, D	○	—	06	R43-1301B	始動用空気ストレーナ（B）	①	原子炉	3CP1A, B	格納容器スプレイ冷却器	①	
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁バイパス弁	3HV-2915, 3025, 3035, 3045	×	①	06	R43-4PS105A	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③	原子炉	3V-CP-050A, B	よう素除去薬品タンク注入A（B）ライン止弁後弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気逃がし弁	3V-MS-521A, 522A, 523A, 524A, 525A	○	—	06	R43-4PS105B	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③	原子炉	3CC1A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器	①	
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①	06	R43-4PS210A	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③	原子炉	3V-CC-054A, B, C, D	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁	3V-MS-527A, B, C, D	×	①	06	R43-4PS210B	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③	原子炉	3V-CC-526	1次冷却材ポンプ補機冷却水出口 C/V 内側隔離弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①	06	R43-4PS210C	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③	原子炉	3A-SFP, 3B-SFP	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	①	
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①	06	R43-4PS210D	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③					
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁	3V-MS-530A, B, C, D	×	①	06	R43-4PS210E	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③					
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	3V-MS-585A, B, C, D	×	①	06	R43-11S100A	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③					
3A, 3B, 3C, 3D主蒸気逃がし弁弁	3V-MS-523A, B, C, D	×	①	06	R43-11S100B	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③						
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	3PT-466, 467, 498, 471, 478, 472, 473, 481, 482, 483, 491, 492, 493	○	—	06	R43-11S100C	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③						
					06	R43-11S100D	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③					
					06	R43-11S100E	潤滑油サンプタンク油面指示計（接点付）	③					
					06	R43-11S201A	軽油貯蔵タンクA液面計	③					
					06	R43-11S201B	軽油貯蔵タンクB液面計	③					
					06	R43-11S106A	機関起動弁注油タンク油面	③					
					06	R43-11S106B	機関起動弁注油タンク油面	③					
					06	R43-11S257A	シリンダー浸水スイッチ	③					

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②FC内耐震性仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内耐震仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)					
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{#1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{#1}		
原子炉補機 冷却系	3-1次冷却ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	3V-CC-429	○	—	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)	06	R43-LS257H	シリンダー戻水スイッチ	②	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)	使用済燃料 ピット水浄化 冷却系統	3SFF1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①
	3-4回冷却ユニット・全額抽出冷却器冷 却水戻りラインの隔離弁	3V-CC-342	○	—		06	R43-PI052A	機関付海水ポンプ出口圧力指示計	③		使用済燃料 ピット水浄化 冷却系統	3SFD1A,B	使用済燃料ピット脱塩槽	①
	3-4回冷却ユニット・全額抽出冷却器冷 却水戻りラインの隔離弁	3V-CC-365	○	—		06	R43-PI052B	機関付海水ポンプ出口圧力指示計	③		使用済燃料 ピット水浄化 冷却系統	3SFF1A,B	使用済燃料ピットフィルタ	①
	3A-D, 3B-C 格納容器前部ユニット冷却水 戻りライン格納容器隔離弁	3V-CC-189A,B	○	—		06	R43-PI101A	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		原子炉補機 冷却海水系統	3S-SM-01A,B,C,D	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ	①
	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器前部ユニット冷却 水戻りライン格納容器隔離弁	3V-CC-198A,B,C,D	○	—		06	R43-PI101B	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		原子炉補機 冷却海水系統	3S-SM-02A,B,C,D	原子炉補機冷却海水冷却器海水入口ストレーナ	①
	3度集積処理用冷却水供給ライン第1,2 号弁 (3号機用)	3V-CC-500, 501	○	—		06	R43-PI211A	機関入口燃料油圧力指示計	③		液体廃棄物 処理系統	3V-WL-005	CVDT 自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②
	原子炉補機冷却水サージタンク水位用 IV	3UT-1200, 1201	○	—		06	R43-PI211B	機関入口燃料油圧力指示計	③		液体廃棄物 処理系統	3V-WL-006	CVDT 自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ現場 操作弁	3LE-20, 21, 22, 23	○	—		06	R43-PI255A	機関入口吸気圧力 (L側) 指示計	③		液体廃棄物 処理系統	3V-WL-010	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V内側隔離弁	②
	3A, 3B, 3C海水ポンプ	—	○	—		06	R43-PI255B	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	③		液体廃棄物 処理系統	3V-WL-011	格納容器冷却材ドレンタンクベントライン C/V外側隔離弁	③
	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水スト レーナ	3S-SM-01A,B,C,D	×	①		06	R43-PI256A	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	③		液体廃棄物 処理系統	3V-WL-017	格納容器冷却材ドレンタンク窒素供給 C/V隔離弁	③
3A, 3B, 3C海水ポンプ軸流ストレーナA,B	3S-SM-02A,B,C 3S-SM-03A,B,C	×	①	06	R43-PI256B	機関入口吸気圧力 (R側) 指示計	③	液体廃棄物 処理系統	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V内側隔離弁	③			
3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	3V-SM-570A,B	○	—	06	R43-PI3108A	機関潤滑油圧力	③	液体廃棄物 処理系統	3V-WL-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口 C/V外側隔離弁	③			
3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作弁	3LE-26, 27, 28, 29	○	—	06	R43-PI3108B	機関潤滑油圧力	③	液体廃棄物 処理系統	3V-WL-113	格納容器サンプポンプ出口 C/V内側隔離弁	②			
燃料ピット 冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピットポンプ	—	○	—	06	R43-PI3113A	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計 (接点付)	②	液体廃棄物 処理系統	3V-WL-114	格納容器サンプポンプ出口 C/V外側隔離弁	③		
	3A, 3B使用済燃料ピット	—	×	①	06	R43-PI3113B	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計 (接点付)	②	試験採取系統	3V-SS-504	加圧窒素相部サンプリングライン C/V内側隔離弁	②		
	3A, 3B, 3C使用済燃料ピット冷却器	—	×	①	06	R43-PI3253A	空気の圧力 (自動) 指示計 (接点付)	④	試験採取系統	3V-SS-509	加圧窒素相部サンプリングライン C/V内側隔離弁	②		
	3A, 3B使用済燃料ピット脱塩槽	—	×	①	06	R43-PI3253B	空気の圧力 (自動) 指示計 (接点付)	④						
	3A, 3B使用済燃料ピットフィルタ	—	×	①	06	R43-Ps250A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③						
	3A, 3B使用済燃料ピットポンプ現場操作弁	3LE-24, 25	○	—	06	R43-Ps250B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③						
	燃料取替水系	3A, 3B燃料取替水ポンプ	—	○	—	06	R43-Ps262A	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③					
		3燃料取替水ピット	—	×	①	06	R43-Ps262B	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③					
		3A, 3B燃料取替水ポンプ現場操作弁	3LE-33, 34	○	—	06	R43-PS250A	空気の圧力 (自動) スイッチ	③					
		3A, 3B, 3C, 3Dブローダウンライン格納容器 隔離弁	3V-BD-101A,B,C,D	×	①	06	R43-PS250B	空気の圧力 (自動) スイッチ	③					
3A, 3B, 3C, 3D酸素発生器試験ライン格納容 器隔離弁		3V-BD-101A,B,C,D	×	①										
3回圧縮機試験ライン格納容器第1隔離 弁		3V-SS-503	×	②										
3回圧縮機試験ライン格納容器第2隔離 弁		3V-SS-506	×	②										
3D4-レベル高圧試験ライン格納容器第1隔 離弁		3V-SS-522	×	②										
3D4-レベル高圧試験ライン格納容器第2隔 離弁		3V-SS-507	×	①										
3D4-レベル高圧試験ライン格納容器第3隔 離弁		3V-SS-525	×	②										
1次系試験採取 系	3D4-レベル高圧試験ライン格納容器第3隔 離弁	3V-SS-526	×	①										
	3A, 3B, 3C, 3D運転タンク試験採取ライン格 納容器第1隔離弁	3V-SS-590A,B,C,D	×	②										
	3運転タンク試験採取ライン格納容器第2 隔離弁	3V-SS-594	×	①										
	3-1次冷却材試験採取戻りライン格納容器 隔離弁	3V-SS-574	×	①										
	潤滑用空気系	3A, 3B潤滑用空気圧縮機	—	○	—									

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②2号機内蔵仕様様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内貯留機仕様様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの取次方	系統	機器番号	設備	理由 ^{*1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{*1}	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器	3I2H1A, B	×	③	06	R43-PS251A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③	06	3W-SS-514, 516	B（C）ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
	3A, 3B制御用空気だめ	3I2T1A, B	×	③	06	R43-PS251B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③	06	3W-SS-521A	Bループ高温側、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A, 3B制御用空気主蒸気過熱弁弁等供給ライン止め弁	3V-1A-505A, B	○	—	06	R43-TE331A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3W-SS-521B	Cループ高温側サンプリングラインC/V内側隔離弁	③	
	3A-C, 3B-C制御用空気母管遮断弁	3V-1A-501A, B	○	—	06	R43-TE331B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3W-SS-718	Pa&S1 次冷却材サンプル戻りラインC/V外側隔離弁	③	
	3A, 3B制御用空気格納容器隔離弁	3V-1A-508A, B	○	—	06	R43-TE332A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3W-DP-001A, B	格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁設備	②	
	3A, 3B格納容器内副熱Bドラム制御用空気流量弁止め弁	3V-1A-510A, B	×	②	06	R43-TE332B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3W-DP-002A, B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁設備	③	
	3A, 3B制御用空気供給母管圧力	3PT-1800, 1810	○	—	06	R43-TE333A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③	06	3W-BC-304A, B	格納容器水素パーージ給気ライン格納容器外側隔離弁設備	③	
	3A, 3B制御用空気圧縮機制御弁	3I2C-A, B	○	—	06	R43-TE333B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③	06	3W-EM-001	放射線監視設備空気サンプルリング系統	②	
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第1隔離弁	3V-AL-078	×	②	06	R43-TE334A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3W-EM-002	放射線監視設備空気サンプルリング系統	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第2隔離弁	3V-AL-079	×	①	06	R43-TE334B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3W-EM-015	放射線監視設備空気サンプルリング系統	③	
廃棄物処理系	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3V-AL-083	×	②	06	R43-TE335A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3V-AL-084	×	①	06	R43-TE335B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク家裏供給ライン格納容器第1隔離弁	3V-AL-094	×	①	06	R43-TE336A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク家裏供給ライン格納容器第2隔離弁	3V-AL-094	×	①	06	R43-TE336B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-AL-043	×	①	06	R43-TE337A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3格納容器冷却材ドレンポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-AL-143	×	②	06	R43-TE337B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3格納容器サンプルポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-AL-144	×	②	06	R43-TE338A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3格納容器サンプルポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-AL-144	×	①	06	R43-TE338B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3用大水ライン格納容器隔離弁	3V-FS-502	×	①	06	R43-TE339A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3用内排計測装置ガスバーンライン格納容器第1隔離弁	3V-1G-009	×	②	06	R43-TE339B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
換気空調系	3用内排計測装置ガスバーンライン格納容器第2隔離弁	3V-1G-008	×	①	06	R43-TE340A	非常用D/G（A）軸受温度検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	手動弁 一式		×	③	06	R43-TE341A	非常用D/G（A）軸受温度検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	逆止弁 一式		×	③	06	R43-TE341B	非常用D/G（B）軸受温度検出器	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	2換気空調機	3VE	○	—	06	R43-TI051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3A, 3B中央制御室空調ファン		○	—	06	R43-TI051B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3A, 3B中央制御室扇風機ファン		○	—	06	R43-TI051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	3V3P22A, B	○	—	06	R43-TI051B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3A, 3B中央制御室外気取入止めダンパ	3D-VS-601A, B	×	①	06	R43-TI051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	3D-VS-602A, B	○	—	06	R43-TI051B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3D-VS-603A, B	○	—	06	R43-TI051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③	
3A, 3B中央制御室扇風機ファン入口ダンパ	3D-VS-604A, B	○	—	06	R43-TI051B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③		
3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	3HD-2874, 2875	○	—	06	R43-TI094A	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③		
3A, 3B中央制御室扇風機流量調節ダンパ	3HD-2885, 2886	○	—	06	R43-TI094B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③		
3A, 3B中央制御室大気放散流量調節ダンパ	3HD-2887, 2888	×	①	06	R43-TI109A	機関入口調停油温度指示計	③	06	3W-BD-028A, B, C	プロードダウンシステム	③		
3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	3HD-2889, 2890	○	—	06				06					

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PVI内副環境仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内副環境仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/9)				
系統	設備	番付	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前扉直流通風ファン	3BCD-2991, 2992	○	—	DC	R43-TIS109B	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	④	燃料取替用水 系統	3RF-P	燃料取替用水ピット	①	
	3中央制御室温度(1), (2)	3TS-2908, 2909	○	—	DC	R43-TIS343A	非常用D/G(A) 軸受温度指示計（接点付）	④	燃料取替用水 系統	3RFH1	燃料取替用水加熱器	①	
	3A, 3B中央制御室非常用前扉ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—	DC	R43-TIS343B	非常用D/G(B) 軸受温度指示計（接点付）	④	制御用空気 系統	3V-1A-514A,B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②	
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—	DC	R43-TS112A	潤滑油プライミングポンプ入口温度スイッチ	④	換気空調設備 系統	3D-Y5-231A,B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	③	
	34キッチン排気扇1, 2隔離ダンパ	34D-Y5-605, 606	×	①	DC	R43-TS112B	潤滑油プライミングポンプ入口温度スイッチ	④	換気空調設備 系統	3VSD7A,B	アニュラス空気浄化フィルタユニット	①	
	3A, 3B中央制御室外気吸入調節ダンパ流量設定	3BC-2874, 2875	○	—	PCS	T49-0091A	FCS再結合部(A)	①	換気空調設備 系統	—	排気筒	①	
	3A, 3B中央制御室前扉ダンパ流量設定	3BC-2885, 2886	○	—	PCS	T49-0091B	FCS再結合部(B)	①	換気空調設備 系統	3V-Y5-055	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③	
	A, B中央制御室外気排出調節ダンパ流量設定	3BC-2887, 2888	×	①	PCS	T49-0001B	FCS気水分離器(B)	①	換気空調設備 系統	3V-Y5-056	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	②	
	3A, 3B中央制御室事故時外気吸入調節ダンパ流量設定	3BC-2889, 2890	○	—	PCS	T49-0001A	FCS再結合部(A)	①	換気空調設備 系統	3V-Y5-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	②	
	3A, 3B中央制御室事故時前扉ダンパ流量設定	3BC-2891, 2892	○	—	PCS	T49-0001B	FCS再結合部(B)	①	換気空調設備 系統	3V-Y5-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③	
	34A, 34B安全補機間閉塞空調ファン	○	○	—	PCS	T49-TE001A	FCS(A) 入口ガス温度検出器	④	換気空調設備 系統	3VSA18A,B	安全補機室冷却ユニット	①	
	34C, 34D安全補機間閉塞空調ファン	○	○	—	PCS	T49-TE001B	FCS(B) 入口ガス温度検出器	④	換気空調設備 系統	3D-Y5-301A,B	安全補機室給気第1 隔離ダンパ	③	
	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B	3D-Y5-532, 533	○	—	PCS	T49-TE009A-1	FCS再結合部(A) 内ガス温度検出器	④	換気空調設備 系統	3D-Y5-302A,B	安全補機室給気第2 隔離ダンパ	②	
	3安全系電気盤室排気止めダンパA, B	3D-Y5-536, 537	○	—	PCS	T49-TE009B-2	FCS再結合部(B) 内ガス温度検出器	④	換気空調設備 系統	3D-Y5-303A,B	安全補機室排気第1 隔離ダンパ	③	
	3A, 3B安全補機間閉塞温度	3TS-2817, 2818	○	—	PCS	T49-TE009B-1	FCS再結合部(B) 内ガス温度検出器	④	換気空調設備 系統	3D-Y5-304A,B	安全補機室排気第2 隔離ダンパ	③	
	3A, 3B制御用空気圧縮機送気ファン	○	○	—	FDW	R21-F052A	F D W第二隔離弁(A)	④	換気空調設備 系統	3D-Y5-402A,B,C,D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	③	
	3制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2771, 2772, 2773, 2774	○	—	FPV	931	使用済燃料プール	①	換気空調設備 系統	3VSG2A,B	原子炉建屋給気ガラリ	①	
	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B	3D-Y5-431A,B	○	—	FPV	641-0001A	スキマサージタンク	①	換気空調設備 系統	3VSA6A,B	安全補機間閉塞室給気ユニット	①	
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	○	○	—	FPV	641-0001B	スキマサージタンク	①					
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2)	3TS-2741, 2742, 2743, 2744	○	—	FPV	641-0001A	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)	①					
	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B	3D-Y5-411A,B	○	—	FPV	641-0001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	①					
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	—	FPV	641-0006A	プール浄化水戻りディフューザ	①					
	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714	○	—	FPV	641-0006B	プール浄化水戻りディフューザ	①					
	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	3D-Y5-401A,B, 403A,B	○	—	FPV	641-F013	F P Cろ過処理装置出口弁	④					
	3A, 3B安全補機室冷却ファン	○	○	—									
	3A, 3B安全補機室温度(1), (2)	3TS-2680, 2681, 2690, 2691	○	—									
	3A, 3B13ウ酸ポンプ室空調ファン	○	○	—									
	3A, 3B13ウ酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	○	○	—									
	3A, 3B13ウ酸ポンプ室温度調節計	3TS-2691, 2611	○	—									
	313ウ酸タンク室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2602, 2603, 2612, 2613	○	—									
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン	3VSWA,B	○	—									
	アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	3VSD8A,B	×	①									
3A, 3Bアニュラス排気ダンパ	3D-Y5-101A,B	○	—										

※1 評価対象外とした理由
 ①洪水により機能を喪失しない
 ②DC内耐震強化された設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①洪水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内耐震強化された設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/9)					
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}		
換気空調系	DA,38アニュラス戻りダンパ	3D-VS-104A,B	○	—	FTC	641-LS016	燃料貯蔵プール水位スイッチ	③	換気空調設備 系統	3FSM4A,B	中央制御室給気ユニット	①		
	3A,38アニュラス全量排気弁	3F-VS-102A,B	○	—	FTC	641-P1006	F P Cポンプ出口圧力指示計	③	換気空調設備 系統	3D-VS-801A,B	中央制御室外気取入ダンパ	③		
	DA,38アニュラス少量排気弁	3F-VS-103A,B	○	—	FTC	641-TB001	F P Cポンプ入口温度検出器	③	換気空調設備 系統	3D-VS-811,812	中央制御室排気第1(2)隔離ダンパ	③		
	3A,38アニュラス圧力制御器	3FC-2522,2542	×	①	FTC	641-TE014A	F P C熱交換器(A) 出口温度検出器	③	換気空調設備 系統	3HCD-2838,2838	中央制御室排気風量調節ダンパ	③		
	DA,38格納容器排気ファン出口ダンパ	3D-VS-060A,B	×	①	FTC	641-TE014B	F P C熱交換器(B) 出口温度検出器	③	換気空調設備 系統	3VS08	中央制御室非常用循環フィルタユニット	①		
	3格納容器排気止めダンパ	3D-VS-061	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3D-VS-063	格納容器排気密ダンパ	③		
	3補助建屋排気風量調節ダンパ	3HCD-2599	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3D-VS-064	格納容器排気密ダンパ	③		
	3補助建屋排気止めダンパ	3D-VS-351	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3D-VS-065A,B	格納容器排気ファン出口ダンパ	③		
	DA放射線管理室排気風量調節ダンパ	3HCD-2976	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3D-VS-232	補助建屋排気隔離ダンパ	③		
	3放射線管理室排気止めダンパ	3HCD-658	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3PCD-2526	補助建屋排気風量制御ダンパ	③		
	DA,38安全補機室排気ダンパ	3D-VS-105A,B	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3CRT1	空調用冷水膨張タンク 設備系統	①		
	3安全補機室給気第1,2隔離ダンパ	3D-VS-301,302	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3F-FS-504	消火水C/V外側隔離弁	③		
	3安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	3D-VS-303,304	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3F-IG-008	伊内核計装装置二酸化炭素バージライン C/V外側隔離弁	③		
	3アニュラス給気第1,2隔離ダンパ	3D-VS-052,053	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3F-IG-009	伊内核計装装置二酸化炭素バージライン C/V内側隔離弁	③		
	3アニュラス排気第1,2隔離ダンパ	3D-VS-058,059	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3F-VR-001A,B	真空逃がし装置C/V外側隔離弁	③		
	3格納容器給気第2隔離弁	3F-VS-054	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3DGT1A,B	燃料油貯油槽	①		
	3格納容器給気第1隔離弁	3F-VS-055	×	②	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統	3DGT2A,B	ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①		
	3格納容器排気第1隔離弁	3F-VS-056	×	②	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	3格納容器排気第2隔離弁	3F-VS-057	×	①	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA,38安全補機室冷却ファン現場操作箱	3LB-82,83	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA1-A2,381-382ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	3LB-84,85	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA,38電動機給水ポンプ給気ファン現場操作箱	3LB-86,87	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA,38副用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	3LB-90,91	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA,38中央制御室給気ファン現場操作箱	3LB-95,99	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA,38中央制御室空調ファン現場操作箱	3LB-101,102	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	3A4,3A6,3A8,3A9安全補機用副用室空調ファン現場操作箱	3LB-13,14,20,21	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA,38ほう電ポンプ室空調ファン現場操作箱	3LB-77,78	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA,38アニュラス空気浄化ファン現場操作箱	3LB-82,53	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	DA,38中央制御室非常用循環ファン現場操作箱	3LB-97,98	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					
	冷水系	3空調用冷水膨張タンク		×	③	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統				
		DA,38,3C,3B空調用冷水ポンプ		○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統				
		3A,3B,3C,3B空調用冷水ポンプ		○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統				
		3A,3B,3C,3B空調用副用室空調ユニット冷水温度制御弁	3HCD-2990,2991	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統				
	DA,38中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	3TCY-2878,2879	○	—	FTC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	③	換気空調設備 系統					

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②FCV内耐腐蝕仕様設備
 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内耐環境仕様設備
 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)					
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}		
冷水系	3号潤滑冷水Nヘッド供給、戻りライン止め弁	3V-CH-002,033	○	—	HPCW	P24-F102	HNCW供給ライン第二隔離弁	④	関連設備	3NE41A, B, 3NE42A, B, 3NE43A, B, 3NE44A, B	出力領域検出器	③		
	3号潤滑油冷却器冷却ユニット冷水入口、出口格納容器隔離弁	3V-CH-453,457	×	①	HPCW	P24-F107	HNCW戻りライン第一隔離弁	③		関連設備	3NE31,32	中性子領域検出器	③	
	3A, 3B, 3C, 3D号潤滑冷水ポンプ現場操作箱	3B1-103, 104, 105, 106	○	—	HPCS	E22-D010	高圧酸素スプレーストレーナ	①			関連設備	3RE-01A,02A	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）	②
格納容器減圧装置及び水素制御設備系	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器第1隔離弁	3V-3B-001A, B	×	②	HPCS	E22-0P7000	HPCSノズル高圧伝送器	③	関連設備			3RE-01B, 02B	格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）	②
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器第2隔離弁	3V-3B-002A, B	×	①	HPCS	E22-P010	HPCS-S/PC個別検出調整弁	③						
	3A, 3B格納容器水素バーン給気ライン格納容器第1隔離弁	3V-3B-304A, B	×	①	HPCS	E22-P021	HPCS注入ライン試験可能逆止弁均圧弁	②						
	3A, 3B格納容器水素バーン給気ライン格納容器第2隔離弁	3V-3B-305A, B	×	①	HPCS	E22-PT005B	HPCSポンプ出口流量変換器	③						
放射線監視設備 空気サンプリング系	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器第1隔離弁	3V-3B-001	×	②	HPCS	E22-PT001	HPCSポンプ入口圧力	③						
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器第2隔離弁	3V-3B-002	×	①	HPCS	E22-PT004	HPCSポンプ出口圧力	③						
	3格納容器サンプル戻りライン格納容器隔離弁	3V-3B-013	×	①	HPCS	E22-PT001A	HPCSポンプ入口圧力伝送器	③						
電気盤	3主盤（原子炉盤）	3MB	○	—	HPCSDG	R44-A001	排水影響タンク	①						
	3原子炉補助盤	3RD	○	—	HPCSDG	R44-A102	潤滑油補給タンク	①						
	3原子炉安全保護計装盤Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ	3RR-Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ	○	—	HPCSDG	R44-A200	軽油タンク（G）	①						
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3RE-A, B, C, D	○	—	HPCSDG	R44-A201	燃料デイツタンク	①						
	3安全保護シーケンス盤061, 062, 061, 062	3SF-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSDG	R44-A300	空気だめ（自動）	①						
	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4プレイト分盤盤	3SI-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	HPCSDG	R44-8001	排水冷却器	①						
	3原子炉トリップ遮断器盤	3TB	○	—	HPCSDG	R44-8003	機関付空気冷却器	①						
	3A, 3Bドロップ盤	3BP-A-00P, 3BKP-B-00P	○	—	HPCSDG	R44-B100	潤滑油冷却器	①						
	3A, 3B直流充電盤	3BP-A, B	○	—	HPCSDG	R44-B102	発電機軸交潤滑油冷却器	①						
	3A, 3B直流分電盤	3BP-A, B	○	—	HPCSDG	R44-D100	機関付潤滑油フィルタ	①						
	3A, 3B蓄電池	3BP-A, B	○	—	HPCSDG	R44-D200	燃料移送ポンプ入口ストレーナ	①						
	3A, 3B充電器盤	3BP-A, B	○	—	HPCSDG	R44-D201	HPCS D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ	①						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルラッドスイッチボックス	3PC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSDG	R44-D202-1	燃料油フィルタ-1	①						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンター	3PC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSDG	R44-D202-2	燃料油フィルタ-2	①						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンター	3RC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSDG	R44-D300	始動用空気Y型ストレーナ	①						
	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤(1)~(3)	3IC-A, B, C, D	○	—	HPCSDG	R44-D301	始動用空気Y型ストレーナ	①						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3B1, 3B2計装用分電盤	3IP-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	HPCSDG	R44-D302	機関付潤滑油フィルタ高圧	③						
	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切り替え盤	3IP-A, B, C, D	○	—										
	3南内盤	3IB	○	—										
	3AC, 3BD計装用保電分電盤	3ID-AC, BD	○	—										
	3事故増放射線監視盤	3IMS-Ⅲ, Ⅳ	○	—										
	計器	3出力領域中性子束	3I-41, 42, 43, 44	×	②									

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内貯留域仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②炉内貯留域仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (10/24)								
系統	設備	番号	溢水影響評価を施	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}					
計器	S中性子検出棒中性子束	2N-21、32	×	②	HPVSDG	R44-4PS210	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③					
	S格納容器高圧レンジリアモニタ(低レンジ・高レンジ)	2RE-9/A、9/B、92A、92B	×	②	HPVSDG	R44-6200	グレキシブルチューブ	①					
	3A、3Bディーゼル機関		○	—	HPVSDG	R44-LIS056	清水排酸タンク水位指示計（接点付）	③					
	3A、3Bディーゼル発電機		○	—	HPVSDG	R44-LS257	シリンダー浸水スイッチ	③					
非常用電源系	3A、3Bディーゼル発電機コントロールセンサ	3GDC-A、B	○	—	HPVSDG	R44-PI052	機関付清水ポンプ出口圧力	③					
	3A、3Bディーゼル発電機制御盤	2DC-A、B	○	—	HPVSDG	R44-PI102	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③					
					HPVSDG	R44-PI202	燃料油ストレート前後圧力指示計	③					
					HPVSDG	R44-PI203	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③					
					HPVSDG	R44-PI211	機関入口燃料油圧力指示計	③					
					HPVSDG	R44-PI256	機関入口換気圧力指示計	③					
					HPVSDG	R44-PI308	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③					
					HPVSDG	R44-PI3113	機関入口潤滑油圧力	③					
					HPVSDG	R44-PI3253	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③					
					HPVSDG	R44-Ps200	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③					
					HPVSDG	R44-Ps202	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③					
					HPVSDG	R44-Ps250	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③					
					HPVSDG	R44-Ps251	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③					
					HPVSDG	R44-TE301H	H P C S D / G 固定子巻線温度（U相）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE302H	H P C S D / G 固定子巻線温度（V相）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE303H	H P C S D / G 固定子巻線温度（W相）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE304H	H P C S D / G 固定子巻線温度（U相）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE305H	H P C S D / G 固定子巻線温度（V相）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE306H	H P C S D / G 固定子巻線温度（W相）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE307H	H P C S D / G 固定子巻線温度（U相予備）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE308H	H P C S D / G 固定子巻線温度（V相予備）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE309H	H P C S D / G 固定子巻線温度（W相予備）検出器	③					
					HPVSDG	R44-TE341H	H P C S D / G 反直結回転受温度検出器	③					

スクリーンアウトの考え方
 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルがシフトとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。
 ②原子格納容器内の防護対象設備は風速、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震設計であるため機能喪失しない。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。
 ③メンタ、熱文、逆弁弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。
 ④他の設備で代替できる。

※1 溢水影響評価対象機の注記
 ※1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対処設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない。
 ②PCV内耐震設計の設備。
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。
 ④他の設備で代替できる。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)										
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}						
1次冷却系	4原子炉容器		×	②	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)	HPDSG	R44-T2342B	H P C S D / G直結熱受温度検出器	②					
	4A, 4B, 4C, 4D冷却気発生器		×	③		HPDSG	R44-T1051	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	③					
	4A, 4B, 4C, 4D-1次冷却材ポンプ		×	①		HPDSG	R44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	③					
	4加圧器		×	③		HPDSG	R44-T13054	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	③					
	4A, 4B, 4C加圧器安全弁	4F-8C-055, 056, 057		×		③	HPDSG	R44-T1S111	機関潤滑油温度	③				
	4A, 4B加圧器遮がし弁	4FC-452A, B		×		②	HPDSG	R44-T1S343D	H P C S D / G反直結熱受温度指示計（接点付）	③				
	4A, 4B加圧器遮がし弁前弁	4A-8C-054A, B		×		①	HPDSG	R44-T1S344H	H P C S D / G直結熱受温度指示計（接点付）	③				
	4加圧器遮がしタンクガス分析ライン格納容器1号機弁	4F-8C-077		×		②	HPDSG	R44-TS107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	③				
	4加圧器遮がしタンクガス分析ライン格納容器2号機弁	4F-8C-078		×		①	HPCW	P47-A001	高圧炉心スプレイト補機冷却水サージタンク	①				
	4加圧器遮がしタンク薬液供給ライン格納容器1号機弁	4F-8C-084		×		①	HPCW	P47-B001	高圧炉心スプレイト補機冷却水系熱交換器	①				
	4格納容器内補給水供給ライン格納容器1号機弁	4F-8C-096		×		①	HPCW	P47-L1007	H P C Wサージタンク水位	③				
	4A, 4B加圧器スプレイベン	4FC-451A, B		×		①	HPCW	P47-P1001	H P C Wポンプ出口圧力	③				
	4-1次冷却材圧力	4PT-420, 430		×		②	HPCW	P47-P1005	H P C Wポンプ入口圧力	④				
	4加圧器水位	4LT-401, 402, 403, 404		×		②	HPCW	P47-P1004	H P C W冷却水供給圧力伝送器	③				
	4A, B, C, Dループ1次冷却材高濃側・低濃側温度（広域）	4TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445		×		②	HPCW	P47-T1003	H P C W冷却水供給温度検出器	③				
	4A, B, C, Dループ1次冷却材高濃側・低濃側温度（狭域）	411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D		×		②	HPSW	P48-D001A	高圧炉心スプレイト補機冷却水系ストレーナ（A）	①				
	4加圧器圧力	4PT-401, 402, 403, 404		×		②	HPSW	P48-D001B	高圧炉心スプレイト補機冷却水系ストレーナ（B）	①				
	4PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445			×		②	HPSW	P48-4PT002	H P S Wストレーナ差圧指示計	③				
	1次冷却材ポンプ300機数	4SE-410A, 420A, 430A, 440A		×		②	HPSW	P48-P1001	H P S Wポンプ出口圧力	③				
	化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ		○		—	HPSW	P48-P1001	H P S Wポンプ出口圧力伝送器	③				
		4A, 4B, 4C充てんポンプ		○		—	-	-	排気筒	①				
		4体積制御タンク		× ^H		③	HVAC	V10-D201A	C A M S（A）室内常用給気隔離ダンパ	③				
		4再生熱交換器		×		③	HVAC	V10-D201B	C A M S（B）室内常用給気隔離ダンパ	③				
		4A, 4Bほう酸タンク		× ^H		③	HVAC	V10-D202A	C A M S（A）室内常用排気隔離ダンパ	③				
		4ほう酸フィルタ		× ^H		③	HVAC	V10-D202B	C A M S（B）室内常用排気隔離ダンパ	③				
4貯水冷却器			× ^H	③	HVAC	V10-B203	D C - M C C 2 A室内常用給気隔離ダンパ	③						
4A, 4B貯水注入フィルタ			× ^H	③										
4貯水ストレーナ			× ^H	③										
4体積制御タンク出口第1止め弁		4LCV-121B		○	—									
4体積制御タンク出口第2止め弁		4LCV-121C		○	—									
4緊急ほう酸注入ライン補給弁		4F-CS-373		○	—									

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内設置仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (12/24)								
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	
化学体積制御系	④充てんポンプ入口燃料取替用本ビット補給装置	④CV-121B, E	○	—	④AC	V10-D094	D/C-MCC 2A室非常用排気隔離タンバ	④	④充てんポンプ入口燃料取替用本ビット補給装置	④CV-121B, E	○	—	
	④充てんライン格納容器隔離弁	④CV-157	○	—	④AC	V10-P001A	原子炉種給気隔離弁(A)用アキュムレータ	④	④充てんライン格納容器隔離弁	④CV-157	○	—	
	④充てんライン止め弁	④CV-155	○	—	④AC	V10-P001A	原子炉種給気隔離弁(A)	④	④充てんライン止め弁	④CV-155	○	—	
	④充てんライン流量制御弁	④CV-128	×	①	④AC	V10-P001B	原子炉種給気隔離弁(B)用アキュムレータ	④	④充てんライン流量制御弁	④CV-128	×	①	
	④1次高圧材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	④CV-149	×	①	④AC	V10-P001B	原子炉種給気隔離弁(B)	④	④1次高圧材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	④CV-149	×	①	
	④抽出ライン第1止め弁	④CV-451	×	②	④AC	V10-P002A	原子炉種給気隔離弁(A)用アキュムレータ	④	④抽出ライン第1止め弁	④CV-451	×	②	
	④抽出ライン第2止め弁	④CV-452	×	②	④AC	V10-P002A	原子炉種給気隔離弁(A)	④	④抽出ライン第2止め弁	④CV-452	×	②	
	④A, B, C抽出ホリアス出口格納容器隔離弁	④CV-004A, B, C	×	②	④AC	V10-P002B	原子炉種給気隔離弁(B)用アキュムレータ	④	④A, B, C抽出ホリアス出口格納容器隔離弁	④CV-004A, B, C	×	②	
	④加圧蒸餾機スプレイ弁	④CV-169	×	②	④AC	V10-P002B	原子炉種給気隔離弁(B)	④	④加圧蒸餾機スプレイ弁	④CV-169	×	②	
	④全線抽出ライン第1止め弁	④CV-301	×	②	④AC	V10-P002B	原子炉種給気隔離弁(B)	④	④全線抽出ライン第1止め弁	④CV-301	×	②	
	④全線抽出ライン第2止め弁	④CV-302	×	②	④AC	V10-P002B	原子炉種給気隔離弁(B)	④	④全線抽出ライン第2止め弁	④CV-302	×	②	
	④抽出ライン格納容器遮断隔離弁	④CV-007	×	①	④AC	V10-P022A	原子炉種給気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	④	④抽出ライン格納容器遮断隔離弁	④CV-007	×	①	
	④充てんライン流量制御弁前止め弁	④CV-151	×	①	④AC	V10-P022B	原子炉種給気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	④	④充てんライン流量制御弁前止め弁	④CV-151	×	①	
	④ループ充てんライン止め弁	④CV-163	×	①	④AC	V10-P030A	原子炉種給気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	④	④ループ充てんライン止め弁	④CV-163	×	①	
	④1次高圧材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	④CV-177	×	①	④AC	V10-P030B	原子炉種給気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	④	④1次高圧材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	④CV-177	×	①	
	④A, B, C, ④D1冷却材ポンプ封水注入ライン格納容器隔離弁	④CV-196A, B, C, D	×	①	④AC	V10-PIS015A	原子炉種給気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	④	④A, B, C, ④D1冷却材ポンプ封水注入ライン格納容器隔離弁	④CV-196A, B, C, D	×	①	
	④1次高圧材ポンプ封水戻りライン格納容器隔離弁	④CV-310	×	②	④AC	V10-PIS015B	原子炉種給気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	④	④1次高圧材ポンプ封水戻りライン格納容器隔離弁	④CV-310	×	②	
	④1次高圧材ポンプ封水戻りライン格納容器隔離弁	④CV-312	○	—	④AC	V10-PIS016A	原子炉種給気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	④	④1次高圧材ポンプ封水戻りライン格納容器隔離弁	④CV-312	○	—	
	④A, B, C, ④D1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	④CV-208A, B, C, D	×	②	④AC	V10-PIS016B	原子炉種給気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	④	④A, B, C, ④D1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	④CV-208A, B, C, D	×	②	
	④A, B, C, ④D1ラックタンク水位	④LT-206, 208	○	—	④AC	V11-B001	原子炉補機(A)室給気冷却コイル	④	④A, B, C, ④D1ラックタンク水位	④LT-206, 208	○	—	
	④充てんポンプ速度制御装置	④SC	○	—	④AC	V11-B002	原子炉補機(A)室給気加熱コイル	④	④充てんポンプ速度制御装置	④SC	○	—	
	④充てんポンプ速度制御補助装置	④SAC	○	—	④AC	V11-K001	原子炉補機(A)室給気バッグエアフィルタ	④	④充てんポンプ速度制御補助装置	④SAC	○	—	
	④A, B, C, ④D充てんポンプ現場操作箱	④LB-5, 6, 7, 8	○	—	④AC	V11-D002	D/G(A)室給気バッグエアフィルタ	④	④A, B, C, ④D充てんポンプ現場操作箱	④LB-5, 6, 7, 8	○	—	
	④A, B, C, ④Dポンプ現場操作箱	④LB-9, 10	○	—	④AC	V11-dP1001	原子炉補機(A)室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	④	④A, B, C, ④Dポンプ現場操作箱	④LB-9, 10	○	—	
	④A, B高圧注入ポンプ	—	○	—	④AC	V11-dP1003	D/G(A)室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	④	④A, B高圧注入ポンプ	—	○	—	
	④A, B, C, ④D高圧タンク	—	×	③	④AC	V11-3001	原子炉補機(A)室給気ルーバ	④	④A, B, C, ④D高圧タンク	—	×	③	
	④A, B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	④V-S1-015A, B	○	—	④AC	V11-3002	原子炉補機(A)室排気ルーバ	④	④A, B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	④V-S1-015A, B	○	—	
	④A, B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	④V-S1-016A, B	○	—	④AC	V11-3003	D/G(A)室給気ルーバ	④	④A, B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	④V-S1-016A, B	○	—	
	④A, B高圧注入ポンプ格納容器再循環タンク個人口格納容器隔離弁	④V-S1-093A, B	○	—	④AC	V11-3004	D/G(A)室排気ルーバ	④	④A, B高圧注入ポンプ格納容器再循環タンク個人口格納容器隔離弁	④V-S1-093A, B	○	—	
	④A, B高圧注入ポンプ燃料取替用本ビット個人口	④V-S1-002A, B	○	—					④A, B高圧注入ポンプ燃料取替用本ビット個人口	④V-S1-002A, B	○	—	
	④A, B燃料除去ポンプRWSベッド及び再循環タンク個人口弁	④V-S1-090A, B	○	—					④A, B燃料除去ポンプRWSベッド及び再循環タンク個人口弁	④V-S1-090A, B	○	—	
	④A, B高圧注入ライン格納容器隔離弁	④V-S1-062A, B	×	①					④A, B高圧注入ライン格納容器隔離弁	④V-S1-062A, B	×	①	
	④A, B高圧注入ポンプ出口連絡弁	④V-S1-066A, B	×	②					④A, B高圧注入ポンプ出口連絡弁	④V-S1-066A, B	×	②	
	④A, B高圧注入ポンプ高圧補注入ライン止め弁	④V-S1-067A, B	×	②					④A, B高圧注入ポンプ高圧補注入ライン止め弁	④V-S1-067A, B	×	②	

※1 評価対象外とした理由
 ①設計により機能を喪失しない
 ②DCV内耐震強化設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (13/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
安全注入系	4A, 4B, 4C, 4D 過圧タンク出口弁	4V-51-132A, B, C, D	×	②	HVAC	V12-B001	原子炉補機 (B) 窒素気冷却コイル	①			
	4格納容器再循環ポンプ水位(換熱・広域)	4LT-903, 971, 972, 973	×	②	HVAC	V12-B002	原子炉補機 (B) 窒素気加熱コイル	①			
	4A, 4B 高圧注入ポンプ現場操作箱	4LJ-12, 13	○	—	HVAC	V12-B003	原子炉補機 (B) 窒素気バッグエアフィルタ	①			
	4燃料取扱用排水ピット水位 I, II, III, IV	4PT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—	HVAC	V12-B002	D/G (B) 窒素気バッグエアフィルタ	①			
	4A 高圧注入流量 (I), 4B 高圧注入流量 (II)	4FT-962, 963	○	—	HVAC	V12-4P1001	原子炉補機 (B) 窒素気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ		○	—	HVAC	V12-4P1003	D/G (B) 窒素気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
余熱除去系	4A, 4B 余熱除去冷却器		×	②	HVAC	V12-X001	原子炉補機 (B) 窒素気ループ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプスニッチマフフローアップ止弁弁	4PCV-601, 611	○	—	HVAC	V12-X002	原子炉補機 (B) 窒素気ループ	①			
	4A, 4B 余熱除去冷却器出口流量設定弁	4BV-603, 613	×	②	HVAC	V12-X003	D/G (B) 窒素気ループ	①			
	4A, 4B 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	4BV-604, 614	×	②	HVAC	V12-X003	D/G (B) 窒素気ループ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ及Cループ高圧側入口止弁弁	4PCV-420, 430	×	②	HVAC	V12-X004	D/G (B) 窒素気ループ (A)	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	4V-BH-002A, B	×	②	HVAC	V12-X004B	D/G (B) 窒素気ループ (B)	①			
	4A, 4B 余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	4V-BH-043A, B	×	②	HVAC	V13-B001A	原子炉補機 (HPCS) 窒素気加熱コイル (A)	①			
	4A, 4B 余熱除去冷却器出口連絡弁	4V-BH-047A, B	×	②	HVAC	V13-B001B	原子炉補機 (HPCS) 窒素気加熱コイル (B)	①			
	4A, 4B ループ高圧側配管注入ライン止め弁	4V-BH-048A, B	×	②	HVAC	V13-B001	原子炉補機 (HPCS) 窒素気バッグエアフィルタ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ出口流量	4FT-601, 611	○	—	HVAC	V13-B002	D/G (HPCS) 窒素気バッグエアフィルタ	①			
	4A, 4B 余熱除去ポンプ現場操作箱	4LJ-14, 15	○	—	HVAC	V13-4P1001	原子炉補機 (HPCS) 窒素気バッグエアフィルタ差圧	②			
	4A, 4B 格納容器スプレイポンプ		○	—	HVAC	V13-4P1003	D/G (HPCS) 窒素気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	格納容器スプレイ系	4A, 4B 格納容器スプレイ冷却器		×	②	HVAC	V13-X001	原子炉補機 (HPCS) 窒素気ループ	①		
4上方集積去薬品タンク			×	②	HVAC	V13-X002	原子炉補機 (HPCS) 窒素気ループ	①			
4PI 調整用タンク			×	②	HVAC	V13-X003	D/G (HPCS) 窒素気ループ	①			
4A, 4B よう素除去薬品注入ライン第1止め弁		4V-CP-054A, B	○	—	HVAC	V13-X004	D/G (HPCS) 窒素気ループ	①			
4A, 4B よう素除去薬品注入ライン第2止め弁		4V-CP-056A, B	○	—	HVAC	V30-B001A	中央制御室給気冷却コイル (A)	①			
4A, 4B 格納容器スプレイポンプ燃料取扱用ピット水位(広域)止め弁		4V-CP-001A, B	○	—	HVAC	V30-B001B	中央制御室給気冷却コイル (B)	①			
4A, 4B 格納容器スプレイポンプ再循環タンク水位(広域)止め弁		4V-CP-003A, B	○	—	HVAC	V30-B001C	中央制御室給気冷却コイル (C)	①			
4A, 4B 格納容器スプレイポンプ現場出口格納容器隔離弁		4V-CP-002A, B	○	—	HVAC	V30-B001D	中央制御室給気冷却コイル (D)	①			
4格納容器注方 (広域) I, II, III, IV		4PT-903, 963, 972, 973	○	—	HVAC	V30-B001E	中央制御室給気冷却コイル (E)	①			
4A, 4B 格納容器スプレイポンプ現場操作箱		4LJ-18, 19	○	—	HVAC	V30-B001F	中央制御室給気冷却コイル (F)	①			
主給気及び主給水系、補助給水系	4タービン補助給水ポンプ		○	—							
	4A, 4B 電動補助給水ポンプ		○	—							
	4復水ピット		×	②							
	4タービン補助給水ポンプ起動弁A, B	4V-MS-570A, B	○	—							
	4A, 4B, 4C, 4D 補助給水制御弁	4V-PF-574A, B, C, D	×	②							
4A, 4B, 4C, 4D 電動補助給水ライン流量調節弁	4V-PF-557A, B, C, D	×	②								

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水による機能を喪失しない
 ②PCV内調整用仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（14/24）							
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}				
主蒸気及び 主給水系、 補助給水系	4度水ピット電動補助給水ポンプ停止弁	4F-FW-580	×	①	IVAC	V30-0002A	中央制御室給気加熱コイル（A）	①				
	4度水ピットタービン動機補助給水ポンプ精製弁	4F-FW-581	×	①	IVAC	V30-0002B	中央制御室給気加熱コイル（B）	①				
	II, III, IV, 4Dタービン補助給水ライン従業員遮断弁	4FV-3713, 3720, 3725, 3735	×	①	IVAC	V30-0002C	中央制御室給気加熱コイル（C）	①				
	II, III, IVタービン補助給水ポンプ駆動異常検出ライン止弁弁	4F-MS-575A, B	×	①	IVAC	V30-0002D	中央制御室給気加熱コイル（D）	①				
	II, III, IV, 4D主給水隔離弁	4F-FW-520A, B, C, D	×	②	IVAC	V30-0002E	中央制御室給気加熱コイル（E）	①				
	4度水ピット水位計, IV	4LT-3760, 3761	○	—	IVAC	V30-0002F	中央制御室給気加熱コイル（F）	①				
	II, III, IV, 4D蒸気発生器補助給水流量計	4FT-3716, 3720, 3730, 3736	○	—	IVAC	V30-0002G	中央制御室給気加熱コイル（G）	①				
	II, III, IV, 4D蒸気発生器出口水位	4LT-384, 474, 474A, 494	×	②	IVAC	V30-0002H	中央制御室給気加熱コイル（H）	①				
	II, III, IV, 4D蒸気発生器出口水位	4LT-465, 466, 467, 468, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 485, 486, 487, 488, 489, 491, 492, 493	×	②	IVAC	V30-0002I	中央制御室給気加熱コイル（I）	①				
	4タービン動機補助給水ポンプ駆動異常検出	4TF-9A, B	○	—	IVAC	V30-0001	中央制御室再循環中性化エアフィルタ	①				
	II, III, IV, 4D主蒸気隔離弁	4F-MS-523A, B, C, D	○	—	IVAC	V30-0002A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（A）	①				
	II, III, IV, 4D主蒸気隔離弁バイパス弁	4FV-3815, 3825, 3830, 3819	×	①	IVAC	V30-0002B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）	①				
	II, III, IV, 4D主蒸気遮断弁	4FV-3810, 3820, 3830, 3819	○	—	IVAC	V30-0003	中央制御室再循環チャコールエアフィルタ	①				
	II, III, IV, 4D-1主蒸気安全弁	4F-MS-526A, B, C, D	×	①	IVAC	V30-0004A	MCR給気バッグフィルタ（A）	①				
	II, III, IV, 4D-2主蒸気安全弁	4F-MS-527A, B, C, D	×	①	IVAC	V30-0004B	MCR給気バッグフィルタ（B）	①				
	II, III, IV, 4D-3主蒸気安全弁	4F-MS-528A, B, C, D	×	①	IVAC	V30-0005A	中央制御室加温器（A）	②				
	II, III, IV, 4D-4主蒸気安全弁	4F-MS-529A, B, C, D	×	①	IVAC	V30-0005B	中央制御室加温器（B）	②				
	II, III, IV, 4D-5主蒸気安全弁	4F-MS-526A, B, C, D	×	①	IVAC	V30-0005C	中央制御室加温器（C）	②				
	II, III, IV, 4D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	4F-MS-585A, B, C, D	×	①	IVAC	V30-0005D	中央制御室加温器（D）	②				
	II, III, IV, 4D主蒸気遮断弁止弁弁	4F-MS-523A, B, C, D	×	①	IVAC	V30-0006D	中央制御室給気バッグエアフィルタ（A）差圧指示計	③				
	I, II, III, IV, IA, IB, IC, 4D主蒸気圧力	4PT-465, 466, 467, 468, 470, 471, 472, 473, 485, 486, 487, 488, 489, 491, 492, 493	○	—	IVAC	V30-0F1001A	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計	③				
	原子炉補機 冷却系	II, III, IV, 4D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—	IVAC	V30-0F1001B	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計	③			
		4原子炉補機冷却水サージタンク		× ^M	②	IVAC	V30-0F1005	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（A）差圧指示計	③			
		II, III, IV, 4D原子炉補機冷却水冷却器		× ^M	②	IVAC	V30-0F1006	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（A）差圧指示計	③			
II, III, IV, 4D原子炉補機冷却水冷却器配管遮断弁		4F-CC-178A, B	○	—	IVAC	V30-0F1007	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（A）差圧指示計	③				
II, III, IV, 4D原子炉補機冷却水冷却器配管遮断弁		4F-CC-056A, B	○	—	IVAC	V30-0F1008	中央制御室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計	③				
II, III, IV, 4D原子炉補機冷却水冷却器配管遮断弁		4F-CC-043A, B	○	—	IVAC	V30-ME1003A	中央制御室遮気制度（A）検出器（変換器付）	④				
II, III, IV, 4D原子炉補機冷却水冷却器配管止弁		4F-CC-114A, B	○	—	IVAC	V30-ME1003B	中央制御室遮気制度（B）検出器（変換器付）	④				
I-1冷却材ポンプ冷却材供給ライン精製器隔離弁		4F-CC-403	○	—	IVAC	V30-X001	MCR給気ルーバ	④				
I-1冷却材ポンプ冷却材戻りライン精製器隔離弁		4F-CC-427	×	②								
I-1冷却材ポンプ冷却材戻りライン精製器隔離弁		4F-CC-429	○	—								

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②炉内除電装置等の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
原子炉機械 自身系	4号炉常用コンドーム・蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4V-CC-342	○	—	BYAC	V30-3002	MCR 排気ループ	①			
	4号炉常用コンドーム・蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4V-CC-305	○	—	BYAC	V31-0001	許濫制御電源 (A) 密給気冷却コイル	①			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4V-CC-189A,B	○	—	BYAC	V31-3002	許濫制御電源 (A) 密給気加熱コイル	①			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4V-CC-189A,B,C,D	○	—	BYAC	V31-0001	許濫制御電源 (A) 密給気バッグフィルタ	①			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4V-CC-60S,60E	○	—	BYAC	V31-0P1001	許濫制御電源 (A) 密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4LT-1200,1201	○	—	BYAC	V31-3001	許濫制御電源 (A) 密給気ループ	①			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4LT-20,21,22,23	○	—	BYAC	V31-3002	許濫制御電源 (A) 密給気ループ	①			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4S-SF-01A,B,C,D	× ^{※1}	②	BYAC	V32-0001	許濫制御電源 (B) 密給気冷却コイル	③			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4S-SF-02A,B,C	×	②	BYAC	V32-3001	許濫制御電源 (B) 密給気加熱コイル	③			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4S-SF-03A,B,C	○	—	BYAC	V32-3002	許濫制御電源 (B) 密給気バッグフィルタ	③			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4V-SF-570A,B	○	—	BYAC	V32-0001	許濫制御電源 (B) 密給気バッグフィルタ	③			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4LT-25,27,28,29	○	—	BYAC	V32-0P1001	許濫制御電源 (B) 密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4H, 4H1, 4H2, 4H3	○	—	BYAC	V32-3001	許濫制御電源 (B) 密給気ループ	③			
	4号炉非常用蒸気発生器冷却器 取水冷却ラインの設備	4H, 4H1, 4H2, 4H3	○	—	BYAC	V32-3002	許濫制御電源 (B) 密給気ループ	③			
	燃料ピット 冷却浄化系	4号炉燃料ピットポンプ		○	—	IA/HPIN	P52-F111	1A第二隔離弁	④		
4号炉燃料ピット			× ^{※1}	②	IA/HPIN	P54-F015	H P 1 N 常用第二隔離弁	④			
4号炉燃料ピット冷却器			× ^{※1}	②	IA/HPIN	P54-F068A	H P 1 N 非常用第二隔離弁 (A)	④			
4号炉燃料ピット脱酸器			×	②	IA/HPIN	P54-F068B	H P 1 N 非常用第二隔離弁 (B)	④			
燃料取替用水系	4号炉燃料取替用水ポンプ		○	—	LPCS	E21-0001	低圧炉心スプレーストレーナ	①			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		× ^{※1}	②	LPCS	E21-F006	L P C S 試験用調整弁	③			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		× ^{※1}	②	LPCS	E21-F016	L P C S 注入ライン試験可能逆止弁	③			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		×	②	LPCS	E21-F1001	L P C S ポンプ入口圧力	③			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		×	①	LPCS	E21-F1004	L P C S ポンプ出口圧力	③			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		×	②	LPCS	E21-F1005	L P C S ポンプ出口圧力	③			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		×	②	MS	B21	主蒸気過熱し安全弁排気管 T-クエンチャ (A)	①			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		×	①	MS	B21	主蒸気過熱し安全弁排気管 T-クエンチャ (B)	①			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		×	①	MS	B21	主蒸気過熱し安全弁排気管 T-クエンチャ (C)	①			
	4号炉燃料取替用水ポンプ		×	①	MS	B21	主蒸気過熱し安全弁排気管 T-クエンチャ (D)	①			
1次系統採取 系	4号炉1次系統採取ライン格納容器第1隔離弁	4V-SF-503	×	②							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第2隔離弁	4V-SF-504	×	②							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第3隔離弁	4V-SF-505	×	②							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第4隔離弁	4V-SF-506	×	②							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第5隔離弁	4V-SF-507	×	①							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第6隔離弁	4V-SF-508	×	②							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第7隔離弁	4V-SF-509	×	②							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第8隔離弁	4V-SF-510	×	①							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第9隔離弁	4V-SF-511	×	①							
	4号炉1次系統採取ライン格納容器第10隔離弁	4V-SF-512	×	①							
制御用空気系	4号炉制御用空気圧縮機		○	—							
	4号炉制御用空気乾燥器	4LMA,B	× ^{※1}	②							

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐震性出線の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
制動用空気系	4A, 4B制動用空気だめ	4MT1A, B	×	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (E)	①			
	4A, 4B制動用空気主蒸気逃がし弁等係留ライン止め弁	4V-1A-500A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (F)	①			
	4B-C, 4B-C制動用空気母管連絡弁	4V-1A-501A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (G)	①			
	4A, 4B制動用空気格納容器隔離弁	4V-1A-500A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (H)	①			
	4A, 4B制動用空気格納容器隔離弁	4V-1A-510A, B	×	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (I)	①			
	4A, 4B制動用空気供給母管圧力	4PT-1800, 1810	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (J)	①			
	4A, 4B制動用空気圧縮機制御盤	4MC-A, B	○	—	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (K)	①			
	4格納容器冷却時トレンタンクガス分岐ライン格納容器第1隔離弁	4V-WL-078	×	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (L)	①			
	4格納容器冷却時トレンタンクガス分岐ライン格納容器第2隔離弁	4V-WL-079	×	①	MS	B21-A001A	主蒸気逃し安全弁 (A) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却時トレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	4V-WL-080	×	②	MS	B21-A001B	主蒸気逃し安全弁 (B) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
廃棄物処理系	4格納容器冷却時トレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	4V-WL-084	×	①	MS	B21-A001C	主蒸気逃し安全弁 (C) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却時トレンタンク室蒸気排気ライン格納容器第1隔離弁	4V-WL-094	×	②	MS	B21-A001D	主蒸気逃し安全弁 (D) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却時トレンタンク室蒸気排気ライン格納容器第2隔離弁	4V-WL-042	×	②	MS	B21-A001E	主蒸気逃し安全弁 (E) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却時トレンタンク室蒸気排気ライン格納容器第1隔離弁	4V-WL-043	×	①	MS	B21-A001F	主蒸気逃し安全弁 (F) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却時トレンタンク室蒸気排気ライン格納容器第2隔離弁	4V-WL-143	×	②	MS	B21-A001G	主蒸気逃し安全弁 (G) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却時トレンタンク室蒸気排気ライン格納容器第1隔離弁	4V-WL-144	×	②	MS	B21-A001H	主蒸気逃し安全弁 (H) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4格納容器冷却時トレンタンク室蒸気排気ライン格納容器第2隔離弁	4V-FS-502	×	①	MS	B21-A001I	主蒸気逃し安全弁 (I) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4炉内排気計測装置ガスバーンライン格納容器第1隔離弁	4V-JG-008	×	②	MS	B21-A001J	主蒸気逃し安全弁 (J) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	4炉内排気計測装置ガスバーンライン格納容器第2隔離弁	4V-JG-008	×	①	MS	B21-A001K	主蒸気逃し安全弁 (K) 遮し弁機能用アキュムレータ	①			
	—	手動弁 一式		×	③	MS	B21-A001L	主蒸気逃し安全弁 (L) 遮し弁機能用アキュムレータ	③		
—	遮止弁 一式		×	④	MS	B21-A002A	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (A) ADS	①			
換気空調系	4換気空調盤	4V3	○	—	MS	B21-A002C	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (C) ADS	①			
	4A, 4B中央制御室空調ファン		○	—	MS	B21-A002E	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (E) ADS	①			
	4A, 4B中央制御室排煙ファン		○	—	MS	B21-A002H	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (H) ADS	①			
	4A, 4B中央制御室非常用排煙ファン入口ダンパ	4VSP22A, B	○	—	MS	B21-A002J	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (J) ADS	①			
	4A, 4B中央制御室外気取入止めダンパ	4D-VS-601A, B	×	①	MS	B21-A002L	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (L) ADS	①			
	4A, 4B中央制御室非常用排煙ファン入口ダンパ	4D-VS-602A, B	○	—	MS	B21-A003A	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①			
	4A, 4B中央制御室空調ファン出口ダンパ	4D-VS-603A, B	○	—	MS	B21-A003B	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①			
	4A, 4B中央制御室排煙ファン入口ダンパ	4D-VS-604A, B	○	—	MS	B21-A003C	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①			
	4A, 4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	4BD-2974, 2976	○	—							
	4A, 4B中央制御室排煙流量調節ダンパ	4BD-2885, 2886	○	—							
4A, 4B中央制御室重大気放出流量調節ダンパ	4BD-2887, 2888	×	①								
4A, 4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	4BD-2889, 2890	○	—								
4A, 4B中央制御室事故時排煙流量調節ダンパ	4BD-2891, 2892	○	—								

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能全喪失しない
 ②PC内耐環境仕様設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由					
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（7/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（17/24）													
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}										
換気空調系	4中央制御室温度(1),(2)	4F-2903,2909	○	—	MS	B21-A003D	主蒸気第一隔離弁(D)用アキュムレータ	①										
	4E,4F中央制御室非常用落層ファン出口流量	4F5-2904,2905	○	—														
	4A,4B中央制御室空調ファン出口流量	4F5-2910,2911	○	—														
	44キーンン排気第1,2隔離ダンパ	241-VS-605,606	×	①														
	4J,4D中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	4B5-2874,2875	○	—					MS	B21-A004A	主蒸気第二隔離弁(A)用アキュムレータ	①						
	4A,4B中央制御室調節ダンパ流量設定	4B5-2885,2886	○	—					MS	B21-A004B	主蒸気第二隔離弁(B)用アキュムレータ	①						
	4A,4B中央制御室外気取入ダンパ流量設定	4B5-2887,2888	×	①					MS	B21-A004C	主蒸気第二隔離弁(C)用アキュムレータ	①						
	4A,4B中央制御室事故時排気取入調節ダンパ流量設定	4B5-2889,2890	○	—					MS	B21-A004D	主蒸気第二隔離弁(D)用アキュムレータ	①						
	4A,4B中央制御室事故時落層ダンパ流量設定	4B5-2891,2892	○	—					MS	B21-F001A	主蒸気逃がし安全弁(A)	②						
	4A,4B安全補機閉閉塞空調ファン		○	—					MS	B21-F001B	主蒸気逃がし安全弁(B)	②						
	4C,4D安全補機閉閉塞空調ファン		○	—					MS	B21-F001C	主蒸気逃がし安全弁(C)	②						
	4安全系電気盤室給気止めダンパVA,B	4B-VS-532,533	○	—					MS	B21-F001D	主蒸気逃がし安全弁(D)	②						
	4安全系電気盤室排気止めダンパVA,B	4B-VS-536,537	○	—					MS	B21-F001E	主蒸気逃がし安全弁(E)	②						
	4A,4B安全補機閉閉塞温度	4F5-2817,2818	○	—					MS	B21-F001F	主蒸気逃がし安全弁(F)	②						
	4A,4B制御用空気圧縮機室給気ファン		○	—					MS	B21-F001G	主蒸気逃がし安全弁(G)	②						
	4制御用空気圧縮機室排気ダンパVA,B	4B-VS-433A,B	○	—					MS	B21-F001H	主蒸気逃がし安全弁(H)	②						
	4制御用空気圧縮機室温度	4F5-2771,2772 2773,2774	○	—					MS	B21-F001J	主蒸気逃がし安全弁(J)	②						
	4A,4B電動補助給水ポンプ室給気ファン		○	—					MS	B21-F001K	主蒸気逃がし安全弁(K)	②						
	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパVA,B	4B-VS-411A,B	○	—					MS	B21-F001L	主蒸気逃がし安全弁(L)	②						
	4A,4B電動補助給水ポンプ室温度(1),(2)	4F5-2741,2742 2743,2744	○	—					MS	B21-F002A	主蒸気第一隔離弁(A)	②						
	4A1,4A2,4B1,4B2ディーゼルの発電機室給気ファン		○	—					MS	B21-F002B	主蒸気第一隔離弁(B)	②						
	4ディーゼル発電機室排気ダンパ 4J,4S,4I,4R2	4B-VS-401A,B 403A,B	○	—					MS	B21-F002C	主蒸気第一隔離弁(C)	②						
	4A,4Bディーゼルの発電機室温度 (1),(2),(3),(4)	4F5-2701,2702 2703,2704,2711 2712,2713,2714	○	—					MS	B21-F002D	主蒸気第一隔離弁(D)	②						
	4A,4B安全補機室冷却ファン		○	—					MS	B21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	③						
	4A,4B安全補機室温度(1),(2)	4F5-2680,2681 2690,2691	○	—					MS	B21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	③						
	4A,4B3号酸ポンプ室空調ファン		○	—					MS	B21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	③						
	4A,4B3号酸ポンプ室空調ファン給気加熱 コイル		○	—					MS	B21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	③						
	4A,4B3号酸ポンプ室温度調節計	4F5-2601,2611	○	—					MS	B21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	②						
	4B3号酸タンク室温度(1),(2),(3),(4)	4F5-2602,2603 2612,2613	○	—					MS	B21-F045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	①						
	4A,4Bエアユラス空気浄化ファン	4F3F9A,B	○	—					MS	B21-F061	事故後炉水サンプリング第一隔離弁	②						
	4エアユラス空気浄化フィルタユニット 電気加熱コイル	4F3H18A,B	×	①														
	4A,4Bエアユラス排気ダンパ	4B-VS-101A,B	○	—														
	4A,4Bエアユラス戻りダンパ	4B-VS-104A,B	○	—														
	4A,4Bエアユラス全量排気弁	4B-VS-102A,B	○	—														

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PC内設置機仕様の設備
 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
格納容器減圧系及び水素制御設備系	① 48格納容器減圧装置減圧空気ライン格納容器設置設備	4V-0P-001A,B	×	②	R/W	P42-F0850	R C W 常用冷却水緊急しゃ断弁 (D)	③			
	② 48格納容器減圧装置減圧空気ライン格納容器設置設備	4V-0P-002A,B	×	①	R/W	P42-F112A	R C W 供給側第二隔離弁 (A)	①			
	③ 48格納容器減圧装置減圧空気ライン格納容器設置設備	4V-0C-304A,B	×	①	R/W	P42-F112B	R C W 供給側第二隔離弁 (B)	①			
	④ 48格納容器減圧装置減圧空気ライン格納容器設置設備	4V-0C-305A,B	×	①	R/W	P42-F115A	R C W 戻り側第一隔離弁 (A)	②			
放射線監視設備空気サンプルライン系	① 格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置設備	4V-0R-001	×	②	R/W	P42-F115B	R C W 戻り側第一隔離弁 (B)	②			
	② 格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置設備	4V-0R-002	×	①	R/W	P42-F1006A	R C W A 系系統流量発信器	③			
	③ 格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置設備	4V-0R-013	×	①	R/W	P42-F1006B	R C W B 系系統流量発信器	③			
	④ 格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置設備	4V-0R-013	×	①	R/W	P42-F1034A	R C W A 系常用系入口流量発信器	③			
電気盤	① 主盤 (原子炉盤)	4R0	○	—	R/W	P42-F1034B	R C W B 系常用系入口流量発信器	③			
	② 原子炉補助盤	4R0B	○	—	R/W	P42-F1014B	R C W B 系常用系入口流量発信器	③			
	③ 原子炉安全保護計装盤 I、II、III、IV	4R0P-1、II、III、IV	○	—	R/W	P42-F1016A	R H R 熱交換機 (A) 冷却水入口流量発信器	③			
	④ 48、4C、4D原子炉安全保護ロジック盤	4R0L-A,B,C,D	○	—	R/W	P42-F1016B	R H R 熱交換機 (B) 冷却水入口流量発信器	③			
電気盤	① 安全保護シーケンス盤A61、A62、B61、B62	4SFS-A1、A2、B1、B2	○	—	R/W	P42-L1009A	R C W サージタンク (A) 水位	③			
	② ①A1、①A2、①A3、①B1、①B2、①B3、①B4フレンジ下分電盤	4SFS-A1、A2、A3、A4、B1、B2、B3、B4	○	—	R/W	P42-L1009B	R C W サージタンク (B) 水位	③			
	③ 原子炉トリップ遮断装置	4R'S	○	—	R/W	P42-L1010A	R C W サージタンク (A) 水位発信器	③			
	④ 48フロー弁盤	4R0P-A、B	○	—	R/W	P42-L1010B	R C W サージタンク (B) 水位発信器	③			
	⑤ 48逆流き電盤	4R0P-A、B	○	—	R/W	P42-P1001A	R C W ポンプ (A) 出口圧力	③			
	⑥ 48逆流分電盤	4R0P-A、B	○	—	R/W	P42-P1001B	R C W ポンプ (B) 出口圧力	③			
	⑦ 48制御電圧	4R0P-A、B	○	—	R/W	P42-P1001C	R C W ポンプ (C) 出口圧力	③			
	⑧ 48充電電盤	4R0P-A、B	○	—	R/W	P42-P1001D	R C W ポンプ (D) 出口圧力	③			
	⑨ ①A1、①A2、①B1、①B2メタルクランプスイッチボックス	4RMC-A1、A2、B1、B2	○	—	R/W	P42-P1007A	R C W ポンプ (A) 入口圧力	③			
	⑩ ①A1、①A2、①B1、①B2パワーセンタ	4RPS-A1、A2、B1、B2	○	—	R/W	P42-P1007B	R C W ポンプ (B) 入口圧力	③			
	⑪ ①A1、①A2、①B1、①B2原子炉コントロールセクタ	4RCC-A1、A2、B1、B2	○	—	R/W	P42-P1007C	R C W ポンプ (C) 入口圧力	③			
	⑫ 48、4C、4D計装用電盤盤(1)～(3)	4RKC-A、B、C、D	○	—	R/W	P42-P1007D	R C W ポンプ (D) 入口圧力	③			
	⑬ ①A1、①A2、①B1、①B2、①C1、①C2、①D1、①D2計装用分電盤	4RTP-A1、A2、B1、B2、C1、C2、D1、D2	○	—	R/W	P42-TE005A	R C W A 系冷却水供給温度検出器	③			
	⑭ 48、4C、4D計装用交流電源切替盤	4RSP-A、B、C、D	○	—	R/W	P42-TE005B	R C W B 系冷却水供給温度検出器	③			
	⑮ 炉内盤	4RSP	○	—	R/W	P42-TE017A	R H R 熱交換機 (A) 冷却水出口温度検出器	③			
	⑯ 48C、48D計装用食糧分電盤	4RDP-A、B、D	○	—	R/W	P42-TE017B	R H R 熱交換機 (B) 冷却水出口温度検出器	③			
	⑰ 事故時放射線監視盤	4RMS-III、IV	○	—							
	計器	① 出方領域中性子束	4S-41、42、43、44	×	②						
		② 中性子束領域中性子束	4S-31、32	×	②						
		③ 格納容器高圧レンジエリアモータ(監視レンジ)・(監視レンジ)	4R1-01A、01B、02A、02B	×	②						

※1 評価対象外とした理由
 ① 溢水により機能を喪失しない
 ② ICV自動車環境仕様の設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ 他の設備で代替される

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (20/24)								
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}					
非常用電源系	IA,4Bディーゼル機関		○	—	RD	R11-P003	D/W LCVサンプ第一隔離弁	②					
	IA,4Bディーゼル発電機		○	—	RD	R11-F103	D/W HCVサンプ第一隔離弁	②					
	IA,4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	4BCC-A, B	○	—	RRR	E11-B001A	残留熱除去系熱交換器(A)	①					
	IA,4Bディーゼル発電機制御盤	4BCC-A, B	○	—	RRR	E11-B001B	残留熱除去系熱交換器(B)	①					
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。 ②原子格納容器内の防護対象設備は漏度、圧力条件及び漏れ影響を考慮した耐震仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、圧力調整弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。					RRR E11-D001A 残留熱除去系A系ストレーナ ① RRR E11-D001B 残留熱除去系B系ストレーナ ① RRR E11-D001C 残留熱除去系C系ストレーナ ① RRR E11-dPT006A L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝送器 ③ RRR E11-dPT009B L P C I系B・C注入ライン差圧伝送器 ③ RRR E11-F012A R H R A系試験用調整弁 ③ RRR E11-F012B R H R B系試験用調整弁 ③ RRR E11-F012C R H R C系試験用調整弁 ③ RRR E11-F014a R H R A系停止時冷却吸込元弁 ① RRR E11-F014b R H R B系停止時冷却吸込元弁 ① RRR E11-F015A R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁 ② RRR E11-F015b R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁 ② RRR E11-F021 R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁 ③ RRR E11-F044a R H R A系L P C I注入試験可能逆止平均圧弁 ② RRR E11-F044b R H R B系L P C I注入試験可能逆止平均圧弁 ② RRR E11-F044c R H R C系L P C I注入試験可能逆止平均圧弁 ② RRR E11-F045a R H R A系RW連絡第一弁 ③ RRR E11-F045b R H R B系RW連絡第一弁 ③ RRR E11-F049a R H R A系系統隔離弁 ③ RRR E11-F049b R H R B系系統隔離弁 ③ RRR E11-F058A R H R A系停止時冷却試験可能逆止平均圧弁 ② RRR E11-F058b R H R B系停止時冷却試験可能逆止平均圧弁 ② RRR E11-F1014 原子炉ヘッドスプレイ流量検出器 ③								
<溢水影響評価対象外の注記> ※1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の発熱設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。					※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能喪失しない ② 炉内滞留現象は他の設備 ③ 動半機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（21/24）</p> <table border="1" data-bbox="705 220 1270 983"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>別線</td><td>E11-P1001A</td><td>RHRポンプ（A）入口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-P1001B</td><td>RHRポンプ（B）入口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-P1001C</td><td>RHRポンプ（C）入口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-P1004A</td><td>RHRポンプ（A）出口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-P1004B</td><td>RHRポンプ（B）出口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-P1004C</td><td>RHRポンプ（C）出口圧力</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-PT005A</td><td>RHRポンプ（A）出口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-PT005B</td><td>RHRポンプ（B）出口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-PT005C</td><td>RHRポンプ（C）出口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝送器</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-TE007A</td><td>RHR熱交換器（A）出口温度検出器</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-TE007B</td><td>RHR熱交換器（B）出口温度検出器</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-TE010A</td><td>RHR熱交換器（A）入口温度検出器</td><td>②</td></tr> <tr><td>別線</td><td>E11-TE010B</td><td>RHR熱交換器（B）入口温度検出器</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-B001A</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレーナ（A）</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-B001B</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレーナ（B）</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-B001C</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレーナ（C）</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-B001D</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレーナ（D）</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PT003A</td><td>R C W熱交換器（A）管側差圧指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PT003B</td><td>R C W熱交換器（B）管側差圧指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PT003C</td><td>R C W熱交換器（C）管側差圧指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PT003D</td><td>R C W熱交換器（D）管側差圧指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力指示計</td><td>②</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力指示計</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② RCV内耐震環境仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	別線	E11-P1001A	RHRポンプ（A）入口圧力	②	別線	E11-P1001B	RHRポンプ（B）入口圧力	②	別線	E11-P1001C	RHRポンプ（C）入口圧力	②	別線	E11-P1004A	RHRポンプ（A）出口圧力	②	別線	E11-P1004B	RHRポンプ（B）出口圧力	②	別線	E11-P1004C	RHRポンプ（C）出口圧力	②	別線	E11-PT005A	RHRポンプ（A）出口圧力伝送器	②	別線	E11-PT005B	RHRポンプ（B）出口圧力伝送器	②	別線	E11-PT005C	RHRポンプ（C）出口圧力伝送器	②	別線	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	②	別線	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	②	別線	E11-TE007A	RHR熱交換器（A）出口温度検出器	②	別線	E11-TE007B	RHR熱交換器（B）出口温度検出器	②	別線	E11-TE010A	RHR熱交換器（A）入口温度検出器	②	別線	E11-TE010B	RHR熱交換器（B）入口温度検出器	②	RSW	P45-B001A	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（A）	①	RSW	P45-B001B	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（B）	①	RSW	P45-B001C	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（C）	①	RSW	P45-B001D	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（D）	①	RSW	P45-4PT003A	R C W熱交換器（A）管側差圧指示計	②	RSW	P45-4PT003B	R C W熱交換器（B）管側差圧指示計	②	RSW	P45-4PT003C	R C W熱交換器（C）管側差圧指示計	②	RSW	P45-4PT003D	R C W熱交換器（D）管側差圧指示計	②	RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力指示計	②	RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力指示計	②	RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力指示計	②	RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力指示計	②		
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
別線	E11-P1001A	RHRポンプ（A）入口圧力	②																																																																																																																
別線	E11-P1001B	RHRポンプ（B）入口圧力	②																																																																																																																
別線	E11-P1001C	RHRポンプ（C）入口圧力	②																																																																																																																
別線	E11-P1004A	RHRポンプ（A）出口圧力	②																																																																																																																
別線	E11-P1004B	RHRポンプ（B）出口圧力	②																																																																																																																
別線	E11-P1004C	RHRポンプ（C）出口圧力	②																																																																																																																
別線	E11-PT005A	RHRポンプ（A）出口圧力伝送器	②																																																																																																																
別線	E11-PT005B	RHRポンプ（B）出口圧力伝送器	②																																																																																																																
別線	E11-PT005C	RHRポンプ（C）出口圧力伝送器	②																																																																																																																
別線	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	②																																																																																																																
別線	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	②																																																																																																																
別線	E11-TE007A	RHR熱交換器（A）出口温度検出器	②																																																																																																																
別線	E11-TE007B	RHR熱交換器（B）出口温度検出器	②																																																																																																																
別線	E11-TE010A	RHR熱交換器（A）入口温度検出器	②																																																																																																																
別線	E11-TE010B	RHR熱交換器（B）入口温度検出器	②																																																																																																																
RSW	P45-B001A	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（A）	①																																																																																																																
RSW	P45-B001B	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（B）	①																																																																																																																
RSW	P45-B001C	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（C）	①																																																																																																																
RSW	P45-B001D	原子炉補機冷却海水系ストレーナ（D）	①																																																																																																																
RSW	P45-4PT003A	R C W熱交換器（A）管側差圧指示計	②																																																																																																																
RSW	P45-4PT003B	R C W熱交換器（B）管側差圧指示計	②																																																																																																																
RSW	P45-4PT003C	R C W熱交換器（C）管側差圧指示計	②																																																																																																																
RSW	P45-4PT003D	R C W熱交換器（D）管側差圧指示計	②																																																																																																																
RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力指示計	②																																																																																																																
RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力指示計	②																																																																																																																
RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力指示計	②																																																																																																																
RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力指示計	②																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（22/24）</p> <table border="1" data-bbox="703 220 1265 983"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-P1001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-T1004A</td><td>R C W熱交換器（A）海水出口風度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-T1004B</td><td>R C W熱交換器（B）海水出口風度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-T1004C</td><td>R C W熱交換器（C）海水出口風度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-T1004D</td><td>R C W熱交換器（D）海水出口風度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-4P1002A</td><td>空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-4P1002B</td><td>空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-4P1004</td><td>フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-4P1005</td><td>フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-4P1010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-4P1013</td><td>フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F901A</td><td>非常用ガス処理系入口弁（A）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F901B</td><td>非常用ガス処理系入口弁（B）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-A001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-A003A</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（A）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-A003B</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（B）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-B901</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-B902</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-L001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-P1010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-P1010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ㊦ 溢水により機能を喪失しない ㊦ 100%事前検出仕様の設備 ㊦ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ㊦ 別の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	㊦	RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	㊦	RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	㊦	RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	㊦	RSW	P45-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口風度	㊦	RSW	P45-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口風度	㊦	RSW	P45-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口風度	㊦	RSW	P45-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口風度	㊦	SGTS	T46-4P1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-4P1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-4P1004	フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-4P1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-4P1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-4P1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-F901A	非常用ガス処理系入口弁（A）	㊦	SGTS	T46-F901B	非常用ガス処理系入口弁（B）	㊦	SLC	C41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊦	SLC	C41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊦	SLC	C41-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	㊦	SLC	C41-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	㊦	SLC	C41-B901	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊦	SLC	C41-B902	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	㊦	SLC	C41-L001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊦	SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊦	SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊦	SLC	C41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	㊦	SLC	C41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	㊦		
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
RSW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口風度	㊦																																																																																																																
RSW	P45-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口風度	㊦																																																																																																																
RSW	P45-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口風度	㊦																																																																																																																
RSW	P45-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口風度	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-4P1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-4P1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-4P1004	フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-4P1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-4P1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-4P1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-F901A	非常用ガス処理系入口弁（A）	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-F901B	非常用ガス処理系入口弁（B）	㊦																																																																																																																
SLC	C41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊦																																																																																																																
SLC	C41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊦																																																																																																																
SLC	C41-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	㊦																																																																																																																
SLC	C41-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	㊦																																																																																																																
SLC	C41-B901	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊦																																																																																																																
SLC	C41-B902	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	㊦																																																																																																																
SLC	C41-L001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊦																																																																																																																
SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊦																																																																																																																
SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊦																																																																																																																
SLC	C41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	㊦																																																																																																																
SLC	C41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	㊦																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

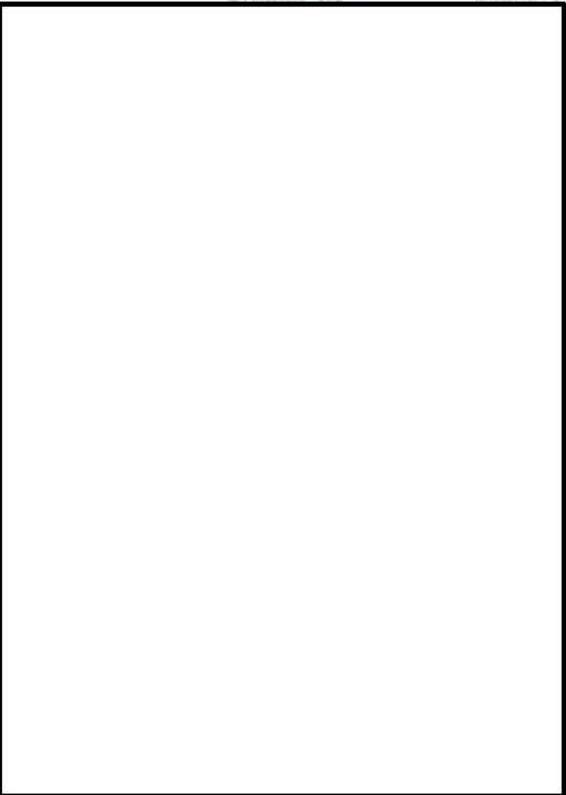
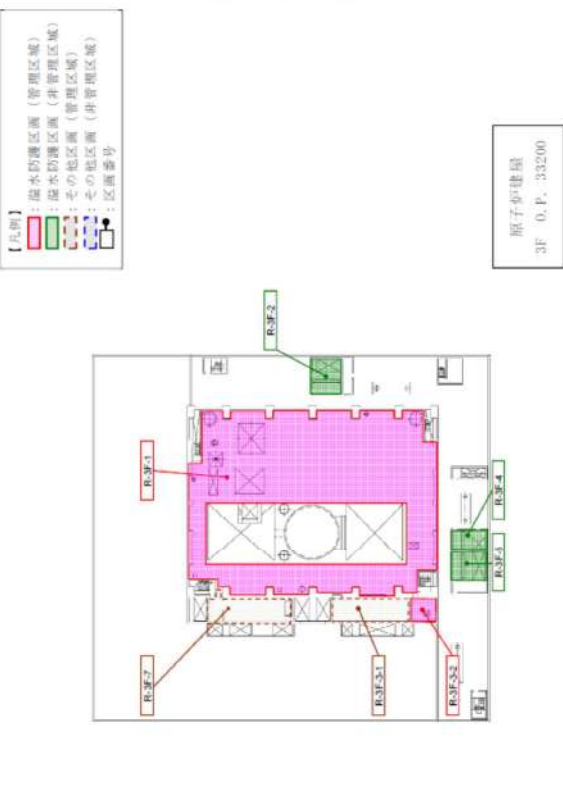
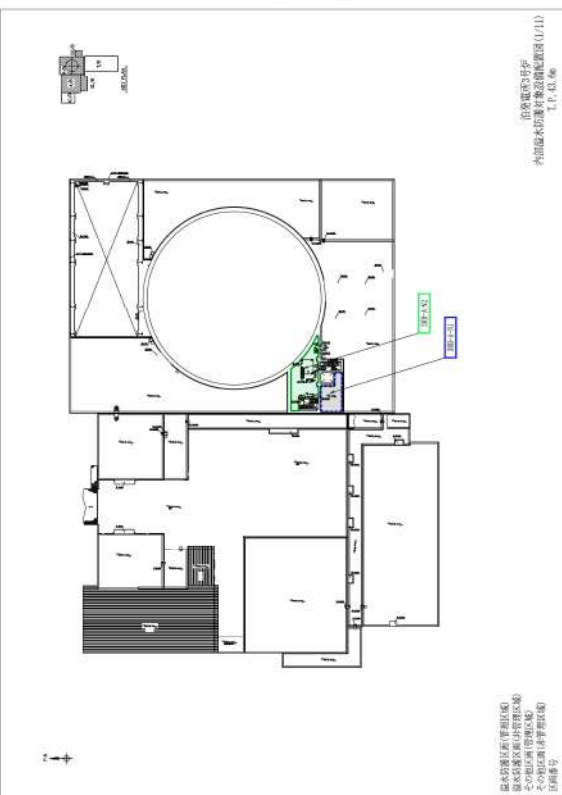
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（23/24）</p> <table border="1" data-bbox="703 225 1265 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SLC</td><td>C41-T5002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-T5003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-T5004</td><td>S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-T15002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-T15003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-T15004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2001A</td><td>サブレクションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2001B</td><td>サブレクションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2002A</td><td>サブレクションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2002B</td><td>サブレクションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2003A</td><td>サブレクションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2003B</td><td>サブレクションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2004A</td><td>サブレクションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2004B</td><td>サブレクションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2005A</td><td>サブレクションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2005B</td><td>サブレクションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2006A</td><td>サブレクションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2006B</td><td>サブレクションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2007A</td><td>サブレクションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2007B</td><td>サブレクションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2008A</td><td>サブレクションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2008B</td><td>サブレクションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2009A</td><td>サブレクションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2009B</td><td>サブレクションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2010A</td><td>サブレクションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2010B</td><td>サブレクションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-T2011A</td><td>サブレクションプール水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② 2つ以内の冗長化された設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	SLC	C41-T5002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SLC	C41-T5003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SLC	C41-T5004	S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器	③	SLC	C41-T15002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SLC	C41-T15003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SLC	C41-T15004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度	③	SPTM	T11-T2001A	サブレクションプール水温度（1.1°）	②	SPTM	T11-T2001B	サブレクションプール水温度（1.1°）	②	SPTM	T11-T2002A	サブレクションプール水温度（3.4°）	②	SPTM	T11-T2002B	サブレクションプール水温度（3.4°）	②	SPTM	T11-T2003A	サブレクションプール水温度（5.6°）	②	SPTM	T11-T2003B	サブレクションプール水温度（5.6°）	②	SPTM	T11-T2004A	サブレクションプール水温度（7.9°）	②	SPTM	T11-T2004B	サブレクションプール水温度（7.9°）	②	SPTM	T11-T2005A	サブレクションプール水温度（10.1°）	②	SPTM	T11-T2005B	サブレクションプール水温度（10.1°）	②	SPTM	T11-T2006A	サブレクションプール水温度（12.4°）	②	SPTM	T11-T2006B	サブレクションプール水温度（12.4°）	②	SPTM	T11-T2007A	サブレクションプール水温度（14.6°）	②	SPTM	T11-T2007B	サブレクションプール水温度（14.6°）	②	SPTM	T11-T2008A	サブレクションプール水温度（16.9°）	②	SPTM	T11-T2008B	サブレクションプール水温度（16.9°）	②	SPTM	T11-T2009A	サブレクションプール水温度（19.1°）	②	SPTM	T11-T2009B	サブレクションプール水温度（19.1°）	②	SPTM	T11-T2010A	サブレクションプール水温度（21.4°）	②	SPTM	T11-T2010B	サブレクションプール水温度（21.4°）	②	SPTM	T11-T2011A	サブレクションプール水温度（23.6°）	②		
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
SLC	C41-T5002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SLC	C41-T5003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SLC	C41-T5004	S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器	③																																																																																																																
SLC	C41-T15002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SLC	C41-T15003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SLC	C41-T15004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度	③																																																																																																																
SPTM	T11-T2001A	サブレクションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2001B	サブレクションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2002A	サブレクションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2002B	サブレクションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2003A	サブレクションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2003B	サブレクションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2004A	サブレクションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2004B	サブレクションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2005A	サブレクションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2005B	サブレクションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2006A	サブレクションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2006B	サブレクションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2007A	サブレクションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2007B	サブレクションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2008A	サブレクションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2008B	サブレクションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2009A	サブレクションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2009B	サブレクションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2010A	サブレクションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2010B	サブレクションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SPTM	T11-T2011A	サブレクションプール水温度（23.6°）	②																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

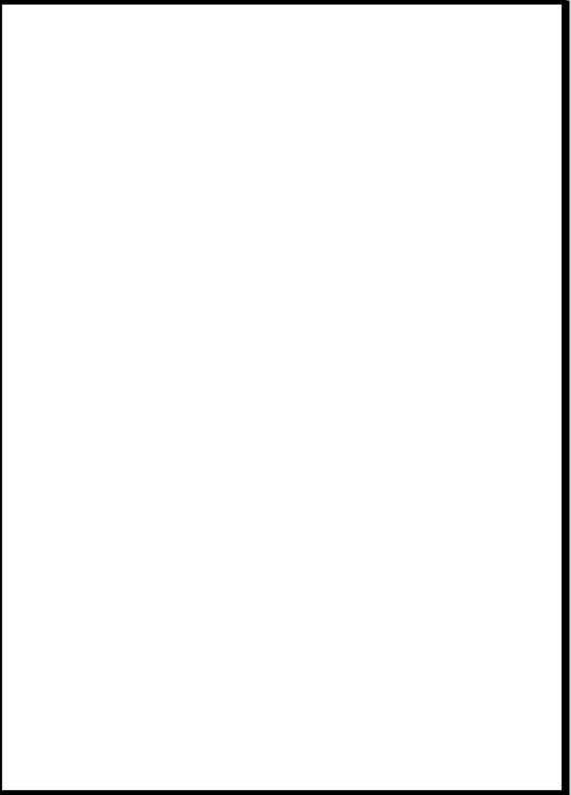
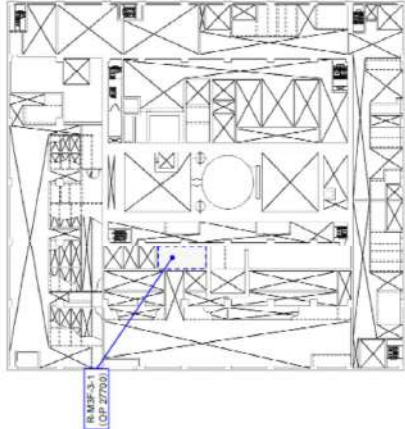
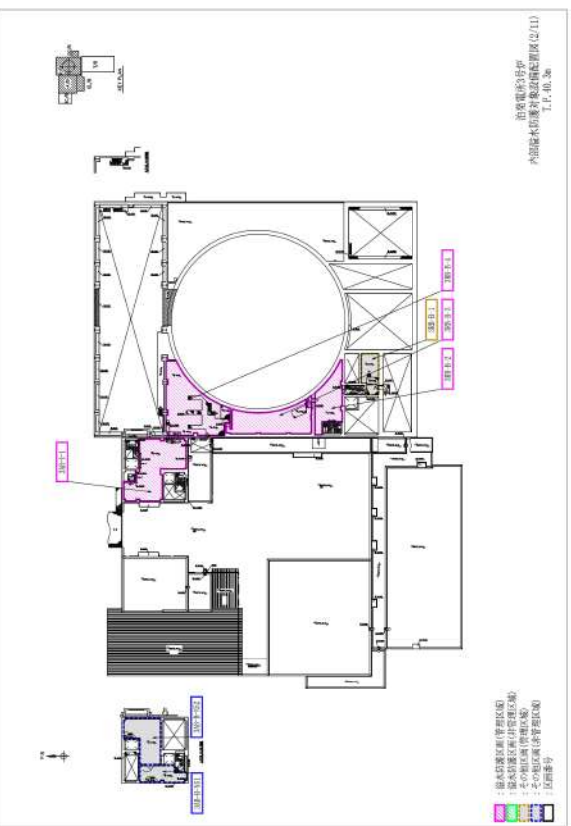
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（24/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011B</td><td>サブプレッションプール水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012A</td><td>サブプレッションプール水温度（25.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012B</td><td>サブプレッションプール水温度（25.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013A</td><td>サブプレッションプール水温度（28.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013B</td><td>サブプレッションプール水温度（28.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014A</td><td>サブプレッションプール水温度（30.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014B</td><td>サブプレッションプール水温度（30.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッションプール水温度（32.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッションプール水温度（32.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016A</td><td>サブプレッションプール水温度（34.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016B</td><td>サブプレッションプール水温度（34.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081A</td><td>TIPバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081B</td><td>TIPバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081C</td><td>TIPバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081D</td><td>TIPバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F083</td><td>TIPバージ隔離弁</td><td>④</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>逆止弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCI内面腐食仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②	SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度（25.9°）	②	SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度（25.9°）	②	SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度（28.1°）	②	SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度（28.1°）	②	SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度（30.4°）	②	SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度（30.4°）	②	SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度（32.6°）	②	SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度（32.6°）	②	SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度（34.9°）	②	SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度（34.9°）	②	TIP	CS1-F081A	TIPバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）	③	TIP	CS1-F081B	TIPバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）	③	TIP	CS1-F081C	TIPバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）	③	TIP	CS1-F081D	TIPバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）	③	TIP	CS1-F083	TIPバージ隔離弁	④	その他	-	手動弁一式	①	その他	-	逆止弁一式	①	その他	-	配管一式	①		
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																
SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度（25.9°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度（25.9°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度（28.1°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度（28.1°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度（30.4°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度（30.4°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度（32.6°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度（32.6°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度（34.9°）	②																																																																																
SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度（34.9°）	②																																																																																
TIP	CS1-F081A	TIPバルブアセンブリ（ボール弁A・爆発弁A）	③																																																																																
TIP	CS1-F081B	TIPバルブアセンブリ（ボール弁B・爆発弁B）	③																																																																																
TIP	CS1-F081C	TIPバルブアセンブリ（ボール弁C・爆発弁C）	③																																																																																
TIP	CS1-F081D	TIPバルブアセンブリ（ボール弁D・爆発弁D）	③																																																																																
TIP	CS1-F083	TIPバージ隔離弁	④																																																																																
その他	-	手動弁一式	①																																																																																
その他	-	逆止弁一式	①																																																																																
その他	-	配管一式	①																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

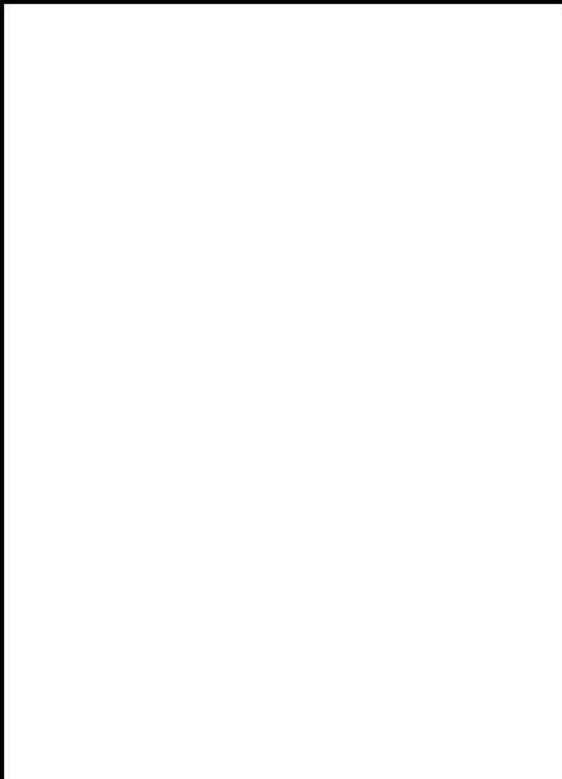
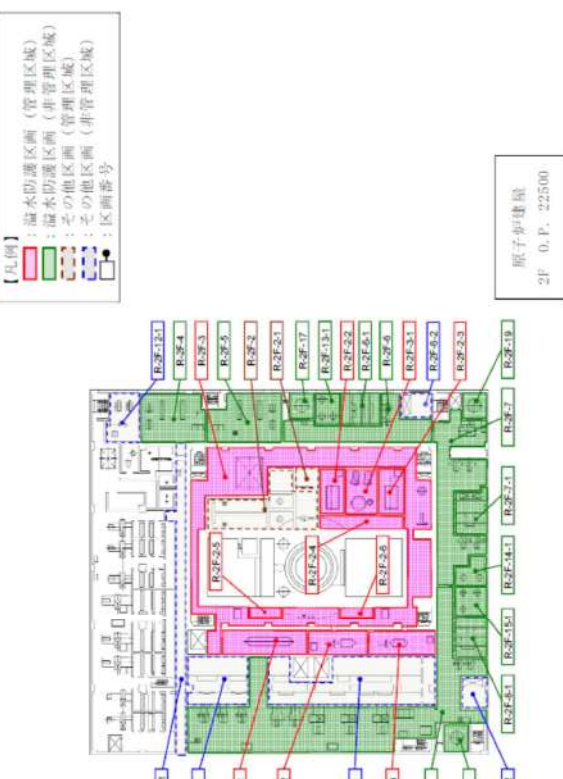
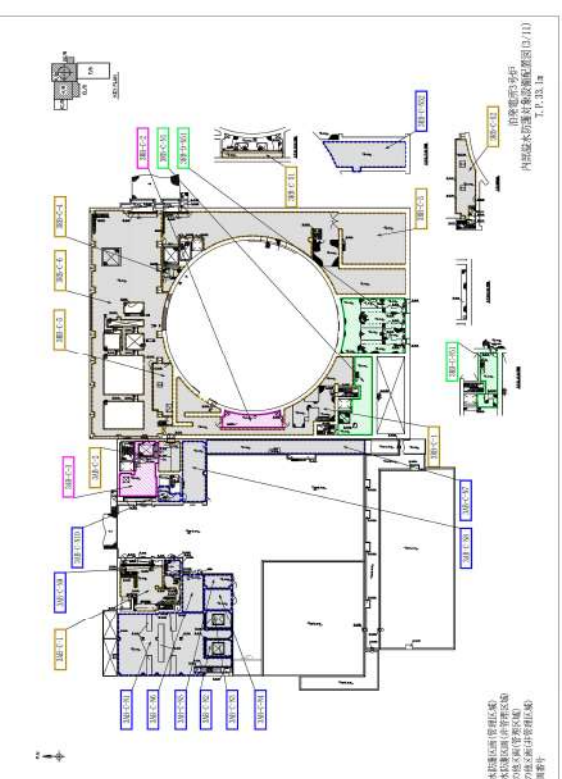
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料7）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.3-1</p> <p>溢水防護区画の設定</p> 	<p>添付資料 7</p> <p>溢水防護区画図</p>  <p>原子力発電所 3F 0.P. 33200</p>	<p>添付資料 7</p> <p>溢水防護区画図</p> 	<p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置が異なる。</p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

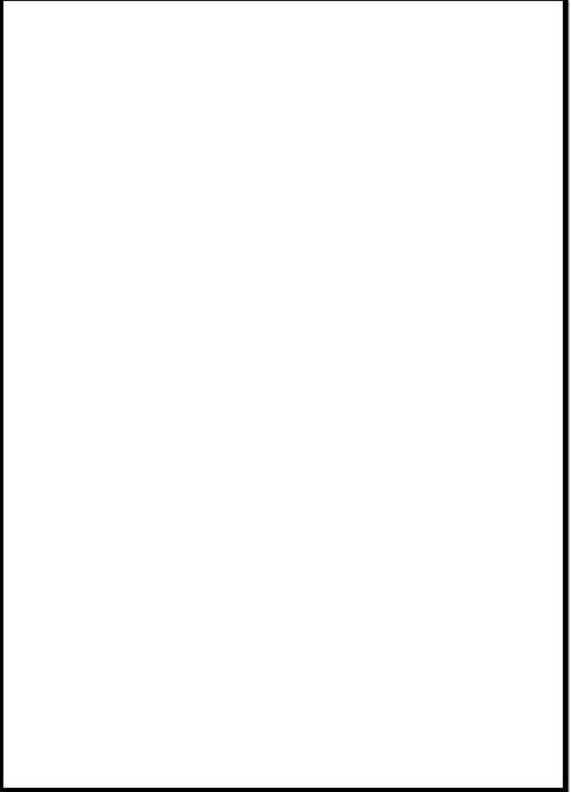
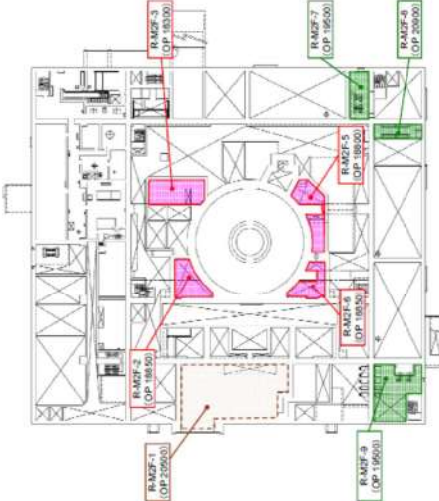
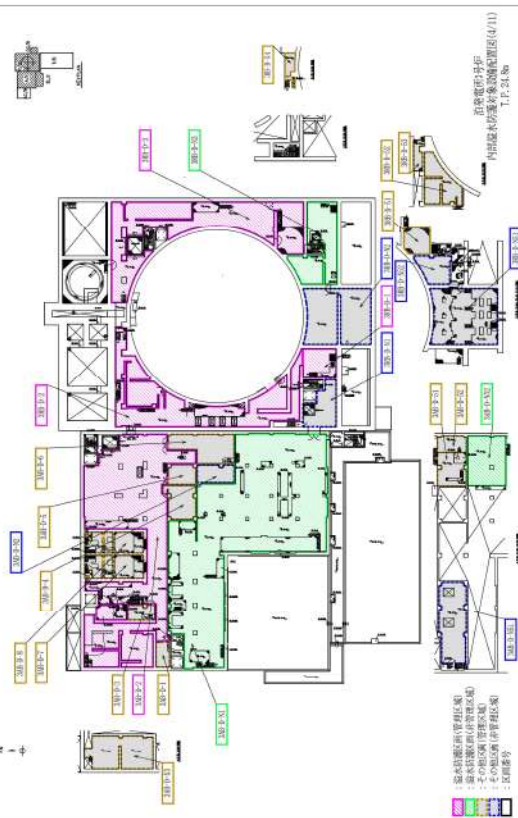
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 683 1023"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	<p data-bbox="703 177 824 464"> 【凡例】 基本防護区域 (管理区域) 基本防護区域 (非管理区域) その他区域 (管理区域) その他区域 (非管理区域) 区画番号 </p>  <p data-bbox="1196 320 1267 464"> 原子力建屋 M3F </p>	 <p data-bbox="1794 188 1845 347"> 泊発電所3号炉 基本防護区域 (管理区域) 基本防護区域 (非管理区域) その他区域 (管理区域) その他区域 (非管理区域) 区画番号 </p> <p data-bbox="1794 874 1845 1002"> 基本防護区域 (管理区域) 基本防護区域 (非管理区域) その他区域 (管理区域) その他区域 (非管理区域) 区画番号 </p>	<p data-bbox="1957 140 2040 164">相違理由</p>

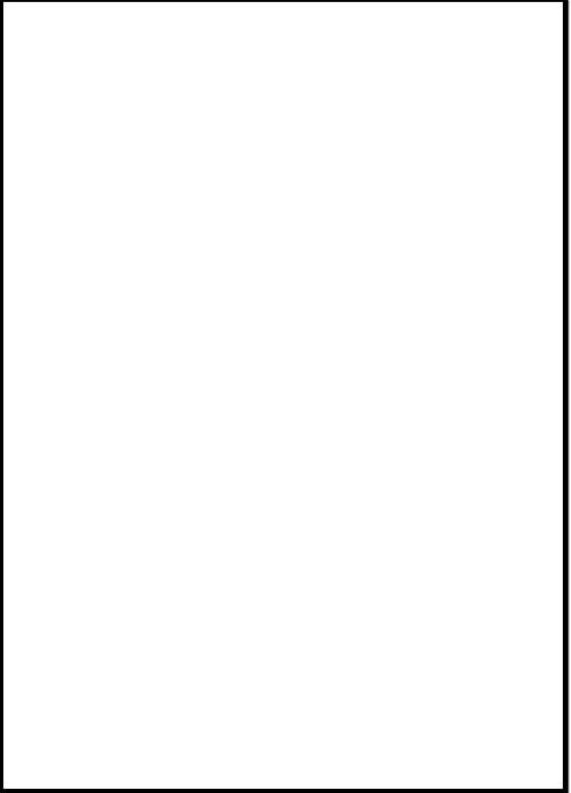
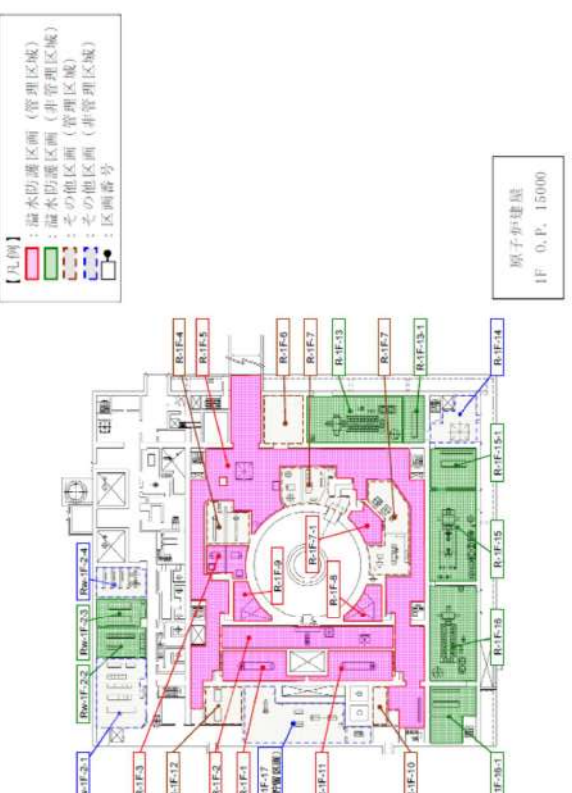
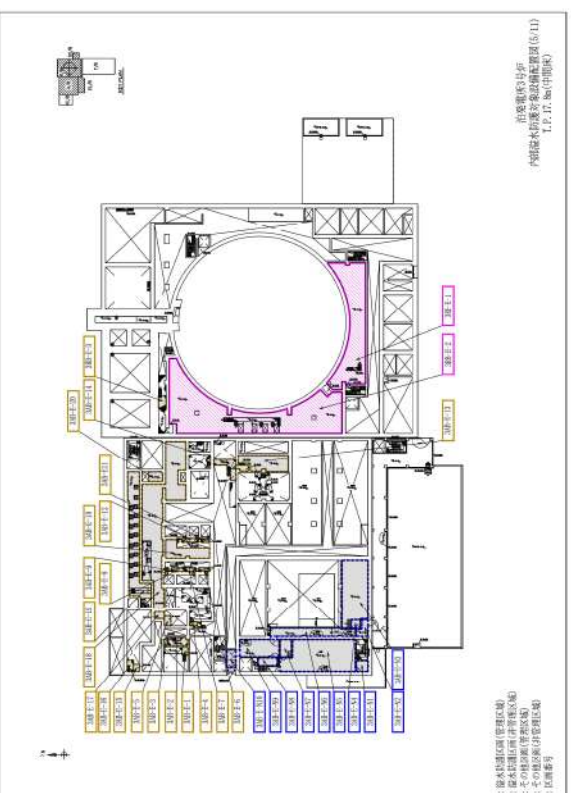
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■：基本防護区域（管理区域） ■：溢水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ○：区域番号 <p>原子炉建屋 2F 0.F. 225.00</p> 		
<p>作組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

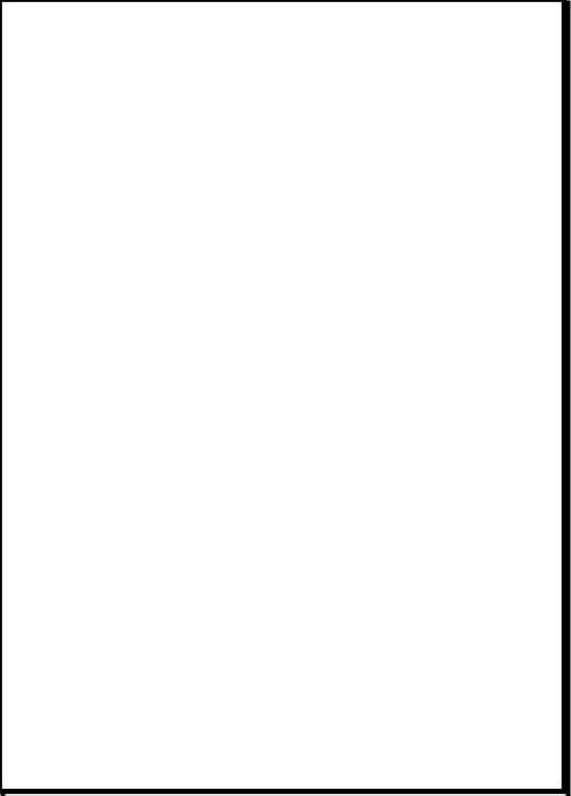
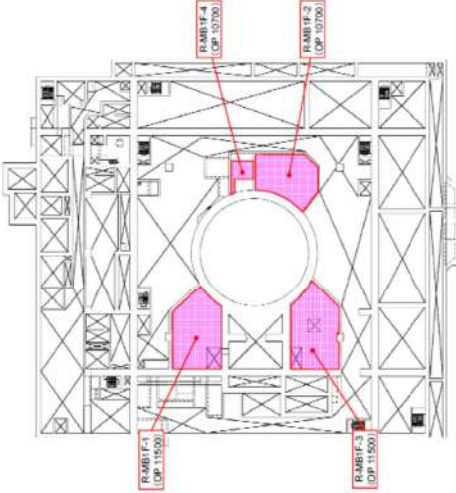
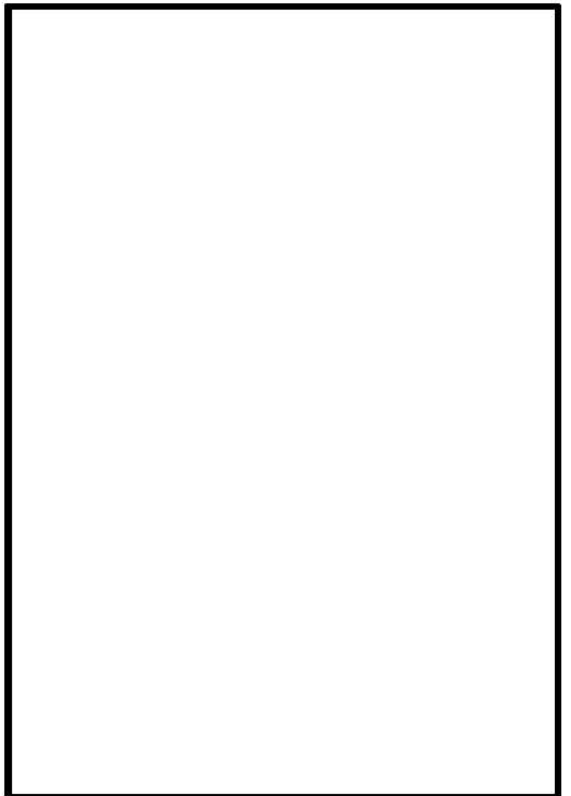
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 199 817 478">【凡例】 ■：溢水防護区域（管理区域） ■：溢水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号</p>  <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋 M2F</p>	 <p data-bbox="1780 191 1848 343">泊発電所3号炉 内部溢水防護区域(4/1) T.P. 24.8b</p> <p data-bbox="1780 869 1848 1005">溢水防護区域(管理区域) 溢水防護区域(非管理区域) その他区域(管理区域) その他区域(非管理区域) 区域番号</p>	

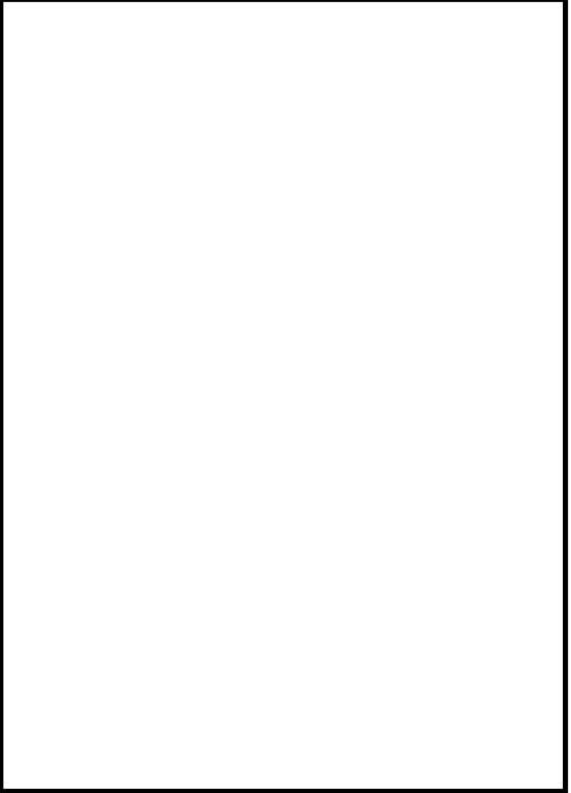
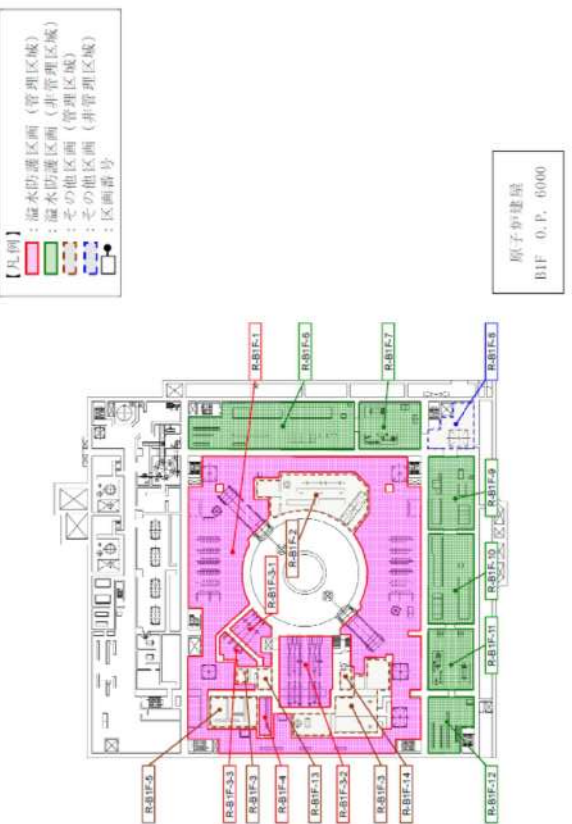
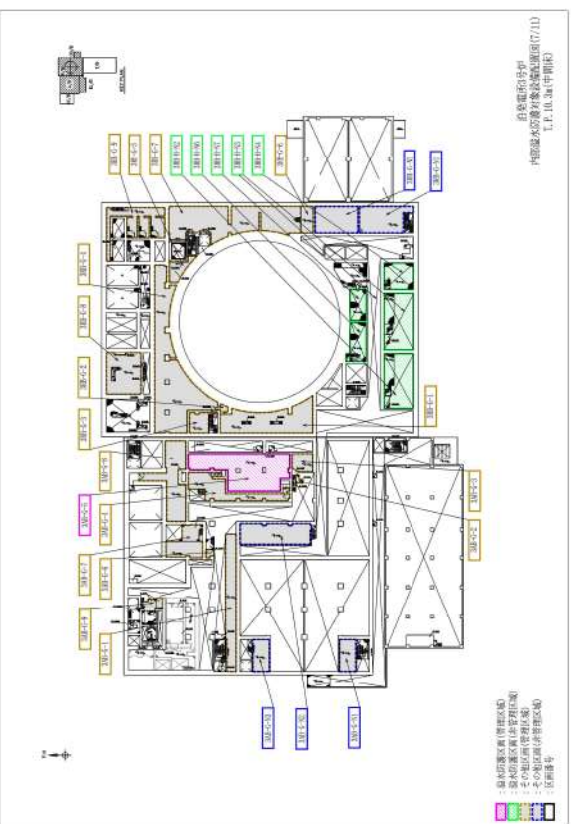
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1013">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 183 817 470"> 【凡例】 赤：溢水防護区域 (管理区域) 緑：溢水防護区域 (非管理区域) 青：その他区域 (管理区域) 黄：その他区域 (非管理区域) 白：区域番号 区画番号 </p> <p data-bbox="1187 335 1265 470"> 原子炉建屋 1F 0. P. 15000 </p>	 <p data-bbox="1292 183 1411 319"> 市電電務局 内部保安対策管理課(51) T. 2. 2. 88(印刷版) </p> <p data-bbox="1769 869 1848 997"> 溢水防護区域 (管理区域) 溢水防護区域 (非管理区域) その他区域 (管理区域) その他区域 (非管理区域) 区画番号 </p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="703 199 824 481" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ：溢水防護区域（管理区域） ：溢水防護区域（非管理区域） ：その他区域（管理区域） ：その他区域（非管理区域） ：区画番号 </div> <div data-bbox="757 507 1211 1002" style="text-align: center;">  </div>		
<p>← 組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

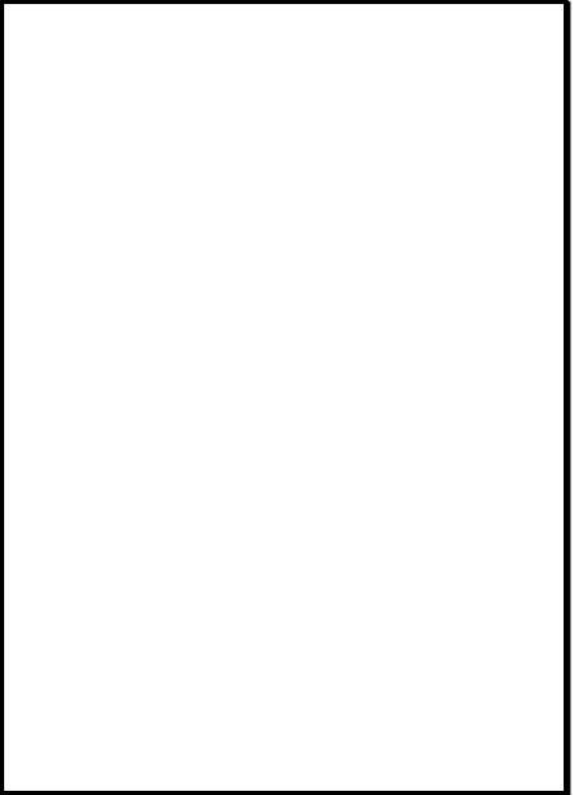
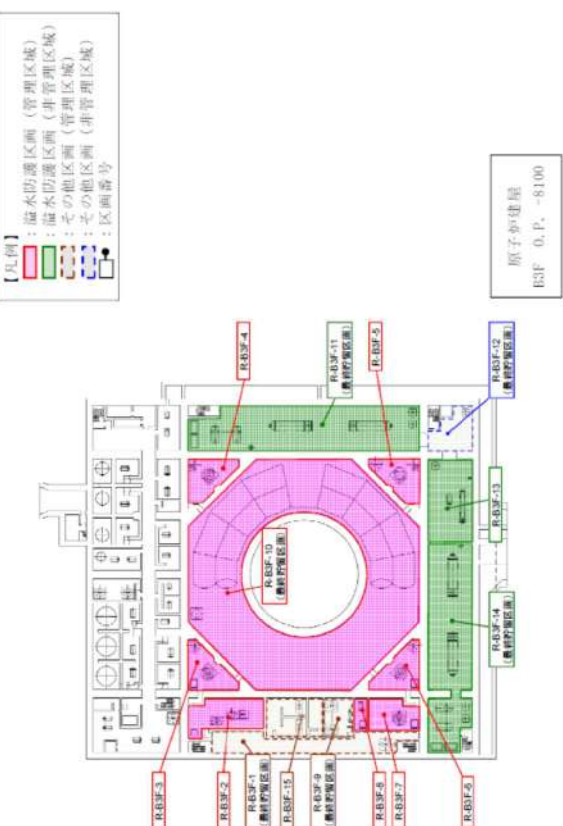
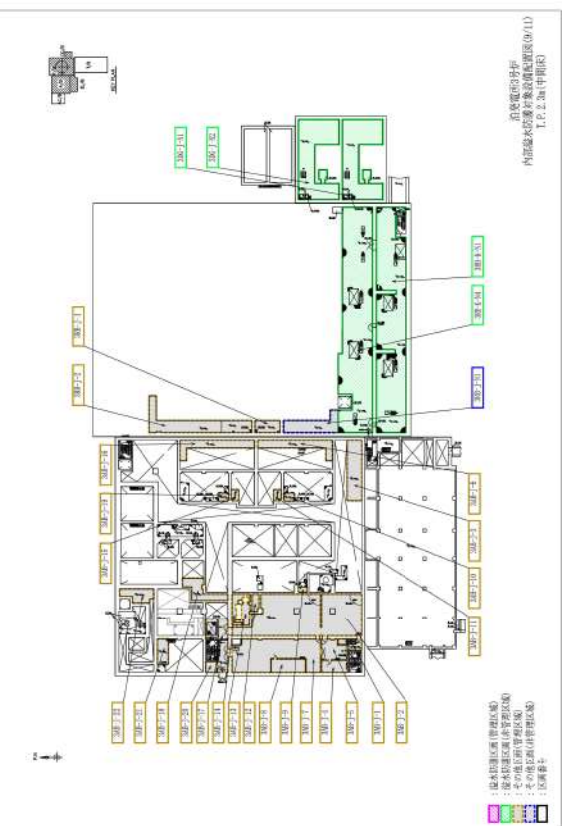
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 183 817 470">【凡例】 ■：溢水防護区画（管理区画） ■：溢水防護区画（非管理区画） ■：その他区画（管理区画） ■：その他区画（非管理区画） ○：区画番号</p> <p data-bbox="1187 327 1265 470">原子炉建屋 B1F 0.P. 6000</p>	 <p data-bbox="1292 183 1854 343">泊発電所3号炉 内部構造図（管理区画） （注：図面は概略図）</p> <p data-bbox="1769 869 1848 1005">■：溢水防護区画（管理区画） ■：溢水防護区画（非管理区画） ■：その他区画（管理区画） ■：その他区画（非管理区画） ○：区画番号</p>	


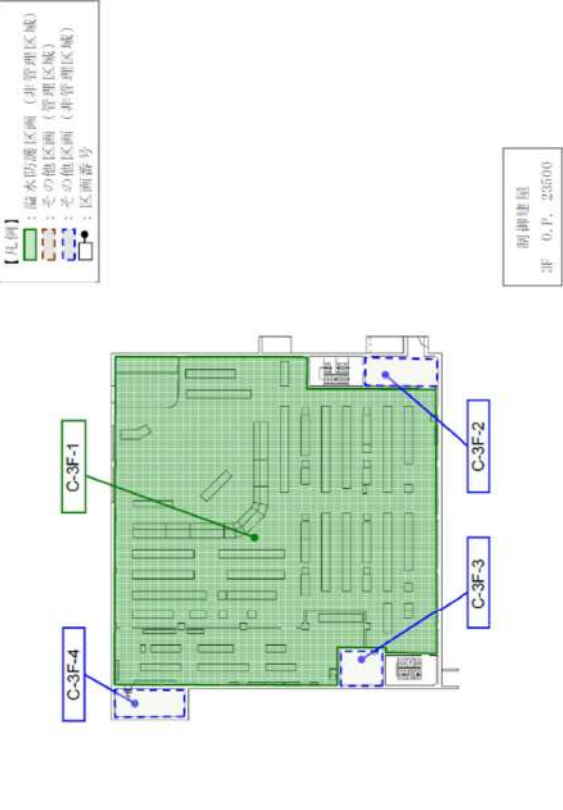
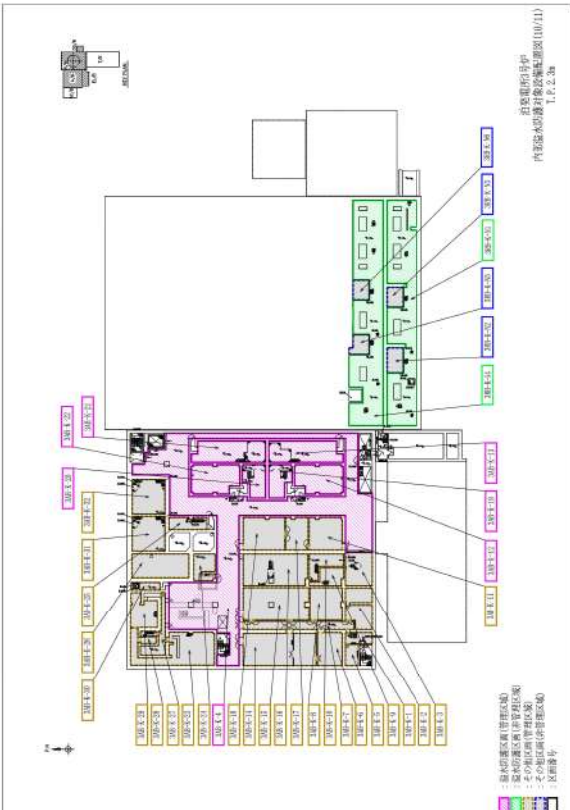
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>棒囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>棒囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

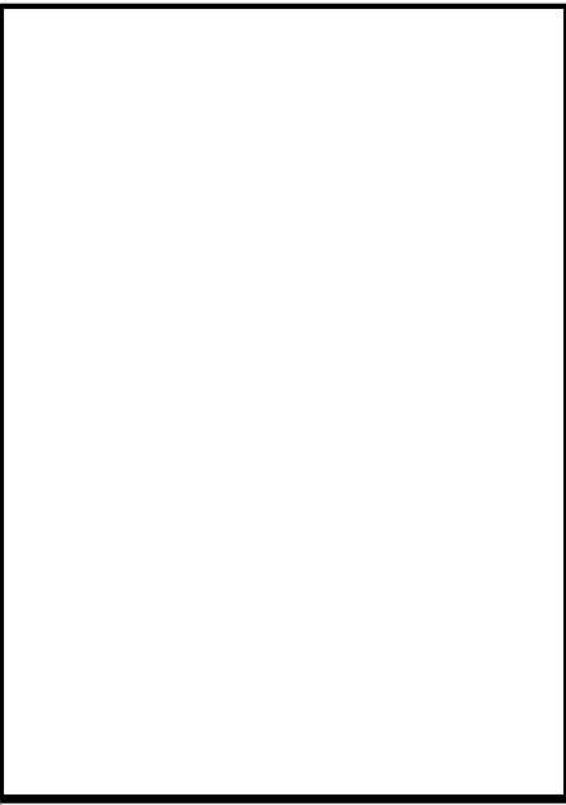

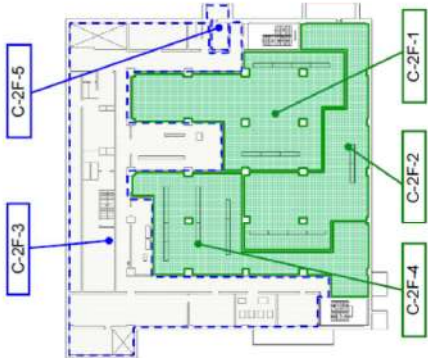
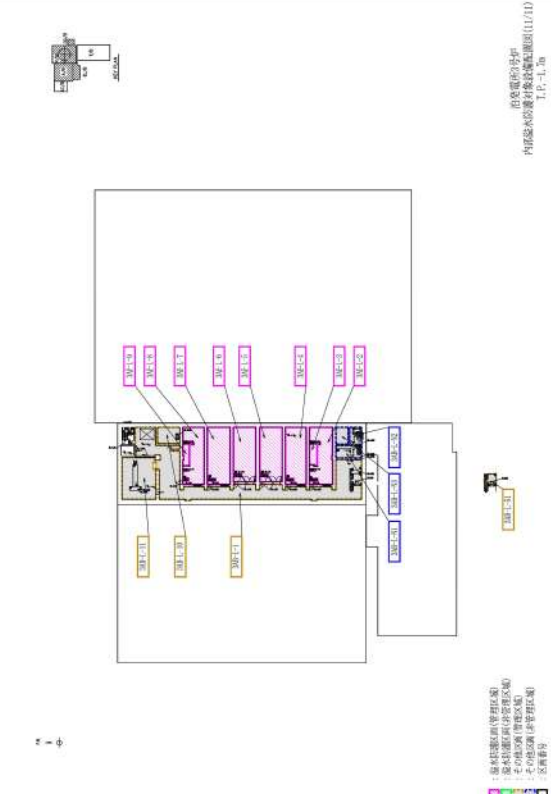
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 191 817 470">【凡例】 ：溢水防護区域（管理区域） ：溢水防護区域（非管理区域） ：その他区域（管理区域） ：その他区域（非管理区域） ：区画番号</p> <p data-bbox="1187 335 1265 470">原子炉建屋 B3F 0. P. -8100</p>	 <p data-bbox="1803 191 1848 343">泊発電所3号炉 内部図表（上）（0.2.2. 原子炉建屋）</p> <p data-bbox="1780 869 1848 1005">溢水防護区域（管理区域） 溢水防護区域（非管理区域） その他区域（管理区域） その他区域（非管理区域） 区画番号</p>	

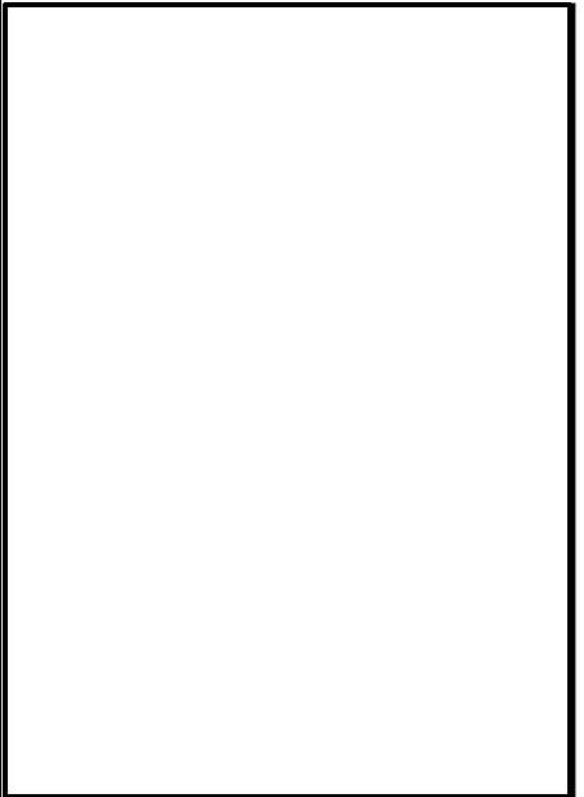
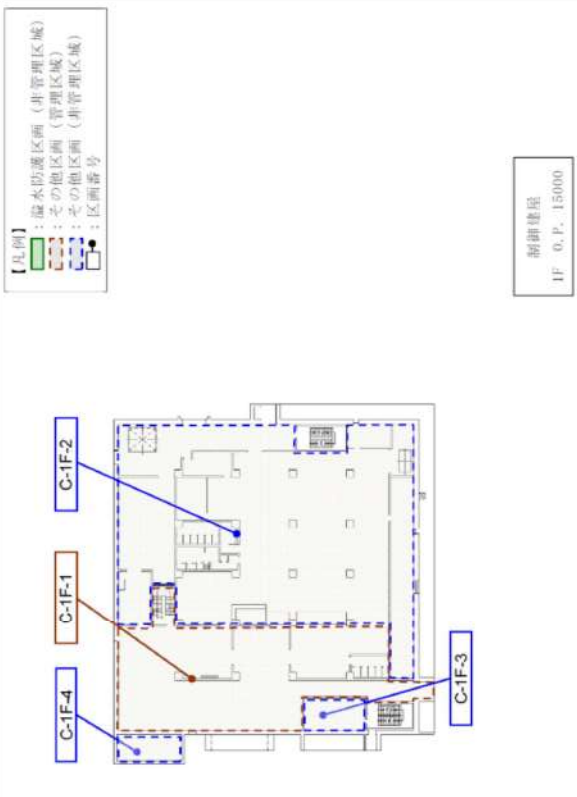
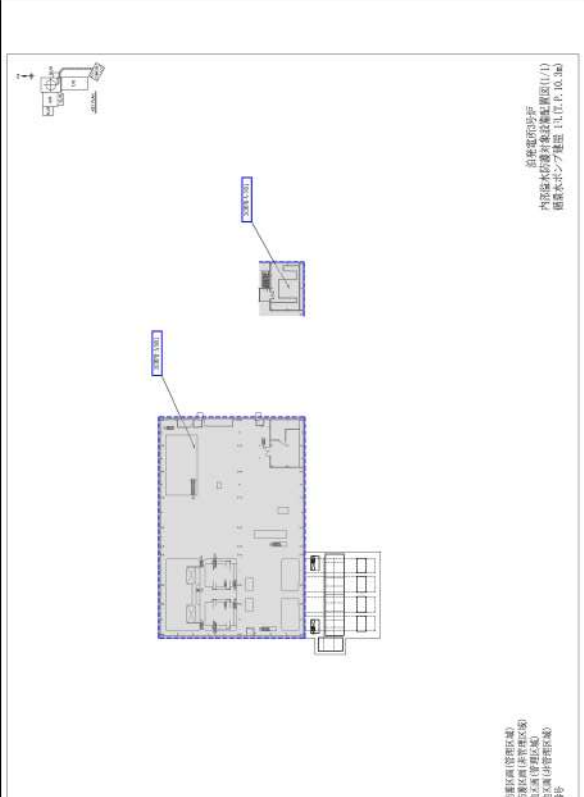
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1010 683 1038">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p>相違理由</p>

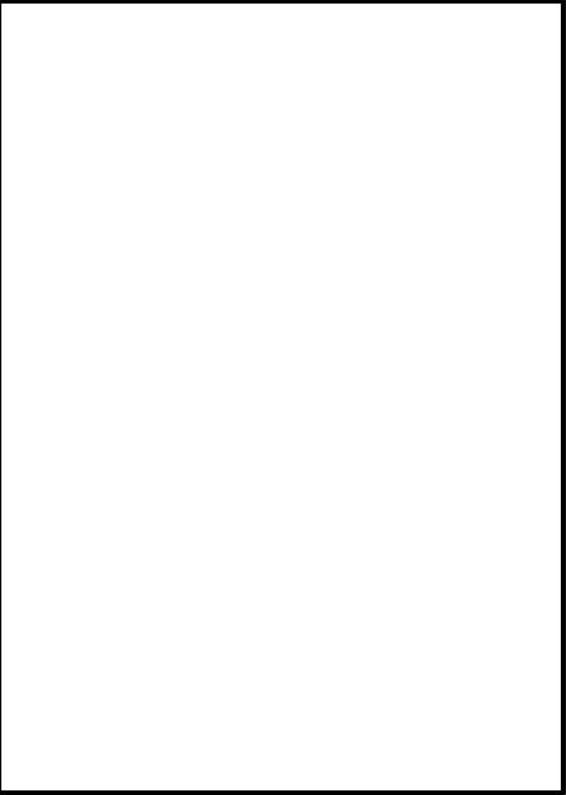
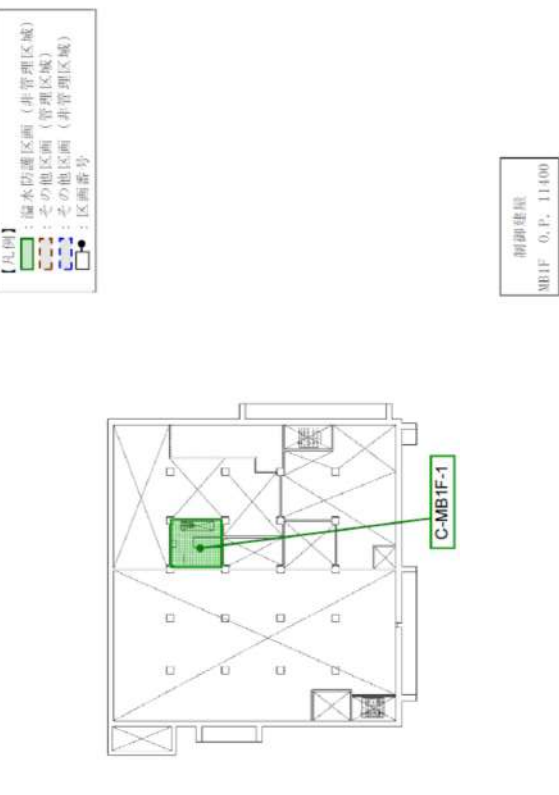
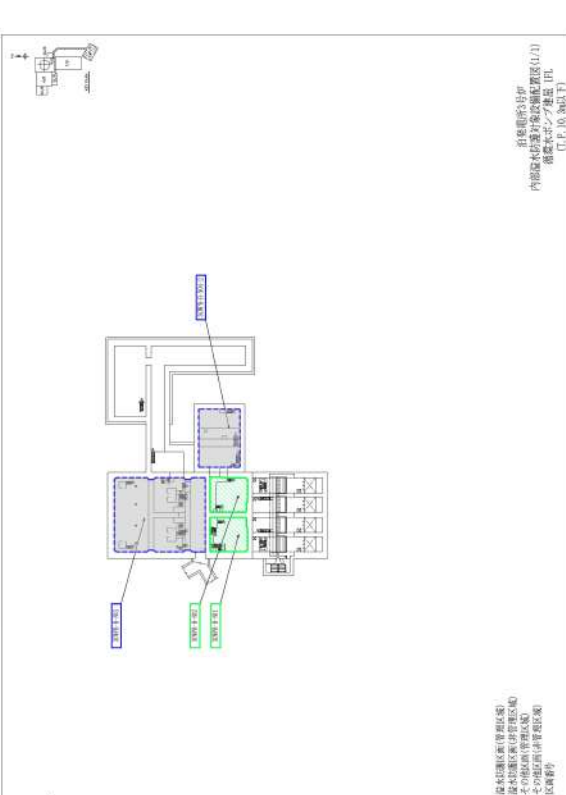
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1037">  枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	<p data-bbox="705 199 795 478"> 【凡例】 ：溢水防護区域（非管理区域） ：その他区域（管理区域） ：その他区域（非管理区域） ：区画番号 </p>  <p data-bbox="1198 343 1265 486" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 附属建屋 2F 0. P. 19500 </p>	 <p data-bbox="1803 183 1848 351" style="font-size: small;"> 泊発電所3号炉 内部配管設備等設置位置図(1/10) 14.11.14 </p> <p data-bbox="1780 869 1848 997" style="font-size: small;"> 溢水防護区域(管理区域) 溢水防護区域(非管理区域) その他区域(管理区域) その他区域(非管理区域) 区画番号 </p>	

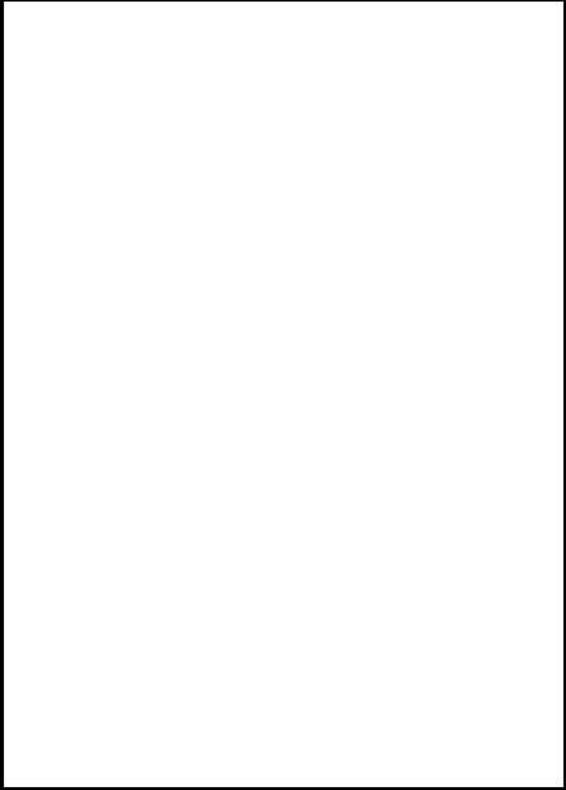

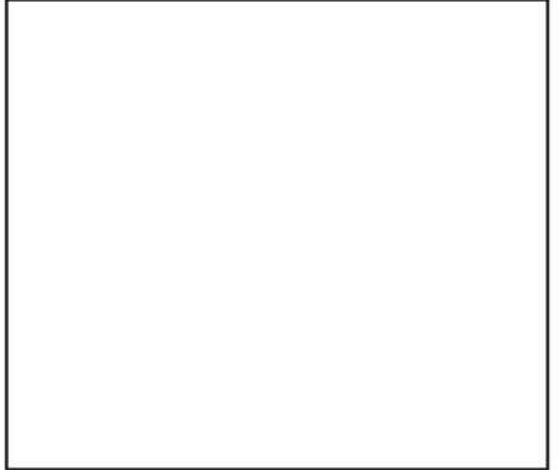
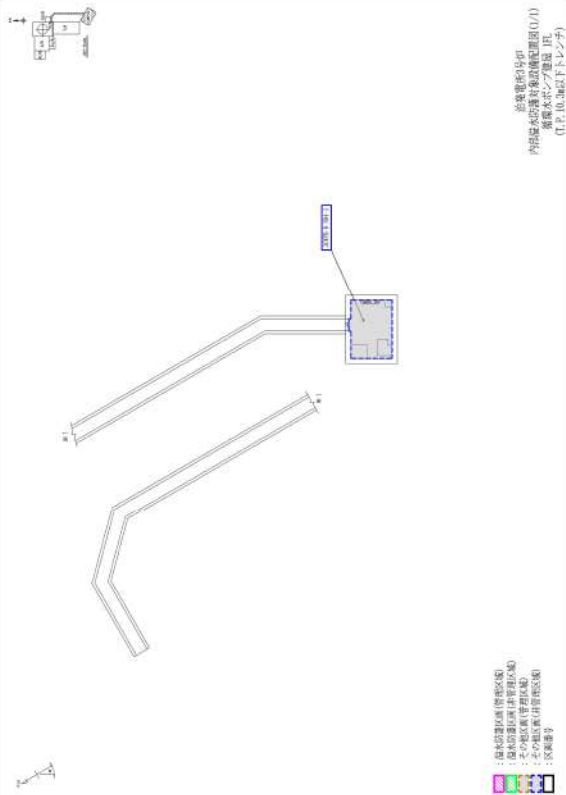
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑：基本防護区域（非管理区域） 青：その他区域（管理区域） 赤：その他区域（非管理区域） 黒：区域番号 <p>制御建屋 1F 0.P. 15000</p> 	 <p>制御建屋 1F 0.P. 15000</p>	<p>相違理由</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 986 680 1018"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	 <p data-bbox="707 194 801 475"> 【凡例】 緑：漏水防護区域（非管理区域） 青：その他区域（管理区域） 赤：その他区域（非管理区域） 黒：区域番号 </p> <p data-bbox="1205 338 1263 481"> 制御建屋 MB1F 0. P. 11.100 </p>	 <p data-bbox="1290 210 1845 370"> 系内機舎 内部設計図等（非管理区域） 通常運転シフト表等 (T.P. 10. 30以下) </p> <p data-bbox="1774 880 1854 1008"> 緑：漏水防護区域（管理区域） 青：漏水防護区域（非管理区域） 赤：その他区域（管理区域） 黒：その他区域（非管理区域） 白：区域番号 </p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 981 680 1013">  枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	<p data-bbox="707 215 806 486"> 【凡例】 ：溢水防護区画（非管理区域） ：その他区画（管理区域） ：その他区画（非管理区域） ：区画番号 </p>  <p data-bbox="1198 359 1263 486" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 制御建屋 B1F 0. P. 8000 </p> <p data-bbox="772 981 1263 1013" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。 </p>	 <p data-bbox="1803 215 1854 359" style="font-size: small;"> ※溢水防護区画 内容は本防護対象の配置図(01) 参照してください (U.P. 0.0.0.0以下参照) </p> <p data-bbox="1780 877 1854 1013" style="font-size: small;"> ※溢水防護区画(管理区域) ※溢水防護区画(非管理区域) ※その他区画(管理区域) ※その他区画(非管理区域) ※区画番号 </p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 183 801 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■：溢水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ○：区域番号 </div> <div data-bbox="772 574 1142 941" style="text-align: center;"> <p>C-MB2F-1</p> </div> <div data-bbox="1205 335 1265 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: auto;"> <p>制御棟屋 MB2F 0. P. 4400</p> </div>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【凡例】 ：溢水防護区画（非管理区域） ：その他区画（管理区域） ：その他区画（非管理区域） ：区画番号</p> <p>0.1P, 1500</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="703 197 797 480" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <p>■：溢水防護区画（非管理区域）</p> <p>□：その他区画（非管理区域）</p> <p>●：区画番号</p> </div> <div data-bbox="1227 344 1261 480" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>排水ポンプ室</p> </div> <div data-bbox="703 496 1261 979" style="border: 1px solid black; height: 300px; margin-top: 10px;"> </div> <div data-bbox="770 995 1261 1027" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 183 772 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【凡例】 ：溢水防護区画（管理区域） ：区画番号 </div> <div data-bbox="795 486 1176 949" style="text-align: center;"> </div>		

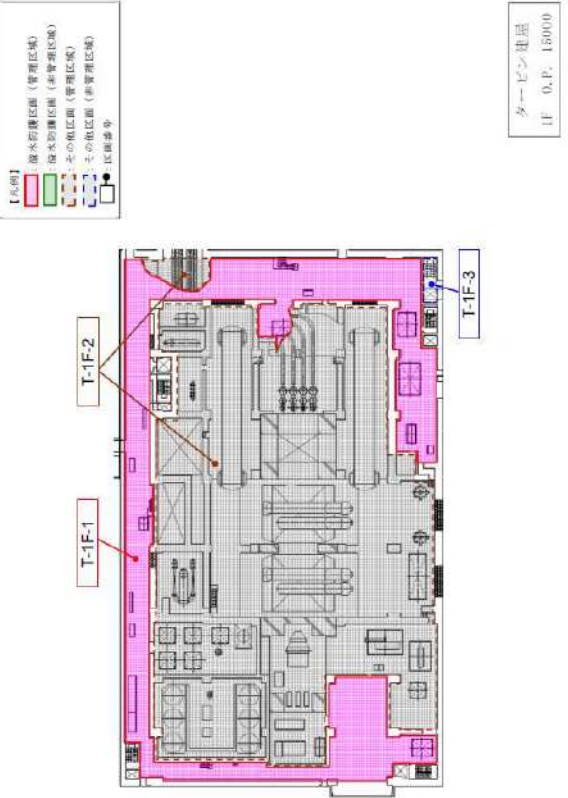
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 183 772 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】 ：溢水防護区画（非管理区画） ：区画番号</p> </div> <div data-bbox="846 507 1108 970" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1220 327 1265 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>軽油タンクエリア</p> </div>		

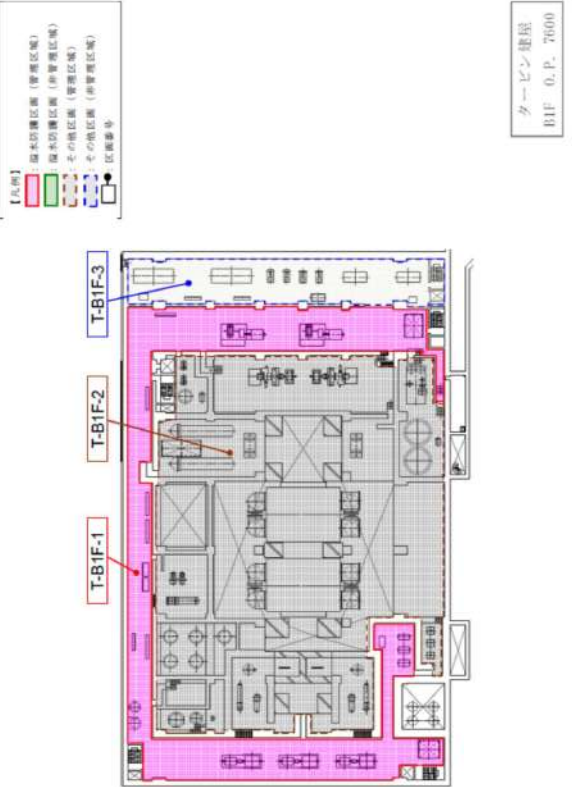
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 193 819 411" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 溢水防護区域（管理区域） ■ 溢水防護区域（非管理区域） ■ その他区域（管理区域） ■ その他区域（非管理区域） ● 区域番号 </div> <div data-bbox="763 437 1133 999" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1216 193 1267 328" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>タービン建屋 2F 0.F. 24800</p> </div>		

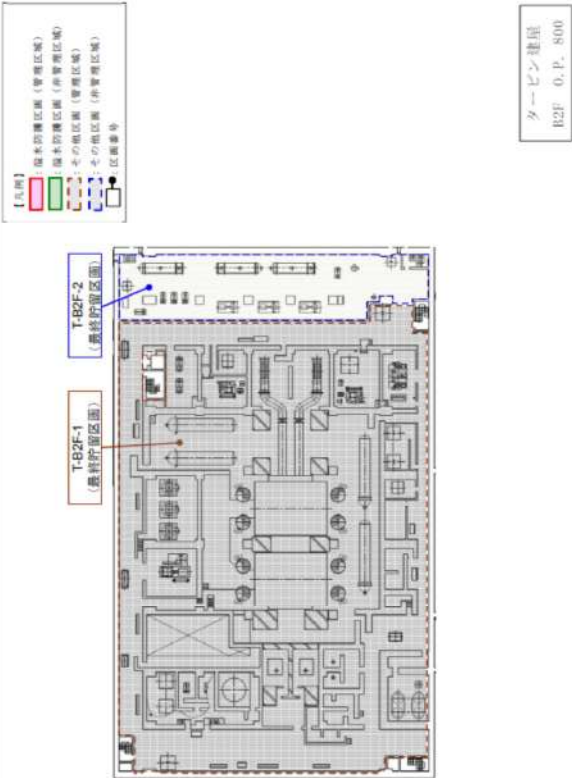
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			

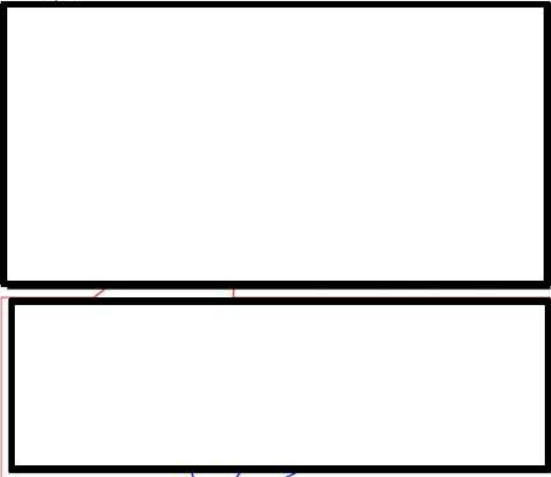
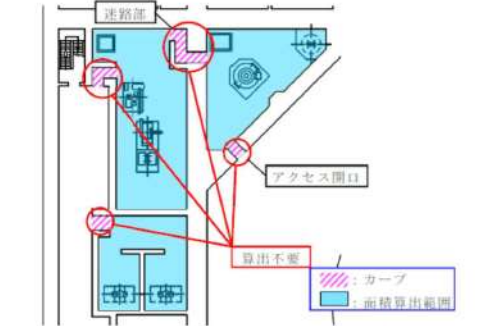
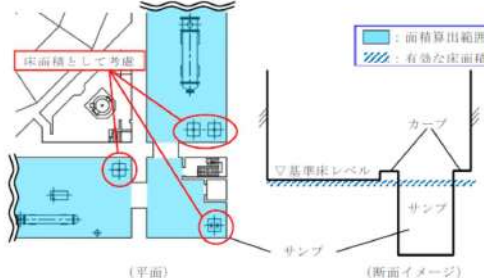
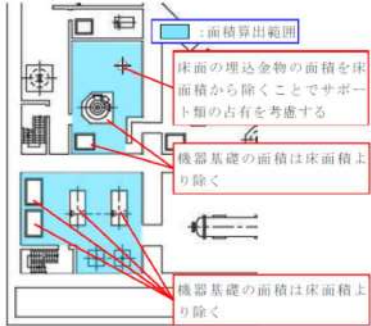
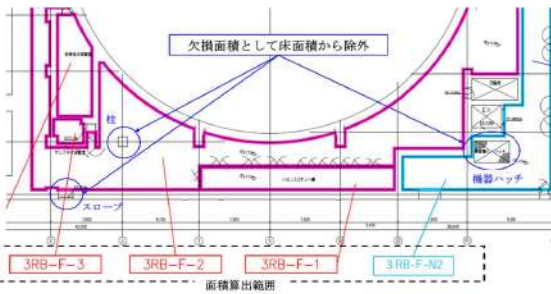
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																							
<p>17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について</p> <p>1. はじめに</p> <p>前回の現場調査以降、火災防護設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備等の追加設置に伴い没水影響評価に用いる滞留面積の減少があることから、今回、滞留面積の精緻化を図り没水影響評価について再評価を実施した。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>没水影響評価に用いる滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価の変更については、ゆらぎも含め溢水水位の上昇はわずかであり、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>没水評価結果の例を表1に示す。</p> <p>表1 滞留面積を精緻化の伴う没水影響評価について（例）</p> <p>原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー</p> <table border="1" data-bbox="141 754 645 932"> <thead> <tr> <th></th> <th>① 溢水量 [m³]</th> <th>② 滞留面積 [m²]</th> <th>床勾配 [m]</th> <th>③ 溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>④ 機能喪失高さ [m]</th> <th>⑤ 影響評価</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td>21.6</td> <td>165.7</td> <td>0.00</td> <td>0.131</td> <td rowspan="2">3A、3B 制御用空気圧縮機 制御盤 (3IAC-A、B)</td> <td rowspan="2">0.44</td> <td rowspan="2">③<④</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td></td> <td>71.8</td> <td>0.00</td> <td>0.301</td> </tr> </tbody> </table>		① 溢水量 [m³]	② 滞留面積 [m²]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定	変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機 制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○	変更後		71.8	0.00	0.301	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することを基本とし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が複雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. アクセス開口及び迷路部等は床面積から除く。(図1参照)</p> <p>c. サンプ等、基準床面より掘り込んでいる部分については、有効な床面積として算出する。(図2参照)</p>	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することとし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) 算出方法</p> <p>a. 滞留面積の算出エリアを設定し、その内側の面積を算出する。(以下「全面積」という)</p> <p>b. エリア内側にあるコンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口等、欠損となるコンクリート構造物の面積を算出する。(以下「基礎等欠損面積」という)</p> <p>c. 常設機器、現場資機材、床貫通部等、滞留面積の欠損となるものの面積を現場調査により算出する。(以下「現場調査欠損面積」という)</p> <p>d. 上記a. で算出した面積より、b. 及びc. の欠損面積を差し引く。この結果を没水評価に用いる滞留面積とする。</p> <p>(2) インプット</p> <p>a. 全面積及び基礎等欠損面積は、建築図（コンクリート形状図）を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 現場調査欠損面積は、現場調査により対象となる機器等の寸法を実測し、欠損面積を算出する。</p> <p>(3) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>大阪は没水評価実施後に追加設置した設備等による滞留面積の減少分を精緻化して没水評価の再評価を実施していることを説明しているが、滞留面積の算出方法は泊と同様であり、欠損面積を現場実測している。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は滞留面積の算出過程が明確となるよう、最初に算出方法を記載する構成としている。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものであるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>（大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様）</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・同上</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「原則」という記載はしていない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では迷路部も床面積として算出している。</p> <p>・また、ピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。</p>
	① 溢水量 [m³]	② 滞留面積 [m²]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定																		
変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機 制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○																		
変更後		71.8	0.00	0.301																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



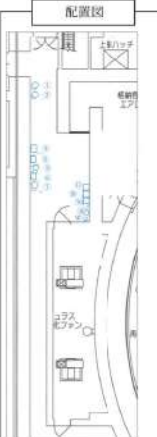

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>(3) 通常評価</p> <p>没水評価を実施する際は、原則として、算出した床面積の値に0.7倍した値を使用する。基準床面より盛り上がっている部分（機器基礎、床ハッチ、スロープ、ランプ周りのカーブ、サポート類等）は0.7の係数に含まれるものとする。ただし、床面積に対して機器基礎の占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用する。機器基礎の占有率に応じた係数使用区画について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 機器基礎の占有率に応じた係数使用区画</p> <table border="1" data-bbox="698 528 1270 904"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>機器基礎の占有率 [%]</th> <th>使用する係数</th> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B1F-12</td><td>R/B</td><td>B1F</td><td>102.6</td><td>33.5</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>区分II非常用MCC室</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1F-15</td><td>R/B</td><td>1F</td><td>200.9</td><td>65.2</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>D/G (OPCS) 室</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-2F-2-2</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 西結合装置 (A) 室</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2F-2-3</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 西結合装置 (B) 室</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2F-2-5</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS フック (A) 室</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-2F-2-6</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS フック (B) 室</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-2F-13-1</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>33.1</td><td>11.6</td><td>36.0</td><td>0.6</td><td>D/G (A) 非常用送風機室</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-2F-17</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.4</td><td>10.2</td><td>38.0</td><td>0.6</td><td>燃料デイトンク (A) 室</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-2F-18</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>32.1</td><td>10.2</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (B) 室</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-2F-19</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.7</td><td>9.1</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (OPCS) 室</td></tr> <tr><td>11</td><td>C-B2F-3</td><td>C/B</td><td>B2F</td><td>113.7</td><td>57.9</td><td>51.0</td><td>0.45</td><td>DC250W バッテリー室</td></tr> <tr><td>12</td><td>C-B1F-2</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>44.4</td><td>13.7</td><td>31.0</td><td>0.65</td><td>DC125W バッテリー室 (A)</td></tr> <tr><td>13</td><td>C-B1F-4</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>70.3</td><td>28.0</td><td>40.0</td><td>0.55</td><td>DC125W バッテリー室 (B)</td></tr> <tr><td>14</td><td>C-B1F-5</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>211.8</td><td>62.1</td><td>30.0</td><td>0.65</td><td>計測制御電機室 (B)</td></tr> <tr><td>15</td><td>C-B1F-6-1</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>32.5</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>ISS 盤室</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 詳細評価</p> <p>最終的な溢水の滞留先となる最地下階の共通エリアや、復水器室等の機器の占有率が大きいエリアについては、詳細に算出した面積を使用する。(図3参照)</p> <p>対象とする区画は表2のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表2 詳細に面積を算出した区画</p> <table border="1" data-bbox="698 1214 1270 1386"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>埋込金物面積 [㎡]</th> <th>合計面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B3F-1</td><td>156.7</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>155.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-B3F-12</td><td>70.8</td><td>0</td><td>0</td><td>70.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水器室[※]</td><td>1621.5</td><td>286.0</td><td>73.0</td><td>1262.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 復水器室は T-B2F-1 の面積に含め、没水評価で使用している。</p>	No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称	1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分II非常用MCC室	2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (OPCS) 室	3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (A) 室	4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (B) 室	5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (A) 室	6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (B) 室	7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室	8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室	9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室	10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (OPCS) 室	11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250W バッテリー室	12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125W バッテリー室 (A)	13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125W バッテリー室 (B)	14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)	15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室	No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	埋込金物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]	1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	155.3	2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8	3	復水器室 [※]	1621.5	286.0	73.0	1262.5	<p>(4) 現場調査欠損面積の算出</p> <p>現場調査欠損面積は、現場実測により算出した欠損面積に対し、すべてのエリアにおいて一律に25%の割り増しを行う。現場調査による欠損面積の対象外とした0.01㎡未満の機器は割り増しに含まれるものとする。</p> <p>現場調査欠損面積の現場実測の例を図2に示す。</p>	<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は床面積に対する機器等の占有率に応じて通常評価又は詳細評価を実施しているのに対し、泊は全エリアに対して同様の算出方法としている。 ・また、女川は滞留面積の算出時に係数を乗じることで保守性を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。 <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同上
No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称																																																																																																																																																																			
1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分II非常用MCC室																																																																																																																																																																			
2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (OPCS) 室																																																																																																																																																																			
3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (A) 室																																																																																																																																																																			
4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (B) 室																																																																																																																																																																			
5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (A) 室																																																																																																																																																																			
6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (B) 室																																																																																																																																																																			
7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室																																																																																																																																																																			
8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室																																																																																																																																																																			
9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室																																																																																																																																																																			
10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (OPCS) 室																																																																																																																																																																			
11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250W バッテリー室																																																																																																																																																																			
12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125W バッテリー室 (A)																																																																																																																																																																			
13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125W バッテリー室 (B)																																																																																																																																																																			
14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)																																																																																																																																																																			
15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室																																																																																																																																																																			
No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	埋込金物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]																																																																																																																																																																						
1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	155.3																																																																																																																																																																						
2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8																																																																																																																																																																						
3	復水器室 [※]	1621.5	286.0	73.0	1262.5																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>9 スロープ部の滞留面積の考え方について</p> <p>大阪発電所の現場にあるスロープ部の考え方については、図1のとおり、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いて評価している。</p> <p>(例)</p>  <p>3号炉 E.L.+26.0m 北側通路部には、勾配が76cmのスロープがあるため、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いている。</p> <p>図1 スロープ部の滞留面積の考え方</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>	<p>(5) 数値処理</p> <p>面積の算出は「m²」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。(床面積算出後に切り捨てるを実施し、更に0.7倍後に切り捨てる。)</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>  <p>図2 掘り込み部の扱い (例：最地下階サンブ)</p>  <p>図3 詳細に床面積を算出する場合の算出範囲 (例)</p>	<p>(5) 数値処理</p> <p>面積の算出は「m²」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>	<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では最終的な滞留面積算出時に切り捨て処理を行っている。 <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊ではビットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊ではすべてのエリアに対して同様の算出方法により滞留面積を算出していることから、女川のように「通常評価」と「詳細評価」の区別は無いが、機器基礎を床面積から除外していることは同様である。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料8）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																						
<p>(17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について)</p> <p>(例) 大災防護設備(盤)</p> <p>大阪3号炉 床面積精緻化に伴う対象物の調査結果</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="152 359 672 587"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">対象物 種類</th> <th colspan="2">測定寸法(mm)</th> <th rowspan="2">欠損面積 (m²)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>形状 縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>033 ①</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ②</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ③</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ④</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>034 ①</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>034 ②</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1種</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="116 654 425 893" style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 150px; text-align: center;"> <p>配置図</p> </div> <div data-bbox="488 654 678 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>写真</p>  <p>No. 33①～④</p>  <p>No. 34①～②</p> </div> </div>	番号	対象物 種類	測定寸法(mm)		欠損面積 (m ²)	備考	形状 縦	横	033 ①	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種	033 ②	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種	033 ③	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種	033 ④	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種	034 ①	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種	034 ②	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種		<p>(例) R/B33.1m 3RB-C-1通路, エアロック室①</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" data-bbox="1288 263 1848 550"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">形状</th> <th colspan="2">寸法</th> <th colspan="2">材質</th> <th colspan="2">劣化状況</th> <th colspan="2">劣化率</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> <th>長さ</th> <th>高さ</th> <th>種類</th> <th>状態</th> <th>劣化率</th> <th>劣化率</th> <th>下層</th> <th>上層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>床</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>床</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>床</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>床</td> <td>400</td> <td>200</td> <td>0.020</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>床</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.020</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>床</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>0.01</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>床</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>床</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>床</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>床</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>床</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1288 566 1444 1005" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>配置図</p>  </div> <div data-bbox="1467 566 1848 1005" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>写真</p>  </div> </div>	No.	設備名称	形状		寸法		材質		劣化状況		劣化率		縦	横	長さ	高さ	種類	状態	劣化率	劣化率	下層	上層	1	床			300	0.021					0	11%	2	床			300	0.021					0	11%	3	床	300	200	0.021						0	10%	4	床	400	200	0.020						0	10%	5	床	300	300	0.020						0	10%	6	床			100	0.01					0	10%	7	床			300	0.021					0	10%	8	床	300	200	0.021						0	10%	9	床	300	200	0.021						0	10%	10	床	300	200	0.021						0	10%	11	床	300	200	0.021						0	10%	<p>記載方針の相違</p> <p>・泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、現場実測の例を図2に示している。</p>
番号			対象物 種類	測定寸法(mm)			欠損面積 (m ²)	備考																																																																																																																																																																																																	
	形状 縦	横																																																																																																																																																																																																							
033 ①	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種																																																																																																																																																																																																				
033 ②	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種																																																																																																																																																																																																				
033 ③	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種																																																																																																																																																																																																				
033 ④	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種																																																																																																																																																																																																				
034 ①	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種																																																																																																																																																																																																				
034 ②	土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1種																																																																																																																																																																																																				
No.	設備名称	形状		寸法		材質		劣化状況		劣化率																																																																																																																																																																																															
		縦	横	長さ	高さ	種類	状態	劣化率	劣化率	下層	上層																																																																																																																																																																																														
1	床			300	0.021					0	11%																																																																																																																																																																																														
2	床			300	0.021					0	11%																																																																																																																																																																																														
3	床	300	200	0.021						0	10%																																																																																																																																																																																														
4	床	400	200	0.020						0	10%																																																																																																																																																																																														
5	床	300	300	0.020						0	10%																																																																																																																																																																																														
6	床			100	0.01					0	10%																																																																																																																																																																																														
7	床			300	0.021					0	10%																																																																																																																																																																																														
8	床	300	200	0.021						0	10%																																																																																																																																																																																														
9	床	300	200	0.021						0	10%																																																																																																																																																																																														
10	床	300	200	0.021						0	10%																																																																																																																																																																																														
11	床	300	200	0.021						0	10%																																																																																																																																																																																														
<p>図1 滞留面積精緻化に伴う資料について</p>	<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>	<p>図2 床面積欠損対象物の測定結果例</p>																																																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由								
添付資料 1.3-3						添付資料9						添付資料9														
溢水影響評価で止水を期待できる設備						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(1/5)						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (1/2)						記載表現の相違								
表1 止水を期待できる設備																		記載方針の相違 女川審査実績の反映								
号炉	設置場所	設置高さ	対象		新設 既設	箇所 数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数								
3号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	2	原子炉建屋 原子炉棟	B3F	RCICタービンポンプ室 (R-B3F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	原子炉建屋	T.F. 2. 3m	B1FL	3V-WW-500 (3-T/D AFWPT排気 管温水ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1							
				逆止弁	新設	10			FPWWポンプ室 (R-B3F-8)	水密扉	新設	1				3V-WW-501 (3-T/D AFWPTリー ク管温水ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1							
				ペント逆止弁	新設	1			逆成防止 フジ絲	新設	5	3V-WW-502 (3-R/B非管理区域ドレン 管温水ビット行きドレン管逆止弁) (-)				逆止弁	新設	1								
			目皿逆止弁	新設	11	RHRポンプ(C)室 (R-B3F-7)			水密扉	既設 (改造)	1	3V-WW-503 (3-主蒸気管室ドレン管定液 ビット行きドレン管逆止弁) (-)				逆止弁	新設	1								
			サンブタンク*	既設	1	RHRポンプ(B)室 (R-B3F-6)			水密扉	既設	1	水密扉No.69 (3RB-K-N4)				水密扉	新設	1								
																水密扉No.93 (3RB-H-N1)	水密扉	新設	1							
		E.L. + 10.0m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	3			HPCSポンプ室 (R-B3F-5)	水密扉	既設	1			水密扉No.154 (3RB-H-N1)	水密扉	新設	1	T.F. 10. 3m	1FL	止水板No.A (3RB-H-N5)	止水板	新設	1		
				逆止弁	新設	9			LPCSポンプ室 (R-B3F-4)	水密扉	既設	1			止水板DG-A (3RB-H-N11)	止水板	新設	1								
				目皿逆止弁	新設	14			RHRポンプ(A)室 (R-B3F-3)	水密扉	既設	1			止水板DG-B (3RB-H-N10)	止水板	新設	1								
			水密扉	新設	1	CUW配管・バルブ室 (R-B2F-6)			堰	新設	1	DG-A出入り口堰 (3DG-H-N2)			堰	既設	1									
															DG-B出入り口堰 (3DG-H-N1)	堰	既設	1								
															水密扉No.149 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1								
4号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	2	原子炉建屋 原子炉棟	B2F	MURCポンプ室 (R-B2F-5)	堰	新設	1	原子炉建屋	T.F. 17. 8m	2FL	水密扉No.155 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1							
				目皿逆止弁	新設	11			共通エリア・ハッチ (HR-207) (R-B2F-1)	堰	新設	1				止水板No.B (3RB-F-N3)	止水板	新設	1							
				サンブタンク*	既設	1			RCIC MCC室 (R-B1F-4)	堰	新設	1				水密扉No.156 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1							
		E.L. + 10.0m	水密扉		新設	1			TIP駆動装置室 (R-B1F-3-3)	堰	新設	1			水密扉No.146 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1	T.F. 24. 8m	3FL	水密扉No.157 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1		
			堰		新設	1			(R-01)北西階段室	堰	新設	1			水密扉No.158 (3RB-C-N51)	水密扉	新設	1								
			堰		新設	1			MS トンネル室 (R-B1F-3-2)	堰	新設	1			33.1m (区画境界②) 堰 (-)	堰	既設	1								
			E.L. + 17.1m	堰		新設			1	(R-02)北東階段室	堰	新設			1	33.1m (区画境界③) 堰 (-)	堰	既設		1	T.F. 33. 1m	4FL	33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設	1
				堰		新設			1	共通エリア・ハッチ (HR-307) (R-B1F-1)	堰	新設			1											
				堰		新設			2	共通エリア・ハッチ (HR-311) (R-B1F-1)	堰	新設			1											
		E.L. + 26.0m		堰		新設			2	RHR熱交換器室(A)室 (R-1F-1)	水密扉	新設			1					T.F. 40. 3m		5FL	水密扉No.147 (3RB-B-1)	水密扉	新設	1
				堰		新設			1	FPCポンプ室 (R-1F-3)	堰	新設			1											
				堰		新設			2	(R-01)北西階段室	堰	新設			1											

※サンブタンクについては、水頭圧にて強度評価を実施した。

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由																																																																																																																																																																																																								
<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="7">1F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(A) (R-1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(B) (R-1F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B大物搬入用小扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B連絡通路(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B連絡通路(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2F</td> <td>SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B3F</td> <td>RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1	バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1	R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1	T/B連絡通路(東側)	水密扉	新設	1	T/B連絡通路(西側)	水密扉	新設	1	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1	2F	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1	CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)	堰	新設	1	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	堰	新設	1	SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)	堰	新設	1	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)	堰	新設	1	FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)	堰	新設	1	FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)	堰	新設	1	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1	RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉	既設	1	HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉	既設 (改造)	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="4">32FL T.P.-1.7m</td> <td>A-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-I-9)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-I-9)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-L-3)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-L-3)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">31FL T.P.2.8m</td> <td>水密扉No.68(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.73(3AB-K-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1FL T.P.10.3m</td> <td>止水板2.8-A(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.77(3AB-H-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.78(3AB-H-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.87(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.85(3AB-H-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理区域出入り口堰(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10.3m(A-D)階段前機器ハッチ廻り堰 (3AB-K-4)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.80(3AB-H-6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.81(3AB-H-6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.82(3AB-H-1)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">2FL T.P.17.8m</td> <td>水密扉No.141(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.142(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.143(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.144(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)</td> <td>水密扉^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-S13)</td> <td>水密扉^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>水密扉^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3FL T.P.33.1m</td> <td>33.5m(区画境界)堰(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	32FL T.P.-1.7m	A-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-I-9)	止水板	新設	1	A-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-I-9)	止水板	新設	1	B-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-L-3)	止水板	新設	1	B-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-L-3)	止水板	新設	1	31FL T.P.2.8m	水密扉No.68(-)	水密扉	新設	1	水密扉No.73(3AB-K-4)	水密扉	新設	1	1FL T.P.10.3m	止水板2.8-A(-)	止水板	新設	1	水密扉No.77(3AB-H-1)	水密扉	新設	1	水密扉No.78(3AB-H-4)	水密扉	新設	1	水密扉No.87(-)	水密扉	新設	1	水密扉No.85(3AB-H-2)	水密扉	新設	1	管理区域出入り口堰(-)	堰	既設	1	10.3m(A-D)階段前機器ハッチ廻り堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1	止水板No.80(3AB-H-6)	止水板	新設	1	止水板No.81(3AB-H-6)	止水板	新設	1	止水板No.82(3AB-H-1)	止水板	新設	1	2FL T.P.17.8m	水密扉No.141(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉No.142(-)	水密扉	新設	1	水密扉No.143(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉No.144(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)	水密扉 ^{※1}	新設	1	A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-S13)	水密扉 ^{※1}	新設	1	B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	水密扉 ^{※1}	新設	1	3FL T.P.33.1m	33.5m(区画境界)堰(-)	堰	既設	1	<p>※1 水密扉を今後設置予定</p>	
	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																																																													
原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		T/B連絡通路(東側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		T/B連絡通路(西側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
	2F	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																														
CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)		堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
(R-02)北東階段室		堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)		堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																																																													
RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)			水密扉	既設	1																																																																																																																																																																																																														
HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)			水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																																																														
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																																																														
原子炉補助 建屋	32FL T.P.-1.7m	A-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-I-9)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		A-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-I-9)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		B-高圧注入ポンプ用止水板No.1 (3AB-L-3)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		B-高圧注入ポンプ用止水板No.2 (3AB-L-3)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
	31FL T.P.2.8m	水密扉No.68(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		水密扉No.73(3AB-K-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
	1FL T.P.10.3m	止水板2.8-A(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		水密扉No.77(3AB-H-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		水密扉No.78(3AB-H-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
		水密扉No.87(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																														
水密扉No.85(3AB-H-2)		水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																															
管理区域出入り口堰(-)		堰	既設	1																																																																																																																																																																																																															
10.3m(A-D)階段前機器ハッチ廻り堰 (3AB-K-4)		堰	既設	1																																																																																																																																																																																																															
止水板No.80(3AB-H-6)		止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																															
止水板No.81(3AB-H-6)		止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																															
止水板No.82(3AB-H-1)		止水板	新設	1																																																																																																																																																																																																															
2FL T.P.17.8m	水密扉No.141(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	水密扉No.142(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	水密扉No.143(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	水密扉No.144(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)	水密扉 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-S13)	水密扉 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																																																																																															
	B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	水密扉 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																																																																																															
3FL T.P.33.1m	33.5m(区画境界)堰(-)	堰	既設	1																																																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(3/5)																																																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 220 792 245">設置エリア</th> <th data-bbox="799 220 853 245">フロア</th> <th data-bbox="860 220 1070 245">対象 (区画番号)</th> <th data-bbox="1077 220 1131 245">種類</th> <th data-bbox="1137 220 1191 245">区分</th> <th data-bbox="1198 220 1267 245">箇所数</th> </tr> </thead> </table>								設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																										
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td rowspan="13" style="vertical-align: top;">原子力建屋 付属棟</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">R2F</td> <td>静止型PLRポンプ電源装置室 (R-R2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>IA、SA室及び通路 (R-R2F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">B1F</td> <td>区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D/G補機(A)室 (R-B1F-7)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">1F</td> <td>D/G(IIPCS)室 (R-1F-15)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">2F</td> <td>HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子力補機(A)室送風機室 (R-2F-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子力補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">原子力建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">B3F</td> <td>2T-1トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">1F</td> <td>1F共通エリア(大物搬入用扉)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F共通エリア (Rw-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Rw制御室 Rw制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>								原子力建屋 付属棟	R2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-R2F-8)	堰	新設	1	IA、SA室及び通路 (R-R2F-9)	堰	新設	1	B1F	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1	区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1	1F	D/G(IIPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1	区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1	区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1	HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1	2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1	原子力補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1	原子力補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2	原子力建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1	1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1	Rw制御室 Rw制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1
原子力建屋 付属棟	R2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-R2F-8)	堰	新設	1																																																																																		
		IA、SA室及び通路 (R-R2F-9)	堰	新設	1																																																																																		
	B1F	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1																																																																																		
		D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1																																																																																		
		区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1																																																																																		
	1F	D/G(IIPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1																																																																																		
		区分I非常用D/G制御室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1																																																																																		
		区分III非常用D/G制御室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1																																																																																		
		HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1																																																																																		
	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1																																																																																		
		2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1																																																																																		
		原子力補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1																																																																																		
		原子力補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2																																																																																		
原子力建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																		
		主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																		
	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1																																																																																		
		1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																		
		Rw制御室 Rw制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由			
表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(4/5)										
	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数				
			制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉			既設	1
					制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)	水密扉			既設	1
					制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)	水密扉			既設 (改造)	1
					T/B 連絡通路扉	水密扉			新設	1
					1号C/B 連絡通路	水密扉			新設	1
				B1F	1S1 室 (C-B2F-5)	水密扉			新設	1
					計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉			新設	1
					計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)	水密扉			新設	1
					常用及び共通M/C、P/C室 【BSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉			新設	1
					計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉			新設	1
				1F	T/B 連絡通路扉	水密扉			新設	1
					T/B 連絡通路扉	水密扉			新設	1
					1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉			新設	1
					1F 入退域エリア (管理区域へ ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉			新設	1
					1号C/B 連絡通路	水密扉			新設	2
				2F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉			新設	1
					1号C/B 連絡通路	水密扉			新設	1
					区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉			新設	1
				3F	常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉			新設	2
1号MCR 境界	水密扉	新設			1					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>添付資料1.3 水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンクおよび付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁または学協会規格・基準の要件を満たす鉄筋コンクリート造の壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>伊方3号機における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表-1に示す。</p>	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(5/5)</p> <table border="1" data-bbox="701 212 1270 708"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">タービン 建屋</td> <td>B2F</td> <td>B2F エリア (T-B2F-1)</td> <td>止水壁</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B1F エリア (T-B1F-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>共通エリア【東側】(No.2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海水ポンプ 室</td> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油タンク エリア</td> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1		共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1	海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	—	RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1	軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1	<p>水密化区画について</p> <p>別紙1</p> <p>1. 概要</p> <p>水密化区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンク及び付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密化区画を構成する壁については、耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密化区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>泊発電所3号炉における溢水源となりうる機器より、水密化区画内設置として溢水源から除外した機器の一覧を表1に示す。</p>	<p>記載方針の相違</p> <p>泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あり、これらの区画境界の止水性を確保することで水密化区画としている。水密化区画内のタンク類から生じた溢水は区画内に留まるため、溢水源として想定しないことを明記している。本資料にて水密化区画である水密コンパートメントの詳細を記載した。</p> <p>記載に際し、先行審査実績のある伊方3号炉を掲載する。 （泊欄の青色は女川との相違を示しており、以下同様である。）</p>
		設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																				
タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1																																																																						
	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1																																																																						
	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1																																																																						
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																						
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																						
	共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1																																																																							
海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																						
	—	RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																						
	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																						
軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1																																																																						
	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1																																																																						
	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2																																																																						
	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）


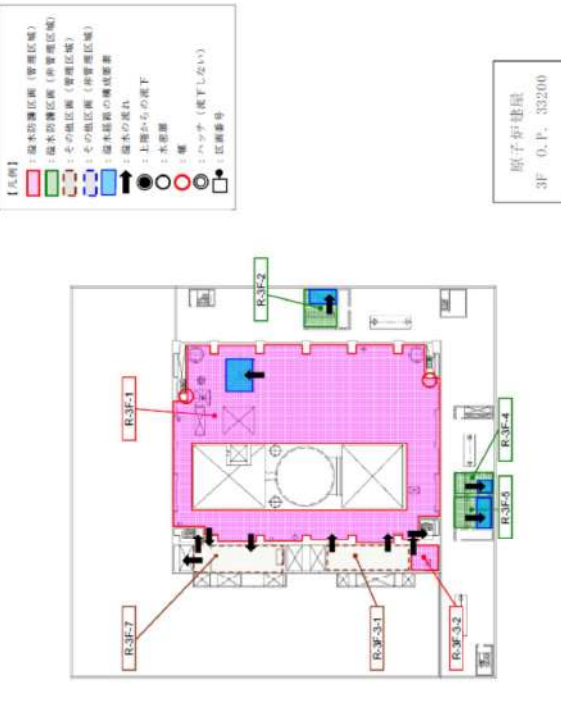
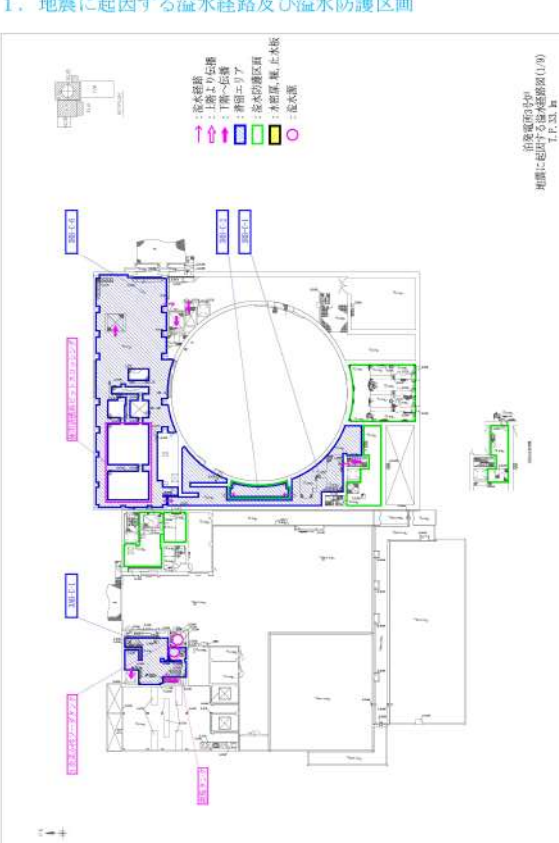
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																															
<p>表-1 伊方3号機における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置位置</th> <th>炉内容量 (m³)</th> <th>電容量 (m³)</th> <th>溢水高さ (床+10)</th> <th>耐水塗装高さ (床+10)</th> <th>出入口高さ (床+10)</th> <th>区画壁等2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却材貯蔵炉A</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>204基</td> <td>150</td> <td>3.06^①</td> <td>3.7</td> <td>3.7</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>冷却材貯蔵炉B</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵炉A</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>8.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵炉B</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>8.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂炉</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>5.3</td> <td>16</td> <td>0.4</td> <td>2.1</td> <td>3.3</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>廃液貯蔵炉A</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>廃液貯蔵炉B</td> <td>A/B EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>一次系純水炉</td> <td>B/B EL. 10.0m</td> <td>510</td> <td>170</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.1</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液投入炉A</td> <td>A/B EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液投入炉B</td> <td>A/B EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>予備濃縮炉</td> <td>A/B EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>0.8</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>洗浄排水濃縮廃液投入炉</td> <td>A/B EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：冷却材貯蔵タンクは2基で40%（304m³）以上の受入容量を確保するよう、マニュアルで規定されているが、溢水高さの算出においては90%容量（受入率インターロック閉止水位）×2基の水量（548m³）を適用した。（冷却材貯蔵タンク等A、B間は普通定で適用）</p> <p>注2：区画壁は、「(1)耐震設計上考慮している耐震壁」、耐震設計上考慮していないが「(2)字協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」に分類する。なお、「字協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」は、原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会、2005年）「19条 耐震壁の断面算定」第5項の記載（壁板の厚さ、壁板のせん断補強筋比、壁板の配筋配置、壁板の径と間隔等）を満たす壁とする。</p> <p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図-1に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置されている。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏洩しない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮されている。</p> <p>④床ドレンラインの隔離弁は通常施錠閉としており、漏洩検知設備を設置。</p>	水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量 (m ³)	電容量 (m ³)	溢水高さ (床+10)	耐水塗装高さ (床+10)	出入口高さ (床+10)	区画壁等2	冷却材貯蔵炉A	A/B EL. 3.3m	204基	150	3.06 ^①	3.7	3.7	耐震壁 (①)	冷却材貯蔵炉B	A/B EL. 3.3m							使用済樹脂貯蔵炉A	A/B EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)	使用済樹脂貯蔵炉B	A/B EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)	使用済樹脂炉	A/B EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)	廃液貯蔵炉A	A/B EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	廃液貯蔵炉B	A/B EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	一次系純水炉	B/B EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)	濃縮廃液投入炉A	A/B EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	濃縮廃液投入炉B	A/B EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	予備濃縮炉	A/B EL. 10.0m	12	10	0.8	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)	洗浄排水濃縮廃液投入炉	A/B EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)		<p>表1 泊発電所3号炉における水密化区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密化区画内設置機器</th> <th>設置場所</th> <th>タンク容量 (m³)</th> <th>室面積 (m²)</th> <th>溢水高さ (床+)</th> <th>耐水塗装高さ(床+)</th> <th>出入口高さ (床+)</th> <th>区画壁 ※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-濃縮廃液タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>25</td> <td rowspan="2">37.1</td> <td rowspan="2">134.8</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">280</td> <td rowspan="2">①、②</td> </tr> <tr> <td>B-濃縮廃液タンク</td> <td>T.P.17.8m</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>A-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋 T.P.2.8m</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>B-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋 T.P.2.8m</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>A-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td rowspan="3">原子炉 補助建屋 T.P.2.8m</td> <td>70</td> <td rowspan="3">72.17</td> <td rowspan="3">291</td> <td rowspan="3">295</td> <td rowspan="3">810</td> <td rowspan="3">①</td> </tr> <tr> <td>B-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>C-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>原子炉 建屋 T.P.17.8m</td> <td>365</td> <td>92.48</td> <td>394.7</td> <td>395</td> <td>690</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 区画壁は、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、 「②鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）の規準上の耐震壁と同等な耐震壁」に分類する。</p> <p>3. 水密化区画の構造</p> <p>水密化区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図1に水密化区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている。</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置している。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏えいしない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮している。図2に貫通部シール施工の概要図を図3に貫通部シール施工例を示す。</p> <p>④床ドレン配管の隔離弁は常時開運用としており、水密化区画内の漏水が検知できる設備を設置する。</p>	水密化区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m ³)	室面積 (m ²)	溢水高さ (床+)	耐水塗装高さ(床+)	出入口高さ (床+)	区画壁 ※1	A-濃縮廃液タンク	原子炉 補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②	B-濃縮廃液タンク	T.P.17.8m	25	A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	360	64.46	558.5	561	740	①	B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	360	64.46	558.5	561	740	①	A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	70	72.17	291	295	810	①	B-使用済樹脂貯蔵タンク	70	C-使用済樹脂貯蔵タンク	70	一次系純水タンク	原子炉 建屋 T.P.17.8m	365	92.48	394.7	395	690	①	<p>【伊方】 <u>設計方針の相違</u> 伊方ではタンク容量をインターロックによって設定される水位（全容量の90%）で評価しているが、泊は設計上のタンク全容量で設定し評価している。</p> <p>【伊方】 <u>記載方針の相違</u> 泊は漏えい検知器もしくは水位計の低警報によって漏えいが検知できる（システム検知）。</p>
水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量 (m ³)	電容量 (m ³)	溢水高さ (床+10)	耐水塗装高さ (床+10)	出入口高さ (床+10)	区画壁等2																																																																																																																																																											
冷却材貯蔵炉A	A/B EL. 3.3m	204基	150	3.06 ^①	3.7	3.7	耐震壁 (①)																																																																																																																																																											
冷却材貯蔵炉B	A/B EL. 3.3m																																																																																																																																																																	
使用済樹脂貯蔵炉A	A/B EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																											
使用済樹脂貯蔵炉B	A/B EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	8.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																											
使用済樹脂炉	A/B EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																											
廃液貯蔵炉A	A/B EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																											
廃液貯蔵炉B	A/B EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																											
一次系純水炉	B/B EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)																																																																																																																																																											
濃縮廃液投入炉A	A/B EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																											
濃縮廃液投入炉B	A/B EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																											
予備濃縮炉	A/B EL. 10.0m	12	10	0.8	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																											
洗浄排水濃縮廃液投入炉	A/B EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																											
水密化区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m ³)	室面積 (m ²)	溢水高さ (床+)	耐水塗装高さ(床+)	出入口高さ (床+)	区画壁 ※1																																																																																																																																																											
A-濃縮廃液タンク	原子炉 補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②																																																																																																																																																											
B-濃縮廃液タンク	T.P.17.8m	25																																																																																																																																																																
A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																											
B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																											
A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P.2.8m	70	72.17	291	295	810	①																																																																																																																																																											
B-使用済樹脂貯蔵タンク		70																																																																																																																																																																
C-使用済樹脂貯蔵タンク		70																																																																																																																																																																
一次系純水タンク	原子炉 建屋 T.P.17.8m	365	92.48	394.7	395	690	①																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

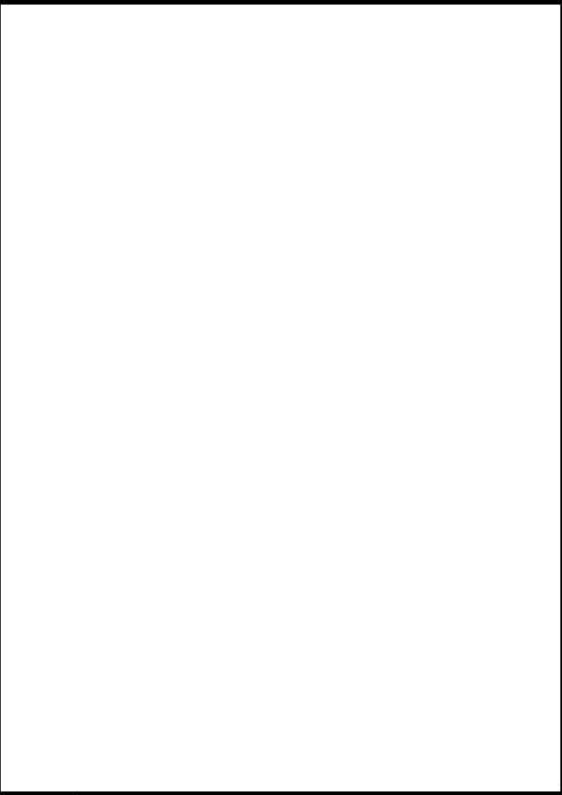
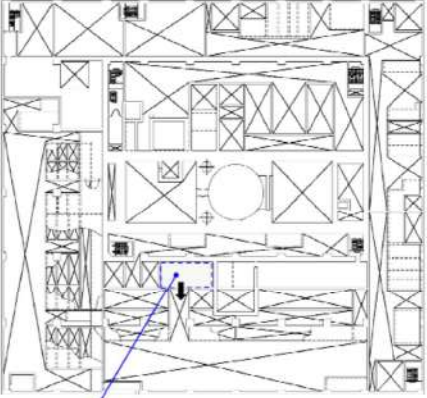
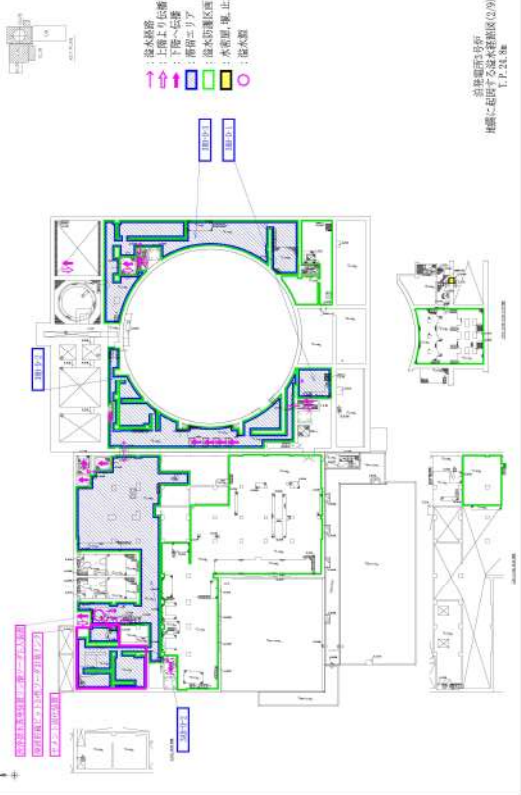
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について</p> <p>水密区画の隔壁はマッサンな鉄筋コンクリートであるが、基準地震動S_sによる最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討を実施した。別紙3に検討結果を示す。</p>		<p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について</p> <p>水密化区画の隔壁の残留ひび割れ幅は、既往実験結果から0.150mmであることから、「維持管理指針」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準「0.2mm未満」を満足する。</p> <p>また、最終貯留区画の耐震壁等は、水圧による応力が長期許容応力度以下となるため、残留ひび割れからの漏水による評価への影響はない。</p> <p>なお、補足説明資料29「内部溢水評価における耐震壁等の確認について」において、基準地震動による地震力に対して、耐震壁等のひび割れによる影響を確認した結果を示す。</p>	<p>【伊方】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>泊では、水密化区画の耐震壁の水密性について補足説明資料29のとおり評価している。評価結果より、規準上の耐震壁と同等な壁においてもひび割れによる漏水が発生しないことを確認している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


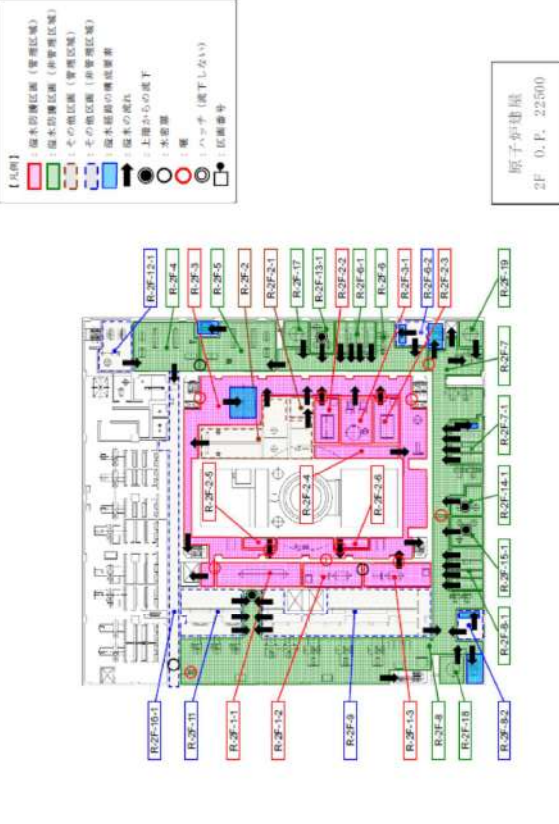
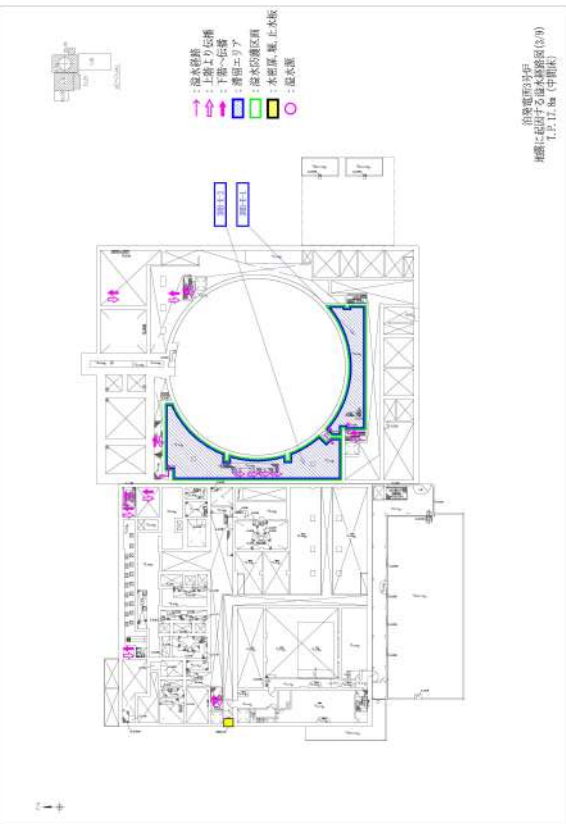
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.2-3</p>  <p style="text-align: center;">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 10</p> <p style="text-align: center;">溢水伝播経路図（平面図）</p> 	<p style="text-align: right;">添付資料 10</p> <p style="text-align: center;">溢水伝播経路図（平面図）</p> <p>1. 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p>

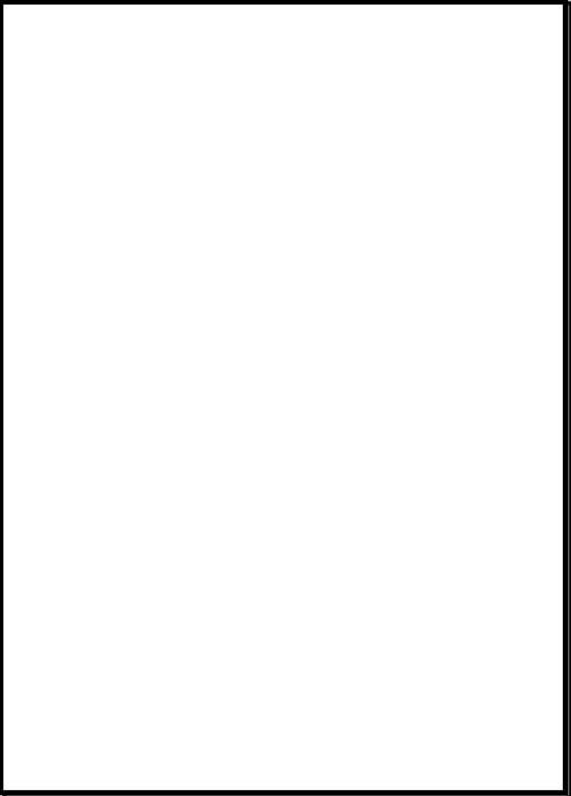
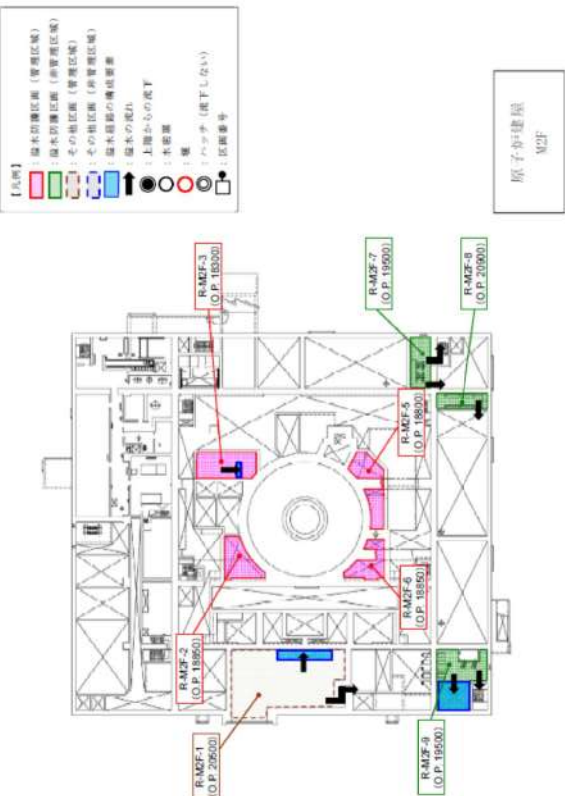
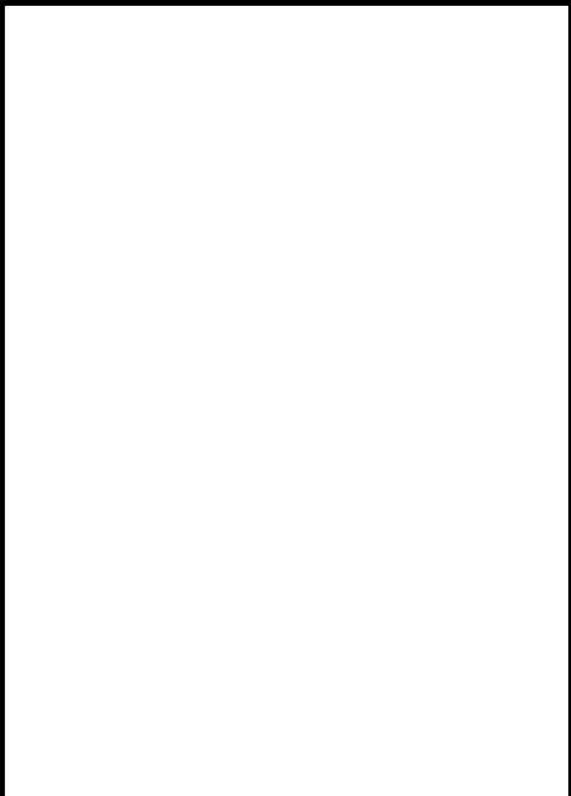
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1015 203 1046">P3</p> <p data-bbox="264 1024 674 1046">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="707 194 936 386">【凡例】 緑字付帯区域（管理区域） 青字付帯区域（非管理区域） 赤字付帯区域（管理区域） 黄色付帯区域（非管理区域） 黒字付帯区域（管理区域） 白字付帯区域（非管理区域） 図本図面の構成要素 図本の境目 ↑：上部からの落下 ○：ホック（落下しない） □：区域番号</p> <p data-bbox="1191 242 1263 386">原子炉建屋 MF</p>  <p data-bbox="855 912 891 983">R4MF3.1 (OP: 27700)</p>	 <p data-bbox="1469 194 1572 274"> 緑字付帯区域 青字付帯区域 赤字付帯区域 黄色付帯区域 黒字付帯区域 白字付帯区域 図本の境目 ↑：上部からの落下 ○：ホック（落下しない） □：区域番号 </p> <p data-bbox="1805 210 1841 344"> 泊発電所3号炉 図本図面の構成要素 L1, L2, L3, L4 </p>	

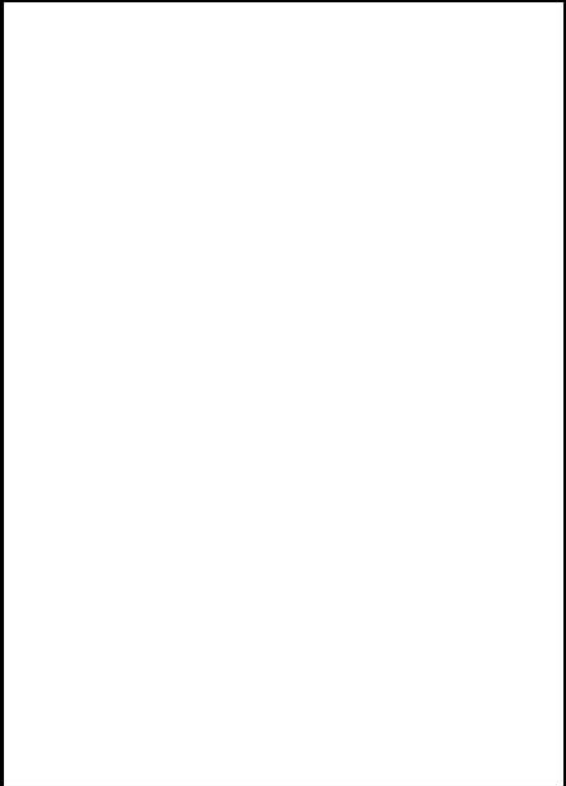
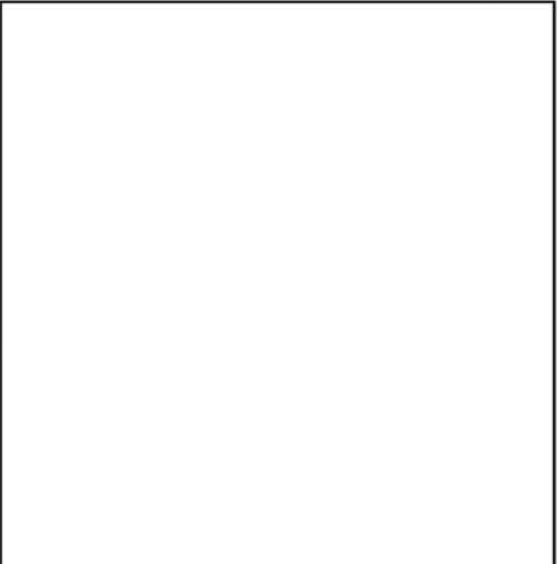
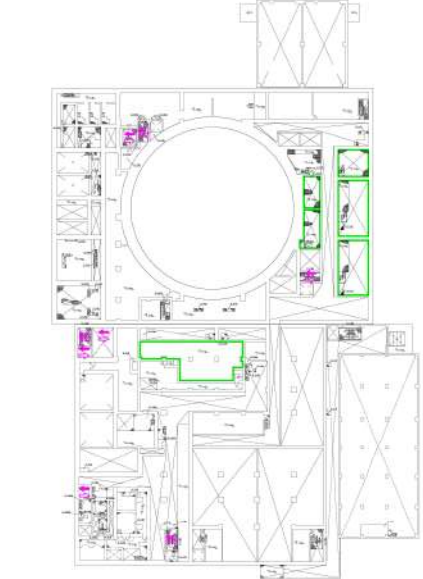
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.4.3-3</p>  <p>※組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> 	<p>泊発電所3号炉</p> 	<p>相違理由</p>

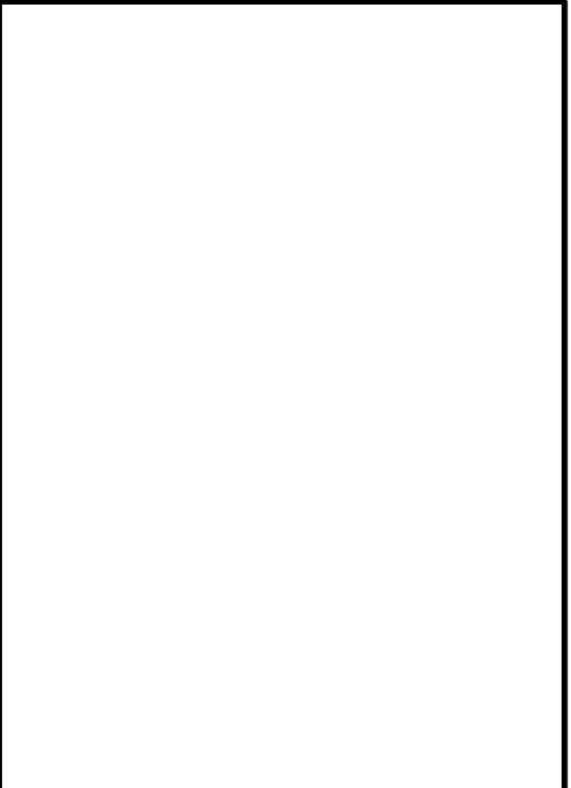
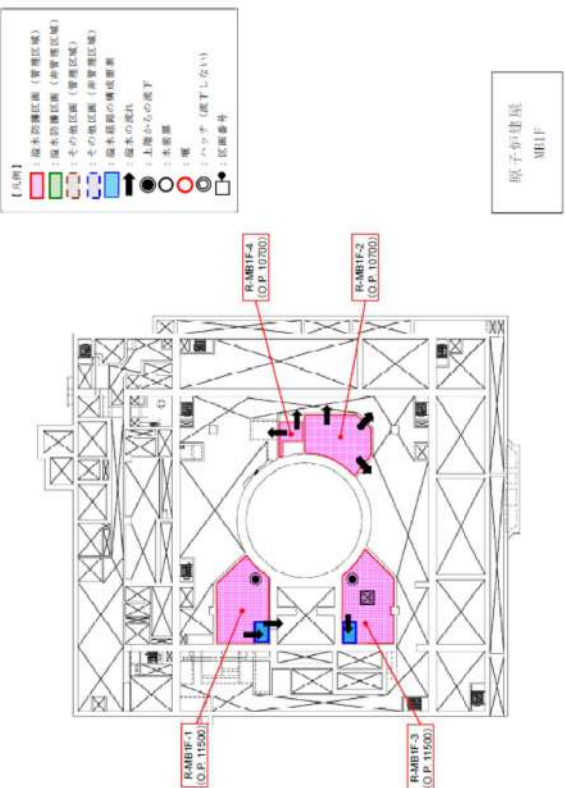

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>相違理由</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

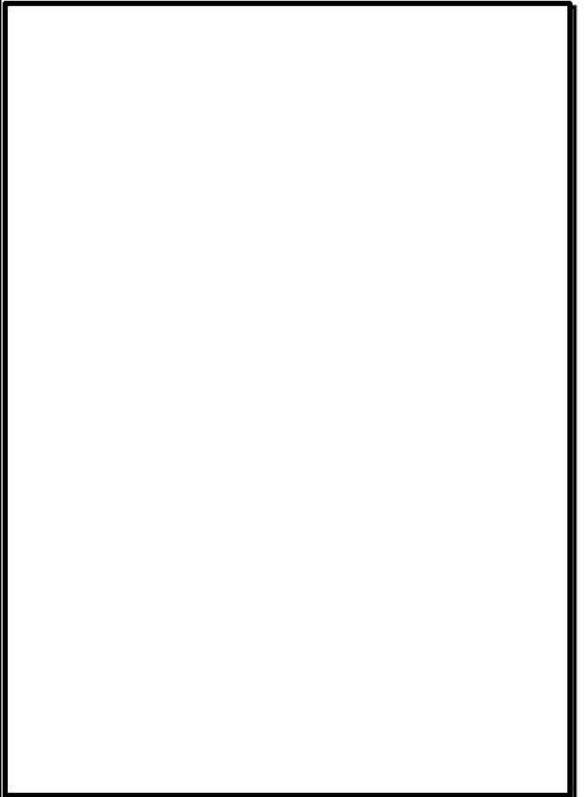
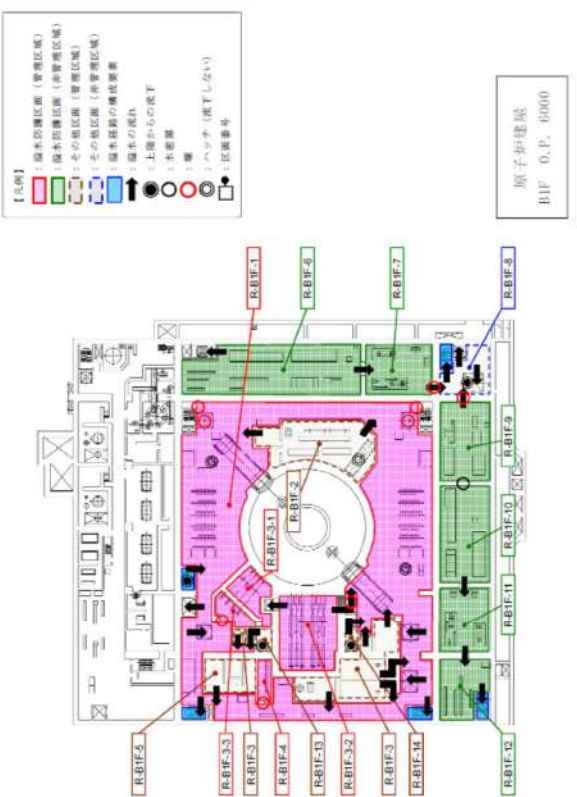
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="707 194 940 395" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 溢水防護区域（管理区域） ■ 溢水防護区域（非管理区域） ■ その他区域（管理区域） ■ その他区域（非管理区域） ■ 溢水制御の機能要素 ↑ 溢水の発生 ↑ 上層からの流下 ■ 本装置 ■ 配管 ○ 区域番号 </div> <div data-bbox="1191 258 1263 395" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>原子炉建屋 1F O. P. 15000</p> </div> 	<div data-bbox="1335 194 1568 306" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ↑ 溢水発生 ↑ 上層より伝播 ↓ 下層へ伝播 ■ 溢水防護区域 ■ 本装置 ■ 本装置停止状態 ○ 溢水箇所 </div>  <div data-bbox="1809 204 1845 347" style="font-size: small; margin-top: 10px;"> <p>出典：原子力安全委員会（2009） 地震に起因する炉内設備損傷調査 1.1.1.1.5.4（1）（2）</p> </div>	
<p>↑ 北</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	<p>↑ 北</p>	

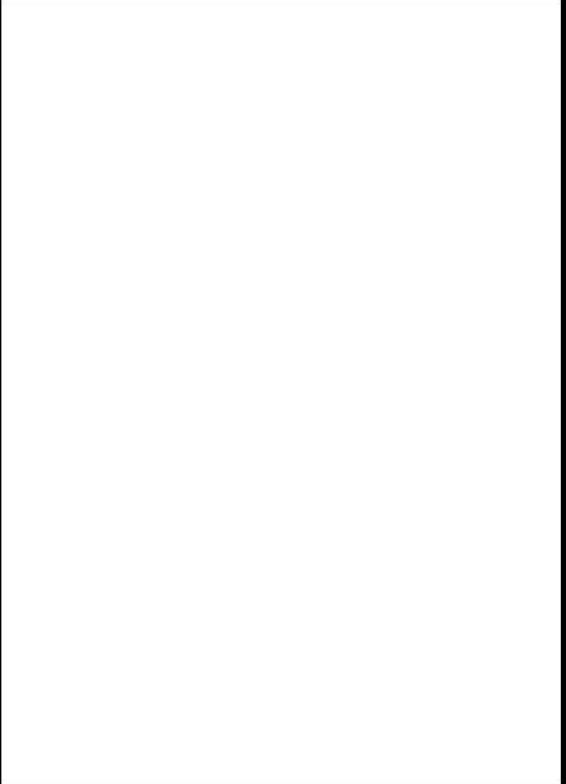
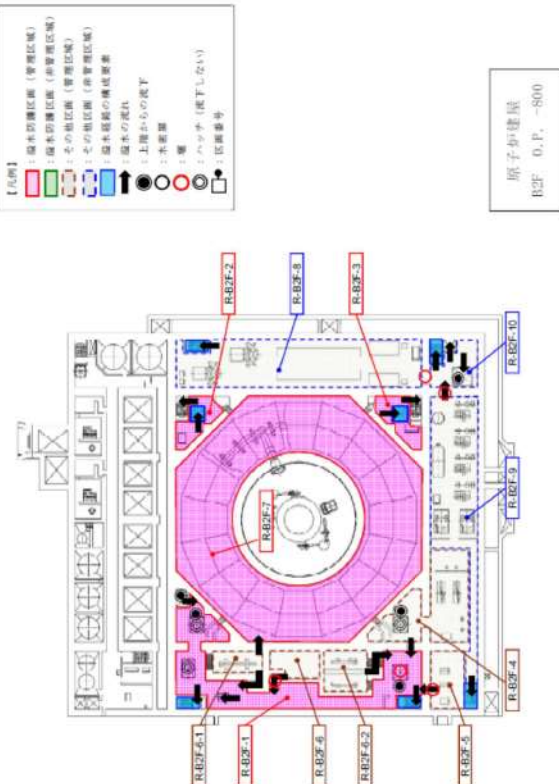
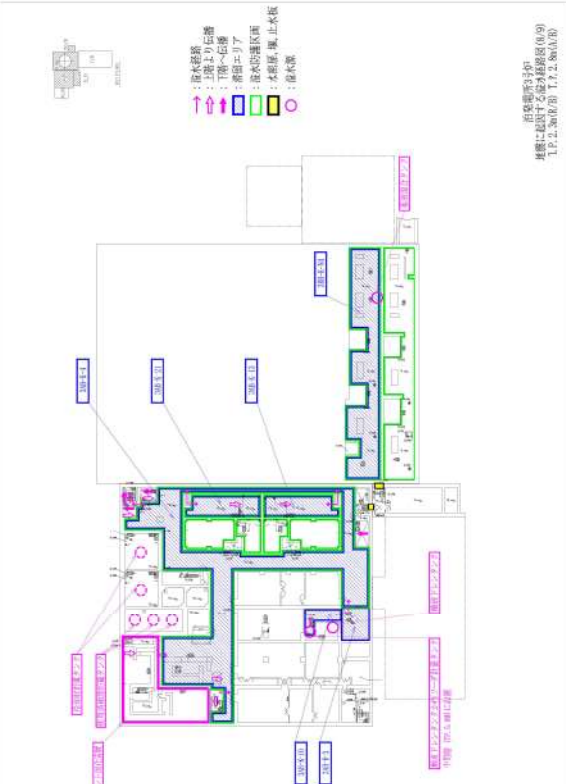
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			
<p>種組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

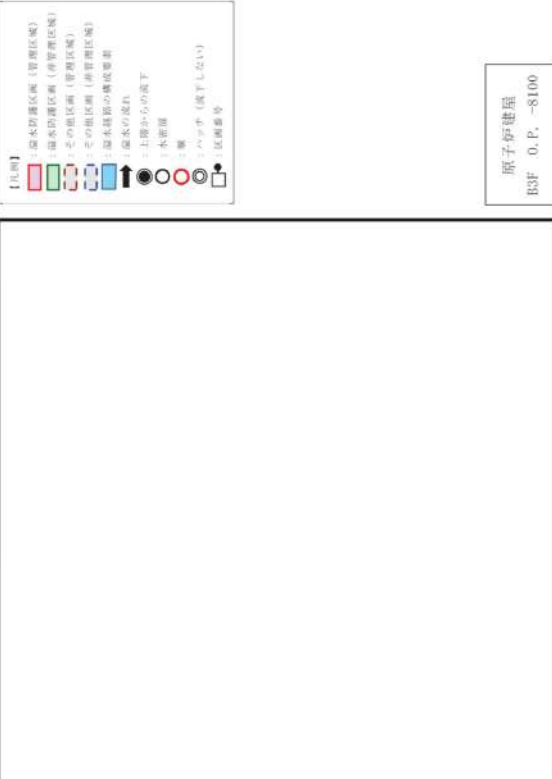
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>相違理由</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

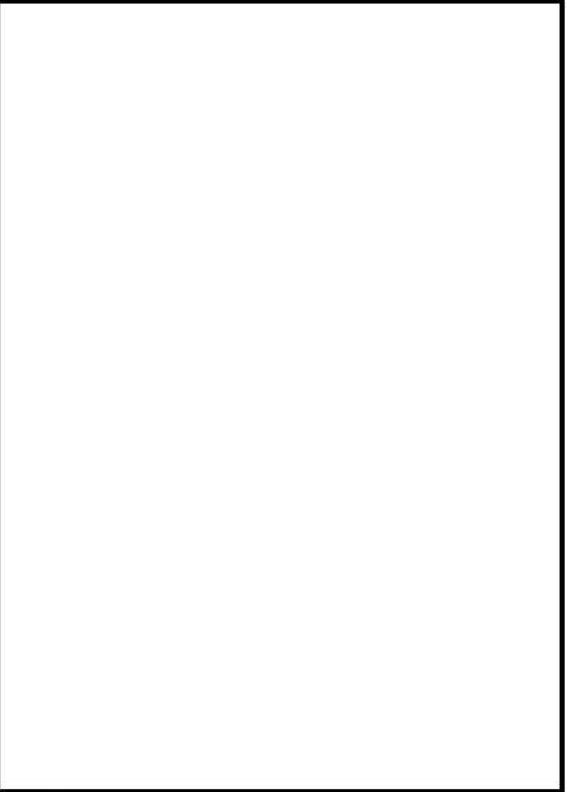

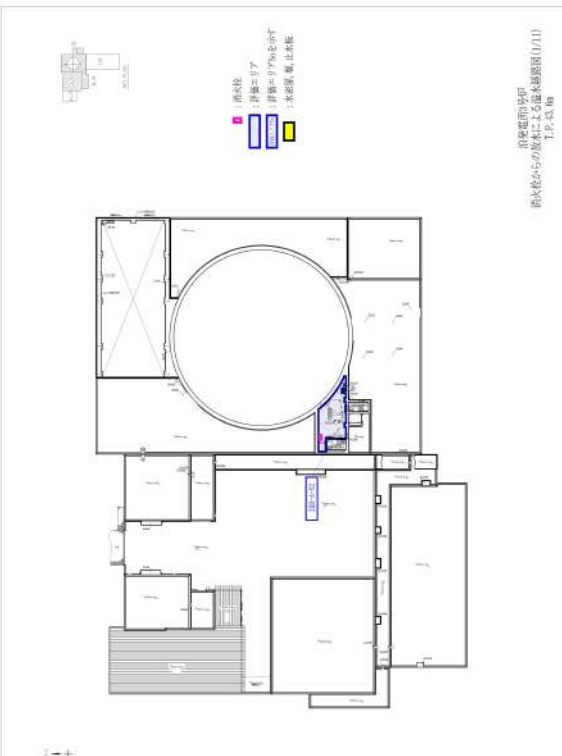
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■：機本防護区域（管理区域） ■：機本防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：機本設備の構成要素 ■：機本の表札 ■：上層からの落下 ■：非常扉 ■：ハッチ（開下しない） ■：扉 ■：区画番号 <p>原子炉建屋 RBF 0,F,-800</p> 	 <p>↑：機本防護 ↑：上層より落下 ↑：扉 ↑：非常扉 ↑：機本防護区域 ↑：機本防護 禁止区域 ↑：機本防護</p> <p>泊発電所3号炉 建屋に属する機本防護区域(0.9) 1.F,2.300(0.9) 1.F,1.2.300(0.9)</p>	
<p>↑</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

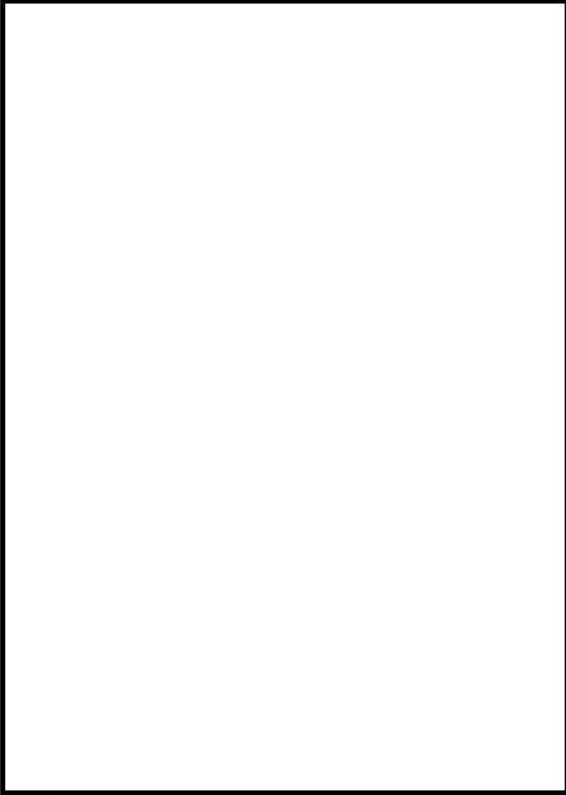
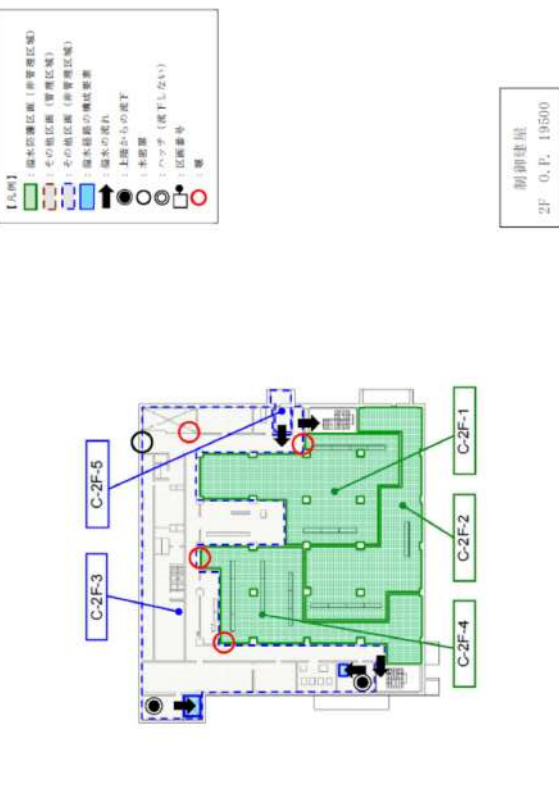
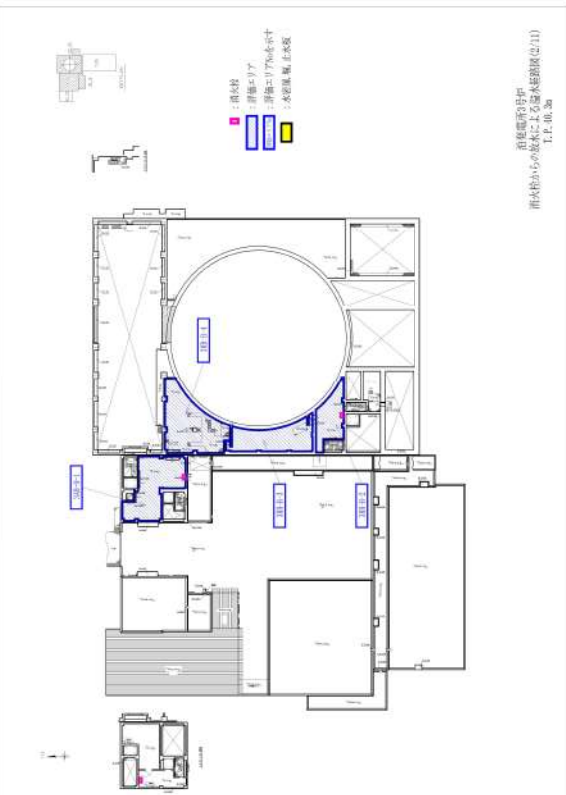
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 B3F 0.P. -8100</p>		
<p>↑ 北</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	<p>↑ 北</p>	

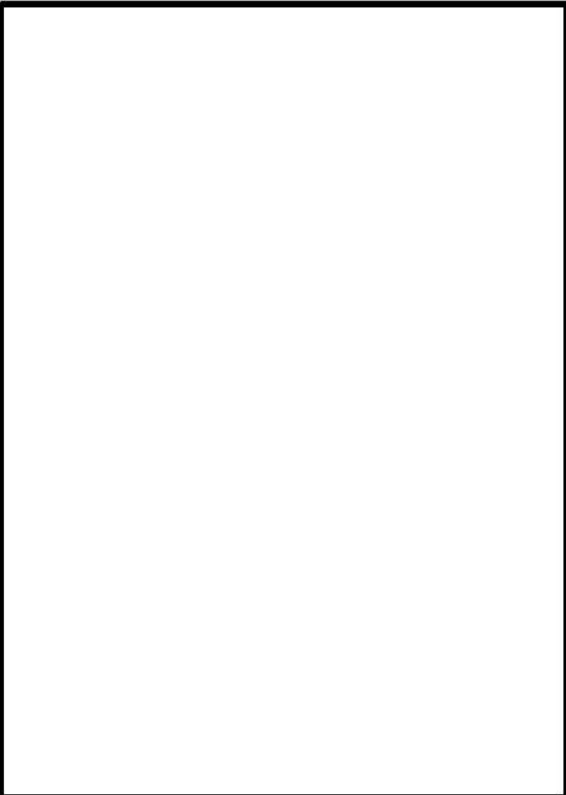

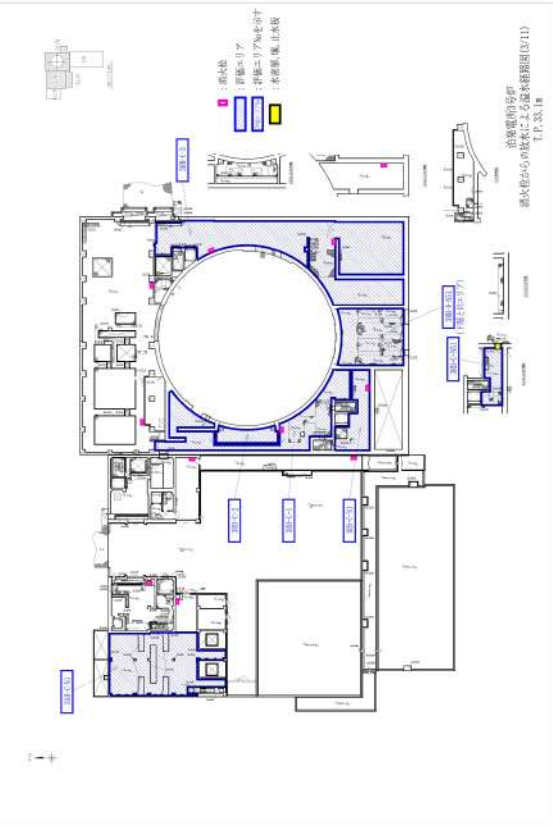
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="705 191 922 406"> <p>【注】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑：基本防護区画（非管理区画） 赤：その他区画（管理区画） 青：その他区画（非管理区画） 黒：基本区画の構成要素 白：基本の形状 ↑：上層からの落下 ●：保護部（覆下しない） ○：ハッチ（覆下しない） □：区画番号 ■：壁 </div> <div data-bbox="1198 271 1265 406" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>制御建屋 3F O.P. 23500</p> </div> 	<p>2. 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>記載方針の相違</p> <p>女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p>
<p>棒組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>棒組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

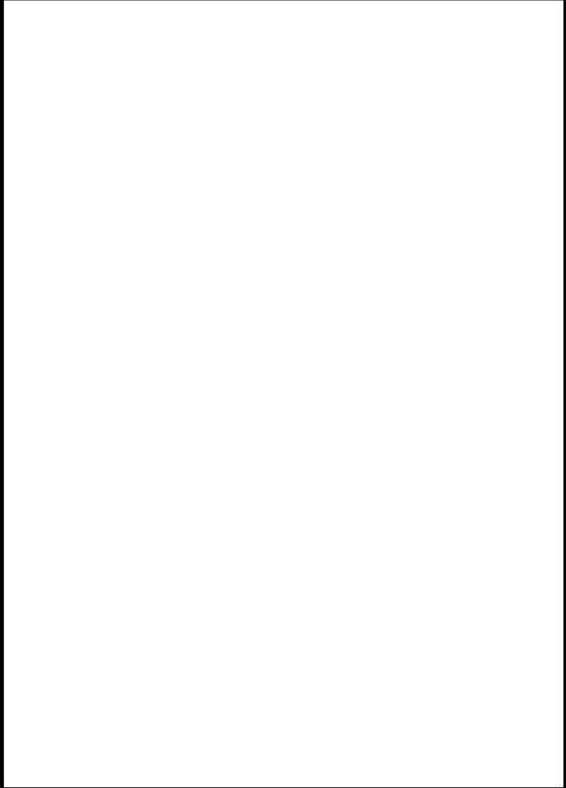
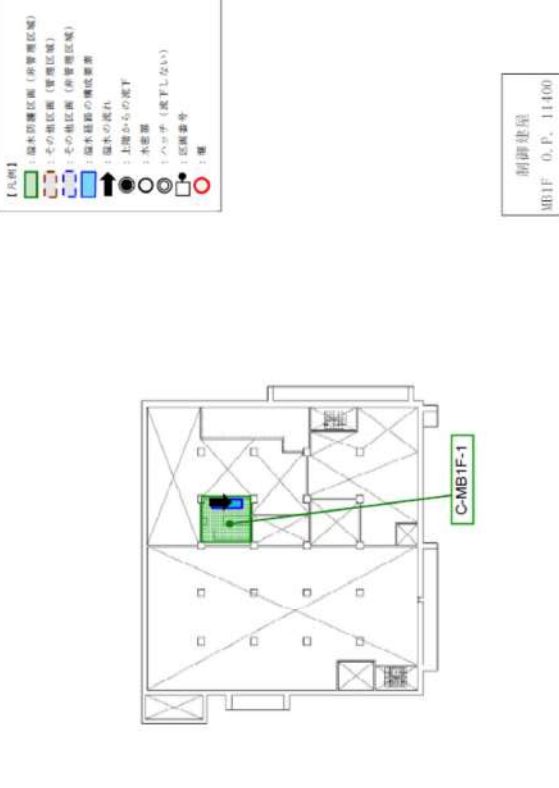
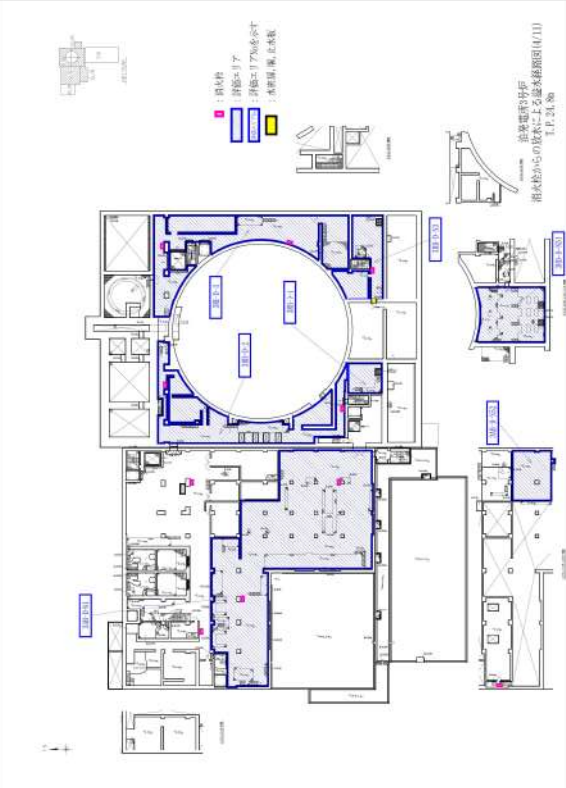
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 986 680 1008">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="1205 268 1263 402">前棟建屋 2F O.P. 19500</p>	 <p data-bbox="1809 204 1854 395">前棟建屋 2F O.P. 19500</p>	



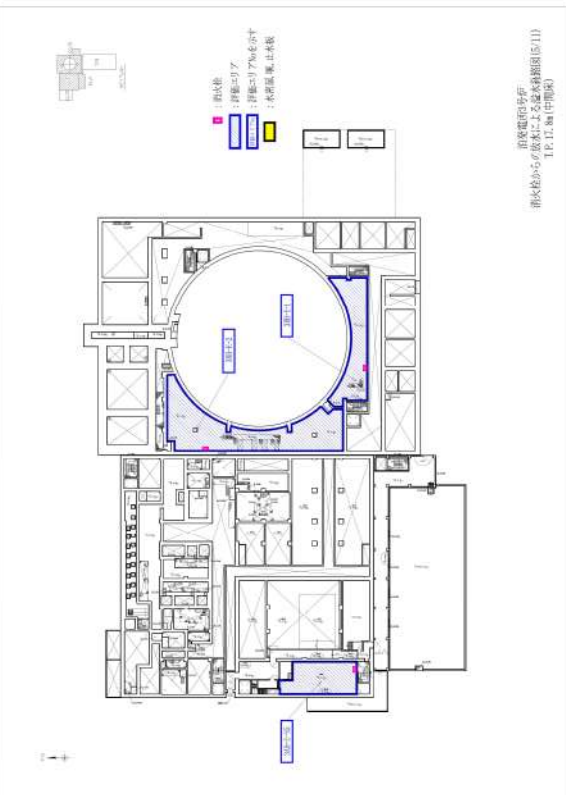
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 986 183 1008">N</p> <p data-bbox="273 992 676 1015">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="712 194 922 402">【注】 溢水防護区域（非管理区域） 溢水防護区域（管理区域） その他の区域（非管理区域） 溢水防護区域の構成要素 溢水の発生 上層からの落下 水溜り ハッチ（落下しない） 区域番号 壁</p> <p data-bbox="1205 268 1272 402">制御建屋 IF O.P. 15000</p>  <p data-bbox="824 1015 1205 1037">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p data-bbox="1809 204 1854 322">泊発電所3号炉 事故発生時の緊急対応区域(ED) 1F 10.18</p>	


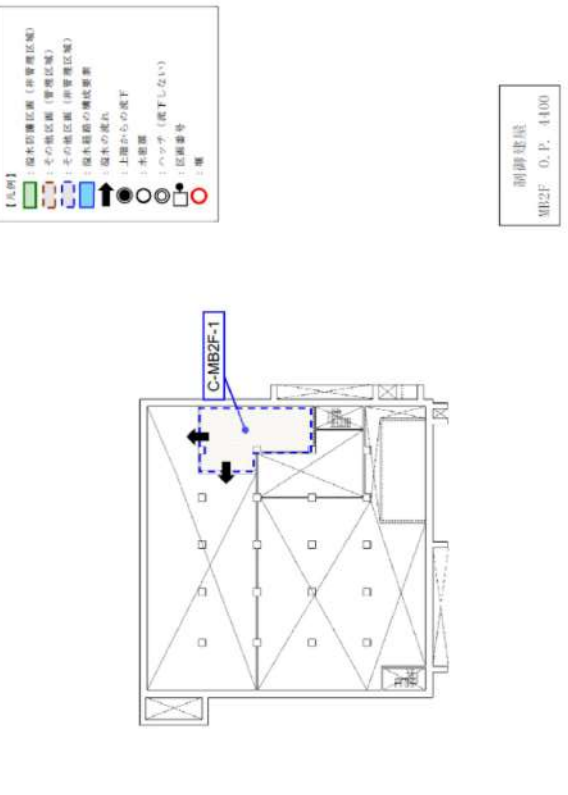



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 983 680 1015">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 197 922 395"> 【凡例】 ■ 溢水防護区域（非常時区域） ■ その他の指定区域（常時区域） ■ その他の指定区域（非常時区域） ■ 溢水経路の構成要素 ■ 溢水の発生 ■ 上部からの落下 ■ 水容器 ■ 1/600寸（以下） ■ 区域番号 ■ 壁 </p> <p data-bbox="1205 261 1263 402">副調律建屋 MB1F 0.F. 11400</p> <p data-bbox="1146 625 1182 708">C-MB1F-1</p>	 <p data-bbox="1496 210 1576 312"> ■ 排水設備 ■ 排水ポンプ ■ 排水ポンプ7%表示 ■ 水漏れ検知装置 </p> <p data-bbox="1800 210 1854 389"> 建築基準法 排水設備の設置に関する法律（排水設備法） 17-2条 </p>	

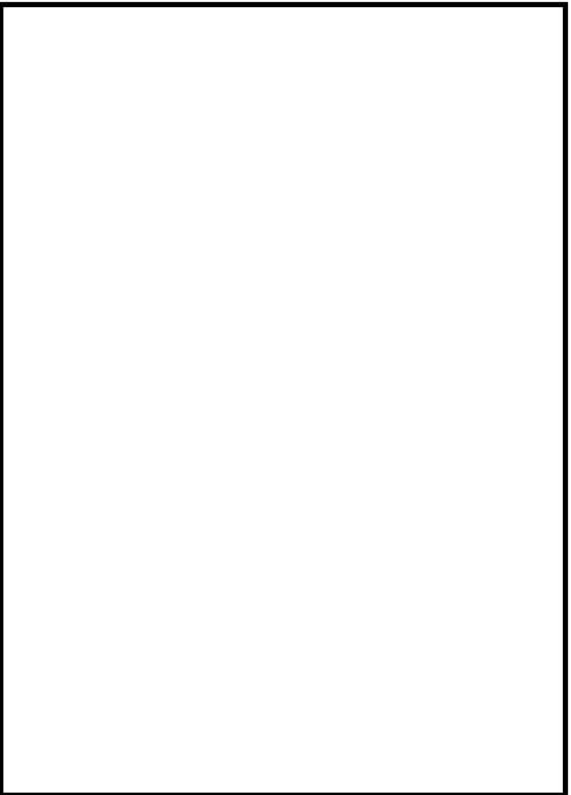
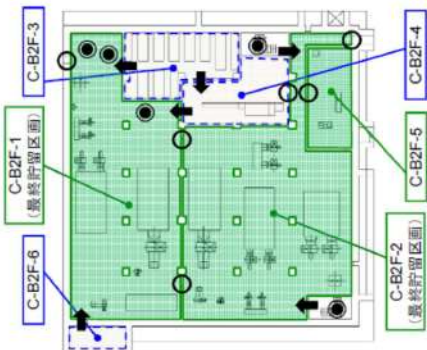
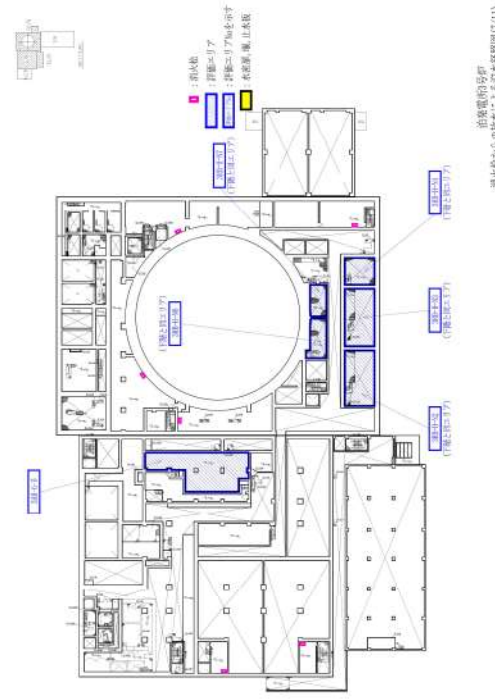
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="707 191 927 408"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑色：保安防護区域（非管理区域） 赤色：その他区域（管理区域） 青色：その他区域（非管理区域） 黒色：保安経路の構成要素 ↑：保安の流出 ↑：上部からの配下 ○：水配管 ○：ハッチ（配下しない） ○：区域番号 ○：扉 </div> <div data-bbox="1200 274 1263 408"> <p>制御建屋 BIF 0. P. 8000</p> </div> 		<p>相違理由 排水路からの排水による機器類(511) 1P.17.4m(中層)</p>
<p>← 北 ↑ 東</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

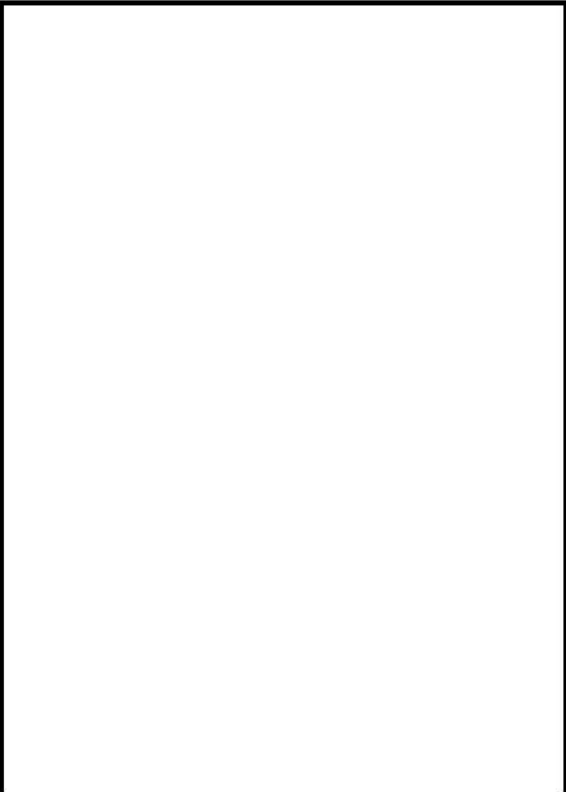
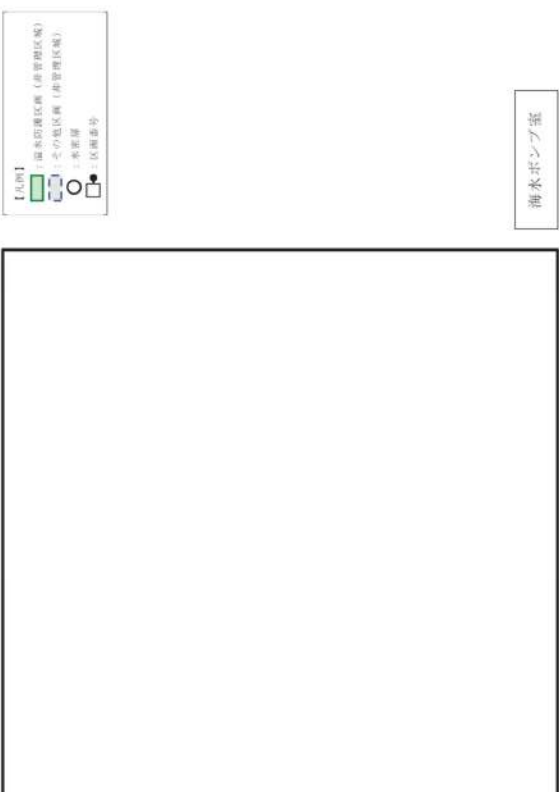

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			
 <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		 <p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

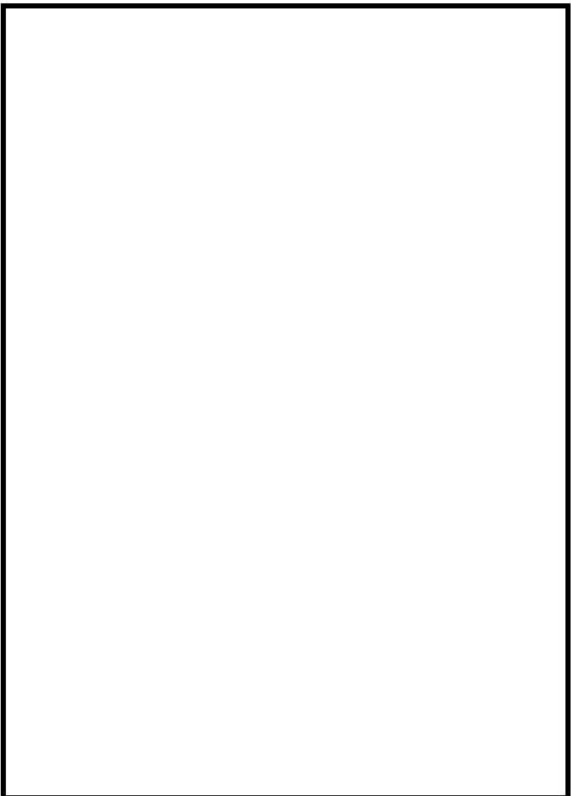
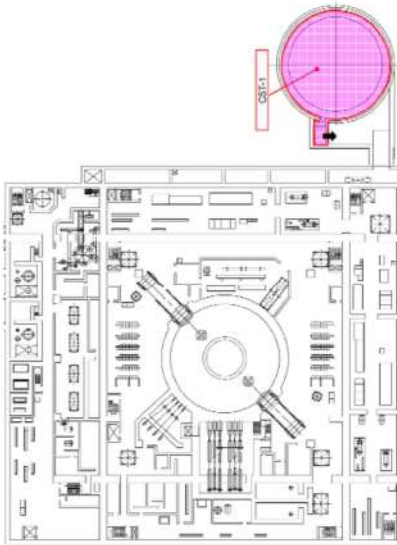
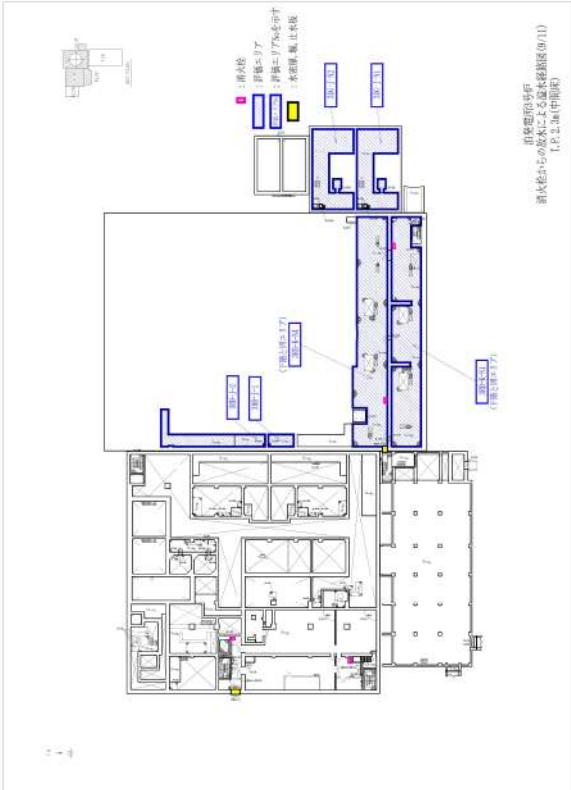
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 986 674 1010">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 199 929 391">【凡例】 基本貯留区域 (非管理区域) その他の区域 (管理区域) その他の区域 (非管理区域) 基本貯留区域の機械室 配水の方向 上層からの排水 水密壁 ハッチ (扉下しない) 区画番号 扉</p> <p data-bbox="1209 263 1265 399">防弾建屋 E2F 0, P. 1500</p> 	 <p data-bbox="1803 199 1848 343">泊発電所3号炉 の図式による最終貯留図(7/11) 1:1 (単位:mm)</p>	<p>相違理由</p>


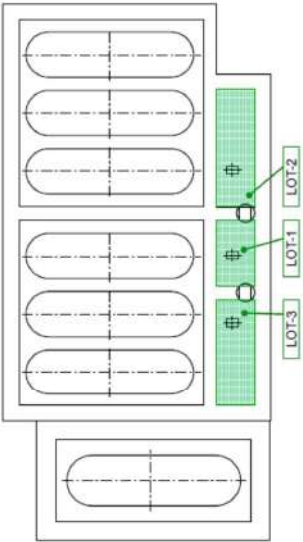
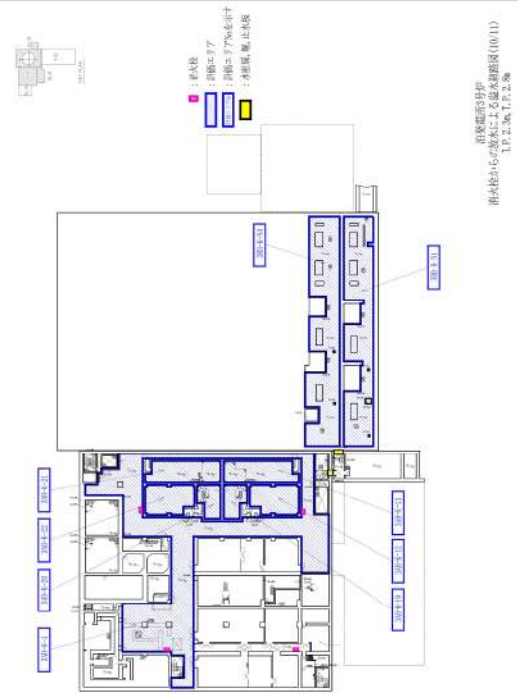

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	<p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

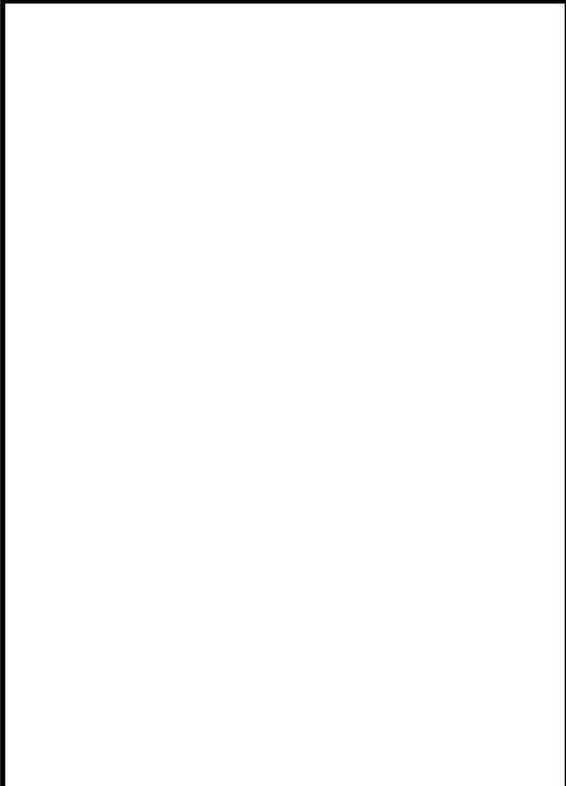

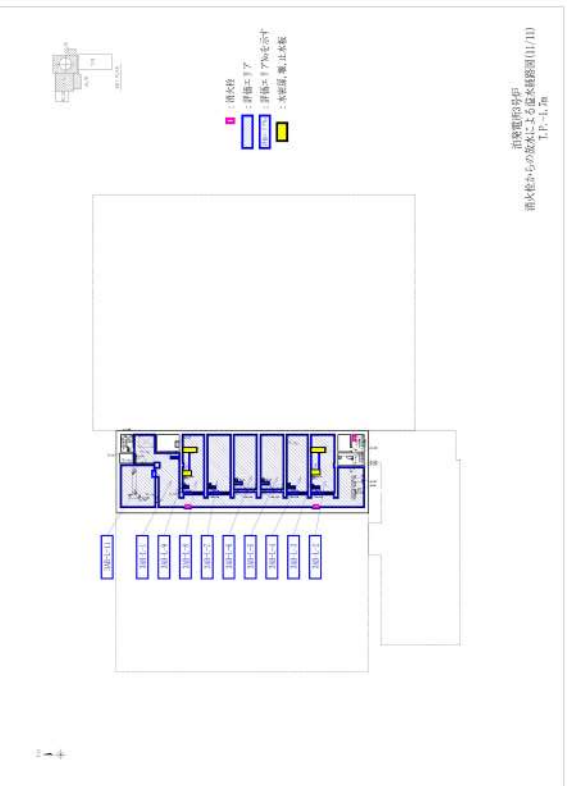

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="703 183 792 391"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■：機室防護区域 (機室区域) □：区域番号 ↑：機室の流れ </div> <div data-bbox="792 430 1187 976">  </div> <div data-bbox="1205 263 1265 406"> <p>CST O. P. 9500</p> </div>	<div data-bbox="1285 183 1854 976">  </div> <div data-bbox="1803 199 1848 391"> <p>計装室(計装室) 計装室からの水は、機室区域(011) (注: 機室区域)</p> </div>	<p>相違理由</p>
<p>←+</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

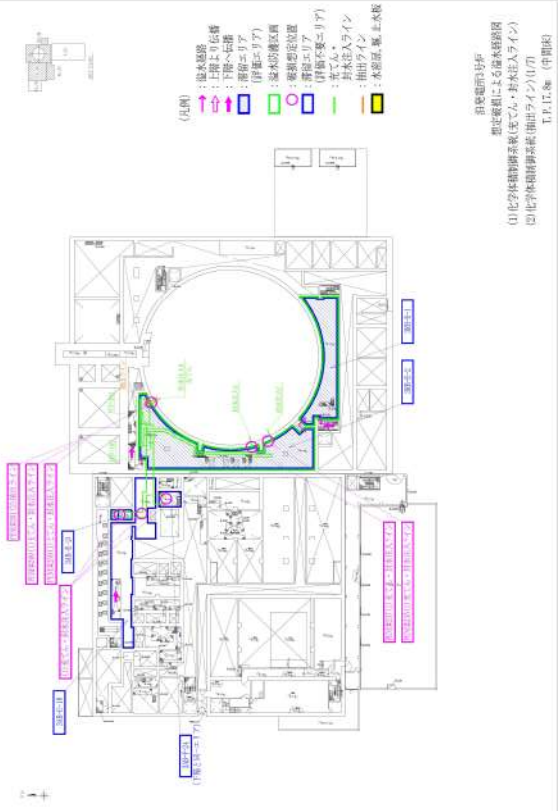
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="705 180 806 384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 排水防壁区域（非管理区域） ○ 水管理 □ 区域番号 </div> <div data-bbox="840 406 1142 949" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1220 247 1265 391" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>軽油タンクエリア</p> </div>	<div data-bbox="1332 183 1848 885" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1512 183 1590 279" style="font-size: small;"> <p>■ 排水壁 □ 設備エリア □ 設備エリア □ 水管理禁止区域</p> </div> <div data-bbox="1803 199 1848 391" style="font-size: x-small;"> <p>新機舎500号 新機舎500号の敷地内での作業区域(0011) 1.P.2.3A.1.P.2.3.8</p> </div>	<p>相違理由</p>
<div data-bbox="116 989 168 1013" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="280 986 672 1010" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			
			
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

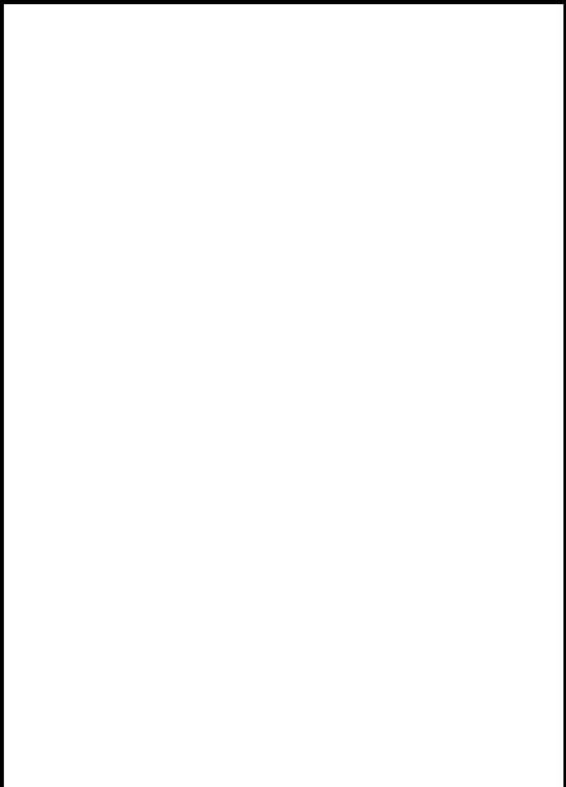

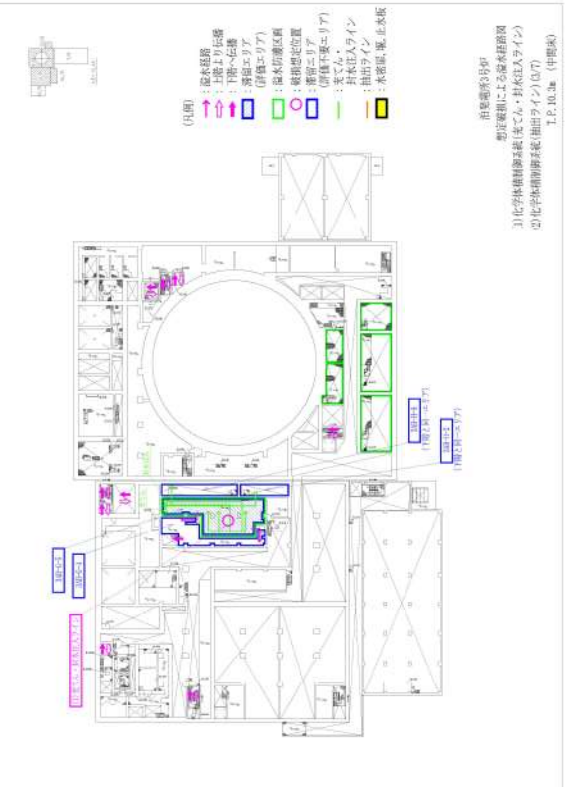
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="116 178 680 976" style="border: 1px solid black; height: 500px;"></div> <div data-bbox="116 986 680 1008" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>		<p data-bbox="1294 178 1702 236">3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画 (1) 化学体積制御系統</p>  <p data-bbox="1473 274 1684 379"> (注) 溢水経路 ↑ 上層より伝播 ↓ 下層へ伝播 □ 浮遊エア ○ 凝縮エア △ 凝縮エア ◇ 凝縮エア ☆ 浮遊エア ※ 浮遊エア ○ 浮遊エア △ 浮遊エア ◇ 浮遊エア ☆ 浮遊エア ※ 浮遊エア ○ 浮遊エア △ 浮遊エア ◇ 浮遊エア ☆ 浮遊エア ※ 浮遊エア </p> <p data-bbox="1774 274 1854 481"> 泊発電所3号炉 想定破損による溢水経路図 (1) 化学体積制御系統(主・副・貯水タンク) (2) 化学体積制御系統(抽出ライン)(炉内) T.P.は、海（中間区） </p>	<p data-bbox="1877 178 1998 201">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1877 213 2128 405"> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大阪と同様) </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>	
<p>中</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	



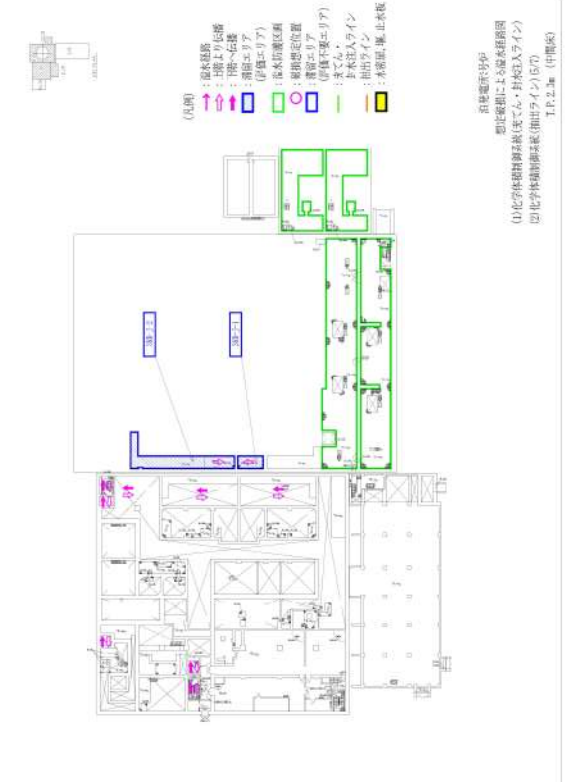
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>(注) 図面経路 ↑ 上層より伝達 ↓ 下層へ伝達 浮遊エリア (浮遊エリア) 浸水防護区域 検知器設置位置 警報エリア (警報下層エリア) : 実検・ライン : 検知器 : 水溢流 緊急止水域</p> <p>泊発電所3号炉 設計段階による浸水経路図 ① 化学体積制御系統(実検・実水注入ライン) (R7) ② 化学体積制御系統(抽出ライン) (R7) T.P.10.2a (中略)</p>	<p>相違理由</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid black; height: 500px; width: 100%;"></div>	
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

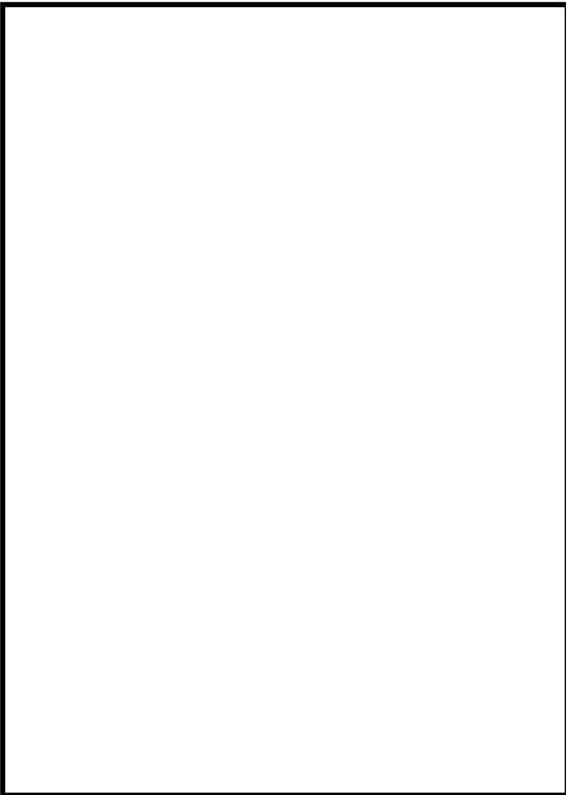

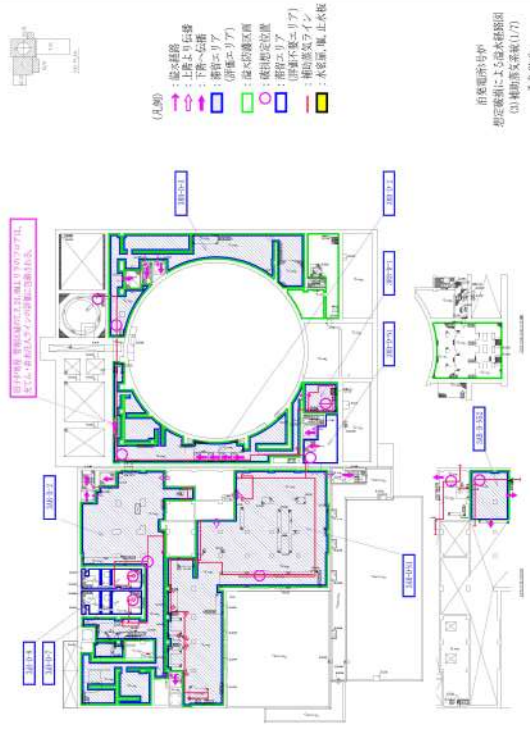
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>泊発電所3号炉 図は概略による図面を基に作成 (1)北字体系図参照(床下・天井ライン) (2)北字体系図参照(扉・開口ライン) 1:100 (中間図)</p>	<p>相違理由</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 178 680 976" style="border: 1px solid black; height: 500px;"></div> <div data-bbox="114 986 680 1011" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>持組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>		<p>泊発電所3号炉 想定範囲による取水経路図 (1) 此字体裁特種検査(水・ガス・野火・工入・ライン) (2) 此字体裁特種検査(抽出ライン)のみの場合 1:100</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="280 986 680 1007">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p data-bbox="1294 177 1464 197">(2) 補助蒸気系統</p>  <p data-bbox="1787 256 1845 320">市原原子力発電所 指定範囲による炉水循環図 (2) 補助蒸気系統(1/7) T.P. 3.1.36</p>	<p data-bbox="1874 177 1995 197">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1874 213 2130 405">女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p>

